



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	中国語ブレンド型学習の実践と混合研究法による評価：遠隔交流が創る学びの経験を学習者視点で解釈する
Author(s)	杉江, 聡子
Degree Grantor	北海道大学
Degree Name	博士(国際広報メディア)
Dissertation Number	甲第12447号
Issue Date	2016-09-26
DOI	https://doi.org/10.14943/doctoral.k12447
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/63373
Type	doctoral thesis
File Information	Satoko_Sugie.pdf



平成 28 年度博士学位論文

中国語ブレンド型学習の実践と混合研究法による評価
—遠隔交流が創る学びの経験を学習者視点で解釈する—

The Practice of Blended Learning for a Chinese
Language Class and The Evaluation using The Mixed
Methods Research and Analysis
—The Interpretation from Learner's Perspective and
Learning Experience Constructed by Distance
Intercultural Communication—

北海道大学院国際広報メディア・観光学院
国際広報メディア専攻

杉江 聡子

目 次

第1章 序論.....	1
1.1 研究の背景	2
1.2 研究の目的	9
1.3 研究の意義と期待される成果	10
1.4 本論文の構成.....	12
1.5 用語と定義	13
第2章 先行研究.....	21
2.1 外国語教育・学習における遠隔学習	21
2.2 中国語教育・学習におけるICT活用	29
2.3 中国語教育・学習におけるブレンド型学習	30
第3章 理論的枠組みと研究の方法	34
3.1 研究の概要	34
3.2 インストラクショナル・デザイン (ID) について.....	35
3.2.1 代表的なIDモデル.....	39
3.3 第二外国語としての中国語のためのID.....	49
3.4 遠隔交流を活用したブレンド型学習モデル	52
第4章 授業実践の準備.....	55
4.1 遠隔交流のために必要な作業フロー	55
4.2 年間学習計画とブレンド型学習のデザイン	61
4.3 ブレンド型学習のための教材作成.....	63
4.4 ブレンド型学習のための環境設定.....	67
4.5 授業評価アンケートサイトの開発.....	69
4.6 成績評価における学習成果の位置付け.....	73
第5章 遠隔交流のプロセスに基づく学習の経験と成果の記述.....	74
5.1 遠隔交流の概要.....	74
5.1.1 第1回、第2回「あいさつ、自己紹介」	75
5.1.1.1 第1回遠隔交流	75
5.1.1.2 第2回遠隔交流	90
5.1.2 第3回、第4回「日本の高校生活：グルメ、学校行事、芸能、流行、インター ネット」	111
5.1.2.1 第3回遠隔交流	111
5.1.2.2 第4回遠隔交流	132
5.1.3 第5回「学校祭」	143
5.1.3.1 第5回遠隔交流	144
5.1.4 第6回、第7回「夏休みの思い出」	160
5.1.4.1 第6回遠隔交流	162
5.1.4.2 第7回遠隔交流	176
5.1.5 第8回、第9回「中国からの質問：日本のニュース、北海道の特色、高校生活、 娯楽、卒業後の進路」	197
5.1.5.1 第8回遠隔交流	198
5.1.5.2 第9回遠隔交流	220

第6章 データ分析	248
6.1 混合研究法について	248
6.2 学習意欲のデザイン（ARCS-Vモデル）について	251
6.3 データ収集の方法	252
6.4 遠隔交流を活用したブレンド型学習が学習者の情意に与える影響	253
6.4.1 分析対象データの概要	253
6.4.2 授業設計と交流準備	253
6.4.3 オンライン交流	268
6.4.4 学習成果	275
6.4.5 ARCS-Vモデルに基づく学習意欲のデザイン	282
6.5 遠隔交流によって創出される学習の経験、成果及び価値の質的解釈	290
6.5.1 分析対象データの概要	290
6.5.2 学習者視点の学びの経験と成果の意味づけ	290
6.5.3 学習者視点のブレンド型学習の全体評価	308
6.5.4 概念整理と可視化	312
第7章 遠隔交流を活用したブレンド型学習の評価	325
7.1 学習者視点の価値	325
7.1.1 量的アプローチから見えてきたもの	326
7.1.2 質的アプローチから見えてきたもの	327
7.1.2.1 発見と成功がもたらす喜びと満足	327
7.1.2.2 信頼と支援によるネガティブな心情の軽減	328
7.1.2.3 失敗から得られる学び	328
7.1.2.4 学習意欲と交流モチベーションの向上	329
7.1.2.5 日中関係を考える上での判断基準の形成	330
7.1.2.6 学習歴による成果と価値の相違	331
7.2 インタラクションが創出する価値	334
7.2.1 言語コミュニケーションの視点から	334
7.2.2 非言語コミュニケーションの視点から	334
7.2.3 失敗から成功への転換	335
7.2.4 インタラクティブな学習を生み出す共同体験	336
7.2.5 失敗に対する抵抗感の軽減	336
7.3 教育的価値	337
7.3.1 学習者にとっての困難	337
7.3.2 学習支援のタイミングと方略	339
7.3.2.1 遠隔交流前の支援	339
7.3.2.2 遠隔交流中の支援	340
7.3.2.3 遠隔交流後の支援	341
7.4 インストラクショナル・デザインとしての有効性	342
7.5 本研究の成果と学術的意義	345
第8章 結論と今後の課題	347
参考文献	353

付録の目次

付録 1	4.2 年間学習計画表	367
付録 2	5.1.1 「あいさつ・自己紹介」 紹介文.....	371
付録 3	5.1.1.1 「あいさつ・自己紹介」 第 1 回遠隔交流記録スクリプト	374
付録 4	5.1.1.2 「あいさつ・自己紹介」 第 2 回遠隔交流記録スクリプト	381
付録 5	5.1.2 「日本の高校生活」 紹介文.....	394
付録 6	5.1.2.1 「日本の高校生活」 第 3 回遠隔交流記録スクリプト	396
付録 7	5.1.2.2 「日本の高校生活」 第 4 回遠隔交流記録スクリプト	412
付録 8	5.1.3 「学校祭」 第 5 回遠隔交流記録スクリプト	419
付録 9	5.1.4 「夏休みの思い出」 紹介文とフィードバック	431
付録 10	5.1.4.1 「夏休みの思い出」 第 6 回遠隔交流記録スクリプト	439
付録 11	5.1.4.2 「夏休みの思い出」 第 7 回遠隔交流記録スクリプト.....	452
付録 12	5.1.5 「中国からの質問」 に答えるためのワークシート	474
付録 13	5.1.5.1 「中国からの質問」 第 8 回遠隔交流記録スクリプト	477
付録 14	5.1.5.2 「中国からの質問」 第 9 回遠隔交流記録スクリプト	488
付録 15	6.2 学習意欲デザインの第一原理（ARCS-Vモデルの要因と支援方略）	501
付録 16	6.4.2 「授業設計と交流準備」 カテゴリの質問項目	502
付録 17	6.4.3 「オンライン交流」 カテゴリの質問項目	504
付録 18	6.4.4 「学習成果」 カテゴリの質問項目	505
付録 19	6.4.5 ICT活用に関する問いの検定統計量（SPSS）	507
付録 20	6.4.5 ARCS-Vに関する問いの検定統計量（SPSS）	507
付録 21	6.5.2 SCATを援用した質的データ分析：交流トピック「挨拶・自己紹介」	508
付録 22	6.5.2 SCATを援用した質的データ分析：交流トピック「日本の高校生活」	513
付録 23	6.5.2 SCATを援用した質的データ分析：交流トピック「学校祭」	516
付録 24	6.5.2 SCATを援用した質的データ分析：交流トピック「夏休みの思い出」	518
付録 25	6.5.2 SCATを援用した質的データ分析：交流トピック「中国からの質問」	521
付録 26	6.5.2 SCATを援用した質的データ分析：尖閣諸島（釣魚島）をめぐる報道と遠隔交流経験に基づく対中感情	523
付録 27	6.5.2 SCATを援用した質的データ分析：中国語の授業全体を通じて最も良かった点と悪かった点	525
付録 28	6.5.2 SCATを援用した質的データ分析：第二外国語としての中国語の授業の存在・位置付け	527
付録 29	6.5.2 SCATを援用した質的データ分析：1 年半の中国語学習の感想	529

第1章 序論

本章では、研究の背景、研究の目的、研究の意義と期待される成果、論文全体の構成及び用語と定義について説明する。第一節「研究の背景」では、日本と中国の交流の発展に伴う中国語学習の広がりや学習者ニーズの多様化、教育情報化に伴う ICT 活用教育・学習の推進という背景の下、中国語教育・学習の現場ではこれらの社会的ニーズに対応できておらず、知識蓄積型の教育効果を重視する従来のパラダイムから脱却できていないという課題を提示する。この現状を打開する方略として、中国語教育・学習の現場で中国人を相手とする遠隔交流を活用し、現実世界に開かれた言語コミュニケーションや異文化間交流を体験すること、交流や協調学習による問題解決を通して学習した知識と現実のコミュニケーション文脈との関連性を深めることの重要性を強調する。本研究が対象とする北海道という地域社会のニーズや高校中国語の ICT 活用教育・学習環境、情報化に伴い ICT ツールが生活に密着している状況に鑑み、一衣帯水の隣国でありながら情報倫理やネットワーク管理上のリスクが原因で中国とのインターネット交流が歓迎されにくい学校教育の制限等を背景に、学校教育だからこそ提供できる、顔の見える対話型交流と、それを実現するための ICT 活用教育・学習に取り組むことの重要性を指摘する。第二節「研究の目的」では、外国語教育の目的として、言語知識の増加と言語運用技能の向上だけではなく、外国語を用いた異文化間交流を通じて、知識、技能、経験が効果的に連携するような全人教育の意義を述べ、そのための学習支援の重要性を述べる。その上で、知識や技能の測定による評価を中心とする従来の研究とは異なり、異文化間交流や対話の経験そのものを核とし、学習者の学習意欲と情意における影響を知ると同時に、その経験から創出される成果や価値はどのようなものかを探求するという本研究の特色を説明する。また、インストラクショナル・デザイン (instructional design: 以下、ID) の理論的枠組みに基づき設計したブレンド型授業のデザインと、混合研究法のアプローチによる評価の方法について述べる。第三節「研究の意義と期待される成果」では、本研究の独自性、革新性及び関連研究分野における貢献の可能性について述べる。第四節では、本論文の全体構成を説明する。第五節では、本論文で使用する主な用語と定義について説明する。

1.1 研究の背景

21 世紀以降の中国の急速な経済発展に伴い、日本でも中国語人材のニーズが高まっている。民間交流の増加に伴い中国と日本の人的交流も活発になり、青年国際交流も促進されている。これを受けて中国語教育・学習は、高等教育における外国語科目だけでなく、社会人の生涯学習や高等学校（以下、高校）の第二外国語科目へと拡大してきた。学習者のニーズも多様化しており、現代社会の様々な言語コミュニケーション場面に即時対応する実践的なスキルが求められている。しかし、学校教育で行われている「外国語としての中国語」は、教育人材、授業時数、教育・学習環境等の制限が多く、教師中心型で語彙や文法能力の定着を目指す知識蓄積型の教育が主流である。学習項目を分類し標準化して効率的な授業運営を追求した結果、学習者の日常生活や現実のコミュニケーション場面からかい離れた、「外国語を学ぶための外国語学習」という状態に陥りがちである。

一方で、日本の教育政策の一環として、外国語教育における情報化が推進されている。「第2期教育振興基本計画（平成25年6月閣議決定）」（文部科学省, 2013）では、「これからの激動の社会を生き抜く子どもたちには、自ら考え、また、学校内外の多様な人々と協働しながら主体的に課題を解決し、価値を創造する力が求められており、このような力を育むためには、ICTの活用なども図りつつ、協働型・双方向型の新しい学びへ移行していくことが求められている」として、初中等教育における確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実の重点を、グループ学習やICTの活用等による協働型・双方向型の授業への革新、学校と家庭・地域との連携の推進を図ることに置いている。その上で、「確かな学力をより効果的に育成するため、言語活動の充実や、グループ学習、ICTの積極的な活用をはじめとする指導方法・指導体制の工夫改善を通じた協働型・双方向型の授業革新を推進する」という方向性を明示している。「ICT活用教育の推進に関する調査研究」報告書（文部科学省, 2011a）では、初中等教育から高等教育にかけて、対面式授業とCALL授業を組み合わせたブレンド型学習（Blended Learning: 以下、BL）の実施、ICTツールの活用普及、ICT活用教育コンテンツ・コースの拡充と質の向上、ICT活用教育の人材育成等を積極的に導入することを推奨している。「ICTを活用した教育の推進に関する懇談会（中間まとめ）」報告書（文部科学省, 2014 : p.32）では、ICT活用の意義として、ICT化が進む社会への対応力の育成とICTの特長を生かすことによる教育の質の向上を挙げ、特に授業の質の向上については、①一斉学習での児童生徒の興味・関心を高める学び、②個別学習での児童生徒一人一人の能力や特性に応じた学び、③児童生徒同士が教え合い学び合う学び

(協働学習)、④特別支援教育における障害の状態や特性等に応じた学習活動の場面で ICT 活用の効果が高いとしている (図 1-1)。また、学びの場の多様化が実現するとして、反転学習や協働的な問題解決学習を挙げ、今後の継続的な実践により、その効果や課題を検証する必要があるとしている。



図 1-1 ICT を活用した指導方法の開発

「ICT を活用した教育の推進に関する懇談会 (中間まとめ)」報告書 (p.32) より引用

平成 26 年度文部科学白書では、「第 11 章 ICT の活用の推進」(文部科学省, 2015:p.362)の中で、教育における ICT 活用はアクティブ・ラーニングの実現に効果的であり、確かな学力の育成に資するとして推奨している。具体的には、「教育の情報化 (第 1 節)」、「映像作品や ICT を活用した教材の普及・奨励 (第 2 節)」、「ICT を活用した情報発信 (第 3 節)」を挙げている。また、ICT の活用による学びの環境の革新や情報活用能力の育成に関する国家戦略における方向性を示している (図 1-2)。

「日本再興戦略-JAPAN is BACK-」(平成25年6月14日閣議決定)(抜粋)	
ITを活用した 21世紀型スキルの習得	2010年代中に1人1台の情報端末による教育の本格展開に向けた方策を整理し、推進するとともに、デジタル教材の開発や教員の指導力の向上に関する取組を進め、双方向型の教育やグローバルな遠隔教育など、新しい学びへの授業革新を推進する。
「第2期教育振興基本計画」(平成25年6月14日閣議決定)(抜粋)	
ICTの活用等による 新たな学びの推進	確かな学力をより効果的に育成するため、言語活動の充実や、グループ学習、ICTの積極的な活用をはじめとする指導方法・指導体制の工夫改善を通じ協働型・双方向型の授業革新を推進する。
教材等の 教育環境の充実	教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数3.6人(※)、教材整備指針に基づく電子黒板・実物投影機の整備、超高速インターネット接続率及び無線LAN整備率100%、校務用コンピュータ教員1人1台の整備を目指すとともに、地方公共団体に対し、教育クラウドの導入やICT支援員・学校CIOの配置を促す。 ※各学校に、①コンピュータ教室40台、②各普通教室1台、特別教室6台、③設置場所を限定しない可動式コンピュータ40台を整備することを目標として算出。
「世界最先端IT国家創造宣言」(平成25年6月14日閣議決定 平成26年6月24日一部改訂)(抜粋)	
教育環境自体のIT化	学校の高速ブロードバンド接続、1人1台の情報端末配備、電子黒板や無線LAN環境の整備、デジタル教科書・教材の活用等、初等教育段階から教育環境自体のIT化を進め、児童生徒等の学力の向上とITリテラシーの向上を図る。 あわせて、教える側の教師が、児童生徒の発達段階に応じたIT教育が実施できるよう、IT活用指導モデルの構築やIT活用指導力の向上を図る。そのため、指導案や教材など教師が活用可能なデータベースを構築し、府省の既存の子供向けページも教材として整理し、積極的に活用する。また、企業や民間団体などにも協力を呼びかけ、教育用のデジタル教材の充実を図る。 これらの取り組みにより、2010年代中には、全ての小学校、中学校、高等学校、特別支援学校で教育環境のIT化を実現するとともに、学校と家庭がシームレスでつながる教育・学習環境を構築する。
人材育成・教育	初等・中等教育段階におけるプログラミングに関する教育の充実に努め、ITに対する興味を育むとともに、ITを活用して多様化する課題に創造的に取り組む力を育成することが重要であり、このための取組を強化する。

図 1-2 国家戦略における記述

しかし、中国語教育・学習の現場では、このような情報化時代、グローバル化時代のニーズに対応する「21世紀型スキル」(表 1-1)を重視した「新しい能力を伸ばす、つながる学び」(久保田, 2012)や、「教育の情報化ビジョン(平成23年公表)」(文部科学省, 2011b)の方針にある、「教科指導における情報通信技術の活用」の試みは不足している。

表 1-1 21世紀型スキル

能力概念	プロジェクト主導 組織機関	カテゴリ(知識、スキル、資質等の指針)
キー・コンピテンシー	OECD (1999~2002)	① 相互作用的に道具を用いる(道具:言語、シンボル、テキスト/知識や情報/技術) ② 異質な集団で行動する(他者とうまく関わる/協働する/紛争を処理し解決する) ③ 自律的に活動する(大きな展望の中で活動する/人生設計や個人的プロジェクトを設計し実行する/みずからの権利、利害、限界やニーズを表明する)
21世紀型スキル パートナーシップ	米国IT関連企業、米 国連邦教育省等の教 育機関・財団 (2002~)	① 教育の核となる教科の知識(国語、読解、数学、化学、外国語、経済、歴史、地理、芸術、政治社会等)と21世紀を生きるために重要な話題分野の内容(グローバル化の影響、ビジネス、経済、保健衛生、環境問題等)

		② 高度の思考能力と学習スキル（高度の思考能力と問題解決能力、創造性、創出性、コミュニケーションの能力、協働能力） ③ テクノロジーのリテラシー、情報とメディアのリテラシー（情報活用能力） ④ 生活能力（リーダーシップ能力、倫理性、説明責任、生産性、自律力、社会的責任感、個人の責任感）
21 世紀型スキル	Microsoft, Cisco Systems, Intel 等企業及び OECD, UNESCO 等国際機関と教育科学の研究者ら (2003～)	① 思考の方法：創造性と革新性、批判的思考・問題解決・意思決定、学習能力、メタ認知 ② 仕事の方法：コミュニケーション、コラボレーション／チームワーク ③ 学習ツール：情報リテラシー、情報コミュニケーション技術／ICT リテラシー ④ 社会生活：市民権（地域及び地球環境）、生活と職業、個人的責任および社会的責任（文化的差異の認識及び需要能力を含む）

「外国語教育のめやす 2012」（當作・中野, 2012 : p.30-31）を元に作成

本研究が取り扱う高校中国語を例に挙げれば、学習指導要領に規定される週 1～3 単位の授業時数で実現できることは多くない。また、中国語科目だけで、「21 世紀型スキル」に求められる知識、スキル、資質の全般をカバーすることは困難である。しかし一方で、英語に比べて担当教員による自由裁量度の高い第二外国語だからこそ挑戦できる学習活動もあるだろう。学習者の好奇心を反映させ、中国語コミュニケーション体験に対する期待を満足させ、学習者にとって意味のある文脈で主体的に中国語を活用させ、母語話者（**native speaker**: 以下、NS）と交流することで相互の文化やアイデンティティを意識化し再認識しながらインタラクションを重ねる中で、自然と支援し合い、様々な気づきを得ながら学ぶ合ような、「協同学習（cooperative learning）」や「協調学習（collaborative learning）」（関田・安永, 2005）を、ICT を活用しながら実現しようとすることはチャレンジングな課題といえよう。むしろ、大学受験という大義に直結しない第二外国語だからこそ、この課題に戦略的に取り組み、作業化した反復学習や断片的な知識の記憶のみからは得られない学習の喜び、満足や成果が実現するするような、学習支援としての教育のあり方を模索できるのではないか。学習した外国語を実際の対話で使用する学習環境を実現するための方略を考えた場合、インターネットを利用して学校間や学級間で情報交換をしながら協同で学習を進める「遠隔学習」や「遠隔協同（協調）学習」が有効な手段のひとつである。しかし、高校の教育・学習環境特有の制限により、容易に導入できないのが現状である。

高校中国語の情報化については全国規模の調査報告等が存在しないため、ICT 活用の現状を網羅的に把握することは難しい。中国語（第二外国語、課外活動、同好会を含む）を開設する高校は 2011 年度の時点で全国に約 800 校余り（図 1-3）となっており、早期中国語教育・学習への関心の高さがうかがえる。しかし、高校中国語教育研究会全国大会の研究発表や各支部大会報告をみると ICT 活用の取り組みは少なく、萌芽期にあるといえる。

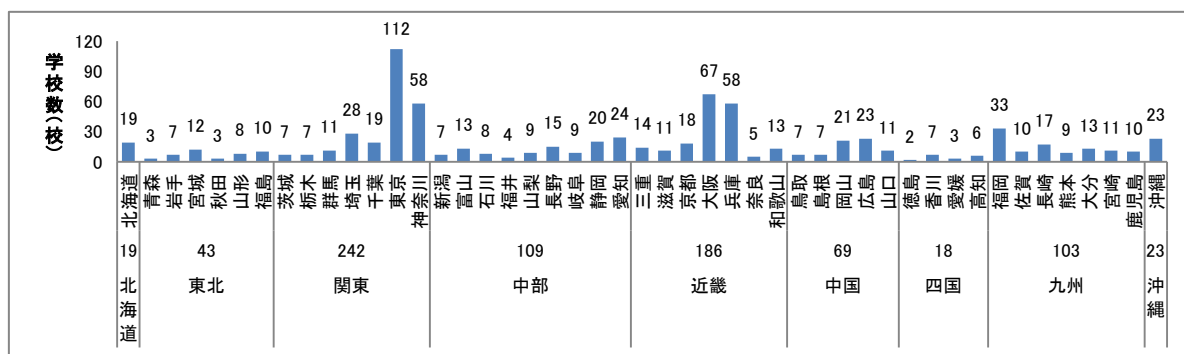


図 1-3 全国の高校における中国語の開設状況

公益財団法人国際文化フォーラム「Ringo（隣語）」, 隣語教育取り組み校リスト
<http://www.tjf.or.jp/ringo/archive/torikumi.php> (accessed 2012.8.29) を参考に筆者作成

高校中国語のための学習指導要綱には、「外国語教育のめやす 2012 高等学校の中国語と韓国語教育からの提言」（當作・中野，2012）がある。これは、中国語と韓国語を「隣語」と位置付け、隣語学習を通じた多様な人びととの「つながりの実現」を目指して、高校中国語に適した教育理念、教育目標、学習目標の設定と、それに基づく授業づくりの理論や具体的な学習内容、学習活動等に関する提言と指針を取りまとめたものである。特に、学習目標として、「総合的コミュニケーション能力の獲得」を実現するための「3 領域×3 能力×3 連繫」というキーコンセプト（図 1-4）を打ち出した点は、従来の教示主義的な教育観からのパラダイムシフトを提言するものであり、同時に、ICT の活用による、広く現実社会に開かれた中国語学習の可能性を広げるための重要な視座を示している。

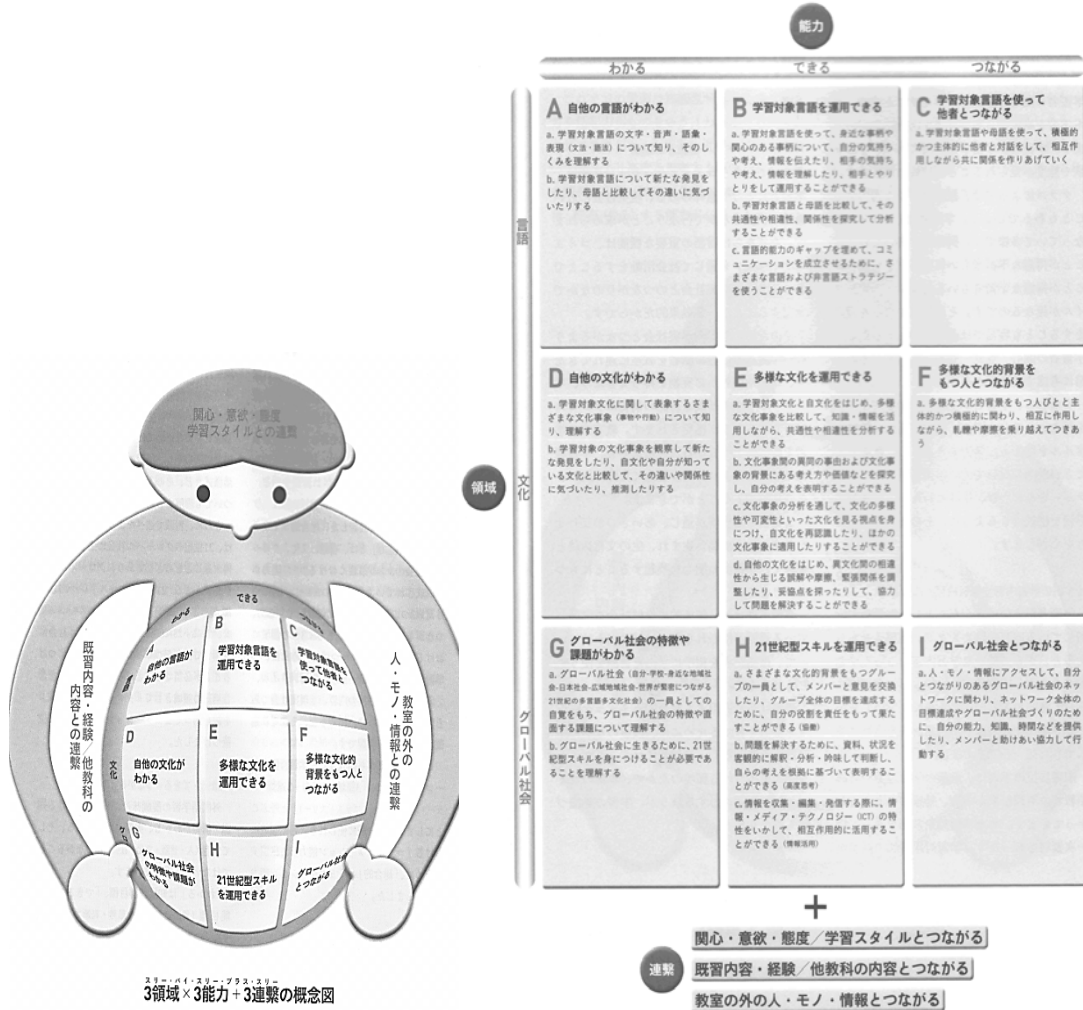


図 1-4 「3 領域×3 能力×3 連繫」のキーコンセプト概念図と内容

「外国語教育のめやす 2012」（p.20, 22）より引用

本研究のフィールドである北海道に目を向けてみると、訪日外国人観光客の急増に伴い、日常生活の各所で中国語 NS と接する機会は確実に増加している。北海道経済部観光局公表の統計によると、北海道における平成 26 年度の外国人来道者数は 135 万 2500 人となっており、円安、航空便の増便やチャーター便の就航、個人観光数次ビザ発給要件の緩和、免税制度の拡充、春節（1～2 月）の中華文化圏の伸び等の理由から、年々過去最高を更新している。中国語による接客やガイドのニーズが見込まれる台湾（約 47 万人）、中国（約 34 万人）、香港（約 12 万人）、シンガポール（約 4 万人）、マレーシア（約 5 万人）で全体の約 82%を占めており、観光地に限らず、駅や交通機関、買物、飲食等、日常生活の様々な

場面で中国語が必要になる機会が更に増えていくことが予想される。将来的な社会的ニーズとして、特に東アジア地域では英語よりも中国語でコミュニケーションを取る可能性が高く、中国語人材の需要は大きいといえるだろう。しかし、中国語学習者が日常的に同世代の NS と交流する機会は多くない。学校教育の中では、学習した中国語を用いて教師以外の NS と頻繁にコミュニケーションする機会はほぼ皆無ではないだろうか。学外で、例えば道行く観光客に対して相手の母語（あるいは公用語）で話しかけるのは非常に勇気のいる行為であり、NS とのコミュニケーション経験がなければ、その一歩はなかなか踏み出せない。学習者が主体的な中国語コミュニケーションを実践する最初のステップとして、例えば下積みのような形で、学校教育の中で、教師の支援の下、中国語 NS とのコミュニケーションに徐々に慣れていくプロセスが必要である。

一方で、情報化社会の発展を考えると、個人のモバイル端末を利用してインターネットを日常的に利用し、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（social networking service, 以下、SNS）や動画投稿サイト等を通じた情報伝達を頻繁に行う時代を迎えている。学校の連絡網が SNS（LINE 等）で運営されていることも珍しくない。海外の家族や友人とインターネット電話やビデオチャットを利用して連絡を取り合うことも当たり前のように行われている。学習におけるインターネット活用も普及し、世界中のオープンリソースにアクセスしながら現実社会に対して「開かれた学習」を行うことが可能となった。しかし、日本の学校教育の現場では、授業中に個人所有の ICT ツールを積極的に利用することを推奨する気風には至っていない。むしろ、中学や高校では、学習内容とは無関係な情報を閲覧する、SNS で友人と通信する、オンラインゲームで遊ぶ等、学習者が授業に集中しなくなるという弊害を避けるために、学内でのモバイル端末の使用を禁止する傾向にある。しかし残念ながら、ICT ツールの利用を禁じてリスク管理を図ったとしても、情報化の潮流には逆らえない。むしろ、授業中に教師の支援とコントロールの下で ICT ツールを利用し、教師と学習者が共に課題に直面し解決するプロセスを繰り返しながら、最適な活用方略を模索する態度が重要であろう。

中国語の授業で ICT の活用と遠隔学習を行うことを想定し、日本と中国の間で SNS や動画投稿サイトを用いた交流を実施しようとした場合のボトルネックのひとつに、中国政府によるインターネット規制・管理と自由度の低下がある。開発コストを抑えて既存の交流プラットフォームを利用しようとした場合、日本でユーザの多い Facebook、Twitter、Google、YouTube 等は中国国内からの閲覧が制限されている。そのため、日本側が中国でユーザの

多い新浪微博（Sina Weibo）やテンセント QQ 等を利用することになる。このような海外のプラットフォームを学習者が利用する場合、言語の障壁やセキュリティ面の不安があり、推奨しかねることは否定できない。しかし見方を変えて、教師が信頼関係に基づき選抜した中国側の学校と、安全が担保された環境（教師個人のパソコンやソフトウェア、学内 LAN に接続しない通信サービス等）を用いて交流することを検討すればどうか。環境開発・整備のコストをかけず比較的スムーズに小規模な交流を開始でき、参加者も相互に安心して交流できる。交流に向けた準備から遠隔交流までの一連のシステムとプロセスを適切に設計すれば、遠隔交流を核とした協調学習を実施してオーセンティック（真正）な中国語コミュニケーションが授業の中でも実現する。このような、学校でしかできない ICT 活用の学習環境の設計と運営を検討すべく、遠隔交流を活用し、学習活動と交流実践に基づく成果と課題を探究することは有意義である。

1.2 研究の目的

外国語教育においては、従来のように量的な訓練で言語の知識と運用技能を向上させることに偏らず、NS との対話を重ね、作業化した学習や断片的な知識の記憶のみからは得られない、学習体験や交流のプロセスそのものを楽しむというコンサマトリー（自己充足的）な価値も忘れてはならない。全人教育の重要性を考慮すれば、未知の世界や人と接して知ることや、様々な背景を持つ人々と対話するあらゆる経験が人格形成の要素となる。学習者が主体的にあらゆる機会を利用し、ポジティブな態度で学習に取り組み、その過程で自分にとって有効な方向へと自らを導くような生存能力を育成することが重要であり、外国語教育・学習の広い意味での目的はここにある。外国語の知識と流暢に話せるスキルを習得することだけを目的とせず、その先に、現実社会の学習者と密接に関連した状況で実際に外国語を活用し、多様な文化に生きる他者との対話を通じて相互理解を深める努力を尽くし、人と人との感情を交流させ、各人各様のインタラクションを経験することが想定されなければならない。教育現場において、このような対話型交流の場を設定し、学習を通じて知識や技能と経験が有効に連携するような学習支援を提供することが必要である。

本研究の目的は、中国語 NS と対話する経験そのものを学習の核とすることで、その経験が学習意欲や情意にどう影響するかという態度や認識の傾向の変化を知ると同時に、学習者が何をどのように学習するのか、学習者にとってそのような学習経験が得られるのか、それは学習者にとってどのような意味を持つのかという、学習のプロセスで獲得される経

験、成果及びその価値を明らかにすることにある。従来の知識蓄積型の教育方針では軽視されがちであった、学習者ニーズに基づく授業設計、学習のプロセス、学習者視点の評価に重きを置く点が特色である。そのための方略として、インストラクショナル・デザインの理論的枠組みに基づき、高校中国語のフィールドにおいて、対面授業による語彙・文法学習、e ラーニングによる ICT 活用技能訓練、日本と中国の学生間の遠隔交流という 3 つの学習形態を有機的に組み合わせた BL の設計と実践を行い、その成果を量的データ分析と質的データ分析を統合する混合研究法（Mixed methods research）のアプローチで評価する。量的分析では、授業設計、遠隔交流、学習成果に関する授業評価アンケートを実施し、学習者の学習意欲と情意（態度や認識）の変化を明らかにする。その一部に学習意欲のデザインに関する ID である「ARCS-V モデル」（ケラー，2010）の要因を援用したアンケートを実施し、統計分析を行う。質的分析では、授業記録のノートと遠隔交流の動画を用いて交流のプロセスを分析することで、学習者が BL のプロセスで何を経験し、どのように学習し、どのような学習成果を獲得していったのかを明らかにする。遠隔交流については、学習者の感想を SCAT（Steps for Coding and Theorization）（大谷，2008b, 2011）を用いて解釈し再文脈化して、一定の理論化を試みる。さらに、授業評価アンケートの自由記述を質的に分析し、学習者視点の具体的な評価を解釈することで、学習の経験、成果及びその価値を探究する。

1.3 研究の意義と期待される成果

従来、高校の第二外国語科目としての中国語の教育目標や学習目標は英語教育に準じるものであり、学習指導要領にもそのように記載されている。すなわち、言語コミュニケーションの 4 技能を総合的に向上させ、理想説としての「ネイティブ＝標準」（大平，2001）に近づくことを目標とし、語彙の習得、文法能力の定着及び言語運用技能の向上を目標として個別の学習項目やタスクを設定し、教師中心型、知識蓄積型の教育が行われている。そのため、中国語教育・学習の分野においては、学習者の知識と技能の向上あるいは語用論上の誤りを減らすことを目的として教育効果を量的研究のアプローチで測定して検証、評価する事例研究が多い。中国語は往々にして非常勤講師を中心とする指導体制であり、通常は採用した教科書の文法項目に従いシラバスを作成し、開講期間内に学習項目の指導を完了して、試験により成績を評価するという、線形で断片的なサイクルを繰り返す傾向にある。講師がカリキュラムを理解した上で個性を発揮して、学習者のニーズに配慮した

ID を設計し授業実践を行い、独自の評価指標を導入することはまれである。

また、中国語教育・学習における ICT 活用を考えた場合、高等教育における研究は増えつつあるが、大部分は学習管理システム (learning management system: 以下、LMS) で運用できる e ラーニング教材の開発と応用 (授業運営、タスク進捗確認、出席や成績の管理) に留まっている。遠隔交流を取り入れた実践研究もあるが、一方向的な講義配信や、イベント的位置付けの遠隔交流と事後の感想のまとめに過ぎず、教育・学習にとっての有効性や成果は明らかにされていない。とりわけ高校中国語では、学校の設備機器やネットワーク環境の利用制限により遠隔交流の実践そのものが困難であり、講師が「ICT に弱い」場合や、交流のための人脈を持たない場合も多く、「やってみたいがどうやればいいのかかわからない」という課題が残されている (杉江, 2011a)。学習者が日ごろから巧みに活用している ICT (パソコン、タブレット PC、スマートフォン等のモバイル端末とインターネット等) を学習ツールとして授業に積極的に導入し、中国語 NS との遠隔交流を実践し、学習のプロセスや学習経験を詳細に分析して、方略、成果、課題を示した実践研究は見当たらない。

したがって、本研究の意義は次のようにまとめられる。第一に、(1) 高校中国語のフィールドにおいて、年間学習計画に始まり、ID を検討して日本と中国の学生間の遠隔交流を取り入れた BL を開発するという授業設計、(2) 学習者が NS を相手とする真正なコミュニケーションの中で、授業で学習した中国語を活用できたという確かな実感を得られるように、学習者ニーズに基づき学習目標と学習活動 (タスク) を設計するという授業づくりの理念、(3) 交流の準備から実践までのプロセス全体を通じて ICT を積極的に活用する学習形態と指導方法の 3 点において、従来の中国語教育・学習の実践研究にはない新規性を有する。第二に、日本と中国の学生間の継続的な交流を含む BL を通じて得られる学習経験を、「学習者は BL を通じて何がどれだけ成長 (変化) したか」という量的な側面と、「学習者は何をどう学習し、どのような学習成果や価値を見出したか」という質的な側面を統合して探究する分析アプローチを採用することで、従来の中国語教育・学習では見逃されてきた新たな成果や課題を発見し、今後の学界の発展に寄与する可能性が高い。第三に、遠隔交流や遠隔学習は主に高等教育で行われており、高校をフィールドとした実践は稀少であるため、高校中国語に適した BL モデルとその運用方法を詳細に検討することによって、情報化時代、グローバル化時代に適した学習環境や指導方法を構築する上で有効な知見が得られると予想される。

このように、本研究は遠隔交流を活用したブレンド型学習のための ID 及び BL モデルの

開発を戦略として、単調で無機質な e ラーニング課題（タスク）の反復作業や「暗記させられた」単語や文法の断片的な知識からは決して得られない、リアルで人間性あふれるインタラク션을組み込んだ新たな BL を実践し、その成果を量と質の両面から統合的に探究する。本研究から得られる実践上の方略、成果及び課題は、中国語のみならず、ICT 活用の外国語教育・学習に関する実践研究全般の改善や発展に貢献するであろう。

1.4 本論文の構成

本論文は、本章を含めて全 8 章で構成される。

第 1 章では、研究の背景、研究の目的、研究の意義と期待される成果、論文全体の構成及び用語と定義について説明した。

第 2 章では、外国語教育全般から中国語教育へと関連領域を絞りながら、ICT 活用、遠隔学習、BL についての先行研究の成果と課題を概観する。その上で、本研究の学術研究上の位置づけを確認する。

第 3 章では、研究の概要、ID の理論と代表的なモデル、本研究で設計した第二外国語としての中国語のための ID 及び遠隔交流を活用した BL モデルについて説明する。

第 4 章では、遠隔交流を活用した BL を実施するにあたり必要な準備、年間学習計画と BL モデルのデザイン、学習者ニーズに合わせて独自に開発した教材、授業実践に必要な設備機器やデータ管理のためのネットワーク環境、アンケートデータ収集のための Web サイト構築について述べる。

第 5 章では、日本側の高校生の学習活動及び日本側と中国側の学生間の遠隔交流の内容について交流テーマごとに解説する。全 9 回の遠隔交流を記録した動画を元にスクリプトを作成し、学習とインタラクシヨンのプロセスを解釈して記述する。また、学習者が遠隔交流中に使用した語句と表現について一覧表の形式で分類し、学習の成果として示す。

第 6 章では、データ分析のアプローチである混合研究法について説明した上で、ARCS-V モデルを援用した学習意欲のデザインの要点を示す。これらの理論的枠組みに基づき、データの種類と収集方法を説明し、遠隔交流を活用した BL が学習者の学習意欲と情意に与える影響を明らかにするための量的データ分析の結果と、BL のプロセスで創出された学習経験、成果及びその価値を探究することを目的とした質的データ分析の結果を示すと共に、概念図を用いて可視化する。

第 7 章では、第 5 章と第 6 章の結果を統合し、学習者視点、インタラクシヨンのプロセ

ス、教育的観点という 3 つの側面から、本研究の ID 及び遠隔交流を活用した BL によって創出された価値について述べる。また、創出された価値に基づき、本研究の ID 及び BL モデルとしての有効性及び学術的成果と意義についてまとめる。

第 8 章では、本研究を通じて明らかとなった結論を総括し、本研究で解決できなかった残された課題をまとめ、それらの課題の解決に向けた今後の方向性について簡潔に述べる。

1.5 用語と定義

本論文では、以下の用語と定義を採用する。

1. ADDIE モデル

インストラクショナル・デザインの基本モデルである。(1) Analyze (分析)、(2) Design (設計)、(3) Develop (開発)、(4) Implement (実施)、(5) Evaluate (評価) の 5 つの段階で構成され、各段階の頭文字を取って「ADDIE」モデルと呼ばれる。詳細は「3.2.1 ID の代表的なモデル」(p.39)を参照のこと。

2. ARCS モデル

教育活動の魅力を直接的に扱った代表的な ID モデルのひとつであり、Keller (1983) が提唱した。学習意欲を高める要因として、「注意 (Attention)」、「関連性 (Relevance)」、「自信 (Confidence)」、「満足感 (Satisfaction)」の 4 要因に整理した ARCS モデルに、第 5 の要因「意志 (Volition)」が追加され、拡張版動機付けモデルとして学習意欲デザインの第一原理「ARCS-V モデル」に改訂された。詳細は「3.2.1 ID の代表的なモデル」の (4) ARCS モデル (p.43) 及び付録 15 を参照のこと。

3. CCDL (Cross-Cultural Distance Learning)

国際間の異文化間交流や多言語交流を活用した遠隔学習をいう。本研究では、早稲田大学が 1999 年から行ってきた多言語遠隔交流をいう。詳細は「2.3 中国語教育・学習におけるブレンド型学習」(p.30)を参照のこと。

4. CMS (Course Management System)

ウェブコンテンツを構成するテキストや画像、レイアウト情報等を一元的に保存・管理し、サイトを構築したり編集したりするオープンソースソフトウェアをいう。Wiki やブログ等のタイプがあり、教育や学習に広く用いられている例として、Moodle (<https://moodle.org/>) や WordPress (<https://ja.wordpress.org/>) 等がある。

5. e ラーニング

狭義の e ラーニングとは、「Web Based Training (WBT)」と呼ばれるものを指す。形態ごとに、同期（オンデマンド）型と非同期型に分類され、Web ブラウザ、インターネット（又はイントラネット）上の情報、システム等を通じて教材等のコンテンツが配信される。現在では、WBT のみではなく、「他者からの最小限のサポートや介入で、誰でも容易にアクセス可能で必要な内容を即座に入手できるよう統合・整備された、業務遂行を支援する各種情報、ツール、システム」としての EPSS (Electronic Performance Support System) や、「企業活動にかかわる個々の知識や知識資産を組織的に集結、共有することで効率を高めたり価値を生み出したりすること、及びその仕組み」としての KM (Knowledge Management)、「グループによる協調作業を支援するために、インターネット（又はイントラネット）を利用して情報共有やコミュニケーションの効率化をはかるソフトウェアやシステム」としてのグループウェアを連携させる手法が普及している。広義の e ラーニングとは、衛星通信、ビデオ会議システム、CD や DVD 等の各種マルチメディア機器、モバイル機器（スマートフォンや iPad 等）、電子ゲーム機器（ニンテンドーDS やプレイステーション等）を活用した学習も含まれる（日本イーラーニングコンソシアム，2008；杉江 2011a）。

6. ICT を活用した教育、ICT 活用教育

情報通信技術（Information and Communication Technology）や情報機器を教育や学習の活動に導入する動きをいう。電子黒板、パソコン、タブレット端末等のハードウェアや視聴覚映像等のデジタルコンテンツ、プレゼンテーションソフトウェア等を活用することで、授業の魅力向上や作業効率化を図ることをねらいとしている（文部科学省，2010）。

7. SCAT (Steps for Coding and Theorization)

大谷（2008b, 2011）が提唱する質的データ分析のためのステップ・コーディングと理論化の手法である。グラウンデッド・セオリーを中心とする質的研究の理論に基づき開発された分析手法である。詳細は「6.5.2 学習者視点の学びの経験と成果の意味づけ」（p.290）を参照のこと。

8. アクティブ・ラーニング

教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディ

バート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である（文部科学省，2012）。

9. イテレーション

ソフトウェア開発において、ウォーターフォール型開発に対してアジャイル開発の特徴である、短い間隔で反復しながら行われる開発サイクルをいう。イテレーションを繰り返す開発手法をイテレーティブ型開発と呼ぶ（樽本，2012）。本研究では、3つの学習形態を1つのサイクルとするBLモデルを設計し、それを1つのイテレーションにとらえ、そのような短期間のBLモデルのイテレーションを繰り返し実践するというイテレーティブなIDを開発した。詳細は「3.3 第二外国語としての中国語のためのID」（p.49）を参照のこと。

10. インストラクショナル・デザイン

IDとは、教育を短期間で効率よく行う手法であり、教育製品（たとえば教育コース、教材、教育実施等）を開発、実施するために、情報を分析し統合し評価することである（日本教育工学会，2000）。鈴木（2005）はIDについて、「教育活動の効果・効率・魅力を高めるための手法を集大成したモデルや研究分野、またはそれらを応用して学習支援環境を実現するプロセスのことを指す」と定義している。詳細は「3.2 インストラクショナル・デザイン（ID）について」（p.35）を参照のこと。

11. インタラクション

AとBの間に、一回的もしくは継続的なかたちで直接的あるいは間接的接触が行なわれ、なんらかの影響がもたらされる場合、両者の間には相互作用があるという（ブリタニカ国際大百科事典）。本研究では、日本の高校生と中国の大学生が互いに交流の当事者として認識し合い、学習した語彙・文法・表現を自身にとって意味のある文脈の中で駆使しながら、時間・空間・活動内容を共同体験し、その場でやり取りされる全ての情報とそのプロセスを含む関係を共有することをインタラクションとしてとらえ、これを実現する学習のあり方をインタラクティブな学習と捉える。

12. 遠隔学習（Distance Learning）

インターネットや衛星回線等を通じて、遠隔地で教育を受けること。大学等の教育機関が近隣にない場合でも講義を受講できるほか、双方向システムにより質問や議論を交わすことも可能となっている（デジタル大辞泉）。本研究では、学習した外国語を実際の対話で使用する学習環境を実現するための方略として、インターネットを利用して学校間や学級間で情報交換をしながら協同で学習を進める「遠隔協同（協調）学習」を実施した。

13. 概念図

本研究では、質的分析及びテキストマイニングにおいて、遠隔交流を活用した BL に参加した学習者にとっての経験、成果及びその価値に関する概念を解釈した。その結果を把握しやすいように可視化して描画したプロセス図や概念の関係を表す図をいう。

14. 学習管理システム (learning management system)

e ラーニングなどで、学習者の成績や学習教材などを教師が統合的に管理するためのシステム。学習者自身が自分の学習の習熟度を把握できるほか、学習者どうしまたは学習者と教師の間でコミュニケーションを図るための電子掲示板 (BBS) の機能をもつものなどがある (デジタル大辞泉)。

15. 学習成果 (learning outcomes)

授業科目、プログラム、教育課程等における所定の学習期間終了時に学習者が獲得し得ると期待される知識や技術、態度等の効果を言う (高等教育質保証用語集)。本研究では、学習者が遠隔交流を活用した BL を通じて獲得した学習活動及び交流の経験と、それらの経験に基づき学習者が「できた」あるいは「できるようになった」ことを、現象も成果物も同等に学習成果とみなす。また、学習者自身による成果の認識や価値付けも学習成果のひとつとしてとらえる。

16. 教育効果 (educational effectiveness)

教育的介入によって様々な影響が与えられた結果、学習者にとっての有益な変化をいう。一般的に、量的に数値で計測できるデータを根拠として測定される。最終的には、教育活動の効果や効率を定着させたり向上させたりすることが目的である (高等教育質保証用語集)。

17. 形成的評価 (formative evaluation)

指導の途中でそこまでの成果を把握し、その後の学習を促すために行う評価のこと。学習者が現段階でどの程度教育目標を達成できているかを見る。形成的評価を行うことにより、学習者は自分自身の習得度を知り、学習活動を調整したり、的確な復習を行うことができる。教える側は達成度の低い学習者への個別対応が可能になるほか、カリキュラムや指導方法、教材等を改善できるという利点がある。なお、形成的評価のために行うテストのことを形成的テストとよぶ (ナビゲート ビジネス基本用語集)。

18. 混合研究法 (Mixed methods research)

調査研究のプロセスにおいて、データ収集、分析の方向性、結果の解釈等の多くのフェー

で、質的と量的アプローチを混合して採用する研究の方法論あるいは研究手法という。その前提は、量的アプローチと質的アプローチを併せて用いる方が、どちらか一方だけを用いるよりもさらなる研究課題の理解を生むことである。詳細は「6.1 混合研究法について」(p.248)を参照のこと。

19. コンサマトリー (consummatory) , 自己充足的

行為や関心の志向、あるいは、それらの基準となる価値の性質を示す対概念。自己充足的とは、それ自体が主体の欲求を充たす行為や関心の志向を意味する。タルコット・パーソンズは、行為者の動機によって、行為の志向性を認知的、カセクシスの、評価的に区分し、そのうち、評価的行為志向を、道具的、表出的、道徳的に区分した。表出的 (expressive) 志向の行為とは、即時的な欲求充足を目的とする行為を意味し、自己充足的 (consummatory) であるという。ある行為が自己充足的か道具的か、あるいは双方の志向を兼ね備えるかは、その文脈や行為者に依存し、行為自体に規定されるわけではない。例えば、会話についても、ある内容を伝達することを目的とする場合は道具的だが、コミュニケーションを遂行すること自体に意味がある場合は自己充足的なものといえる (高谷, 2012)。本研究では、中国語学習者にとっての遠隔交流は、学習した知識や訓練した技能を実践する機会として道具的な価値を持つだけでなく、対話やインタラクションの行為そのものに楽しみや喜びを感じる、コンサマトリーな価値も持つ経験として位置付ける。

20. 自己効力感 (self-efficacy)

人が何らかの課題に直面した際、こうすれはうまくいくはずだという期待 (結果期待) に対して、自分はそれが実行できるという期待 (効力期待) や自信のことを自己効力感という。心理学者のバンデューラが唱えた概念で、動機づけに大きな影響を及ぼす要因の 1 つと考えられている。自己効力感は、その行動を実際に始めるかどうか、どのくらい努力を継続するか、そして困難に直面したときにどのくらい耐えられるか、ということを決定づける。自己効力感を高める方法として、成功体験、代理体験 (同じような能力の人間が努力し成功しているのを見る)、言語的説得 (励まされる)、生理的状态 (心身の状態が良好なこと) の 4 つが挙げられる。この中でもっとも強い効力感が期待できるのは成功体験だが、たやすく成功するのでは意味がなく、忍耐強い努力によって障害を乗り越える体験が必要とされる (ナビゲート ビジネス基本用語集; モチベーションアップの法則 <http://www.motivation-up.com/>)。

21. 新浪微博 (シナウェイボー, Sina Weibo) <http://www.weibo.com/>

中国のメディア運営、広告会社である新浪公司（シナ, SINA Corporation）が運営するミニブログサイト。Twitter と Facebook の要素を併せ持ち、中国で人気の高い SNS のひとつである。（新浪微博オフィシャルパートナー Find Japan <http://www.find-japan.co.jp/>）

22. 社会構成主義 (social constructionism)

質的研究の哲学的仮定に基づく理論的視座であり、解釈主義的伝統の一部である。自然科学研究では伝統的に実証主義的理論が採用されており、簡潔性 (parsimony)、一般性 (generality)、普遍性 (universality) を目的として、経験的な対象や出来事を、その概念によって包括されるものに還元する。これに対して解釈主義的理論は、説明よりも理解 (understanding) を強調するものであり、理論から得られる理解は、研究者による現象の解釈に依存する。解釈主義的理論は、因果関係を求めるよりも不確実性を許容し、直線的な推論よりもパターンや相互の関係を示すことを優先する。また、この理論的アプローチは実践と行為を重視し、知識と理論は特定の立場や視点、経験の中に埋め込まれ位置付けられているものとしてとらえる（シャーマズ, 2008）。本研究では、教師と学習者と交流相手が構築する学習のプロセス、インタラクションを通じて得られる学習者視点での学習経験、成果及びその価値を探究する。

23. ストーリーライン

SCAT の分析プロセスにおいて、「<1>テキスト中の注目すべき語句」、「<2>テキスト中の語句の言い換え」、「<3>左を説明するようなテキスト外の内容」、「<4>テーマ・構成概念」に基づき解釈した概念を再文脈化したもの。詳細は「6.5.2 学習者視点の学びの経験と成果の意味づけ」(p.290) を参照のこと。

24. 総括的評価

指導の最後に、学習の成果を総合的・全体的に把握するために行う評価のこと。指導内容全体を対象とするテスト等を行い、学習者の最終的な達成度を確認する。具体的には認定テストや年度末テスト、成績評価等が挙げられる。総括的評価であっても、より長い指導期間の中に位置づけられ、次段階の学習を促す場合は、形成的評価の側面をもつといえる（ナビゲート ビジネス基本用語集）。

25. テンセント QQ (Tencent QQ) <http://im.qq.com/pcqq/>

中国の騰訊会社が提供しているインスタントメッセージング (IM) の名称である。QQ は 1999 年に提供が開始された。無償で利用可能であり、中国国内では最も一般的な IM として知られている。ユーザーアカウント数は 6 億に上るとも、また中国の IM ユーザーの

99 パーセントは QQ を利用しているとも言われている (IT 用語辞典バイナリ; 中国ソーシャルメディア雑記 <http://blog.livedoor.jp/osschina/search?q=QQ>)。

26. トライアングレーションデザイン

量的データ分析と質的データ分析をそれぞれ行い、結果を統合的に解釈する混合研究法のデザインである。本研究では、収斂モデルを中心に、データ変換モデルを部分的に採用する。また、「方法のトライアングレーション」「データのトライアングレーション」「理論のトライアングレーション」「研究者のトライアングレーション」の 4 つのタイプ (Denzin, 1989) があるが、本研究は (1) (2) (4) のトライアングレーションに該当する。詳細は「6.1 混合研究法について」(p.248) を参照のこと。

27. フィールドノート (field notes)

質的研究における古典的な文書化の方法であり、研究者が調査現場にいるときに、そこでの観察や考察について書きとめたものをいう (フリック, 2011 : p.633)。調査地で見聞きしたことについてのメモや記録 (の集積) 及び調査者が現場にインテンシブかつ密接な形で参加した体験と観察を記述した報告が含まれる。Richardson (1994 : p.527) は、「現場での見聞を扱う観察ノート」、「方法がいかに適用され、状況をいかに枠づけるのかに関する方法論的ノート」、「グラウンデッド・セオリーの研究者がメモと呼ぶものに相当する理論的ノート」、「調査日記・日誌の意味での個人的ノート」という 4 つのカテゴリーを挙げている。本研究では、「現場での見聞を扱う観察ノート」及び「調査日記・日誌の意味での個人的ノート」の機能を持つノートを質的データとして記録した。

28. フィラー

「発話を埋めるもの」というような意味で、話し手が、発話算出過程における時間的制約に対処する主要な言語的手段のひとつだと考えられる。フィラーの定義は、「間つなぎ」、「言いよどみ」といった意味で用いるタイプと、「命題的内容に関わりを持たない発話」というように定義し、「はい」、「うん」、「ほら」、「ね」など必ずしも間つなぎ・言いよどみ的でない要素までも含めた広い意味で用いるタイプの 2 つに分けられる (大工原, 2010)。本研究では、前者の間つなぎや言いよどみとしての発話をフィラーとみなす。

29. プラットフォーム

コンピュータにおいて、ソフトウェアが動作するための土台 (基盤) として機能する部分のことである。例えば、アプリケーションソフトウェアにとってのプラットフォームといえ、オペレーティングシステム (OS) の種類や環境等を指す場合が多く、また、OS

にとってのプラットフォームといえ、CPU をはじめとするハードウェアのアーキテクチャを指すことが多い (IT 用語辞典バイナリ)。

30. ブレンド型学習 (Blended Learning)

対面式授業と CALL 授業を組み合わせた授業形態をいう (日本イーラーニングコンソシアム, 2008)。本研究では、(1) 語彙・文法学習を中心とする対面授業、(2) ICT 活用の学習を中心とする e ラーニング、(3) 日本と中国の学生間の遠隔交流という 3 つの学習形態を有機的に組み合わせた循環型の学習プロセスを設計し、「遠隔交流を活用したブレンド型学習モデル」と定義する。

31. マルチモーダルコミュニケーション

多人数インタラクション (複数の人間による対面交流) においては、言語や音声の発話のみならず、身体動作 (視線や身振り) も対話を構成する重要な要素となる。このような複数のモダリティにより構成される性質をマルチモダリティといい、マルチモダリティの統合としてのコミュニケーション全体をマルチモーダルコミュニケーションという (坊農・高梨, 2009)。

32. メディア・リテラシー

情報が流通する媒体 (メディア) を使いこなす能力。メディアの特性や利用方法を理解し、適切な手段で自分の考えを他者に伝達し、あるいは、メディアを流れる情報を取捨選択して活用する能力のこと (IT 用語辞典 e-Words)。

33. 螺旋型 ID モデル

ID のタイプとして、単純で要素間に断絶のある線形のプロセスモデルに対して、要素間の相互依存的な関係と段階的な成熟を明示的に表現した循環型のモデルをいう。詳細は、「3.2.1 ID の代表的なモデル」の (6) Kemp モデル (p.45) を参照のこと。

34. ラポール

主として 2 人の人々にある相互信頼の関係。すなわち、「心が通い合っている」「どんなことでも打明けられる」「言ったことが十分に理解される」と感じられる関係 (ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典)。本研究では、教師と学習者の間に築かれた相互信頼関係をいう。

主な用語と定義は以上であるが、必要に応じて各章の関連する内容を記述する際に定義及び説明を加える。

第2章 先行研究

本章では、外国語教育全般から中国語教育へと関連領域を絞りながら、ICT 活用、遠隔学習、BL についての先行研究を概観する。第一節「外国語教育・学習における遠隔学習」では、外国語教育・学習における ICT 活用のうち、遠隔学習に関する実践研究の少なさから今後の発展が期待される領域であることを確認した上で、日本における外国語教育の代表格である英語教育における遠隔学習の先行研究を大学英語教育大全及び学術論文から取り上げ、その成果と課題をまとめる。第二節「中国語教育・学習における ICT 活用」では、教育工学、e ラーニング、中国語教育の関連学会学会誌に投稿された先行研究における成果と課題を確認し、本研究の研究関心と研究方法が当該分野では希少であり、その新規性及び独自性と実践研究の意義を示す。第三節「中国語教育・学習におけるブレンド型学習」では、大学と高校における中国語教育・学習の分野で遠隔交流を活用した BL を実践した先行研究を学術論文から取り上げ、その成果と課題を示すと共に、本研究の位置づけとして、それらの先行研究では探究されてこなかった課題を扱い新たなアプローチで成果を探究するという独自性と革新性を示す。

2.1 外国語教育・学習における遠隔学習

外国語教育及び学習における ICT 活用は、90 年代以降、高等教育を中心に実践されてきた。2000 年以降に発行された教育工学と中国語教育関連学会の過去 10 余年の学会誌を俯瞰すると（表 2-1）、教育・学習用ツールの電子化、デジタル教材やオンライン学習コンテンツ開発、学習進捗確認や成績管理の自動化・効率化のための LMS やプラットフォーム開発、スマートフォンやタブレット PC のアプリを用いたコンテンツ作成や実物教材学習等が従来の研究の主流となっている。遠隔協同（協調）学習の研究はわずか 6 件で、中でも学習者視点での評価を扱った研究は見当たらない。また、実践そのものが少ないために、中国語と他の外国語との効果や課題における領域横断的な比較研究も行われていない。

表 2-1 外国語教育における ICT 活用の先行研究

学会	学習言語	ICT 活用形態	論文数
日本教育工学会 (JSET)	中国語	モバイルラーニング, LMS, e ラーニング教材, CAI	3
	英語	モバイルラーニング, 音声認識機能, 翻訳機能, コンテンツ DB 化, Web-Based Training, ブレンド型授業, CALL	3
		遠隔協同 (協調) 学習	1
	日本語	ビデオ作成, コーパス (作文支援システム, オノマトペ習得支援システム)	2
		遠隔協同 (協調) 学習	1
	独語	モバイルラーニング	1
	全般	遠隔協同 (協調) 学習 (物語作成)	1
教育システム情報学会 (JSiSE)	中国語	ブレンド型授業, e ラーニング	3
	英語	デジタル教科書, e ラーニング (語彙, 多読支援), SNS, リスニング支援のための Web 教材活用	4
	韓国語	モバイルラーニング, e ラーニング	3
	日本語	e ラーニング (読み仮名学習, リスニング支援, ドリル), SNS, 評価システム (発音, 作文)	6
	全般	国際共同学習, 遠隔協同 (協調) 学習	2
e ラーニング教育学会 (WELL)	中国語	Web 辞書, LMS	2
	英語	コーパス, テキストチャット, テストシステム (採点集計, TOEIC), CALL, ESP (医学英語・生涯学習・工学英語) のための e ラーニング	11
		遠隔協同 (協調) 学習 (テキストチャット)	1
	韓国語	Web 辞書	1
	日本語	e ラーニング (コロケーション学習), パワーポイント活用, Moodle	3
	独語	e ラーニング, CALL	1
	仏語	多言語 e ラーニング, CALL	2
	全般	ソフトウェア活用, ゲーム教材, LMS, ポッドキャスト	3
中国語教育学会	中国語	e ラーニング (語彙, 発音, ゲーム教材等), マルチメディアコンテンツ作成, モバイルラーニング, インターネット (Web アプリ), コンテンツ DB 化	6
		遠隔協同 (協調) 学習	1

日本において主要な外国語科目である英語については、「英語教育におけるメディア利用」(見上・西堀・中野, 2011)の中で、次のようにまとめられている。まず、「ICT 技術の発達に伴い、自国にしながら世界の若者たちが話し合い、お互いの理解を深めることが可能な時代を迎えた」ことを背景として、「ICT を活用すれば、本来の英語教育の目的、すなわち、海外の学生たちとコミュニケーションの場の提供が可能」であるとしている。なお、同書では、「このメリットを最大限に活用した遠隔授業 (異文化交流実践) の事例を、非同期型と同期型、また、多地点、接続の遠隔授業等にわたって、授業形態や各種の機能を紹

介」し、これに基づき、「実践的な授業方法論と授業効果の検証例をまとめ、教育効果と授業改善を提示」している。

同書における代表的な実践事例（見上他，2011：pp.3-36）として西堀は、遠隔協調学習を応用レベルのコミュニケーション能力育成を目的するものと位置付け、ネットワーク利用の運用機会を提供し、eメール/チャット/ウェブ掲示板/KB（Knowledge Building：知識構築）/フォーラム/TV 会議システムを使用するスキルや能力を前提として、一斉授業・グループ学習、インタラクション型、グローバル運用（遠隔協調学習）の授業あるいは学習の形態を採ると述べている。また、英語の基礎的訓練、専門・職能に関する能力（入試・資格試験）、学習者レベルの多様化に必要なスキル・能力は、主に「structural な（言語の構造に関する）教授法」に分類され、コミュニケーション能力は、主に「cognitive な（認知に関する）教授法」や「sociocognitive な（社会認知や状況論に関する）教授法」に分類されるが、1 種類で授業の全側面をカバーすることは困難であり、ブレンディッド・ラーニングの形態が最適であると指摘している。

研究事例としては、大学の英語ライティングの授業（必修科目）において、グローバルな言語活動による「国境のない教室」での協調学習を目的として、表 2-2 のような 11 種類の言語活動から構成されるブレンディッド・ラーニングの実践がある。ツールは、テキストチャット、投票機能付き電子掲示板（BBS）を活用し、それらを「協調場」（協調学習プロセスをたどっていく場所）として日本と海外の学生のコミュニティが形成されている。協調学習では、外界との相互作用によって学習が促進され则认为、コミュニティ内での活発なインタラクション（相互作用）を生み出す支援環境を構築している。学習者は主体的にコミュニティに働きかけ、相互作用の中から新しい知を獲得していく。学生は、異文化インフォーマントとして互いに文化紹介や異文化間理解を行うが、教室にいながらにして異文化と実際にふれあえる授業に対する学生の満足度は非常に高く、その体験が大きな刺激となり、学習動機の向上をもたらしている。英語ライティングを通じて基礎学力を磨きながら、情報化時代の国際コミュニケーションを体験し、学習と将来のキャリアパスに役立てることが、ブレンディッド・ラーニングの趣旨とされている。

表 2-2 ブレンディッド・ラーニング（授業を構成する 11 の言語活動）

英語Ⅲの授業で行われた言語活動	
1	英語のタイピング練習（学内の教育用パソコンでいつでもどこでも練習可能） ・ソフト使用のタイピング練習（レベル別）、およびタイピングで講義ノート作成
2	Eメールを英語で書く（目的を持った英語メールのやりとり） ・クラスの友人との英語メール交換、Eメール・フレンドの紹介パラグラフを作成
3	パラグラフの概念を学んで実際に書く（大学生生活紹介） ・自己紹介、メール友達の紹介、自分の大学生生活の紹介（希望と現実）
4	訂正箇所の指摘について考えて、パラグラフ訂正版を作る ・間違いの箇所のみ指摘し、誤りへの「気づき」を行わせる。
5	クラス内のチャット（Chat'n'Debate） ・クラス全体チャット（画面上でリアルタイムの会話やディスカッション） ・グループ・チャット（賛否両論の2グループによる議論：自由なグループ結成可能）
6	院内学級（北大病院に入院中の中学生）や海外クラスとのチャット（Chat'n'Debate） ・リアルタイム・チャットによる教育連携（アラスカ大学、上海交通大学等）
7	コラボード（協調学習用の掲示板）で翻訳をする（日米豪の協調学習） ・院内学級（北大病院に入院中の小学生）に対する翻訳支援のための掲示板活動
8	英文ホームページ作成（オンライン・ギャラリーでの公開） ・自分のホームページを英語で作成し、公開する ・コンテンツは授業で作った作文
9	北大マップの作成と公開（北大生の視点からの大学紹介） ・グループ共同作業で英文の大学紹介マップを作成
10	バーチャル・ホームステイとホームステイ後のお礼状作成 ・留学希望大学の情報検索と帰国後のお礼状作成の実習（ビジネスレターの実習）
11	異文化コミュニケーション実践（ビデオ会議システムによる遠隔実験授業） ・国際高速回線ギガビットネットワークによる海外大学との双方向授業 ①日米2カ国授業（北大＝スタンフォード大学、北大＝アラスカ大学） ②アジア圏3ヶ国授業（北大＝上海交通大＝韓国梨花女子大） ③アジア圏4ヶ国授業（北大＝上海交通大＝韓国梨花女子大＝タマサート大） ・異文化インフォーマントとしての役割（共通外国語と対等の文化発信） ・現代日本の若者文化の発信を行う。（実物教育、挨拶、行動パターン等）

西堀ゆり（2006）平成18年度北海道大学「授業アンケートによるエクセレント・ティーチャーズ」の受賞報告 <http://www.hokudai.ac.jp/bureau/tenken/hokoku/2007/s2/14.html> (accessed 2015.8.19) を改編

また、西堀は高度情報基盤の整備を背景とする、教育におけるグローバル・インタラクションと大学英語教育の課題を次の5項目にまとめている。

- (1) 教育環境の設備：情報環境の整備・情報教育の必修化・情報関連施設と情報教育担当部局との協力連携・教育機関のデジタル・ディバイドの解消等
- (2) 教育工学的知識と情報技能：情報教育を受けてきた世代の教員に対する研修やファカルティ・ディベロプメント、教育工学系の専門知識・経験のある教員を構成員に加える、

技術スタッフの確保と増強、組織の連携とチームワーク等

(3) 人的リソースとネットワーク：大学内での組織的な連携、技術支援や専門知識の提供を取り入れる方策、国内外の他組織との連携、研究者間の共同研究、関連分野での国際学会発表を通じたグローバルな人脈形成等

(4) 情報倫理とセキュリティ：情報ネットワークのセキュリティ制約とその遵守、関係機関との協議・協力、専門スタッフに対する教育目的や活動の説明・説得・支援獲得等

(5) 知的所有権：活発なインタラクションそのものとしての情報空間において薄れがちな犯罪行為（法律に抵触する）としての剽窃・盗用の禁止、情報倫理ガイドラインの設定と情報・システムの適正な利用に関する指導・保護、情報ネットワーク上での被害者にも加害者にもならない術の習得等

もうひとつの代表的な実践事例（見上他, 2011 : pp.139-176）として中野は、早稲田大学における 12 年間の遠隔授業（異文化交流実践）である「CCDL (Cross-CuItural Distance Learning)」の経験をふまえて、実践的な授業方法論をまとめ、授業効果の検証例を紹介している。中野によれば、遠隔授業（情報ネットワークを利用した交流）の形態は、非同期型と同期型の 2 種類に分類される。非同期型の交流では、メールや電子掲示板 (BBS)、ブログ、SNS の投稿を用いて、相手の情報端末がオフの状態が発信側がメッセージを送り、受け手は情報端末をオンにしてインターネットに接続した時にメッセージを読み、応答する。同期型の交流では、ネットワーク回線が同時に接続された状態で、テキストチャット、音声チャット、ビデオチャットやテレビ会議システムを用いてリアルタイムで交流する。また、接続人数によって 2 つの授業方式に分けられるとしている。1 つは「1 対 1 の遠隔授業」で、「教材や話題を学生が決め、学生中心で授業を行い、英語運用能力とプレゼンテーション能力を育成する方式で、大学 1～2 年次に効果的まソーシャルメディア活用型の授業」あるいは「異文化交流を主体とし、議論、司会、文化の類型等共通教材を用いて、日本と海外の国や地域を 1 対 1 対応で接続する、きめ細かな指導が仕組まれた授業」である。もう 1 つは「多地点（複数地点間接続）の遠隔授業」である。注意点として、「参加する国や地域が多ければ、発言回数に配慮して、同時接続地点を調整し、セッションを分けることが望ましい」こと、「参加者数が多く、LMS 上の教材や講義動画等が膨大な量になる場合は、学習者が自主的に検索したり情報整理したりできるようなシステムを設計する必要がある」ことを指摘している。

また、中野は、短期間に豊富で多様な学習要素を盛り込んだ現実の事象を体験できるこ

とが異文化交流授業ならではの特徴であるとして、テレビ会議システムや音声チャットシステムを利用した遠隔授業や異文化交流について、次の 9 つのコンセプトをまとめている。

- (1) 学生たちに自律性をつけ、積極的に異文化交流に取り組ませる
- (2) 学生たちに「English as an International Language」の体験をさせ、異文化交流では発音に気をつけなければならないこと自覚させ、発音の上達を促す
- (3) 司会者の役割をすることでソーシャル・スキルを身に付ける
- (4) 英語による表現が難しいアジア文化の側面や固有の概念を英語にする方法を習得させる
- (5) 縦社会と横社会、Direct vs. Indirect Culture といった文化人類学的な社会構造の分析を学び、現代社会における社会構造の類型化は単純ではないことや、状況と場合によって文化的な視座を変化させ社会の複層的なダイナミズムを理解しなければならないことを理解させる
- (6) 多様で複層的な社会構造に対応するコミュニケーションスタイルがあることを実感させる
- (7) Grice (1975, 1989) の Maxims と Lakoff (1977), Brown & Levinson (1978) の Politeness の拮抗を体験する
- (8) 意見の一致を達成するための議論の型を吟味し、問題解決型の議論を体験する
- (9) 異文化や未知の体験に触れたとき、先入観にとらわれることなく受容する

さらに、遠隔授業の教育効果について、英語授業参加への意欲や動機や英語交流におけるソーシャル・スキルの使用についてのアンケート調査を実施し、その結果を示している。学習意欲（動機付け）の調査では、(1) グローバル・リテラシー演習、(2) 異文化交流実践、(3) 一般英語でチャット課題に取り組んだ授業を対象に、自己決定理論に基づきクラス間の動機付けスタイルの違いを考察することを目的として、因子分析を行っている。その結果、異文化交流実践とグローバルリテラシー演習の動機付けが高く、一般英語でチャットをする学生の動機付けは低い傾向となり、前の 2 クラスは学生の自由意思で参加する選択クラスである動機づけが高く、残り 1 クラスは必修で義務参加のため動機付けが低いという、自己決定理論に基づく学習意欲の差が解明されている。このことから、議論のテーマや教材を学生が選択できるようにデザインされているクラスでは学生の動機付けと自律性が高く、学生の意見や考えを中心に据えたクラス作りの重要性が示唆される。ソーシャル・スキル（対人コミュニケーションをいかに円滑に安定して行うことができるか）の調査では、対人関係を円滑にするためのスキルとして菊池（1988）が日本人向けに提唱した心理尺度「Kikuchi's Scale of Social Skills-18」を用いて、「異文化間ソーシャル・スキル」

を定義、選定している。異文化交流に特化した選択 CCDL 科目と時間外チャットを授業に導入した必修科目を対象として、因子分析を行っている。その結果、ソーシャル・スキルを構成する 6 つの下位尺度が 4 つの因子に集約された。各クラスの 4 つのスキル使用を比較した結果、異文化交流に特化した選択制 CCDL クラスの方がスキル項目の平均が高い結果となり、より実践的な異文化交流において、これらのスキルが多く活用されていることが明らかとなった。CCDL で異文化交流を体験した学生は自己評価が高いこともわかる。

遠隔交流や異文化間交流の実践を質的側面から評価した代表的な研究としては、立命館大学における国際学生と国内学生との協働学習を前提とした異文化交流授業（坂本・吉田・宇根谷・本田・片山・和田, 2006; 坂本, 2013）がある。坂本らは、2003 年度から立命館大学の国内学生（日本人学生の英語クラス）と立命館アジア太平洋大学の国際学生（留学生の日本語クラス）との遠隔交流授業を実施してきた。e メール、LMS 掲示板、テレビ会議、ビデオレター等を用いて、日本語と英語による発表や討論といった各種コミュニケーションと相互評価の機会を提供し、学生の出身国の社会・文化について学び合う双方向の異文化間教育の場を目指している。この経験に基づき、坂本らは、「国内学生と国際学生が協働学習を通して双方向の学びを形成すること」、「グループプロジェクトを遂行する過程で実践的に異文化間コミュニケーション能力を養うこと」、「日本の社会や文化についてグローバルな視点で学び、グループプロジェクトの成果を共同で発表すること」、「アジアの学生を中心に多様な国籍の学生との交流となっていること」をねらいとして 3 つの異文化交流授業を実施した。評価は、国内学生を対象として、授業アンケートの回答、学期末課題作文、LMS 掲示板への書き込み、交流活動振り返り資料等に基づき、学生が異文化交流から学んだことや課題を分析し、異文化間能力や多文化共生力としてのコミュニケーション能力の育成への貢献を考察している。異文化交流では、国内学生が国際学生と共同でプロジェクトを遂行し、グループ発表を行う過程で SNS やテレビ会議システムを活用した遠隔交流により情報交換や意見交換を行うと共に、対面の討論、プレゼンテーション及び交流会を行う機会もあった。短期留学生との異文化授業では、混合チームでグループごとに協働学習を行い、教育、就職、少子化等の身近なテーマについて、各国を比較しながら調査した結果を報告すると共に、質疑応答や相互評価を行い、相互の文化や社会現象について情報交換や意見交換を行った。アジアの国際学生との遠隔交流授業では、SNS を活用して協働でプロジェクト学習を行い、国際交流大会で共同発表した。

異文化交流授業の成果と課題について坂本らは、次のように総括している。成果として

は、異文化交流は多様な対話と学びの場であり、困難や葛藤に直面しながら国際学生と国内学生が相互の学びに主体的に関わって対等な関係を構築し、協働の仕方、自己と他者の役割、リーダーシップやフォロワーシップ等を学ぶ場として機能することが挙げられる。課題としては、事前の目標設定と共にテーマに沿った活動後の振り返りを丁寧にする等、主体的取り組みを促す授業運営の重要性、オンラインコースでの意見交換を活発化するためのディスカッションテーマ設定の工夫、学習振り返りからのフィードバックを学生同士共有してコミュニケーション改善に活用する方法がある。協働学習のテーマ設定に関する課題としては、学生が主体的に取り組めるテーマ設定と動機付けがあり、2言語での学習環境を活かすための課題としては、相互の言語学習支援が利点である一方、国内学生は安易に日本語使用に偏るという課題があり、その克服を検討する必要があると指摘している。

上記 3 件の英語の事例では、異文化間交流に向けた準備と遠隔交流の経験そのものを通じて、多岐にわたる学習活動を展開できる可能性が示されている。語彙、文法の知識や言語コミュニケーションの 4 技能運用技能の訓練に終始せず、基礎的な 4 技能に基づき、現実社会に開かれた、生きた学習活動として応用するところに重点がある。異文化インフォーマントとしての自身のアイデンティティを意識化させること、協調的な学習活動の過程で実際の異文化間コミュニケーションを体験すること、学習した外国語を実践的な場面で即時運用すること、言語コミュニケーションの失敗や反省から、改善に向けた努力を繰り返しながら、発音、語彙、文法知識のみならず、意見交換や合意形成のための議論に向けたソーシャル・スキルを習得すること、企画力や創造力を発揮してコンテンツを作成すること、独自の視点で情報をまとめて人に伝えることを前提とした表現を工夫すること、学習の成果が現実の世界に直接関連しており、教室での学びを誰かのために役立て社会に貢献できること、各種 ICT を活用することによってこれらの教育目標や学習の目的が実現できること等がわかる。これらは高等教育のみならず、初中等教育へも適用可能である。ただし、これらの活動を高校の第二外国語科目としての中国語へ直接応用することは難しいだろう。大学の英語科目と高校の第二外国語科目を比較した場合、前提知識の量や準備時間確保等の面で差が大きい。大学までに 10 余年もの学習経験がある英語と異なり、知識と技能がゼロに等しい高校の第二外国語科目において、ICT 活用の教育・学習をどのように行うべきかは、高校における授業実践に依拠した検討が必要である。したがって、本研究では、高校中国語に適した、ICT と遠隔交流を活用したブレンド型学習の ID と BL モデルを設計、実践することで、現場の実情に即した実行可能性の高い新たな学習支援の方法を模

索する。

2.2 中国語教育・学習における ICT 活用

中国語教育・学習における ICT 活用に特化した実践、成果及び課題について、書籍として体系的に編纂されたものはまだない。関連領域の学会誌で投稿された研究論文については、第 2 章の表 2-1 に示す通りである。日本教育工学会学会誌に投稿された研究論文数は 3 件で、モバイルラーニング、LMS、e ラーニング教材、CAI（コンピュータ支援教育）に関するものである。教育システム情報学会は 3 件で、ブレンド型授業や e ラーニングに関するものである。e ラーニング教育学会は 2 件で、Web 辞書や LMS に関するものである。中国語教育学会は 7 件で、e ラーニング（語彙・発音・ゲーム教材等）、マルチメディアコンテンツ作成、モバイルラーニング、インターネット（Web アプリ）、コンテンツ DB 化・アーカイブ、遠隔協同（協調）学習に関するものである。中国語教育・学習においては、e ラーニング教材を用いた学習行為分析により学習スタイルの多様性を踏まえた教材の設計を提言するもの（大山・村上・田口・松下, 2010）、四声弁別学習システムの開発と自習ツールとしての有効性を検証したもの（劉・浦野・比企, 2010）、モバイルラーニングを活用した中国語教室の構築、省電力・多数同時接続のネットワーク構成と低遅延・大容量通信、低コストを実現する学習教材の開発とピンイン学習強化の有効性を検証したもの（呉・加藤・楊, 2012）、e ラーニングによる復習を取り入れた 3 段階学習プロセスによる BL の実践、それによる学習意欲の向上と自習促進効果を検証し、学習意欲向上の方策としての e ラーニング教材を開発し評価手法の体系化に取り組んだもの（趙・富田・今野・朱・稲垣・大河・三石, 2014）等が挙げられる。前節で概観した外国語教育全般における状況と同様に、中国語教育における ICT 活用に関わる実践研究は、教育の現場にいる担当講師やその学習者の関心相関的に実施されており、個別の事例研究としての成果は得られるが、領域横断的に応用可能な課題や成果は多くない。このことから、本研究は研究関心と研究方法が当該分野では稀少であり、その新規性と独自性を理由に、特色ある意義ある実践研究として位置付けられる。

2.3 中国語教育・学習におけるブレンド型学習

外国語教育における遠隔交流の活用は遠隔学習 (Distance Learning) と呼ばれ、中国語教育の分野では、早稲田大学が 1999 年から行っている多言語遠隔交流 Cross-Cultural Distance Learning (略称 CCDL) の実践が代表的である。砂岡を中心とする中国語チームは、2001 年から 2015 年までの 14 年にわたり、「アジア学生会議」と呼ばれるビデオ会議システムやチャットシステムを利用した異文化間交流を実施し、量的分析を中心とした研究を行っている。砂岡 (2009a) では、早稲田大学及び慶応大学と中国、台湾、韓国の大学との間で、遠隔 TV 会議「アジア学生会議」を行い、中国語の母語話者 (NS) と非母語話者 (NNS) が発揮するコミュニケーション方略の特徴を、発話単位のテキスト理解度とコミュニケーション達成度という指標で定量分析した。会議映像から抽出した発話を対象として、ポーズ及びフィラーの使用にみられる特徴、テキスト内での理解度及びコミュニケーション達成度の相関、NS の NNS に対する協調的な談話方略、応答詞の使い方の特徴を分析している。分析の結果、NNS が NS の母語でコミュニケーションをする際には、NS の協調的談話方略によって双方の交流レベルが接近する傾向を示し、NNS は発話中の語断片や笑い声、ポーズや音声的フィラー等の非言語要素を、より言語的質量の高い内容に変換するスキルを NS から吸収できることを解明した。具体的な改善方略の例として、応答詞の使用がコミュニケーション達成度を上げるのに有効であること、使い慣れた平易な語句を 2 秒程度の短い発話にすればコミュニケーション達成度が向上すること等を挙げている。

上記の論文では、交流を通じて学習者がどのようなテーマに関心を持ったかという学習者ニーズに関する分析は行われていない。また、学習者が何を学んだと実感したかという質的な側面は取り扱っていない。交流内容については、砂岡 (2009b) の『大学時報』によれば、「討論テーマで盛り上がる話題は、恋愛・就職・大学生活・サークル活動など身近なものが多いが、台湾総統選挙・四川大地震・格差社会・食品安全など、政治的、社会的テーマにも関心が集まる」と述べている。また、「異文化交流では外国語の壁以上に、概念の理解不足で起こるコミュニケーション障害が大きい。例えば、ボランティアや制服のイメージは各国で異なり、討論がかみ合わないことがあった。四川大地震支援がテーマの会議では、被災原因についての日本側の分析が、北京大生の自尊心を傷つける場面もあった」と述べており、言語運用技能だけでなく相手国の文化背景に関する知識や価値観に関するミスマッチを挙げている。

また、砂岡はこれまで大学における ICT 活用の各種取り組みを行ってきた。「自律学習支

援ツールの開発」として、「アジア学生会議」の録画を大学のオンデマンド教学プラットフォームに格納し、BBS と併用しながら異文化交流障害への気づきを促すと共に、異文化コミュニケーションで発生する障害を、動画・音声・発話書き起こしテキストデータで自在に検索・閲覧できる学習支援ソフト「ミスコミュニケーション・コーパス」を開発した。

「少人数 Tutorial 会話クラスの導入」として、通常クラスの外国語授業が多人数編成で個人の発話時間を確保できないという課題に対し、NS やバイリンガルのチューターを配置した少人数クラスで会話レッスンを行うプログラムを設計した。課題を完成するための学習支援ツールとして、「学内専用の自動翻訳サイトの授業活用」を推進し、中国語の自動翻訳サイトを整備して、リアルタイムでインターネット上のニュースを素材とし、BBS との併用で情報発信へ導くことで、自動翻訳も賢く使うことで授業の活性化に寄与できることを実証している。「合成音声の語学教育利用」として、文字を音声へ即時かつ均一な品質で大量変換できる合成音声の優位性を活かし、学習支援サイトとリスニング用ソフトを開発し、教師の肉声との成績を比較して、その有効性を検証している。「中国語の四声の弁別を支援する CAI 自習プログラム」（日本人学生の誤り傾向を詳細に解析し、苦手な声調を優先的に選択・提示できるシステム）を開発し、インターネット上で公開すると共に、授業における指導効果を検証している。「ライブ型講義に力を入れた総合的なプログラム」としては、中国や台湾の大学からの遠隔講義を導入し、中国語の能力検定試験スコアの上昇や、受講者アンケートでの履修者の自身や技能の向上といった成果を挙げている。近年は、中国語と日本語の遠隔教育プログラムに対する需要の拡大を受けて、言語教育プログラムの相互交流も開始されている。中国 13 億人の携帯市場と、「マルチメディアを活用した新たな遠隔学習ネットワークの可能性」を追求し、「携帯電話向けのモバイル・コンテンツの開発」が進められている。

さらに、砂岡（2011）では、中国語授業へテキストチャットを導入した実践において、語学知識の定着とコミュニケーション活性化に有効なチャット形態と投稿の質量について、SPSS を用いた相関分析を行った。単語・短文聴き取りチャット、Q&A 型チャット、自由会話チャットの 3 タイプを実践した結果、「単語短文など指定語文の聴き取り練習型チャットは、全員が短時間で正解に至る効率のよい学習方式」であるという効果と、「投稿順位固定や剽窃を誘引しやすい」という課題が明らかとなっている。特に自由チャットは、「単発で非規範的な投稿発話を招きやすく、SLA 初中級者の語学教育に適しない」ことが指摘されている。砂岡は、「最も参加者同士の発話に Inter Action が起こり、外国語学習効果が期

待できるのは **Q&A 型チャット**」であるとし、より教育効果を高めるためには、「学習目的と履修者レベルに応じ、各タイプのチャットを取捨選択もしくは組み合わせて導入する」ほか、「授業者の指示質問の質と量、話題の焦点化、および **Focus on Form** 実現のプロセスをさらに詳細に分析し、ルールを記述する」ことが必要であると指摘している。

砂岡らのような高等教育機関の実践研究では、大学に遠隔学習に特化した部門や施設が設置され、ICT 活用のための環境（設備機器、ネットワーク回線、学生が使用できる端末のスペックと数量等）が整備されており、研究チームを組織して専門的な人材や資源を確保しやすく、遠隔学習をスムーズに実施できることが予想される。しかし、本研究のフィールドのような地方の公立高校等では、非常勤講師が自由に利用できる環境や資源が制限されることから、個人で運用できる環境を低コストでゼロから構築する必要がある。高等教育機関の研究の一環として行われる遠隔交流は、海外の研究協力者、人材、設備、環境、予算、投資できる各種コストの面で高校とは前提が大きく異なり、高校の現場に直接応用することは難しい。効果測定や授業評価についても、大学では一定数の履修者を対象に教育や学習の効果を定量分析する線形の研究デザインが可能である。しかし高校は通常、大学受験を中心にカリキュラムが設定されており、第二外国語の選択科目である中国語クラスは年によって履修者数が大きく変動し、極端に少人数編成になることも珍しくない。また、学内外の行事によって時間割変更が頻繁に行われるため、授業を行いながら授業設計を随時調整する臨機応変の対応が必須であり、線形の研究デザインは現場の実情に適していない。したがって、高校中国語というフィールドの実情に即した最適な ID と BL モデルの検討、授業形態の決定、学習環境の構築、学習項目の設計、小規模クラスにおける質的側面を重視した学習成果の分析や授業評価を詳細に検討する余地が残されている。

高校中国語における遠隔交流の実践には、SNS、テレビ会議システム、及び地元の台湾出身者へのインタビューを取り入れた、日本の沖縄及び大阪の高校生と台湾高雄の高校生の協同学習の実践（城間, 2013）がある。この事例研究は、「沖縄・台湾・大阪の三つの地域のつながりのよさ、深さ、豊かさをそれぞれの地域の人たちに伝える CM」を、中国語・英語・日本語でつくりあげるプログラムに取り組むという協働学習に関するものである。学習のねらい、ICT ツール、テレビ会議交流に向けた授業内タスク、準備の様子といった具体的な学習・教育計画と実践内容が報告されている。学習成果としては、交流活動、協同学習、ICT 活用を連携させた効果として生徒の学習動機が向上したことが報告されている。しかし方法論の面で、アンケートの自由記述とインタビューによる生徒の感想の一部

記述に依拠するものの、質的データ分析の理論的枠組み、分析手法と具体的な手続きが不明であり、「コミュニケーション力、協働する力の育成」の指標や、その教育目標がどれだけ達成されたかの十分なデータに基づく検証は残された課題といえよう。本研究では、学習者の情意や態度の変化を量的データ分析によって明らかにすると共に、質的データ分析の理論的枠組み、分析手法と具体的な手続きを検討し、遠隔交流を活用した BL の継続的な記録を分析対象とすることで、学習者にとっての学びの経験、学習成果とその価値をより深く探究することをねらいとし、信頼性と妥当性の担保された評価、検証を試みる。

以上、外国語教育、特に中国語教育における ICT 活用、遠隔学習、BL の先行研究を俯瞰し、その成果と課題をまとめた上で、本研究がこれまで探究されてこなかった研究課題を扱い、残されてきた課題を解決し得るものであるという学術研究上の位置づけを確認した。次章では、本研究の主要な理論的であるインストラクショナル・デザインについて概説し、遠隔交流を活用したブレンド型学習のための ID 及び BL モデルの設計と内容について詳細に述べる。

第3章 理論的枠組みと研究の方法

本章では、研究の概要、インストラクショナル・デザイン（ID）の理論と代表的なモデル、本研究で設計した第二外国語としての中国語のための ID 及び遠隔交流を活用した BL モデルについて説明する。第一節「研究の概要」では、本研究における研究課題、研究方法、研究対象、遠隔交流の形態、及びデータ分析の方法について述べる。第二節「インストラクショナル・デザインについて」では、ID の定義とその発展史を概観した上で、代表的な ID のモデルを例示しながら、線形のプロセスモデルから螺旋型のモデルへの進化についてまとめる。第三節「第二外国語としての中国語のための ID」と第四節「遠隔交流を活用したブレンド型学習モデル」では、本研究のフィールドである高校中国語では教師が学習者ニーズに基づき ID を設計する意識が共通認識として定着していないこと、線形のプロセスモデルが高校の教育・学習現場の展開や実情に適さないことから、高校中国語に適した実行可能な螺旋型 ID と遠隔交流を活用した BL モデルを設計し、その内容を説明する。

3.1 研究の概要

本研究では、高校の第二外国語としての中国語教育・学習のための ID と遠隔交流を活用した BL モデルを独自に設計し、語彙・文法学習、e ラーニング、日中間の遠隔交流という 3 つの学習形態を有機的に組み合わせた BL の実践を通じて、学習者視点の学習の経験、成果及び価値づけを探究する。その方略として、BL のプロセス及び学習者による授業評価を混合研究法のアプローチで分析し、解釈する。研究の主な対象は、日本の公立高校で第二外国語としての中国語を選択履修している学習者である。遠隔交流に参加する中国側の交流相手は、中国に住む中国人の大学生であり、日本語を専攻している。遠隔交流の形態は同期型のビデオチャットであり、状況に応じてテキストチャットや音声チャットも併用する。日本側の遠隔交流の参加者は 2 名から 4 名の少人数グループに分けて毎回交代で割り当てる。中国側の交流相手は 1 名から数名であり、事前に交流日時を決めて配置する。学習者は、語彙・文法学習と e ラーニングによって、語彙や表現を学習し、その言語知識と運用技能を用いて、交流トピックに合わせて原稿や写真・動画等の交流素材を準備する。遠隔交流では、それらの素材を活用し、教師の支援を得ながら、日本語と中国語の両方を活用して対面交流を行う。データ分析のアプローチは、混合研究法デザインのうち、量的データ分析と質的データ分析をそれぞれ行った後に結果を統合的に解釈するというトライアンギュレーションデザインを採用する。そのねらいは、本研究の ID 及び BL モデルによ

る学習が学習意欲にどう影響するかという意識や態度の全体的な傾向の変化を知ると共に、学習者が何をどのように学んだかという学習のプロセスで得られる経験、成果及びその価値を探究することにある。分析対象のデータは、授業評価のアンケート、遠隔交流の記録映像及びフィールドノーツ、遠隔交流の感想である。授業評価のアンケートは、「授業設計および交流準備」、「オンライン交流」、「学習成果」について 5 段階評価及び自由記述で構成されるオンラインアンケートを実施し、量的データ及び質的データを収集する。遠隔交流の記録映像及びフィールドノーツは、遠隔交流の様子を動画で撮影して交流のプロセスをテキスト化したスクリプトと筆者（教師）が遠隔交流の現場で観察や考察を書きとめた記録であり、質的データである。また、遠隔交流の感想は、毎回の遠隔交流の直後に学習者が自由記述した語りのテキストデータであり、質的データである。

量的データ分析の指標には、学習の効果・効率・魅力を高めるための ID である「ARCS-V モデル」（ケラー, 2010）及びその下位要因（鈴木, 2010; 中畠・中野・渡邊・鈴木, 2013）を援用した。その理由は、本研究における ID 及び BL モデルが学習者にとって学習の効果・効率・魅力の高い授業として適切に設計され運営されたか、BL のプロセスに含まれる学習活動や授業の魅力を構成する各要素が ID として学習者にどのように認識され、価値づけられたかを知るためである。質的データ分析の手法には、SCAT（Steps for Coding and Theorization）（大谷, 2008b, 2011）を採用した。その理由は、分析の手続きや解釈の過程が明確であり、小規模データにも適用できる手法であり、本研究に適しているためである。

3.2 インストラクショナル・デザイン（ID）について

ID とは、教育を短期間で効率よく行う手法であり、教育製品（たとえば教育コース、教材、教育実施等）を開発、実施するために、情報を分析し統合し評価することである（日本教育工学会, 2000）。そして、効果的で質の高い教育の手法創出にむけて、その必要性を分析し、分析結果を統合し評価する体系的なプロセス（手順）を ID プロセスと呼ぶ。鈴木（2005）は、ID について、「教育活動の効果・効率・魅力を高めるための手法を集大成したモデルや研究分野、またはそれらを応用して学習支援環境を実現するプロセスのことを指す」と定義している。「学習支援環境を実現する」とは、教材の作成や授業・研修の実施を指す。

ID は戦後、企業内教育にも採用されるようになった。旧来の企業内教育では、職場のベテランが教育内容を決定し、教材を開発し、指導してきたため、テストでは、教育者が設

定した教育目標への学習者の到達度が評価されてきた。学習者が自身の学習に責任を負うものとみなし、学習者が正解できなかった場合は、学習者が学習内容を正しく理解できなかったと判断された。したがって、教育とは、教えるための環境を整えることであった。これに対し、ID に基づく新たな教育では、職場において必要な技能あるいは作業遂行能力を獲得することが教育目標とされる。職場のベテランが優れた教材開発者や教育担当者であるとは限らない。教材開発者や教育担当者には、「教育の専門家」としての技能や知識が求められ、「インストラクショナル・デザイナー」と呼ばれる。これは、ID プロセスを 1 つのプロジェクトとして捉えて管理する専門家である。教育における行為を、学問的な裏付けを備えた工学の対象としての行為として捉え直し、質の高い効果的な学習活動を実施できるように学習実施環境や教育コースを設計し、教材開発等の教育製品の開発を担当する専門家である。しかし、日本の高校では、研究者、インストラクショナル・デザイナー、現場の教師等がチームを組織して各々の専門化した作業を遂行し、協力して授業設計や運営を行うということは考えにくい。教師や非常勤講師は同時にインストラクショナル・デザイナーとしての機能も果たす必要があり、担当教科の知識、技能、経験に頼るだけでなく、ID プロセスを効果的に運用するための技能や知識も求められる。

ID の起源については、リーサー & デンプシー（2013）が詳しい。同書に基づき、以下に ID の発展史を総括する。ID は、第二次世界大戦に起源を発する。ロバート・ガニエ、レスリー・ブリッグ、ジョン・フラナガン等多くの心理学者や教育学者が召集され、教授と学習、及び人間行動の研究と理論に基づいた教授原理の基礎に基づいて軍事用訓練教材を開発した。戦後、軍事訓練プログラムの開発に関わった学者らは教育問題に取り組み続けた。1940 年代後半から 1950 年代にかけて、研修はシステムとみなされ、革新的な分析・設計・評価手順が開発された。1950 年代半ばから 1960 年代半ばにかけて、プログラム学習が隆盛した。Skinner（1954, 1958）は、教育分野において、人間の学習を伸ばすための要件と、効果的な教材の望ましい特性に関する自説について、「プログラム学習教材では、小さな段階に分けてインストラクションを提示し、頻繁に出される質問に対して積極的な回答を求め、フィードバックを即時に提供し、学習者個人のペースでの学習を許可するべきだ」と主張した。このようなプログラム学習教材開発のプロセスは、教育問題を解決するための実証的なアプローチであり、形成的評価と呼ばれる。これには、現在の ID モデルにみられる手順の多くが含まれており、教育にシステムのアプローチを導入した功績として評価されるようになった（Heinich, 1970）。1960 年代初頭には「Preparing objectives for

programmed instruction (プログラム学習のための目標設定)」(Mager, 1962) が、プログラム学習教材を設計するために、教材を使用する学習者が達成すべき具体的な目標を特定することの必要性を説明した。目標の記述方法は、「期待される学習者の行動」「行動が実行される際の条件」「行動の可否を判断するための基準の説明」を含むものであった。これと同時期に、「基準準拠テスト (criterion-referenced test)」が出現した。これ以前の「集団準拠のテスト (norm-referenced test)」が学習者のパフォーマンスを分散するように設計されていたのに対し、基準準拠テストは、他の学習者のパフォーマンスとは無関係に、「ある個人が特定の行動あるいは、一連の行動をどの程度実行できるかを評価するもの」であった。Glaser (1963) は、基準準拠テストの目的が、「学習開始の前提条件となる学習者の行動を評価」すること、「その教育プログラムで教えるように設計された行動に対して学習者がどの程度の行動を習得したか、その範囲を決定」することにあるとした。また、1965 年には『The Conditions of Learning (学習の条件)』(Gagné, 1985) が出版され、ID の実践の基礎として今日に至るまで大きな影響を与えている。ガニエは、学習成果の 5 つの領域 (知的技能、認知的方略、言語情報、態度、運動技能) はそれぞれ異なる条件を必要とするという考えを示し、各種の学習成果についての条件を詳細に説明した。また、ガニエは、「あらゆる種類の学習成果の達成を促進するために不可欠と考える教育活動」と「教授事象と学習成果を確認するパフォーマンスとの関係性」について説明し、これを「9 教授事象 (nine events of instruction)」として提唱した。また、1980 年代以降、ガニエは学習される能力の階層構造の分析についても業績を残し、ID の発展に大きな影響を与えた。学習能力の分類に基づき、学習成果の特徴をみたとき、前提となる内的条件が異なるばかりでなく、インストラクションが効果を発揮するために整えられなければならない外的条件も異なること、また、知的技能が互いに持つ関係が下位技能としての必須の条件であるのに比べて、言語情報、態度、運動機能が先行学習との間の関係は支援的なものであるとして、インストラクションの系列化の重要性を説明している (ガニエ・ウェイジャー・ゴラス・ケラー, 2010)。1967 年にはマイケル・スクリバンが、教材の最終形が完成する前に学習者に教材を試させて検証する必要性を指摘し、教材の開発段階での改訂を可能にすべきであると主張した。スクリバンは、教材の試用と改訂のプロセスを「形成的評価 (formative evaluation)」、最終形の完成後に教材をテストすることを「総括的評価 (summative evaluation)」と名付けて対比させた。こうして、1960 年代初期から半ばにかけて、タスク分析、目標の明確化、基準準拠テスト等の分野で発展した概念が、系統的に教材を設

計するためのプロセスあるいはモデルとして関連付けられ、整備された。Gagné（1962）や Glaser（1962, 1965）らがモデル化を提唱し、「ID」「システム開発」「システムの教授」「教授システム」等の用語が生まれた。1970 年代に入ると、新たな ID モデルが数多く作られた（Dick & Carey, 1978; Gagné & Briggs, 1974; Kemp, 1971）。その改訂版の Dick, Carey & Carey（2009）と Morrison, Ross, Kemp & Kalman（2012）は現在も ID の基本とされている。1970 年代には、米軍が部門内の訓練教材の開発を支援するために ID モデルを採用し始めた。その後 10 年の間に、学術分野においても、授業の質の向上のために教員のメディア利用と ID プロセスの活用を支援することを目的として多くの教育改善センターが設置された。経済産業界でも、企業研修の質の向上のために ID を採用し始めた。国際的にも、ID を利用した新しい教育プログラムの設計を支援するための組織が設置された。1980 年代に入り、ID プロセスへの関心は、経済産業界、軍、国際舞台で成長した。一方、大学や公立学校等では、カリキュラムの開発に基本的な ID が採用され、教員向けの ID の教科書が出版される動きもあったが、その影響力は大きくなかった。1970 年半ばに増加した教育改善センターも 1980 年代前半には 4 分の 1 以上が解散し、予算も削減された。1980 年代の関心は、認知心理学の原理を ID プロセスに適用することにより、その潜在的な有用性が認められながらも、ID 分野の専門家らは、実際の影響力はかなり小さいと指摘していた。この時期、ID の手法に大きな影響をもたらしたのは教育目的のコンピュータ利用であった。多くの ID 分野の専門家が、コンピュータ支援型教育に関心を持ち、新たな ID モデルの開発が必要であると考えた。また、コンピュータは ID のタスクの自動化ツールとしても利用されるようになった。1990 年代の ID をめぐる動向は、学習よりもむしろ、業務遂行とそのための能力の向上や企業の業績といった、人間のパフォーマンス向上をめぐる社会的な動きであった。この背景には、教育と学習に対する構成主義への高まりがある。構成主義が重視する、「真正（Authentic）な学習課題の設計」や「学習者が学習したスキルを使用する実世界の環境の複雑さを反映した学習課題の作成」が、ID の実践と教育に影響を与えた。1990 年代には、インストラクショナル・デザイナーの関心が、学習を促進させる教育ツールとしてだけでなく職務上のパフォーマンス向上のための支援ツールとしてのコンピュータ利用へと拡大した。この時期、学習とパフォーマンスを支援するためのナレッジマネジメントシステムの利用に関する議論も生まれた。2000 年代に入り、学習者に対しインストラクションを提供するためにインターネットを使用することが増加した。オンライン学習が初等中等教育から高等教育まで広く採用されるようになると、インストラク

ショナル・デザイナーはオンラインコースを作成するために非常に重要な役割を果たすと認識されるようになり、ID の専門家としての雇用の機会も生まれた。オンライン学習によってインストラクションを提供する際に、楽しく効果的な手法を開発するという新たな課題も生まれた。21 世紀以降の動向として、企業が設定する正式な研修ではない、インフォーマル・ラーニングによる個人学習に対する期待の高まりがある。また、ブロードバンドネットワーク技術の発展によるインターネットの普及と高速化によって、知識ベース、パフォーマンス支援ツール、オンライン実践コミュニティ、ソーシャルメディアの利用が急増したことも、インフォーマル・ラーニングや e ラーニングの発展を牽引している。これに伴い、インストラクショナル・デザイナーは、多様化・個別化した学習者を相手に、知識やスキルのみならず、それらを活用したパフォーマンス向上のための ID の設計、実施、支援、評価の方法について学ぶことが必要になってきている。

3.2.1 代表的な ID モデル

ID の基本モデルは、(1) Analyze (分析) (2) Design (設計) (3) Develop (開発) (4) Implement (実施) (5) Evaluate (評価) の 5 つの段階で構成され、各段階の頭文字を取り、「ADDIE」モデルと呼ばれる。

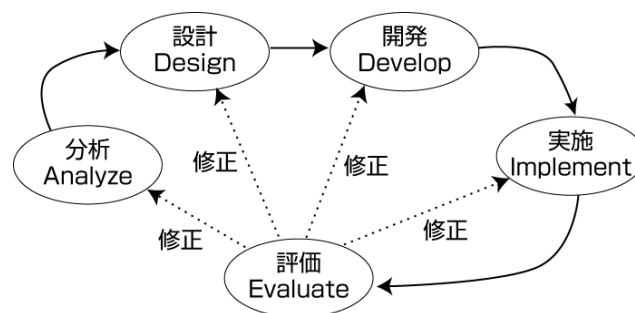


図 3-1 ADDIE モデル

ガニェ他 (2010 : p.25) を元に筆者改編

ADDIE モデルは、ID の特徴を抽象的にまとめたものであるため、特定の環境におけるニーズを満たすための具体的なモデルとして適用することは難しい。そのため、この基本モデルから、一般化されたモデルや、実施環境依存型のモデル等、多くのモデルが作られている。これまで代表的なインストラクショナルシステムデザイン (instructional system

design: 以下、ISD) あるいは ID として現在も注目されるモデルは、線形のプロセスモデルが中心であった。しかし、ID とは実質的に ADDIE の要素のどこから着手されてもよいものであり、各フェーズ内あるいはフェーズ間での修正と適応が反復的に繰り返されるものである。そのため近年では、単純で要素間に断絶のある線形のプロセスから、ID の相互依存的な関係と段階的な成熟を明示的に表現した、螺旋型のプロセスモデルへと発展してきている。以下に、線形のプロセスを持つ ID モデルと螺旋型のプロセスを持つ ID モデルの代表例を挙げる。

(1) 4D2M モデル

4D2M モデルは、ID に関してリーダーシップ的な役割を果たした米国企業 DEC 社の ID プロセスである。問題の定義 (Define)、教育内容の設計 (Design)、教育コース・教材の開発 (Develop)、教育の実施 (Deliver) の「4 つの D」と、測定と評価 (Measurement)、プロジェクト管理 (Management) の「2 つの M」から構成される (リー & オーエンズ, 2003; 日本教育工学会, 2000)。

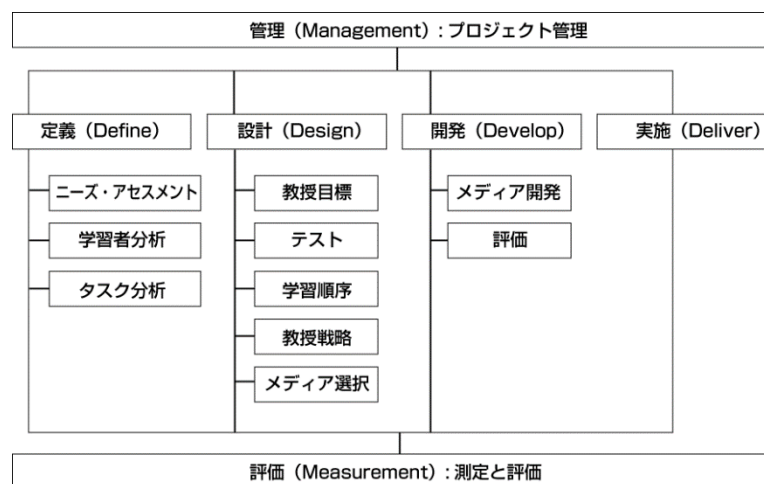


図 3-2 4D2M モデル

リー & オーエンズ (2003 : viii) , 日本教育工学会 (2000 : pp.38-40) を参考に筆者改編

「問題の定義」では、ニーズ、学習者、タスク (課題) 分析を行い、教育によって解決することが期待される問題点を明確化し、定義する。ニーズには、学習者の職場や学習環境、組織の期待もある。ニーズ・アセスメントにより、学習者に要求される知識や技能のレベルと現実の知識や技能のレベルの差を確認する。学習者分析により、学習事項の習熟

レベル、態度、使用言語、教材や教育環境を知る。タスク（課題）分析には、概念分析、トピック分析、機能分析、スキル分析等がある。学習者がどのような作業をできるようになる必要があるか、どのような概念を理解する必要があるか、できるようになることが期待される作業は何か、習得することが期待される専門技術は何か、等を分析する。「教育内容の設計」では、定義した問題を解決するために、教授・学習目標、教授戦略、教育方法論、評価基準とテスト方法をまとめ、教育・学習順序、教育メディアや製品の設計仕様を決める。「教育コース・教材の開発」では、設計仕様に従い教育製品を開発する。各種メディアの中から最適なメディアを使用し、画像、映像、プログラム、テキスト等を作成して教育コースを開発する。教育を必要とする組織や教育担当者のニーズに焦点をあて、問題解決に役立つ製品を開発することが前提である。そして、教育・学習目標を達成できる品質を保証できるかどうかを測定し、評価する。評価の結果、問題解決のために不足があれば、改訂を行う。「教育の実施」では、総合的な品質が保証されるレベルに達した教育コースや製品を使用して教育を実施する。「測定と評価」では、教育コースや製品開発完了後の品質保証のために、評価コースやパイロット・コースを実施する。「プロジェクト管理」は、上記の教育製品の開発から実施までの一連のプロセスを、1つのプロジェクトとしてとらえ、全体的な作業の品質管理や進捗管理を行うことである。教育・学習に関わる行為を、学問的な裏づけを備えた行為として再認識し、質の高い効果的な学習活動を実施できるように、学習環境や教育コースを設計し、教材開発等の製品を開発するということであり、このプロジェクト管理に責任を負うのがインストラクショナル・デザイナーである。

(2) ディック & ケアリーの ISD モデル

ディック、ケアリー & ケアリー（2004）は、教育者が「自分の研究、経験、専門知識に基づいて講義を開発して導入したもの」が伝統的なインストラクションであるとし、近年、教育の焦点は講義から「対話型インストラクション教育」へと変化したと述べている。インストラクションは体系的なプロセスであり、学習を成功させるには、教師、学習者、教材、学習環境等の全ての要素を重要視する「システム志向」の重要性を強調している。システムとは、「相互に関連する要素の一連の集まりであり、各々の要素が機能しあうことで設定された目標を達成する」ものである。したがって、教育プロセスそのものをシステムとみなすことができる。システム志向を支持するデザイナーは、一般的にシステムアプローチを適用してインストラクションを設計する。分析、設計、開発、導入、評価のフェーズを含むシステムアプローチの様々な設計モデルと、そのプロセス全体を含むものを総称し

て、「ID」としている。ディックらは、効果的なインストラクションを行うために、分析、設計、開発、導入、評価のシステムアプローチモデルである「Dick & Carey モデル」(図 3-3) を提唱した。

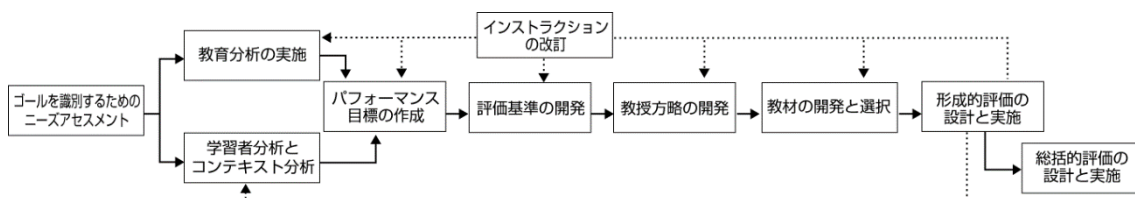


図 3-3 Dick & Carey の ISD モデル

ディック, ケアリー & ケアリー (2004 : pp.2-3) を参考に作者改編

(3) ガニエの 9 教授事象

ロバート・ガニエは、ID デザインの分野における権威として知られている。ガニエの学習の条件、学習される能力の階層構造の分類、情報処理プロセスのマクロモデルとしての「ガニエの 9 教授事象」、インストラクションの系列化等の原理は、現在も多くの ID モデルに採用されている。ガニエによれば、「学習」とは「行動に見ることができる学習者の特性や能力が変化する過程」であり、インストラクションとは、「意図的な学習を支援する目的 (purposeful) な活動を構成する事象の集合体」(ガニエ他, 2010 : p.2) と定義される。そして、「学習を促進するために用いられる資源 (リソース) や手続きの配列」(ガニエ他, 2010 : p.21) がインストラクショナルシステム (instructional system) である。インストラクショナルシステムは、特にスキルの向上を目的とする場合には「研修システム (training system)」、一般的な知的な面の向上や個人の成果に着目する場合には「教育システム (educational system)」とも呼ばれる。ガニエは、インストラクショナルシステムを「学習活動の促進と支援のプロセスにおいて互いに影響しあう要素の集合」を意味する「学習環境」として捉えた (ガニエ他, 2010, p.23)。ISD は、インストラクショナルシステムを開発する一連のプロセス (手続き) を指し、分析・設計・開発・実施・評価の各段階を含む包括的な設計の概念といえる。ISD は、国家の教育システム計画のようなマクロレベルから特定の学習者の個別の達成計画のようなミクロレベルまで様々なレベルで適用されるが、一般的に教師は 1 つのコース (授業) やユニット (単元) のような小規模の ISD に携わることが多い。このような、インストラクションそのものに着目した小規模の ISD を「インストラクショナルデザイン」と呼ぶ (ガニエ他, 2010 : p.23)。

ガニエとブリッグスは、人間の情報処理プロセスのマクロモデルとして「9つの外的教授事象」を明らかにした（表 3-1）。これは、情報処理の最中に起こる学習者の内的プロセスに深く関わるものであり、インストラクションをこれらの外的事象を中心に構築することにより、学習達成のための内的事象の働きを促進することを提案した。これらの外的事象は、いかなる形でもたらされた場合でも学習者の学習プロセスを支援することから、インストラクションは、「学習プロセスを促すための外的事象の明確な目的を持った配置」（ガニエ他, 2010 : p.35）と定義されている。

表 3-1 9つの外的教授事象

事象	目的
1. 学習者の注意を喚起する	学習への準備をさせ、インストラクションの関連性や目的に向けて学習者の注意を方向づける。
2. 学習者に目標を知らせる	期待される成果を明らかにする。
3. 前提条件を思い出させる	学習者がすでに知っているものと次に来るものを関連させて、新しい学習の着地点を与える。
4. 新しい事項を提示する	学習すべき新しい情報、手順、プロセスや問題解決のタスクを提示する。多くの場合、これは講義やプリント教材により実現される。これを既習の知識と結びつけることで、長期記憶への符号化を促す。
5. 学習の指針を与える	事象 4 にて提示した事項を精緻化する。ここでは、例示、逸話、解説、ディスカッションや事項の記憶をより助ける他の方法がとられるかもしれない。このステップは、豊かな知識構造の符号化や構築を促す。
6. 練習の機会を作る	学習者の反応を誘い出す。これは、手がかりが含まれる文脈において、学ばれた内容を検索し引き出すことを意味する。目的は、評価することではなく、不確かさや誤解を発見することにある。
7. フィードバックを与える	理解の正確さについて、学習者へ情報を与える。
8. 学習の成果を評価する	学習した知識やスキルの（時間がたった場合における）保持をテストする。
9. 保持と転移を高める	定期的な練習によって学習したことを強化する。「転移 (transfer)」とは、学んだことを異なる文脈や状況において運用できることを意味する。

ガニエ他（2010 : p.35）を参考に筆者改編

(4) ARCS モデル

ARCS モデルは、ケラー（Keller, 1983）が提唱した、学習意欲の問題と対策をデザインしたモデルである。ケラーは学習意欲を「注意（Attention）」、「関連性（Relevance）」、「自信（Confidence）」、「満足感（Satisfaction）」の 4 要因に整理した枠組みと、各要因に対応

した動機付け方略、動機づけ設計の手順を提案した。さらにケラーは2004年、ARCSの4要因に第5の要因「意志（Volition）」を追加した拡張版の「ARCS-Vモデル」を学習意欲デザインの第一原理として発表した。ARCS-Vモデルについて詳しくは、「5.2 学習意欲のデザイン」で述べる。また、ケラーと鈴木はARCS4要因の下位分類を定義し、ケラー（2010）では、各下位分類を満たすための支援方略をまとめている。なお、「V（Volition）」要因の下位分類については、中嶋ら（2013）が整理している（付録15）。ARCSモデルの分類枠を表3-2に示す。

表 3-2 ARCS モデルの分類枠

主分類枠	定義	作業質問
注意 (Attention)	学習者の関心を獲得する 学ぶ好奇心を刺激する	どのようにしたらこの学習体験を刺激的でおもしろくすることができるだろうか？
関連性 (Relevance)	学習者の肯定的な態度に作用する個人的ニーズやゴールを満たす	どんなやり方で、この学習体験を学習者にとって意義深いものにさせることができるだろうか？
自信 (Confidence)	学習者が成功できること、また、成功は自分たちの工夫次第であることを確信実感するための助けをする	どのようにしたら学習者が成功するのを助けたり、自分たちの成功に向けて工夫するための手がかりを盛り込めるだろうか？
満足感 (Satisfaction)	(内的と外的) 報酬によって達成を強化する	学習者がこの経験に満足し、さらに学びつづけたい気持ちになるためには何をしたらよいだろうか？

ケラー（2010：p.47）を参考に筆者改編

(5) OPTIMAL モデル

OPTIMAL（最適）モデルとは、鄭ら（鄭・鈴木・久保田, 2008）が提唱したLMSを利用したブレンド型学習のためのIDに必要な要素を体系的に含むモデルである（図3-4）。Objection（目標を定める）、Prototyping（プロトタイプング）、Testing（施行）、Interaction Design（双方向性のデザイン）、Material Design（教材のデザイン）、Audio-Visual Design（メディア要素のデザイン）、LMS Integration（LMSへの統合）という7つのタスクの頭文字から名づけられている。IDの知識や経験が豊富ではない初心者でも最適（optimal）な決定ができるよう支援できるとされており、「実践的」であること、「タスク型」であること、「速い」こと、「簡単」であることが特徴である。複雑でコストのかかる従来のIDモデルに対する批判や課題を受けて、教育の現場にいる、IDの専門家ではない教育者やインストラクター等の実践者向きに設計された。このモデルは、(1)マクロデザイン、(2)マイクロデザイン、(3)LMSへの統合という3つのタスクから構成される。(1)マクロデザイン

では、学習目標を決定し、プロトタイピングを行って e ラーニングのモデル的（典型的）な部分を想定して試作し、試行する。(2) マイクロデザインでは、e ラーニングのプロセスに含む双方向性（インタラクション）をデザインし、教材をデザインし、メディア要素をデザインする。(3) LMS への統合では、e ラーニングの要素を LMS のシステム上に実装する。

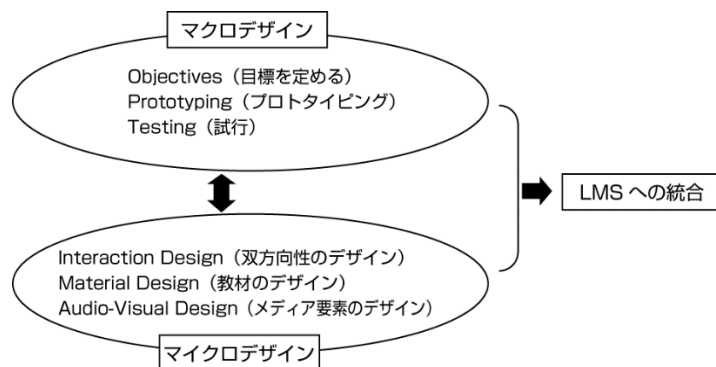


図 3-4 ブレンド型学習のための OPTIMAL モデル

鄭他（2008：p.45）を参考に筆者改編

(6) Kemp モデル

Kemp モデル（図 3-5）は、様々な研究分野やアプローチを ID の方法に取り込んだ ID モデルであり、9 つの要素と循環型（非線形）から構成される理論的枠組みである（Morrison, Ross, Kemp & Kalman, 2012）。「インストラクショナル・デザインの問題を解決するための完璧な唯一のアプローチは存在しない」という信念の下に、行動科学や認知科学の様々なアプローチを組み合わせている（Akbulut, 2007）。

Kemp モデルは、9 つの要素とそれを取り囲む 4 つの要素のサイクルで構成される。9 つの要素は、他の線形 ID モデルのように、規定の順で全ての要素を考えなければならないというものではなく、どこから着手しても構わないし、常に同時進行的に複数の要素が関連し合っているものとして捉える。このモデルは、ID とはその他のあらゆる要素に関連する現在進行中の活動の修正を含む継続的なサイクルであるというデザイン上の信念に基づいている。また、教育工学の 4 つの本質的な要素として、学習者、目標（学習されるべき物事）、方法（望ましい学習レベルに到達するためにどのような手順とリソースが最適か）、及び評価（望ましい学習が行われていることをどうやって知るか）を考慮している（Morrison et al., 2012; Giles, 2013）。このモデルは、教育や設計を学習者視点のアプローチ

チで行うことの重要性和、プロセスの各ステップの相互依存性を強調している。評価の重要性に注目すると共に、教育上の設定における多くの環境要因について考慮すべきであるとしている。教育上の設定には、リソースや支援（予算、施設、時間、設備、人員、教材等）が含まれる。

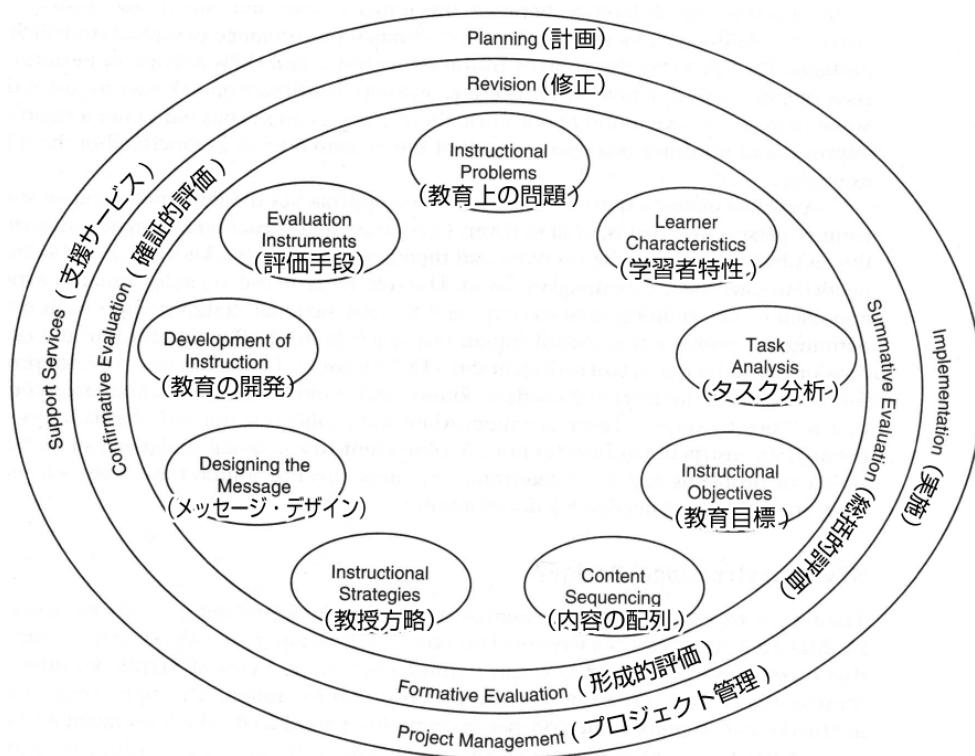


図 3-5 Kemp モデル

Morrison et al. (2012 : p.1) を参考に筆者改編

Kemp モデルの特徴は以下の 4 つにまとめられる。

- 1) 開発における一般的なシステムの視点として、全て要素が相互に依存しているものとみなす。
- 2) すべての要素は同時に実行され得る。
- 3) 開発者はどこからでも開始することができる。
- 4) 学習ニーズ、目標、優先事項と制約が教育上の解決策を決定する。

Kemp モデルの 9 つの要素は表 3-3 のようにまとめられる。

表 3-3 Kemp モデルの 9 つの要素

要素	説明
教育上の問題 Instructional Problems	教育上の問題を特定し、これから設計するプログラムの目的を定める (Giles, 2013)。
学習者特性 Learners Characteristics	学習者の特性とニーズを探る。計画のプロセスに影響する特性や、方向性を特定する。
タスク分析 Task Analysis	デザインのプロセスにおいて最も重要な段階のひとつ。この段階で、学習者が学習目標を習得するための支援とするインストラクションに何の知識と手続きを含めるべきかを理解する。
教育目標 Instructional Objectives	教育目標と学習目標を特定する。学習者が何を学び、習得しなければならないかを厳密に規定する。ここでの目標は、インストラクションを設計するための地図のようなものを提供する。
内容の配列 Content Sequencing	効果的な学習のために、論理的な順序で内容を配置する。情報が提供される順序は、学習者が情報を理解し、学ぶのを助けるために重要な役割を果たす。
教授方略 Instructional Strategies	教授方略は、創造的なステップであると考えられる。この段階には、情報を提供し、学習者が規定された学習目標に到達するのを助けるための創造的で革新的な方略の設計が含まれる。
メッセージ・デザイン Designing the Message	インストラクションのメッセージを計画、設計し、どのようにそれを伝えるかを決定する。(Giles, 2013) メッセージとは、学習者とコミュニケーションをとるために用いられる表現や図のパターンであり、そのプロセスは文や図を配置・配列する行為である
教育の開発 Development of Instructional	教育活動を支援するためのリソースや教材を設計及び／または選択する。(Giles, 2013)
評価手段 Evaluation Instruments	学習者の学習目標の熟達度の測定や評価に用いられる評価手段を開発する (形成的評価及び総括的評価)。

Morrison et al. (2012) 及び

http://etec.citl.ubc.ca/510wiki/The_Kemp_Model_of_Instructional_Design を参考に筆者改編・訳

これら代表的な ID モデルのうち、(1)「4D2M モデル」、(2)「ディック & ケアリーの ISD モデル」、(3)「ガニエの 9 教授事象」は、線形のプロセスをデザインしたものである。(4)「ARCS モデル」は、授業の魅力と学習意欲を高めるための要因とそれを満たすための支援方略をまとめたものであり、これは ADDIE のどのフェーズを設計する際にも常に考慮すべき構成要素であり、プロセスのモデルではない。(5) は、従来の線形の ID モデルを設計する場合にかかるコストや複雑なプロセスといった課題を解消するために開発されたブレンド型学習のための最適化モデルである。しかし、ADDIE の全要素を包括したモデルではなく、e ラーニング教材の開発と運用に特化して、分析、設計、実装のフェーズを組み

合わせたモデルといえよう。

近年の ID プロセスの表現の傾向として、ガニェら（2010：pp.48-50）によれば、ID プロセスは、ニーズ、職務遂行要件や現在の研修対象者のパフォーマンス欠陥等の入力と、設計、開発、実施、評価という残りのフェーズとの間に論理的な連結を図ることであり、逐次的な要素の論理的なつながりとして表現される。しかし、必ずしも線形のプロセスに合致するとは限らず、実質的にプロセスのどのフェーズからも始められるものであり、プロセスを通じて反復や並列の活動が発生する。また、チームによる共同作業の機会が増え、組織的な成果が必要とされるようになり、設計プロセスの複雑性が増す中で、教師個人が単独でコースデザインを行うとは限らなくなってきたおり、単純で直線的な ID プロセスは役に立たなくなってきた。そこで、これまでの代表的な ID モデルのような線形のプロセスに代わり、ID の相互依存的な関係をより明示的に表現した螺旋型や循環型のプロセスが提案されるようになってきている。(6)「Kemp モデル」はその代表例である。螺旋型 ID モデル（図 3-6）では、開発や改善の活動の性質や影響範囲を考えながら、プロセスのさまざまなフェーズに介入し、調整することが可能な連続的プロセスが表現されており、設計と開発の反復的な関係が強調されると共に、螺旋が繰り返されるごとに ID の成果が成熟していく様子が表現されている。

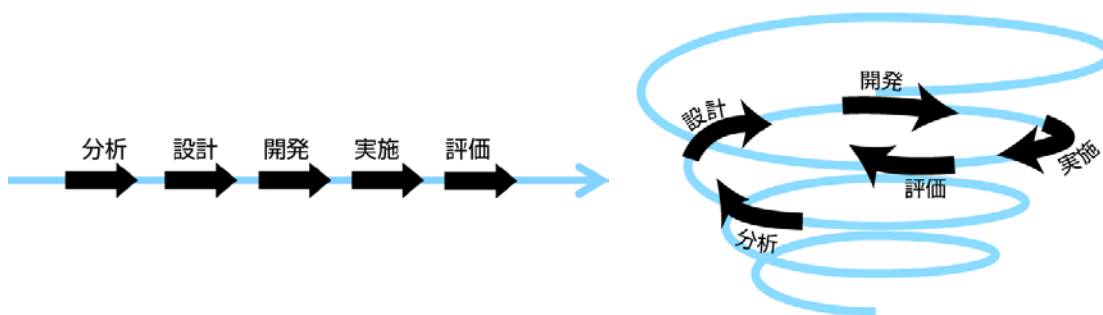


図 3-6 線形 ID モデル（左）と螺旋型 ID モデル（右）

3.3 第二外国語としての中国語のための ID

本研究では、図 3-7 に示す螺旋型 ID を独自に設計した。日本の高校で開講される第二外国語科目の前提として、学習期間の短さ（英語のように長期間必修で継続することなく選択科目として 1 年から 2 年未満の短期の学習期間で終わってしまう）、人材の不足（担当講師は 1 人の日本人または中国語 NS か、それらを組み合わせたティームティーチングだが、中国語教育の専門家ではないことも多い）、履修者数の変動の大きさと不確定要素（学習者が数名から 30 名程度まで幅があり年度毎に増減幅が大きい）、シラバスや授業設計の自由度の高さ（学習内容の設定については担当講師の自由裁量度が高い）、授業変更の多さ（学校行事や必修科目調整の都合でしばしば休講や授業変更が発生する）、自宅学習時間の短さ（必修科目が優先で第二外国語に充てる学習時間がとれない）等が挙げられる。このような前提で実行可能な ID は、やはり線形のプロセスと総括的評価に重点を置くものではなく、短期間のイテレーションを蓄積する形で、授業や交流の中で見えてくる学習者ニーズを丁寧に拾い上げながら形成的評価を繰り返し、授業と遠隔交流を連携させて、「思い出した」「使えた」「自分なりに応用できた」「納得した」といった習得の実感を伴って学習と交流の経験を融合できるように展開することが望ましいだろう。教師の立場から考えれば、学習者の反応次第で授業を改変し続けるという予測不可能性や不確定性は不安が大きいかもしれない。しかし、この柔軟性こそが ID の主旨であり、授業設計に積極的に導入する勇氣が必要である。通常、高校の学習評価は、学期末や学年末に試験やアンケートを行う総括的評価を行う方式が主流である。しかし、教師が授業のたびに学習者の日常生活に関連した話題や授業中の様々な活動における学習者の反応を敏感に察知し、フィードバックを取り入れて授業改善に反映させるという形成的評価と改善を段階的に繰り返すサイクルを具現化することが ID のねらいなのである。そして、そのような学習のプロセスを教師と学習者が共同で練り上げていく相互依存的な関係を表現した ID が必要となる。本研究では、このような前提に基づき、従来の中国語教育で行われてきた線形のプロセスモデルにはない ID、すなわち、学習者の視点を積極的に取り入れ、教育・学習の現場の実情に柔軟に対応するプロセスを表現し、具体的な学習支援と活動内容を特徴とする ID とそれに含まれる BL モデルを設計した。第二外国語としての中国語のための遠隔交流を活用したブレンド型学習の ID（図 3-7）に示したプロセスと要素の詳細は以下の通りである。なお、この ID に含まれる BL モデルについては次節で解説する。

第 1 ステップとして、学習者ニーズを分析する。学習者像の想定と学生アンケートに基

づき高校生が望む具体的な交流の目標を知る。第 2 ステップとして、学習者の遠隔交流の目的を達成するための学習項目を設定する。交流トピックに関連するプロジェクト学習の年間計画に基づき、各回の学習内容を検討する。第 3 ステップとして、学習コンテンツを開発、実装する。既習の語句や文型に基づき、交流で想定される対話文に用いたタスクを作成する。また、Word 文書や e ラーニング課題等、学習者へ提示するメディアを決定し学習コンテンツを実装する。本研究では、学習者の作業環境とデータ管理の利便性に配慮して、Word 文書のワークシートを作成した。第 4 ステップとして、語彙・文法学習、e ラーニング、遠隔交流の 3 つの学習形態を組み合わせた BL モデルを実施する。BL を通じて新たな学習者ニーズが随時現れてくるので、後続の学習コンテンツやタスクに反映させる。また、遠隔交流の直後に感想アンケートを実施し、学生からの評価を把握する。この新たな学習者ニーズの反映や感想アンケートからわかる要望等を形成的評価として捉え、学習コンテンツの改善や交流トピックの修正を検討する。なお、この第 4 ステップは、それ自体が 1 つの小規模な螺旋型の ID となっている（図 3-8）。すなわち、1 回分の遠隔交流をめぐるイテレーティブなプロセスである。このように、学習者ニーズの再分析とタスクやコンテンツの修正を含む形成的評価に基づく最適化を繰り返し行う。このイテレーションを第 2 回、第 3 回、...第 n 回と繰り返し、既習の語句を復習し、新出単語や表現を学習しながら学習を進める。交流トピックの内容も徐々に複雑で幅広くなり、話題も豊富になり、活動も充実していく。最終ステップとして、一年間の BL 実践の評価を行う。ここでは、学習者にとっての学習の経験と成果を量的・質的アプローチの双方から分析し、総合的に評価する。この総括的評価に基づき、翌年度の学習者ニーズを新たに分析し、交流トピック、学習項目、タスク、教材、コンテンツ等を改善する。このようにして、ID 全体が翌年度の第 1 ステップへと螺旋状に循環し、持続的に発展する。

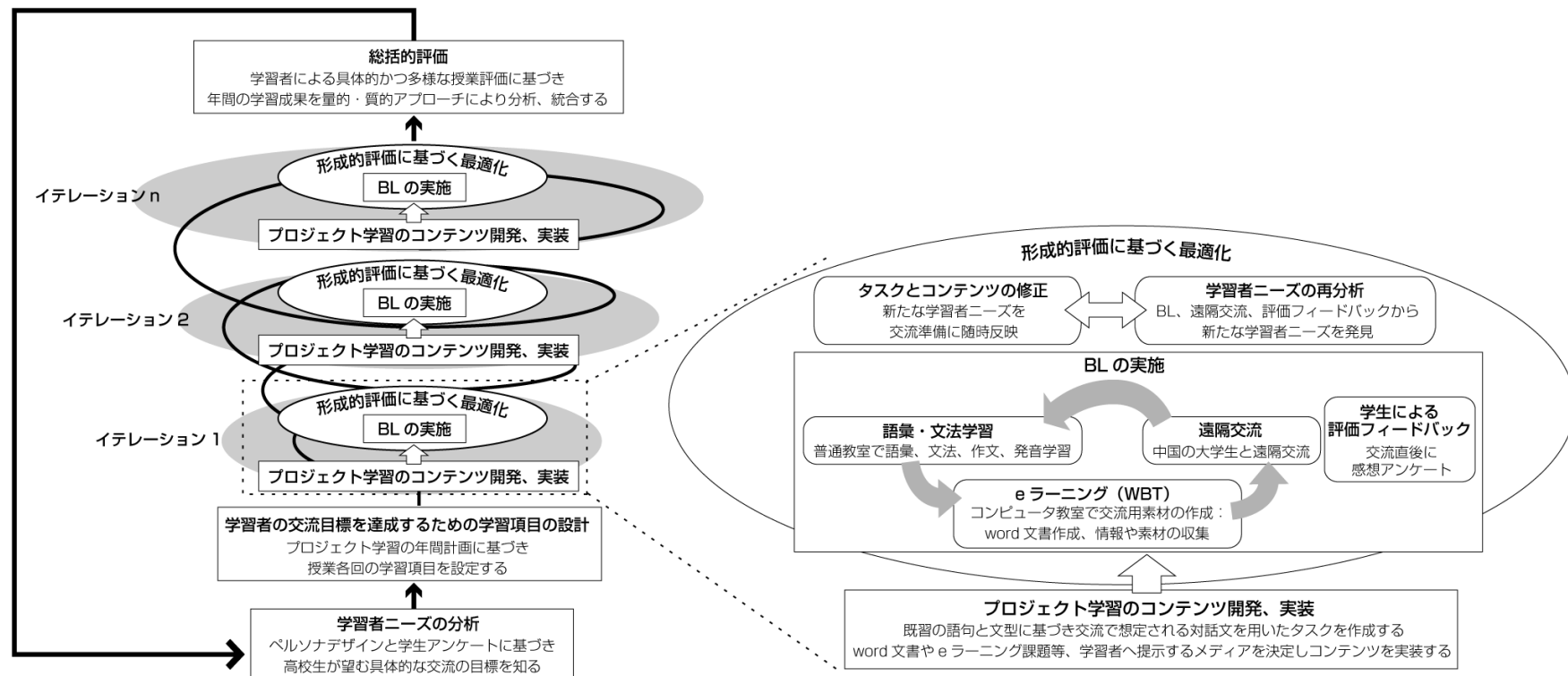


図 3-7 遠隔交流を活用した中国語 BL のための ID

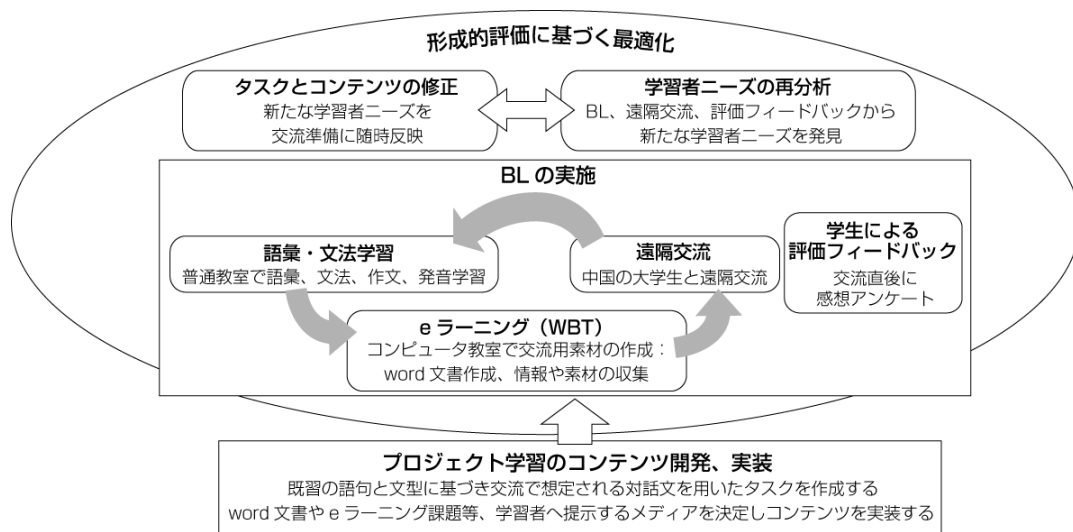


図 3-8 遠隔交流を活用した中国語 BL のための ID (図 3-7 のイテレーション内部拡大)

3.4 遠隔交流を活用したブレンド型学習モデル

BL は、様々なメディアを活用して対面授業とオンライン学習を統合し学習環境をデザインするための理論体系である。本研究では、(1) 語彙・文法学習を中心とする対面授業、(2) ICT 活用の学習を中心とする e ラーニング、(3) 日本と中国の学生間の遠隔交流という 3 つの学習形態を有機的に組み合わせた循環型の学習プロセス (図 3-9) を設計し、これを BL モデルと定義する。前節 3.2 の ID のうち、「BL の実施」の段階で行われる 1 サイクル分の学習形態が小さなユニットとしての BL モデルに該当する。ここでいう「有機的」とは、3 つの学習形態を構成する複数の学習要素とその学習を経験した学習者の知識や技能が相互に連携し、学習した内容を実践的に使用する「本番」のステージともいえる遠隔交流の場で様々なパフォーマンスとして発揮され、交流のために効果的に作用することを示す。本研究の BL モデルでは、「対面授業、e ラーニング、遠隔交流」の 1 つのサイクルが完了すると、次のサイクルへとつながり螺旋型に発展していく。これは、知識蓄積のための一方的で単純作業化した「無機的な」文法学習やドリル型の e ラーニングを断片的に実施して評価する線形のプロセスとは対照的である。また、本研究では、社会構成主義の世界観に基づき、学習者視点での学習成果と学びの経験に対する意味づけを重視する立場をとる。学習者が互いに交流の当事者として認識し合い、過去に学習した語句・文法・表現等を自身にとって意味のある文脈の中で駆使しながら、時間・空間・活動を共同で体験し、その場でやり取りされる全ての情報とその過程を含む関係を共有することを「インタラクシ

ン」と考え、これを実現するものを「インタラクティブ」な学習と捉える。

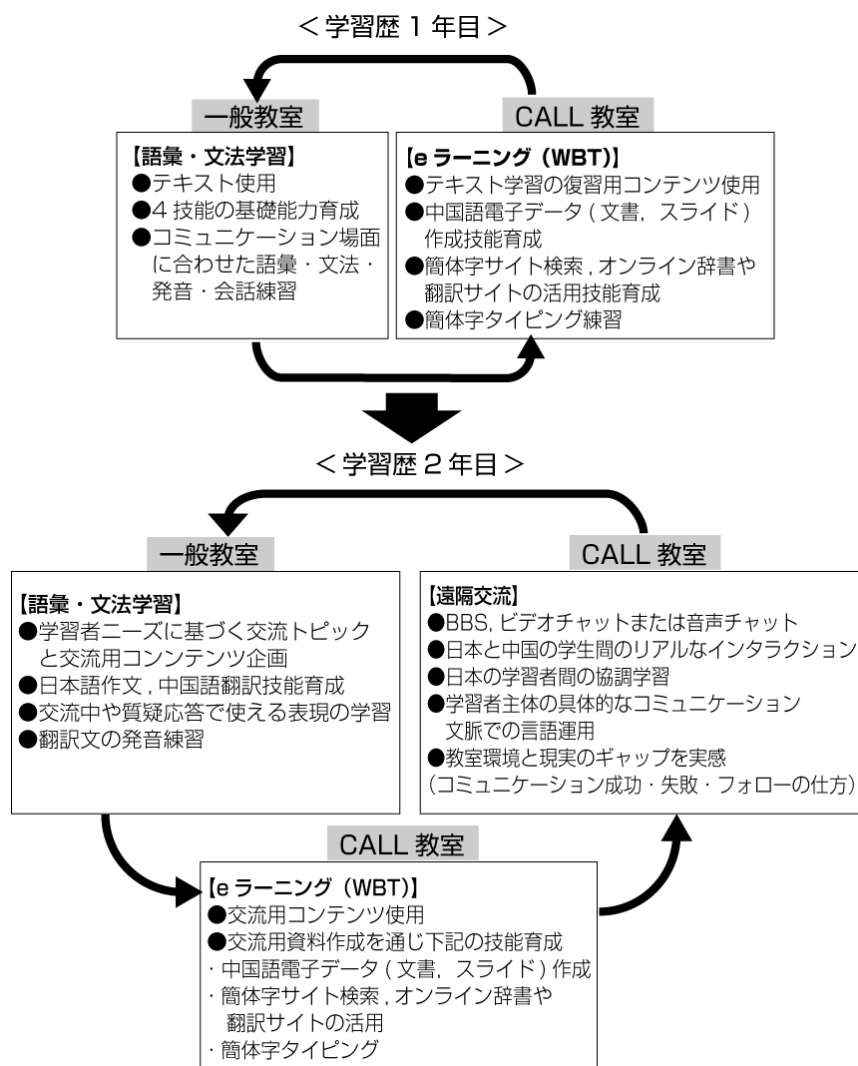


図 3-9 遠隔交流を活用した BL のモデル

学習歴 1 年目に相当する初学者を対象とした場合の BL は、従来の語彙・文法学習とオンライン課題学習による e ラーニング (WBT) を組み合わせて行うことで、対話交流のための言語的側面の資源を増強し、ICT ツール活用の基礎技能を訓練することに重点を置く。学習者はまだ自力で即時的なコミュニケーション場面にに対応するに十分な言語運用技能を習得していないため、非同期型でのインタラクティブを経験することから始めることが望ましい。例として、BBS や e メールを使用した自己紹介やトピックを設定しての意見交換、デジタル文書作成 (年賀状やクリスマスカード等) と交換、ブログでのレポート記録とコメント記入、質問やプレゼンテーションを記録した動画に字幕を付与したビデオメッセー

ジ作成等が考えられる。この段階の実践については、杉江（2011a）を参照されたい。

本研究で扱う、学習歴 2 年目を対象とした BL は、(1) 語彙・文法学習を中心とする一斉授業、(2) ICT 活用の学習を中心とする e ラーニング、(3) 日本と中国の学生間の遠隔交流の 3 つの学習形態を組み合わせた循環型の学習プロセスである。(1) 語彙・文法学習は、一般教室で行う。ここでは、学習者ニーズに基づき交流トピックを検討、決定し、交流で話す内容にあたるコンテンツを企画する。交流トピックに関するコンテンツをできるだけ簡潔な日本語で作文し、単純な中国語で翻訳する技能を育成する。交流の過程でやりとりされる相槌や応答、質疑応答で頻繁に使用する会話表現等、教科書では習わない実践的な会話表現も学習する。各自が作文・翻訳した交流素材を正確に発音する練習をする。(2) e ラーニングは、CALL 教室のようにインターネット接続可能なモバイル端末のあるパソコン教室で行う。タブレット PC やスマートフォン等のモバイル端末を学習者が各自で利用できる環境であれば、一般教室でも行うことができる。ここでは、交流用のコンテンツや資料作成を通じて、中国語を用いて文書やプレゼンテーションデータを作成する、簡体字の Web サイトを検索して情報収集をする、翻訳サイトやオンライン辞書を活用する、簡体字タイピングで文字入力を行う、ビデオ編集や音声録音を行う等、交流の準備活動を通じて ICT 活用の実践的な技能を訓練する。(3) 遠隔交流は、インターネット接続可能な環境で行う。e ラーニングと同様、インターネット接続と必要な設備機器（詳細は 4.4 を参照）が揃うのであれば、任意の場所で開催できる。ここでは、同期型の遠隔交流を行う。主にビデオチャットまたは音声チャットを行いながら、補足的に BBS や e メール等の非同期型交流も活用する。遠隔交流の現場では、日本と中国の学生間のインタラクションが展開すると同時に、日本の学習者間の相互支援が発生し、中国語によるコミュニケーション達成を目的とした協調学習が期待できる。学習者主体の具体的なコミュニケーション文脈で中国語が運用され、コミュニケーションの成功・失敗や互いの失敗時のフォローの仕方といった教室環境と現実のギャップも体験する。インタラクションに基づく学習経験を蓄積しながら、課題の発見や目標の明確化といった学習上の気づきを自然な流れの中で得られることが予想される。

以上、研究の概要、ID の理論的枠組み、本研究の ID 及び遠隔交流を活用した BL モデルについて説明した。次章では、BL の準備段階における、年間学習計画、教材開発、授業実践の環境・設備、オンラインアンケート構築について説明する。

第4章 授業実践の準備

本章では、遠隔交流を活用した BL を実施するにあたり必要な準備、年間学習計画と BL のデザイン、学習者ニーズに合わせて独自に開発した教材、授業実践に必要な設備機器やネットワーク環境、アンケートデータ収集のための Web サイト構築について説明する。第一節「遠隔交流のために必要な作業フロー」では、本研究における交流相手探し、交流トピックの企画、使用メディアの選択、交流活動の具体化、学習のねらいの明確化、学習者のコミュニケーション技能育成のポイント、仲間意識の形成、コミュニティのデザイン、展開の予測、教師間の連携について実態を述べる。第二節「年間学習計画とブレンド型学習のデザイン」では、本研究の ID 及び BL モデルに基づく年間学習計画について説明する。第三節「ブレンド型学習のための教材作成」では、遠隔交流のトピックごとに独自に開発した教材を例示し、内容を解説する。第四節「ブレンド型学習のための環境設定」では、BL の実践に必要な教室環境、ネットワーク環境、データ管理方法、遠隔交流で使用した設備機器等について説明する。第五節「授業評価アンケートサイトの開発」では、授業評価アンケートのために構築した Web サイトについて述べる。第六節「成績評価における学習成果の位置付け」では、学校側が規定する成績評価と BL の成果との関係性を示す。

4.1 遠隔交流のために必要な作業フロー

遠隔交流を開始するにあたって、事前に何を準備すべきか、必要な作業のポイントを確認する必要がある。本研究では、稲垣(2003)が提唱した「学校間交流学習をはじめるための 10 のステップ」を参考に、遠隔交流に必要な作業フローを整理した。

表 4-1 学校間交流学習をはじめるための 10 のステップ

1. 交流相手を見つける	1.遠隔独立型 2.地域共同型 3.プロジェクト型
2. 交流の素材・テーマを考える	交流テーマの検討、相手校との共通点を探す 共通点がなければ、共通の活動や目標を設定し、交流を通じて学習できそうな内容を想定する
3. 使用できるメディアを選ぶ	ネットワーク利用(同期・非同期)かオフライン手段かなど各種メディアの使用を検討する ネットワーク利用では、相手校の環境を綿密に確認する 学習者に適切なメディアを選択させるのもよい
4. 具体的な交流活動をイメージする	交流学習の 4 つの活動形式: 1.交流体験型 2.実践報告型 3.共同調査型 4.協働活動型 交流テーマ、使用メディア、育成したい力などを検討し、交流活動を明確にイメージして、交流期間や最終成果を具体化する

5. ねらいを明確にする	交流によって育成したい 5 つの力: 1.コミュニケーション能力の育成 2.他地域・異文化理解の育成 3.学習を追究する意欲の育成 4.情報リテラシーの育成 5.協同作業する力の育成 目標を選び、学習者の実態、テーマ、交流活動の種類により育成したい力の範囲と程度を明確化する
6. 学習者のコミュニケーション・スキルのトレーニング	学習者に交流を通じてコミュニケーションの失敗を体験させながら、自分たちの考えや思いを伝えるための改善点を示し、情報リテラシーやコミュニケーション・スキルを指導する 単調な訓練ではなく、「相手がいる学習」であることを活かした、「伝えたいのにうまくできないもどかしさ」を感じられる交流をデザインする
7. 学習者間の仲間意識を育くむ	相手校の1人1人の顔が見えてくるような工夫をこらし、「この相手だから伝えたい」気持ちを引き出す 共通目標のもとに、学び合い、高め合う仲間関係を築くことで、学習者の主体的活動として交流を展開できる
8. コミュニティをデザインする	学習形態(学級、グループ、個人)を相手校と調整しながら交流を展開する
9. 展開を見通す	互いの「差異」を活かした比較や討論により交流テーマの理解を深めることができる 互いの立場を理解し、多面的に問題を考える場面を設定する 教師も想定外の差異を発見し交流が展開する可能性があり、この展開を学校間交流の効果として積極的に活用できる
10. 教師間の連携を図る	交流する教師間の密な連携を維持することが必須である 交流テーマの検討、交流期間中の学習の流れ、日常的に学習者のメールや掲示板の書きこみなどについて学習者の実態を交えて情報共有することで、校内の学習活動中にも交流を意識した「しかけ」ができる 教師間の対等な意思疎通が成立しなければ、期待する効果を得ることは難しい

稲垣(2003:pp.198-200)を参考に筆者改編

第1のステップとして、交流相手校を探すにあたっては、「1.遠隔独立型:個人的・個別的なつながりから相手を探す」「2.地域共同型:地域内の研究組織と協力して実施する」「3.プロジェクト型:企業、NPO、研究組織、特定の学校がホストになり全国に参加を呼びかける」の3つのタイプがある。本研究は、「1.個人的・個別的なつながりから相手を探す遠隔独立型」に該当する。北京で日本語教師の支援活動をする組織団体に所属していた筆者友人の協力を得て、中国の日本語教師メーリングリストを通じて、本研究の概要と諸条件(筆者の所属、遠隔交流研究プロジェクトの概要と目的、中国語教育実施校と公式サイト URL、相手校教師と交流参加学生に対する要件、交流時期と頻度、交流形態、日本側学生の学年、人数、学習歴等の前提、具体的な交流方式やトピックの想定等)について中国語文書を作成して告知した。複数の高校や大学の日本語教師(中国人・

日本人を含む)から肯定的な返信があり、その中から交流相手校を絞っていった。日本側の交流可能な時間帯や機器設備環境の条件等を提示して相互に交流の実行可能性を検討し、最終的に中国吉林省と湖北省の大学 2 校と交流することが決定した。いずれも日本留学経験のある中国人の日本語教師とその教え子である日本語専攻の学生であり、中国語と日本語の両方を用いてコミュニケーション可能な交流相手が得られたとの関係が実現した。

第 2 のステップとして、交流の素材・テーマを決める。交流のテーマを検討し、学習テーマや地理的条件等の共通点を話し合う。共通点がなければ、共同制作のように共通の活動や目標を設定し、交流を通じて学習できそうな内容を想定する。本研究では、中国語授業の一環であることを踏まえて、外国語習得と異文化間交流の両方に配慮した。交流トピックは、日中双方の学生に対して、興味のあることは何か、交流してみたい話題やジャンルは何かを問う事前アンケートを実施し、トピックを絞り込んだ上で決定した。この時、教師が一方的に決定するのではなく、トピックを多めに用意しておき学習者が希望する内容を選択できるように配慮した。

第 3 のステップとして、使用メディアを決める。ネットワーク利用の同期型・非同期型、ネットワークを利用しないオフライン手段等あらゆるメディアの使用(電子掲示板／メール／データベース／テレビ会議システム／ビデオレター／郵送による実物交換等)を検討する。ネットワーク利用の場合は、相手校の情報設備環境を綿密に確認する必要がある。稲垣(2003)は、使用可能な交流手段、使用可能な時間帯、頻度を列挙し、学習者に適切なメディアを選択させる機会をつくるのもよいと提言している。本研究では、中国側の強い要望により、同期型のビデオチャット(+音声及びテキストチャットの補助)による交流形態が前提であった。日本側の学生も、リアルタイムで中国の学生と遠隔で接続し同期的に対面交流できると聞いて大いに興奮し、非常に期待していた。学校側との調整の結果、高校のネットワーク利用にあたっては、セキュリティ管理上、閲覧制限がありインターネット使用の自由度が低いこと、また、ビデオチャット機能を有するアプリケーションソフトウェアのインストールが禁止である等の障壁があること、部活動のパソコン教室使用が優先であるために定期的かつ長期間にわたる遠隔交流のための使用权を確保できないことが判明した。また、日本の高校と中国の大学では時差や授業時間の違いがあるために中国語の授業時間内での遠隔交流は困難であった。そのため、授業時間帯にパソコン教室を利用するのではなく、放課後に空き教室で教師個人のモバイル通信機器を使用した。具体的な環境設定、使用機器及びアプリケーションソフトウェアの種類等については、4.4 で述べる。交流日時の調整は、高校の放課後の時間帯を利用して交流時間枠を設定し、中国側の参加者と調整して日時を確定した。日本側はクラス全体を少人数グループに分けて都合のよい学習者が交流に参加する方針とし、中国側は交流予定日

時に 1 名以上の参加者を確保できるよう調整した。また、交流素材(文書、写真・動画、実物等)は、パソコンの Web カメラに直接映すか、データをビデオチャット用のアプリケーションソフト経由で送信することを想定した。

第 4 のステップとして、交流学習の活動形態をイメージする。4 つの活動形式として、「1.交流体験型:国際交流等、相手を理解しコミュニケーションできるようになること自体が目的」「2.実践報告型:互いの地域を舞台にした学習活動の経過を報告し合い、話し合いによりそれぞれの学習を深める」「3.共同調査型:調査方法や具体的な行動のフォーマットを事前に決定し、調査結果をデータベース化する」「4.協働活動型:本の共同制作や対面型(オフライン)会議の開催など目標を決め、それに向けて活動する」がある。交流テーマ、使用メディア、実践を通じて育成したい力等を検討し、交流活動を明確にイメージすることで、交流期間や最終成果が具体化する。本研究は、国際間の異文化間交流であり、「1.交流体験型」に該当した。日中双方の学習者の純粋な好奇心から交流トピックを設定し、相手を理解すること、相互の文化的差異や共通点を探り、中国語と日本語を柔軟に活用して自由な雰囲気を楽しみながらコミュニケーションするという、継続的なインタラクション経験の蓄積そのものを目的とした。

第 5 のステップとして、ねらいを明確にする。交流によって育成したい 5 つの力として、「1.コミュニケーション能力の育成」「2.他地域・異文化理解の育成」「3.学習を追究する意欲の育成」「4.情報リテラシーの育成」「5.協同作業する力の育成」を想定する。このうち、どれを主な目標とするかを選び、学習者の実態、テーマ、交流活動の種類により育成したい力の範囲と程度を明確化する。本研究のねらいとしては、「既習の中国語の知識を実践で応用する言語運用技能及び身振りや日本語の支援も含めた総合的なコミュニケーション能力の育成」、「中国という国、その中でも南方と北方という地域差に基づく異文化理解能力の育成」、「交流のための準備活動をペア学習やグループ学習で行う協同作業能力の育成」、「遠隔交流で中国の学生と交流するために必要な環境設定や機器の使用、パソコンでの中国語入力、中国語文書やプレゼンテーション資料の作成等、ICT 活用技能の育成」を設定した。

第 6 のステップとして、学習者のコミュニケーション・スキルのトレーニングを行う。学習者に交流を通じてコミュニケーションの失敗を体験させながら、相手に自分たちの考えや思いを伝えるための改善点を示し、情報リテラシーやコミュニケーション・スキルの指導をする必要がある。単調な訓練ではなく、「相手がいる」という状況を活かす学習を工夫することが重要である。稲垣(2003)は、伝えたいことが湧き出してくるのに上手く伝えられない「もどかしさ」を体験できるような交流の流れをデザインすることが重要であると述べている。例えば、非同期型の交流で、掲示板の書きこみが

遅かったりコメントがうまく書けなかったりするの、タイピングの速度、語彙不足、相手を意識して文章を書く経験の少なさが原因である。同期型の交流でテレビ会議の際に、原稿を読むのが精一杯で即時応答できないのは、発話の速度や簡単で理解しやすい会話表現の知識不足と発音のたどたどしさ等が原因である。本研究の ID と BL モデルは、語彙・文法学習と e ラーニングによる学習内容と遠隔交流を効果的に連携させることで、このステップが実現する。すなわち、中国の学生との遠隔交流を通じてコミュニケーションの失敗や成功を体験しながら、自分たちの考えや思いを伝えるための改善点を学習者自身が自覚し、改善に向けて努力を継続し、教師が学習のプロセスで様々なコミュニケーション・スキルを指導する場として設計した。

第 7 のステップとして、学習者間の仲間意識を育む。「伝えたいことがある」必然性を活かすと同時に、相手との仲間意識を形成する。交流相手 1 人ひとりの顔が見えてくるよう工夫して、「この相手だから伝えたい」という気持ちを引き出す。共通の目標をもって学び合い、高め合う仲間関係を築ければ、学習者の主体的活動としての交流を展開できる。稲垣(2003)は、顔写真付き自己紹介カードを送り合い、テレビ会議で確認する等を例に挙げている。本研究では、中国側の参加学生の人数が少なかったために、自然な形で同一の相手と複数回交流することが可能となり、交流を重ねる中で徐々に親しみがわくような設計が実現した。交流相手は日本語学習歴が長く運用技能も高かったため、協調学習というよりは外国語学習者のメンターとしての働きが期待された。しかし、異文化インフォーマントとしての価値は同等であり、日常的に接する機会がほとんどない自分の学習対象言語の NS と直接対話できることへの期待や緊張については、同じ意識を有するものと予想される。

第 8 のステップとして、コミュニティをデザインする。学習形態(学級、グループ、個人)を相手校と調整しながら交流を展開する。地域共同型やプロジェクト型で参加校が 3 校以上の場合、柔軟なコミュニティ・デザインが必要となる。例えば、調べる内容によって交流相手を選ぶ、時期により相手を変える等の工夫が必要となる。本研究では、日本側 1 校に対して中国側 2 校が交流相手の候補であったが、接続するのは常に 1 校であった。毎回、中国側の大学生 1 名から数名と日本側の高校生数名が交流する少人数のグループ交流であった。交流時間枠を複数のセッションに分け、毎回の交流で中国側の複数の相手と交流できるよう設定した。交流相手の割り当てについては、交流日時の候補を中国側の教師に伝えて中国側参加者のグループとリーダーを確認し、リーダーを中心として個別に連絡し、毎回の参加者を確認、決定した。連絡手段には、遠隔交流と同じく QQ を使用した。

第 9 のステップとして、交流テーマの理解を深めるために展開を見通す。交流テーマの理解を

深めるには、互いの差異を活かした比較や討論が有効である。これには、地域性、文化、消費者と生産者のような立場、考え方、発表形式、学び方や調べる手段の選び方等が挙げられる。互いの立場を理解し、多面的に問題を考える場面を設定する必要がある。差異を想定する一方で、教師も想定外の差異を発見し交流が展開する可能性があり、この展開を学校間交流の効果として積極的に受け入れるべきである。稲垣(2003)は、学習成果を共同の Web サイトにまとめる課題を設定することで互いの調べた内容を再確認する機会を持たせることができ、まとめ方の管理を学習者に任せることで、全体構成の話し合い、役割分担、スケジュール調整といった、協同作業に必要な力を育成することも可能であると提言している。本研究の ID と BL のモデルは、授業中に交流トピックに応じて紹介や発表の内容を中国語で考え、原稿や交流素材を準備して発音練習を行い、遠隔交流で実際にプレゼンテーションすると同時に、相互に質疑応答を行う設計とした。中国と日本との差異を理解すると同時に、中国側の地域差、大学の違い、相手の個性による差異や共通点も知ることが想定された。また、準備した内容から離れて、遠隔交流中の会話の流れで思いつく内容のような想定外の対話が展開されることも期待した。また、セッションごとに交流相手が変わることで、同じ内容を反復的に実践することになり、同じ質問でも様々な表現や答えがあることを知る機会にも期待した。

第 10 のステップとして、教師間の連携を図る。交流相手校の教師との密な連携を維持することが不可欠であり、交流テーマの検討、交流期間中の学習の流れ、学習者のメールや掲示板の書きこみ等を含む学習者の実態に関する情報共有によって、交流以外の学習活動中にも交流を意識した「しかけ」をすることが可能となる。遠隔交流では、学習指導のみならず技術面での設定等も必要となり、例えばテレビ会議では、時間帯調整や機器テスト等、セッティングすべき事項が増える。しかし、互いの学習者の関心の把握、教師自身がどのような活動を望み、学習者にどのような力や態度を育成したいかを共有することがより重要である。稲垣(2003)は、一方が主で他方が副という関係ではなく、教師間の対等な意思疎通が必須であり、この関係が成立しなければ期待する効果を得ることは難しいと指摘している。本研究では、交流相手校の中国人日本語教師と筆者(日本人中国語教師)とが、相互に相手の国の仕事の進め方や思考方法に対する理解があり、言語運用能力も日本語と中国語の双方で細部までコミュニケーションを取れる状況であったことから、スムーズな連絡が実現した。中国側の教師は日本留学経験があり、日中の学生同士が交流しながら相手を知り、楽しみながら言語を相互に学ぶという、異文化間コミュニケーションの経験を目的とする交流活動の主旨に高い共感と熱心な協力姿勢を示してくれた。また、中国側の学生管理方法として、遠隔交流で使用する IM ソフトウェアを日常の連絡や学生管理に使用していたことから、筆者と中

国側の教師だけでなく、中国側の参加者とも直接連絡することが可能であった。多忙な教師を介さずとも交流相手と情報を共有できる連絡方法を確保することは、臨機応変な対応を実現する条件として非常に重要である。なお、交流形態、設備機器、使用ツール等を決定するまでに、複数回の接続テストを実施すると共に、筆者が現地を訪問して環境視察・調査を行い、高校生の中国語学習の実態を紹介する講演をする等して遠隔交流の目的と意義をアピールする「関係づくり」も必要であった。この過程で、人間関係(関係)が最重要視される中国を相手に、地道に信頼関係を構築し、関係者間のコンセンサスを形成した。交流開始までに、日本側から遠隔交流の日時を記載した年間予定表と想定される交流活動、参加者名簿(氏名、学年、メールアドレス、QQ ナンバー等)を交換し、各回の遠隔交流の参加者を割り当てた。スケジュール変更が発生する可能性も高いため、割り当て確定後は、中国側の学生リーダーを経由するか、あるいは参加者に直接 QQ で連絡する方針とした。

本研究では、BL 全体を通じて、日本側の学習者が決して多くはない言語の知識や運用技能を可能な限り活用して中国語での主体的な発話に挑戦すると共に、教師や中国側からの中国語や日本語による支援を得ながら、相手の話を聞き取り理解し、自分が話したいことを中国語で表現するという中国語コミュニケーション経験の蓄積をねらいとした。授業で学習した中国語を、単なる知識情報として記憶するのではなく、実際に中国に生きる中国人の若者と対話しながら活用し、コミュニケーション成立の喜びや話が通じなかった時のもどかしさを体験すること、中国の若者たちの考え、態度、行動等を直接見聞きすることによる発見といった情意面の影響や効果に期待した。

4.2 年間学習計画とブレンド型学習のデザイン

第3章で述べた ID 及び BL モデルに基づく実践が可能となるよう、年間学習計画を設計する必要がある。通常、高校では年度初めに非常勤講師も含め科目担当者に対して年間授業時間数や学校行事計画表等が配布される。それらの資料を参考に、中国語科目の年間学習計画表を作成した(表 4-2、詳細は付録 1 を参照)。本研究では、Microsoft® Excel® を用いて、年間授業回数に基づき授業と遠隔交流のスケジュール表を作成した。学校行事や定期試験に配慮し、授業で周到な準備を整えたうえで遠隔交流に臨むという BL のサイクルと学習活動の展開を予測しながら、遠隔交流の日時の候補を設定した。この年間学習計画表は、年初に規定した内容を遂行することを目的として作成するのではなく、学習の進捗や遠隔交流実施の進捗を把握し、実情に合わせて適切に教育・学習が進められるようにするためのものである。したがって、計画表の作成後も日誌のような形で毎回の授業内容と

進捗等を書き込みながら、後続の学習活動や遠隔交流の計画を随時調整し、計画表を修正していった。

表 4-2 年間学習計画表

	対面授業 月3	eラーニング 木2	オンライン交流 放課後
4月	・ 前年度の語彙・文法の総復習	・ 学習者連絡先リストの作成	・ なし
5月	・ 学習目標のループリック作成 ・ クラス写真撮影 ・ プロジェクト学習①詳しい自己紹介(語彙・文法・発音) ・ 自己紹介ビデオ撮影 ・ 前期中間試験	・ ループリック回収 ・ 交流相手の学校・学生紹介 ・ 自己紹介作成 ・ プロジェクト学習①詳しい自己紹介(Word 文書作成、発音) ・ 自己紹介ビデオ撮影	・ 遠隔接続試験 ・ 事前アンケート実施 ・ オンライン交流①
6月	・ プロジェクト学習②中国の学生に質問しよう(トピック整理、日本語作文、中国語翻訳、発音)	・ プロジェクト学習②中国の学生に質問しよう(情報収集、日本語作文、中国語翻訳、Word 作成、発音)	・ オンライン交流②
7月	・ 学校祭 ・ プロジェクト学習③日本の高校生活紹介(トピック企画、日本語作文、中国語翻訳、発音) ・ 夏休み	・ プロジェクト学習③日本の高校生活紹介(情報収集、日本語作文、中国語翻訳、Word 作成、発音)	・ オンライン交流③
8月	・ 夏休み ・ プロジェクト学習③続き	・ プロジェクト学習③続き	・ オンライン交流④
9月	・ 前期期末試験 ・ プロジェクト学習④中国について話してみよう(トピック企画、日本語作文、中国語翻訳、発音) ・ 留学生交流会(札幌の大学から) ・ 学期末休業	・ プロジェクト学習④中国について話してみよう(情報収集、日本語作文、中国語翻訳、Word 作成、発音)	・ オンライン交流⑤ ・ オンライン交流⑥
10月	・ プロジェクト学習⑤高校生の放課後・休日(トピック企画、日本語作文、中国語翻訳、発音) ・ 第二外国語学習成果発表会	・ プロジェクト学習⑤高校生の放課後・休日(情報収集、日本語作文、中国語翻訳、Word 作成、発音)	・ オンライン交流⑦ ・ オンライン交流⑧
11月	・ プロジェクト学習⑤続き ・ 試験前の総復習	・ プロジェクト学習⑤続き	・ オンライン交流⑨ ・ オンライン交流⑩
12月	・ 学年末試験 ・ 冬休み ・ 受験に向けた特別授業	・ オンラインアンケート ・ インタビュー	

3.3 で述べた通り、遠隔交流を活用した BL モデルは、(1) 語彙・文法学習を中心とする対面授業、(2) ICT 活用の学習を中心とする e ラーニング、(3) 日本と中国の学生間の遠

隔交流の 3 つの学習形態を組み合わせた循環型の学習プロセスを表現したものである。語彙・文法学習と e ラーニングについては、週 2 回の授業で遠隔交流に向けた準備作業を進め、交流素材が準備できた段階で遠隔交流を実施するというサイクルを繰り返した。日本側と中国側のスケジュール調整の結果、遠隔交流は高校の放課後にあたる時間帯（日本時間で午後 4 時～6 時 30 分ごろ、中国時間で午後 3 時～5 時 30 分ごろ）に実施することとした。その理由は、中国と日本の時差（1 時間）があり、日本の高校と中国の大学の 1 コマ分の授業時間も異なるため（高校は 50 分、大学は 90 分）、授業時間内で遠隔交流を実施することが困難であったためである。また、参加者や時間の変更等、当日連絡が発生した場合に、課外の方が連絡を取りやすく、臨機応変な対応をするのに適していたためである。遠隔交流を月 1～2 回程度とし、それに向けて授業で準備を整えるサイクルであったが、実際には交流トピックについて学習者の話したい内容や質問の複雑さによって準備に時間がかかったり、双方の学校行事や予定の都合で交流が延期や中止になる状況も発生するため、無理のないよう臨機応変に随時調整し、少なくとも月 1 回の交流は確実にを行うことを目指した。

4.3 ブレンド型学習のための教材作成

BL のための教材は独自に開発する必要がある。遠隔交流のトピックは、年度初めに事前アンケートの形で日本側と中国側の要望を確認し、興味関心のある分野を把握した上で、学習者と教師が相談しながら決定した。この場合、年度毎に交流トピックや学習内容が変わるため、交流準備に必要な語彙や例文、ワークシートや e ラーニング課題については、毎年同じ内容で利用できるものもあれば、改訂や新規作成が必要になるものもある。

以下に、本研究の遠隔交流トピック及び準備で使用した教材（新出単語、例文、オリジナル作文練習課題等をまとめたワークシート）について述べる。交流トピックは、①詳しい自己紹介、②日本の高校生活（日本側の要望に応じて設定）、③学校祭、④夏休み、⑤中国からの質問に答える（中国側の要望に応じて設定）の 5 つとした。

「①詳しい自己紹介」については、高校 2 年次の学習内容の総復習として、自由作文の課題とした。含める内容は、「あいさつ」「名前」「学校名・学年・専攻」「部活や習い事」「誕生日・年齢」「家族構成」「趣味・好きな物やこと・特技」とした（付録 2）。

「②日本の高校生活」については、日本の高校生が中国の学生と交流したいトピックを 4 つにまとめて担当を割り当て、ペア学習の課題とした。トピックは、「飲食・グルメ」「芸

能・メディア（音楽、テレビ、ドラマ、映画等）」「学生・若者の流行」「学校生活」であった。原則として、日本の高校生が自分たちの状況を紹介し、中国の大学生に関連した内容を質問する流れとした。大量の情報を詰め込むことはせず、簡単な文を自分たちの覚えられる範囲で作成して、少ない言語資源でも確実に発話し、コミュニケーションできたという実感につなげることをねらいとした。語彙・文法学習と e ラーニングの授業でペアごとに役割分担をして簡単な紹介文を日本語で作成し、それを中国語に訳してから、Word 文書を作成し、できるだけ原稿を見ずに話せるよう発音練習するという流れで学習を進めた。

6月のオンライン交流準備：日本から中国への質問	
2012年6月11日（月） 中国語非常勤講師 杉江 (1) 交流のトピックを確認・共有しよう アンケートで出た「中国の学生と交流したい話題」は下記です。一人2つテーマを選びましょう。 1. 飲食、グルメ:担当(KBA)(HM) お互いの国のおいしい食べ物!! 2. 芸能・メディア(音楽、テレビ、ドラマ、映画等):担当(KBY)(FY) 好きな歌手についてとかドラマについて。 中国で人気の日本人俳優とか女優さんは誰か?あと、人気のアーティストなど! 中国で流行っている芸能人、歌手、ファッション、食べ物、など流行について。 3. 学生・若者の流行:担当(YZ)(MT) 今一番中国の学生の中で流行っていること。 中国で流行しているものやことについて話したいです。 4. 学校生活:担当(KE)(YG) 中国の学校生活について!日本と違う点など。 (2) 交流の流れ ①質問するにあたって、「日本ではどうか?」をまとめ、中国語に訳します。 ②「中国はどうですか?」と中国の学生たちに質問しましょう。 ③日中対訳の資料が完成したら、オンライン交流でやり取りしましょう。 6月のオンライン交流予定日 6/14(木) 参加予定者: KB, KBA, KBY, HM, FY, YG 6/21(木) 参加予定者: KBA, HM, FY, YZ 【予告】7月のオンライン交流予定: 中国からの質問に答える 3月の調査で、中国の学生からも、「日本の学生に聞いてみたいこと」についてたくさんの意見が集まりました。数の多かったものを選別して、中国語で答えましょう。	
テーマ①	
日本の状況を紹介	
中国語訳	
テーマ②	
日本の状況を紹介	
中国語訳	

図 4-1 「②日本の高校生活」遠隔交流準備用ワークシート

「③学校祭」については、写真や動画を見せながら学校祭の活動内容を紹介すること、学習者が担当する劇、装飾、広報、合唱やダンス等のパフォーマンス等の詳しい内容と役割を紹介すること、関連する内容について中国側からの質問に中国語で答えたり、中国ではどうか質問したりすることを目標とした。遠隔交流が学校祭前であれば準備風景を紹介することとし、学校祭後であれば実際に自分たちが写っている写真や動画を用いて紹介することとした。紹介する内容については、学校祭関連の語句と例文を学習し、各自でオリジナルの紹介文を日本語で作成してから、中国語に訳した。その後、作文を提出させ、よ

り適切な語句や表現をフィードバックして全員で共有し、完成版を作成した。

中国の学生へ学校祭レポート			
写真や動画などを見せながら、7月の学校祭についてレポートしましょう。			
■単語			
紹介する		模擬店（屋台）を出す	摆摊子 bǎi tānzi
学校祭		飲み物を売る	卖饮料 mài yǐnliào
行う、開催する	举办 jǔbàn	軽食を売る	卖小吃 mài xiǎochī
イベント、活動		写真を撮る	拍照 pāi zhào
参加する	参加 cānjiā	ビデオを撮る	拍摄视频 pāishè shìpín
劇をする		一緒に～する	
歌を歌う		うれしい	高兴 gāoxìng
ダンスをする	跳舞 tiàowǔ	楽しい	
合唱コンテスト	合唱比赛 héchàng bǐsài	盛り上がる・興奮する	兴奋 xìngfèn
優勝する	获得冠军 huòdé guànjūn	にぎやかだ	热闹 rènao
準優勝する	获得亚军 huòdé yàjūn	(劇・試合が)すばらしい	精彩 jīngcǎi
受賞する	得奖 dé jiǎng	よい思い出になった	留下了美好的回忆 liúxià le měihǎo de huí yì
強調の副詞：非常に、とても、特に、超～		非常 fēicháng, 太 tài…了 le, 特别 tèbié, 超 chāo…	
■文法のポイント			
从 A 到 B : AからBまで (距離・時間の出発点と到達点)			
例) 我们 从 七月二十五号 到 八月十六号 放 暑假。 *放暑假 fàng shǔjià : 夏休みになる			
■オリジナルの紹介文作成			

図 4-2 「③学校祭」遠隔交流準備用ワークシート

「④夏休み」については、夏休みの思い出について中国語で紹介すること、関連する内容について中国側からの質問に中国語で答えること、中国側の夏休みの紹介を聞き取ること为目标とした。各自が夏休みの思い出について日本語で作文し、中国語に訳してから提出した。より適切な語句や表現をフィードバックしてから全員で情報共有し、完成版を作成した。フィードバックの際には、全員の手書きワークシートをスキャンして、Word 文書に貼り付け、添削した語句やコメントを入力して、全員に配布した（付録 9）。

【夏休み課題】 夏休みの思い出	
夏休みをどう過ごしたかを紹介する作文を書きましょう。いつ、どこへ行った、何をした、何がどのように楽しかった等、中国語で表現できるようになりましょう！	
■提出日：8月20日（月）、23日（木）の授業で発表。その後、修正してから完成版を使って、中国とのオンライン交流で使用。	
■課題：夏休みの思い出について、日本語文と中国語訳を1つの文書に記載すること。	
氏名：	姓名：
タイトル：	題目：

図 4-3 「④夏休み」遠隔交流準備用ワークシート

「⑤中国からの質問に答える」については、中国の大学生に対する事前アンケートで日本の学生と交流したい話題やジャンルを挙げてもらい、高校生が中国語で自分たちの状況を説明したり、質問に回答したりすることを目標とした。中国側からは様々な話題やジャンルが挙げられたが、学習者と教師で相談の上、内容が複雑すぎたり抽象的だったりするものは避け、高校生の立場で考えやすいものを選抜した。高校生は担当するトピックを分担し、説明や回答を日本語で考えた後、中国語に訳した。語彙・文法学習では、語句を調べる、原稿を下書きする、発音練習する等の学習活動を行い、eラーニングでは、インターネットで情報収集する、Word 文書を作成する等の素材作成を行った。教師は授業中に教室を巡回して、学習者一人ひとりの準備状況を把握し、日本語と中国語訳を確認して、改善のヒントを出したり、情報や語彙の調べ方を教えたりする支援を提供しながら、全員がある程度正確な中国語の原稿を完成させるまでの進捗をコントロールした。早く作業が完了し余裕のある学習者には、作業が遅れている学習者を支援するよう促し、学習者どうしが話し合いの中から考えのヒントを得たり、教え合いながら作業の要領をつかんだり、協力しながら作業が進められるよう配慮した。

【3年生中国語 課題】8-9月オンライン交流準備：中国から日本への質問 中国の学生たちから出された、「日本の学生に聞いてみたい質問」は下記の通りです。交流の準備のために、自分たちの答えを中国語で話すための準備をしてください。わからない語句は辞書で調べながら、みんなで協力して考えてください。 ① 【 】 内の分担指示に従い、質問の部分日本語に訳しましょう。 ② 自分たちの答えたい質問やトピックを選びましょう。 ③ 自分たちの答えを考えて、日本語の文を書きましょう。 ④ 日本語の文を中国語に訳しましょう。 ⑤ 授業の最後に、完成した日中対訳の文を先生に提出してください。 時間配分のめやす 質問文の日本語訳：15分【9：50～10：05】 ペア決定、トピック選択：5分【10：05～10：10】 日本語文作成：10分【10：10～10：20】 中国語訳：20分【10：20～10：40】 【トピック1】 日本について zuìjìn Rìběn shèhuì gè fāngmiàn de xīnwén yǒu shénme huàtí 最近 日本 社会 各 方面 の 新聞 有 什么 话题？ 【KB】訳： Rìběn dāngqián rènmén de huàtí shì shénme 日本 当前 热门 的 话题 是 什么？ 【KB】訳： 【トピック2】 日中文化比較 Wǒ xiǎng liǎojiě liǎngguó guānniàn chāyì huò wénhuà chāyì, 我 想 了解 两国 观念 差异 或 文化 差异, bǐrú shuō ,Rìběn yǔ Zhōngguó de nǚnǚ guānniàn chāyì! 比 如 说 ,日本 与 中国 的 男女 观念 差异。 【KB】訳： Nǐmen xuéxiào yǒu liúxuéshēng ma Liúxuéshēng zài Rìběn de shēnghuó zěnmeyàng 你们 学校 有 留学生 吗？ 留学生 在 日本 的 生活 怎么样？ 【KB】訳：	Nǐmen xǐhuān xué Hànyǔ ma Xuéxí Hànyǔ nǎnzhōng Shénme dìfāng bǐjiào nán? 你们 喜欢 学 汉语 吗？ 学习 汉语 难 不难？ 什么 地方 比较 难？ Rúhé kěfú xuéxí shàng de kùnnán 如何 克服 学习 上 的 困难？ 【YQ】訳： Běihǎidào yǒu tèbié de wénhuà xíngwù ma Yǒu shénme yǒu dàibiǎoxìng de huódòng ma 北海道 有 特别 的 文化 习俗 吗？ 有 什么 有 代表性 的 活动 吗？ 【YQ】訳： 【トピック3】 日本語について Rìběn xuéshēng zhī jiān rìcháng jiāoliú shí de shuōhuà fāngshì yǒu shénme tèdiǎn ma ? 日本 学生 之 间 日常 交流 时 的 说话 方式 有 什么 特点 吗？ yǒu shénme liúxíngyǔ ma 有 什么 流行语 吗？ 【Y2】訳： 【トピック4】 学校生活、スポーツ Lǎoshīmen zài kètáng shàng de jiàoxué fāngfǎ zěnmeyàng 老师们 在 课堂 上 的 教学 方法 怎么样？ 【Y2】訳： Qǐng dàjiā jièshào yíxià Rìběn gāozhōngshēng de rìcháng huódòng hé shēnghuó fāngshì 请 大家 介绍 一下 日本 高中生 的 日常 活动 和 生活 方式。 【Y2】訳： Rìběn gāozhōng xuéxí xīnkǔ ma Yítiān dàixué jǐ gè xiǎoshí 日本 高中 学习 辛苦 吗？ 一天 大抵 学习 多长 时间？ 【MT】訳： Huíjiā hòu fùxí gōngkè ma Zài jiā zìxué jǐ gè xiǎoshí 回家 后 复习 功课 吗？ 在 家 自学 几个 小时？ 【MT】訳： Xuéxiào lǐ yǒu shénme yǒuqù de shìqíng ma 学校 里 有 什么 有趣 的 事情 吗？ 【MT】訳：

図 4-4 「⑤中国からの質問に答える」遠隔交流準備用ワークシート

4.4 ブレンド型学習のための環境設定

BLを実施するにあたり必要な環境設定、すなわち、教室環境、コンピュータ教室のネットワーク環境、授業における学内サーバの使用方法やデータ管理方法、遠隔交流で使したハードウェア及びソフトウェア環境等は次の通りである。

語彙・文法学習は一般教室で行う。黒板と教壇が教室前方に配置され、教師は教壇で指導するが、学習者の作業開始後は主に教室内を巡回する。学習者は個別の椅子と机を使用して教壇に対面して座る。パソコンやプロジェクター等は設置されていないため、学習者は個人所有の教科書、電子辞書、辞書等を使用して、語句を調べたりノートやワークシートに筆記しながら学習する。ここでの学習活動は、交流トピックについて話す内容を企画する、日本語で作文する、中国語に訳す、わからない語句や表現があれば教師に質問して指導を受ける、原稿を音読し発音練習をする等がある。少人数クラスでペア学習を中心にしたことから、全員が顔を見ながら話し合うスタイルの授業となり、教師の話を一方的に聴く講義形式ではなかった。教師は教壇から下りて学習者の輪の中に入り、一人ひとりの

学習状況を確認し、相談しながら話を整理したり、学習者どうしの意見交換や情報交換を促したり、共有が必要な情報があれば全体にフィードバックしたりするファシリテーターとして機能した。

e ラーニングは、インターネット環境のあるパソコンルームで行う。ホワイトボード、大型スクリーン、教師用パソコン、プリンタ等が教室前方に配置され、教師用パソコンの画面をプロジェクターでスクリーンに投影して提示できる。学習者は、1人1台パソコンを使用して、共通でインストールされている文書作成、表計算、プレゼンテーション、プログラミング、画像編集、ムービー作成等のソフトウェアを使用できる。インターネットに接続できるため、Webメールの使用やインターネットの閲覧が可能である。全員が端末にログインするためのユーザIDを学校側から割り当てられている。教師と学習者は共に学内サーバ上に設置されている共有ディレクトリを参照することができ、学習者は教師が用意したファイルやWebサイトのショートカットを閲覧したり、個人用ファイルを保存したりすることができる。ここでの学習活動は、遠隔交流素材としてのマルチメディアコンテンツを作成することであり、主にインターネットでの情報収集（テキスト、画像、動画等）、オンライン辞書や翻訳サイトを活用した調査、Word文書やPPTスライドの作成等を行う。パソコンで中国語を入力するには簡体字タイピング技能が必要であり、文書作成やインターネット検索は、その技能向上のための訓練にもなる。授業では中国語授業専用のフォルダを設置し、教材やマルチメディア資料（文書、写真、動画）、ワークシート（Word文書）、Webサイトやオンラインアンケートサイトのショートカット等を保存して、教師から学習者への資料配布及び学習者から教師への課題提出といったデータ管理を行った。なお、インターネットには接続できるが、学校側のネットワーク管理者によるアクセス制限が設定されており、Youtube等の動画投稿サイトやfacebook等のSNSは使用できない環境であった。無料のWebサービスやWebアプリケーションもセキュリティの観点から接続が制限されており使用できないものがあったため、タイピング練習やオンラインアンケートは、北海道大学のサーバ上に専用のeラーニングサイトを構築（杉江, 2011a）して、高校の学内パソコンからも接続できるように配慮した。

遠隔交流は当初、eラーニングと同じコンピュータ教室での実施を想定していた。しかし、部活動での使用等、学校側との調整の結果、定期的かつ長期にわたる遠隔交流のための教室使用が困難であったため、放課後は空室となる非常勤講師室で実施した。遠隔交流に必要なハードウェア及び環境は、パソコン、マイク、Webカメラ、インターネット環境であ

る。パソコンは、中国側との連絡に IM ソフトウェアの「QQ」を使用するため、教師個人所有のノートパソコン（Windows）を使用した。マイクは、学習者の発話時に明瞭な音声を拾えるように USB 接続の外付けマイクを調達した。Web カメラは、パソコン内蔵カメラと外付けカメラを比較した結果、操作性がよく画質の高い内蔵カメラを使用した。インターネット環境は、高校のネットワークを利用できない前提であったためにワイヤレスの広帯域通信を使用することが望ましく、Wi-Fi 高速モバイルデータ通信（EMOBILE Pocket WiFi LTE）を契約して使用した。実際には、高校の立地や校舎の構造が原因で十分な通信帯域が保証されず、遠隔交流の音声や映像の伝達に障害が発生したが、テキストチャットや音声チャットに切り替えることで比較的スムーズな交流を実現できた。遠隔交流の通信は、各種のビデオチャットアプリケーションをテストした結果、Skype または QQ で安定した接続を維持できることがわかった。中国側も日常的にこの 2 種のアプリケーションを使用しており、インストールや設定のコストを削減できた。特に QQ は、2014 年の世界ユーザが 8 億人を超えたとされており、中国国内でのユーザも圧倒的に多く、大学内で教師間あるいは教師と学生間の連絡にも活用されている。このような中国側の状況に合わせることで、環境設定のコストを大幅に削減することが可能となった。

中国側の環境については以下の通りである。中国の大学生は、学生寮の寝室で個人用パソコンを使用しており、学内 LAN で有線ブロードバンド環境が整備されていた。そのため、学生個人所有ノートパソコン（Windows）を学内 LAN に接続し、ブロードバンドインターネット経由で日本側の教師用パソコンと接続した。前述の通り、中国の大学生は Skype または QQ を常用していたため、もとより彼らのパソコンにインストールされ、設定が完了していた環境を利用して通信を行った。Web カメラ内蔵のパソコン、マイクやヘッドフォン等の周辺機器も中国の大学生が個人所有で常用しており、遠隔交流のための環境や設備は整備されていたといえる。

4.5 授業評価アンケートサイトの開発

学習者に対する授業評価アンケートを実施しデータを収集するために、Moodle を用いてオンラインアンケートサイトを構築した。Moodle を採用した理由は、アンケートの作成や編集が容易であること、電子データとして収集した項目の簡易分析を即時に表示できること、CSV 形式の書き出しが可能でありデータ形式の加工が容易であること、多言語対応しており日本語と中国語の両方を 1 つのサイト内で同時に管理できることである。Moodle は、

CMS (Course Management System)、LMS (Learning Management System)、仮想学習環境 (Virtual Learning Environment) 等を構築するためのフリーのオープンソースソフトウェアである。教育関連の e ラーニングサイトやコンテンツ作成、運営、管理用のソフトウェアとして普及しており、デザインテンプレートも豊富で、問題作成、成績評価、アンケート作成等、授業内で使用する各種プラグインやアドオンが搭載されており、e ラーニングサイトを簡便な手続きと低コストで構築できる。Moodledocs (<https://docs.moodle.org/>) では、ユーザ同士でトラブルシューティングや意見交換を行い交流したり問題解決したりするコミュニティとしてのフォーラムが充実しており、日本語化に関する情報も豊富である。Moodle は、インストールするサーバがあり、PHP が動作する環境が整っていれば利用できる。大学のような高等教育機関であれば、ネットワーク管理担当部署に依頼して学内サーバを利用できるだろう。商用レンタルサーバも月額数千円程度で利用できる所以、個人運用の場合にも経済的な負担が小さく済む。

Moodle を利用したアンケートサイト構築の手順は以下の通りである。(1) サーバ上に Moodle をインストールするディレクトリを用意する。(2) PHPMyAdmin 等を利用して MySQL データベースを作成する。(3) Moodle 本体を公式ホームページ(<https://moodle.org/>) からダウンロードして入手する。(4) 用意したサーバ上のディレクトリに Moodle をインストールする。(5) WWW ブラウザで Moodle をインストールしたディレクトリの URL からログインページを表示し、ユーザ ID とパスワードを入力してログインする。(6) アンケートページのためのプラグインとして、「フィードバック (Feedback)」を追加でインストールする。各種の活動モジュールは、公式サイトの「Moodleplugins」からダウンロードして入手できる (インストール方法の詳細は、前述の公式サイト内「プラグインのインストール」を参照)。フィードバックのモジュールは質問項目の種類が豊富で編集の自由度が高く、アンケート結果を自動的に集計しグラフ表示する等、一定の分析機能を備えているため、アンケート調査や分析に時間をかけられない多忙な教師にとって非常に有効なツールである。(7) 構築した Web サイトで、画面のデザインや必要な機能等を設定する。本研究では、「高校中国語教育・学習改善のためのアンケート」というタイトルで、年度毎にアンケートを設定した。

高校中国語教育・学習改善のためのアンケート

あなたはログインしていません。(ログイン)

高校中国語教育・学習改善のためのアンケート

NBLT CHINESE ログイン画面

日本語 (ja)

アカウントをお持ちの方ですか?

ユーザ名とパスワードを入力してください
(ブラウザのクッキー設定を有効にしてください。)?

ユーザ名

パスワード ログイン

いくつかのコースはゲストで利用できます

ゲストとしてログインする

ユーザ名またはパスワードを忘れましたか?

はい、ログイン情報を教えてください

図 4-5 Moodle で構築したアンケートサイトのログイン画面

アンケートページ作成の手順は以下の通りである。(1) ログイン後のページでサイト管理メニューから「コースの追加/編集」を選択し、アンケートのためのコースを作成する。(2) コース作成後はトップページに一覧表示されるので、コース名をクリックして各コース内に入り、内容を編集する。画面右上の「編集モードの開始」を押すと、閲覧モードと編集モードを切り替えることができる。(3) 右の「活動の追加」ドロップダウンメニューから「フィードバック」を選択し、新しいフィードバックページを作成する。名称と説明を入力したら、「保存してコースに戻る」ボタンを押して完了する。(4) コース内容の一覧に新しくフィードバックのコンテンツが追加されるので、クリックしてコンテンツ内に入り、アンケートページの詳細を設定する。「質問を編集する」タブをクリックして、アンケートの質問項目を追加する。(5) 「質問を追加する」ドロップダウンメニューから、「多肢選択」「数値回答」「長文回答」等、作成したい質問項目のタイプを選択し、「質問を追加する」ボタンを押す。(6) それぞれの質問項目の詳細を設定し、「質問を保存する」ボタンを押して完了する。質問項目の詳細を設定する画面の内容は質問項目のタイプにより異なる。実際に質問項目を作成しながら、必要な内容や設定方法のコツをつかむのがよいだろう。



図 4-6 アンケートサイトのコンテンツ一覧

アンケートページを作成した後は、学習者にアンケートを回答させるためのユーザ登録が必要である。一人ひとり情報を確認しながら登録する場合は、ログイン後のページでサイト管理メニューから「ユーザ」→「アカウント」→「ユーザの追加」を選択し、ユーザ名、パスワード、メールアドレス等の必要情報を入力する。ユーザ数が多い場合は、一括登録することも可能である。CSV ファイルを作成しておき、Moodle にインポートする。この場合は、「ユーザ」→「アカウント」→「ユーザのアップロード」を選択する。ユーザ登録後、学習者に権限を設定する必要がある。Moodle では「ロール」と呼んでおり、通常は「Student」権限を付与する。「ユーザ」→「パーミッション」→「システムロールの割り当て」を選択し、「Student」をクリックする。右のリストに表示される学習者を「追加」ボタンで左のリストに登録し、「システムロールの割り当て」ボタンを押して完了する。

なお、実際に学習者にアンケートを実施する前に、学習者と同じ「Student」権限のテスト用ユーザを登録し、アンケート回答の流れをひと通り確認する必要がある。回答してみると、往々にして想定外の表示が出たり、正しく回答できなかつたりすることがある。すべてのアンケートが思った通りに回答できるまで、確認と修正を繰り返す必要がある。可能であれば、協力者を得て、初めてこのアンケートサイトを見る人に試行することが望ま

しい。その上で、答えにくい部分や正しく操作できない項目等を再度確認、修正する。

アンケートを実施する際には、URL を学習者に知らせて、ブラウザからアクセスしてもらうことになる。本研究では、授業でワークシートの配布や課題提出等に使用した学内サーバの共有フォルダ内にアンケートサイトのショートカットを作成し、そこからアクセスするようにした。

4.6 成績評価における学習成果の位置付け

中国語は高校の授業科目である以上、定期試験における成績評価が義務付けられている。遠隔交流を含む BL の全てのプロセスに学習者全員が同等に参加できる場合には、本研究の学習成果を成績評価に直接反映させることも考えられる。しかし現実には、授業には出席できるが遠隔交流は部活動や習い事等の都合で欠席せざるを得ない学習者もあり、遠隔交流の参加回数も学習者によって異なることから、遠隔交流を含む BL の学習成果を成績評価には反映させない方針を採用することとした。但し、定期試験の問題（筆記及び口頭発表を設定）に遠隔交流準備のために活用したトピック、語句、表現、文等を取り入れることで、遠隔交流に欠席した学習者にも実践的な成果発表の機会を提供し、習得の程度をフィードバックできるよう配慮した。

以上、遠隔交流を活用した BL の準備、年間学習計画、教材開発、授業実践の環境・設備、オンラインアンケート構築、BL 実践と成績評価との関係について説明した。次章では、遠隔交流に向けた準備のための学習活動及び遠隔交流のプロセスと内容について、交流トピックごとに解説する。

第5章 遠隔交流のプロセスに基づく学習の経験と成果の記述

本章では、遠隔交流に参加した日本側の高校生（学習者）及び中国側の大学生（交流相手）の遠隔交流の内容を中心に、交流トピックごとに解説する。授業中の課題や教材（語句や表現を事前に学習するためのワークシート）に対する回答、遠隔交流を記録した動画に基づきテキスト化したスクリプトを用いて、学習者にとっての学びの内容、経験、及びプロセスを詳細に解釈する。また、実際に学習者が事前準備で学習し、遠隔交流中に使用した語句について、「外国語学習のめやす 2012」のコミュニケーション能力指標に基づき分類し、一覧表示する。これにより、学習者が交流準備として学習した知識を実際のインタラクションにおいていかに活用できたかという成果を具体的に示す。

5.1 遠隔交流の概要

遠隔交流は、2012年5月から11月までの期間に全9回実施した。実施回数は年間9回が最適とは限らず、交流トピック、学習内容、学習者（遠隔交流参加者）の人数、学習者の言語の知識と運用技能のレベル、実施時期に発生するその他の学校行事との日程調整等の条件によって変動する。1つの交流トピックにかける時間も学習者や参加者によって異なるため、状況に応じて調整する必要がある。本研究の交流相手は、中国吉林省長春市にある外国語大学日本語科の学生と湖北省宜昌市にある総合大学の日本語学科の大学生（3、4年生）であった。彼らはいずれも日本語専攻のため、日本語会話や文字入力スキルが高く、日本側が日本語で話しても問題なくコミュニケーションできるレベルであった。これに対して、日本側の中国語会話能力は未熟であるため、事前に教師からできるだけ中国語でのコミュニケーションを心がけるよう中国側に打診しておき、日本語使用に偏らないよう配慮した。交流トピックは、事前に日本側と中国側の希望や興味関心をアンケートで把握した上で設定し、授業で準備した内容に基づき、原則的に中国語を用いて交流した。しかし、年度の途中で中国側から日本語で交流する時間もほしいと要望があったため、中国語セッションの後に日本語セッションを設定するよう方針を変更した。遠隔交流の実施場所は非常勤講師控室とした。少人数グループでの交流、Wi-Fi接続可能な環境、教師のノートパソコン画面を直接見ながら交流する形態でWebカメラの視覚や画面閲覧上の支障がないという条件が整っていれば、実施場所はCALL教室やコンピュータ教室に限定されない。なお、遠隔交流の終了直後に、学習者に対して感想アンケートを実施した。特定の質問項目は設定せず、学習者がその日の感想を手書きで自由記述した。

5.1.1 第1回、第2回「あいさつ、自己紹介」

第1回と第2回の遠隔交流は、事前に授業で準備した詳しい自己紹介に基づきできるだけスムーズに自己紹介すること、相手に関連する内容を質問して答えを聞き取ること为目标とした。遠隔交流の準備として学習者が作成した自己紹介文（日中対訳）の一部を以下に例示する（全員の自己紹介文は付録2を参照）。

こんにちは。私は YG です。私は国際情報高校の三年生です。私の誕生日は11月19日です。私は茶道部に所属しています。私は音楽が好きです。私は日本のロックバンドのポルノグラフィティが好きです。私は中国語の音楽を聴いてみたいです。私は小学校2年生からバイオリンを習っています。私はクラシックとポップスを弾くのが好きです。私は外国に行ったことがありません。将来中国語がうまくなったら、中国に観光に行ってみたいです。私は餃子を食べることがとても好きです。私は中国の本場の餃子を食べてみたいです。皆さんと交流できることをとても嬉しく思います。

你好！我叫 YG。我是国际情报高中三年级的学生。我的生日十一月十九号。我参加茶道部。我喜欢听音乐。我喜欢日本的摇滚乐团的色情涂鸦。我想听中国的音乐。我从小学二年级开始练习小提琴。我喜欢弹古典音乐和流行音乐。我没有去过外国。将来我学会汉语以后，想去游览中国。我非常喜欢吃饺子。我想吃中国地道的饺子。我很高兴和大家交流。

図 5-1 「第1回 詳しい自己紹介文」の例

5.1.1.1 第1回遠隔交流

第1回の遠隔交流は5月17日に実施し、学習者3名(KBY、YG、YZ)と中国側3名(SG、ZHD、PWH)が参加した。時間帯を分けて2つのセッションを設定し、セッション1は1名(SG)、セッション2は2名(ZHD、PWH)と接続した。交流開始前に中国側との接続テストを行ったところ、中国側は学生寮から有線ブロードバンド回線で接続しているものの時間帯や寮によって回線状況が異なり、この日の女子寮はやや不良、男子寮は良好であった。そのため、SG(女子寮)との交流では、ビデオチャットで顔を見ながら挨拶した後、音声チャットに切り替えて交流し、終わりの挨拶で再びビデオチャットを使用した。

【セッション1】

16:45~17:20(中国は-1時間、以下同)にSGとの遠隔交流を実施した。先に日本側が中国語で自己紹介し、その後、中国側が中国語と日本語で自己紹介した。以下に、交流を記録した動画及びスクリプトを参考とし、交流中に発生した主なインタラクションの様子を記述する。遠隔交流ごとに、コミュニケーションの成立、コミュニケーションの失

敗、失敗時に支援を受けてのコミュニケーション成立等がわかるインタラクションの一部を抜粋し、言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションの要素を用いて示す（スクリプト全文は付録 2 から付録 14 を参照）。言語コミュニケーションの要素は、中国語と日本語の発話及び笑い、あいづち、フィラー等の音声情報を含む。非言語コミュニケーションの要素は、笑顔や困惑等の表情、視線、身振り、姿勢、態度等の視覚で確認可能な情報を含み、【 】内に記載する。なお、語の区切りや息継ぎ等による 0.5 秒以下の短い沈黙は「，」で記載し、迷いや思考等によるそれ以上の長い沈黙は「…」で記載する。その他、一般的な文字表記の原則に基づき、伸ばす音は母音の重ね型あるいは「ー」、感嘆や声の大きさ等は感嘆符「！」、疑問等の上昇調は疑問符「？」で記載する。

本研究は、会話分析のような個々のモダリティ（話の内容に対する話し手の判断や感じ方を表す言語表現）や分析単位ごとの個別の解釈とは異なり、多人数インタラクションの全貌を概観し、共同体験としてのリアリティのある学習プロセスを記述することを目的としている。坊農ら（2009）によれば、多人数インタラクションとは、複数の人間が対面してやりとりするさまをいう。このとき、言語や音声の発話のみならず、身体動作（視線や身振り）も対話を構成する重要な要素となる。このような複数のモダリティにより構成される性質をマルチモダリティといい、マルチモダリティの統合としてのコミュニケーション全体を「マルチモーダルコミュニケーション」という。これを参加者がどのように捉えているかを全体として分析することは容易ではない。従来のインタラクション研究では、まず言語情報に焦点を当て、次に言語情報に音声情報を付加し、さらにジェスチャーや視線といった非言語情報を加えるという分析手法が採用されてきた（メイナード, 1993; 西阪, 1997）。坊農らは、マルチモーダルコミュニケーションの実際の分析手順を検討しており、音声言語による分析単位間の関係を分析した上で、限定された箇所の音声言語以外のモダリティの単位を追加するという方向性、あるいは、各分析単位の独立性を仮定した上で分析単位間の相関を解明するという方向性が堅実であるとしている。本研究の目的は、マルチモーダルなインタラクションの全貌を、できるだけ具体的な状況をイメージしやすく、概観できる形で表現することをねらいとしている。そのため、モダリティの単位を細かく分解した上で会話分析の手続きに基づきトランスクリプションの記号を用いて個別のモダリティを分析することはせず、言語コミュニケーションのスクリプトに基づき、非言語コミュニケーションの要素を用いて状況理解が容易になるよう解説を補足しながら、インタラクションのプロセスを表現するよう配慮した。

スクリプト 5-1-1 初対面時の挨拶 (KBY と YG)



YG：你好！
 【笑顔で両手を振る】
 KBY：你好！
 【笑顔で両手を振る】
 SG：你好ー！こんにちはー！
 KBY：こんにちはー！
 【笑顔で両手を振る】

スクリプト 5-1-2 中国語でフルネームを名乗る (KBY と YG)



KBY：我叫 KBY (私は～です)
 【画面を見ながら笑顔で名乗る】
 YG：我叫 YG (同上)
 【画面を見ながら笑顔で名乗る】
 SG：啊,你好！（はい、こんにちは！）
 YG：やったー、ふふふ
 【SG の反応を聞いて笑顔でつぶやき、通じたことの喜びを表す】

第1回のセッション1では、学習者にとって遠隔交流の経験そのものが初めてであり、強い緊張が感じられた。また、ビデオチャットの長時間接続も初めてであったために接続中断が頻繁に発生した。しかし、映像として互いの顔を見ながら、言語コミュニケーションのみならず、表情、態度、身振り手振りといった非言語コミュニケーション手段も用いて、学習者全員が同年代の中国語 NS を相手とする対話の第一歩を踏み出した。事前に準備した原稿を読むだけで精いっぱいという印象ではあったが、中国側の笑い声やあいづちに励まされて画面を見ながら発話することができ、反応に対して「やったあ」と笑顔で喜びを表す場面もあった。



スクリプト 5-1-3 YG の詳しい自己紹介

SG: 呵呵呵 【笑い】
 YG: ふふふ 【笑い】 你好!
 SG: 你好
 YG: 我叫 YG
 SG: 好 【YG の中国語を聞き取り理解したという反応】
 YG: 我是国际情报高中三年级的学生, 我的生日十一月十九号, 我参加茶道部, 我喜欢听音乐, 我
喜欢日本人的摇滚乐团的①色情…色情…?
 【「ポルノグラフィティ」の声調がわからなくなり、教師を見て支援を求める】
 L: 色情(sèqíng)
 YG: 色情(sèqíng)
 L: 涂鸦(túyā)
 YG: 涂鸦(túyā)? 涂鸦(túyā)
 SG: 呵呵呵 【笑い】
 YG: ふふふ 【笑い】
 我想听中国的音乐, 我从小学二年级开始练习小提…小提琴, 我喜欢弹古典音乐和流行音乐,
 我没有去过外国, 将来我学会汉语以后, 想去游览中国, 我非常喜欢吃饺子, 我想吃中国地
 道的饺子, 我很高兴和大家交流, 谢谢!
 【途中から原稿を読むことに精いっぱい画面を見ておらず、真剣な表情】
 SG: 【やや長い沈黙】
 L: ②能听清楚吗? 现在清楚吗? 喂? 听见了吗?
 【聞き取れたかどうか教師が接続状況を確認】
 SG: 刚开始前半段挺清楚, 前半段听清了, 后半段没听清
 L: 是这样, 途中から聞こえづらくなるっていうんだね
听到什么地方? 她从小开始练习小提琴? 听到了?
 【どのあたりまで聞き取れていたか教師が確認】
 SG: 听到了, 然后她喜欢中国音乐, 古典音乐, 流行音乐, 然后中间就断了, 然后后来有听见饺
子什么的
 【中国の音楽が好き、クラシックやポップスが好き、まで聞き取れたが、その後、接続不良で
 「餃子」あたりから聞き取れなかったことが確認される】
 L: じゃあ、えーっとね「外国に行ったことない」っていうところから、またそこから
她再说一遍, 后半, 你再听一下
 YG: ③我没有去过外国, 将来我学会汉语以后, 想去游览中国
 SG: 好 【YG の中国語を聞き取り理解した反応】
 YG: 我非常喜欢吃饺子, 我想吃中国地道的饺子, 我很高兴和大家交流, 谢谢!
 SG: 好! 呵呵呵 【笑い、YG の中国語を聞き取り理解した反応】

詳しい自己紹介に入ると、YG が長文を練習通りに発音できなかったり、一部の語句の読み方（ピンイン）を忘れてしまったりしたために、教師の支援を介しながら双方の理解が進められた（下線①）。なお、接続中断が発生するたびに教師が中国側に状況を確認する必要があり、学習者どうしの交流は中断と再開を繰り返しながら進められた（下線②）。教師がどこまで聞き取れたかを説明する状況においては、中国側の反応やあいづち、発話によるインタラクションは行われてはいないが、接続が順調な時には、中国側からのあいづち

や笑い声が聞こえており、それによって学習者は自分の中国語が相手に通じたことを感じて、コミュニケーションの成功体験が増えていった（下線③）。



スクリプト 5-1-4 高校以前に中国語学習歴のある YZ の詳しい自己紹介 (1)

SG：はい、こんにちはー
YZ：初次見面！こんにちはー【笑い】【YG と KBY も笑顔で画面を見守る】初次見面！
SG：嗯，呵呵呵【笑い】
YZ：ふふふ【笑い】我叫 YZ
SG：嗯
YZ：请多关照
SG：请多关照！呵呵呵【笑い】
YZ：ははは【笑い】
L：请开始自我介绍
 【教師から自己紹介を進めるよう促す】
 【YG と KBY は笑顔で画面を見守りながら時折 YZ を見る】
YZ：我一直在北海道
 ふふふ【相手の画面上の反応を見て笑い】
 我的生日五月十二号
 ふふふ【相手が画面上で止まって見える、動きがあると安心して笑い】
 那个，我是国际情报高中三年级的学生
 ふふふ【相手が画面上で止まって見える、動きがあると安心して笑い】
 ふふふ【YG と KBY も画面を見て相手の反応があると笑い、うなずき】
L：聞こえてるかな？大丈夫ですよ、どうぞどうぞ
YZ：我在学校学习外语
L：そうそう，そういう流れですよ

YZ は高校以前に中国語学習歴があり、あいさつや相手の反応に対する応答の仕方を習得しており、相手の様子をうかがいながら比較的スムーズに自己紹介を進めていった。

スクリプト 5-1-5 高校以前に中国語学習歴のある YZ の詳しい自己紹介 (2)

YZ：我在学校学习外语，我喜欢学习汉语，学习的一定也棒，汉语！我的爱好是听音乐
SG：はい
YZ：ふふふ【笑い】

③那个…那个…我喜欢《美丽的神话》，喂喂？我喜欢《美丽的神话》这首曲子，①喂？ 你知道吗？

【接続不良のため中断、再開】

YZ：我的爱好是听音乐，我喜欢《美丽的神话》，你知道吗？我喜欢，很喜欢吃水饺子，我们在学校包过水饺

SG：②饺子

YZ：对，饺子，很不好看，可是味道很好

SG：啊

L：「啊」「そうか」っていうことね

YZ：你喜欢什么日本菜？

L：聞こえてないかもしれない，もう一度言ってみて

SG：他说什么我没有听清楚

YZ：你喜欢什么日本菜？

【KBYは上を向いて「日本菜」が何だったか思い出そうとするそぶり】

SG：日本菜啊？

YZ：啊，对

SG：我现在还不知道什么日本菜 呵呵呵【笑い】

YZ：ははは【笑い】

【YGとKBYはSGの言うことを聞き取れず教師を見る】

L：日本料理はまだわからないですって【教師から日本語による理解支援】

全員：ははは【相手の言うことを聞き取り理解、笑い】

L：みんな今後教えてあげよう，何がいいかな

YZ：ははは【笑い】

SG：没有吃过也就是没有喜欢的吧

YZ：うん，ああ…【相手の中国語を聞き取り理解、あいづち】

【YGとKBYはSGの言うことを聞き取れず画面と教師を交互に見る】

L：食べたことがないからね，わからないよね【教師から日本語による理解支援】

【YGとKBYも理解、うなずき】

YZは自分が話している途中で画面上の相手の動きや反応が途絶えたことに気づき、自主的に「喂（もしもし）」と声をかけ、聞こえているかどうか確認した（下線①）。また、自己紹介文の途中で相手が確認のための聞き返しや問い返しをした時も、即時に「对（はい、そうです）」のような反応で応答した（下線②）。さらに、準備した原稿以外の内容について相手が発話した時も、大意を聞き取り理解して笑い声やあいづちで応答した。言いよどみのフィラー「那个（あのう、そのう）」も使用して、言葉がすぐ出てこない時に沈黙が長く続かないよう工夫する場面もあった（下線③）。これらの内容について、KBYとYGはすぐには聞き取り理解することができなかったため、教師が随時日本語による理解支援を提供し、全員が状況を把握しながら交流を展開した。

スクリプト 5-1-6 高校以前に中国語学習歴のある YZ の詳しい自己紹介 (3)

YZ : 我喜欢的演员的…成龙, 和李连杰
SG : 嗯, 喔, 真的? 呵呵呵【笑い】
YZ : ははは【笑い】
L : 誰だかわかりましたよ, ちゃんと聞き取れたですよ
YZ : ①我很喜欢看他们的电影
SG : 啊, 你都看过他们的什么电影啊?
YZ : 啊, 那个…啊…なんだろうな, 中国語でなんて言うのかわかんないな
【YG と KBY も YZ の方を見て笑いながら同意、うなずき】
L : 次回だね, 中国語のタイトル何だろうね, じゃ次回までの宿題ね
全員 : ははは【笑い】
YZ : 对不起
L : 给他留作业, 他不知道中文叫什么【双方の共通理解を助けるため教師が中国語で理解支援】
YZ : ②那个…我学习中国武术
SG : 你学习什么? 中国武术啊
YZ : 中国武术, 太极拳
SG : ③太极拳, 你学得好吗?
L : お上手ですか? って【教師から日本語による理解支援】
YZ : えー!!
YG・KBY : ははは【笑い】
YZ : ははは【笑い】
L : じゃあ, 残りの二人に言ってもらおう!
【YZ が自分で武術の腕前を言うのが恥ずかしそうだと判断し、YG と KBY に中国語での発話機会を提供】
YG・KBY : 好, 好, 好, 好! 很好!
【笑顔で画面を見ながら大きな声で「上手!」と連呼】
L : 很好! 很好! みんなの同意を得たね
全体 : ははは【笑い】

YZ の自己紹介を聞きながら相手が随時質問する形で交流が進められた。途中で映画のタイトルについて中国語の言い方がわからない場面があり、次回交流までの課題とした（下線①）。中国武術に関する即時のコミュニケーション場面においては、高校以前にも中国語で表現する機会が多くあったことから、適切に質疑応答することができた（下線②）。また、武術の腕前について質問された場面では、クラスメートも YZ の実力の高さを知っていたことから、本人ではなく KBY と YG が知っている語句を用いて応答し、大きな盛り上がりを見せた（下線③）。

スクリプト 5-1-7 高校以前に中国語学習歴のある YZ の詳しい自己紹介 (4)

YZ : ①我去过…啊…北京什刹海的学校练习过太极拳
 SG : 喔, 你练习了多长时间了?
 YZ : 啊, 那个…
 【首をかしげて答えに困り、YG と KBY の方を見て支援を求める】
 【YG、KBY も聞き取れなかったので YZ の顔を見て沈黙、困った顔】
 L : 何年ぐらいやってたか どのくらい練習しましたか? 【教師が日本語で理解支援】
 YZ : えー…7 歳からだから…えー…
 【YG と KBY の方を見ながら暗算する】
 YG・KBY : ふふふ【YZ の方を見ながら笑い】
 L : 計算して…
 YZ : 十…十一年? 嗯【笑い】
 SG : 喔! 呵呵呵【笑い】
 全員 : ふふふ【笑い】
 YZ : ②三年前我参加澳门的国际比赛了
 SG : 啊, 成绩怎么样?
 L : 結果はどうでしたか? 成 绩 怎 么 样?
 【教師から日本語による理解支援、既習語句は中国語でゆっくり発音して理解支援】
 YZ : 我…我是…チャンピオンて何だっけ…
 【YG と KBY の方を見て小声で支援を求める】
 【YG と KBY も思い出せず、笑いながら困って教師を見る】
 L : 冠军【教師が中国語で理解支援】
 YZ : 冠军, 冠军
 SG : 哇! 厉害!! 呵呵呵【笑い】
 全員 : ははは【笑い】
 YZ : ③你练习过中国武术吗?
 SG : 我没练过
 YZ : ははは【笑い】
 SG : 但是, 我, 念大一的时候, 我们有晨练, 我们晨练是练太极拳, 但是没有你那么厉害
 L : みんな大学の体育みたいな感じで、一緒にやるんですね、太極拳を、でも 11 年のキャリアは
 すごいですね
 【中国の大学の朝の集団体操という学校文化を紹介、教師から日本語による理解支援】
 全員 : へえー【理解と感心を示す反応、うなずき】

武術に関する話題が続き、相手から準備していない質問が出されたために聞き取り理解することができず、教師から日本語の支援を提供して理解できる場面もあった。内容理解の上に、武術歴の計算まで加わって、焦りのために一桁の簡単な引き算にとまどい、笑いが生まれた(下線①)。教師から中国語の支援を提供して理解できる場面もあった(下線②)。また、中国人だからといって誰もが武術や太極拳の経験があるとは限らないことや、大学では早朝の集団体操があり、そこで太極拳を練習すること等、中国の大学の学校生活文化の一面を知ることができた(下線③)。

【セッション2】

15:30~18:00にZHDとPWHとの遠隔交流を実施した。日本側はこの日2度目の自己紹介をした。中国側2名の日本語レベルが非常に高くコミュニケーションが成立しやすい反面、つられて日本語使用が増えてしまうため、教師が随時中国語での発話を促した。交流の様子を以下の交流記録スクリプトに示す。



スクリプト 5-1-8 KBYの詳しい自己紹介

KBY: 我参加茶道部, 我担任部长, 我现在学汉语

ZHD: ① 嗯

【学習者の中国語が聴き取れたことを表すあいづち】

KBY: 我的生日五月十六号

ZHD: 五月十六号, 十六号吗? 誕生日は5月16日ですか?

全員: ④ おおーすごいー

【相手に中国語がすべて通じたことに対する驚きと喜び、YGはKBYの肩をポンポン叩き、よかったねえ、と称賛】

L: うん、聞き取れましたね

KBY: 我家有四口人, 爸爸, 妈妈, 奶奶和我

L: 我 (Wǒ) 【声調が乱れたため正確な発音を指導】

KBY: 我 (Wǒ) 【教師の指導に従い言い直す】

ZHD: 呵呵 【笑い】

KBY: ふふふ 【笑い】

L: わかったようです

KBY: 我的爱好是看棒球和听音乐

ZHD: 野球と音楽ですね

YG: すごい!

【KBYの中国語が相手にすべて通じたことを称賛】

KBY: 我最喜欢的棒球队是日本火腿队

L: 火腿队 (huǒtuǐ), 火腿队 (huǒtuǐduì) 【声調が乱れたため正確な発音を指導】

KBY: 火腿队 (huǒtuǐduì) 【教師の指導に従い言い直す】

KBY: 我最喜欢的…

ZHD: 聞こえますか?

L: 听见听见, 聞こえますよ

【接続中断、接続状況確認、中国側から映像が見えなくなったため音声チャットのみ継続】

L: 音楽からどうぞ
 KBY: 我最喜欢的音乐小组是 FTILAND
 ZHD: はい
 KBY: 我喜欢日本的《流星花园》，我喜欢吃和睡，我擅长书法
 L: 书法 (shūfǎ) 【声調が乱れたため正確な発音を指導】
 KBY: 书法 (shūfǎ) 【教師の指導に従い言い直す】
 KBY: 我想见大家，谢谢！へへへ… 【照れたように小さく笑い】
 L: わかったかな？
 ZHD: ② (拍手の音) 鼓掌! 上手ですね
 KBY: ③ えへへへ…
 全員: おおー！！ははは 【笑い】
 【中略】
 ZHD: 上手，上手，上手
 KBY: わあーやったあー 【すべて話し終えたことに安堵し満面の笑顔で喜びを表す】
 L: よかったね，ははは 【笑い】

日本側の学習者は、自己紹介の途中に中国側から聞き取れて理解できたことを示す反応があったこと（下線①）や、「上手ですね」や「鼓掌（拍手）！」等と称賛されたこと（下線②）を大いに喜び、「わあ、やったー！」と喜びの声を上げたり「えへへへ…」と照れ笑いを見せたりした（下線③）。聞いていたクラスメートも、「すごーい！」と笑顔で喜びや称賛を表し（下線④）ながら、交流を進めた。途中、一部の語句について学習者が声調を誤ったため、教師が正しい発音の見本を示し、学習者らはそれに従い正確な発音で発話し直した。

スクリプト 5-1-9 自己紹介に関する質疑応答

PWH: ① 大家每天都很忙吗？
 KBY・YG: ええー
 【焦りの表情、困惑し笑顔で教師を見てマイクを受け取らない、YZ は聞き取れたのか、落ち着いて笑顔で画面を注視】
 L: はい，今のは何と言ったか聞き取れましたか？
 KBY: ひええーわかんない…
 L: わかんない，请您慢点说，他们没听懂
 【学習者が聴き取れず困惑した表情のため再度ゆっくり話すよう教師が中国語で依頼し理解支援】
 PWH: 大家每天都很忙吗？
 全員: ええー？ははは 【笑い】 【まだ中国側の発話速度が速く聞き取れない】
 L: 大家，每天，都，很，忙，吗？
 【教師が中国側の言った文を再度一音ずつ区切ってゆっくり明瞭に発音、さらに既習語句を追加して理解支援】
 PWH: 大家，大家，每天，都，很，忙，吗？
 【中国側も再度一音ずつ区切ってゆっくり明瞭に発音】

【KBYは「どうしよう」といった風に YG を見る】
 【YG は聞き取ろうと考えながら言われた語句を追って発音】
 【YZ は聞き取れた様子で画面を注視、KBY の方を見ながらうなずいてみせる】
 L：大家，大家，みなさんですね
 每天，每天，わかりますか？每天
 【KBY は困って YG と顔を見合わせる、YG も聞き取れた様子、YZ は再度うなずいてみせる】
 L：毎日ね
 YG：あ、毎日
 L：都，很，忙，吗？你忙吗？【KBY と YG は聞き取れず考えている、口を開けて硬直】
 L：「你忙吗？还可以」一番最初の頃にやりましたね
 【教師が 2 年次の教科書の冒頭で学習したことを示す】
 YG：あ、まあまあです、みたいなやつでしょ【教科書のページをめくりながら該当箇所を探す】
 YZ：そうそうそう
 YG：これだー！【教科書で該当箇所を発見】
 YZ：そう、それ、そう
 L：はい，答えてください
 KBY：ふふふ【笑い】②まあまあでいいかな，还可以
 PWH：はい
 YG：ははは【笑い】还可以！
 全員：はははは【大きく笑い】
 YZ：③我很忙
 【各自、忙しいかどうかに対する回答を中国語で発話】
 【中国側がうなずいて理解を示したことを画面上で確認】
 全員：ははは【笑い】
 L：なるほど，なるほど，じゃあ，みなさん忙しいかどうか聞いてみて
 【教師が学習者に中国語で質問するよう促す】
 YG：他们
 L：あ，你们，だね
 全員：ははは【笑い】
 YG：あ，你们！你们！あはは【笑い】④你们！你们忙吗？
 【主語を「彼らは」にしてしまった間違いに気づき「你们」に修正、簡単な間違いをしたことがおかしくて全員笑う】
 PWH：我们？もう一度お願いします
 YG：你们，你们？
 KBY：你们，你们【主語が正しいかどうか KBY に小声で確認、KBY うなずく】
 YG：你们忙吗？
 PWH：啊，我们忙，忙死了！
 YZ：ははは【笑い】【YZ はすぐに聞き取り反応、KBY と YG は聞き取れず教師を見る】
 L：忙死了！死にそうに忙しいそうですよ
 【中国側の中国語の発話を繰り返し、日本語にも訳して理解支援】
 YG：へえー！
 L：⑤辛苦辛苦！お疲れさまって言ってあげて，辛苦了
 【KBY に「お疲れさま」と中国語であいづちを返すよう促す】
 KBY：辛苦了！
 PWH・ZHD：哈哈【笑い】
 全員：ははは【笑い】

また、中国側から中国語で質問してもらい（下線①）、その問いを聞き取って答えることに挑戦した。しかし、KBYとYGにとっては即時のコミュニケーション状況における適切な応答は難しく、ゆっくり繰り返し発音する等、中国側と教師の支援に基づき、教科書をその場で即座に調べてどうにか答えることができた（下線②）。学習歴のあるYZは即時に聞き取り、自身のことばで応答することができた（下線③）。続けて、同じ質問を中国側に問い返し、その回答を聞き取ることに挑戦した（下線④）。これも同じく、KBYとYGにとっては即時の聞き取りと理解には教師の支援が必要であったが、YZは自力で聞き取りと理解に成功した。これに対するあいづちの「辛苦了（お疲れさま）」をすぐには思いつかなかつたために、教師が応答の仕方と語句の発音を小声で支援し、KBYが復唱する形で応答し、中国側の笑いを誘うコミュニケーションが成立する場面もあった（下線⑤）。

第1回の遠隔交流で学習者はどのような中国語を使用することができたのだろうか。交流の過程で学習者が実際に使用した語句と文を表5-1に示す。語句は、「外国語学習のめやす2012 高等学校の中国語と韓国語教育からの提言」（當作・中野, 2012）で規定するコミュニケーション能力指標（p.39-53）に基づき分類した。この指標は、15の話題分野と4つの言語運用能力レベルを設けて学習到達目標を指標化したもの（図5-2, 5-3）である。

【15の話題分野と内容】

自分と身近な人びと／自分に関する話題、友だちや家族など身近な人、ペットの話題等
 学校生活／自分が所属する学校の様子や学校での生活に関する話題
 日常生活／学校の時間以外のふだんの生活に関する話題
 食／食べ物の好き嫌いや食事の習慣など、食生活に関する話題
 衣とファッション／服やアクセサリ、化粧品などに関する話題
 住まい／家に関する話題
 からだと健康／からだの部位や特徴、健康などに関する話題
 趣味と遊び／放課後や休日、アルバイト、趣味などに関する話題
 買い物／実際の買い物場面、買い物行動に関する話題
 交通と旅行／町の様子や通学などに利用する交通機関に関する話題
 人とのつきあい／日常のあいさつなど
 行事／年中行事や個人・家族に関する記念日などの話題
 地域社会と世界／地理・歴史・時事問題などに関する知識についての話題
 自然環境／四季や天気に関する簡単なあいさつ、気候に関する話題
 ことば／母語と外国語に関する話題、簡単なあいさつを含む

図 5-2 15 の話題分野と内容

「外国語学習のめやす2012」（p.35）より引用

言語運用能力指標

- レベル1** ・自分が想定している範囲で、基本的な言い回しを使って、相手の協力を得られれば簡単なやりとりができる。
- ・自分にとって身近な事柄について、短い語句や文で表現することができる。
- ・よく耳にしたり目にしたりする語句や文のうち、ごく基本的なものを理解することができる。
-
- レベル2** ・自分が想定している範囲で、学んだ語句や文から選択して、相手の協力を得られればやりとりができる。
- ・自分にとって身近な事柄について、短い語句や文を並べて表現することができる。
- ・よく耳にしたり目にしたりする語句や文を理解することができる。
-
- レベル3** ・自分が想定していない状況においても、学んだ語句や文を使って、相手の協力を得られれば、ある程度創造的なやりとりができる。
- ・自分の身の周りや関心のある事柄について、ある程度まとまった内容を、趣旨が通じる程度に表現することができる。
- ・ある程度まとまった内容を、辞書の助けを借りたり、事前に関連情報を得たりして、理解することができる。
-
- レベル4** ・自分が想定していない状況においても、ある程度創造的なやりとりができる。
- ・より広い範囲の事柄について、少し複雑かつ抽象的である程度まとまった内容を、より正確で適切な語句や文を使って表現することができる。
- ・ある程度まとまった内容を理解することができる。

言語運用能力指標のレベル1と2は、以下の、①のNovice Low/Mid、②のBeginning/Transitional Level、③のA-1/A-2（基礎段階の言語使用者）レベルにおおよそ相当します。

①Proficiency Guideline, ACTFL (American Council on the Teaching of Foreign Languages), U.S.A. 1986 (全米外国語教育協議会の学校教育用4技能言語運用能力基準)

②Japanese for Communication, A Teacher's Guide, Wisconsin DPI, U.S.A 1996 (米国ウィスコンシン州教育庁編『日本語教育用カリキュラムガイドライン』)

③CEFR (Common European Framework of Reference for Languages, Council of Europe 2001. 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠)

図 5-3 4つの言語運用能力レベル

「外国語学習のめやす 2012」(p.36) より引用

なお、活用した語句を指標に合わせて分類する際には、外国語教育に従事する指導教員 3 名と方針を詳細に検討し、筆者がすべての分類を完了後に最終確認を行うことで分類内容の妥当性や信頼性を担保する方略を採用した。また、言語運用能力レベルの分類に合致しないものについては、内容及びその語句や会話表現が活用された文脈を考慮して分類し、理由等の説明（※を付けて記載）を付記した。

表 5-1 第 1 回遠隔交流で学習者が活用した語句と会話表現の一覧

話題分野	言語運用能力レベル	活用した中国語	日本語訳
自分と身近な人々	1-a. 名前（姓名）や属性（高校生、学年、年齢、誕生日など）を言ったり尋ねたりできる	我叫+姓名。	私は（フルネーム）と申します。
		我的生日是～月～号。	私の誕生日は～月～日です。
		我是运动员。	私はスポーツ選手です。
	1-b. 家族構成（何人家族がいるか）について、会話したり、書いて説明したりできる	我家有～口人。	私の家は～人家族です。
		爸爸，妈妈，奶奶	お父さん、お母さん、おばあちゃん
	1-c. 簡単な自己紹介（姓名、学校、学年、年齢、誕生日、干支、住んでいる所、好きなこと、趣味など）を口頭でまたは書いてすることができる	我是国际情报高中三年级的学生。	私は国際情報高校 3 年生の学生です。
		我一直在北海道。	私はずっと北海道にいます。
	3-c. 自分の経験について、語り合ったり、書いて伝えたりできる	三年前我参加澳门的国际比赛了。	3 年前にマカオの国際大会に出場しました。
		冠军 我没有去过外国。	優勝、チャンピオン、第 1 位 私は海外に行ったことはありません。
学校生活	2-e. 自分がクラスや学校・クラブ活動などで担っている役割（委員や係りなど）について、話すことができる	我参加茶道部。	私は茶道部です。
		我担任部长。	私は部長をやっています。
日常生活	1-a. 1 日の基本的なあいさつができる	你好。	こんにちは。
		再见。	さようなら。
		拜拜。	バイバイ。
食	1-f. 料理の味や状態についての簡単な感想を述べたり、受け答えをしたりできる	很不好看，可是味道很好。	見た目は悪いけど、味はおいしいです。
	1-k. 自分の好きな食べ物、嫌いな食べ物、食べられないものなど、料理名や食品名を、口頭で伝えることができる	我非常喜欢吃饺子。	私は餃子を食べるのがとても好きです。
		我想吃中国地道的饺子。	私は中国の本場の餃子を食べたいです。
	1-m. 自分が作ることができる料理や、作ってみたい料理の名前を口頭でまたは書いて伝えることができる	我们在学校包过水饺。	私達は学校で水餃子を作ります。
	2-f. 料理の種類（洋食、和食、韓国料理、中華料理など）の好みについて、会話できる	你喜欢什么日本菜？	あなたはどんな日本料理が好きですか？
趣味と遊び	1-c. どんなこと（スポーツ、映画、読書など）をするのが好きか、口頭で紹介しあうことができる	我的爱好是～。	私の趣味は～です。
		看棒球	野球観戦、野球を観る
		听音乐	音楽鑑賞、音楽を聴く
		我喜欢～。	私は～が好きです。
	2-f. 好きなものや趣味が何か、口頭でまたは書いてやりとりで	吃和睡	食べることと寝ること
		学习汉语	中国語を勉強すること

	きる	我最喜欢的日本球队是 日本火腿队。	私が一番好きな日本の野球チーム は日本ハムファイターズです。
		我最喜欢的音乐是～。	私が一番好きな音楽は～です。
		我喜欢弹～。	私は～を弾くのが好きです。
		古典音乐	クラシック
		流行音乐	ポップス
		我很喜欢看～。	私は～を観るのが好きです。
		他们的电影	彼らの映画
		功夫	カンフー
		你练习过中国武术吗？	あなたは中国武術を練習したことが ありますか？
		太极拳	太極拳
		我想听中国的音乐。	私は中国の音楽が聴きたいです。
		你知道吗？	あなたは知っていますか？
	1-d. 好きな有名人の名前や職業 を、口頭でまたは書いて紹介し あうことができる	我喜欢的演员是～。	私が好きな俳優は～です。
		成龙	ジャッキー・チェン
		李连杰	ジェット・リー
	1-e. 好きなテレビドラマや映画・本・音楽などのタイトルを、 リストアップできる	日本的《流星花园》	日本の「花より男子」（ドラマのタ イトル）
		摇滚乐团	ロックバンド
		色情涂鸦	ポルノグラフィティ
		《美丽的神话》	「美しき神話」（中国の映画「神話」 の挿入歌タイトル）
	3-a. 自分や身近な人の特徴につ いて、口頭または書いて紹介し あうことができる	我擅长书法。	私は書道が得意です。
	3-c. 趣味や習い事（頻度、期間、 はじめたきっかけ、続けた理由、 自分にとっての意味など）につ いて、口頭で説明できる	我从小学二年级开始练 习小提琴。	私は小学２年生からバイオリンの 練習を始めました。
		我学习中国武术。	私は中国武術を学んでいます。
		我七岁的时候开始练功 夫了。	僕は７歳の時からカンフーをやっ ています。
		我去过北京什刹海的学 校练习过太极拳。	私は北京のシーチャーハイの学校 へ太極拳の練習に行ったことがあ ります。
交通と旅 行	3-e. 将来行きたい所やおすすめ の旅行先について、理由を含め て語り合うことができる	将来我学会汉语以后想 去游览中国。	将来、中国語をマスターしたら中 国へ旅行しに行きたいです。
人とのつ きあい	1-a. 人とのつきあいよく使う 基本的なあいさつ表現（初対面、 感謝、励まし、謝罪、断りなど） を言ったり、聞いて理解したり できる	请多关照。	よろしくお願いします。
		初次见面。	初めまして。
		我想见大家。	みなさんに会いたいです。
	1-g. 相手のこと（性格、特技な ど）を、口頭でまたは書いてほ めることができる	好, 很好	よい、うまい、とても上手だ、い いよ（同意や承認）

	2-g. 人とのつきあいを円滑にできるような表現（ねぎらい、励まし、期待など）を、言ったり、聞いて理解したりできる	我很高兴和大家交流。	みなさんと交流できてとてもうれしいです。
ことば	1-a. どんな言語を学んでいるか、行ったり尋ねたりできる	我在学习汉语。	私は今中国語を勉強しています。
その他の汎用的な会話表現	数の多さを表す	很多	たくさんの、多くの
	見た目の良さ・悪さを表す	不好看	形が悪い、格好悪い、見た目が悪い、ぶさいく
	2つ以上の語を並列する	A 和 B	A と B
	逆接	可是	しかし、でも
	あるものに続いて次の物を示す	其次	次に
	ことばを選んだり、話の組み立て方を考えたりする時間を作る	那个	ええと、あのー
	肯定	对	正しい、合っている、そうです、その通り

5.1.1.2 第2回遠隔交流

第2回目の交流は5月21日に実施した。学習者2名（HM、FY）と中国側4名（ZHD、PWH、LYT、SG）が参加した。時間帯を分けて3つのセッションを設定し、セッション1は2名、セッション2と3は1名ずつと接続した。相手の日本語レベルが非常に高いため、日本側の学習者が中国語で質問し、中国側は主に日本語で答え、必要に応じて中国語で同じ内容を言い直す形で交流が進められた。

【セッション1】

15:30～16:00にZHD、PWHとの遠隔交流を実施した。先に日本側が中国語で自己紹介し、その後、中国側が中国語と日本語で自己紹介した。交流の様子を以下の交流記録スクリプトに示す。



スクリプト 5-2-1 HM、FY の詳しい自己紹介

HM・FY：你好

PWH：こんにちは

HM・FY：こんにちは

HM：你好！初次见面，我叫 HM，我今年 18 岁，我正在学汉语，汉语很难，我学汉语很开心，我喜欢弹钢琴，我从 5 岁开始练弹钢琴，我的爱好是看电影，如今最受欢迎的中国电影是什么？我想去游览中国，请多指教！再见！

【原稿を読みつつ画面に視線を送り、基本的には相手を見ながら発話】

【発話の速度が徐々に加速、緊張のため焦っている様子】

【FY は HM の文の切れ目にうなずきながら笑顔で画面を注視】

全員：あははは【笑い】

L：ちょっと焦っているからね【笑い】若干聞き取れなかったかな，早くなっちゃったよね
能听见吗？分かっているようですね 大丈夫かな？

ちょっとゆっくりめに言った方がいいですね じゃあ FY どうぞ

FY：はい，じゃ，いきまーす

你好！你好！【笑顔で画面に向かって手を振る、HM も笑顔で画面を注視】

HM：あはは【笑い】

PWH：你好

FY：我叫 FY，我是国际情报高中三年级的学生

PWH：はい

FY：今年 18 岁，我家有六口人？爸爸，妈妈，哥哥，姐姐，弟弟和我？我正在学汉语，我觉得汉语很难

PWH：哦，呵呵【笑い】是吗

HM：ふふふ【笑い】

FY：我没有特别的爱好，我想找找我的爱好，我喜欢日本的偶像，特别喜欢杰尼斯的岚，我喜欢岚的大野，我想去中国，想游览名胜古迹，有什么好吃的中国菜吗？请教我吧

【原稿を読みつつ画面に視線を送り、基本的には相手を見ながら発話】

【HM は FY の文の切れ目にうなずきながら笑顔で画面を注視】

FY：分かりましたか？

【接続不良のため中断】

L：喂？聞こえましたか？

PWH：はい，聞こえます ①すごいですねえー

HM・FY：あ，ははは【笑い】谢谢！【2 人ともに画面に向かって笑顔で数回お辞儀】

PWH：上手ですね，中国語 你们的汉语真不错

HM・FY：わあーい！イエーイ！【FY は画面に向かって手を振り小さくガッツポーズ】

FY：ありがとうございます！
 L：②よかった！っていう時、何と言うんですか？
 HM：あ、太好了！
 FY：そうだー！【2人ともに画面に向かって笑顔で発話】
 L：そうですね！よかったね 太好了！

まずは HM と FY が準備した詳しい自己紹介文を読み、中国側に聞いてもらう形で交流を開始した。HM は初めての遠隔交流に際して強い緊張があり、焦りのため発話速度が上がってしまった。しかし、中国側から学習者の中国語を聞き取って理解できたという反応（日本語と中国語）を得て、学習者は笑顔でガッツポーズをしながら喜びと感謝を表現した（下線①）。そのような状況での応答表現について教師が中国語での発話を促し、学習者は既習事項を思い出してすぐに発話することができた（下線②）。



スクリプト 5-2-2 HM、FY から PWH へ自己紹介関連の質問

HM：趣味は何ですか？①我的爱好是什么？
 L：あ、「あなた」「あなた」ね
 HM：あ、你的，你的爱好！私の趣味になっちゃうよね
 FY：あははは【笑い】聞いてた？みたいな 聞いてたんだ
 全員：あはは【笑い】
 L：你的爱好是什么？いいですねえ
 じゃあ、何にしますか？一人1個ずつ考えよう
 FY：これにしようかな…有什么好吃的…中国菜
 HM：ああ、いいじゃん、いいじゃん
 L：いいですよ、一人ひとつずつね、じゃあ、一人ひとつずつ質問をしますね
 PWH：はい、分かりました
 HM：你的爱好是什么？【2人ともに笑顔で画面を注視】
 PWH：えー…私の趣味は水泳とサッカーをすることですね
 HM：おおー【HM うなずき】
 L：PWH 同学请用汉语说一下，让她们听
 PWH：我的爱好是游泳，还有踢足球
 L：游泳，覚えていますか？
 HM：游泳…スイミング…ふふふ【笑い】

L: うん, そうそうそう
 FY: ああー
 L: サッカー覚えていますか? 【2人で顔を見合わせる】
 FY: zú, zú, zú...piú?
 L: piú! ?piú という発音はないんだよね【笑い】
 FY: qiú 足球
 L: そうそう, それ!
 HM: おおーすごい! 【FYが自力で単語を思い出したことに感心、称賛】
 L: 覚えてましたねー, いいですねー, 游泳和踢足球, じゃあ次の質問をどうぞ
 FY: ③有什么好吃的中国菜吗? 【片手に原稿を持って見ながら笑顔で画面に向かって発話】
 PWH: 你喜欢吃什么样的中国菜?
 L: 你, 喜欢, 吃, 什么样的, 中国菜? 什么, 中国菜
 PWH: 喜欢吃辣的吗?
 HM: ああー!
 FY: 青椒, 青椒肉丝! へへへ【笑いながら画面に向かって発話】
 PWH: 青椒肉丝, 是吗? 【笑顔で画面に向かってうなずき】

中国側へ質問する場面では、HMが相手の趣味を聞くところで主語を誤って自分にして文を作ってしまう、教師に指摘されてすぐに誤りに気付いて訂正した（下線①）。その問いに対する回答が日本語で返ってきたために、教師が中国語でも発話するよう中国側に依頼し、回答の文で使われた既習の単語を確認、復習した。HMは「游泳（水泳）」という語をすぐに発話し、FYは「足球（サッカー）」という語を自力で思い出した。HMは自分が思い出せなかった語をFYが答えたことに感心し、称賛の声を上げた（下線②）。続けて、FYは「おいしい中華料理は何か」という質問をし、中国側から「好きな中華料理は何か」と問い返されて、即時には聞き取って理解することができなかった。教師が中国語をゆっくり発音し、文を単純化して再度発音したところ、理解して中国語で「青椒肉丝（チンジャオロース）」と応答した（下線③）。



スクリプト 5-2-3 PWH から HM、FY へ自己紹介関連の質問

PWH : ①そろそろ高校が終わったら、大学に進学する時ですね 卒業したらどうしたいですか
 HM : 歯医者さん, dentist
 L : 歯医者さん? そしたら、彼女たちが将来何をしたいか、またちょっと中国語で答えますので、
 少し待ってくださいね
 PWH : はい
 L : 歯医者さんになるね、とりあえずそれを言おう
 FY : まだわかんないですねー
 L : まだわからない、じゃあそれを言おう
 L : じゃあちょっと書いてみましょうね【教師が紙に大きく中国語の語とピンインを書いて指導】
 「〇〇になりたい」は「〇〇したい」と最初同じです
 HM : 我想
 L : そう、中国で歯医者「牙 (きば)」「科 (か)」と言う
 HM : 牙科 (きばか) ! あはは【笑い】
 L : 我想当牙科医生【教師が紙に書いた語を見せながら模範発音】
まだ分かりません、「分かりません」覚えてる? 「知らない」「分からない」
 FY : 我是…我喜欢…
 L : 「知っている、わかる」は「知道」、「知らない」は
 【教師が紙に大きく中国語の語とピンインを書いて指導】
 【教師が紙に書いた語を見せながら模範発音、否定型について問かけ】
 FY : 不知道
 L : そうそう、「まだ〇〇しない」「まだ決めていません」
 【教師が紙に大きく中国語の語とピンインを書いて指導】
 FY : 还没…还没决定【教師が紙に書いた語を見ながら FY が発音確認】
 L : いいですねえ、じゃあそれを言いましょう
 HM : これ、一声、二声、一声、一声ですか?
 【教師が紙に書いた語を見ながら HM が一音ずつの声調確認】
 L : そう、後ろ全部一声、うん
 HM : 牙科医生
 L : そうそうそう、彼女たち準備しましたのでこれから言います, HM どうぞ
 HM : ②我想当牙科医生
 PWH : え? もう一回お願いします
 HM : 我想当牙科医生
 L : 「医生」「大夫」と言ってみて
 PWH : 啊, 牙科医生? お医者さんですね
 L : 対対対, じゃあ次 FY
 FY : 我还没决定
 PWH : 喔喔, まだ考えている
 FY : はい, まだ考え中です
 PWH : もうひとつ質問してもいいですか?
 HM・FY : どうぞ
 PWH : では, ③いままで最もありがたく感じている人はどなただと思いますか?
 L : おおー, 誰に感謝しているか
 じゃあ、家族の言い方で、あるいは先生とか、知っている言い方
 HM : 妈妈かな
 L : うん、じゃあ、その前に「感谢」を入れましょう
 HM・FY : 感谢, 感谢

HM：我感谢？
 L：そう、「感谢」，人
 HM：我感谢妈妈
 PWH：喔喔
 HM：ふふふ【笑い】
 FY：我感谢爸爸妈妈…です！
 HM：你呢？
 PWH：私ですか？私も両親です
 L：同じかー，同じですね，「同じ」はどう言いますか？「一样（yíyàng）」
 HM・FY：一样，一样

中国側から将来の進路について質問され、各自の回答を考えた後、それらを表現する語句は未習であったために教師がその場で紙に単語とピンインを記載して発音指導した。教師が文を作るためのヒントを少しずつ出しながら、学習者が自分で考えて文を完成させた。HM は新出単語の声調を自主的に確認し、教師の模範発音を真似て練習した（下線①）。中国側に中国語で回答した際、HM の文は即時には聞き取って理解されなかったが、言い直して意味が伝わった。FY はすぐに聞き取って理解され、コミュニケーションが成立した。続けて、中国側から最も感謝している相手はだれか質問され、既習語句と文構造を教師とともに確認した後に、各自の回答を発話した。学習者は教師のヒントから即座に文を作ることができ、中国側も聞き取って理解した。同じ内容の問いを聞き返す応答表現も自主的に発話し、双方ともに両親に感謝しているという心情は共通であることを知った（下線③）。



スクリプト 5-2-4 HM、FY から ZHD へ大学の文化祭について質問

L：今日は、彼らは文化祭があったそうですよ
 HM：①太好了！
 HM・FY：あははは【笑い】
 L：ZHD たちは文化祭で何かやりましたか？
 ZHD：1, 2 年生の時は一生懸命やりました，今はもう 3 年生ですから，人を教えたり
 L：ああ，後輩を指導する係になりましたか
 ZHD：あまりやっていないですね，哈哈【笑い】

全員：あはは【笑い】
L：②何をしたか聞いてみようか「何をしますか？」ですね
HM：你做什么？
L：その前に「文化祭」を付けようか、文化节 (wénhuà jié)
HM：文化节你们做什么？すいませんもう一回，文化节你们做什么？
【FY と HM で「文化节」の発音を繰り返しつつやく】
HM：文化节你们做什么？文化节你们做什么？
ZHD：一年生の時は剣道をやったことがあります
HM・FY：へえー！剣道
HM：おおー太好了！あはは【笑い】
L：PWH もやりましたか？
PWH：日本語の歌を歌いました
L：なるほどー，歌を歌ったんだ
【2 人ともに教師と画面を交互に見て、何を歌ったのか知りたいそぶりを見せる】
L：じゃあ，「何の歌を歌いましたか」と聞いてみましょうか
HM：你唱了？你唱什么？
PWH：あ〜…いたら〜♪♪♪
L：あ，何か歌ってる，でも，えっ？ははは【笑い】声音卡住了，没听清楚
【接続不良で PWH の歌がよく聞こえない状況を説明し、再度歌うよう教師が促す】
【2 人ともに期待のまなざし、笑顔で画面を注視】
PWH：もしもあな〜たと〜あえずにい〜たら〜♪
L：おおー！テレサテンだ！
HM・FY：ああー！！あはは【笑い】知ってる，シブい！シブい！
【2 人ともに大きくうなずき、笑いながら知っていることを示す】
PWH：你们会唱吗？【2 人ともに聞き取れず、教師を見て支援を求める】
L：你们会唱吗？ちょっと無理かな
HM・FY：えー…テレサテンはちょっと無理，知らない
PWH：ちょっと無理？しぶすぎる　哈哈哈【笑い】
全員：あはは【笑い】
L：でもいい曲ですよ，名曲ですね
日本でもみんなも文化祭の時歌を歌いますよね 何の歌を歌いましたか？
PWH：是非歌ってください，どうぞ
L：她们文化节也一个合唱的，集体唱歌的一个比赛
HM：あ，勇氣 100%？WINDING ROAD？
L：クラス違うもんね，じゃあ，一節それぞれ【笑い】ちょっと歌いますよ
FY・HM：ええー！！【2 人ともに笑顔で驚きを示すが拒否はせず、照れながら歌う】
PWH：はい，どうぞどうぞ
HM：④がっかりして♪めそめそして♪どうしたんだい♪太陽みたいに笑う♪きみはどこだい♪
PWH：おおーすごい【拍手】
L：あーその歌かあ，なるほど，他们班唱的这首歌，もう一つあるのね
FY：私はー
曲がりくねった♪道の先に♪待っている幾つもの♪小さな光♪っていう歌です！ふふふ【笑い】
HM：難しい
PWH：歌詞がわからないですけど，とっても良かったです 哈哈【笑い】
HM・FY：あはは【笑い】
L：難しいですね，聞いたことがありましたか？听说过吗？她们唱的这首歌

PWH：いいえ、呵呵【笑い】まだ知らない
 L：あはは【笑い】知らない、最近の曲ですね、最近流行の曲ですね
 HM・FY：【2人で頷き同意を表す】
 PWH：なんか、グリーン？あした♪きょうよりも♪
 HM・FY：GReeeeN！キセキ、キセキだ
 PWH：とても流行っていた曲です
 FY：去年だったっけ？歌ったの
 HM：うん、去年か
 L：她们去年唱过了

相手の大学でちょうど文化祭の日だったと聞き、HMは序盤で活用した「太好了（よかったね）」というあいづち表現をすぐに発話した。文化祭の活動内容についての対話の中でも、同様にあいづち表現を適宜活用することができた（下線①）。中国の大学の文化祭の活動内容について、教師が新出語句をその場で発音指導しながら学習者が質問の文を考えて発話し、日本語で回答を得るというコミュニケーションが成立した（下線②）。文化祭の具体的な活動について、学年ごとに歌や踊りをステージでパフォーマンスするという話を聞き、学習者は中国の大学の学校文化についての知識を得た。これに対して、中国側から学習者も歌えるかどうか質問され、教師から中国語による理解支援を得て、聞き取り理解したが、中国語では即座に反応できず、日本語で応答した（下線③）。教師が高校の学校祭も同様のコンテストがあると紹介し、中国側から歌ってほしいと頼まれて、コンテストで採用した曲の1節をそれぞれ歌って聞かせた（下線④）。中国側は学習者が歌った歌を知らなかったが、共に知っているJ-POPの曲があることがわかり、それが去年の学校祭で歌った曲であった（下線⑤）。学習者は、歌の前後では照れた表情を浮かべながらも、中国側に歌がうまいとほめられたことや歌を通じたリアルタイムの交流できたことが嬉しそうな様子であった。双方ともに、もっと色々な歌を練習して披露したいという積極的な態度が観察された。

【セッション2】

16：15～16：45にLYTとの遠隔交流を実施した。第1回と同様、女子寮の接続状況がやや不良であるため、始まりと終わりの挨拶をビデオチャット、交流を音声チャットで行った。先に日本側が中国語で自己紹介し、その後、中国側が中国語と日本語で自己紹介した。交流の様子を以下の交流記録スクリプトに示す。



スクリプト 5-2-5 FY の詳しい自己紹介から中国側への質問

FY：你好！我叫 FY，我是国际情报高中三年级的学生，今年 18 岁

LYT：你好！

HM・FY：ふふふ【笑い】

FY：我家有六口人，爸爸，妈妈，哥哥，姐姐，弟弟和我，我正在学汉语，我觉得汉语很难，我没有特别的爱好，我想找到我的爱好，我喜欢日本的偶像，特别喜欢杰尼斯的岚，我喜欢岚的大野，我想去中国，想游览名胜古迹，①有什么好吃的中国菜吗？请教我吧

【FY は遠隔交流のやり方にやや慣れ、原稿を確認しながらも画面に顔を近づけ、相手に視線を送りながら発話】

【HM は真剣な表情で画面を注視】

FY：ちょっと時差あったよね

HM：ふふふ【笑い】あったね，この辺に

L：她说完了

LYT：听见了

我觉得比较好吃的有青椒肉丝…还有…还有…饺子，红烧肉，北京烤鸭，还有…

FY：烤鸭？

【2 人ともすぐには聞き取れず、画面と教師を交互に見て教師に支援を求める】

L：北京，烤鸭，北京

【教師から既習語句をゆっくり区切って発音し理解支援】

FY：北京（ペキン）…ダック！

HM・FY：ふふふ【笑い】我想吃【2 人とも理解し笑顔で数回うなずき】

LYT：反正中国料理很好吃

FY：うんうん

L：じゃ，好きな日本料理聞いてみますか？さっきのここを「おいしい」じゃなくて「好き」に変えればいいですね

FY：ああ…②有什么好吃，喜欢？喜欢的日本菜吗？

【FY が自分で文を考え発話し、教師の方を見て正しいかどうか確認】

LYT：啊—

HM：考えてる、ふふふ【笑い】

LYT：我比较喜欢吃日本的，哪个，日本的寿司

L：「寿司」「すし」ですね【教師から日本語で理解支援、2 人とも理解し笑顔で数回うなずき】

HM：ああ—好吃！

HM・FY：ふふふ【笑い】

L：那你用日语说一下，何か好きな日本料理がありますか？

【中国側の日本語会話の機会を提供するために日本語で話すよう教師が促す】

LYT：生鱼片，咖喱饭也喜欢吃

L：「咖喱饭」「カレー」ですね，あと「生鱼片」

HM・FY：おおー！

LYT: 做起来也比较容易, そして, あー…とうふ, えび, えびすし
 L: えびの寿司かな
 HM: ああーおいしいね, ふふふ【笑い】
 LYT: あとは, ビール, ビールを飲みます
 HM・FY: あはは【笑い】
 L: ビール? ははは【笑い】 ビールも飲みますね, もう大学生だから
 LYT: 聞こえますか
 HM: 聞こえます
 L: 聞こえますよー, えびのお寿司ですね
 LYT: ③北海道の美味しいもの
 L: じゃあ北海道の美味しいもの, みなさん何でしょう
 【HM 顎に手をあて目をつむって考える様子】
 HM: カニ?
 【2 人とも同意してうなづく】
 L: 北海道はカニが美味しいですね, カニはね「螃蟹」(pángxiè)
 【新出単語のため教師が模範発音して指導】
 HM: 「螃蟹」(pángxiè)
 FY: いも【FY 顎に手をあて画面を注視しながら思いつき小声でつぶやく】
 HM: いもだよね!【HM 同意して FY を指さしうなづく】
 L: うん, いも? いもね, いもはね, 「土豆」(tǔdòu)
 【新出単語のため教師が紙に 2 つの単語とピンインを書いて見せる】
 LYT: 螃蟹! 哦!
 FY: 土豆, 土豆

セッション 1 と同様に、FY の詳しい自己紹介の中で、「おいしい中華料理を教えてほしい」と問いかけた。中国側から「饺子（餃子）、红烧肉（中華風豚の角煮）、北京烤鸭（北京ダック）」と回答を得て、既習語句は教師がゆっくり区切って発音することで聞き取り理解した。HM はさらに「食べたい」という感想で応答した（下線①）。FY は自己紹介文の一部の語を入れ替えて、中国側に「好きな日本料理は何か」と質問し、「日本的寿司（日本の寿司）」、「生鱼片（刺身）」、「咖喱饭（カレーライス）」、「豆腐」等の回答を得た。HM は相手の話の途中で「好吃（おいしいよね）」というあいづちを中国語で発話することができた。また、「ビールを飲みます」という回答に対しては、高校生と 20 歳以上の大学生の飲食習慣の違いを感じて笑いが起こった（下線②）。続けて、中国側に北海道の美味しいものを紹介した。学習者はその場で考え、日本語で発話した。それらの食材を表現する語句は未習であったために、教師がその場で紙に単語とピンインを記載して発音指導した。中国側はすぐに聞き取り理解した反応を示した（下線③）。



スクリプト 5-2-6 LYT から大学の文化祭紹介

LYT : ①今日とても賑やかです、うちの学校はいろいろな学部があります、たとえば、ドイツ語学部、韓国語学部、日本語学部、中国語学部…学部によっていろいろな活動があります、たとえば、私は日本語学部の学生です、だから私たちの学部はお寿司を売ります、飲み物も

HM・FY : ええー！いいなー！こっちより楽しそう

【PYTの説明中は2人とも画面に顔を近づけて真剣に聞き入り、笑顔で反応】

LYT : 韓国語学部は、何？お餅のような食べ物、踊り、韓国の踊りです

HM・FY : へえー

LYT : そして、ロシア学部はダンスと焼肉、私はたくさん食べました

HM・FY : へえーあはは【笑い】

HM : 太好了！！

LYT : 先生、先生、あとは私今日の撮った写真を QQ で先生に見せます

HM・FY : おおー！

【中略】

LYT : コスプレもありますよ

HM・FY : ええー！すごい！ほんとにー！？

【FY口手を当て驚きの声をあげる、HMも拍手して称賛】

L : すごいなあ、何のコスプレなんだ、有什么コスプレ？

LYT : 「女仆」中国語で

L : ああ、はいはい、メイドさんだ

HM・FY : ああー！メイド服だ！あはは【笑い】すごいねー！

【メイドコスプレと聞いて笑い、感心】

LYT : 忍者

L : 忍者とか、アニメキャラかな

LYT : いろいろ分からない名前の、呵呵

【HM大きく笑い、FYうなずきながら笑顔】

L : じゃあ、「写真を見せてください」を言ってみましょうか

HM・FY : 请给我？【FY笑顔で画面や中空を見つめて思い出しながら文を作ろうと努力する】

L : うん、「見る」

HM・FY : 看？

L : うん、「写真」

FY : なんだっけ…肝心な…

L : そう、「照片」

HM : 照片、続けて言うと…

FY : 请给我…看…照片

HM・FY：请给我看照片！【2人で声を合わせ中国語で発話】あはは【笑い】
 LYT：呵呵【笑い】今は…友達のカメラに…
 L：ありますか
 LYT：はい、あります
 【中略】
 【QQ 空間（オンラインストレージ）に昨年の文化祭写真を保存してあるというので接続して見せてもらう】
 L：看到了看到了，你的照片
 HM・FY：③ええー！可愛い！
 L：可愛いね！すごく
 进入可以，成功了成功了，然后看到你穿浴衣的照片
 HM・FY：えーすごい、可愛いー
 LYT：对对对，这个相册里是去年文化节的照片，去年の
 L：新しいのは後で見せてもらいますね
 すごいね、たくさんあるね、すごい、これはたくさんだ
 HM・FY：これすごいね！
 L：すごいね、本格的 好好看啊
 L：じゃあ、かわいいねをひとこと「漂亮」
 HM：漂亮！
 LYT：谢谢！
 【中国語で称賛を表現し、LYT も聞き取り笑いながら感謝の意を応答】
 全員：あはは【笑い】
 L：あ、ダンスだこれ，社交舞的比赛
 HM：すごい！
 LYT：这可能是系里的コスプレ
 HM・FY：楽しそう！へえーお茶室？おー可愛い，楽しい，わあー！すごいクオリティ高い
 【写真を次々に見ながら感心や称賛の声を上げる、日本語で発話】

セッション1と同様に、中国の大学の文化祭の様子について中国側が日本語で紹介した。学習者は、中国の大学の文化祭における学部ごとの特徴的なパフォーマンス等について知った。学習者は飲食に関する関心が高く、ロシアの焼肉をたくさん食べたという中国側の説明に対して、「太好了（よかったね）」と中国語で感想を述べた（下線①）。また、コスプレもあると聞き、既習事項を思い出しながら教師の支援を得て「写真を見せてください」という文を考え、中国語で質問した（下線②）。今年の写真は友人のカメラにあるので見られなかったが、オンラインストレージ上に昨年の写真が保存されており、インターネット経由で接続して閲覧した。学習者は写真を見て大いに盛り上がり、興奮、喜び、驚きを表し、日本語で感想を述べながら閲覧した。教師の支援を得ながら、「漂亮（きれい）」という感想を中国語で発話した。称賛に対して LYT は「谢谢（ありがとう）」と応答し、学習者はそれを聞き取り理解して、双方に笑いが起こった（下線③）。

■セッション 3

16:45~17:30 に SG との遠隔交流を実施した。この日 3 回目の自己紹介となり、学習者は 2 人とも慣れて比較的スムーズに発話することができた。声調は不安定な部分もあったが中国側は聞き取り理解しており、学習者は自分の中国語が即座に通じたことを嬉んだ。交流の様子を以下の交流記録スクリプトに示す。



スクリプト 5-2-7 HM の詳しい自己紹介から中国側への質問

HM: 目前最受欢迎的电影是什么?

SG: 现在最出名的中国电影啊

L: 对, 有什么比较有人气的吗?

SG: 我前几天看一个就是还算比较新的一个, 就是…啊…《爱 Love》, 是一个香港的电影

L: 香港の映画で何日か前に見たんですね

【中国側の説明がやや複雑なので教師が日本語に訳して理解支援】

HM・FY: ああー

SG: 面白いです

HM・FY: おおー

【2 人とも理解しうなずく】

L: 中文题目叫什么, 也是 I love 吗?

SG: 中文就是前面是汉字的爱, 后面是英文的那个 Love

L: 漢字の「愛」に英語の「Love」で「愛 Love」っていう香港映画, わかりやすいですね

【中国語タイトルを教師が中国語に確認し、日本語で説明して理解支援】

HM・FY: へえー覚えやすい

FY: love love だ, lovelove, ははは【笑い】

L: ラブラブだね, ははは【笑い】

SG: ②主人公はハンサムです

L: それ重要! とても重要です

HM・FY: おおっ! あはは【笑い】太好了!

【主人公がイケメンであるべきという共通認識を得て大きく笑い】

SG: 哈哈【笑い】现在日本有什么好看的电影吗?

L: 在日本有什么好看的电影吗? この質問が返ってきました

HM・FY: 何だろう…日本? 洋画?

【FY はあごに手をあて上を向いて考える、HM は腕を組み考える】

【顔を見合わせてどんな映画を上映中か思い出そうとする】

FY:「ダークシャドウ」とか
 HM:日本では、今「ダークシャドウ」が人気です
 【HMはハリウッド映画の中国語タイトルがわからないため日本語で応答】
 SG:もう一度お願いします
 HM:「ダークシャドウ」という映画が日本では人気です
 HM・FY:ジョニー・デップ ジョニー・デップの
 SG:老师我没听懂, 呵呵【笑い】
 【SGはカタカナが聞き取れず教師に支援を求める】
 L:约翰尼德普的一个怪物电影, 是恐怖片, 也不算恐怖片, 约翰尼德普的电影很受欢迎
 【教師から中国語で映画の主演俳優やジャンルを説明して理解支援】
 SG:哦, 哦, 我喜欢看爱情电影
 L:ラブストーリー, 爱情, 电影, 「愛情」「映画」ですね
 HM・FY:ああー, へえーラブストーリーが好きなんだ
 FY:最近のラブストーリーかあ
 L:何かあるかな, 最近の話題の映画, 「メン・イン・ブラック」ぐらいしか思い浮かばない
 HM・FY:あはは【笑い】うん
 L:好みが分かれるからなあ, 知ってる人は知ってるかもしれないけど
 HM:映画で?
 L:映画とかドラマとか
 FY:愛といたらもう「世界の中心で愛を叫ぶ」しか思い浮かばない
 L:セカチュー!【笑い】

自己紹介に関連した質問では、セッション2と同じくFYの自己紹介から中国側へ質問し、「中国でおいしい料理（鍋包肉、豆腐炖猪肉、饺子、鱼香肉丝）」について新たな知識を得た。また、HMの自己紹介から中国で流行の映画について質問し、中国側SGが最近観た「love」という香港映画について紹介した（下線①）。SGは主人公がハンサムだと説明し、ラブストーリーの主人公はイケメンであってほしいという認識は共通であることを知って大きな笑いが起きた（下線②）。SGからは「日本で最近おもしろい映画は何か」という質問が返ってきたが、ハリウッド映画「ダークシャドウ」の中国語タイトルがわからないためにHMは日本語で応答した。しかし、SGはカタカナのタイトルが聞き取れないと中国語で応答し、教師から中国語で主演俳優（ジョニー・デップ）や映画ジャンル（モンスター系、ホラーのようなホラーでないような）を説明し、支援を提供した（下線③）。これに対しSGはラブストーリーが好みであると話し、学習者らは中国語の「爱情故事（ラブストーリー）」という新出単語を学習した（下線④）。FYはドラマでは「世界の中心で愛を叫ぶ」を思いついたが、最近人気のラブストーリー映画は特に思いつかず、SGに紹介することはできなかった。



スクリプト 5-2-8 SG から FY と HM へ学校行事について質問

SG : ①她们两个的学校有什么活动吗? 就是, 在夏天的时候
 L : 何か学校イベントありますか? 結構ありますよね, 日本の学校は
 FY : 学校祭?
 HM : 体育大会
 L : いいね, じゃあひとつづつ言おう, 「文化节」
 FY : 有文化节
 HM : 体育? 体育大会
 SG : 体育大会 たいいく…たいかい
 L : 对, 体育节, 体育祭があります
 FY : そのままなんだ, 体育大会
 SG : ②参加了吗?
 L : 何に参加した? 体育祭
 HM : えーっと, バスケットボール? あー…漢字は思い出せる…籠みたいな
 L : そうそうそう, 「籠」は「篮 lán」
 FY : 篮, 篮球, 打篮球
 【接続不良のため再接続】
 FY : 打篮球
 SG : 我刚才问她, 她参加的那个体育大会了吗
 L : みなさん参加したんですよね, じゃあ「参加した」で答えてみましょう
 HM・FY : 参加了
 SG : 参加什么了? バスケットボール? 呵呵【笑い】
 HM : バレーボールも, バレーは? 排球 (はいきゅう)?
 L : うん, 排球 (páiqiú), 排球 (páiqiú)
 HM : 排球, 排球, バレーボール
 SG : 排球, volleyball
 SG : はい, わかりました 哈哈【笑い】

セッション 1、2 と同様に、文化祭について質問した。「文化祭で歌やダンスをしたか」という質問に対しては、「当观众（見ている側だった）」「歌は歌わなかった（没唱歌）」との回答を得た。中国側から、関連した質問として、「夏の日本の高校の行事やイベントは何か」と聞かれ、学習者は中国語で「体育祭・体育大会」、「文化祭・学校祭」と回答した。学校祭は前のセッションで「文化节（文化祭）」という単語を教師の支援を得て、FY がすぐに

発話した。HM は「体育祭・体育大会」の「体育（スポーツ、体育）」という単語は思い出せたので、そのまま「大会」と続けて「体育大会」と発話するよう教師が指導した。中国側 SG は、聞き取って理解し、日本語で「体育大会」と発話した。YF は中国語と日本語で同じ単語であることに気づき、新出単語を学習した。（下線①）。続けて、自分たちが参加した競技について、既習語句を教師とともに復習しながら「篮球（バスケットボール）」、「排球（バレーボール）」と発話した。SG は聞き取って理解し、「わかりました」と日本語で応答した。

スクリプト 5-2-9 スポーツに関する質疑応答（1）

FY：①你喜欢？你喜欢打篮球？吗？
【FY は教師を見ながら一語ずつ正しいかどうか確認して発話】
SG：嗯？什么？
FY：你喜欢打篮球吗？
【接続不良のため再接続】【中略】
SG：篮球？
FY：你喜欢打篮球吗？
SG：んー、いいえ！呵呵【笑い】私は背が低いので 篮球が…呵呵【笑い】不喜欢
【きっぱり好きではないというのを聞いて 2 人とも大きく笑う】
L：好きじゃないと
HM：你喜欢打排球吗？ふふふ【笑い】
SG：排球啊
L：对
SG：现在，今は，体育课的时候
L：体育の時
SG：在练习排球
L：体育でバレーボールをやっていると 同じですね
【教師が語句を日本語に訳して理解支援】
【日本語で言おうとするがうまく言えず中国語で発話した SG の日本語学習にも配慮】
HM・FY：②何だっけ 一样
【2 人で顔を見合わせながら確認し合う、教師の支援を得て中国語で発話】
SG：一样啊
L：何のスポーツが好きか聞いてみよう
HM：③你喜欢什么体育？体育？
SG：バドミントンが好きです，先学期はバドミントンが練習していました
L：バドミントン覚えていますか？
HM：羽球（はねきゅう）
L：そう！漢字は書けるよね じゃあ，教えてもらおう
请您教她们「バドミントン」用汉语怎么说
SG：好！羽毛球
HM・FY：羽毛球 羽毛球【SG の発音を真似て復唱】
SG：对

HM : ④你喜欢羽毛球吗?

【HM は画面を見ながら自分のことばとして明瞭に発音、中国語で質問】

SG : 好きです, 喜欢, 你喜欢打羽毛球吗?

FY : 我不喜欢打羽毛球, 不喜欢, ふふふ【笑い】

HM : あははは【笑い】 喜欢, ふふふ【笑い】

SG : ⑤どうしてですか.

L : ふふふ【笑い】なぜ嫌いか, 難しいね

FY : 難しいな, 很难

SG : 很难啊! 呵呵【笑い】 難しいですよね!

【FY は SG にバドミントンが難しいから好きではないという理由を納得されて笑い】

続けて、「好きなスポーツは何か」というスポーツの話題について、中国語と日本語を交えて会話を展開した。FY はバスケットボールが好きかどうか、HM はバレーボールが好きかどうかを中国語で質問した。途中、接続不良のため質問文を繰り返し発音した。SG は「バスケットボールは好きではない」ときっぱり答え、全体に笑いが起こった（下線①）。SG が今は体育でバレーボールをやっていると中国語で説明し、教師が日本語に訳して理解支援をした。学習者らも同じであったことから、教師の支援を得て「一样（同じ）」とあいづちを応答し、SG も復唱して聞き取り理解したことを表した（下線②）。HM は、好きなスポーツは何か質問し、SG はバドミントンが好きだと日本語で応答した。既習語句なので教師が学習者に対して発音できるかどうか確認したが覚えていなかったために、SG に教えてほしいと依頼した。学習者は SG の発音を復唱し、「羽毛球（バドミントン）」の発音を練習した（下線③）。HM はバドミントンが好きかどうかを自分のことばとして中国語で質問することができた。SG は好きだと日本語で応答し、同じ質問を中国語で返した。FY は好きではない、HM は好きだと応答した（下線④）。FY はなぜ好きではないのか理由を問われ、しばし回答に困るが、難しいからという自分で表現できる単語を用いて応答した。SG は納得した様子で、笑いながら中国語と日本語で FY の応答に対する同意を示した（下線⑤）。

スクリプト 5-2-10 スポーツに関する質疑応答 (2)

L : 他に中国で人気のスポーツ聞いてみますか

HM : ああ！えーと, ①これを「スポーツ」にすればいいですか? 目前最受欢迎的体育是什么?

【HM の自己紹介文で作った映画に関する質問文を、単語を入れ替えて活用】

L : 体育运动

HM : 体育运动是什么

SG : 再说一遍

【SG は HM の中国語を聞き取れずもう一度言うよう中国語で依頼】

L : 中国人は何が好きかにしてもいいですよ

【より平易な文になるよう教師が文構造を再構成して支援】

HM：中国人喜欢什么体育？

FY：中国人喜欢什么体育？

SG：体育啊

L：她问的问题听懂了吗

【SGの反応が遅いため質問を聞き取って理解したかどうか教師が中国語で確認】

SG：就是中国人都喜欢什么体育是吧

【SGは聞き取れており、答えを考えていたために時間がかかっていたことがわかる】

L：是，是的

SG：②人によって違います，ある人はバドミントンが好きです，有的人还喜欢篮球，有的人喜欢跑步

L：ある人はバスケットボール，ある人は走るのが好き，ジョギングとかですね

【SGの中国語を教師が日本語に訳して理解支援】

HM：③你喜欢乒乓球吗？

SG：乒乓...呵呵【笑い】うーん，まあまあ，你喜欢吗？

【中国といえば卓球というイメージだったが、まあまあという回答に笑い】

HM・FY：まあまあ，あはは【笑い】

SG：哈哈【笑い】同じです

【自分たちも卓球に対しては好きの程度が似たようなものであったことに笑い】

HMが自己紹介で用いた「中国で人気の映画は何か」という文を応用し、単語を入れ替えて「中国で人気のスポーツは何か」という文を作成し、発話した。SGはすぐに聞き取り理解することができず、もう一度言うよう中国語で依頼した。HMは教師の支援により、より平易な「中国人が好きなスポーツは何か」という文を作成し、言い直した（下線①）。SGの沈黙が長いために教師が質問を聞き取れたかどうか中国語で確認したところ、聞き取れていたが、答えに悩んでいたことがわかった。SGは日本語と中国語で、人によって異なり、バドミントン、バスケットボール、ジョギング等の身近なスポーツを例に挙げた（下線②）。中国といえば卓球というイメージから、HMはSGに卓球が好きかどうか中国語で質問した。SGは「まあまあ」と笑って答え、FYとHMはどうか聞き返した。学習者も同じく「まあまあ」と笑って答え、卓球の位置付けが似たようなものであることに共感した（下線③）。

第2回の遠隔交流で学習者が実際に使用した中国語の語句と会話表現の一覧を以下の表に示す。

表 5-2 第 2 回遠隔交流で学習者が活用した語句と会話表現の一覧

話題分野	言語運用能力レベル	活用した中国語	日本語訳
自分と身近な人々	1-a. 名前（姓名）や属性（高校生、学年、年齢、誕生日など）を言ったり尋ねたりできる	我叫+姓名。	私は（フルネーム）と申します。
		我今年 18 岁。	私は今年 18 歳です。
	1-b. 家族構成（何人家族がいるか）について、会話したり、書いて説明したりできる	我家有～口人。	私の家は～人家族です。
		爸爸, 妈妈, 哥哥, 姐姐, 弟弟	お父さん、お母さん、兄、姉、弟
		我感谢爸爸妈妈。	私はお父さんとお母さん（両親）に感謝しています。 ※家族構成ではないが、家族に対する感情表現のためここに分類
	1-c. 簡単な自己紹介（姓名、学校、学年、年齢、誕生日、干支、住んでいる所、好きなこと、趣味など）を口頭でまたは書いてすることができる	我是国际情报高中三年级的学生。	私は国際情報高校 3 年生の学生です。
	2-c. 卒業後の進路（進学する、就職する、留学するなど）および将来就きたい職業や働きたい場所について、話し合うことができる	我想当牙科医生。	私は歯医者さんになりたいです。
		我还没决定。	私はまだ決めていません。
	3-c. 自分の経験（うれしかったこと、つらかったこと、感動したことなど）について、語りあったり、書いて伝えたりできる	我没有去过外国。	私は海外に行ったことがありません。 ※経験の有無を説明するのみで、経験に基づく感情表現は含まない
学校生活	1-c. 時間割を見ながら、好きな科目や嫌いな科目について、言ったり尋ねたりできる	我喜欢体育和汉语。	私は体育と中国語が好きです。 ※時間割を見ずに即時に発話できる
		你喜欢什么体育？	あなたはどんなスポーツが好きですか？
		羽毛球	バドミントン
		你喜欢（打）羽毛球吗？	あなたはバドミントンが好きですか？
		我不喜欢羽毛球。	私はバドミントンが好きではありません。
		很难。	難しいです。 ※上記「バドミントンが好きではない」理由の説明であるためここに分類
	2-e. 自分がクラスや学校・クラブ活動などで担っている役割（委員や係りなど）について、話すことができる	文化节你做什么（了）？	文化祭であなたは何をします（しました）か？
		你唱歌了吗？	歌を歌いましたか？
	3-d. 自分の学校の行事（行事名、時期、内容など）について、口頭でまたは文章にして紹介することができる	你唱歌了吗？	歌を歌いましたか？
		我参加了。	私は参加しました。
		体育大会	体育祭、体育大会
		文化节	文化祭、学校祭

		打籃球	バスケットボールをする
		打排球	バレーボールをする
		请给我看（文化节的）照片。	（文化祭の）写真を見せてください。 ※学校行事「学校祭」の説明におけるやりとりで活用したためここに分類
日常生活	1-a. 1日の基本的なあいさつができる	你好。	こんにちは。
食	1-k. 自分の好きな食べ物、嫌いな食べ物、食べられないものなど、料理名や食品名を、口頭で伝えることができる	我喜欢吃青椒肉丝。	私はチンジャオロースを食べるのが好きです。
		我不喜欢辣的。	私は辛いのが好きではありません。
		甜的	甘いもの
		北京烤鸭	ペキンダック
	1-j. 食事のときによくいう表現（おながすいた/いっぱいだ/召し上がれなど）を使って、口頭でやりとりができる	饿死了！	お腹がすいて死にそう！めっちゃハラペコ
	2-f. 料理の種類（洋食、和食、韓国料理、中華料理など）の好みについて、会話できる	有什么喜欢的日本菜吗？	好きな日本料理はありますか？
		日本寿司	日本の寿司
		生鱼片	刺身
		咖喱饭	カレーライス
		螃蟹	カニ
		土豆	いも、じゃがいも、ポテト
		东北菜	東北料理（中国東北地方の料理）
		锅包肉	薄切り豚肉の甘酢炒め
		猪肉炖粉条	豚肉と白菜の春雨煮
		有什么好吃的中国菜吗？请教我吧。	何かおいしい中華料理がありますか？教えてください。
趣味と遊び	1-c. どんなこと（スポーツ、映画、読書など）をするのが好きか、口頭で紹介しあうことができる	我的爱好是～。	私の趣味は～です。
		看电影	映画を観る、映画鑑賞
		游泳	水泳、泳ぐ
		踢足球	サッカーをする
	2-f. 好きなものや趣味が何か、口頭でまたは書いてやりとりできる	我没有特别的爱好。	私は特に趣味がありません。
		我想找找我的爱好。	自分の趣味を見つけたいです。
		我喜欢～。	私は～が好きです。
		弹钢琴	ピアノを弾くこと
		我不喜欢学习。	私は勉強が好きではありません。
		你的爱好是什么？	あなたの趣味は何ですか？
		你喜不喜欢体育？	体育は好きですか？
		你喜欢乒乓球吗？	卓球は好きですか？
		中国人喜欢什么运动？	中国人はどんなスポーツが好きですか？

		如今最受欢迎的体育运动是什么？	今中国で一番人気のあるスポーツは何ですか？
	1-d. 好きな有名人の名前や職業を、口頭でまたは書いて紹介しあうことができる	(我) 特别喜欢杰尼斯的岚。	ジャニーズの嵐が特に好きです。
		岚の大野	嵐の大野君
		日本の偶像	日本のアイドル
	1-e. 好きなテレビドラマや映画・本・音楽などのタイトルを、リストアップできる	《爱 Love》	香港映画「愛 Love」(タイトル) (相手が説明して知った知識)
	3-c. 趣味や習い事(頻度、期間、はじめたきっかけ、続けた理由、自分にとっての意味など)について、口頭で説明できる	我从 5 岁开始练弹钢琴。	私は 5 歳からピアノの練習を始めました。
	3-d. 自分の周りではやっていることやものについて、写真や実物を使いながら、口頭でまたは書いて紹介できる	目前最受欢迎的电影是什么？	今一番はやっている映画は何ですか？ ※写真や実物を使わず即時に発話できる
		如今最受欢迎的中国电影是什么？	今中国で一番人気のある映画は何ですか？ ※写真や実物を使わず即時に発話できる
		爱情故事	ラブストーリー
交通と旅行	3-e. 将来行きたい所やおすすめの旅行先について、理由を含めて語り合うことができる	我没有去过外国。	私は海外に行ったことがありません。 ※中国旅行に行きたいと感じている前提を説明する
		我想去游览中国。	将来、中国へ旅行しに行きたいです。
		我想去中国，想游览名胜古迹。	私は中国へ行きたいです、中国の名所旧跡を見学したいです。
		有机会的话，我想去长春。	チャンスがあったら長春に行きたいです。
人とのつきあい	1-a. 人とのつきあいでよく使う基本的なあいさつ表現(初対面、感謝、励まし、謝罪、断りなど)を言ったり、聞いて理解したりできる	初次见面。	初めまして。
		请多指教。	ご指導よろしくお願ひします。 いろいろ教えてください。
		请多关照。	よろしくお願ひします。
		太好了	いいね、よかったね、よかった
		一样，一样。	同じですね。
	1-f. 招いたり招かれたりするときに交わす基本的な表現を、言ったり、聞いて理解したりできる	欢迎你们的到来。	みなさんのお越しを歓迎します。どうぞお越しください。
	1-g. 相手のこと(性格、特技など)を、口頭でまたは書いてほめることができる	好，很好	よい、うまい、とても上手だ、 いいよ(同意や承認)
		漂亮	きれい、美しい
		美女	美女

ことば	1-a. どんな言語を学んでいるか、行ったり尋ねたりできる	我正在学习汉语。	私は今中国語を勉強しているところです。
	1-d. 学習対象言語を学んでの簡単な感想（おもしろい／難しいなど）を、言い合うことができる	我觉得汉语很难。	中国語はとても難しいと思います。
		汉语很难，我学汉语很开心。	中国語は難しいですが、中国語を学んでとても楽しいです。
その他の汎用的な会話表現	数の多さを表す	很多	たくさんの、多くの
	2つ以上の語を並列する	A 和 B	A と B

5.1.2 第3回、第4回「日本の高校生活：グルメ、学校行事、芸能、流行、インターネット」

第3回、第4回の遠隔交流は、日本側の学習者が中国の大学生と話してみたい交流トピックとして希望した、「飲食・グルメ」「学校行事・学校生活」「芸能・メディア（音楽、テレビ、ドラマ、映画等）」「学生・若者の流行」について、日本の高校生の状況を紹介し、中国の大学生からの質問に答え、コメント等を聞き取ることを目標とした。遠隔交流の準備用に学習者が作成した紹介文（日中対訳）の一部を以下に例示する（全員の紹介文は付録5を参照）。

交流トピック：飲食・グルメ

北海道で人気のある食べ物と飲み物を紹介します。「ガラナ」は人気のある飲み物です。それはコーラのような飲み物です。それはいくらですか？1本百円です。「スープカレー」最近流行っています。ご飯をスープカレーに浸して食べます。これはみんなが好きです。ドーナツ屋さんの名前は「ミスタードーナツ」です。私は抹茶味とチョコレート味のが好きです。私はクリーム味のが好きです。すべておいしいです。ぜひ食べてみてください。

我们介绍北海道最有人气的食品和饮料。「ガラナ」有人气的饮料。这是可乐似的饮料。这个多少钱？一百日元一瓶。「スープカレー（汤咖喱）」最近很流行。米饭蘸汤咖喱吃。这是大家都喜欢。甜甜圈店的名字叫“甜甜圈先生”。我喜欢吃抹茶和巧克力味道的。我喜欢吃奶油味道的。都很好吃。有机会尝尝吧。

図 5-4 「第3回、第4回 日本の高校生活」紹介文の例

5.1.2.1 第3回遠隔交流

第3回の遠隔交流は6月14日に実施した。学習者4名（KBA、KB、HM、YG）と中国

側 3 名（LZR、LYT、LSH）が参加した。時間帯を分けて 2 つのセッションを設定し、前半は 1 名（LZR）、後半は 2 名（LYT、LSH）と接続した。交流開始前に中国側との接続テストを行ったところ、前回までと同様、女子寮は接続状況がやや不良であったため、ビデオチャットで顔を見ながら挨拶した後、交流そのものは随時音声チャットに切り替える方針とした。

【セッション 1】

15：30～16：30 に LZR との遠隔交流を実施した。先に日本側が中国語で自己紹介し、その後、中国側が中国語と日本語で自己紹介した。また、事前に授業で準備した交流トピック「日本の高校生活：グルメ、学校行事、芸能、流行、インターネット」のうち、「グルメ」及び「学校行事」について、日本の高校生の日常や調べた情報を中国語で紹介した。また、関連する内容について、中国の学生の考えや印象はどうか、簡単な質疑応答をした。交流の様子を以下の交流記録スクリプトに示す。



スクリプト 5-3-1 KBA の詳しい自己紹介

KBA：你好【画面に顔を近づけて笑顔で発話】

LZR：你好

KBA：我叫 KBA，我的生日二月七号，①我今年 17 岁

【原稿を時々見ながら、画面を覗き込むようにして相手の反応を見ながら発話】

【聞いている他の 3 人も笑顔で画面を注視】

LZR：啊，17 岁，若いですねえ

全員：あははは【笑い】

KBA：谢谢【笑い】

KBA：我是国际情报高中三年级的学生

LZR：啊，三年级啊

KBA：Yeah【笑い】，我参加茶道部

全員：あははは【笑い】【あいづちの反応がつい英語風になってしまったことを笑う】

LZR：えー…茶道部，哈

KBA：通过茶道可以了解日本的传统文化

LZR : 啊…传统文化
 KBA : 所以, 所以茶道很好
 LZR : 啊…哈…是吗
 【KBA はコミュニケーションが成立していることを喜び、教師と画面を交互に見る】
 KBA : 【笑い】我喜…ん? ②我喜欢杰尼斯
 【全員でかたずをのんで見守る、突然中国側の反応がなくなり長い沈黙、笑いが起きる】
 L : 止まっている…
 KBA : 【笑い】杰尼斯…
 LZR : 嗯? 不好意思, 再说一遍?
 L : もう一度, 请再说一遍
 KBA : 啊, 我喜欢杰尼斯, 杰尼斯
 LZR : 啊? 啊啊! えっと…中国のスターではないんですよね, 不是中国的
 KBA : 啊, 日本的
 LZR : 啊! 是吧
 KBA : あはは【笑い】
 【KBA は自分の発音が悪かったわけではなく、LZR がジャニーズを知らなかったことがわかり、安心して笑い】
 L : わかる?
 LZR : 私の勉強不足で
 KBA : いえいえ! とんでもないです! 【笑い】
 【顔の前で手を振り相手の発言を否定、数回お辞儀】
 全員 : あははは【笑い】
 KBA : えー…我喜欢学英语和汉语
 LZR : 啊, 英语和汉语啊, 好
 KBA : ③我要坚持下去
 LZR : 啊…好的, 加油!
 L : 加油, 加油!
 KBA : 我想去游览长城
 LZR : 啊, 长城, 万里长城, 万里的長城ですね, 万里长城【KBA うなずき同意を示す】
 全員 : あははは【笑い】
 LZR : 好
 KBA : 长城雄伟吗?
 LZR : 啊! 很好, 好, 很雄伟的!

前回までの遠隔交流に参加できず、初参加の KBA から自己紹介を開始した。事前に準備した詳しい自己紹介文に沿って、画面を見ながらスムーズに発話することができた。LZR は随時あいづちを返す、KBA の発話を復唱するなどして、聞き取り理解している反応を示した（下線①）。一部、「ジャニーズが好き」と言う部分で、LZR がジャニーズを知らなかったために反応がなくなり沈黙する場面があったが、中国人スターではなく日本の有名人であるとわかり、「勉強不足で」と謝る LZR の反応に笑いが起きた（下線②）。KBA の発話内容に対する励ましや質問に対する回答も得て、円滑なコミュニケーションが成立した（下線

③)。その後、中国人に対する呼称について、高校生である学習者たちは、親しくても年長者である LZR に対して「小李」と呼びかけてはいけないというルールを教えてもらい、「李老師（李先生）」と呼ぶよう説明してもらい、年齢による呼称の注意点について学んだ。その過程で LZR が中国語の比較構文を使用した部分は聞き取り理解することが難しかったために、教師がゆっくり繰り返し発音するか、日本語に訳す等して理解支援を提供した。



スクリプト 5-3-2 KB の詳しい自己紹介 (1)

KB: え, 緊張する! 你好!

LZR: 你好!

KB: 我叫 KB

LZR: 啊

KB: ①今年 18 岁

LZR: 18 岁, 嗯

KB: 对

L: 对对【笑い】

KB: 我有两个兄弟姐妹

LZR: 啊啊…二人兄弟ですね

【KB うなずき、他の 3 人は LZR が即時に聞き取り理解したので感心しながらうなずき】

KB: はい, ②我是老子, 我是老子?

【LZR が沈黙したので KB は教師の方を見て支援を求める】

L: 最小的, 最小的小, 一番小さい【既習語句で説明できる表現を教師が小声で発音し支援】

【他の 3 人も説明を聞いて理解しうなずき】

KB: 最小的?! 最小的

LZR: 啊! 你是最小的? 末子ですか

KB: おお! はい! すごい!

全員: おお! あはは【笑い】

【LZR が難しい日本語で表現したことに驚きの声を上げる】

【全員笑顔で顔を見合わせ、通じた喜びを表現して笑う】

KB: ①我, 我喜欢打篮球, 篮球

LZR: 哇! 很好, 很好, 很厉害【他の 3 人も LZR の反応を聞いてうなずき】

KB: 所以, ③所以初中生的时候, 我参加篮球队了

LZR: 啊, 是吗? 现在的「部活 (ぶかつ)」? 现在的「部活」也是篮球吗?

【KB は画面を見ながら首を横に振り、否定を表現しながら教師の方を見る】

L: 不是【否定の表現を中国語で発音し支援】
 KB: 不是
 全員: あはは【笑い】
 LZR: 啊, 不是
 全員: あはは【笑い】
 KB: 不是, 我, 我喜欢看棒球比赛
 LZR: 啊啊…
 KB: 我, 我经常去…
 L: 嗯, 「经常」(jīngcháng), 「经常」(jīngcháng), 嗯
 【KB の声調が誤っているため訂正し正しい発音を指導】
 KB: 经常去札幌巨蛋, 支持日本火腿队
 LZR: 啊啊…
 KB: 日本火腿队, 太开心了! あはは【笑い】
 全員: あはは【笑い】
 KB: えー, 你, ①你来日本的时候, 我们一起吃寿司吧! 寿司! ?
 LZR: 啊, すしですか?
 KBA: いえーい! 【笑い】【KBA ガッツポーズをして期待とやる気を表現、他の2人も笑う】
 KB: おお! はい!
 LZR: 啊, ③我很喜欢吃寿司【LZR の中国語が聞き取れず全員教師の方を見て支援を求める】
 L: 他喜欢吃寿司
 LZR: 我很喜欢吃寿司【教師が LZR の発話を復唱し、LZR もほぼ同時に同じ文を再度発話】
 KB: ああ! 太, 太好了【笑い】
 全員: あははは【笑い】
 【KBA 片手でガッツポーズをして喜びを表現】
 【「太好了!」を何度も活用していることに全員で大笑い】
 KB: ④我想将来在宾, 宾馆工作, 作, 宾馆工作
 L: 嗯, 宾馆
 KB: 宾馆工作, 所以现在我学汉语
 LZR: 啊啊, ホテルですかね? ああ, 「宾馆」で就職したいということですね
 【他の3人もKBが発話した長文をLZRが即時に聞き取り理解したことに感心しうなずき】
 KB: はい, そうです!
 LZR: おお, すごーい! 非常好, 非常好, 很好, 很好
 KB: 有, ③有机会的话, 我想去一趟中国
 LZR: 啊, 想去一趟中国, 嗯, 中国的什么地方呢?
 KB: 中国的…【LZR の中国語が途中から聞き取れず全員教師の方を見て支援を求める】
 L: 什么地方? 哪儿? 想去哪儿? 对【既習語句で説明できる表現を教師が発音し支援】
 LZR: 哦, 想去哪儿?
 全員: どこだろう…长城…また…【爆笑】
 【KBA と同じく教科書で既習の「长城」が再登場しようとしていることに全員大笑い】
 KB: 我, 我想, 我想游览长城
 全員: あははは【笑い】
 L: 很好【笑い】
 LZR: 本当ですか? 【笑い】【少し怪しんでいる LZR の口調に全員で天を仰いで大爆笑】
 L: 嗯, 北京
 LZR: 上海とかは? 上海呢?
 KBA: ああ, うん, 太好了! 【全員うなずき、KBA 片手でガッツポーズをして同意を表現】

L: 想去
 KB・KBA: 我想去, 想去
 LZR: 啊, 好的, 好的, ③欢迎你到中国
 【LZR の中国語が聞き取れず全員教師の方を見て支援を求める】
 L: 嗯, 「欢迎」, 「欢迎」は「かんげい」ですね, 欢迎你来中国
 【未習の「欢迎」を日本語に訳し理解支援、全員理解しうなずき】
 KB: 啊, 谢谢! あはは 【笑い】
 LZR: 欢迎, 啊

続いて、KBA と同じく今回が初参加の KB の自己紹介を行った。KB も事前に準備した詳しい自己紹介文に沿って、画面を見ながらスムーズに発話することができた。LZR は随時あいづちを返したり、KBA の発話を復唱したりして、聞き取り理解している反応を示した。KB も LZR が復唱した文に対して、「对（そうです）」のような応答をしながら会話を進めた（下線①）。兄弟の話になり、事前に調べた語句では LZR がすぐに聞き取り理解できない部分があり、既習語句を用いた別の表現を教師が支援した（下線②）。KB の話の内容に関連して LZR が質問を返す場面では、KB と他の 3 人の学習者が聞き取れず理解できない文の場合に、教師が既習語句を用いて言い換えたり、新出単語を日本語に訳して説明したりして、支援を提供した（下線③）。KB の中国語に対して、LZR が日本語で聞き取り理解した内容を確認する場面では、正確に意味が通じたことの喜びや驚きを全員で共有した（下線④）。時には日本語と中国語を交えてのインタラクションとなる場面もあったが、話の流れや間合いのおかしさに反応の声を上げ、大きな笑いが生まれた。

スクリプト 5-3-3 KB の詳しい自己紹介 (2)

LZR: 刚才说喜欢打篮球
 L: 嗯, 喜欢打篮球, KB ですね, 喜欢打篮球
 KB: 【真剣な顔をして教師の方を見る、うなずき】
 L: 嗯, 嗯, 对
 KB: 对 【教師を真似て、相手の言ったことを肯定する表現を発話】
 LZR: 篮球, で, 中国有一个「スター」
 KB: スター? 【KB あごに手をあて考える】
 【他の 3 人も顔を見合わせて考え、教師の方を見る】
 LZR: 叫「姚明」
 KB: 叫姚明?
 L: 嗯, 「姚明」
 KB: 姚明? ふーん… 【思い当たるふしがなく、うなずきながらも不思議そうな表情】
 【他の 2 人も顔を見合わせて小さく笑い、知らないことを示す】
 LZR: 姚明, 在美国 NBA
 KB: おおー! NBA なんですか? ははは 【笑い】

【教師の方を見て日本語で LZR の説明を正しく理解したかどうか確認】

【他の 3 人も大きく数回うなずく】

L: そうそう, 中国的篮球运动员

KB: へえー! うんうん, わかりました! あはは【全員でうなずきながら大きく笑い】

LZR: ①在中国很有人气, 姚明

【聞き覚えのある語句だが、すぐに意味が理解できず教師の方を見ながら考える】

L: 有人气, さっき調べてたやつだね, 有人气

【HM と KBA の準備したグルメ紹介の中で使用した語句であることを教師が示唆】

KBA: ああー! 有人气

L: そうそうそう, 人気があります

HM: ああ, 有人气

KBA: ②あ、太好了!

KB: へえー!

全員: 太好了! 【笑い】

L: 嗯, 还有问题吗?

LZR: ③下次, あ, 今度中国に戻られたら, 多分, 姚明さんと会えるかも

全員: おおおお!!! 【LZR の言うことを真に受け、全員で興奮して大きな声で反応、拍手】

L: 本当かな, アメリカにいたと言ったのに? 【笑い】

全員: あははは 【笑い】

LZR: 姚明さんは「长城」にも行きます 【笑い】

全員: あははは 【LZR の言ったことが冗談だったとわかり、全員で手をたたきながら爆笑】

KB: 一起去!

L: 一起去吧

全員: 一起去吧!

L: 一起去吧! 好的呢

LZR: ④欢迎你们到中国 【LZR の中国語が聞き取れず全員教師の方を見て支援を求める】

L: 嗯, 欢迎, 欢迎, 欢迎你们到中国, 欢迎, 欢迎する

【出だしの語が聞き取れていないため、繰り返し明確に発音して理解支援】

全員: ああ! ああ! 谢谢!

【教師の説明を聞いて LZR の話す内容を理解、全員うなずきながら画面を見て笑顔でお礼】

KB の自己紹介の内容に関連して、LZR が中国の世界的なバスケットボールプレイヤーである「姚明（ヤオミン）」について紹介した。全員、姚明を知らず、LZR の説明を聞いて初めてその存在を知った。LZR が会話の途中で「有人气（人気がある）」という表現を用い、HM と KBA の準備したグルメ紹介の中で使用した語句であったが、即時に聞き取り理解することができなかったため、教師が調べたことのある語句であることを示唆し、学習者も思い出して理解した（下線①）。それに続く応答は、学習者自身で既習語句を用いて発話した（下線②）。LZR が冗談で、中国に来たら姚明にも会えるかもしれないと言ったのを学習者らが真に受け、教師のツッコミの後に冗談だとわかると、学習者自身で「一起去！（一緒に行く）」と即時に応答し、大きな笑いが生まれた（下線③）。これに対し、LZR が発話

した出だしの語「欢迎（歓迎する、ようこそ）」が聞き取れず、教師が一語のみを説明して支援し、学習者は即座に理解して、「谢谢（ありがとう）」と応答した（下線④）。



スクリプト 5-3-4 KBA と HM の北海道グルメ紹介

HM：あ、えー、二人で？我们介绍北海道
L：道（dào）【HM の声調が誤っているため訂正し正しい発音を指導】
HM：道，道，①有人气的食品和饮料
LZR：啊，食品と飲料ですね
KBA・HM：おおー！
【自分たちの中国語を LZR が即時に聞き取り理解して応答したことに喜びの歓声】
HM：②ガラナ，ガラナ，有人气的饮料
LZR：啊，很好
HM：主要是可乐似的饮料
LZR：健康食品，ですね
L：健康食品ではないんだな…【LZR が誤解しており、HM・KBA 笑って教師の方を見る】
HM：可口可乐，嗯，可乐似的饮料
LZR：啊，可乐か，コーラ式の？
KBA・HM：そうですね【LZR に正しく理解されたことがわかりうなずき】
LZR：嗯，是嘛，はいはい
KBA：汤咖喱
LZR：嗯，スープカレー？
KBA・HM：おお！
KBA：え、なぜわかるの？
【自分たちの中国語を LZR が即時に聞き取り理解して応答したことに驚きの歓声】
【北海道グルメを中国人があまり知らないと予想していたため、すぐに理解されたことが不思議で疑問を小声で口に出す】
L：あ，LZR 老师吃过
【LZR はスープカレーを食べたことがあり知っていることを教師から説明】
KBA：説明したほうがいいですよ
L：うん，そうね，一応ね
KBA：最近很流行，米饭蘸上汤咖喱吃
LZR：啊啊，是吗
L：やって見せる
KBA：很好吃【ライスをスプーンですくってカレーにつけて食べるジェスチャーをして見せる】
LZR：啊啊，是吗
HM：很好吃

LZR：啊，好吃，美味しいですね，そうか，はい
 KBA：③有机会尝尝吧！
 LZR：啊，谢谢，谢谢！よく知ってますね
 KBA・HM：あははは【笑い】
 KBA：ありがとうございます【ほめられたことを喜び、笑いながら画面に向かって数回おじぎ】
 全員：④汤咖喱！
 LZR：一定，一定
 KBA：一定？【LZR の中国語が聞き取れず KBA と HM は教師の方を見て支援を求める】
 L：一定，きっと，必ず，一定
 HM・KBA：あー！谢谢！【画面に向かって笑顔で手を振る】
 LZR：谢谢，谢谢

KBA と HM は北海道グルメを紹介した。飲食についてのトピックであることを説明し、即時に LZR が聞き取り理解して日本語で復唱したため、学習者は中国語が通じたことを喜び、歓声を上げた（下線①）。HM は北海道ではメジャーな「ガラナ」というコーラに似たドリンクを紹介した。LZR が初めは健康食品かと誤解したが、キーワードとなる「可乐（コーラ）」を HM が繰り返し発話することで正しく理解された（下線②）。KBA はスープカレーを説明したところ、LZR は食べたことがありすぐに日本語で応答したため、学習者は驚きを表した。KBA が中国語でスープカレーの食べ方を説明し、ジェスチャーでも示した。「有机会尝尝吧（機会があったら食べてみてね）」と勧誘・推薦の表現を活用した場面では、LZR に難しい言い方をうまく使えたと感心され、笑顔で喜びとお礼の態度を示した（下線③）。学習者がスープカレーをアピールしたのに対して、LZR が発話した「一定（きっと、必ず）」が聞き取れず、教師が説明して支援し、学習者は即座に理解して、「谢谢（ありがとう）」と応答した（下線④）。



スクリプト 5-3-5 YG と KB の学校行事紹介

YG：上周，上周？

L: 上周, 上周

YG: ①我们的考试结束

LZR: テストが終わったんですね, ああ, ②辛苦了

L: 辛苦了, 辛苦了

YG: 谢谢…③九月有高中体育比赛

【KB が学校紹介のパンフレットに掲載されている高体連の写真のページを Web カメラに近づけて映す】

LZR: 哇, 很厉害

YG: 九? 九月有体育, 体育大会

【KB が学校紹介のパンフレットに掲載されている体育大会の写真のページを Web カメラに近づけて映す】

LZR: 啊, ②一月份? 一月?

YG: 啊, 九, 九月

LZR: 啊, 九月, 九月? 九月, 知道了, わかりました, 知道了

YG: 我们打篮球和打...④バレーボール...?

【YG と KB が単語の声調を確認して小声で練習】

【YG はバレーボールの言い方を忘れて日本語で発話】

HM・KBA・KB: 排球? 【他の 3 人がバレーボールを中国語で発話し支援】

YG: 排球

LZR: 啊! 排球, バレーボールですね

YG: 嗯, 和打垒球

LZR: 哦!

KBA: 垒球?

L: 嗯, 垒球 【教師が KBA と HM にソフトボールの投球のジェスチャーをして見せる】

KBA: ああー! そうか 【KBA と HM は「垒球」がソフトボールであることを理解】

YG: ③七, 七月, 有学, 学校, 学校节

【KB が学校紹介のパンフレットに掲載されている学校祭の写真のページを Web カメラに近づけて映す】

LZR: 啊, 学校节, 写真ですね, 嗯, 看到了, 看到了

L: 見えたと言ってますね 【LZR が Web カメラ越しに写真を見えたことを状況説明】

KB: ①所以现在做…准备, 准备

LZR: 啊, 准备, 啊啊, 现在开始, これから準備していくっていいことですね
ああ, よくわかりました

KBA: ⑤现在开始, 现在开始, いつも最初に言ってるやつでしょ?

HM: ああ, そうだ

【KBA が通常授業の開始時に教師が言う決まり文句「现在开始上课 (これから授業を始めます)」を思い出し、同じであることに気づいて HM に確認、HM も同意】

KB: ①我们班做戏剧

LZR: 啊, わかります, 演劇ですね

【KBA は YG の発話がすぐに通じたことに感心し、小さく拍手】

KB: 題目は?

L: 題目

KB: 題目是

LZR: ⑥题目是什么?

KB: 爱, 丽, 丝, 梦, 游, 仙, 境

L: 仙境 (xiānjìng) 【KB の声調が誤っているため訂正し正しい発音を指導】

KB：仙境
 LZR：爱丽丝？
 KB：爱、丽、丝、梦、游、仙、境
 【他の3人も画面を注視しKBの発話を通じるかどうか見守る】
 LZR：あー、題目、それがテーマですね
 L：LZR 老师看过吗？看过、看过电影吗？小说、电影、爱丽丝梦游仙境
 【LZR があまり理解していない様子なので教師から『不思議の国のアリス』の小説や映画を観たことがあるか中国語で確認】
 LZR：嗯…？
 L：是欧洲的小说
 LZR：欧洲的？哈，欧洲的
 L：儿童小说
 LZR：哦，儿童？それは…没看过
 L：没看过，見たことありません，ですね，没看过
 LZR：それ，見に行きます
 全員：あははは【LZR が学校祭を見に行くと冗談を言ったので全員手をたたきながら爆笑】
 KB：欢迎！【画面に向かって手招きしながら、この日に新しく学んだ表現を活用】
 全員：あははは【笑い】
 LZR：啊，欢迎

YG と KB は年間の学校行事を紹介した。YG の中国語の説明を聞き、LZR はすぐに聞き取り理解した（下線①）。LZR が随時、質問を返して確認すると、YG は中国語であいづちや言い直しをして適切に応答した（下線②）。学校紹介のパンフレットにカラー写真が掲載されており、Web カメラに映して見せながら説明したことで、行事の様子が具体的に伝ったことが、「厉害（すごいね）」、「看到了（見えました）」等の LZR の反応からわかる（下線③）。発話担当者が忘れた語句を他の学習者が教えてコミュニケーションが成立する協同学習の場面も見られた（下線④）。また、対話中に出てきた「现在开始（これから～を始める）」という表現について、通常授業で教師が毎回使う語句であることを思い出し、学習者どうし確認した（下線⑤）。「不思議の国のアリス」という劇のタイトルがなかなか理解されなかったが、教師が中国語で確認し、LZR が原作を知らなかったために聞き取れなかったものであり、発音や声調が間違っていたわけではなかったことがわかり、知らないから観に行くという LZR の冗談に大きな笑いが起こった。それに対し、KB が「欢迎（ようこそ）」と適切に応答した（下線⑥）。

スクリプト 5-3-6 学校祭について質問

KB：你学校有学校节吗？
 LZR：啊，我呢，学校有，有学校节，但是和日本不一样

【最後の単語が聞き取れず教師の方を見て支援を求める】

L: 嗯, 不一样, けっこう前にやったけど覚えてないかな? 一緒, 同じではない, 違うっていう意味ね, 「一样」同じ, 「不一样」同じではない

KB: 做什么活动? 做什么活动?

LZR: 人気のある先生, 老师, 呃, 进行演讲, 报告

【新出単語が多く聞き取れず教師の方を見て支援を求める】

L: ああ, 「演讲」 えっと, セミナーとか講演みたいなよね, 「演讲」

【教師から日本語で説明し理解支援】

KB: へえー, 谢谢

全員: あははは【笑い】

L: 唱不唱歌? 唱歌吗老师? 有唱歌比赛吗? 歌唱比赛吗?

【高校の学校祭は歌のコンテストがあるので、中国の大学はどうか教師から中国語で質問】

LZR: 啊, 唱歌は…啊, 有, 有, 有合唱

L: 有, うんうん, 合唱ですね, 合唱, 合唱, 有合唱

LZR: 有合唱

KB: ①厉害! 【この日に新しく学んだ表現を活用、親指を立てて称賛を表現】

全員: あははは【爆笑】太好了! 厉害! 厉害! 【全員でこの日に新しく学んだ表現を活用】

LZR: 也有那个小, 小提琴, 那个小提琴

L: 嗯, 小提琴

LZR: 小提琴

L: さっき YG が, YG が言ったやつですね…バイオリンの演奏, 演奏会とか

KB: えー! 太好了

LZR: 小提琴の演奏もあります

KB: へえー, すごい! 厉害! 【笑い】

L: 嗯嗯, 厉害! 「太好了!」の他に「厉害!」も覚えました

【これまでに活用できるようになった「太好了 (よかった、いいね)」に加えて、この日に新しく「厉害 (すごい)」を活用できるようになったことを教師が称賛】

続けて、KB が中国では学校祭があるかどうか質問した。LZR の説明は新出単語が多く、学習者らにとって聞き取り理解するのが難しかったために、教師が日本語訳して理解を支援した。学習者からの自発的な応答として、これまでは「太好了 (いいね、よかったね)」を覚えてしばしば活用していたが、新たに「厉害 (すごい)」も覚えて活用できるようになった (下線①)。



スクリプト 5-3-7 LZR から KBA への質問

LZR：你学汉语多长时间了？
L：哦，说得有点快【教師が LZR に発話速度が速すぎることを伝える】
LZR：①学汉语，多长时间了？多长时间？【LZR 語句を区切ってゆっくり発話】
L：学汉语，多长时间【教師が LZR の発話を繰り返す】
KBA：ああ！うーん…1 年とちょっと？
L：嗯，一年
KBA：一年
L：多
KBA：多
L：①「多」は少し多い，ですね
KBA：一年多【未習の表現のため教師が支援し、KBA は教師の後について発話】
L：うん，うん
LZR：一年多，哦哦
KBA：嗯，我学汉语
LZR：哦，嗯，那个，①哪里，什么地方比较，感觉比较难？
L：嗯，什么地方
KBA：地方？
L：嗯，什么地方，どんなところ「地方」は「所（ところ）」ですね，什么地方比较难？
【未習の表現のため教師が日本語訳して支援】
KBA：あ！難しいですか？ああ！
L：うん，うん
KBA：発音？
L：发音
KBA：发音，发音
LZR：啊，发音…嗯，发音很好，你的发音很好！
KBA：啊，②谢谢，谢谢，谢谢！
全員：あはは【笑い】
LZR：发音很好
L：对，没错，没错
KB：没错【笑い】
LZR：速度慢，速度慢，没关系
L：「速度」（sùdù）は速度，速さという意味ですね「慢」はゆっくり
LZR：没关系
L：嗯，没关系
LZR：スピードは大丈夫です，発音，发音很好听，很，很好
KBA：②谢谢
LZR：①所以继续，继续加油！
L：嗯，继续加油！
LZR：加油
KBA：加油？
L：継続して，「加油！」頑張ってください，ですね
KBA：②对！
L：加油
KBA：②谢谢
LZR：頑張ってください！

L: 嗯, ①きっと, きっと, さっきの「きっと」っていうのを何て言っていましたか? LZR
 【LZR が中国語で表現していた語句を思い出すよう教師が促す】
 KBA: あ, 「一定」
 L: 嗯, 一定
 KBA: 一定 【カメラに向かってガッツポーズ】
 全員: あはは 【笑い】
 LZR: 好, 好, 頑張って! 加油!
 KBA: ②谢谢

KBA は LZR から中国語学習歴について質問された。LZR の発話の速度が速い、あるいは未習の語句が含まれていたために、KBA は即時に聞き取り理解することができなかった。そのため、教師がゆっくり発話するよう依頼し語句を区切って繰り返し発話する、あるいは部分的に語句を日本語訳する等の支援をすることで、コミュニケーションが成立した（下線①）。KBA は聞き取り理解できた際には、「对（そうです）」「谢谢（ありがとう）」等、すぐに中国語で適切に応答した（下線②）。

スクリプト 5-3-8 LZR から KB への質問

LZR: ①你喜欢吃寿司?
 L: 喜欢, 吃, 寿司 【KB 聞き取れず教師を見る、教師が語句を区切ってゆっくり発話し支援】
 LZR: 喜欢吃寿司
 KB: 喜欢? 我
 L: 嗯, 吃寿司
 KB: 啊! 喜欢, 寿司, 很好吃!
 LZR: 喜欢, 啊, 一周吃几次?
 KB: 一周吃… 【KB 聞き取れず教師を見る】
 L: 嗯, 一个星期, 一周, さっき「上周」っていいましたね, 「上周」 【KB は YG の方を見る】
 YG: ふふふ 【笑い】
 【突然話を振られたので YG は驚き、自分の準備した資料を見直す】
 L: 嗯, 「上周考试结束了」って言った「上周」「一周」
 「一周」「两周」あ, これか…一周, 两周一周吃几次
 KB: 吃几次?
 L: 嗯, 吃, 食べるですね「几」, 「几」は数, 回数
 KB: ああ, 一週間に何回食べる?
 L: うんうん, 何回, 何回, 「几次」, 何回, 何度ですね
 KB: ②そんな食べないですって何て言いますか
 LZR: 不经常吃, 不经常吃
 KB: 不经常, 不经常吃
 L: 「经常」はしばしば
 KB: 经常?
 LZR: 经常吃?
 KB: 经常吃

L:「经常吃」はしばしば食べる

全員:あはは【爆笑】

L: を否定して「不」をつける

KB: 不经常吃

L: うんうん, そうそう

LZR: あ, なるほど, 不是, 常, 常にではなくて, たまにっていうことですね

KB: はい

LZR: あ, 知道了, 知道了

KB は LZR から自己紹介で話した寿司が好きという内容について、週に何回寿司を食べるか質問された。LZR の発話の速度が速く、KB が即時に聞き取り理解することができなかったため、教師が語句を区切ってゆっくり発話し支援することで聞き取り理解し、「喜欢（好き）」という直接の回答以外に、「很好吃（おいしい）」という自分の感想も追加して適切な応答をした（下線①）。また、LZR の発話に含まれる語句と類似の表現が他の学習者の紹介文で既に使われたことを教師が示唆し、未習語句を理解することができた。また、KB は自分の言いたい表現を直接教 LZR に質問し、教師が LZR の回答した文の構造を説明することで、全員が新たな表現を学習した（下線②）。文の構造を理解しようと考えている途中で、KB が（寿司を）「しょっちゅう食べる」と発話し、大きな笑いが起きた。KB は「经常吃（しょっちゅう食べる）」と「不经常吃（それほど頻繁には食べない）」の両方を発話したが、最終的には言いたい表現を LZR に伝えることができた。

【セッション 2】

16:30~17:30 に LYT、LSH との遠隔交流を実施した。セッション 1 終了後に KBA と KB が他の活動のため退席し、HM と YG の 2 名と中国側 2 名（LYT、LSH）が参加した。また、大学で中国語を履修したという教育実習生が臨時で参加した。セッション 1 と同様に、先に HM と YG が中国語で自己紹介した後、LYT、LSH が中国語と日本語で自己紹介した。続けて、学習者は「グルメ」及び「学校行事」について中国語と日本語で紹介した。その後、中国側から自由に質問してもらい、芸能人や映画・ドラマの話題で対話した。また、中国側から日本の高校の日常生活の写真を見たいという要望があり、数枚の写真を QQ 経由で送信して見せたが、数が少なく、次回以降の交流で紹介できる写真を準備することとした。交流の様子を以下の交流記録スクリプトに示す。



スクリプト 5-3-9 LSH の自己紹介と内容に関連した質疑応答

LSH : 老师同学们你们好, 我的名字叫 LSH, 来自吉林华侨外国语学院日语系, 现在是二年级的学生, 我的爱好是玩电脑和唱日语歌

【2 人ともカメラに顔を近づけて真剣に聞き入る】

L : 玩儿电脑

HM・YG : 电脑?

LSH : 然后, 很高兴见到认识大家

L : 然后唱日语歌, 唱歌

HM・YG : 唱歌?

【聞き覚えのある語句だがすぐに聞き取り理解することができず教師の顔を見る】

LSH : みなさん, こんにちは, えっと, 私は LSH です, 私の趣味は, 日本語の歌を歌うこととパソコンを遊ぶことです

HM : お! すごい!

YG : ①太好了!

LSH : 皆さんもし時間があったら, ぜひ中国に遊びに来てくださいね

YG 和 HM : はい! 行きます

LSH : はい, よろしくお願いします

L : さっきの質問ちょっと中国語で言ってみましょう

【過去の交流で活用した質問の文を言うよう教師が促す】

HM : 你…

L : 何が好きです

HM : 喜欢, 你喜欢唱什么? 你喜欢唱什么?

L : 歌

HM : 啊! 歌!

HM : 你喜欢歌, 唱什么歌?

LSH : えっと, 西野カナさんの歌と, えー, AKB48 の歌

HM : おおー! ①太好了!

YG : 誰が好きなんだろうね

L : そうだね, 聞いてみて

YG : 你, 喜欢, 谁?

L : うんうん, AKB のね

YG : AKB48

L : 48

YG : 48

LSH : 高橋みなみです

HM・YG : おおー!! すごい! ①太好了!

LSH : 高橋みなみのことが大好きです

LSH の自己紹介を中国語と日本語で聞き、それに関する内容を質問した。中国語のみを

すぐに聞き取り理解することは難しかったが、LSH が日本語でも同様の自己紹介を言い直したので、理解することができた。YG は、AKB48 が好きという自己紹介に対して、中国語で「你喜欢谁？（誰が好きですか）」と質問した。HM は、日本の歌を歌うのが好きという自己紹介に対して、中国語で「你喜欢唱什么歌？（何を歌うのが好きですか）」と質問した。YG と HM は聞きながら、随時「太好了（いいね）」とあいづちを打った（下線①）。

その後、HM は北海道グルメについて、YG は学校行事について、事前に準備した内容を紹介した。LSH と LYT は「なるほど」「はい」等とあいづちを打ちながら、学習者の中国語を聞き取り理解した。また、中国側の日本語学習のために、日本語でも同様の内容を話すこととした。

スクリプト 5-3-10 芸能、エンターテインメントに関する質疑応答

LSH・LYT：①问一下两位同学有自己喜欢的明星吗？

L：哦！明星，明星，スターですね，アイドルとか，偶像，好きなアイドル

【新出単語を教師が日本語訳して理解支援】

HM・YG：あはは【笑い】…アイドル

LSH・LYT：スター

HM：AKB，それしか知らないな

L：AKB ですね

HM：AKB

LSH：女優とか，俳優とか？

HM・YG：あー，日本人だと

L：あ！でも，誰でも，ハリウッドのスターでも

HM：その好きは「喜欢」じゃなくて？

L：それも「喜欢」，誰が好きか，彼がお気に入りの俳優だとか

HM：我喜欢ジョニー・デップ

LSH・LYT：はっきり聞き取れない【笑い】

L：他是好莱坞的一个明星，不是日本的明星，是好莱坞的，约翰尼德普

【カタカナ発音の人名を中国側が聞き取れないため教師が中国語で説明し理解支援】

LSH・LYT：あ！なるほど

L：なるほど【笑い】YG はいいますか？だれか芸能人とかアイドル

YG：AKB の中だったら

L：そうだね

YG：我喜欢…北原りえ？AKB48

L：AKB 的

YG：AKB 的北原りえ

HM：総選挙何位？

YG：13 位かな

LSH・LYT：AKB48 のメンバー

L：わかるのかな？すごいな，わかるのね，すごいねえ

じゃ，最近はやりの中国スターを聞いてみましょう，最近流行の映画を聞いたからね

她们现在想问你们一个问题，请稍等一下

HM：嗯，②目前最受欢迎的中国的

L：嗯，明星

HM：明星是什么？

L：是谁【疑問詞の誤りを教師が訂正し正しい単語を発音】

HM：是谁？

LSH・LYT：周杰伦

L：周杰伦，ジェイ・チョウっていう，さっきちょっと話出たね

HM：周杰伦

L：今度授業で紹介しましょう，MTV をね

下个星期我们上汉语课的时候给他们看看周杰伦的这个音乐片

中国語側から自由に中国語で質問し、学習者はそれに対して中国語で回答した。LSH は好きなスターや有名人は誰かと質問し、HM は「ジョニーデップが好き」と答えたが、カタカナ発音での人名は中国側が聞き取れず、教師が中国語で説明して理解を支援した。YG は「AKB48 の北原りえが好き」と答え、中国側もすぐに聞き取り理解して、「AKB のメンバー」と日本語で応答した（下線①）。続けて、HM が自己紹介に書いた文を活用して、「今中国で一番はやっているスターは誰か」と中国語で質問し、LHS と LYT は「周杰伦（ジェイ・チョウ）」と答えた（下線②）。HM も YG も彼を知らなかったために、教師が次の授業でミュージックビデオを観ることを提案した。

スクリプト 5-3-11 ドラマに関する質疑応答

YG：好きな日本語は何ですか？

L：好きな日本語？いいね，じゃ，聞いてみて。

YG：你喜欢

L：的，「日本語」

YG：日语

L：うん，「はなんですか」

YG：是什么？もう一回言ったほうがいいかな

L：うん

LSH・LYT：日剧

L：あ，「日剧」か，「日本のドラマ」に聞こえたかな

LSH：喜欢的电影是好莱坞的暮光之城

L：映画だと思ってるかな？暮光之城？

LYT：我很喜欢我的机器人女友

L：中国語がタイトルわかんないな？ちょっと待ってね，今タイトルを調べているので

あー！なんだっけ，なんかバンパイアのイケメンだったやつ

HM：Twilight?

L：そうそうそう！それだそれだ

YG：ああー！太好了！

YG は、「好きな日本語は何か」と中国語で質問したが、中国側は「日语（日本語）」を「日剧（日本ドラマ）」と聞き違い、LSH はハリウッド映画の「トワイライト」が、LYT は「僕の彼女はサイボーグ」が好きだと回答した。日本語のタイトルがわからなかったために、教師がその場でインターネットを使って検索し、学習者もどの作品か理解した。

第3回の遠隔交流で学習者が実際に使用した中国語の語句と会話表現を表5-3に示す。

表 5-3 第3回遠隔交流で学習者が活用した語句と会話表現の一覧

話題分野	言語運用能力レベル	活用した中国語	日本語訳
自分と身近な人々	1-a. 名前（姓名）や属性（高校生、学年、年齢、誕生日など）を言ったり尋ねたりできる	我叫+姓名。	私は（フルネーム）と申します。
		我的生日～月～号。	私の誕生日は～月～日です。
		我今年 17 岁。	私は今年 17 歳です。
	1-b. 家族構成（何人家族がいるか）について、会話したり、書いて説明したりできる	我有两个兄弟姐妹。	私は 2 人兄弟です。
		我是老小。我是最小的。	私は末っ子です。
	1-c. 簡単な自己紹介（姓名、学校、学年、年齢、誕生日、干支、住んでいる所、好きなこと、趣味など）を口頭でまたは書いてすることができる	我是国际情报高中三年级的学生。	私は国際情報高校 3 年生の学生です。
学校生活	2-c. 卒業後の進路（進学する、就職する、留学するなど）および将来就きたい職業や働きたい場所について、話し合うことができる	我想将来在宾馆工作，所以现在我学汉语。	私は将来ホテルで働きたいので、今中国語を学んでいます。
	1-c. 時間割を見ながら、好きな科目や嫌いな科目について、言ったり尋ねたりできる	我喜欢学英语和汉语。	私は英語と中国語を学ぶのが好きです。（時間割を見ずに即時に言える）
		我参加茶道部。	私は茶道部に入っています。
	2-e. 自分がクラスや学校・クラブ活動などで担っている役割（委員や係りなど）について、話すことができる	所以初中的时候，我参加篮球队了。	（バスケをするのが好き）なので、中学の時にバスケットボールチームに入っていました。
		我们有第二外语的课。	私たちは第二外国語の授業があります。
	2-b. 学校の簡単な概要（共学、中高一貫、全校／クラスの生徒数。男女別人数、時間割など）を説明した、簡単な資料を作ることができる	四个外语中，可以选择汉语。	4 つの外国語のうち、中国語を選択することができます。
	2-d. 学校のスケジュール（1 日、週間、年間）について、口頭でまたは書いてやりとりできる		
		通过茶道可以了解日本的传统文化。	茶道を通じて日本の伝統文化を知ることができます。
	3-a. 学校生活で感じていること（楽しいことや大変なことなど）		

	について、語り合ったり、書いて伝えあったりできる	所以茶道很好。	なので、茶道はとても良いです。
		我要坚持下去。	（中国語の学習を）これからがんばりたいです。
		太开心了。	とても楽しいです。
	3-d. 自分の学校の行事（行事名、時期、内容など）について、口頭でまたは文章にして紹介することができる	上周我们的考试结束了。	先週、私たちは試験が終わりました。
		七月有学校节。	7月に学校祭があります。
		所以现在做准备。	なので、今準備をしています。
		现在开始（做准备）。	これから（準備を）始めます。
		我们班做戏剧。	私たちのクラスは劇をやります。
		题目是《爱丽丝梦游仙境》。	タイトルは「アリス・イン・ワンダーランド」です。
		你学校有学校节吗？	あなたたちの学校には学校祭がありますか？
		九月有高中体育比赛。	9月に体育大会があります。
		做什么活动？	どんな活動（イベント）をしますか？
		我们打篮球，打排球和打垒球。	私たちはバスケットボールとバレーボールとソフトボールをしました。
日常生活	1-a. 1日の基本的なあいさつができる	你好。	こんにちは。
		初次见面。	初めまして。
		请多指教。	ご指導よろしくお願いします。いろいろ教えてください。
食	1-f. 料理の味や状態についての簡単な感想（おいしい、甘い、辛い、薄い、熱いなど）を述べたり、受けを答えしたりできる	很好吃。	おいしい。
	1-k. 自分の好きな食べ物、嫌いな食べ物、食べられないものなど、料理名や食品名を、口頭で伝えることができる	我喜欢吃～	私は～（を食べるの）が好きです。
		寿司	寿司
		中国菜	中華料理
		麻婆豆腐	マーボー豆腐
		饺子	餃子
		青椒肉丝	チンジャオロース
	2-c. 料理を勧めること（たくさん食べてください、厚いうちに食べてくださいなど）、勧められたときの対応（もう食べられません、～は苦手ですなど）ができる	有机会（的话）尝尝吧。	機会があったら食べてみてください。
	2-g. 自分の食生活（いつ、どこで、誰と、どんなものを食べるかなど）について、口頭で説明できる	不经常吃（寿司）。	（寿司は）そんなにしょっちゅう食べません（たまにしか食べません）。
	3-c. 日本の代表的な料理や自分の住んでいる地域の料理（料理名、	我们介绍北海道有人气的食品和饮料。	私達は北海道で人気のある食べ物と飲み物を紹介します。

	味付け、作り方など)について、口頭または文章で紹介できる	ガラナ(是)有人气的饮料。	ガラナは人気のある飲み物です。
		这是可乐似的饮料。	これはコーラに似た飲み物です。
		汤咖喱最近很流行, 米饭蘸上汤咖喱吃。	スープカレーは最近はやっています。ライスをスープカレーに少しつけて食べます。
趣味と遊び	1-c. どんなこと(スポーツ、映画、読書など)をするのが好きか、口頭で紹介しあうことができる 2-f. 好きなものや趣味が何か、口頭でまたは書いてやりとりできる	我会拉小提琴。	私はバイオリンが弾けます。
		我喜欢~。	私は~が好きです。
		打篮球	バスケットボールをする
		看棒球比赛	野球観戦
		弹钢琴	ピアノを弾く
		听音乐	音楽を聴く
		经常去札幌巨蛋支持日本火腿队。	よく札幌ドームへ日本ハムファイターズの応援に行きます。
	1-d. 好きな有名人の名前や職業を、口頭でまたは書いて紹介しあうことができる	你喜欢唱什么(歌)?	あなたは何を歌うのが好きですか?
		你喜欢什么日语?	どんな日本語が好きですか?
		我喜欢杰尼斯。	ジャニーズが好きです。
		你喜欢(AKB48的)谁?	あなたは(AKB48の)誰が好きですか?
	3-d. 自分の周りではやっていることやものについて、写真や実物を使いながら、口頭でまたは書いて紹介できる	明星	スター、有名人
		目前最受欢迎的中国的明星是谁?	今中国で一番人気のあるスターは誰ですか?
交通と旅行	3-e. 将来行きたい所やおすすめの旅行先について、理由を含めて語り合うことができる	有人气	人気がある
		我想去中国。	中国に行きたいです。
		我想去。	行きたいです。
		我想去游览长城。	私は万里の長城を見物しに行きたいです。
人とのつきあい	1-a. 人とのつきあいでよく使う基本的なあいさつ表現(初対面、感謝、励まし、謝罪、断りなど)を言ったり、聞いて理解したりできる	长城雄伟吗?	万里の長城は雄大ですか?
		初次见面。	初めまして。
		很高兴认识你。	知り合えてうれしいです。
		请多指教。	ご指導よろしくお願いします。いろいろ教えてください。
	1-f. 招いたり招かれたりするときにあいさつ表現を、言ったり、聞いて理解したりできる	请多关照。	よろしくお願いします。
		太好了。	いいね。よかったね。よかった。
		欢迎	ようこそ
		你来日本的时候, 我们一起去吃寿司吧。	あなたが日本に来たら、一緒にお寿司を食べに行きましょう。
	1-g. 相手のこと(性格、特技など)を、口頭でまたは書いてほめることができる	一起去吧。	一緒に行きましょう。
		厉害	すごい
	2-g. 人とのつきあいを円滑にでき	好, 很好	よい、うまい、とても上手だ、いいよ(同意や承認)
		加油	がんばれ

	るような表現（ねぎらい、励まし、期待など）を、言ったり、聞いて理解したりできる		
ことば	1-d. 学習対象言語を学んでの簡単な感想（おもしろい／難しいなど）を、言い合うことができる	发音很难。	発音が難しいです。
	2-b. 外国語の学習状況（何語を、どこで、どのくらい学んでいるか）について、口頭でまたは書いてやりとりできる	一年多，学汉语	一年とちょっと、中国語を学ぶ（我学了一年多汉语了。という完全な文では言っていない）
その他の汎用的な会話表現	数の多さを表す	很多	たくさんの、多くの
	肯定	对	正しい、合っている、そうです、その通り
	2つ以上の語を並列する	A 和 B	A と B
	肯定・否定	是，不是	はい、いいえ
	肯定	没错	その通り、間違いない
	決意、意志の固さを表す	一定	きっと、必ず

5.1.2.2 第4回遠隔交流

第4回の遠隔交流は6月21日に実施した。学習者4名（KBA、HM、YG、YZ）と中国側2名（LYT、LSH）が参加した。中国側が1グループのみであったために、1つのセッションを設定し、同じ相手と長時間交流した。前回までと同様、女子寮は接続状況がやや不良であったため、ビデオチャットで顔を見ながら挨拶した後、随時音声チャットに切り替える方針とした。

【セッション1】

16:30～17:30にLYT、LSHとの遠隔交流を実施した。彼女らと初対面のYZが中国語で自己紹介した。その後、事前に授業で準備した交流トピック「日本の高校生活：グルメ、学校行事、芸能、流行、インターネット」のうち、「グルメ」、「学校行事」、「芸能、流行」について、日本の高校生の日常や調べた情報を中国語で紹介した。また、関連する内容について、中国の学生の考えや印象はどうか、簡単な質疑応答をした。この日は学校祭準備期間で、教室や廊下で準備作業をしている様子が見られるため、校内を撮影しながら巡回してライブ実況を行った。交流の様子を以下の交流記録スクリプトに示す。



スクリプト 5-4-1 KBA と HM の北海道グルメ紹介

HM：えーっと、ガラナ、有人气的饮料
 全員：あはは【HM の声がハウリングして画面から遅れて聞こえてくるので笑い】
 HM：これは恥ずかしい【笑い】
 YZ：ははは【笑い】
 HM：这是可乐似的饮料
 KBA：①这个多少钱？
 HM：一百日元一瓶
 KBA：太好了！【笑い】
 YZ：ははは【笑い】
 KBA：スープカレーでいい？
 L：スープカレー、はい
 KBA：②汤咖喱最近很流行，米饭蘸汤咖喱吃，汤咖喱
 LYT・LSH：啊，嗯，嗯，カレー好きです
 KBA：好きです，はい【笑い】
 【KBA 画面に向かって小さくガッツポーズして見せる】
 【KBA がミスタードーナツの箱を Web カメラに映し、HM が説明開始】
 ③这是甜甜圈，这是大家都喜欢，甜甜圈店的名字叫甜甜圈先生
 LYT・LSH：甜甜圈，啊！甜甜圈
 HM：我喜欢吃奶油味道的
 LYT・LSH：哦，嗯
 KBA：我喜欢吃抹茶和巧克力味道的
 LYT・LSH：嗯，抹茶和巧克力
 HM：ふふふ【笑い】
 LYT・LSH：おいしそうー！
 KBA：おいしいです！【笑い】都很好吃，有机会尝尝吧！谢谢！
 LYT・LSH：はい！
 KBA：ありがとうございました

HM と KBA が北海道グルメを紹介した。ガラナは実物を見せながら説明し、LYT と LSH は説明を聞き取りすぐに理解した。紹介の中で、2 人がかけあい漫才のように一問一答形式で説明する場面もあり、笑いが生まれた(下線①)。KBA のスープカレー紹介は実物がなかったものの、中国語の説明を聞いてすぐに理解され、お互いにカレーが好きだということが

わかった（下線②）。ミスタードーナツについても実物と箱を見せながら説明し、HM と KBA の好きな味が何か等、LYT と LSH は説明を聞き取りすぐに理解して、「おいしそう！」と感想を日本語で述べた（下線③）。



スクリプト 5-4-2 YG の学校行事紹介

YG：你好！

LYT・LSH：你好！

YG：七月有学校节，①全班都制作 T 恤衫【YG が HM の着ているクラス T シャツを指す】

【HM 立ち上がり Web カメラに向かって T シャツの前面と背面が映るよう一回転する】

L：创意 T 恤

LYT・LSH：哦！

YG：我们班的 T 恤衫是黑的，黑的【YG と HM、YG を指す】

LYT・LSH：②哦哦

YG：明天就来，太期待了

LYT・LSH：期待，期待啊

全員：あははは【笑い】

LYT・LSH：创意 T 恤，黑色的

L：对，他们是黑色的，他们是不同班的同学

LYT・LSH：哦哦

YG は学校行事について紹介した。学校祭の準備期間で、HM がクラス T シャツを着ていた
ので、実際に前面と背面のデザインを Web カメラに映して見せることができた。YG は準備
していた紹介文に新しく説明を追加し、全クラスで色々な T シャツを作ること、YG のク
ラス T シャツは黒で、明日来るのが楽しみであること等を説明した。LYT と LSH は「おお！」
「楽しみだね」「オリジナル T シャツ、黒の」等、中国語であいづちを打ち、YG の中国語
をすぐに聞き取り理解した（下線②）。



スクリプト 5-4-3 YZ の芸能、流行紹介 (1) お笑い、芸人

【教師がタブレット PC で杉ちゃん出演のお笑い番組動画を表示し、Web カメラに映す】

L : ①这是一个电视节目，搞笑节目，请你们记住这个男人

YZ : 大家知道他吗？ 他叫小杉

L : 小杉

LYT・LSH : 哦，小山（こやま）？

L : あ，小山さんだと思っているようですね

全員 : あはは【笑い】

L : 杉ちゃんと言ってみて

YZ : 杉ちゃんです

LYT・LSH : 哦，哈哈

YZ : 他是搞笑艺人

LYT・LSH : 搞笑艺人，哦哦

YZ : 现在在日本，他很有人气

LYT・LSH : 啊啊

YZ : 他穿背心，背心，受高中女生的欢迎

LYT・LSH : 啊，很受欢迎，高中女生，哈哈

全員 : あはは【笑い】

L : 杉ちゃんと言ってみて

YZ : 杉ちゃんです

LYT・LSH : 哦，哈哈

YZ : 他是搞笑艺人

LYT・LSH : 搞笑艺人，哦哦

YZ : 现在在日本，他很有人气

LYT・LSH : 啊啊

YZ : 他穿背心，背心，受高中女生的欢迎

LYT・LSH : 啊，很受欢迎，高中女生，哈哈

全員 : あはは【笑い】

YZ は、「杉ちゃん」、「ラーメン」、「SNS」について紹介した。お笑い芸人の「杉ちゃん」は、説明だけでは伝わりにくいので、まず教師が Youtube の動画を Web カメラに映して見せ、その後で YZ が服装の特徴や、女子高生にウケていること等を中国語で説明した（下線

①)。LYT と LSH も動画を見たのですぐに聞き取り理解し、全員で大きな笑いが生まれた。「～ちゃん」という呼称にするため、「小」を付けて「小杉 (Xiǎoshān)」と発音したところ、中国側に「小山 (Xiǎoshān)」と聞き違えられたために、日本語で「杉ちゃん」と補足説明した。YZ は続けて、「搞笑艺人 (お笑い芸人)」、「现在在日本很有人气 (今、日本でとても人気がある)」、「穿背心 (ベストを着ている)」、「受女高中生的欢迎 (女子高生にウケている)」等のキーワードを使って紹介し、LYT と LSH は即時に聞き取り理解を示した。

スクリプト 5-4-4 YZ の芸能、流行紹介 (2) ラーメン

YZ: 下面介绍一下汤面
L: 汤面 (tāngmiàn) 【YZ の声調が誤っているので訂正して発音】
YZ: 汤面 (tāngmiàn)
LYT・LSH: 汤面
YZ: 汤面, 最近汤面受高中生的欢迎, 在日本, 味道浓厚, 浓厚的酱油
L: 酱油 (jiàngyóu) 【YZ の声調が誤っているので訂正して発音】
YZ: 酱油 (jiàngyóu)? 酱油 (jiàngyóu)
LYT・LSH: しょうゆ
YZ: うん, しょうゆ 【笑い】
全員: あはは 【笑い】
YZ: 和黄酱, 黄, 酱, 酱
L: 黄酱 (huángjiàng) 【YZ の声調が誤っているので訂正して発音】
YZ: 黄酱汤面, 很有人气
LYT: 啊, 酱油汤面
LSH: 他说面很有人气
YZ: ①大家喜欢什么味道? 汤面
LSH: 味はどんな味ですか
LYT: 味? 辛い味が好きです
LSH: 辛い味
YZ: へえー 【全員うなずき】
L: 喜欢辣的
YZ: 喜欢辣的 【YZ うなずき】
YZ: ②在中国, 汤面有什么种类?
LSH: 我们这边的面有很多种, 比如说, 麻辣烫之类的, 就是说, 面与蔬菜加起来, 然后, 有点类似于, 杂, 杂? お雑煮? 哈哈
LYT: はい, お雑煮みたいな
HM: へえー!!
YZ: ああー 【全員うなずき】
LSH: ラーメンと野菜両方ともありますよ
KBA・YZ: へえー 【KBA・YZ うなずき】
LYT: 还有鸡蛋, 自己喜欢拌都可以搅起来, 还有海鲜的, 然后什么, 各种各样, 很多种类
LSH: 可以搅自己喜欢的
L: 「海鲜」, 「海鲜」ね, 自分の好きな物を麺に作って食べるんですね
【新出単語が多く含まれており説明が長いため教師が日本語訳して理解支援】

全員：おおー【全員うなずき】
 KBA：③太好了！
 全員：あはは【笑い】
 L：太好了！あはは【笑い】食べたい、とか言ってみて
 KBA：我想吃！
 YZ：ははは【笑い】
 LSH：哈哈【笑い】以上です
 全員：あはは【笑い】
 LSH：チャンスがあったらぜひ食べてみてください
 全員：はい
 KBA：谢谢！

続いて、YZ はラーメンが流行であることを中国語で紹介した。準備した説明は、声調の誤りを随時教師が訂正して言い直し、LYT と LSH にすぐに聞き取り理解された。YZ は好きなラーメンの味について質問し、LYT と LSH は日本語で「辛い味」と答えたため、教師が中国語での表現（喜欢辣的）を指導した（下線①）。さらに、ラーメンにどのような種類があるかを質問し、中国のラーメンは「麻辣烫（四川の辛いスープ春雨）」のように好きな具をいろいろ乗せて作ること、卵、野菜、肉、海鮮といった各種の具を好みで入れて混ぜて食べることを知った（下線②）。途中、新出単語が多く含まれる長い説明については、教師が日本語訳して大意を伝え、理解を支援した。学習者は、「太好了（いいね）」「我想吃（食べたい）」等の感想を述べた。

スクリプト 5-4-5 YZ の芸能、流行紹介（3）SNS

YZ：还有，“推特”等社交网
 L：社交网（shèjiāowǎng）【YZ の声調が誤っているため訂正】
 YZ：社交网（shèjiāowǎng），也受高中生的欢迎
 LSH：嗯，推特
 YZ：对，嗯，在学校，经常成大家的话题，话题，推特最受日本人的欢迎
 【学生寮の部屋に他の学生が入ってきて何か話している様子】
 L：誰か来たんだね
 YZ：还有 mixi, Skype 和脸书也很有人气
 LSH・LYT：ごめんなさい，聞き取れなかった
 L：何か後ろでやっていたからね，聞き取れなかった
 LSH・LYT：はい，もう一回お願いします
 YZ：还有 mixi, Skype
 LSH・LYT：啊啊，Skype
 YZ：脸书
 LSH・LYT：啊，Facebook
 YZ：也很有人气，①大家用推特吗？
 LSH：哈哈，就是，在中国上推特比较麻烦

YZ: へえー【全員うなずき】
 LSH: 我们也有新浪微博, 微博がありますよ
 YZ: ふーん【全員うなずき】
 LSH: 「推特」みたいなものです, 「人人网」もあります
 LYT: 在中国新浪微博比较红
 LSH: 流行っていますよ
 全員: おおー【全員うなずき】
 L: 「新」しい「浪」の微生物の「微」に博士の「博」って書いて, 「微博」がミニブログと言う意味ね
 中国はツイッターとかフェイスブック見れないので, 中国版のツイッターやフェイスブックみたいなのに登録して使ってるのね, 後は QQ も使ってるね
 YZ: OK 了, 谢谢! 【YZ が全員にマイクを向ける】
 KBA: 谢谢!
 HM: 谢谢!
 YG: 谢谢!

続けて、YZ は日本の高校生に人気の SNS について紹介した。準備した説明は、英語発音の単語もあり、LYT と LSH にすぐに聞き取り理解された。YZ が敢えて中国語で発話した「脸书 (フェイスブック)」を LSH が「Facebook」と英語で確認する場面もあった。YZ は中国でもツイッターを利用しているか質問し、LSH と LYT は中国ではツイッターの利用はちょっと面倒であると回答した。その代わりに、中国国内で流行の SNS として、「微博」や「人人网」等が流行していると説明し、教師からも中国のインターネット管理について補足説明して、学習者は中国の若者が利用している流行の SNS について理解した。



スクリプト 5-4-6 フリートークと学校祭準備のライブ実況

LSH・LYT: 老师, ① 期末考试考完了他们为什么还在学校? 我们期末考试考完都不在学校
 L: ああ…なるほどね, みなさん試験が終わったのになぜまだ学校に残ってるんですか, 私たちは試験が終わったらすぐ帰りますとか遊びに行きますと
 HM: 学祭の準備あるから
 L: 他们回答啊
 LSH・LYT: 嗯

YG: 现在作准备, 学校节的准备
 LSH: 学校の文化祭ですか?
 全員: 对! 对! 【笑い】
 LSH・LYT: ははは 【笑い】
 L: じゃあ、「たくさんの学生がまだ学校にいます」っていうの言ってみますか? たくさんの、多くの
 YG: 很多?
 HM: 学生
 LSH: クラブ活動もやっていますか
 KBA: うん 【KBA 大きくなずき】
 L: ②部活動もやってますか? うんうん
 KBA: 到! あ, 对! 我参加茶道部
 LYT: 茶道? いいですね, 私は1年生の時も茶道の活動に参加しました, でも茶道は下手です 【笑い】
 全員: あはは 【笑い】
 KBA: 私も下手です 【笑い】
 全員: あはは 【笑い】
 L: 真的吗? 【笑い】 じゃ, 「学校祭でやります」はどうですか? 学校祭の時, ですね
 KBA: 学校节?
 L: うん, 「の時」, 「的时候」
 KBA: ③学校节的时候
 L: うん, あります
 KBA: 有
 L: 茶道の活動
 KBA: 茶道的活动
 LSH: ああ、今準備していますか
 KBA: …对! 【笑い】
 全員: あはは 【笑い】
 LSH: がんばってください!
 全員: 谢谢! 【KBA カメラに向かって笑顔でガッツポーズ】
 KBA: 现在作准备! 【教師が紙に「今準備中」を中国語で書いて支援】
 L: そうそう, そうですね, じゃ, 試験が終わった後何をするか聞いてみますか? あったよね
 YG: ああ, はい, このまま言えればいいですか? ④考试结束后, 你们做什么?
 LSH: 期末テストもしています, 今とても大変です! 色々な科目があつてとても難しいです
 LYT: 来週と再来週は…
 LSH: 来週は口頭試験, たくさん
 全員: 加油! 加油!
 L: あとは「お疲れさま」も言えるかな「辛苦了」
 全員: 辛苦了!

続いて、フリートークの時間を設け、中国側から、「なぜ試験期間が終わったのにまだ学校に残っているのか」という質問が出された。学習者は、学校祭準備期間中であることを中国語で説明し、LYT と LSH はすぐに聞き取り理解した（下線①）。「クラブ活動もあるか」という質問が LSH から出され、KBA が自己紹介文を思い出しながら、部活動があり自分

が茶道部に所属していると答えた。LYT も中国の大学で茶道を体験したことがあり、自分ではうまくできないと感じているという共通点が発見された。KB はさらに、教師の支援を得ながら、学校祭でも茶道部の部活動紹介があり、現在準備中であることを中国語で説明し、中国側に「頑張ってください」と励ましを受けて「谢谢（ありがとう）」と応答した（下線③）。YG は、自己紹介文を応用して、「試験が終わったら何をするか」と中国語で質問した。中国側はこれから試験期間であり、来週が特に苦しい状況であると説明した。これに対し、学習者全員で「加油（がんばれ）」「辛苦了（お疲れ様）」と中国語で励ましの言葉を返した。

この後、ちょうど学校祭準備期間中で教室や廊下で作業している他の生徒たちの様子を見られることから、校内を撮影しながら巡回し、ライブ実況した。校舎の構造が原因で wi-fi の電波が悪く、映像が配信できない場所もあったが、キャンティーンで舞台の背景を描いている大道具担当や、各教室の踊りや劇の練習等を映像で中国側に見せながら説明することができた。2 年次に中国語を選択履修していた生徒たち数名が中国語で挨拶してくれ、名前を言う、「我最近很忙!」と近況報告する等の交流が行われ、しばしば笑いが生まれた。中国語履修者以外の生徒たちも、「中国とつながってんの？すごーい!」「緊張するね!」等と感心しながら笑顔で手を振り、「你好!」とあいさつした。

第 4 回の遠隔交流で学習者が実際に使用した中国語の語句と会話表現を表 5-4 に示す。

表 5-4 第 4 回遠隔交流で学習者が活用した語句と会話表現の一覧

話題分野	言語運用能力レベル	活用した中国語	日本語訳
自分と身近な人々	1-a. 名前（姓名）や属性（高校生、学年、年齢、誕生日など）を言ったり尋ねたりできる	我叫+姓名。	私は（フルネーム）と申します。
		我的生日～月～号。	私の誕生日は～月～日です。
		我今年 18 岁。	私は今年 18 歳です。
	1-c. 簡単な自己紹介（姓名、学校、学年、年齢、誕生日、干支、住んでいる所、好きなこと、趣味など）を口頭でまたは書いてすることができる	我是国际情报高中三年级的学生。	私は国際情報高校 3 年生の学生です。
		我住在北海道的札幌市。	私は北海道札幌市に住んでいます。
学校生活	2-e. 自分がクラスや学校・クラブ活動などで担っている役割（委員や係りなど）について、話すことができる	现在我是太极拳的运动员。	私は今、太極拳の選手です。
		我参加茶道部。	私は茶道部に入っています。
	3-c. 自分の経験について、語り合ったり、書いて伝えたりできる	三年前我参加澳门的国际比赛了。	3 年前にマカオの国際大会に出場しました。

	る		
	3-d. 自分の学校の行事(行事名、時期、内容など)について、口頭でまたは文章にして紹介することができる	我参加茶道部。 学校节的时候有茶道的活动。 七月有学校节。 全班都制作 T 恤衫。 我们班的 T 恤衫是黑的。 明天就来, 太期待了。 现在作准备, 学校节的准备。	私は茶道部に入っています。 学校祭の時に茶道部のイベントがあります。 7 月に学校祭があります。 全クラスで T シャツを作ります。 私たちのクラスの T シャツは黒です。 明日もうすぐ届きます、とても楽しみです。 今、準備中です、学校祭の準備です。
日常生活	1-a. 1 日の基本的なあいさつができる	你好。	(単数の相手に対して) こんにちは。
食	1-f. 料理の味や状態についての簡単な感想(おいしい、甘い、辛い、薄い、熱いなど)を述べたり、受けを答えたりできる	很不好看, 可是味道很好。	見た目は悪いけど、味はおいしいです。
		都很好吃。	どれもおいしいです。
	1-k. 自分の好きな食べ物、嫌いな食べ物、食べられないものなど、料理名や食品名を、口頭で伝えることができる	我喜欢吃～	私は～(を食べるの)が好きです。
		奶油味道的	クリーム味の
		抹茶和巧克力味道的	抹茶とチョコレート味の
		水饺	水餃子
	2-c. 料理を勧めること(たくさん食べてください、熱いうちに食べてくださいなど)、勧められたときの対応(もう食べられません、～は苦手ですなど)ができる	我想吃。	食べたいです。
		有机会(的话)尝尝吧。	機会があったら食べてみてください。
	2-f. 料理の種類(洋食、和食、韓国料理、中華料理など)の好みについて、会話できる	大家喜欢什么味道?	みなさんはどんな味が好きですか?
		喜欢辣的。	辛いのが好きです。
		在中国, 汤面有什么种类?	中国では、ラーメンはどんな種類がありますか?
		现在你想吃什么?	今、何が食べたいですか?
	3-c. 日本の代表的な料理や自分の住んでいる地域の料理(料理名、味付け、作り方など)について、口頭または文章で紹介できる	下面介绍一下汤面。	続けてラーメン(スープ面)を紹介します。
		最近汤面受高中生的欢迎。	最近、ラーメンが高校生に人気です。
		在日本, 味道浓厚的酱油和黄酱(味噌)汤面, 很有人气。	日本では、味の濃い醤油ラーメンや味噌ラーメンが人気です。
		加拉ナ(是)有人气的饮料。	ガラナは人気のある飲み物です。
		这是可乐似的饮料。	これはコーラに似た飲み物です。

		汤咖喱最近很流行，米饭蘸上汤咖喱吃。	スープカレーは最近はやっています。ライスをスープカレーに少しつけて食べます。
		这是甜甜圈。	これはドーナツです。
		这是大家都喜欢（的）。	これはみんな大好き（なもの）です。
		甜甜圈店的名字叫甜甜圈先生。	ドーナツ店の名前は「ミスタードーナツ」です。
	趣味と遊び	1-c. どんなこと（スポーツ、映画、読書など）をするのが好きか、口頭で紹介しあうことができる	私の趣味は～です。
		2-f. 好きなものや趣味が何か、口頭でまたは書いてやりとりできる	音楽を聴く
			みなさんはツイッターを使っていますか？
	1-d. 好きな有名人の名前や職業を、口頭でまたは書いて紹介しあうことができる	我喜欢的演员是～。	私が好きな俳優は～です。
		成龙	ジャッキー・チェン
		李连杰	ジェット・リー
		大家知道他吗？他叫小杉。	みなさん知っていますか？彼は「杉ちゃん」と言います。
		他是搞笑艺人。	彼はお笑い芸人です。
		现在在日本，他很有人气。	今、日本で彼はとても人気があります。
		他穿背心。	彼はベストを着ています。
		受高中女生的欢迎。	女子高生に人気があります。
	1-e. 好きなテレビドラマや映画・本・音楽などのタイトルを、リストアップできる	我喜欢“美丽的神话”，你们知道吗？	私は「美しき神話」が好きです、知っていますか？
	3-c. 趣味や習い事（頻度、期間、はじめたきっかけ、続けた理由、自分にとっての意味など）について、口頭で説明できる	我去过北京什刹海的学校练习过太极拳。	私は北京のシーチャーハイの学校へ太極拳の練習に行ったことがあります。
	3-d. 自分の周りではやっていることやものについて、写真や実物を使いながら、口頭でまたは書いて紹介できる	“推特”等社交网也受高中生的欢迎。	「ツイッター」等の SNS も高校生に人気です。 ※写真や実物を使わず即時に発話できる
		在学校，经常成大家的话题。	学校でよくみんなの話題になります。
		推特最受日本人的欢迎。	ツイッターは日本人に一番人気があります。
		还有 mixi, Skype 和脸书也很有人气。	それから、ミクシィ、スカイプ、フェイスブックも人気があります。

買い物	1-d. 店員に値段を尋ねて数字を示してもらうなどして、価格を把握できる	这个多少钱？	これはいくらですか？
	1-b. 基本的な接客表現を、聞いて理解できる 3-b. 値段の交渉（減額してもらう、おまけをもらう、希望価格を言う、値引き限度額を尋ねるなど）をすることができる	一百日元一瓶。	1 本 100 円です。 ※値段を聞かれた時に商品の価格を言うことができる
人とのつきあい	1-a. 人とのつきあいでよく使う基本的なあいさつ表現（初対面、感謝、励まし、謝罪、断りなど）を言ったり、聞いて理解したりできる	初次见面。	初めまして。
		谢谢。	ありがとう。
		请多关照。	よろしくお願いします。
		太好了。	いいね。よかったね。よかった。
	1-g. 相手のこと（性格、特技など）を、口頭でまたは書いてほめることができる	好, 很好	よい、うまい、とても上手だ、いいよ（同意や承認）
	2-g. 人とのつきあいを円滑にできるような表現（ねぎらい、励まし、期待など）を、言ったり、聞いて理解したりできる	加油。	がんばれ。
辛苦了。		お疲れさま。	
ことば	2-b. 外国語の学習状況（何語を、どこで、どのくらい学んでいるか）について、口頭でまたは書いてやりとりできる	我学习了约一年半汉语。	私は約 1 年半中国語を学んでいます。
その他の汎用的な会話表現	数の多さを表す	很多	たくさんの、多くの
	肯定	对	正しい、合っている、そうです、その通り
	複数の内容を連続して紹介する際のつなぎの表現	下面介绍一下	次に～を紹介します
	情報を追加する際のつなぎの表現	还有	それから～もあります

5.1.3 第 5 回「学校祭」

第 5 回の遠隔交流は、写真や動画を見せながら学校祭全体の様子を紹介すること、学習者が各自で担当する劇やパフォーマンスなどの活動と役割を紹介すること、関連する内容について中国側からの質問に中国語で答えることを目標とした。遠隔交流の準備用に学習者が作成した紹介文（日中対訳）を以下に例示する。

KBY：我们七月五号到七号举办了学校节。我们班的同学的戏剧是《大江户灰姑娘》。很精彩。我们获得了冠军。我参加了茶道部。我们开了茶道会。我很开心。 私たちは7月5日から7日まで学校祭を開催しました。私たちのクラスメートの劇は「大江戸シンデレラ」です。とてもすばらしかったです。私たちは優勝しました。私は茶道部に入っています。私たちはお茶会を開きました。とても楽しかったです。
KB：我来介绍一下学校节。我演戏了。题目是《爱丽丝梦游仙境》。我们的班获得亚军。太高兴了！第二天，我跳舞了。非常兴奋。 学校祭をご紹介します。私は劇をやりました。タイトルは「アリス・イン・ワンダーランド」です。私たちのクラスは準優勝でした。うれしかったです！2日目に私はダンスをしました。とても盛り上がりました。
KBA：我来介绍一下学校节。我们班制作了立体广告板。我给你看照片。我们获得了冠军，太高兴了！我们参加合唱比赛，非常兴奋。我太开心了！学校节留下了美好的回忆。 学校祭をご紹介します。私たちのクラスはCTパレット（クラスの劇・模擬店などテーマごとのプロモーション用掲示ボードをキャンティーンに掲示してコンテストを行う）を制作しました。写真を見せてあげます。私たちは優勝しました。とても嬉しかったです！私たちは「うたぽん（3 学年混成チームの合唱コンテスト）」に参加しました。とても盛り上がりました。とても楽しかったです！学校祭はとても良い思い出になりました。

図 5-5 「第 5 回 学校祭」紹介文の一覧

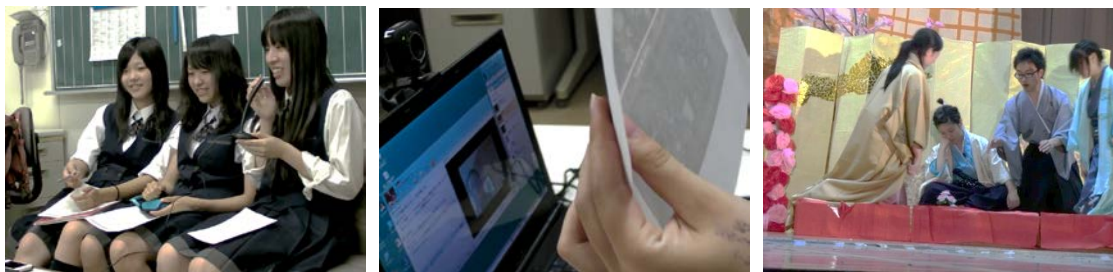
5.1.3.1 第 5 回遠隔交流

第 5 回の遠隔交流は 7 月 19 日に実施した。学習者 4 名（KBA、KB、KBY、YZ）と中国側 2 名（ZHD、LYT）が参加した。時間帯を分けて 2 つのセッションを設定し、前半は 1 名（ZHD）、後半は 1 名（LYT）と接続した。中国側が夏休みに入り、ZHD は日本旅行中で国内のホテルからし、LYT は帰省して自宅から接続した。ZHD はビデオチャットでスムーズに接続できたが、LYT は自宅のインターネット回線が遅かったため、映像は伝送できず、音声チャットとテキストチャットを用いて交流した。中国側に写真を見せながら学校祭の様子を紹介するために、学習者が撮影した写真を事前に選択し、教師 PC に保存した。

【セッション 1】

16:30～17:15 に ZHD との遠隔交流を実施した。補習のため学習者 3 名（KBA、KB、KBY）と中国側 1 名（ZHD）で交流を開始し、YZ は途中合流した。日本側が中国語で学校祭について紹介し、随時、デジタルカメラやスマートフォンの写真を Web カメラに向かっ

て映して見せた。また、事前に用意した写真データを QQ 経由で送信して見せた。交流の様子を以下の交流記録スクリプトに示す。



スクリプト 5-5-1 KBY の学校祭紹介

KBY : ①我们, 来介, 介绍一下, 学校节
我们, 我们, 从, 七月, 七月, 五号到, 七月, 七号, 举办了, 学校节
ZHD : ②哦, 举办了学校节
KBY : 我们, 「班 (はん)」 ってなんでしたっけ?
L : 班, 班 (bān)
KBY : 我们班的, 同学的, 同学的
L : 戏, 戏剧 【ピンインを読めずに詰まってしまったので教師が発音支援】
KBY : 戏剧, 《大, 大江户, 灰, 灰姑娘》, 很, 很精彩
L : 精彩, 精彩 【ピンインを読めずに詰まってしまったので教師が発音支援】
KBY : 精彩, 我们, 获, 获得了, 冠, 冠军
ZHD : ②おめでとう
L : おめでとうと言ってるよ 【笑い】
KBY : ③谢谢!
我, 参, 参加了, 茶道部, 我们开了, 茶道会, 我, 我很开心, 开心
ZHD : ②ああ, おめでとう
L : 那, 给他看一下照片, ここ? ここかね
KBA : 見えない
L : そう, そうね, 難しいね調整が
KBA : ここ自分自身が写ってる
ZHD : ②茶道部ですか
KBY : おお
L : 对
KBY : 对, 对对对对
L : 茶道部
KB : 对对
ZHD : 千, 千利休を知っています
L : 千利休を知っている! 千利休

KBY は準備した原稿を読みながら、学校祭の開催時期、劇のタイトル、優勝したこと、茶道部でお茶会をしたこと等を紹介した。スムーズに発話することが難しく、一語ずつ区切

りながらの発音であった。また、ピンインの読みを忘れてしまい、教師の支援を得て音読する場面もあった（下線①）。しかし、ZHD は中国語を聞き取り理解し、「举办了学校节（学校祭をやったんですか）」「おめでとう」「茶道部ですか」といった感想や内容確認を中国語と日本語で返した（下線②）。KBY も「おめでとう」という称賛に対して「谢谢」と中国語で応答した（下線③）。また、ZHD が中国の大学の授業で学習した千利休について知っている話し、学習者から驚きの声が上がった。

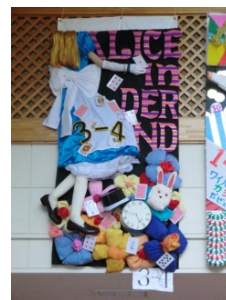
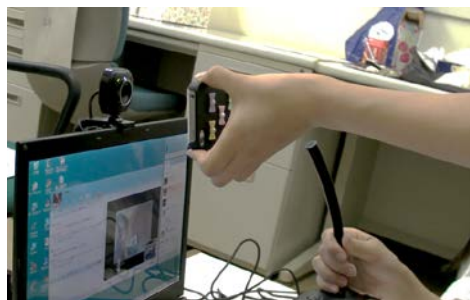


スクリプト 5-5-2 KB の学校祭紹介

KB: ①我来, 我, 我来介绍, 介绍一下, 学校节, 我, 我演戏了
题, 题目是, 《爱丽丝梦游仙境》【スマートフォンの写真を Web カメラに写して見せる】
L: お, うまいうまい, 写ってますね
ZHD: 哦, 哦, 素晴らしい
全員: あはは【笑い】
KB: 谢谢
L: いいね
KB: ②我们, 我们的班, 获得亚, 军, 获得亚军
L: 亚军 (yà jūn), 亚军 (yà jūn)【KB の声調が誤っているため教師が発音を訂正】
KB: 亚军 (yà jūn), 太高兴了!
ZHD: おめでとうございます
KB: ③第二天, 我, 我, 跳舞了
ZHD: 跳舞
KB: 跳舞了, そうです, 非, 非常兴, 兴奋…写真
L: 有照片吗? 给你看看照片
ZHD: 哦
KBA: めっちゃあるね
KB: そう, めっちゃ写真撮ってる
【KB がデジタルカメラの液晶を Web カメラに映して写真を見せる】
ZHD: 谢谢, 谢谢

KB は学校祭で自分たちのクラスが演じた劇のタイトルを中国語で紹介した。KB の説明を聞き、ZHD は即時に聞き取り理解して、日本語で「素晴らしい」と反応し、KB は「谢谢（ありがとう）」と応答した（下線①）。また、劇の審査結果が準優勝であり嬉しかったと説明し、ZHD から日本語で称賛の言葉を受けた（下線②）。さらに、学校祭の 2 日目にダ

ンスパフォーマンスを行ったことを説明し、デジカメで撮影した写真を Web カメラに映して ZHD に見せたことで、学校祭の具体的な雰囲気が中国側にも伝わった。



スクリプト 5-5-3 KBA の学校祭紹介 (1)

KBA：はい、你好

ZHD：你好

KBA：①我来介绍一下学校节

ZHD：OK

KBA：我们，我们班制作了，立体广告板，我们获得了冠军，太高兴了【笑い】

ZHD：哦哦，一位？

L：有照片吗？

KB：③有照片吗？

KBA：对对【デジタルカメラの液晶を Web カメラに映して写真を見せる】

KB：えーと、どっちだ、こっちか

L：逆だ、逆だ、そっちだ

ZHD：③ああー、すごい

KB：見えてるかな

L：見えてる、すごいですね

KBA：谢谢！

KB：写真係

L：はは、写真係、そうだね

KBA：④我们参加合唱比赛，合唱比赛，非常兴奋

ZHD：兴奋，非常兴奋

KBA：我太开心啦，学校节留下了美好的回忆

ZHD：おお！素晴らしい

KBA：谢谢！

L：さっきあったよね、これに歌ってるやつ、歌の、练习情景、有动画、有录像、给你看看

ZHD：好

L：できる、マイクこれだから、これに

【KB がスマートフォンの画面を Web カメラに映して見せる】

KB：横にした方がいいですね

L：あ、そうね、そうそう、すごい真剣に見てる、认真地、仔细地看

【スマートフォンから合唱が聞こえるのを全員でしばらく聞く】

KBA：めちゃ恥ずかしい

KB：ざわざわしてる【笑い】谢谢

L：拍手している、いいですね【画面の向こうで ZHD が拍手している様子】
 KBA：谢谢
 L：じゃ、どうですか聞いてみましょう
 KB：⑤怎么样？
 ZHD：很好，很好
 L：很好，很好
 全員：あははは【笑い】谢谢！
 L：很好，太好了
 ZHD：我很高兴
 L：很高兴
 ZHD：みんな上手ですね
 KB：あ、ありがとうございます

KBA は、CT パレットというクラスの劇や模擬店等テーマごとのプロモーション用立体掲示ボードを制作したことと、審査の結果が最優秀賞であったことの喜びを中国語で紹介した。ZHD は即時に聞き取り理解して、「哦哦，一位（おお、一位ですか）」と中国語で反応した（下線①）。教師が写真の有無を中国語で確認すると、KB が同様に中国語で KB に確認し、KB は「对对（そうそう）」と答え、学習者どうしが中国語で対話する場面もあった（下線②）。ZHD は写真を見て、日本語で「すごい」と感心し、KBA は「谢谢（ありがとう）」と答えた（下線③）。また、KBA は「うたぼん（3 学年混成チームの合唱コンテスト）」で気分が盛り上がったこと、学校祭は楽しく良い思い出になったことを中国語で説明した。ZHD は即時に聞き取り理解して、中国語で複雑な表現をした KBA に対して、日本語で「おお！素晴らしい」と称賛を表し、KBA は中国語で感謝を示した（下線④）。その後、うたぼんの練習風景の動画を ZHD に見せ、感想を中国語で尋ねた。ZHD は中国語と日本語で「很好，很好（いいね、いいね）」「我很高兴（うれしいです）」「みんな上手ですね」と応答し、学習者も中国語で「谢谢」と返した（下線⑤）。



スクリプト 5-5-4 KBA の学校祭紹介（2）

KBA：我给你，看？

【既習語句を思い出ししながら教師を見て確認しつつ中国語の文を考えて発話】

L: うん, 「写真」

KBA: 照片, 照片

L: じゃ, どれか, 「これはまるまるです」でね, ちょっといくつか紹介しましょう

とりあえず, KBA がやっているから, KBA の写真を送ろうか

【QQ で写真データを ZHD に送信して見てもらう】

【全員、笑顔で画面をのぞき込み、写真を見た相手の反応に期待している様子】

KBA: これが私ですって

L: そうだね

KBA: よりによってこの写真なんて

【中略】

L: 收到了吗?

ZHD: 見ました

L: 見ました? じゃ, 「どうですか」って聞いてみて

KBY: ②怎么样?

ZHD: 哦, 很漂亮

L: このやつを見てる

全員: あはは【笑い】

ZHD: かわいかった

L: 太漂亮了【笑い】

KBA: 谢谢! 私です! 【笑い】我

ZHD: ③初めての女の子, 誰ですか?

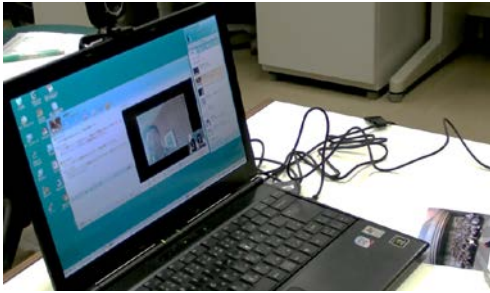
L: 初めの女の子誰ですか? 【1 枚目の写真に写っている人物を教師が学習者に確認】

KBA: 私です【KB は KBA を指し示す, KBA 挙手】

ZHD: 啊, 很漂亮

続けて、ZHD に写真データを数枚送信し、日本の学校祭の風景についての感想を尋ねた。

KB は既習語句を思い出ししながら、中国語で「我给你看照片（写真を見せてあげます）」と発話した（下線①）。KBA は自分の写っている写真の感想を言われることが照れくさい様子であったが、KBY が「怎么样?（どうですか）」と質問すると、ZHD から日本語と中国語で「哦，很漂亮（おお、きれい）」「かわいかった」等ポジティブに評価され、KBA が「谢谢！私です，我」と応答して、和やかな笑いが起こった（下線②）。数枚送信したうちの 1 枚目の写真が特にかわいらしく映っており、ZHD が写真の人物は誰か日本語で質問し、KBA が自分であると答え、ZHD は「啊，很漂亮（そうか、きれいだね）」と称賛を表した（下線③）。



スクリプト 5-5-5 ZHD からの質問

ZHD : ①大家, 下午几点钟放学?

L : 什么? 请再说一遍, 听的不太清楚, 大家? 请再说一遍

ZHD : 大家, 下午, 几点钟, 会放学

L : ああ, えーと, 大家, 下午, 几点, 放学? 几点, 放学? 放課後は何時から?

【「放学」は新出語句であるため教師が区切って発音し、日本語訳して理解支援】

全員 : (授業の終わった時間を互いに確認) 3時, 三, 三点, 三点

L : 三点

全員 : 十分, 十分

KBA : 三点十分

L : 下课

ZHD : 三点十分, 啊

L : 今日は補習あったんですよね

KB : あ, うん

L : じゃ, ②補習は, 补习班

KB : 补习

L : 补习班

皆 : 今天, 有

L : 有了

皆 : 有了, 补习

L : 班

皆 : 补习班

L : 对

ZHD : あ, 塾?

L : 下课, 有的同学, 有的同学, 留在学校, 参加补习班, 所以她们, 四点半才下课

ZHD : ほほおー

L : 後は, さっきの

ZHD : ③每天学习

L : 每天, 学习, 每天, 学习, 你们每天学习吗

KBA : 每天

L : 每天

KBA : 学习

L : 学习, 对对, してますね

KBA : 对, 对

ZHD : 但是, 成绩不好

L : 成绩不好

あ, 自分たちのことか, 毎日勉強しているけどなかなか成果が出ないということか

全員 : あはは【笑い】同じ

L: あはは【笑い】「同じです」と言って、「一样」「一样」
KB: 一样
ZHD: 啊, 一样啊
L: みんな一緒です
全員: あはは【笑い】

ZHD は、学習者ら高校生は何時に授業が終わるのか中国語で質問した。新出語句を含む文であるため、教師が一語ずつ区切ってゆっくり発音し、日本語に訳して理解を支援した。学習者らは授業終了時間を相談し、日本語と中国語で 3 時 10 分であると応答した。ZHD は即時に聞き取り理解して、「三点十分, 啊 (3 時 10 分、ですね)」と応答した (下線①)。また、放課後の補習を受講している生徒もいることから、教師の支援を受けながら学習者全員で新出単語を活用して「今天有了补习班 (今日は補習がありました)」と説明した (下線②)。これに対して、ZHD が「塾」かと質問したので、教師が高校の補習であることを中国語で解説し、理解を支援した。続けて、ZHD が中国語で「每天学习, 但是成绩不好 (毎日勉強しているが成績が悪い)」と話し、学習者らは「一样 (同じです)」と応答し、自分たちも同じ状況であるという同意・共感を表した。ZHD も「啊, 一样啊 (ああ、同じかあ)」と納得したように応答し、笑いが起こった (下線③)。

【セッション 2】

17:15~18:15 に LYT との遠隔交流を実施した。補習を終えた YZ が加わり、学習者 4 名 (KBA、KB、KBY、YZ) と中国側 1 名 (LYT) で交流を開始した。日本側が中国語で学校祭について紹介し、随時、デジタルカメラやスマートフォンの写真を Web カメラに向かって映して見せた。また、事前に用意した写真データを QQ 経由で送信して見せた。交流の様子を以下の交流記録スクリプトに示す。

スクリプト 5-5-6 KBA の学校祭紹介

KBA: ①我来介绍一下, 学校节
L: 好的
KBA: 我们班制作了, 立体广告板, 我们, 获得, 获得了, 冠军, 太高兴了
L: 写真ちょっと送ってみましょう
KBA: 我给你, 看, 照片
LYT: 好的【QQ で写真データを LYT に送信】
L: もう受け取ってる, 受信されました
KBA: 怎么样?

全員：ふふふ【笑い】
 LYT：好漂亮！
 L：漂亮
 KBA：谢谢ー！
 LYT：三维立体
 KBA：对对
 L：3D だったね，对对，三维立体，立体广告板，很巧啊，他们都很巧，続けて
 KBA：いいですか
 L：うん，いいよ
 KBA：②我们参加，合唱比赛，合唱，合唱比赛非常兴奋，兴奋，我太开心了
 L：その他にあるかな，有照片吗？
 LYT：你有参加吗？
 L：你参加了吗？
 KBA：对【笑い】参加了
 L：有照片吗？これは違うかな，これは合唱部？
 KB：それは合唱部ですね
 L：これ？これバンド？バンドか…じゃあ，ちょっと写真はないね
 KB：こっちにもないかな【スマートフォンで撮影した写真がないか探す】
 L：うん，合唱は写真がありません
 KBA：③我，没有，我没有，合唱比赛的，照片
 LYT：哦哦…
 KBA：对不起…
 全員：ふふふ【笑い】
 LYT：没事儿【笑い】

KBA がセッション 1 と同様に、CT パレットを制作したことと、審査の結果が最優秀賞であつたことの喜びを中国語で紹介した。同時に、「我给你看照片（写真を見せてあげます）」と中国語で説明し、写真データを送信して LYT に見せた。KBA が「怎么样（どうですか）」と質問すると、LYT は中国語で「好漂亮（すごくきれい）」「三维立体（3D だ）」と感想を述べた。KBA は、「谢谢（ありがとう）」「对对（そうそう）」と中国語で応答した（下線①）。続けて、KBA はセッション 1 と同様に、「うたぼん」で気分が盛り上がったことを中国語で説明した。LYT に中国語で参加したかどうか質問され、KBA は「对，参加了（はい、参加しました）」と答えた（下線②）。学校祭当日のうたぼんの写真を見せようと探したが見当たらず、KBA は中国語で「我没有合唱的照片，对不起（合唱の写真がありません、ごめんね）」と説明し、LYT は残念そうな反応を見せながらも、「没事儿（気にしないで）」と応答した（下線③）。



スクリプト 5-5-7 YZ の学校祭紹介

L: セクシーYZ が一番最初にダウンロードされた【笑い】

全員: あはは【手を叩き爆笑】

L: じゃ、「右が私です」

YZ: 右边就是我

L: なぜ裸なのか【笑い】

YZ: 言わない, そこは, あえて聞かない

全員: あはは【笑い】

【LYT 写真を受信中】

LYT: 好多人啊

L: あ, 集合写真を見てる, 好多人, 好多人

全員: あはは【笑い】

じゃ, これはクラス全員ですよね, じゃ, 「3 クラス全員です」 って言ってみましょう

LYT: 这是一个班的同学还是两个班的同学呢

L: 1 クラスのものか, 2 クラスのものか

YZ: えー…一个

L: 一个班

YZ: 一个班的同学

LYT: 哦, 一个班的同学

L: ここ 2 人が優勝したクラスだもんね

YZ: うん, そうです, そうです

L: じゃ, 「私たちは優勝しました」と, 声を合わせてどうぞ, 一, 二, 三

KBY・YZ: ②我们, 获得了, 冠军

L: 对

LYT: 哦?

全員: お? あはは【笑い】

L: ちょっと, うまく伝わらなかった, もう一度, 你再说一遍

全員: 我们, 获得了, 冠军

LYT: 哦哦, 你们获得了冠军

KBY: 对对

全員: あはは【笑い】

KB: 裸見たかな

KBA: ③怎么样, 身体怎么样【笑い】

L: あ, いいね, 聞いてみて, じゃ, 本人が聞くのは, あれだから【笑い】

他の, 隣のクラスの人たち

KBA・KB: YZ の写真? YZ, YZ 怎么样

L：YZ の体はどうですか
 全員：あはは【手を叩き爆笑】
 L：身体怎么样
 LYT：身体
 KB：身体
 L：うん
 KB：身体、怎么样？【笑い】
 全員：あはは【笑い】
 L：聞かれてもね【笑い】
 LYT：④是谁呀
 L：「谁呀」，「谁呀」と言いました，「誰ですか」
 KB：YZ, YZ, 裸の写真じゃない
 YZ：違う，ない
 全員：あはは【笑い】
 L：あのう，「脱衣服的」
 KB：脱衣服的
 L：うん
 YZ：なるほど【笑い】
 KB：服を脱いでいる？
 全員：あはは【笑い】
 KB：脱衣服的，是，YZ
 LYT：啊，哦，哈哈【上半身裸の写真が交流中の YZ であることに気づいて LYT 吹き出す】
 全員：あはは【手を叩き爆笑】
 LYT：他没有穿衣服，哈哈【爆笑】
 L：着ていないって気付かなかった【笑い】
 全員：あはは【手を叩き爆笑】
 L：たぶん，こっちの写真を言ってたと思ってるかも
 KB・KBA：YZ, 身体，怎么样
 L：食い下がるね【笑い】
 LYT：还是觉得旁边的女生比较漂亮
 L：あはは【笑い】隣の女の子の方が可愛くていいと思うって【笑い】
 全員：あはは【手を叩き爆笑】
 KBA・KB：対対！対対！

LYT に写真データを送信した中に、YZ が着替え中の上半身裸の写真が含まれていた。学習者らは中国武術で鍛えている YZ の紹介ができて面白いということで、その写真を使って紹介した。YZ は「右边就是我（右が僕です）」と説明したが、LYT は他の集合写真を見ており、YZ が裸であることに最初は気付かなかった。LYT はクラスの集合写真を見て、人数が多いと驚き、写っている生徒たちは 1 クラス分か 2 クラス分か中国語で質問した。YZ は「一个班的同学（1 つのクラスのクラスメート）」と答え、LYT は人数が多いことに驚いた反応を見せた（下線①）。KBY と YZ は同じクラスで、劇が最優秀賞を獲得したため、2 人で声を合わせて「我们获得了冠军：私たちは優勝しました」と説明した。しかし、一度では伝

わらなかったため言い直し、LYT は「哦哦，你们获得了冠军（ああ、あなた達は優勝したんですね）」と応答して、KBY と YZ の中国語を聞き取り理解した（下線②）。YZ の班らの写真に対する反応が気になる学習者らは、LYT の注意を喚起しようとして、KB と KBA が「YZ 怎么样（YZ はどうですか）」「身体怎么样（体はどうですか）」と質問し、爆笑が起きた。LYT は誰のことを聞かれているのかわからず、「是谁呀（誰のこと）」と質問したため、教師が未習語句を支援し、KB が「脱衣服的（是 YZ）（服を脱いでいる（のが YZ です））」と説明した（下線④）。そこで LYT はようやく、YZ の写真は上半身が裸であることに気づき、吹き出して「啊，哦，哈哈，他没有穿衣服，哈哈（あ、あれ、ははは、彼は服を着ていない、ははは）」と応答し、全員で爆笑した。学習者らは、「真棒！」「厉害！」等の称賛を期待しており、再度「YZ 身体怎么样」と質問した。LYT は、隣に写っている女子学生の方が可愛くていいと応答し、再び全員の間に爆笑が巻き起こった。



スクリプト 5-5-8 KB・YZ・KBY の留学生紹介

KB：①还有
 L：うん，还有
 L：留学生
 KB：留，留学，生
 L：对
 KB：留学生
 LYT：留学生？哦，看到了
 L：うん，見えました見えました
 KB：很酷！很酷！
 L：他很酷
 KB：他很酷
 L：うん
 LYT：很酷，啊啊，哈哈【笑い】
 全員：あはは【笑い】
 KB：鼻で笑った！【笑い】
 L：彼はモデルですかね，じゃ，「彼はモデルです」って，「模特」
 YZ：他是，模特
 L：うん，留学生

LYT: 模特, 哦
 YZ: 留学生
 LYT: ②他身高很高吗?
 L: 背が高いですか?
 KBY: 啊, 对, 他是
 L: 他很高
 KBY: 很高【LYT に送信する写真を学習者同士で相談中】
 L: さっき打ち上げの中にあったよね, あ, これ STF か
 KBY: たぶんお茶会に来たと思う
 L: あ, 茶会にね, それはいいかも, じゃ, お茶会の, 説明できるじゃない, それにしましょう
 【LYT に送信する写真を学習者同士で相談中】
 L: じゃ, 留学生の写真を見せます, と言って
 KBY: ③我给你
 KB: 看
 KBY: 我给你看
 L: うん
 KBY: 留
 L: 留学生
 KBY: 留学生, 的, 照, 照
 KBA: 照片
 KBY: 照片
 L: 照片
 LYT: 照片
 KBY: 照片
 LYT: 看清楚了, 他没有穿衣服
 L: 全身で, あの, はっきりと裸であることが分かったって
 全員: あはは【手を叩き爆笑】

また、当該の年度は海外からの短期留学生（STF）がおり、学校祭にも参加していたことから、写真を見せて紹介した。北欧出身でモデルをしているという留学生は、背が高くハンサムであるため、学習者らも特に紹介したいと考えたようであった。KB は、「还有留学生（他に留学生もいます）」「很酷（とてもカッコいい）」と説明し、YZ は「他是模特儿（彼はモデルです）」と説明した。LYT は写真を見ながら即時に聞き取り理解した。KYT は、留学生は背が高いかどうか質問し、KBY は「对, 他很高（はい、彼は背が高いです）」と答えた（下線②）。また、新たに写真データを送信して LYT に見せ、KBY が「我给你看留学生的照片（留学生の写真をを見せてあげます）」と説明した。この時、KBY は「写真」という単語を忘れて発話できなかったが、KB と KBA が「照片」と支援して協調学習が成立する場面もあった。LYT は、留学生がトレーニングルームで上半身裸になっている写真を見て、「裸だということがはっきり見えた」と応答し、全員で爆笑が起きた（下線③）。



スクリプト 5-5-9 LYT の学校祭写真に関する質問

LYT：①这是在茶道俱乐部吗？我看到在喝茶

L：嗯，茶道，茶道部吗？是茶道部的照片吗？茶道部

KBY：茶道部

L：的照片吗？

KBY：茶道部的，照，照片吗

全員：あはは【笑い】

L：あれ，自問自答になってる【笑い】茶道部的照片，吗？と聞かれましたよ

KBY：对

L：茶道部的，对，对，对，そうですね，对

LYT：我们学校的留学生，就是，没有参加俱乐部的，他们是自己组在一起的

L：お，えーと，彼，彼女たちの学校では留学生は部活とかサークルをやっていないので，自分たちでやっている人がいます

中国人学生と一緒にサークルはやらないということだね，参加する機会はない

L：「お茶会出たことがありますか」ってちょっと聞いてみますか，「参加したことがありますか」

KBY：你

L：じゃ，KBA，「参加したことがありますか」は「你参加过」，「过」を使って

KBA：②你，你参加过，茶

L：茶道の会

KBA：茶道会

L：吗

KBA：吗

LYT：啊，我参加过，我参加了一个学期

L：嗯，参加过，参加了一个学期

KBA：おお！

L：そうですか，是吗

KBA：是吗

LYT：很辛苦

L：很辛苦，很辛苦，大変だったといってます，很辛苦，她辛苦

「お疲れ様でした」と言ってあげて

KBA：辛苦了！

様々な学校祭の風景を紹介する写真を見ながら、LYT が茶道部の写真について、「这是在茶

道倶楽部吗？我看到在喝茶（これは茶道部ですか？お茶を飲んでいる写真が見えました）」と質問した。KBY は、教師が理解支援のために一語ずつ区切って発音し直した文をそのまま繰り返し、自問自答する形となって笑いが起きた。しかし、すぐに間違いに気づいて「対（そうです）」と答えた。LYT が自分たちの大学では正式なクラブ活動がないため、有志によるサークル活動があると説明し、教師が日本語に訳して理解を支援した。続けて、教師の支援を得ながら過去の経験を表す文法を活用し、KBA がお茶会に参加したことがあるかどうかを中国語で質問した。これに対して LYT は、一学期茶道の授業に参加したことがあると説明し、学習者らは感心と驚きを表した。とても大変だったという LYT に対して、学習者らは「辛苦了（お疲れ様でした）」と慰労の気持ちを伝えた（下線②）。

第 5 回の遠隔交流で学習者が実際に使用した中国語の語句と会話表現を表 5-5 に示す。

表 5-5 第 5 回遠隔交流で学習者が活用した語句と会話表現の一覧

話題分野	言語運用能力レベル	活用した中国語	日本語訳
自分と身近な人々	1-a. 名前（姓名）や属性（高校生、学年、年齢、誕生日など）を言ったり尋ねたりできる	我叫+姓名。	私は（フルネーム）と申します。
	2-a. 家族の職業（会社員、学生など）やペット（名前、種類、飼いはじめた時期など）について、口頭または書いて紹介し合うことができる	他是模特儿。	彼はモデルです。 ※家族ではなくクラスメートに関する紹介だが、親しい間柄の相手に関する紹介と判断しここに分類
	2-b. 自分や身近な人々の外見（背が高い、紙が長いなど）について、口頭で描写し合うことができる	身体怎么样？	体はどうですか？ ※健康状態を問う挨拶ではなく、身体そのものを見てどう思うかを問う意図のためここに分類
		他很酷。	彼はとてもカッコいい（イケメンです）。
		她很高。	彼は背が高い。
		脱衣服的。	服を脱いでいる（人）。
学校生活	1-d. 学校のこと（制服、給食、宿題、体育館・図書館ほかの設備の有無など）について、口頭でやりとりできる 2-b. 学校の簡単な概要（共学、中高一貫、全校／クラスの生徒数。男女別人数、時間割など）を説明した、簡単な資料を作ることができる	还有留学生。	それから、留学生もいます。 ※資料を作るのではなく口頭で説明できる
	2-d. 学校のスケジュール（1 日、	（我们）三点十分放学／	私達は 3 時 10 分に学校／授業が

	週間、年間)について、口頭でまたは書いてやりとりできる	下课。	終わります。
		今天有了补习班。	今日は補習授業がありました。
	2-e. 自分がクラスや学校・クラブ活動などで担っている役割(委員や係りなど)について、話すことができる	我们每天学习。	私達は毎日勉強します。
		我参加茶道部。	私は茶道部に入っています。
	3-a. 学校生活で感じていること(楽しいことや大変なことなど)について、語り合ったり、書いて伝えあったりできる	大学非常自由, 很好。	大学は自由でいいですね。
	3-c. 自分の経験について、語り合ったり、書いて伝えたりできる	你参加过茶道会吗?	あなたは(茶道の)お茶会に参加したことがありますか?
	3-d. 自分の学校の行事(行事名、時期、内容など)について、口頭でまたは文章にして紹介することができる	我们介绍一下学校节。	私達は学校祭を紹介します。
		我们七月五号到七号举办了学校节。	私たちは7月5日から7日まで学校祭を開催しました。
		我们班的同学的戏剧是《大江户灰姑娘》。	私たちのクラスメートの劇は「大江戸シンデレラ」です。
		很精彩。	とてもすばらしかったです。
		我们获得了冠军。	私たちは優勝しました。
		我演戏了。	私は劇をやりました。
		题目是《爱丽丝梦游仙境》。	タイトルは「アリス・イン・ワンダーランド」です。
		我们的班获得亚军。	私たちのクラスは準優勝でした。
		太高兴了!	うれしかったです!
		第二天, 我跳舞了。	2日目に私はダンスをしました。
		非常兴奋。	とても盛り上がりました。
		我们班制作了立体广告板。	私たちのクラスはCTパレットを制作しました。
		我们获得了冠军, 太高兴了。	私達は優勝して、とても嬉しかったです。
		我们参加合唱比赛, 非常兴奋。	私たちは「うたぼん(合唱)」に参加して、とても盛り上がりました。
		我没有合唱的照片。	「うたぼん(合唱)」の写真はありません。
		我太开心了!	とても楽しかったです!
		学校节留下了美好的回忆。	学校祭はとても良い思い出になりました。
		我给你看照片。	写真を見せてあげます。
		我给你看留学生的照片。	留学生の写真をを見せてあげます。
		这是茶道部的照片。	これは茶道部の写真です。
		右边就是我。	(写真の)右側が私です。
		(这是)一个班的同学。	(これは)1クラス分のクラスメートです。
		我参加了。	私は参加しました。

日常生活	1-a. 1 日の基本的なあいさつができる	你好。	こんにちは。
人とのつきあい	1-a. 人とのつきあいでよく使う基本的なあいさつ表現（初対面、感謝、励まし、謝罪、断りなど）を言ったり、聞いて理解したりできる	喂	もしもし、ねえ、おや
		对不起。	ごめんなさい。
		没关系。	大丈夫、気にしないで。
		谢谢。	ありがとう。
		太好了。	いいね。よかったね。よかった。
		怎么样？	どうですか？
		一样，一样。	同じですね。
	1-g. 相手のこと（性格、特技など）を、口頭でまたは書いてほめることができる	好，很好	よい、うまい、とても上手だ、いいよ（同意や承認）
	2-g. 人とのつきあいを円滑にできるような表現（ねぎらい、励まし、期待など）を、言ったり、聞いて理解したりできる	辛苦了。	お疲れさま。
その他の汎用的な会話表現	数の多さを表す	很多	たくさんの、多くの
	肯定	对	正しい、合っている、そうです、その通り
	紹介の表現	我来介绍一下	～を紹介します
	情報を追加する際のつなぎの表現	还有	それから～もあります

5.1.4 第6回、第7回「夏休みの思い出」

第6回、第7回の遠隔交流は、夏休みの思い出について中国語で紹介すること、関連する内容について中国側からの質問に中国語で答えること、中国側の夏休みの紹介を聞き取れることを目標とした。遠隔交流の準備用に学習者は日本語と中国語の対訳を作成した。交流前の2回の授業で夏休みの思い出の作文を発表、添削して適切な語句や表現についてフィードバックし、各自がより正しい文に修正して発表した。授業時間中に発音練習をする時間が少なかったため、ピンインは各自で調べることにした。交流開始直前に1回ずつ音読、発音を確認した。学習者が各自で書いた作文と、添削後の返却資料を以下に例示する（全員の自己紹介文は付録9を参照）。

Sū shì
宿舎

zhù suǒ
住宿

dà xué duì wài kāi fàng huó dòng
大学对外公开活动

【夏休み課題】夏休みの思い出

夏休みをどう過ごしたかを紹介する作文を書きましょう。いつ、どこへ行った、何をした、何がどのように楽しかった等、中国語で表現できるようになりましょう！

■提出日：8月20日（月）、23日（木）の授業で発表。その後、修正してから完成版を使って、中国とのオンライン交流で使用。

■課題：夏休みの思い出について、日本語文と中国語訳を1つの文書に記載すること。

氏名： KB	姓名： KB
タイトル： 充実した夏休み	題目： 充实暑假
私は、24日から31日まで東京へ行きました。 3日間、日本ホテルズ・ワールドのオープンキャンパスに参加しました。そこでは、授業に参加したり、ホテルで仕事を体験したりしました。とても楽しかったです。 29日は誕生日だったので、横浜デパートをしました。 山下公園で大道芸人さんを見ました。すごかったです。 夜景もきれいでした。 30日は友達と東京ディズニーシーへ行きました。 夏休みだったので人が多くてにぎやかでした。 また、北海道に帰ってきたからは海へ行ったりしました！ とてもよい思い出になりました。	我从七月二十四号到三十一号去东京。 我参加了三天，日本宾馆学校对外公开活动。那儿我上课了，然后体验宾馆的工作。二十九号是我的生日。 所以我去约会了。我看了街头艺人。 太好了！夜景美丽！ 三十号，我和朋友一起去“迪斯尼乐园”了。 太热闹了！ 我回北海道以后，我去了海边。 太棒了！下了美好的回忆。

还有 (还有) měn rē 热闹

タイトル： 充実した夏休み 私は、24日から31日まで東京へ行きました。 3日間、日本ホテルズ・ワールドのオープンキャンパスに参加しました。そこでは、授業に参加したり、ホテルで仕事を体験したりしました。とても楽しかったです。 29日は誕生日だったので、横浜デパートをしました。 山下公園で大道芸人さんを見ました。すごかったです。 夜景もきれいでした。 30日は友達と東京ディズニーシーへ行きました。 夏休みだったので人が多くてにぎやかでした。 また、北海道に帰ってきたからは海へ行ったりしました！ とてもよい思い出になりました。 (上図の日本語文と同じもの) (紙面の都合上縮小)	充实 从…到… 宾馆，酒店 参加 校园开放活动 …天 体验 工作 横浜 约会 山下公园 街头艺人 厉害 夜景 美丽 东京迪斯尼海 因为…所以… 热闹 还有 回来 以后 留下 美好的回忆	chōng shí cóng … dào … bīn guǎn , jiǔ diàn cān jiā xiào yuán kāi fàng huó dòng … tiān tī yàn gōng zuò Héng bīn yuē huì Shān xià gōng yuán jiē dào yì rén lì hai yè jǐng měi lì Dōng jīng Dí sī ní hǎi yīn wèi … suǒ yǐ … rè nao hái yǒu huí lái yǐ hòu liú xià měi hǎo de huí yì

図 5-6 「第 6 回、第 7 回夏休みの思い出」 紹介文の例

(上：学習者の日中対訳作文，下：教師の添削フィードバック)

5.1.4.1 第6回遠隔交流

第6回の遠隔交流は9月20日に実施した。学習者3名（KB、HM、YG）と中国側2名（ZHD、PWH）が参加した。中国側が1グループのみであったために、1つのセッションを設定し、同じ相手と長時間交流した。男子寮は接続状況が比較的安定していたが、QQよりもSkypeの方が遅延が少なかったため、Skypeのビデオチャットで接続する方針とし、常に顔を見ながら交流することができた。

【セッション1】

16:00~17:15にZHD、PWHとの遠隔交流を実施した。まずは日本側の学習者から、夏休みの思い出を紹介した。その後、中国側の夏休みの紹介を聞き、写真を少し見ながら交流して、随時関連する内容について質疑応答を行った。中国側の2名は4年生で日本語がうまく、学習者は感心しきりであった。中国側は随時中国語を日本語で言い直す等、配慮して発話してくれたために学習者が内容理解に苦しむことはなかった。交流の様子を以下の交流記録スクリプトに示す。



スクリプト 5-6-1 HMの夏休みの思い出紹介

HM: 你好
ZHD: 你好, 你好
HM: ①我叫 HM, えー, 我去大海了
L: 嗯
HM: えー, 在
ZHD: 大海, うみ
HM: 海【HM うなずき】, 海, えー, 在海边, 我举办
L: 举办 (jǔbàn) 【HM の声調が誤っているため訂正し正しい発音を指導】
HM: 举办 (jǔbàn), 举办, うんと, 烧烤大会了
ZHD: BBQ?
HM: BBQ! えー, 我用沙子, 堆了城堡, 城堡? 【教師の方を見て発音が正しいかどうか確認】
L: 嗯, 城堡 (chéngbǎo) 【教師が正しい発音を指導】

HM : 城堡 (chéngbǎo) 【笑い】
 ZHD : ②スイカは？
 L : スイカ割りはしましたかという質問が来ました 【笑い】 しましたか？
 HM : なに？
 L : スイカ割りはしましたか？
 HM : えーと, 没... 【HM 首を横に振る】
 L : 没有
 HM : 没有
 ZHD : ③スイカはちょっと高いけど。
 全員 : あはは 【笑い】
 KB : すごいね, 日本語ぺらぺら 【笑い】
 【3人は自然に日本語でツッコミをいれる ZHD の会話能力の高さに感心】
 L : そうだね
 HM : えーと, ん？城堡很大, えー, 是大约两米
 L : 两米 (liǎngmǐ) 【HM の発音が誤っているため訂正し正しい発音を指導】
 HM : 两米 (liǎngmǐ) 五左…
 L : 左右
 HM : 左右
 L : 两米五, 两米五 【語の区切りが自然になるように教師が正しい発音を指導】
 ZHD : 啊啊
 HM : えー, 成, ん？成就感很大
 L : 很大
 HM : 很大!
 ZHD : もう一回
 HM : えー, 成就感很大
 【接続不良のため中断、再接続後、突然学生寮のルームメイトが映り込み笑いが起きる】
 【中略】
 HM : あー, えーと, 我吃了很多, 肉？
 L : 肉
 HM : 肉, 很多肉
 ZHD : あ, 肉 (にく) ？
 HM : 肉 (にく) ! 肉 (にく) ! 終わりです

HM は夏休みの思い出について、海に行ったこと、砂でお城を作ったこと、2メートル50センチもある大きなお城ができ、達成感を感じたこと、バーベキュー大会をしたことを中国語で紹介した。ZHD は中国語と日本語で、HM の発話を確認したりあいづちを打ったりしながら聞き取り理解した (下線①)。途中、ZHD が海でスイカ割りをしたかどうか日本語で質問し、HM は「没有 (しなかった)」と答えた (下線②)。「スイカはちょっと高いけど」という日本語でのツッコミに対して、学習者らは ZHD の日本語の会話能力の高さに驚き、「日本語ペラペラ！」と感心した (下線③)。



スクリプト 5-6-2 YG の夏休みの思い出紹介

YG: 你好
 ZHD: 你好
 YG: ふふふ【笑い】我叫 YG, 首先, 暑假的前, 前半, 我参加了学校的讲习, 开始时间比平, 比平时早
 L: 聞こえているかな?
 ZHD: あ, もう一度お願いします
 L: うん, どうぞどうぞ, うん
 YG: 最初からの方がいいですかね?
 L: うん, そうだね, もう一回言ってみるか
 YG: 首先, 暑假的前半, 我
 ZHD: ああ, はい
 YG: 我参加了学校的讲习
 ZHD: 学校的, 学校の何?
 YG: えーと, 講, 講習【画面の向こうで ZHD がうなずいている様子】
 KB: すごい日本語が通じる【笑い】
 L: そうだね【笑い】
 YG: 开始时间比平时早, 觉得很辛苦
 L: 嗯, 很辛苦【YG の発音が誤っているため訂正し正しい発音を指導】
 YG: 很辛苦…②其次, 我去和朋友一起看了电影
 ZHD: 电影?
 YG: 嗯, 题目
 ZHD: ああ, 映画ですか?
 YG: 映画です
 ZHD: へえ, 名前は? 映画の名前
 YG: 题, 题目是《海猿》, 《海猿》
 L: 日本語で言ったらわかるかな?
 YG: 海猿 (うみざる)
 ZHD: 海猿, 海猿, 私も見た
 L: うんうん, 見た, 看过, そうそう
 ZHD: ごめんごめん【笑い】
 YG: 因为里面感, 里面感动的情节, 后来我又, えーと, 和, 别的朋友一起去看了那个电影
 L: うん
 ZHD: 哪个电影? あー, さっきの?
 YG: うん, 二回見ました, ふふふ【笑い】
 【画面の向こう側で ZHD がおどけたようにピースを出して 2 回と示した様子】

全員：あはは【全員手を叩き爆笑】
 L：二回二回って【笑い】
 全員：あはは【全員手を叩き爆笑】
 YG：因此值得一看电影
 ZHD：あ、ああ、感動した？ああ、我也
 YG：③再次，暑假的后半，我，我去看了朋友的芭蕾舞发表会
 ZHD：嗯
 YG：バレエ【笑い】
 ZHD：へへへ【笑い】
 L：笑ってる，笑ってる【笑い】
 YG：我，我初次看芭蕾舞
 ZHD：嗯，看芭蕾舞
 YG：芭蕾舞太有趣了
 ZHD：はい
 YG：④另，另外，有一天我去听了札幌西高中交响乐队定期演奏会，他们的演奏扣人心弦
 ZHD：不错
 YG：而且，而且乐队看起来，很愉快，太厉害了！我希望参加交响乐队
 ZHD：啊，哦，啊，すごいですね，将来ですか？
 YG：ふふふ【笑い、YG笑顔でうなずき】
暑假非常开心，⑤我有一个遗憾，遗憾
 ZHD：啊，遗憾
 YG：我应该
 ZHD：遺憾（いかん）ですか
 YG：嗯，我应该更加努力学习
 ZHD：ああ【笑い】今でも間に合う！
 L：間に合う，間に合う
 ZHD：頑張って！
 YG：OK！【笑い】

YG は初めに、学校の講習会に参加し、開始時間が通常授業よりも早く大変だったことを中国語で紹介した。ZHD が聞き取れない部分を日本語で質問したために、YG も日本語で答え、日本語ですぐにコミュニケーションが取れるほどの日本語会話能力の高さに再び感心した（下線①）。次に、友達と映画「海猿」を観に行き、感動的なストーリーだったために2回目も観に行ったことを紹介した。ZHD は中国語と日本語で、質問を返しながら YG の発話を確認したり、あいづちを打ったりしながら聞き取り理解した。ZHD も「海猿」を見て感動したという共通点も発見された（下線②）。途中、ZHD がおどけて見せた動きが学習者の爆笑を誘う場面もあり、和気あいあいとした雰囲気での対話が進められた。さらに、YG は友人のクラシックバレエを観に行ったことを紹介した。ZHD は中国語で聞き取り理解したことを示した（下線③）。また、YG は高校生の演奏会を聴きに行き、とても感動したので、自分も楽団に入りたいくなったと説明した。ZHD は中国語と日本語であいづちや内

容確認をし、聞き取り理解した（下線④）。最後に YG は、勉強が足りなかったことを後悔していると話し、ZHD が「今でも間に合う、ガンバレ」と励ましたために、笑いが起きた。



スクリプト 5-6-3 KB の夏休みの思い出紹介

KB：我叫 KB，ふふふ【笑い】

我，①我从七月二十四号到三十一号去东京

ZHD：ああ，東京に行った？【KB 笑顔でうなずき】

YG：すごい

HM：うん，すごいね

【残りの 2 人も KB の中国語を ZHD が即時に聞き取り理解したことに感心しうなずき】

KB：我参加了三天日本宾馆学校，对，对外公开活动

ZHD：对，对外（たいがい）ですか？学校活動？【KB 笑顔でうなずき】

KB：那儿我上课了，然后

ZHD：さっきの？【KB 笑顔でうなずき】

KB：然后，体验，宾馆的工作

ZHD・PWH：ああ，仕事した？【KB 笑顔でうなずき】

KB：二十，二十九号是我的生日

ZHD：啊哈哈哈哈【笑い】えー？

KB：二，二十九号是我的生日

ZHD：生日啊，誕生日？今月が誕生日？

KB：そうです，ふふふ【笑い】所以，我去约会了

ZHD：おおー，约会？デート？【ZHD が驚いたように食い気味に反応し 3 人とも笑い】

KB：そうです，ふふふ【笑い】我看了街道艺人

ZHD：誰？

KB：很厉害

ZHD：啊，か，か，彼氏は？

全員：あはは【ZHD が興奮したように「彼氏」を囁んで発話したので全員手を叩き爆笑】

KB：我看了街道艺人，街道艺人？

L：違う，違う，街道艺人ではない，彼氏は街道艺人ではないからね【笑い】

全員：あはは【笑い】

ZHD：大丈夫，大丈夫

KB：夜景美丽，啊，很美丽

ZHD：夜が景色がきれい，哦哦

KB：三十号我和朋友一起去东京迪斯尼海了

ZHD：啊啊啊，デートでねえー【ZHD がうらやましそうな口調で反応し 3 人とも笑い】

KB：②朋友，朋友【笑い】

ZHD：啊啊，朋友，やっぱり，デートだな，やっぱり

全員：あはは【ZHD がうらやましそうな口調で話し 3 人とも手を叩き爆笑】

ZHD：ディズニーランドは友達と行くんじゃないです

KB：因，因为暑假，所以人很多，我回，回来北海道以后，我去了海边

【学生寮のルームメイトが再び映り込み「デート？」等の発話により笑いが起きる】

【中略】

KB：留下了特别美，美好的回忆

KB は夏休みに東京のオープンキャンパスを見学に行ったこと、誕生日にデートし大道芸人を見たことや夜景が美しかったこと、友達とディズニーシーに遊びに行ったこと、北海道に戻ってから海に行ったことを中国語で紹介した。ZHD は KB の中国語を即時に聞き取り理解し、ZHD は中国語と日本語で質問を返ししながら YG の発話を確認したり、あいづちを打ったりしながらスムーズに対話が展開した（下線①）。彼氏とデートをしたと聞いた ZHD は、その後のディズニーシーも友人ではなく彼氏といったのだろうと疑い、KB は「朋友，朋友（友達、友達）」と訂正したが、ZHD のうらやましそうな口調での応答に大きな笑いが起きた（下線②）。



スクリプト 5-6-4 ZHD の夏休みの思い出紹介

HM, YG, KB：请介绍你的暑假【3 人で声を合わせて発話】

ZHD：えー，①我，我，暑假的时候我去了石川县，「石川県」

HM, YG, KB：おおー！！【全員笑顔でうなずき】

ZHD：金沢市

HM, YG, KB：へえー！！【全員笑顔でうなずき】

ZHD：兼六園

L：兼六園，兼六園，行ったことありますか？兼六園

KB：兼六園？いや，ないです

HM：没有

L：うん，没去，没去过

KB：没去

L：嗯，没去

HM：没去
 ZHD：②あ、彼は韓国に行きました【ZHD が隣にいる PWH の夏休みについて紹介】
 HM, YG, KB：えー！！
 L：彼ね、こっちの人、PWH さん
 ZHD：名前は…わからないです【笑い】
 全員：あはは【ZHD が冗談を言ったので 3 人とも笑い】
 L：じゃ、名前を聞いてください、お名前はなんですか？
 HM：你姓什么？
 ZHD：嗯、嗯、③然后我在
 L：あれ？
 【PWH の名前を尋ねたが ZHD がそのまま夏休みの思い出を話し続けているので続行】
 ZHD：大学里待了三个多星期【3 人とも ZHD の中国語が聞き取れず教師を見て支援を求める】
 L：嗯、在大学
 KB：在大学
 L：嗯、在大学待了三个星期、三个星期【教師が語句を区切ってゆっくり発音し直し理解支援】
 HM, YG, KB：三个星期！
 ZHD：あ、金沢市の大学で三週間を過ごし、を過ごしました
 HM, YG, KB：へえー！すごい！すごい！【3 人とも笑顔でうなずき】
 L：「すごい」はさっき誰か言ってた、厉害
 【学習者の準備した原稿に「厉害」があったことを教師が指摘】
 KB：あ、厉害！很厉害！
 ZHD：お、どうもどうも【笑い】
 全員：あはは【笑い】
 ZHD：④午前中は、えーと、授業をします
 HM, YG, KB：へえー
 L：うん、上课
 ZHD：うん、日本語の授業、歴史、政治とかいろいろやってますけど
 KB：へえー！
 ZHD：今は何も覚えていません
 全員：あはは【ZHD が冗談を言ったので 3 人とも笑い】
 L：頑張れとひとこと言って！頑張れ！
 HM, YG, KB：加油、加油、加油！
 ZHD：はい
 L：そうか
 ZHD：金沢市の市内観光、兼六園とか、なんか、忍者村とか行きました、夜は港を見に行きました
 全員：へえー

学習者らが中国語で ZHD の夏休みを紹介してほしいと依頼し、ZHD は、石川県金沢市へ 3 週間の短期語学研修に行ったこと、兼六園や忍者村等の市内観光をしたこと、日本の歴史、政治等の授業を受けて勉強したが、もうすっかり忘れてしまったことを紹介した。ZHD は中国語で説明を開始したが、途中から日本語に切り替えて発話した。教師が学習者らに兼六園に行ったことがあるか質問し、学習者らは「没去（行っていない）」と答えた（下線①）。途中で ZHD が隣にいる PWH について紹介したため、HM が中国語で名前を質問したが、

音声の遅延のためかZHDが夏休みの紹介を続けて話したためにPWHからの応答はなかった（下線②）。ZHDは中国語で研修期間について説明したが、学習者らが聞き取れなかったために、教師が語句を区切ってゆっくり発音し直し理解支援すると共に、ZHDも日本語で再度説明した。3週間の金沢研修と聞き、KBは中国語で「厉害（すごい）」と応答した（下線③）。ZHDは研修内容について、日本語で日本の歴史や政治について学んだが今は覚えていないと話し、学習者らに大きな笑いが起きると共に、全員で「加油（頑張って）」と応答した（下線④）。ZHDはその他の活動として市内観光をしたことも日本語で紹介した。さらに、研修中の寮のルームメイト（台湾、アメリカ、ロシア、中国の5人）とビールを飲みながら宿題をやっている写真と兼六園での集合写真をQQで送信してもらい、学習者はそれらの写真を見ながら、「他们是哪国人？（彼らはどこの国の人ですか）」と質問したり、「美国人（アメリカ人なんですね）」「他张得很帅（彼はイケメンですね）」「美丽（きれい）」等とあいづちを打ちながら対話を進めた。ZHDも中国語と日本語で質問に答え、写真に写っている語学研修の仲間を紹介した。



スクリプト 5-6-5 PWHの夏休みの思い出紹介

PWH：私はPWHといいます、はじめまして、よろしく
あ、①私は、夏休みは、今年は夏休みは韓国へ行きました
KB：太好了！
HM：太好了！
PWH：韓国で、あの、午前中はその、英語の授業をやって、午後は友達と一緒に水泳したり、あの、外で遊びました
HM, YG, KB：へえー
PWH：そして、夏休みのほとんどは韓国で過ごしました
HM, YG, KB：へえー！
PWH：海水、海水浴も行って、海で水泳もしたことがありました
HM, YG, KB：へえー！すごい
【画面の向こう側で拍手をしている音が聞こえて学習者らも全員で拍手】
【中略】
HM, YG, KB：②请给我看

L: うん, 照片
 HM, YG, KB: 照片! 你好! 【全員で Web カメラに向かって笑顔で手を振る】
 L: まだ誰か来た? 新しい人! 今日はお客さんが多いね
 もう一回言ってみて, 聞こえていないかも, 日本語が 4 年生はみんな上手だなあ
 KB: もう一回?
 L: うん, もう一回言ってみよう
 HM, YG, KB: 请给我看照片
 ZHD・PWH: : あ, 写真?
 L: うん, そうそう, 伝わっていた
 【接続不良のため中断】
 ZHD・PWH: 等会儿
 L: 等会儿, ちょっと待ってね
 HM: OK!
 ZHD: 等会儿
 PWH: 韓国の写真を?
 HM, YG, KB: 对
 ZHD・PWH: はい, ちょっと待って!
 【学生寮のルームメイトと会話中、中略】
 L: 届いたかな? これか 【教師が PC 上で受信した写真を確認】
 PWH: ③みた?
 KB: まだです, 「まだ見てないんです」って何ていうんですか?
 【教師に中国語で何と言うか支援を求める】
 L: 还没看
 KB: 还没看?
 HM: 还没看
 L: 还没看到
 KB: 「ちょっと待ってください」って何ていうんですしたっけ?
 L: 等一下
 KB: 等一下
 L: うん
 KB: 还没看, 等一下
 HM, YG, KB: おおー!! おおー!! 【笑い】 見えた! 海边
 L: うん, そうですね
 ZHD・PWH: 怖いね
 L: すごいと言って!
 KB: ④厉害! 筋肉 (きんにく) 厉害!
 L: 厉害, 很厉害! 肌肉, 肌肉
 KB: 肌肉, 肌肉厉害
 L: 肌肉很厉害 【笑い】 いいですね…还有什么呢? 韓国のどれだっけ
 【教師が PC 上で受信した写真を確認】
 KB: 韓国の?
 L: 韓国のどれか聞いてみますか?
 KB: 韓国, 韩国?
 HM: 韩国?
 L: うん
 PWH: 韓国の釜山です

HM, YG, KB : おおー！
 L : おお, プサン, プサン
 HM, YG, KB : プサン
 PWH : 海運台という所です
 L : おお！海運台【写真データ受信中】
 L : ⑤「今ダウンロードしてる」って言ってみますか
 KB : 現在
 L : うん, 下载
 KB : 下载
 L : うん, もう一回
 KB : 现在下载
 L : うん, 「正在」でも
 KB : 现在下载
 HM : お！【教師が PC 上で受信した写真を確認】
 YG : え, 新しいの？
 L : うん
 HM, YG, KB : ⑥わあー！人！すごいね！
 L : 人, これこそまさに！あれ？
 KB : 很, 很, 人, 人很多？
 L : そうです！
 HM : 人很多
 KB : 人, 人很多
 PWH : 嗯, 人, So many people
 全員 : あはは【笑い】
 L : 本当だね, すーごいね, こりゃ, 多すぎる！
 KB : すごい！しかもきれい！
 L : わあー, すごいね！
 KB : すごい！！
 PWH : そうですね
 KB : すごいですね
 L : うん, 「きれい」, さっきやったのありましたね
 【KB の準備した原稿にあり先ほど発話したことを教師が指摘】
 KB : あ, これ, 很, 很美丽
 PWH : 哦, 很给力？哦哦哦, すごいな
 【KB が「美丽」と言ったのを PWH が「给力」と聞き違えて、最近の流行語を知っているものと勘違いして感心】

PHW は夏休みに韓国で過ごしたことを日本語で紹介した。KB と HM は中国語で「太好了（よかったね）」とあいづちを打った（下線①）。内容は日本語であるため学習者らも日本語であいづちを打ちながら話を聞いた。途中、教師の支援を得ながら学習者全員で「清给我看照片（写真を見せてください）」と依頼して（下線②）、QQ で写真データを送信してもらった。KB は信中の状況を中国語で表現しようとし、KB は積極的に教師に支援を求めながら「还没看（まだ見ていません）」「等一下（ちょっと待ってください）」と説明した（下

線③)。また、受信した写真を見ながら、「肌肉厉害（筋肉すごい）」と感想を述べた（下線④）。KB は別の写真を受信中に教師の支援を得て「現在下载（今ダウンロード中です）」と説明した（下線⑤）。海水浴場の写真を見て、泳いでいる人の多さに驚き、HM と KB は「人很多（人が多い）」と感想を述べ、その海の水の美しさに「很美丽（とてもきれい）」と感想を述べた。これに対して「美丽（měilì）」を「给力(gěilì)」と聞き違えた PWH は、日本の高校生が最近の中国の流行語を知っているのかと勘違いして「おお、すごいな」と感心した（下線⑥）。



スクリプト 5-6-6 体育大会の写真を用いた紹介

L：うん、じゃ、「あなたに体育大会の写真を見せてあげます」と言ってみましょう

YG：我

L：うん

YG：我们

L：うん

YG：给

L：うん、你

YG：你

L：うん

YG：看

L：うん、体育

YG：なんだっけ？

HM：あ、体育

YG：体育、体育、比赛

L：うん

YG：何だっけ？

L：照片

YG：照片

KB：これでいける？あれ、見えない、ピントが合わない【笑い】

【KB が Web カメラに直接スマートフォンの画面を映して見せる】

L：暗いのかな？

HM・YG：ピントが

L：こないだ動画を見せた時はうまくいったけどね

②「集合写真」を「集体照」といいます

ZHD：あ、見えました

YG：集体照

L：嗯，集体照，嗯，还有吗？
 KB：あ，3組のあった，あ，一昨日の写真
 L：あ，いいねいいねいいね，うん，好啊好啊
 YG・KB：③ソフトボール
 ZHD：野球ですか？
 KB：そうです
 YG：ソフトボール
 L：嗯，垒球，垒球
 YG・KB：垒球
 ZHD・PWH：啊，野球？【KBがWebカメラに直接スマートフォンの画面を映して見せる】
 ZHD・PWH：バスケットボール？
 KB：そうです
 L：うん
 全員：篮球，篮球
 L：あ，あったあったあった，ありましたよ，これKBAじゃない？
 全員：あはは【笑い】
 KB：かわいい！かわいい！
 L：うん，可爱啊
 KB：可爱！
 L：她是KBA！
 ZHD・PWH：美人ですね
 L：可爱，じゃ，来週来るって教えてあげましょう
 KB：来週来ます？
 L：下周
 KB：下周
 L：下周，下个星期，下个星期
 ZHD・PWH：来週？
 L：嗯，她会来
 KB：她会来【笑い】
 ZHD・PWH：啊啊【笑い】【KBがWebカメラに直接スマートフォンの画面を映して見せる】
 KB：④バレーボールって何だっけ？
 HM：排，排球
 YG：すごいすごい，覚えてる
 L：很好，很好，记得，打排球
 ZHD：啊，打排球，みんな元気だあ

学習者は写真を見せながら体育大会の様子を紹介した。YGはわからない語について教師やHMの支援を得ながら「我们给你看体育比赛的照片（私たちはあなたに体育大会の写真を見せてあげます）」と言い（下線①）、KBがスマートフォンで撮影した写真をWebカメラに映して見せ、「集体照（集合写真）」であることを説明した（下線②）。ZHDとPWHは、写真を見ながら何の競技かを日本語で質問し、学習者は「垒球（ソフトボール）」「篮球（バスケットボール）」等、日本語と中国語で回答した（下線③）。バレーボールを中国語で何

と言うか忘れた KB が HM と YG に支援を求め、HM が思い出して「排球」と発話し、YG が覚えていることに感心し称賛するという協調学習が成立する場面もあった（下線④）。

第 6 回の遠隔交流で学習者が実際に使用した中国語の語句と会話表現を表 5-6 に示す。

表 5-6 第 6 回遠隔交流で学習者が活用した語句と会話表現の一覧

話題分野	言語運用能力レベル	活用した中国語	日本語訳
自分と身近な人々	1-a. 名前（姓名）や属性（高校生、学年、年齢、誕生日など）を言ったり尋ねたりできる	我叫+姓名。	私は（フルネーム）と申します。
		你姓什么？	お名前（姓）は？
		他是哪国人？	彼はどこの国の人ですか。
		美国人	アメリカ人
		台湾人	台湾人
		中国人	中国人
	2-b. 自分や身近な人々の外見（背が高い、紙が長いなど）について、口頭で描写し合うことができる	肌肉很厉害。	筋肉がすごい。
		他长得很帅。	彼はイケメンです。
		（她）很可爱。	（彼女は）とてもかわいいです。
学校生活	3-d. 自分の学校の行事（行事名、時期、内容など）について、口頭でまたは文章にして紹介することができる	我给你看体育比赛的照片。	体育大会の写真を見せてあげます。
		垒球	ソフトボール
		篮球	バスケットボール
		排球	バレーボール
		下个星期她会来（参加交流）。	来週、彼女は（交流に参加しに）来るはずです。 ※遠隔交流は授業の一部として学校で行われる課外活動であり学校行事と同等の位置付けであると判断し、ここに分類
日常生活	1-a. 1 日の基本的なあいさつができる	你好。	こんにちは。
趣味と遊び	2-b. 休みの日にしたこと（いつ、どこで、誰となど）について、感想（楽しかった、疲れたなど）を含めて、口頭で伝えあうことができる	我去大海了。	私は海に行きました。
		在海边我举办烧烤大会了。	浜辺でバーベキューをしました。
		我用沙子堆了城堡。	私は砂でお城を作りました。
		城堡很大，是大约两米左右。	お城はとても大きくて、2メートルくらいでした。
		成就感很大。	達成感がありました。
		我吃了很多肉。	私はたくさん肉を食べました。
		首先，暑假的前半，我参加了学校的讲习。	まず、夏休みの前半に、学校の講習会に参加しました。
		开始时间比平时早，觉得很辛苦。	開始時間がいつもより早くて、つらかったです。
		其次，我和朋友一起看了电影。	次に、私は友達と一緒に映画を観ました。
		题目是《海猿》。	タイトルは「海猿」です。

	因为里面(有了)感动的情节, 后来我又和别的朋友一起去看了那个电影。	とても感動的なストーリーだったので、後からまた別の友達と一緒にその映画を観に行きました。
	因此(这是)值得一看电影。	なので、一見の価値ある映画です。
	再次, 暑假的后半, 我去看了朋友的芭蕾舞发表会。	それから、夏休みの後半に、友達のバレエの発表会を観に行きました。
	我初次看芭蕾舞。	私は初めてバレエを見ました。
	芭蕾舞太有趣了。	バレエはとても面白かったです。
	另外, 有一天我去听了札幌西高中交响乐队定期演奏会。	また、別の日に札幌西高校オーケストラの定期演奏会を聴きに行きました。
	他们的演奏扣人心弦。	彼らの演奏はとても心に響き感動的でした。
	而且乐队看起来很开心, 太厉害了!	しかも、楽団は楽しそうに演奏していて、すごかったです!
	我希望参加交响乐队。	私もオーケストラ部に入りたいと思いました。
	暑假非常开心。	夏休みはとても楽しかったです。
	我有一个遗憾。	心残りが一つあります。
	我应该更加努力学习。	もっと頑張って勉強すべきでした。
	我从七月二十四号到三十一号去东京(了)。	私は7月24日から31日まで東京に行きました。
	我参加了三天日本宾馆学校对外公开活动。	私は日本のホテル学校のオープンキャンパスに参加しました。
	那儿我上课了。	そこで授業を受けました。
	然后, 体验(了)宾馆的工作。	それから、ホテルの仕事を体験しました。
	二十九号是我的生日。	29日は私の誕生日でした。
	所以, 我去约会了。	なので、私はデートに行きました。
	我看了街道艺人, 很厉害。	私は大道芸人を見ました、すごかったです。
	夜景很美丽。	夜景がとてもきれいでした。
	三十号我和朋友一起去东京迪斯尼海了。	30日に私は友達と一緒に東京ディズニーシーへ行きました。
	因为暑假, 所以人很多。	夏休みだったので、人がとても多かったです。
	(我) 回来(北海道)以后, 我去了海边。	(北海道に)戻ってきてから、私は海へ行きました。
	留下了特别美好的回忆。	とてもいい思い出になりました。

			た。
		还可以。	まあまあです。
		请介绍你的暑假。	あなたの夏休みについて紹介してください。
交通と旅行	2-i. 旅行計画やいままでの旅行（いつ、どこへ、誰と、何日くらいなど）について、会話できる	我没去(过)。	私は行ったことがありません。
		他在大学待了三个星期。	（金沢研修旅行の時に）彼は大学で3週間過ごしました。
		清给我看照片。	（旅行の）写真を見せてください。
		还没看。	（写真を）まだ見ていません。
		集体照	集合写真
		海边	海、浜辺
		韩国	韓国
		海运台	海運台（釜山の海水浴場）
		人很多。	人が多いですね。
人とのつきあい	1-a. 人とのつきあいでよく使う基本的なあいさつ表現（初対面、感謝、励まし、謝罪、断りなど）を言ったり、聞いて理解したりできる	谢谢。	ありがとう。
		太好了。	いいね。よかったね。よかった。
		请等一下。	ちょっと待ってください。
	1-g. 相手のこと（性格、特技など）を、口頭でまたは書いてほめることができる	好, 很好	よい、うまい、とても上手だ、いいよ（同意や承認）
		厉害	すごい、すばらしい
	2-g. 人とのつきあいを円滑にできるような表現（ねぎらい、励まし、期待など）を、言ったり、聞いて理解したりできる	加油。	頑張れ。
その他の汎用的な会話表現	数の多さを表す	很多	たくさんの、多くの
	肯定	对	正しい、合っている、そうです、その通り
	否定	没有	持っていない、ない、～していない
	メディアとインターネット	现在下载。	今ダウンロードしています。

5.1.4.2 第7回遠隔交流

第7回の遠隔交流は9月24日に実施した。学習者2名(KBY、KBA)と中国側1名(SG)が参加した。中国側が1グループのみであったために、1つのセッションを設定し、同じ相手と長時間交流した。女子寮は接続状況が不安定なため、QQのビデオチャットで顔を見ながら挨拶した後、交流そのものは音声チャットに切り替えて随時テキストチャットも併用し、終わりの挨拶で再度ビデオチャットを使用する方針とした。

【セッション1】

16:00~17:00にSGとの遠隔交流を実施した。まずは日本側の学習者から、簡単な自己紹介をした後に夏休みの思い出を紹介した。その後、中国側の夏休みの紹介を聞き、写真を少し見ながら交流して、随時関連する内容について質疑応答を行った。時折日本語を用いながらも、大部分は中国語を用いた対話となった。交流の様子を以下の交流記録スクリプトに示す。



スクリプト 5-7-1 KBYの夏休みの思い出紹介

KBY:「紹介します」って何でしたっけ？

L: うん, 我介绍一下

KBY: 我

L: 我, 介绍, 「介绍」は「紹介」ですね

KBY: 我, ①我介绍

L: 一下

KBY: 一下

L: 「一下」は「ちょっと」ですね

SG: はい？

KBY: 今年我是应考, 应考生

SG: 嗯

KBY: 我没, 做, 我没做特…

KBA: 特别？

KBY: 特别夏, 夏天…フウ？

【KBYが読みを忘れて適当に発音したため教師が正しい発音に訂正】

L: 氛围 (fēnwéi)! 氛围!

KBY: 氛围的, どこに書いたっけ？

L: 「事情」かな? 「こと」「こと」ですね

KBY: 事, 事情

L: 嗯

KBY: 我喜欢, 玩, 玩?

L: どこ? 啊, 玩儿, 玩儿!

KBY: 玩儿, 烟…

L: 烟火

KBY: 烟火, 火的活动, 活动

L: 烟火的活动
 KBY: 烟火活动, 我们从, 七月...
 SG: ②什么活, 什么活动?
 L: 何をやったんですか? 彼女は「花火」が聞き取れてないですね, 「烟火」
 KBY: 烟火
 SG: 烟火?
 KBY: 对, 我们从...
 L: 从, 从【KBYの発音が誤っているので教師が正しい発音に訂正】
 SG: 哦
 KBY: ③我们从七月二十六号到, 到? 到?
 L: 嗯, 到, 嗯
 KBY: 到, 到八, 八月五, 五号
 SG: 嗯
 KBY: 参加讲, 讲习了
 L: 「讲座」ですね, 「讲习」か「讲座」, 「讲座」
 KBY: 讲, 讲座了
 L: 嗯
 SG: 啊, ④参加了什么讲座啊?
 L: 何の講座? 什么讲座? 何の講座ですか? 科目の意味で聞いていると思う
 KBY: 英語
 L: 英語? うん, じゃ, とりあえず英語の, 英語の講座って言ってみましょう, 「英語」は「英语」
 SG: 英語 (えいご)?
 KBA: あはは【笑い】聞こえてる
 L: 「英语」ですね
 KBY: 英语
 L: 英语讲座
 KBY: 英, 英语讲座
 L: 嗯
 SG: 英语?
 KBY: 对
 SG: 英语讲座?
 KBY: 对, 因为...
 SG: 啊, はいはい, わかりました
 KBY: ふふふ【笑い】因为我们, 我们从, 清早, 清早参加, 讲座
 SG: 嗯
 KBY: 很, 很累, 很累?
 L: 很累
 KBY: 很累
 SG: 嗯
 L: 続けてどうぞ, 继续
 KBY: ⑤八月七号, 我, 我参, 参观了, 志愿, 志愿上的大学, 我想, 坚持
 SG: 是大学吗?
 L: 学校に行ったんですか?
 KBY: 参, 参观
 L: 参观, 参观
 KBY: 参观

L：大学
 KBY：大学
 L：嗯
 SG：参观了大学呀！
 L：嗯嗯
 KBY：对！⑥为了，我想，我想，坚，坚持学习。
 SG：哦
 KBY：考上大学，大学，大学
 L：嗯，「为了考上大学坚持学习」ですね，逆になった
 SG：哦
 L：うん，大学に入るために勉強を頑張るのですね
 KBY：为了考，考上大学，我…想，坚，坚持学习
 L：うんうんうん，很好！
 SG：はい
 KBY：为了，あ，ここもっかい言った【笑い】
 SG：嗯，嗯
 KBY：⑦八月八号，我们去看了朋友的芭蕾舞发表，发表会
 SG：嗯
 KBY：那个，芭蕾，芭蕾舞
 SG：发表会，是吗？
 L：发表会ですか？
 KBY：对！那个芭蕾舞很精彩，我
 SG：嗯
 KBY：我很，感动
 SG：嗯
 L：嗯
 KBY：谢谢！

KBY はまず、受験生なので夏休みらしいことは特にしなかったこと、花火をしたことを中国語で紹介した。準備原稿をスムーズに音読することができず、教師が正しい発音を一語ずつ指導しながら読み進めた（下線①）。SG は、「什么活动（何の活動ですか）」と質問し、KBY は「烟火（花火です）」と答えた（下線②）。続けて、夏期講習に参加したことを紹介した（下線③）。SG は「参加了什么讲座啊（何の講習に参加したんですか）」と質問し、教師が訳して理解支援したのに対して KBY が日本語で「英語」と答え、それを SG も聞き取ったが、中国語でも再度「英语讲座（英語の講習）」と説明した（下線④）。さらに、オープンキャンパスを見学しに行ったことを説明した。SG は、「是大学吗（大学ですか）」「参观了大学呀（大学を見学しに行ったの）」と応答し、聞き取り理解していることを示した（下線⑤）。途中、「为了～：～のために」の構文で、文の前半と後半の順序が逆になったため、教師が誤りの理由を解説して正しい文を言い直した（下線⑥）。最後に、友達のパレエの発

表会を観に行きとても感動したことを紹介し、SGは「発表会、是吗（発表会、ですね）」と確認の質問をして、聞き取り理解した。



スクリプト 5-7-2 KBA の夏休みの思い出紹介

KBA：あの、①我，我介绍一下，へへへ【笑い】我的暑假
L：同じやつしかないかな，うん
SG：好
KBA：七月二十八号
L：嗯
KBA：我去看了，我去看了
SG：嗯
KBA：和朋友？和，和朋友一起
L：去看了
KBA：去看了，「映画」って何でしたっけ
L：电影
KBA：电影
SG：你去，你去看了什么？
L：最後，映画っていうのが聞き取れてない
KBA：ああ，电影
【接続不良のため待機】
SG：え，映画？
KBA：あ，映画です，ふふふ【笑い】そうです【笑い】えーと，题目是…关，关八
SG：啊哈哈哈哈
KBA：题目是关八，《关八战士》！ふふふ【笑い】
L：日本語でも言った方がいいかもしれない
KBA：あ，「エイトレンジャー」です，ふふふ【笑い】
L：エイトレンジャーの写真を見せよう，そのまま読んで
【教師がエイトレンジャーの写真をインターネットで検索し SG に送信】
KBA：他们都很帅！
【接続不良のため待機】
KBA：②八月一号
L：嗯
KBA：我，
SG：啊
KBA：啊，我
KBY：参，参观

L：参观，参观
KBA：参观了大学，嗯？参观大学，了
L：嗯，嗯，对
KBA：我，我了解，
SG：うん，大学の名前はなんですか？
KBA：あ，小樽商科大学です
【大学名は未習なので教師が中国語で発音し KBA が後について発音】
L：小樽
KBA：小樽
L：うん，商科大学，そのままちょっと行ってごらん
KBA：小樽商科大学，です
SG：哦
KBA：はい，我了解，各种各样的，大学的情，况
SG：嗯
L：嗯
SG：嗯，③你想去那个大学吗？
L：你想去那个大学吗？【SG の中国語を教師が語を区切ってゆっくり再度発音し理解支援】
KBA：对，ふふふ【笑い】
SG：对，呵呵【笑い】
L：画面で見せるというのがいいかなと思って
KBA：④ってというか，「私も行きます」という時に，その「も」って最後なんですか？
L：えーとね，「去」，「行く」の前ですね，私「も」行きました
KBA：我，也，去
L：そうそうそう
KBA：八月八号？八号，我也，嗯？我也去，去了芭蕾舞发表会
SG：不太清楚
【接続不良のため再接続】【中略】
SG：你说吧
L：「どうぞ」と言ってます
KBA：啊，谢谢！芭蕾舞
SG：没有
KBA：太漂亮了！
L：嗯
SG：嗯
KBA：⑤我没做特别的事情
【接続不良のため待機】
これ続きって何ですか？
L：えーと，「しかし」って入れて，そのまま
KBA：あ，不过，过得很愉快
SG：你继续
L：続けてどうぞっていう意味，你继续
KBA：あ，我，我打，打网球了
SG：什么？
KBA：打网球了，テニス
L：嗯嗯
KBA：テニスです，ふふふ【笑い】

SG: 哈哈, 没明白, 呵呵
 L: 聞こえてない, たぶん, 途切れて聞こえてない
 KBA: 我打网球了
 【接続不良のため待機】【中略】
 KBA: ⑥很快就结束暑假
 L: うんうん
 SG: 嗯
 KBA: 我没能完成学习计划! あはは【笑い】
 SG: 这可不好! 呵呵呵【笑い】
 KBA: 我没能完成学习计划
 SG: 哦, 你怎么不完成啊?
 L: どうしてですかって聞いてます
 KBA: I don't know! 【笑い】
 L: 不知道
 KBA: 不知道! あはは【笑い】
 SG: 哈哈【笑い】 I don't know!
 KBA: そうですね, 最後これこのままでいいですか?
 L: うん, それは最後, 「これから頑張ります」
 KBA: 今后要, 今后要, 好, 好好努力
 SG: 嗯
 KBA: 谢谢!
 SG: 嗯, 你自己制定的计划一定要完成的!
 L: うん【笑い】 自己, 定计划, 自分で計画を決めたので, 一定要完成, 頑張って完成させないと
 いけません, と言っています【笑い】
 KBA: はい【笑い】 頑張ります!
 SG: 頑張って! はいはいはい!
 KBA: 頑張って!
 SG: 嗯, 说得挺好的! はい, 頑張らましょう! 呵呵【笑い】

KBA はまず、夏休みに友達と映画を観に行ったことを紹介した。SG は中国語と日本語で、「你去看了什么 (何を観に行ったの)」「あ、映画？」等と聞き取れない部分を随時確認し、KBA がそれに答えながら対話が展開した。また、映画のタイトルは関ジャニ∞主演の「エイtrenジャー」で、全員かっこよかったと感想を述べた(下線①)。SG はエイtrenジャーを知らないため、教師がインターネットで映画のポスター等を検索して SG に見せた。続けて、8月にオープンキャンパスへ行ったこと、大学の色々な様子がわかったことを紹介した。SG は「大学の名前はなんですか」と質問し、「小樽商科大学」という大学名は未習語句であったために、教師の後について KBA が発音した(下線②)。SG は、「你想去那个大学吗 (その大学に行きたいんですか)」と質問し、KBA は「对 (はい)」と答えた(下線③)。最後に、友達のパレエの発表会を観に行き、とてもきれいだったという感想を述べた(下線④)。この時、「也 (～も)」という副詞を入れる位置について教師に確認し、文の構造を理

解した。さらに、テニスをしたこと、夏休みらしい特別なことはしなかったが楽しく過ごせたことを紹介した。テニスについては、接続不良のために音声は SG に聞こえておらず、「什么（何ですか）」「没明白（わかりませんでした）」と応答があり、理解されなかった（下線⑤）。最後に、勉強が計画通り終わっていないと説明すると、SG が笑いながら「这可不好（それはダメだね）」「那你怎么不完成啊（じゃあ、どうして（計画通り勉強）できなかったの）」と質問した。KBA はとっさに「I don't know」と英語で答え、すぐに教師の支援を得て「不知道（わからない）」と中国語でも答えた。SG も英語で「I don't know」と笑って返し、理解を示した（下線⑥）。また、SG は「你自己制定的计划一定要完成的（自分で立てた計画はやりきらないといけないね）」とコメントし、KBA は「頑張ります」と応答し、SG も「頑張って」と返した。SG はまた、KBA の紹介全体に対して「说得挺好的（話すのがとても上手ですね）」と称賛した。

スクリプト 5-7-3 SG の夏休みの思い出紹介（1）

KBA : ①请给
L : うん, 我们
KBA : 我们? 请给我们, 你的
L : 介绍, 介绍
KBA : あ, 介绍, 你的
SG : 嗯
KBA : 暑假
SG : 我的介绍?
KBA : 对
SG : 好! 呃, 呃, 我暑假, 本来打算回家, 回家打工, アルバイトしたいですけど
KBA : したい, けど?
SG : 呃, 呃, たくさん店をいって, 呃, でも, 店長さんは, 呃, 短い, 呃, 時間が短いですから, 呃, 私がしませんでした, 結局
KBA : ああ, 時間が短期でしかできなかったってことですかね
L : うん, 一日の時間が短いんですね
SG : 呃, ②夏休みは, 呃, 呃, 两个月
L : 二ヶ月ね
KBA : おおー, 長い, 長い
KBY : 長いですね!
L : うん, 「很长」
SG : え, 長いですか?
KBA・KBY : 長い!
KBA : 我的, 我们的暑假, 我们的暑假很
L : うん, うん, 「短」
KBA : 短! あはは【笑い】
SG : 嗯, 短?

L：短いですが？
 SG：呃，③那你们暑假多长时间？
 L：どのぐらいですか？
 KBA：一ヶ月なかったよね？
 KBY：なかったかも
 L：三週間？
 KBA：あ，三个星期
 SG：一ヶ月ぐらい？
 KBY：三个星期
 L：对，大きな声で言って
 KBY：三个星期
 SG：哦！
 KBY：哦！【笑い】
 L：很短
 KBA・KBY：很短，很短
 SG：嗯嗯
 SG：④然后，之后就，呃，就，呃，ずっと家において，何もしてませんでした
 KBA：あはは【笑い】太好了！
 L：ははは【笑い】「休息」ですね
 KBA：休息
 L：休息
 SG：でも，つまら，つまらないですよ，哈哈
 KBA：あははは【笑い】そんなことないです
 KBY：そんなこと，そんなことないです
 KBA：「休息」大事です
 L：そうね，うん
 KBA：いいな，のんびりしてたんですね
 L：そうですね，のんびりしたのは「休闲」
 KBA・KBY：休闲？
 L：休闲，うん，リラックスして，レジャーみたいな感じ，「休闲」
 KBA：そう，そうなんですね

KBA と KBY から SG へ「请给我们介绍你的暑假」と夏休みの紹介を依頼し、SG は、「我的介绍？（私の紹介ですか）」と、アルバイトをしたかったが時間が合わずに結局やらなかったことを日本語で紹介した（下線①）。中国の大学の夏休みが2ヶ月間あると知り、高校と比べて長いために KBA と KBY は「長いですね！」と驚く。KBA は教師の支援を得ながら、「我们的暑假很短」と高校の夏休みが短いことを説明した（下線②）。これに対して SG は「那你们暑假多长时间（じゃあ、あなたたちの夏休みはどのくらいの期間ですか）」と質問し、KBA と KBY は2人で夏休み期間を相談して「三个星期（3 週間）」「很短（とても短い）」と答え、SG は驚きを示した（下線③）。SG は続けて、夏休み中は家で何もしなかった、つまらない夏休みだったと日本語で紹介した。KBA と KBY は「そんなことないです」

「休息(xiūxi) 大事です」とのんびり休む夏休みの過ごし方を肯定的に評価した。対話の内容に関連して、「休闲(レジャー、のんびり過ごす)」という新たな語も学習した。

スクリプト 5-7-4 SG の夏休みの思い出紹介 (2)

SG: ①少し, でも, 少し勉強をしていました
KBA: おお, えらい
KBY: 太好了!
KBA: 何をするのでも【笑い】
L: 「聪明」だね
KBA: 聪明
SG: 太好了! 哈哈【笑い】
SG: 啊, でも, 啊, ②我的计划也没有完成! 呵呵【笑い】
L: ふふ【笑い】さっきのそれと同じことを言ってるんですね, KBA の後ろに書いてあるやつ
我的计划也没能完成, 计划, 没能完成【KBA 準備原稿の記載箇所を探す】
KBA: ああ!
L: 计划没能完成【KBY が準備原稿の記載箇所を見つけて指す】
KBA: 計画のやつですね?
L: 嗯, 没能完成
SG: 計画? 計画ですね
KBA: 計画です, 计划, 計画?
SG: はい, はい
L: 没能完成
KBA: ああ
SG: 计划
KBA: 没能完成
SG: 嗯
L: 她也一样
KBA: 同じやん! あはは【笑い】
L: そう
KBA: 同じですね, 一样一样
SG: 一样, 同じです, 呵呵
KBA: 同じです【笑い】 うける, 一緒だ
SG: 呵呵【笑い】 呃, 呃, ③今学期は, 私はコンピューターの試験がある
KBA: おお!
SG: あるけど, あるですけど
KBA・KBY: うんうんうん
SG: 何も, 呃, 何も復習をしませんでした
KBA・KBY: あははは【笑い】 加油!
L: 皆同じだ! あはは【笑い】
KBA: 加油!
KBY: 加油!
L: 加油! 【笑い】
KBA: 加油!
SG: あ, 谢谢!

KBA: まだ間に合う！へへへ【笑い】
 L: まだ間に合う, うん, そうだね, うん, 「来得及」, 「間に合う」は「来得及」
 KBA: 来得及
 KBY: 来得及
 L: 嗯嗯
 SG: ④明日は, 明日, 呃, 東北師範大学へ行って, 呃, コンピューターの試験を受け, 受けます
 KBA・KBY・L: 明日, 明日! ? 明天? 明天! ?
 KBA: やばい, それやばい, Skype どころじゃない【笑い】
 SG: 今, 今緊張している, 哈哈
 L: あははは【笑い】太紧张了
 KBA: 太紧张了
 L: 太紧张
 KBA: 太紧张
 L: うん, 緊張する, あまりにも緊張する
 KBA: うける【笑い】
 L: 応援の言葉を, 皆さん!
 KBA・KBY: 加油! 加油! 加油! 加油!
 SG: 很紧张! 因为什么都没看呢
 KBA: 「応援してます」的な…
 L: うん, [我支持你]
 KBA: 我, 我支持你!へへへ【笑い】いや, 頑張っしてほしい!【笑い】
 L: 頑張れ!
 SG: 谢谢!

続けて、SG は夏休みに勉強していたものの計画通りには終わらなかったことを紹介した。KBY は勉強していたと聞き、「太好了（よかったね）」とあいづちを打った（下線①）。KBA は、教師の支援を得て、計画通り勉強できなかったのは自分と同じ状況であることを理解し、SG と共に「一样（同じ）」と言い合い共通点があることを喜んだ（下線②）。SG はまた、コンピュータの試験があるが何も復習しなかったと話し、KBA と KBY はまだ「加油（頑張れ）」「来得及（間に合う）」と応援した（下線③）。しかし、試験は明日でありプレッシャーを感じていると SG が話すと、2 人はまさか明日が試験であるとは思っておらず、遠隔交流をしている場合ではないと驚いた。SG の発話を教師が中国語に訳し、KBA は「太紧张了（とてもプレッシャーを感じる）」という表現を新たに学んで発話した。KBA と KBY は声を合わせて「加油（がんばれ）」を連呼して SG を励ました。KBA はさらに応援している気持ちを伝えようと教師に質問し、「我支持你（応援してます）」と励ました（下線⑥）。2 人とも SG が試験前にもかかわらず交流を快諾してくれたことに感激した様子であった。



スクリプト 5-7-5 写真を用いた体育大会の紹介 (1)

SG: 啊, 我看见, 我看见拿扇子那个 KBA 了
 L: 見えたそうですよ
 KBA: 啊, 谢谢, 恥ずかしい! あはは【笑い】
 SG: で, KBY ちゃんは, どなたですか?
 L: KBY はね, どれなんだろう, どこだっけ, 後ろの方にいましたよね, これか, えーとね, KBY は
 她从后数第三行黄色 T 恤衫, 戴眼镜的那个男生的左面
 SG: 哦哦哦! 見えます! 呵呵【笑い】啊啊, 人好多呀!
 L: 人がいっぱいだね【笑い】それで, えーと, 3, 4 組? だよ?
 KBA・KBY: そうです
 KBA: さっきのさ, KBY のさ, ボール, ボール
 KBY: ああ! KBY: ドッチボール?
 L: そうだね, うん, そうだね, じゃ, もう一つ送りますと
 KBY: えーと,
 L: もう一つ写真がありますね
 KBA: ②还有
 L: うん, 还有, 「まだある」 んですね
 KBY: 还有, 还有
 L: 照片
 KBA・KBY: 照片
 L: あなたに見せてあげます
 KBA: 给你
 KBY: 给你去【KBY が動詞を「去: 行く」と誤ったので「看: 見る」に訂正】
 L: 看, 看, 给你看
 KBY: 看, 给你看
 SG: 还有照片呐
 L: これ? これ一番右側だもんね, これわかりやすいね, よいしょー
 SG: 好
 【SG に写真データを送信中】
 L: うん, 写真を保存しましたと言ってます
 KBA: うれしい! 【写真のクラスと KBA・KBY が映っている位置を確認】
 L: 一番右側です, KBY から, 最右边的, 我是最右边的
 KBY: ③我是, 我是最...
 SG: 嗯, 我知道你是哪个
 L: あ, わかったって, どれか, うん
 KBA: ④「怎么样」って, ふふふ【笑い】【KBA が KBY に感想を聞くよう促す】
 KBY: 怎么样?
 L: 怎么样? 最右边的那个怎么样?
 SG: 呃, 呃, 很好看, 呵呵
 L: うん, いいね

KBY：谢谢
SG：かわいい！
KBY：谢谢！
KBA：照れてる、照れてる【笑い】
L：照れてる【笑い】よかったですね
SG：呵呵呵呵，不客气！

学校行事紹介では、ソフトボール、バスケットボール、クラスの集合写真を送信して体育大会の様子を紹介した。写真は QQ 経由で写真データを送信し、SG が自分のパソコンで画像を開いて見ながら説明を聞くやり方を採用した。KBA と KBY は別のクラスであったため、それぞれの集合写真の中でどこに自分たちが写っているかを説明した。SG は「見えます」「人好多呀（人がすごく多いね）」と中国語と日本語で感想を述べながら楽しそうに閲覧していた（下線①）。KBA と KBY は別の写真を送る際に、教師の支援を得ながら「还有照片给你看（まだ見せたい写真があります）」と説明し、SG も聞き取り理解して「还有照片呐（まだ写真があるの）」と応答した（下線②）。集合写真では 2 人とも非常に小さく映っていたため、KBY が大きく映っている写真をさらに送信し、KBY が中国語で説明しようとしたところ、SG がすぐに KBY を見つけて「我知道你是哪个（どれがあなたかわかった）」と反応した（下線③）。KBA が中国語で「怎么样（どうですか）」と聞くように KBY に促し、KBY が感想を尋ねると、SG は「很好看」「かわいい」と中国語と日本語で感想を述べた（下線④）。KBY は恥ずかしそうに照れて「谢谢（ありがとう）」とお礼を言い、SG も「不客气（どういたしまして）」と応答した。

スクリプト 5-7-6 写真を用いた体育大会の紹介（2）

SG：呃，①你们这个俱乐部需要参加多长时间呐？
L：「これはどのぐらい時間かかったんですか」と聞いてますね，需要多长时间？
KBA・KBY：二日間
L：二日間？ じゃ，二日間，两
KBY：两日
L：两天
KBA：啊，两天
KBY：嗯？ 两
L：两天
KBY：两天
L：体育大会ですね，体育
KBY：体育
SG：两天呐！
L：比赛，「大会」は「比赛」

KBY：比赛
 SG：嗯，②你们这个参加完之后要比赛吗？
 L：これが「比赛」だね
 这就是她们体育比赛啊，她们每年举办一次体育比赛，整两天进行，各种各样的体育大会，体育比赛大会
 【SG が部活動と勘違いしているため、体育大会という学内の行事であることを教師が中国語で説明】
 SG：啊，是跟自己，是跟自己学校的比赛吗？
 L：学校の中の試合ですか？
 KBA：啊，对，何ていうんだろう？クラスごとに
 L：うんうん，そうそうそう，每个班
 KBA：每个班
 SG：啊，这和中国的运动会差不多
 L：運動会みたいなものですね
 KBA：ああ，そうです，あはは【笑い】そうです
 SG：運動会（うんどうかい）？
 KBA：運動会
 SG：はいはいはいはい

写真を見ながら、SG からこの部活動にどのくらいの期間参加したのか質問が出された。体育大会は 2 日間行われたため、KBY が「两日（2 日間）」と回答した。授業で学習した日数の言い方を教師が発音し、KBA はすぐに思い出して「两天（2 日間）」と復唱した。SG は「两天呐（2 日間なの）」と応答した（下線①）。続けて、SG からこれ（写真の活動）に参加した後に試合もあるのか質問が出された。ここで、SG は部活動の写真だと勘違いしていると判断し、教師が写真は体育大会であり、部活動ではないことを中国語で説明した。SG から、自分の学校どうして試合をするのか質問が出され、KBA は「对（そうです）」と答え、クラスごとに試合をすると中国語で説明を試みた。しかし SG がすぐに中国の大学の運動会のようなものだと思いつき確認し、KBA と KBY も「運動会」というわかりやすい行事の言い方があったことに気づいて、双方とも理解した（下線②）。

スクリプト 5-7-7 中国の大学の運動会紹介

SG：①这个月我们学校也有运动会
 L：她们学校也有运动会
 【SG の中国語が早口だったため、教師が語を区切ってゆっくり再度発音し理解支援】
 KBA：她们学校？
 L：她们，嗯，有
 KBA：有
 L：运动会
 KBA：运动，運動会？

L：うん、運動会
 KBA：あるんですね
 L：うんうん
 SG：呃，29 日，29 日
 L：九月？九月份吗？来週？29 日って
 SG：はいはい
 KBA：おお！
 L：もうすぐだ
 SG：9 月 29 日
 KBA：②土曜日？
 L：土曜日だよな，そうだね，土曜日かな？聞いてみて，土曜日ですか？
 KBA：星期
 KBY：星期六，吗？
 KBA：星期六，吗？
 L：嗯，是星期六吗？
 KBA：是星期六吗？
 SG：星期六
 KBA：おお！
 L：うん，何をやるか聞いてみましょう
 SG：这星期六的星期六，嗯
 KBA：③何て言うんだろう，你
 L：你
 KBA：你，做？
 L：做，啊，打
 KBA：啊，打
 SG：今週の土曜日
 KBA：你打什么
 L：球
 KBA：球？
 【接続不良のため待機】
 SG：我呀，我，我体育课的时候选的羽毛球
 L：羽毛球
 KBA：ああ，バドミントン？ああ！加油！ふふふ【笑い】
 SG：はいはいはい！呵呵【笑い】
 KBA：バドミントン，バドミントンなかったっけ？
 KBY：なかったです
 L：ね
 KBA：あ，④你会打羽毛？ 嗯？
 L：嗯，羽毛球
 KBA：羽毛球？
 SG：但是，嗯，呃，我会打羽毛球，但是运动会的时候没有这个项目
 L：ん？どういう意味だろう？
 SG：我们是平时的体育课的时候打羽毛球
 L：あ，なるほど，体育の授業でバドミントンはやってるけど
 KBA：いいですね！へへへ【笑い】
 L：うん，体育大会の時にはないんですね

SG：呃，呵呵呵呵，⑤我运动会什么都没有参加
L：あれ？ははは【笑い】運動会参加しないそうです，不参加，不参加
KBA・KBY：あはは【笑い】わかりました
L：応援団ですね，拉拉队
SG：運動なんか下手です，哈哈
KBA・KBY：あはは【笑い】
KBA：ああ，私もです，私も同じです
L：同じですね
KBA：一样！ふふふ【笑い】
L：一样吗？
KBY：一样，一样
L：我也一样，她也一样
SG：呵呵呵呵，同じです，一样
KBA：一样！あはは【笑い】共通点！
L：まあ，茶道はできるからいいか！みたいな感じで【笑い】そうだね
SG：呵呵【笑い】⑥都是，怎么，比较懒的人
L：うん，はは【笑い】ちょっと動かすのも体が面倒くさいと言っています，怠け者と言ってま
すね，うん
SG：对
L：でも，まあ，文化活動だよ，茶道は
SG：用中国话说是没有运动细胞的人
L：あ，そうなんだ，中国語でね，「没有运动细胞的人」っていうんだって，その
KBA：没有，没有？
L：运动
KBA：运动
L：嗯，细胞的人
KBA：细胞的人
L：「運動細胞がない」って
KBA：あはは【笑い】
SG：没有运动细胞的人
KBY：そこまで？【笑い】
KBA：運動音痴ってやつ？ですね？
L：そうだね！うん，日本語も教えてあげて
KBA：日本語では，運動音痴っていいです！ふふふ【笑い】
SG：用日语怎么说啊？
L：うん，もう一回言って，日本語では？
KBA：日本語では
SG：うん
KBA：運動音痴って言います
SG：あ，運動音痴？
KBA：はい【笑い】
SG：哈哈【笑い】はい，わかりました！
L：ははは【笑い】わかりました！学んだ！ひとつ学んだね，没有运动细胞的人

SG が近々大学の運動会があると紹介した。SG の中国語が早口で学習者は聞き取れなかったため、教師が語を区切ってゆっくり再度発音し、理解支援した。KBA は、一語ずつ復唱しながら意味を思い出し、聞き取り理解した（下線①）。運動会は 29 日であると聞き、学習者は「星期六吗（土曜日ですか）」と行事が土曜日開催であることを確認し、SG から「这星期六，嗯（今週の土曜日、うん）」との回答を得た（下線②）。KBA は何の競技に参加するのか興味を持ち、教師の支援を得て「你打什么球（何の球技をしますか）」と質問した。SG はこれに対して、体育の授業ではバドミントンに参加したと回答した。KBA は教師が復唱した「羽毛球（バドミントン）」を即時に聞き取り理解して、「加油（がんばって）」と応援の言葉を返した（下線③）。KBA は続けて、「你会打羽毛？（バドミントンはできますか）」と質問し、SG はバドミントンはできるが運動会ではその種目はないことを説明した（下線④）。SG は体育大会ではどの種目にも参加出場しない、運動が下手だからと説明した。KBA と KBY は自分たちも文化部で運動が苦手であると言い、「一样（同じです）」と中国語と日本語で応答し、共通点の発見を喜んだ（下線⑤）。SG は、全員怠け者だと笑い、中国語ではそのような人のことを「没有运动细胞的人（運動細胞がない人）」と表現すると説明した。KBA は教師が再度ゆっくり発音した中国語を一語ずつ復唱しながら意味を理解した。KBY は「そこまで（言う）？」と、中国語の表現の強さに驚きを示した。また、KBA は日本語で「運動音痴」と呼ぶことを SG に教え、学習者は相互に新たに活きた中国語と日本語の表現を学んだ（下線⑥）。



スクリプト 5-7-8 FY が書道の授業で書いた中国語を披露

L：她们班里的女同学她自己写的

SG：①字が，字がきれいですね

KBA：谢谢！

L：她今天没能来参加，所以写了个东西给你看，ここもちょっと，一行分の

【「我们喜欢学汉语：私たちは中国語を学ぶのが好き」と書かれた部分を Web カメラに映して見せる】

KBA：②我们，我们喜欢学汉语！

L：看到了吗？
 KBA：我喜欢学汉语
 SG：啊
 L：見えたかな
 KBA：怎么样？ふふふ【笑い】
 L：怎么样，いいね
 SG：我喜欢学汉语，見えます，呵呵呵呵
 KBA：よかった
 L：ね
 KBY：さっきより画像きれい
 L：変えた瞬間はね，いいんだよね，で，だんだん固まってきちゃうんだよね
 好，那我们今天交流就，到此结束吧
 SG：嗯
 L：嗯，じゃ，またねと
 SG：我喜欢学日语！哈哈哈
 L：嗯，她喜欢学日语，学，日语，日语
 【SG の中国語が早口だったため、教師が語を区切ってゆっくり再度発音し理解支援】
 KBA・KBY：ああ！

交流の最後にビデオチャットに切り替え、遠隔交流には欠席した中国語クラスの FY が書道の授業で書いた文字「太好了（よかったね、イイね）」を映して SG に見せた。SG は字がきれいであるとはめ、学習者らは「谢谢（ありがとう）」と応答した（下線①）。また、「我们喜欢学汉语（私たちは中国語を学ぶのが好き）」と書かれた文字を音読し、「怎么样（どうですか）」と SG に質問した。SG は、書かれた文字がよく見えると嬉しそうに笑い、「我喜欢学日语（私は日本語を学ぶのが好き）」と答えた。学習者は教師の支援を得て聞き取り理解した（下線②）。

なお、この日の交流終了後、KBA が次のようなコメントを述べた。「最近、中国とのことがあるじゃないですか。クラスの他の子たちは中国のイメージとか悪いけど、私たちは交流してるから、みんながそうじゃないよってわかるし、そう言っても、『でも実際さー』みたいな感じになっちゃって、悔しい」。その場で教師と学習者は、中国語の学習や遠隔交流の活動という実感を伴った異文化間交流の体験を通じて、自分自身の根拠に基づき判断できる人と、与えられた情報のみに基づき安易に判断してしまう人の違いを痛感し、この交流の意義は大きいことが確認された。

第 7 回の遠隔交流で学習者が実際に使用した中国語の語句と会話表現を表 5・7 に示す。

表 5-7 第 7 回遠隔交流で学習者が活用した語句と会話表現の一覧

話題分野	言語運用能力レベル	活用した中国語	日本語訳
自分と身近な人々	1-a. 名前（姓名）や属性（高校生、学年、年齢、誕生日など）を言ったり尋ねたりできる	我叫+姓名。	私は（フルネーム）と申します。
		我们都姓+姓。	私達は 2 人とも（姓）という苗字です。
		你叫什么名字？	お名前（フルネーム）は？
	2-b. 自分や身近な人々の外見（背が高い、紙が長いなど）について、口頭で描写し合うことができる	聪明	賢い、頭がいい
		我(是)穿蓝色 T 恤衫(的)。	私は青い T シャツを着ています。
		我(是)拿扇子(的)。	私はうちわを持っています。
学校生活	2-e. 自分がクラスや学校・クラブ活動などで担っている役割（委員や係りなど）について、話すことができる	我们都参加茶道部了。	私達は茶道部に入っていました。
		根据自己兴趣（参加）。	自分の興味に合わせて（参加する）。
	3-d. 自分の学校の行事（行事名、時期、内容など）について、口頭でまたは文章にして紹介することができる	有什么活动？	どんな行事（イベント、活動）がありますか？
		给你介绍体育比赛的照片。	体育大会の写真を紹介します。
		还有照片给你看。	まだ見せたい写真があります。
		两天	2 日間（体育大会の開催期間について説明）
		每个班	全クラス（体育大会の参加者について説明）
		运动会	運動会
		她们学校也有运动会。	彼女達の学校も運動会があります。
		是星期六吗？	土曜日ですか？（体育大会の開催日について質問）
		你打什么球？	あなたは何の球技をしますか？
日常生活	1-a. 1 日の基本的なあいさつができる	你好。	こんにちは。
		再见	さようなら。
趣味と遊び	1-c. どんなこと（スポーツ、映画、読書など）をするのが好きか、口頭で紹介しあうことができる	爱好	趣味
		我（们）喜欢～。	私（達）は～が好きです。
	2-f. 好きなものや趣味が何か、口頭でまたは書いてやりとりできる	看棒球	野球観戦
		玩儿烟火的活动	花火をするイベント
		学习汉语	中国語を学ぶ（こと）
		想不到我的爱好。	私の趣味は思いつかない。
		我没有爱好。	私は無趣味です。
		差不多	だいたい同じ
		你会打羽毛球吗？	バドミントンはできますか？

		(我是)没有运动细胞的人。	私は運動音痴です。
2-b. 休みの日にしたこと（いつ、どこで、誰となど）について、感想（楽しかった、疲れたなど）を含めて、口頭で伝えあうことができる	今年我是应考, (所以)我没做特别(有)夏天氛围的事情。	今年を受験生なので、私は特に夏休みらしいことはしませんでした。	
	我们从七月二十六号到八月五号参加讲习了。	私達は 7 月 26 日から 8 月 5 日まで講習に参加しました。	
	英语讲座	英語の講座	
	因为我们从清早参加讲座, (所以)很累。	私達は早朝から講習に参加したので、とても疲れしました。	
	八月七号我参观了志愿上的大学。	8 月 7 日に自分が行きたい大学を見学しました。	
	为了考上大学, 我想坚持学习。	大学に受かるために、勉強をがんばりたいです。	
	八月八号, 我们去看了朋友的芭蕾舞发表会。	8 月 8 日に私達は友達のパレエの発表会を観に行きました。	
	那个芭蕾舞很精彩, 我很感动。	そのパレエはとてもすばらしくて、私は感動しました。	
	我介绍一下我的暑假。	私の夏休みを紹介します。	
	七月二十八号我和朋友一起去看了电影。	7 月 28 日に私は友達と映画を観に行きました。	
	题目是《关八战士》。	タイトルは「エイトレンジャー」です。	
	他们都很帅。	彼らはとてもかっこよかったです。 ※映画の登場人物に関する説明であるためここに分類	
	八月一号我参观了大学。	8 月 1 日に私は大学を見学しました。	
	我了解各种各样的大学的情况。	私は大学のいろいろな様子について知りました。	
	八月八号我也去了芭蕾舞发表会。	8 月 8 日に私もパレエの発表会に行きました。	
	芭蕾舞太漂亮了!	パレエはとてもきれいでした!	
	我没做特别的事情。	私は特別なことはしませんでした。	
	不过, 过得很愉快。	でも、とても楽しく過ごしました。	
	我打网球了。	私はテニスをしました。	
	很快就结束暑假。	すぐに夏休みが終わってしまいます。	
	我没能完成学习计划。	私は学習計画を終えることができませんでした。	

		今后要好好努力。	これから一生懸命努力しないといけません。
		请给我们介绍你的暑假。	あなたの夏休みを紹介してください。
		（暑假）很长。	（夏休みは）長いですね。
		我们的暑假很短。	私達の夏休みは短いです。
		三个星期	3週間 ※夏休み期間の説明であるためここに分類
		休息	休む、休憩する ※夏休みの過ごし方の説明であるためここに分類
		休闲	のんびりする、レジャーをする ※夏休みの過ごし方の説明であるためここに分類
		来得及	間に合う ※夏休みの学習計画に関する説明であるためここに分類
		太紧张了。	プレッシャーがすごい。ひどく緊張する。 ※夏休みの学習計画に関する説明であるためここに分類
人とのつきあい	1-a. 人とのつきあいでよく使う基本的なあいさつ表現（初対面、感謝、励まし、謝罪、断りなど）を言ったり、聞いて理解したりできる	初次见面。	初めまして。
		好久不见。	お久しぶり。
		谢谢。	ありがとう。
		太好了。	いいね。よかったね。よかった。
		好的。	いいですよ。わかりました。
		怎么样？	どうですか？
		一样，一样。	同じですね。
	1-g. 相手のこと（性格、特技など）を、口頭でまたは書いてほめることができる	很漂亮。	きれいですね。
		好看	きれい、美しい、かっこいい
	2-g. 人とのつきあいを円滑にできるような表現（ねぎらい、励まし、期待など）を、言ったり、聞いて理解したりできる	加油。	頑張れ。
		辛苦了。	お疲れさま。
		我支持你。	応援しています。

その他の 汎用的な 会話表現	数の多さを表す	很多	たくさんの、多くの
	肯定	对	正しい、合っている、そうです、その通り
	質問に答えられないときの表現	不知道	知らない、わからない
	紹介の表現	我（来）介绍一下	～を紹介します
	情報を追加する際のつなぎの表現	还有	それから～もあります
	理解したこと示す	明白了。	わかりました。

5.1.5 第8回、第9回「中国からの質問：日本のニュース、北海道の特色、高校生活、娯楽、卒業後の進路」

第8回、第9回の遠隔交流は、日本の高校生活を中心とする中国側からの質問に対する回答を中国語で紹介すること、関連する内容について質疑応答を行うことを目標とした。遠隔交流の準備用に学習者は中国語の質問を日本語に訳し、内容について調査するペーパーワークを行った。また、語句や表現を教師が添削して適切な語句や表現についてフィードバックし、各自がより正しい文に修正して交流に臨んだ。課外の時間を利用して各自がピンインを調べて発音を練習しておくこととした。中国側からの質問一覧と、日本語訳及び調査学習の分担を示したワークシートの一部を以下に例示する（全文は付録12を参照）。

【トピック2】日中文化比較

Nimen xuéxiào yǒu liúxuéshēng ma Liúxuéshēng zài Rìběn de shēnghuó zěnmeyàng
你们 学校 有 留学生 吗？ 留学生在 日本 的 生活 怎么样？

【担当：KB】訳：

Nimen xǐhuān xué Hànyǔ ma Xuéxí Hànyǔ nánbùnnán Shénme dìfāng bǐjiào nán
你们 喜欢 学 汉语 吗？ 学习 汉语 难不难？ 什么 地方 比较 难？

【担当：YG】訳：

【トピック4】学校生活、スポーツ

Qǐng dàjiā jièshào yíxià Rìběn gāozhōngshēng de rìcháng huódòng hé shēnghuó fāngshì
请 大家 介绍 一下 日本 高中生 的 日常 活动 和 生活 方式。

【担当：YZ】訳：

Huíjiā hòu fùxí gōngkè ma Zài jiā zìxué jǐ gè xiǎoshí
回家 后 复习 功课 吗？ 在 家 自学 几 个 小时？

【担当：MT】訳：

【トピック5】将来の進路について

Duìyú dàxué huò zìjǐ de wèilái yǒu shénme dǎsuàn jìhuà
对于 大学 或 自己 的 未来 有 什么 打算、计划？

【担当：KBA】訳：

【トピック 6】ドラマ、映画

Xiànzài zài Rìběn liúxíng de diànyǐng shì shénme

現在 在 日本 流行 的 电影 是 什么？

【担当：FY】訳：

図 5-7 「第 8 回、第 9 回 中国からの質問」ワークシートの例

5.1.5.1 第 8 回遠隔交流

第 8 回の遠隔交流は 11 月 5 日に実施した。学習者 2 名（YZ、YG）と中国側 9 名（ZYTほか友人 2 名, YJほか友人 1 名, LL, XJ, TT, MYL）が参加した。中国側は 3 グループであり、3 つのセッションを設定した。女子寮はインターネットの接続状況が不安定であったため、QQ のビデオチャットとテキストチャットを併用して交流した。

【セッション 1】

16：45～17：30 に ZYTほか友人 2 名との遠隔交流を実施した。まずはお互いに簡単な自己紹介をし、教科書にある中国地図を見ながら交流相手の都市の位置を確認した。主に中国側からの質問に答えることに終始したため、準備した詳しい高校生活についてはあまり紹介できず、次回以降の交流へ持ち越しとした。交流の様子を以下の交流記録スクリプトに示す。



スクリプト 5-8-1 中国側の自己紹介

ZYT：こんにちは！ZYT です、いま 3 年生です、①出身地は蘇州です、蘇州分かりますか？苏州

L：蘇州わかりますか？南の方のすごく有名な観光地、苏州

ZYT：上海に近く、近いです、もしチャンスがあれば…ふるさとへ遊びに行きましょ！

YG：我想去

YZ：うんうん【2 人ともうなずき】

L: 我 (Wǒ), 想 (xiǎng), 去 (qù), 我 YZ になってるから【笑い】
 【YG の声調が誤っており YZ の名前のように聞こえるので教師が正しい発音を指導】
 YZ・YG: あははは【笑い】
 友人 A: こんにちは！私は友人 A です, 私達は同じクラス, 私達 3 年生です, 同じ寮住んでいます
 L: 終わりかな？何か質問してあげるか
 友人 A: ②私の故郷は遼寧省, ご存知ですか？
 YZ: 我們不知道, ははは【笑い】
 友人 A: 瀋陽, (しんよう) 沈阳听说过吗？大连？
 L: 沈阳, 瀋陽わかりますか？大连わかりますか？大连【教師が日本語に訳して理解支援】
 YZ: 啊啊, 知道, 知道
 友人 A: 大连は遼寧省の…
 L: 省都ですね, 省都, ここですね, 今地図を見ていると言って
 【教師が教科書を取り出し中国全土の地図を学習者に示して位置を確認】
 YZ: 我们看了地图, 明白了
 L: 苏州在哪儿？苏州, 探して, 上海の近く【YZ と YG は地図上の蘇州を探す】
 L: 大连, わかりますか？在哪儿？【YZ と YG は地図上の大连を探す】
 YZ: ここだ！
 L: そうですね, 瀋陽はここ
 YZ・YG: おおー
 L: 瀋陽は札幌と姉妹都市ですからね, 覚えてあげてください
 YZ・YG: へえー
 L: わかりましたと伝えて
 YZ: 明白了！
 L: ははは【笑い】 あ, 見てる, 日本地図を見てますね, 彩色的好看
 【画面の向こうで中国側は日本地図を広げて見ている様子】
 ZYT: ③金曜日は外教 (がいきょう: 外国人講師) のテストがあります, 金曜日
 L: 金曜日！？今週ですね！もうすぐですね？
 YZ・YG: あははは【笑い】
 YZ・YG: 加油！加油！
 友人 B: こんにちは！わたしは友人 B と申します, うーん, 私の出身地は友人 A と同じです, 遼寧省に生まれました, ④小さいころ私はバイオ, バイオリンを勉強しました, だから私は音楽が好きです
 L: お！YG？
 YG: 一緒, 一緒だ
 L: 私も一緒です, 我也一样
 YG: 何？【教師の言った語句が聞き取れず YZ に支援を求める】
 YZ: 我也一样
 YG: 我也？我也一样
 友人 B: ああ！縁がありますねえ！ふふふ【笑い】
 L: 縁がありますよ！ほんと, 有缘份, 有缘份, いいですねえ
 友人 B: 6 年も勉強しました
 L: ⑤YG? YG 练习了什么乐器？
 YZ: 何の楽器やってたかって
 YG: バイオリン

まずは相互に簡単な自己紹介を行った。YZ と YG は過去の交流で自己紹介を複数回行って

いるため、原稿なしで覚えている内容を思い出しながら話した。氏名と誕生日を言い、YZ は趣味の武術、好きなカンフー映画の俳優、11 月に「漢語橋」世界中国語スピーチコンテストで中国へ渡航することについて紹介した。中国側は学習者 2 人の中国語を即時に聞き取り理解した。続けて、中国側の自己紹介を聞き取った。ZYT は自分の出身地が蘇州であること、上海の近くであること、遊びに来てほしいことを日本語で紹介した。YG は「我想去：行きたい」と中国語で応答し、YZ も同意した（下線①）。ZYT の友人 A は出身地が遼寧省の瀋陽であることを日本語で紹介し、瀋陽の読み方と大連の近くであり知っているかどうかを中国語で質問した。YZ は「知道，知道（知ってる、知ってる）」と中国語で応答した。YZ と YG は教科書の地図を確認し、YZ が「我们看了地图，明白了（私たちは地図を見ました、わかりました）」と 2 つの都市の位置を理解したことを伝えた（下線②）。また、札幌市と瀋陽市が姉妹都市であることを教師の解説を聞いて新たに知った。ZYT は週末に試験があると日本語で話し、YZ と YG は「加油（頑張れ）」と応援した（下線③）。ZYT の友人 B は、友人 A と同じく出身地が遼寧省であること、バイオリンを習っており音楽が好きなことを日本語で紹介した。YG も幼少期からバイオリンを習っていたので、「一緒だ」と同じであることを驚いた。教師が中国語での表現を支援したがすぐには聞き取れず、YZ の支援を得て「我也一样（私も同じです）」と中国語で伝えた。教師からの中国語の質問に対しても、YZ が積極的に支援して YG が理解し応答するという協調学習が成立する場面があった。



スクリプト 5-8-2 自己紹介に関する質疑応答

友人 B：① あなた達は何年生？高校何年生ですか？中国語を何年…学了多长时间？

L：对，你们汉语学了多长时间？请回答，请用汉语回答

YG：学了，两个，あれ？【笑い】

L：焦る【笑い】焦りますね，まず何年生ですか？你们是几年级的学生？

YG：我们是三年级的学生

L：对，高中三年级的学生

YG：我们学汉语了 1 年半了

友人 B : 哦哦, 上手, 上手です
 YG : 谢谢, 谢谢
 L : じゃあ, あちらにも聞いてみますか? どのくらい日本語を勉強したか
 YZ : んー, ②你们学习日语多长时间了?
 友人 B : 两年半了
 YZ : ああ, ああ【2 人ともうなずき】
 友人 B : そろそろ 3 年です, 日本語はとても難しいと思います
 YZ・YG : ああー
 L : 你们呢? 汉语难吗? あ, どうぞ, 質問して, どうぞ
 【中国側が何か言いかけたので続けるよう促す】
 友人 B : ③私達は日本料理が好きです
 YZ・YG : おおー
 友人 B : チャンスがあれば日本へ行きたいです
 YZ・YG : おおー
 友人 B : 山形市〇〇大学へ留学したいです, でも今は行くかどうかまだ決めてない, 決めていま
 せん
 YZ・YG : へえー
 友人 B : ④你们也说一点吧
 L : 何かちょっとしゃべってくださいって
 YG : 请, 请来北海道!
 友人 B : 北海道, ほっかいどう? さっぽろ?
 YG : 对! 对!

自己紹介に関連して、学年と中国語学習歴について中国側から日本語と中国語で質問が出された。YG は突然の質問に焦り、年数を数量詞を思い出せずに混乱した様子が見られた。まずは学年について、その後学習歴について中国語で回答した。中国側に「上手です」とほめられ、YG は「谢谢（ありがとう）」と応答した（下線①）。続けて同じ質問を中国語で問うこととし、YZ は「你们学习日语多长时间了（あなたたちは日本語を勉強してどのくらいになりますか）」と質問した。中国側の「两年半了（2 年半になります）」という回答を学習者は即時に聞き取り理解してうなずいた。また、日本語はとても難しいという中国側の説明を聞き、学習者らは納得した反応を返した（下線②）。中国側はさらに、日本料理が好きなこと、日本へ来てみたいこと、山形に留学したいがまだ決めていないこと等を日本語で紹介した（下線③）。中国側は学習者らも何か話すよう促し、YG は「请来北海道（北海道に来てください）」と誘った。中国側は「北海道? 札幌?」と質問し、YG は「对! 对!（そう、そう）」と応答した（下線④）。



スクリプト 5-8-3 留学に関する質疑応答

友人 B : ①以后想来中国留学吗?

L : 想来中国留学吗? 想, 来, 中国, 留学吗?

【学習者が聞き取れていないので教師がゆっくり再度発音し理解支援】

友人 B : 留学したいですか?

YZ : ああ, 留学したいか

YG : 我想去

友人 B : ②你想去中国哪里?

YG : 哪里

L : 「哪里」は「どこ」という意味です

YG : ああ, どこに行きたいですか?

YZ : うん

YG : 我想去…どこだろうなあ…「お薦めはどこですか」って何て言うの?

【YG が YZ に支援を求める】

YZ : あーそれはちょっとわかんない

L : 「どこがいいですか?」は? 中国はどこがいいですか

YG : 中国, 什么?

L : あ, 「什么地方」でもいいよ

YG : 中国, 什么地方

L : 「よい」

YG : 好?

友人 B : 中国什么?

YG : 什么地方好? 请告诉我

L : もう一回言ってみよう, たぶん音が聞こえていないかも

YG : 中国, 什么, 地方, 好呢?

【接続不良のため再接続】

L : じゃあ, お薦めを聞いてみようか, 「蘇州には何かいいものがありますか」, 「蘇州」は「苏州」

YG : ④苏州, 有什么, 好玩的?

友人 B : 苏州有很多很多好玩的

L : ははは【笑い】たくさんか

友人 B : 苏州有园林, 而且有很多好吃的

L : 好吃的

YG : 好吃的?

L : 有很多好吃的

友人 B : 食べ物, いっぱいがあります【2 人ともうなずき】

YG : 太好了! ふふふ【笑い】

ZYT：⑤你们有机会的话，一定要来苏州玩，因为它离上海、杭州都特别近

YZ：ふうん【YZは中国側の言うことを概ね聞き取り理解，うなずき】

L：上海と杭州が有名な観光地なんですよ、比较近

友人 B：蘇州は夏はとても熱くて、東京と大体同じです

L：うん、そうね、暑い、でも海沿いだから内陸よりはまし

【教師が地図を学習者に見せながら蘇州の位置を確認】

中国側が日本留学したいという話の流れから、学習者らも中国留学したいかどうかの質問が出された。学習者が聞き取れなかったため、教師が語句を区切ってゆっくり発音し理解支援を提供した。中国側も日本語で言い直し、学習者らも相手の言うことを理解した。YGは「我想去（行きたい）」と回答した（下線①）。これに対して中国側から、どこに留学したいかという質問が出された。YGはお薦めの都市を中国側に教えてもらえるよう依頼しようとしたが、文を作ることができず YZ に支援を求めた。しかし、YZ もすぐには文を作ることができなかった（下線②）。そこで、教師が既習語句で表現できる文を日本語で示し、YG は教師の支援を得ながら独力で訳して「中国什么地方好？请告诉我（中国はどんな所が良いですか？教えてください）」と質問した（下線③）。また、蘇州のお薦めについて、YG は「苏州有什么好玩的（蘇州にはどんな面白い所がありますか）」と質問した。これに対して中国側は、蘇州には「園林」のような面白い所がたくさんある、おいしいものもたくさんあると回答した。YG は更に、「好吃的？（おいしいものですか）」と質問し、中国側は「おいしいものがたくさんある」と日本語で説明して、YG は「太好了（すごくいいね）」と応答した（下線④）。ZYT は、チャンスがあれば蘇州に遊びに来てほしいこと、上海や杭州からとても近いことを中国語で紹介した。蘇州と東京の夏が同じくらい暑いことも日本語で説明した。YZ は概ね聞き取り理解したが、YG は聞き取れていなかったために、教師が日本語訳して理解支援すると共に、教科書の地図を見ながら蘇州、上海、杭州の位置関係を確認した（下線⑤）。



スクリプト 5-8-4 自分たちの街の気候について

友人 B : ①遼寧省の気候は、北海道と大体同じです、いつも雪が降っています
 YZ・YG : ふうん、へえー【2 人とも真剣な表情で聞きながらうなずき】
 L : 雪降ったか聞いてみて
 YZ : どこだっけ？
 L : 長春
 YZ : ②長春下雨吗？下雪，下雪，了吗？
 【YZ は自分で「雨」と「雪」の言い間違いに気付きすぐに訂正】
 ZYT : 已经下过了
 YZ : おおー
 L : うん、已经下过了、こっちはどうですか
 YZ : 北海道还，还没，下雪
 ZYT : ③我们这里已经很冷了【2 人ともうなずき】
 L : 很冷，寒いは寒いよねこっちも
 YZ : うん、北海道也很冷
 ZYT : 呵呵呵呵
 友人 B : ④中国はある映画は北海道で、拍摄，《非诚勿扰》
 L : 《非诚勿扰》見ましたか？道東で撮ったの、2～3 年前に
 YZ : ああー、なんか聞いたことあるかも
 友人 B : 《非诚勿扰》看过吗？中国の映画とか、ドラマとか、見たことがありますか
 YZ : 我看过成龙的电影
 友人 B : 看了什么？
 YZ : 成龙的电影
 友人 B : 成龙？成龙的电影啊…北海道、今寒いですか？
 YG : 北海道很冷
 友人 B : 私達の作文授業の先生、先生のふるさととも北海道です、彼女のスキーが上手です、スキーが好きです
 L : あはは【笑い】ギャグだ【笑い】
 YZ・YG : あはは【笑い】

蘇州は東京と同様に暑いという話の流れから、中国側が遼寧省の冬は北海道と同様に雪が降り寒いと説明し、学習者らは中国の気候の違いについて理解した（下線①）。交流相手の大学は長春市にあるため、YZ は「長春下雨吗？下雪了吗？（長春は雨が降りましたか？雪が降りましたか？）」と質問した。YZ は、「雨」と「雪」を言い間違えたことにすぐに気付いて訂正した。ZYT が「已经下过了（もう降りました）」と回答し、学習者らは今年の冬に入って長春ではすでに雪が降ったことを知った。YZ は「北海道还没下雪（北海道はまだ雪が降っていません）」と、北海道（札幌）では初雪がまだであることを説明した（下線②）。ZYT は、「我们这里已经很冷了（私たちのところはもう寒い）」と寒さが厳しいことを説明し、YZ は「北海道也很冷（北海道も寒いです）」と応答した（下線③）。中国側は、北海道ロケがあった『非诚勿扰（邦題：狙った恋の落とし方。）』（2008 年公開の中国の正月映画、

道東でロケがあり中国人観光客に広く北海道の自然の美しさを宣伝するきっかけとなった作品)について言及し、この作品を見たことがあるか、他の中国映画やドラマを見たことがあるか質問した。YZ は『非诚勿扰』は聞いたことがあるが、実際に見た作品としては、「我看过成龙的电影 (ジャッキー・チェンの映画を観たことがある)」と回答した。中国側が「看了什么? (何を観たの)」と聞き返したため、YZ は「成龙的电影 (ジャッキー・チェンの映画)」と再度説明し、中国側は「成龙? 成龙的电影啊 (ジャッキー・チェン? ジャッキー・チェンの映画か)」と納得した反応を示した。北海道に関連して中国側は、大学の日本人講師の出身地が北海道であり、スキーが好きで上手であることを紹介した。偶然にも「スキーが好き」というダジャレのような発言となったために、大きな笑いが起きた。



スクリプト 5-8-5 高校の授業に関する質疑応答

L: ①你们滑雪吗? 喜欢滑雪吗? 【教師が学習者に対して中国語でスキーをやるか質問】
友人 B: 時々, 体育の時間でスキーをします
YZ・YG: へえー
L: 中国も体育の授業でスキーをやるんだ, 知らなかった, 私達もやりますよね
【2人ともうなずき】
YG: ②我们有滑雪课, 滑雪课
ZYT: 每周一次吗?
L: 每个星期一次吗? 每週?
【「週」の言い方は「周」ではなく「星期」で学習したため教師が言い換えて理解支援】
YG: 3回くらいあるよね
YZ: うーん, 2回, 3回
L: 年明けにもあるよね
YG: うーん, たぶん年に2回, 我有2次, 在冬天
YZ: ③你们有…
L: いくつ
YZ: 几节? 滑雪课?
ZYT: 我们有…每学期, 一回だけ
L: 那, 一样啊
ZYT: ④中国語に関する科目, 何の科目がありますか?
YZ・YG: 科目?
ZYT: 中国語に関する授業, 今勉強しているの科目, 私達は, 日本の風俗, 通訳, 作文…以上です

L: 有很多, 她们是日语专业, 私たちは中国語ですね

YZ: 我们学习只有汉语课

ZYT: ⑤あ、そうですか? 你们每天有几节课?

L: 先週やったかな, 先々週かな? 每天有几节课?

YG: ああ! 每天我有 6?

YZ: うん、6

YG: 6 节课

ZYT: 6 节课

L: あちらはどうかな

YG: 你呢?

ZYT: 我们每天大约有 6 节课, 但是明天只有两节课

L: 好啊, 明天, 两节课 【2 人ともうなずき】

L: じゃあ, 1 時間何分か聞いてみましょう

YZ: ⑥一节课有多少分钟?

ZYT: 45 分钟

YZ: 我们有 50 分钟

L: 日本の大学は 90 分ですね

YZ: 日本的大学有 90 分钟

ZYT: もう一度お願いします

YZ: 日本の高中有 50 分钟、日本的大学有 90 分钟

大学と高校の授業に関連して、教師が中国側にスキーをやるかどうか、好きかどうかを質問した。これに対して、中国側は体育でスキーをすると回答し、YZ と YG は中国の大学も体育でスキーの授業があることを新たに知った（下線①）。YG が「我们有滑雪课（私たちはスキー授業があります）」と説明すると、ZYT が「每周一次吗?（毎週 1 回ですか）」と質問を返したため、YG と YZ で話し合い、YG が「我有 2 次, 在冬天（2 回あります、冬に）」と回答した（下線②）。中国の大学はどうか、YZ が教師の支援を得ながら「你们有几节滑雪课?（あなたたちは何回スキー授業がありますか）」と質問した。ZYT は中国語と日本語で、每学期 1 回だけスキー授業があると回答した（下線③）。その他の授業について、ZYT は中国語に関する何の科目があるかを日本語で質問し、自分たちの大学では、日本文化、通訳、作文等があると紹介した。高校で開講されているのは中国語のみなので、YZ は「我们只有汉语课（僕たちは中国語の授業だけです）」と回答した（下線④）。ZYT は更に 1 日の授業時間数について、「每天有几节课?（毎日何時間授業がありますか）」と質問した。授業で学習したばかりの語句と文であったため、YG はすぐに時間数の言い方を思い出し、YZ と共に考え相談しながら、「每天有 6 节课（毎日 6 時間授業があります）」と回答した。続けて、「你呢?（あなたは）」と同じ質問を ZYT に問い返し、「毎日だいたい 6 時間授業だが、明日は 2 時間しかない」という中国語の回答を聞き取り理解した（下線⑤）。授業時

間の長さについて、YZ は「一节课有多少分钟？（1 時間の授業は何分ですか）」と質問し、ZYT は 45 分授業であると回答した。これに対して YZ は、「我们有 50 分钟（僕達は 50 分あります）」と説明した。YZ は続けて、「日本的大学有 90 分钟（日本の大学は 90 分あります）」と日本の大学の状況も紹介した。ZYT が聞き取れなかったために、YZ はと高校と大学の状況を再度説明した（下線⑥）。



スクリプト 5-8-6 卒業後の進路に関する質疑応答

ZYT：①你们以后准备考什么样的大学啊？

L：おお、進路について

YZ：我打算学康复，康复师

L：最初にスポーツ医療と言った方がいいかな

YZ：我学习运动医疗

ZYT：运动医疗？【YZ うなずき】

YG：えっと…毕业以后我打算上大学，我在北海道上大学，我打算学习艺术文化

L：艺术（yìshù）【YG の声調が誤っているため教師が正しい発音を指導】

YG：艺术文化

ZYT：饮食文化？

YG：艺术文化

ZYT：芸術文化？

YG：对！ふふふ【笑い】

L：みなさんの学校にもそういう学科があるかな？芸術文化系がありますか？

YG：②你们的学校，有，艺术文化，系吗？

ZYT：ありません，私達の大学は外国語大学だから，ドイツ語，韓国語，フランス語，イタリア語，ロシア語など色々な外国語の学部があります

YZ・YG：ふーん【2 人ともうなずき】

L：ここの学部はどのくらい人がいるか聞いてみたら？彼女たちは日本語学部です，日语系

YG：ふふふ【笑い】ごめんごめん【YG が質問の文をうまく作れないので YZ にマイクを譲る】

L：中国行く前に特訓しといった方がいいか【笑い】

【漢語橋スピーチコンテストの中国大会に向けて会話実践をがんばるよう教師が YZ を励ます】

YZ：③日语系，有

L：どのくらいの学生，「いくらですか」と同じ，大きい数を聞く

YZ：几口人？多少？多少学生？

ZYT: 多少学生? 一共 8000 人左右, 8000 くらい, 整个学校有 8000 人
 L: おお, それは全校ではないのか【笑い】
 YZ・YG: あはは【笑い】
 L: 日本語科だけだったら
 YZ: ④日语系有多少?
 ZYT: 日本語学科に何人がいますか? 嗯, きっと 500 人ぐらい, 女性に 400 人以上, は女の子で
す, 私達のクラスは女の学生は 23 人, 男の学生は 3 人だけ
 L: こちらも同じであることを説明してください
 友人 B: ⑤中国語を勉強している学生は男性の方が多いですか? そして, 女性の方が多いです
か?
 YZ: 女学生很多, 但是男学生很少
 ZYT: 呵呵, 跟我们一样
 YG: 我们班里, 有 8 个学生
 L: 7 人が女子
 YG: 7 个学生是女学生, 一个学生是 (他)【YG が YZ を指さす】
 ZYT: ああ, わかりました

ZYT から、卒業後にどこの大学を受験する予定か質問が出された。YZ は、スポーツ医学を学んで選手をケアする理学療法士（スポーツリハビリ）の仕事に従事したいという準備原稿を作成しており、それに従い「我打算学康复师（僕はリハビリ師になるつもりです）」「我学习运动医疗（僕はスポーツ医療を勉強します）」と回答した。YG は、北海道で進学し、人文系の学部で学びたいという準備原稿を作成しており、それに従い「毕业以后我打算上大学（卒業後は大学に進学するつもりです）」「我在北海道上大学（私は北海道で大学に進学します）」「我打算学习艺术文化（芸術・文化を勉強するつもりです）」と回答した（下線①）。ZYT は YG の発音が聞き取れず、「饮食文化?（飲食文化ですか）」と確認したため、YG は「艺术文化（芸術・文化）」と言い直し、ZYT も聞き取り理解した。続けて、交流相手の大学の専攻について、YG は「你们的学校有艺术文化系吗?（あなたたちの学校には芸術・文化学科がありますか）」と質問した。ZYT は、芸術文化学部はなく、外国語大学なので各国語の学部があることを日本語で紹介した。YG と YZ は、中国の外国語大学の学部（言語種別）について新たに知った（下線②）。さらに、大学の学生人数について、YZ は、「日语系有多少学生? : 日本語学部は何人の学生がいますか」と質問した。人数を問う表現について、家族構成を問う表現との混乱があったが、教師の説明を受けてすぐに正しい疑問詞を用いた文を作ることができた。これに対して ZYT が「大学全体で 8000 人程度」と回答したため（下線③）、YZ は「日语系有多少?（日本語学部はどれくらいですか）」と再度質問した。ZYT は日本語学部だけの人数について、学部全体で 500 人だが男女比では女子

学生の比率が圧倒的に高い（400人は女子）こと、自分たちのクラスでも女子23人、男子3人であることを日本語で回答した（下線④）。学習者らの高校も、中国語履修者の男女比は同様に女子が圧倒的に多く同様の状況であることを知った。ZYTから中国語を学ぶ生徒は男子と女子のどちらが多いかという質問が出されたので、YZは「女学生很多，但是男学生很少（女子学生は多いけど、男子学生は少ない）」と回答した。ZYTは、「跟我们一样（私たちと一緒に）」と笑い、YGは具体的に、「我们班里，有8个学生（私たちのクラスは8人の生徒がいます）」「7个学生是女学生，一个学生是（他）（7人が女子学生で、1人が（彼））」とYZを指さして、中国語クラスの男子はYZのみであることを説明した。ZYTもYGの中国語を即時に聞き取り理解した（下線⑤）。

【セッション2】

17:40～18:00にLL, XJ, TT, MYLの4名との遠隔交流を実施した。初対面で交流時間が短かったため、お互いに簡単な自己紹介をして、制服を見せ合う等した。セッション1と同様、準備した詳しい高校生活についてはあまり紹介できず、次回以降の交流へ持ち越しとした。交流の様子を以下の交流記録スクリプトに示す。



スクリプト 5-8-7 YZとYGの自己紹介

YZ：你们好！

LL, XJ, TT, MYL：你们好！こんにちはー

L：じゃ、食べながら、お腹すいたから【教師がおやつのドーナツを学習者に提供】

LL, XJ, TT, MYL：甜甜圈！？私も食べたいです！

L：日本はもう6時でお腹がすいていると

【画面の向こうで中国側も何か食べ物を出して食べている様子】

L：什么东西？

LL, XJ, TT, MYL：辣椒！

L：え、唐辛子？

YZ・YG：え？あはは【笑い】

YZ：好吃吗？

LL, XJ, TT, MYL：ちょっと辛いですが、でもおいしい，超おいしい！

YZ・YG：あはは【笑い】
 L：じゃ、食べながらやりましょう【2人ともドーナツを食べようとする】
 L：二人で一緒に食べたらしゃべるひといなくなっちゃう【笑い】交互に食べて
 YZ：はい、你好
 L：まず自己紹介、何年生で名前は何ってやつ
 LL, XJ, TT, MYL：②你好！はじめまして
 YZ：你好，初次见面，我叫 YZ【中国側が YZ の名前を聞き取れず何度か復唱】
 YZ：我们是高中 3 年级的学生
 LL, XJ, TT, MYL：私は大学 3 年生です、高校 3 年生？いくつですか？
 YZ：ああー、我 18 岁
 LL, XJ, TT, MYL：わあー、若いですねえ
 YG：我 17 岁
 LL, XJ, TT, MYL：19？17？17 歳ですか？
 YG：对, 17 岁

夕刻を過ぎて空腹を感じる時間帯のため教師が準備したおやつのドーナツを食べながらセッション 2 の相手と交流を開始した。中国側はドーナツに気付き、自分も食べたいと日本語で話し、自分たちは唐辛子を食べ始めた。YZ が驚いて「好吃吗？（おいしいですか）」と質問すると、「辛いです、でもおいしい！」と紹介し、大きな笑いが起こった（下線①）。自己紹介では、YZ が初対面の挨拶、氏名、学年を中国語で紹介した。中国側は日本語で年齢を質問し、YZ と YG はそれぞれ中国語で自分の年齢を回答した。中国側は、学習者らの年齢を聞き、「若いですねえ」と日本語で感想を述べた（下線②）。



スクリプト 5-8-8 中国側の自己紹介

YG：你好，我叫 YG
 LL, XJ, TT, MYL：YG？私は MYL と申します，私は 19 歳です
 私は XJ です
 はい，私は LL と申します
 私は TT と申します
 【中国側もテキストチャット欄にフルネームを漢字で入力】
 LL, XJ, TT, MYL：①你们猜一下我们有多少岁了？你们猜一下我们最大的是谁？

L: 何歳だと思いますか？一番年上はどの人だと思いますか？
 【中国側の発話が長いので教師が日本語に訳して理解支援】
 YG: えへへ【笑い】
 L: 何歳ぐらいに見えますか？
 YZ・YG: …20…何歳か？でも中学生に見える【笑い】
 YG: 你们, 你们 16 岁? 【YZ 大きくうなずき】
 L: あはは【笑い】看来很年轻呢
 YG: 16 岁?
 LL, XJ, TT, MYL: 16 岁, 哈哈【笑い】もう大学 3 年生かな, そんな若くないよ【笑い】
 YG: ②今年多大? 岁?
 L: そうそう, 今年多大岁数?
 LL, XJ, TT, MYL: もう 20 歳です

自己紹介の冒頭では、氏名と年齢をお互いに紹介した。YG は中国語で挨拶してからフルネームを名乗り、中国側はそれぞれ日本語でフルネームを紹介した。MYL 以外は年齢を言わず、何歳に見えるか、誰が最も年上だと思うか中国語で質問した。未習語句が多くあったために教師が日本語に訳して理解支援し、YZ と YG は大学生であるからには 20 歳前後であるはずだが、見た目が中学生のように幼い感じがすると言いかい、「你们 16 岁? (あなたたちは 16 歳ですか)」と質問した。これに対して中国語側は、大学 3 年生なのでそんなに若くないと笑って答えた(下線①)。YG が「今年多大? (今年で何歳ですか)」と質問したところ、中国側は 20 歳であると回答した(下線②)。

スクリプト 5-8-9 日本の高校と中国の大学の制服について

LL, XJ, TT, MYL: ①我觉得你们校服真好看
 L: お, 制服がかわいいねって言ってますよ, じゃあ, ちょっと立ってみてください
 给她们看看吧【男女の制服の全身像を Web カメラに映して見せる】
 LL, XJ, TT, MYL: 哇塞!
 L: こんな感じで一す! 好看吗? 今日はお方いて良かったね, 男女都有
 LL, XJ, TT, MYL: うらやましいですよ! 私たちの制服は, 怎么说, 什么, おばあさんの…
 YZ・YG: あはは【笑い】
 L: あはは【笑い】おばあさんの服って【笑い】あはは【笑い】
 LL, XJ, TT, MYL: でも日本人の学生の制服はきれいです, 私達の制服は…
 不好看! 不好看!
 L: 不好看【笑い】じゃあ, 次回見せてくださいって
 YZ: 下次, 给我们, 看, 看一看
 LL, XJ, TT, MYL: 校服啊? 私達の制服はみんないやですよ!
 【画面の向こうで制服を持ってきて着て見せている様子】
 L: あ, 持ってきた
 LL, XJ, TT, MYL: これ! これ!
 L: それは, 何? ジャージみたいな?

LL, XJ, TT, MYL : 这是我们的标识

L : マークね, シンボルマークみたいな

LL, XJ, TT, MYL : 大嫌いです！私達の制服はこれと同じですよ, だから, 女の子はそんな制服
がいやだよ

YZ・YG : あはは【笑い】

中国側が YZ と YG の制服がかわいいと言うので、2 人で立って全身を Web カメラに映して見せる。「哇塞（うわあ、すごい、いいなあ）（閩南方言の性表現に由来する称賛の感嘆表現）」と称賛し感嘆の声を上げる。この日は男女 1 名ずつ交流に参加したため、男女の制服を見せることができた。中国側は自分たちの制服は「おばあさんのよう」でかわいくない、日本の制服はかわいいのでうらやましい、と残念がる（下線①）。「おばあさんのよう」とはどのような制服か気になり、YZ が「下次给我们看一看（今度僕達にちょっと見せてください）」と依頼したところ、自分たちの制服はみんな嫌がっていると言ってクローゼットから出してきて見せてくれた。中国側の言う「校服（制服）」とは、行事や学校の活動時に着用する学校指定ジャージのような運動着で、色が黄土色のようなイエロー、デザインも首を通してかぶる式の昔ながらの「ジャージ」であったため、女子学生らには不人気であることがわかった。YZ と YG は、中国の大学生が日本の制服のデザインはおしゃれでかわいいと感じていることを知った。

【セッション 3】

18:00~18:30 に YJ とその友人 1 名との遠隔交流を実施した。セッション 2 と同様に交流時間が短かったため、お互いに簡単な自己紹介をして、関連する内容について質疑応答を行うのみとした。交流の様子を以下の交流記録スクリプトに示す。

スクリプト 5-8-10 YG と YZ の自己紹介

YZ : ①你好, 我叫 YZ, 我们, 三年级, 高中, ん? 我们是高中 3 年级的学生, 请多关照

YJ : 我叫 YJ, 现在读大二

【中国側がテキストチャット欄にフルネームを漢字で入力】

L : Y さんですね, YJ さん【中国側がテキストチャット欄にフルネームを漢字で入力】

YZ : 明白了! 哪个, 我的爱好是中国武术

YJ : 中国武术?

YZ : 对

YJ : 那很好啊

YZ : ははは【笑い】谢谢

YJ : ②我的兴趣爱好是看日剧, 然后因为现在学日语, 所以比较喜欢看动漫

L: 日本語の勉強のために日本のアニメとかドラマを見てるんですね
 【中国側の発話が長いので教師が日本語に訳して理解支援】
 YZ: ああー
 YG: ふふふ【笑い】
 YZ: ③我7岁的时候, 我开始练习武术
 YJ: 你知道中国的那个, 会武术的明星吗? 就是, 那种, カンフー, 武打明星
 YZ: 成龙, 成龙, 和李小龙
 YJ: 啊啊啊, 他们都非常出名, 就是非常有名
 【中国側がテキストチャット欄に「有名です」とメッセージ】
 L: 有名です
 YG: ふふふ【笑い】【2人ともうなずき】
 L: その通りですね, 有名です
 YG: ④你好!
 YJ: 你好!
 YG: 我叫 YG, 我 17 岁, 何だろ後
 L: バイオリンが好きなのは?
 YG: 我喜欢弹小提琴
 YJ: 我也喜欢弹啊
 YG: 谢谢!

自己紹介の冒頭では、YZ が氏名と学年を中国語で紹介して挨拶をした。これに対して YJ も中国語で氏名と大学2年生であることを紹介し、QQ のテキストチャット欄に簡体字を入力して示した。YZ は、「明白了（わかりました）」と応答し、武術が趣味であることを中国語で紹介した。YJ は「中国武术?（中国武術ですか）」と質問し、YZ は「对（そうです）」と回答した。これに対して、YJ が「那很好啊（それはいいですね）」と言うと、YZ は笑って「谢谢（ありがとう）」と応答した（下線①）。YJ は、日本のドラマ鑑賞が趣味であること、今は日本語を勉強しているのでアニメを観るのも好きであることを中国語で紹介した。文が長く新出語句も多かったために、教師が日本語に訳して理解支援した。YZ と YG は納得した様子であいづちを返した（下線②）。YZ の自己紹介に戻り、7 歳から武術をやっていることを中国語で紹介した。これを受けて YJ が、中国の武術（カンフー）の映画スターを知っているかどうか中国語で質問し、YZ は「成龙和李小龙（ジャッキー・チェンとジェット・リー）」と回答した。YJ は、彼らは非常に有名なスターであると言い、テキストチャット欄にも日本語で「有名です」と入力した（下線③）。YG は、あいさつ、氏名、年齢、バイオリンが趣味であることを中国語で紹介した。これを受けて YJ が、自分もバイオリンを弾くのが好きだと中国語で言い、YG は「谢谢（ありがとう）」と応答した（下線④）。



スクリプト 5-8-11 自己紹介に関連して中国側への質問

YG: 日本に来了ことありますか? 【YG が YZ にマイクを渡して中国語で言うよう促す】

L: いや, それは YG が言えると思うな 【笑い】

YG: いや, ちょっと 【笑い】

YZ: 你们来过日本吗?

YJ: 没有去过, 但是大三的时候去留学

L: 三年级的时候, 去留学, 她们现在是二年级

【ゆっくり語を区切って教師が再度発音し理解支援】

YZ・YG: ああー 【2 人ともうなずき】

L: 明年有机会

自己紹介に関連して、YG が日本に来了ことがあるかどうかを質問しようとして、YZ にマイクを任せる場面があった。既習語句で言える文なので、自分で言えるのではないかと教師が促すが、自信がなかった様子で、結局は YZ が「你们来过日本吗（あなたたちは日本に来了ことありますか）」と質問した。YJ は、行ったことはないが大学 3 年生になったら留学すると回答し、教師が語を区切ってゆっくり発音し直すことで YZ と YG も聞き取り理解した（下線①）。

スクリプト 5-8-12 授業時間数について

YJ: ①你们课程多吗?

L: 课, 多吗? 学习, 忙吗? 【教師が既習語句で言い換えて理解支援】

YZ: 学习忙吗?

YJ: 课程 【2 人とも質問の意味を考えて沈黙】

L: 「授業」, 课程, 多吗?

YZ・YG: ああー

YG: 多いかな

YZ: うん

YG: 很多

L: 毎日 6 時間?

YG: ②每天, 有? 6 节课?

【YG は YZ の顔を見ながら正しいかどうか確認して発話、YZ は一語ずつうなずき】

YG: 每天有 6 节课, ③你呢? 有几节课?
 YJ: 因为我现在大二了, 所以课程没有那么多, 但是大一的时候, 课程非常的多
 L: 一年级的時候, 课程多【教師が既習語句で言い換えて理解支援】
 YZ: あー【2 人ともうなずき】
 L: 二年级, 不多
 YZ: ふーん【2 人ともうなずき】
 L: ④勉強のプレッシャーがすごいです, ありましたね, どうですか?
 【教師が YG の準備原稿に書いた表現を活用して勉強が大変であると説明するよう促す】
 YG: あー, どれだ, どれだ…こっちか? これだ! これ? 我们很紧张, 我们是 3 年级

YJ から、授業が多いかという質問が出された。YG と YZ はすぐには聞き取れなかったため、教師が既習語句で言い換え理解支援し、YZ が「学习忙吗 (勉強が忙しいということですか)」と確認した。これに対して YJ は「课程 (授業・カリキュラム)」と繰り返し、新出語句のため教師が日本語に訳して理解支援した。YG と YZ は授業が多いと感じるかどうかの実感を確認し合い、「很多 (多いです)」と回答した (下線①)。教師が毎日の授業コマ数を確認し、YG はそれを中国語に訳して「每天有 6 节课 (毎日 6 時間あります)」と説明した。この時、YG は YZ の顔を見ながら正しいかどうかを確認する様子で、YZ がうなずき同意を示したことで YG は自信を持って再度発話した (下線②)。YG は続けて、「你呢? 有几节课? (あなたは? 何コマ授業がありますか)」と問い返し、YJ は、自分は大学 2 年生なので授業数はそれほど多くないが、大学 1 年生の時はとても多かったと説明した。この発話は長く、新出語句を多く含んでいたことから、教師が要点だけを既習語句で言い換え理解支援することで、YG と YZ は聞き取り理解した (下線③)。交流前の授業で「勉強のプレッシャーがすごい」という文を学習したため、教師が活用するよう促し、YG は「我们很紧张, 我们是 3 年级 (私たちは (勉強が) とてもキツいです、3 年生だから)」と説明した (下線④)。

スクリプト 5-8-13 中国語の難しいところと北海道方言

【中国側がテキストチャット欄に①「日本語はとても難しい」とメッセージ】
 L: あー, 日本語が難しい, 汉语呢? 什么地方难?
 YZ: あー, 我们觉得发音很难
 YJ: ②是中文的发音吗? 中文的发音?
 L: 中文的发音吗? 汉语的发音吗? 汉语, 发音吗? 【教師が既習語句で言い換えて理解支援】
 YZ: …啊, 对, 汉语, 汉语发音
 YJ: ③确实有一点, 因为中国比较大, 然后, 有很多省, 所以每个地方的都很有特色
官方的普通话跟…我们来讲两个方言
 L: その地方によって方言があったりなまっていたりから実際の中国語は難しいですね

じゃ、④北海道方言を何かひとつ
 YG・YZ：あはは【笑い】何だろう
 YG：ばくりっこ
 L：ああー！いいねえ！
 YZ：おおー！
 L：いいね、いいですねえ
 YZ：⑤俺それ説明できないけど！ははは【笑い】
 L：でも、「北海道方言を教えます」と言ってそれは何の意味かを言ったらいけるかな？
 YG：我…我给？给你们介绍，北海道
 YZ：的
 YG：的…方言？方言
 YJ：⑥北海道方言？哦哦，好的
 YG：へへへ【笑い】「ばくりっこ」北海道方言
 【中略】
 YG：「ばくりっこ」是「交換」的意思，北海道方言，「ばくりっこ」
 YJ・友人：啊啊！我们知道有大阪的方言
 【教師が中国側に QQ で「ばくりっこ」とひらがなでメッセージを送信】
 YJ・友人：我们现在有两个外教，外教，都是北海道人
 YZ：ふーん
 YJ・友人：ばくりっこ？ばくりっこ
 【中国側がメッセージを読み上げている】
 YG：ばくりっこ！ふふふ【笑い】
 YJ：はい、わかりました！呵呵

お互いの外国語学習に関連して、中国語側から「日本語はとても難しい」というテキストメッセージが送信されてきた。教師が YG と YZ に中国語のどこが難しいかを中国語で質問し、YZ は「我们觉得发音很难（私たちは発音が難しいと思います）」と回答した（下線①）。これに対して YJ は、中国語の発音が難しいということか中国語で確認した。教師が既習語句で言い換え理解支援し、YZ は聞き取り理解して、「对，汉语，汉语发音（そうです、中国語、中国語の発音）」と回答した（下線②）。YJ は、確かに（中国語の発音は）少し（難しい）こと、中国は広くて省も多いので各地の（発音に）特色がある、オフィシャルな「普通话」と（自分たちの地元の言語は）2 種の方言であることを説明した。この発話は長く内容も地理方言や社会方言の概念を含む複雑な内容であったため、教師が日本語に要点を訳して理解支援した（下線③）。また、方言の話に関連して、教師が北海道方言を中国側に教えてあげるよう促し、YG は「ばくりっこ」を提示し、YZ も発想のよさに感嘆の声を上げた（下線④）。YZ は「ばくりっこ」の意味を中国語で説明できないと消極的な態度を示したが、教師が学習者らの既存の知識で対応可能な日本語の文を提示したことで、YG と YZ でわからない語句を補い合いながら「我给你介绍北海道的方言（私が北海道方言を教え

てあげます)」と提案した(下線⑤)。YJも北海道を教えてもらえることを喜んで受け入れ、YGは「ばくりっこ」は北海道方言であること、「交換する」という意味であることを中国語で説明した。中国側は大阪の方言があることは知っている(が北海道方言は知らない)と話し、教師がQQで「ばくりっこ」とメッセージを送信した。中国側は自分たちの大学の外国人講師も北海道出身であると話し、「ばくりっこ」と繰り返し読み上げて、新たに活きた日本語を学習したことを喜んだ(下線⑥)。

第8回の遠隔交流で学習者が実際に使用した中国語の語句と会話表現を表5-8に示す。

表5-8 第8回遠隔交流で学習者が活用した語句と会話表現の一覧

話題分野	言語運用能力レベル	活用した中国語	日本語訳
自分と身近な人々	1-a. 名前(姓名)や属性(高校生、学年、年齢、誕生日など)を言ったり尋ねたりできる	我叫+姓名。	私は(フルネーム)と申します。
		我17(18)岁。	私は17(18)歳です。
		你们16岁?	あなたたちは16歳ですか?
		今年多大(岁数)?	今年で何歳になりますか?
		我的生日是5月12号。	私の誕生日は5月12日です。
		她的生日是11月19号。	彼女の誕生日は11月19日です。
	2-c. 卒業後の進路(進学する、就職する、留学するなど)および将来就きたい職業や働きたい場所について、話し合うことができる	我们是高中三年级的学生。	私たちは高校3年生です。
		我打算学康复, 康复师。	僕はリハビリ、理学療法士の勉強をするつもりです。
		我学习运动医疗。	僕はスポーツ医学を勉強します。
		毕业以后我打算上大学。	卒業後、私は大学に進学するつもりです。
		我在北海道上大学。	私は北海道で大学に進学します。
		我打算学习艺术文化。	私は芸術文化を勉強するつもりです。
学校生活	1-d. 学校のこと(制服、給食、宿題、体育館・図書館ほかの設備の有無など)について、口頭でやりとりできる	我们有滑雪课。	私たちはスキーの授業があります。 ※口頭で伝えることができる
		我有2次(滑雪课), 在冬天。	私たちは(スキー授業が)2回あります、冬に。
	1-g. 自分が学習している科目名や学校の施設名を、書いて伝えることができる	你们有几节滑雪课?	あなたたちは何回スキー授業がありますか?
		我们学习只有汉语课。	私たちは中国語の授業しかありません。 ※相手が日本語専攻で日本の文化、作文、通訳など専門科目を学習していることに対して、自分たちは中国語の授業しかないことを説明
		日语系有多少学生?	日本語学部には何人学生がいます

			すか？
		女学生很多，但是男学生很少。	女子学生は多いですが、男子学生は少ないです。
		我们班里有 8 个学生。	僕たちの（中国語）クラスには 8 人の学生がいます。
		7 个学生是女学生，一个学生是（他）。	7 人が女子学生で、1 人が彼です。
		下次给我们看一看。	次回、私たちにを見せてください。 ※相手の制服を見せてもらえるよう依頼する
	2-d. 学校のスケジュール（1 日、週間、年間）について、口頭でまたは書いてやりとりできる	每天（我们）有 6 节课。	毎日、（私たちは）6 コマ授業があります。
		你呢？有几节课？	あなたは？何コマ授業がありますか？
		一节课有多少分钟？	授業は 1 コマ何分ですか？
		我们有 50 分钟。	私たちは 50 分あります。
		日本的高中有 50 分钟，日本的大学有 90 分钟。	日本の高校は 50 分あり、日本の大学は 90 分あります。
	3-a. 学校生活で感じていること（楽しいことや大変なことなど）について、語りあったり、書いて伝えあったりできる。	我们课程很多。	私たちは授業が多いです。
		学习忙吗？	勉強が忙しいですか？
		我们（学习）很紧张，我们是 3 年级。	私たちは（勉強が）とても大変です、私たちは 3 年生なので。
		上课加油！ 一起加油吧！	授業がんばって！ 一緒にがんばりましょう！
	3-c. 学校の特徴（ユニークな授業や何で有名か）について、口頭で紹介し合うことができる	你们的学校有艺术文化系吗？	あなたたちの学校には芸術文化学部がありますか？
日常生活	1-a. 1 日の基本的なあいさつができる	你好。	（単数の相手に対して）こんにちは。
		你们好。	（複数の相手に対して）こんにちは。
		再见	さようなら。
食	1-f. 料理の味や状態についての簡単な感想（おいしい、甘い、辛い、薄い、熱いなど）を述べたり、受け答えをしたりできる	好吃吗？	おいしいですか？
趣味と遊び	1-c. どんなこと（スポーツ、映画、読書など）をするのが好きか、口頭で紹介しあうことができる 2-f. 好きなものや趣味が何か、口頭でまたは書いてやりとりできる	我的爱好是中国武术。	僕の趣味は中国武術です。
		现在我练习武术。	今僕は武術を習っています。
		这是我的照片。	これは僕の写真です。 ※武術をしている写真を見せながら紹介する
		我也一样。	私も一緒です。 ※相手と趣味が同じであることを知った状況
		我（们）喜欢～。	私（達）は～が好きです。
		弹小提琴	バイオリンを弾く

	1-d. 好きな有名人の名前や職業を、口頭でまたは書いて紹介しあうことができる	我知道成龙。	僕はジャッキー・チェンを知っています。
		李小龙, 我知道。	ブルース・リーを知っています。
		李连杰	ジェット・リー
		我看过成龙的电影。	僕はジャッキー・チェンの映画を観たことがあります。 ※映画のタイトルはリストアップできないが、好きな有名人が出演した映画を見た経験があると言える
	3-c. 趣味や習い事（頻度、期間、はじめたきっかけ、続けた理由、自分にとっての意味など）について、口頭で説明できる	我七岁的时候开始练习武术。	僕は7歳の時に武術の練習を始めました。
交通と旅行	1-a. 自分の行きたい場所を、口頭でまたは書いて伝えることができる	我想去（上海）。	私は（上海へ）行きたいです。
	1-b. 観光名所やお勧めのお土産を尋ねることができる	中国什么地方好（呢）？ 请告诉我。	中国はどんな所がいいですか？教えてください。
		苏州有什么好玩的？	蘇州にはどんな面白い所がありますか？
	2-i. 旅行計画やいままでの旅行（いつ、どこへ、誰と、何日くらいなど）について、会話できる	11月14号我打算去北京。	11月14日に僕は北京へ行く予定です。
		汉语的演讲比赛。	中国語のスピーチコンテストです。 ※中国渡航の目的について説明
		你们来过日本吗？	あなたたちは日本へ来たことがありますか？
	人とのつきあい	1-a. 人とのつきあいでよく使う基本的なあいさつ表現（初対面、感謝、励まし、謝罪、断りなど）を言ったり、聞いて理解したりできる	初次见面。
请多关照。			どうぞよろしくお願いします。
加油。			頑張れ。
谢谢。			ありがとう。
太好了。			いいね。よかったね。よかった。
好。好的。			いいですよ。わかりました。
怎么样？			どうですか？
一样，一样。		同じですね。	
1-f. 招いたり招かれたりするときに交わす基本的な表現を、言ったり、聞いて理解したりできる		请来北海道。	北海道に来てください。
1-g. 相手のこと（性格、特技など）を、口頭でまたは書いてほめることができる		好看	きれい、美しい、かっこいい
	厉害	すごい、すばらしい	
地域社会と世界	1-c. 相手の国の主な都市名や世界の主な国名を、言ったり、見	我们不知道。	私たちは知りません。 ※相手の出身地について、地名を言

	て理解したりできる		われてもどこかわからない状況
		知道。	知っています。 ※相手の出身地について、地名を言われてどこかわかる状況
		明白了。	わかりました。 ※相手の出身地について、地図を見てどこかわかった状況
自然環境	2-b. 日常の天気や季節の特徴（最高気温、最低気温など）について、会話できる	长春下雪了吗？	長春は雪が降りましたか？
		北海道还没下雪。	北海道はまだ雪が降っていません。
		北海道很冷。	北海道は寒いです。
		北海道也很冷。	北海道も寒いです。
ことば	1-a. どんな言語を学んでいるか、言ったり尋ねたりできる	我们学汉语（学）了1年半了。	私たちは中国語を1年半勉強しました。
	2-b. 外国語の学習状況（何語を、どこで、どのくらい学んでいるか）について、口頭でまたは書いてやりとりできる	你们学习日语多长时间了？	あなたたちはどのくらい日本語を勉強しましたか？
	1-d. 学習対象言語を学んでの簡単な感想（おもしろい／難しいなど）を、言い合うことができる	我们觉得（汉语）发音很难。	私たちは（中国語の）発音が難しいと思います。
		汉语发音	中国語の発音
	1-e. 物の名前を学習対象言語でなんと言うか尋ねたり、日本語でなんと言うか教えることができる	给你们介绍北海道方言。 「ばくりっこ」是“交换”的意思。	北海道方言をあなたたちにご紹介します。 「ばくりっこ」とは「交換する」という意味です。
	1-f. 相手の話すことがわかったかわからないかを、口頭で伝えることができる	还可以。	まあまあです。 ※相手に自分の話す速度が速すぎないかどうか質問されて回答する
	1-g. 相手の話すことがわからないときに、聞き返したり、ゆっくり言ってもらおうよう頼んだりできる	请再说一遍。	もう一度言ってください。
その他の汎用的な会話表現	数の多さを表す	很多	たくさんの、多くの
	肯定	对	正しい、合っている、そうです、その通り
	前述の質問と同じ内容を相手に問い返すときの表現	你呢？	あなたは？
	理解したこと示す	明白了。	わかりました。

5.1.5.2 第9回遠隔交流

第9回の遠隔交流は11月8日に実施した。学習者2名（YZ、HM）と中国側4名（KYY, LJR, XX, YMD）が参加した。中国側は3グループであり、3つのセッションを設定した。

女子寮はインターネットの接続状況が不安定であったため、QQ のビデオチャットとテキストチャットを併用して交流した。

【セッション 1】

16:15~16:40 に KYX, LJR との遠隔交流を実施した。まずはお互いに簡単な自己紹介をし、関連する内容について質疑応答を行った。詳しい自己紹介とグルメに関する内容を中心に基本的に中国語で交流を進め、日本側が聞き取れない場合に日本語で補足し理解支援を得た。交流の様子を以下の交流記録スクリプトに示す。



スクリプト 5-9-1 お互いの自己紹介と内容に関連した質疑応答 (1)

YZ: ①我的爱好是中国武术

GLX・LJR: 你的爱好是中国武术

GLX: ②我叫 GLX, 我的爱好是日本动漫

L: 日本动漫, アニメです【新出語句のため教師が訳して理解支援】

YZ: おおー

HM: アニメ?

GLX: 然后, 我很喜欢学日语, 多多指教!

L: 请多指教, 「请多关照」と似たような意味です

HM: ほおう!

L: ほおう! あはは【笑い】

YZ: あはは【笑い】

L: じゃ, 先にちょっと 2 人とも簡単に名前を言おうか

HM: ③你好!

GLX・LJR: 你好!

HM: 我叫 HM

GLX・LJR: H…M…【教師が QQ のテキスト欄に HM の氏名を入力し送信】

GLX・LJR: H…M…

HM: ふふふ【笑い】我喜欢看电影…パス!

L: パス!?

HM: だめ, フリートーク…

GLX・LJR: 电影是中国的电影吗?

HM: 中国の？ああ、知らないな
L: あ、じゃあ、違いますと言って【笑い】
YZ: あはは【笑い】
HM: えーと、没看过、あはは【笑い】
GLX・LJR: 哈哈哈、はい、わかりました
LJR: 你好！我叫 LJR
HM: ああ、L さん
L: 別な人が来ましたね【中国語側が QQ のテキスト欄に氏名を入力し送信】
YZ: ああー
L: G さんと、L さんね
【画面上の右と左でどちらが誰かを指さし確認、YZ と HM うなずき】
L: 日本の映画、聞いてみて
HM: ④你看、中国、違う、あはは【笑い】日本の电影吗？
LJR: 看！
HM: すごい、見ます！什么电影？
【接続不良のため再接続】
【中略】
LJR: 我看过世界…
L: 可以打字吗？电影的名字叫什么？可以打一下吗？
【中国側の音声途切れて聞き取れないためテキスト入力可能か教師が中国側に確認】
LJR: 可以！世界、奇妙、物语
L: え？世にも奇妙な…物語かなあ、タモリのやつかなあ
YZ: あはは【笑い】えー、何だ？
HM: 映画化した？
L: え？じゃあ、映画ですかテレビですかって聞いてみて
HM: ⑤电影？
L: 还是、还是「or」ですね
HM: 电视？吗？
【中国側から QQ で「不是电影吗？（映画じゃないの）」と送信】
HM: たぶんそうだよねえ、タモリのね
YZ: うん
【中国側から QQ で「好吧、我们一直当电影看的（わかった、私達はずっと映画だと思って観ていた）」と送信】
L: なるほど、映画と思っていた…スペシャルとか見てるのかもしれないね
YZ: あー、なるほど

まずはお互いの自己紹介を行った。YZ は過去の交流と同様、趣味が中国武術であると紹介し、中国側は即時に聞き取り理解した（下線①）。中国側からは、GLX が日本のアニメが好きなこと、日本語の勉強が好きなことを中国語で紹介した。YZ と HM は教師の支援を得て聞き取り理解し、既習語句の「请多关照（よろしくお願いします）」と同様の状況で用いられる挨拶表現「请多指教（よろしくご指導ください）」を新たに学習した（下線②）。HM は氏名と映画鑑賞が好きなことを紹介したが、フリートークは苦手なスムーズに話を展開で

きない様子であった。GLX と LJR が映画について、中国の映画が好きなのかと質問し、HM は「没看过（観たことはありません）」と回答した（下線③）。HM は GLX と LJR に「你看日本的电影吗（あなたは日本の映画を観ますか）」と質問し、LJR が観ると回答したことに驚いた。続けて、「什么电影（何の映画ですか）」と質問したが、接続不良で音声聞き取れなかったために、教師が QQ のテキスト欄に入力するよう依頼し、「世にも奇妙な物語」であることがわかった。日本ではテレビ番組として周知されているため、HM は教師の支援を得ながら「电影（还是）电视（映画ですかテレビですか）」と確認した。中国側はインターネット上で動画を見ており、おそらくスペシャルの長時間番組を観たために映画だと思っていたであろうことが予想された（下線⑤）。



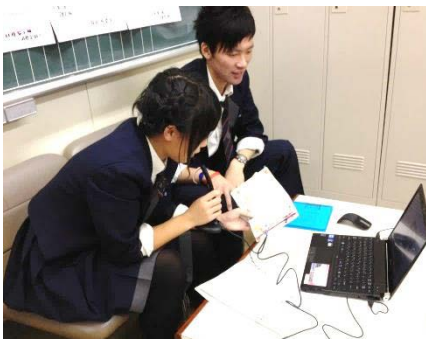
スクリプト 5-9-2 お互いの自己紹介と内容に関連した質疑応答（2）

HM：我叫 HM，我今年 18 岁，我喜欢弹钢琴，每星期学一次弹钢琴，我开始学弹钢琴从 5 岁，从 5 岁…我的爱好是看电影，目前最受欢迎的中国电影是什么？ふふふ【笑い】
 L：うん，いいねえ，很好，很好
 GLX・LJR：①你认识成龙吗？
 L：你认识成龙吗？【YZ と HM が聞き取れず考えているため教師が再度発話し理解支援】
 YZ：ああー，我很喜欢成龙
 GLX・LJR：哦哦，那样，像成龙一样武术很“上手（じょうず）”吗？
 L：今の「上手」は日本語です
 YZ：ああ，はは【笑い】そういうことか
 L：彼の武术の腕はどうかと聞いている
 HM：えーと，他很好，很好！
 L：じゃあ，YZ は今回の話をしたらどうだろう，行って披露するやつを
 YZ：ああ，③我打算去北京
 GLX・LJR：北京？那是个好地方
 YZ：好地方
 L：好地方，いいところですね【YZ が聞き取れなかった語を教師が再度発話し理解支援】
 YZ：ああ，④スピーチって何でしたっけ
 L：演讲，演讲比赛
 YZ：演讲，因为我参加中文比赛，演讲比赛
 GLX・LJR：所以要到北京去吗？

L: だから行くんですか? 【教師が日本語に訳して理解支援】
 YZ: 对!
 HM: YES! ふふふ【笑い】
 GLX・LJR: すごいですねえ、很棒!
 YZ: 谢谢!
 L: タイトルを言ったら知っているかも
 YZ: 你知道《汉语桥》吗?
 GLX・LJR: 知道, 湖南卫视的节目
 L: あー…それじゃない…テレビ番組で同じ名前のあるんだ
 YZ・HM: へえー
 L: 世界学生中国語スピーチコンテスト
 YZ: 世界学生中文演讲比赛
 GLX・LJR: 你一定要加油
 YZ: 加油, 谢谢! 【中国側から QQ で「加油 (がんばって)」と送信】
 GLX・LJR: ⑤我们希望在北京看到你
 YZ: ははは【笑い】
 L: 希望在北京看到你
 YZ: 一定! ふふふ【笑い】
 L: 一定! きっと!
 GLX・LJR: ハハハ, ⑥你那个演讲的题目准备好了吗?
 L: 题目, 准备好了吗? 「题目」は「テーマ」
 YZ: あー, 题目是《我和中国武术》
 GLX・LJR: 哦哦, ⑦你喜欢李小龙吗?
 YZ: 对, 我喜欢李小龙

続けて HM が詳しい自己紹介を行った。YZ が中国武術が趣味であると紹介したことを受けて、GLX・LJR が YZ にジャッキー・チェンを知っているか質問し、YZ は教師の支援を受けて聞き取り、「我很喜欢成龙 (僕はジャッキー・チェンが好きです)」と回答した (下線①)。さらに、中国側がジャッキー・チェンのように武術が上手かどうか質問したが、中国語に日本語の語を混ぜて発話したために YZ は聞き取れず、教師が日本語訳して理解を支援した。HM は「他很好, 很好 (彼は上手、上手)」と、YZ の武術が上手である旨を回答した (下線②)。YZ は 11 月に北京へ行くと説明し、GLX と LJR は、北京は良いところであると応答した (下線③)。YZ は「スピーチコンテスト」という語を教師に確認した後、「漢語橋」世界中国語スピーチコンテストのために行く と補足説明した。GLX と LJR は、そのために北京へ行くのかと確認し、YZ は「对 (そうです)」と回答した。また、中国側に「すごい」と称賛され、YZ は「谢谢 (ありがとう)」と応答した。中国の大学でも「漢語橋」が認知されているのではないかと考え、教師が YZ に大会名を中国語で発話するよう促したが、中国側は同名称のテレビ番組と勘違いし、スピーチコンテストのことは知られていな

いことがわかった。GLX と LJR は YZ に「絶対がんばってね」と応援の言葉及び QQ メッセージを送り、YZ はお礼で応答した（下線④）。GLX と LJR はさらに、北京で会えますようにと話し、YZ は「一定（必ず）」と応答した。また、GLX と LJR はスピーチのテーマが決まったかどうかを質問し、YZ は教師の支援を得て聞き取り、「题目是《我和中国武术》(テーマは『私と中国武術』です)」と回答した（下線⑥）。GLX と LJR はブルース・リーも好きかどうか質問し、YZ は「对，我喜欢李小龙（はい、僕はブルース・リーが好きです）」と回答した。



スクリプト 5-9-3 グルメに関するフリートーク

HM：何から始めるの？你？你们？①你喜欢什么日本菜？
 GLX・LJR：日本菜？ 哦，嗯…寿司，然后咖喱饭
 HM：おおー！好吃！②我喜欢吃…
 YZ：何が好きなの
 HM：中華料理で言ってみようかな，えーと…色々あるんだけど
 【HM が授業で準備したプリントを見ながらメニューの言い方を探す】
 L：中華料理
 HM：吃炒饭！ マーボーも…彼はマーボーです
 【HM が YZ にマイクを押し付けて渡そうとする】
 YZ：いやいや自分で自分で【笑い】
 HM：ふふ【笑い】③他喜欢吃麻婆豆腐
 L：ほんと！？
 YZ：ほんと！？ははは【笑い】
 GLX・LJR：哦哦，麻婆豆腐
 【④中国側から QQ で「鸡蛋炒饭？（卵チャーハン？）」と送信】
 YZ：ああー，卵…
 L：鸡蛋炒饭？ ですか？
 HM：对！ふふふ【笑い】
 【⑤中国側から QQ で「我的家乡菜（私の郷土料理）」と送信】
 HM：家の…？
 L：我的家乡菜，「家乡菜」は「家庭料理」とか「郷土料理」，…ということは四川の人ですね
 YZ・HM：おおー【2 人とも大きくうなずく】
 【中略】

YZ : ⑥北海道的寿司很好吃

HM : 很好吃!

L : 自信を持って!おいしいよ!

GLX・LJR : 日本の寿司、全部美味しい!

YZ・HM : おおー!あはは【笑い】

L : 北海道と言えばサーモンかな?サーモンは「三文魚」,「三文の魚」と書いて

【紙に「三文魚 (sānwényú)」の簡体字とピンインを書いて示す】

YZ・HM : 三, 文, 魚

グルメについて、HM が「你喜欢什么日本菜 (どんな和食が好きですか)」と質問した。中国側は、寿司とカレーライスが好きだと中国語で回答した。これに対して HM は即座に「好吃 (おいしいよね)」と応答し、続けて自分の好きな中華料理を紹介しようと試みた (下線①)。HM は YZ と好きな食べ物について相談しながら、授業で作成した原稿からメニューを選び、「我喜欢吃吃炒饭 (私はチャーハンが好きです)」と紹介した (下線②)。HM は YZ にマイクを渡してマーボードウフが好きだと言わせようとしたが、YZ は HM に自分で中国語で言うよう指示し、「他喜欢吃麻婆豆腐 (彼はマーボードウフが好きです)」と紹介した。中国側も即時に聞き取り理解して「ああ、マーボードウフ」と応答した (下線③)。さらに中国側が QQ のテキストチャット欄に「鸡蛋炒饭? (卵チャーハンですか)」と入力して質問し、YZ は読みながら卵チャーハンであることを理解し、HM は教師の支援を得て「对 (その通りです)」と回答した (下線④)。中国側はマーボードウフに関連して、QQ のテキストチャット欄に「我的家乡菜 (私のふるさとの料理)」と入力して紹介した。HM は「家乡菜」という新出単語がわからなかったが、教師の説明による支援を得て理解した (下線⑤)。YZ は「北海道的寿司很好吃 (北海道の寿司はおいしいです)」と北海道グルメの代表を紹介し、HM も「很好吃 (おいしいです)」と強調した。中国側は中国で回転寿司を食べたことがあるためか、「日本の寿司、全部おいしい」と称賛し、YZ と HM も同意を得られたことと日本の寿司を知っていることに驚いた (下線⑥)。また、YZ と HM は教師の説明により「三文魚 (サーモン)」という語を新たに学習した。



スクリプト 5-9-4 お互いの制服紹介

GLX・LJR：①你们的校服很漂亮！

L：ああ、みんな言うね、校服、制服ですね

YZ・HM：ああー！

L：じゃ、今日も披露しますか

YZ：今日も

HM：ふふふふ【笑い】【YZ と HM 立ち上がって Web カメラに全身を映して見せる】

GLX・LJR：うらやましいですー！

YZ：うらやましいです！ははは【笑い】

【画面の向こうで中国側が 2 人の制服姿を見ながら体をよじって悶える様子】

L：悶えている【笑い】

YZ：②怎么样？

L：我々どうですか【笑い】

YZ：ははは【笑い】

GLX・LJR：好看！【中国側から QQ で「漂亮（きれい、美しい）」と送信】

YZ：漂亮

HM：漂亮？

YZ：きれい

HM：へえー

【中略】

GLX・LJR：③我们的校服都不好看的

HM：へえー

L：あ、そうか、HM 見てないもんね前回、ちょっと見せてくださいって言ってみよう

HM：え！【HM が困り YZ を見て支援を求める】

YZ：ちょっと見せて

HM：请给我？看？あ、一下？

GLX・LJR：ちょっと待ってくださーい

【中略】

GLX・LJR：はい、はい、校服穿好了

HM：おお！

L：制服着てきた？

YZ：かわいいじゃん

HM：かわいい

YZ：④この前と変わらない？

HM：好看！好看！

L：この前と違うね？

YZ：この前、おばさんみたいって…【笑い】

L：あ、そうか、この前のは三峡大学

GLX・LJR：怎么样？

HM：好看！

GLX・LJR：哈哈，没有你们的好看！

中国側が YZ と YG の制服がかわいいと言うので、過去のセッションと同様に 2 人で立って全身を Web カメラに映して見せる。中国側が画面の向こうで「うらやましいです！」と言いながら悶えている様子が見え、笑いが起こる（下線①）。YZ は「怎么样（どうですか）」と質問し、「好看（かわいい、カッコいい、すてき）」との応答と、QQ のテキストチャット欄の「漂亮（きれい、美しい）」というメッセージを受信する。YZ が「漂亮」と読み上げ、HM が「漂亮？」と復唱して聞き取れない様子であったため、YZ は「きれい」と訳して説明した（下線②）。制服について中国側は、自分たちの制服はかわいくないと説明し、HM は第 8 回の交流に欠席しており中国の制服紹介を見なかったため、見せてもらえるよう教師が HM に発話を促した。HM は即時に中国語で文を作ることができず YZ に支援を求め、YZ は訳しやすいように日本語の語句を少しずつ順番に発話して支援した。HM は語順に迷いながらも、「给我看一下（ちょっと見せてください）」という文を発話し、中国側は聞き取り理解して制服を着用して Web カメラに映してみせた（下線③）。第 8 回の交流とは別の大学だったため、YZ はその違いに気付いて「かわいい」と称賛し、HM も、「好看，好看（かわいい、かわいい）」と繰り返し称賛した。中国側は「怎么样（どうですか）」と質問し、HM が「好看（かわいい）」と応答したところ、中国側からは「哈哈，没有你们的好看（ははは、あなたたちのよりかわいくないよ）」と応答があった。

【セッション 2】

16：40～17：10 に XX, YMD との遠隔交流を実施した。セッション 1 と同様に、お互いの簡単な自己紹介と関連する内容の質疑応答を行った。中国側が日本側の中国語レベルに配慮して、ゆっくり明確な発音で中国語を話してくれた。趣味やアルバイトに関する内容を中心に中国語で交流を進め、日本側が聞き取れない場合に日本語で補足し理解支援を得た。交流の様子を以下の交流記録スクリプトに示す。



スクリプト 5-9-5 お互いの自己紹介と内容に関連した質疑応答 (1)

HM : 你好
XX : 你好
YZ : ①你好！我叫 YZ, 我们高中三年级的学生
XX : 高中三年级？我是 XX
 【中国側が QQ のテキスト欄に氏名を入力】
HM : XX
XX : XX, 用日文读是 SYO-KA
YZ : ②我的爱好是中国武术
XX : 中国武术
YZ : 那个…我打算去北京
XX : 北京
YZ : 因为我参加演讲比赛, 汉语
XX : 汉语的比赛？我看了你刚才发给我的图片, 很酷
L : さっきの写真が
HM : おおー, よかったね！あはは【笑い】
YZ : 谢谢！ははは【笑い】
XX : ④中国会武术的演员有哪些
YZ : ん？请再说一遍
XX : 你知道吗？会武术的演员
L : 会武术的演员【教師がゆっくり再度発音して理解支援】
XX : 会武术的演员有哪些, 你知道吗？
L : 俳優さんとか映画スターですね
YZ : ああー, そういうことか
XX : ⑤成龙知道吗？
YZ : 我知道, 我喜欢成龙和李小龙
XX : 啊啊

まずは相互に簡単な自己紹介を行った。YZ は、氏名と学年を言い、XX は氏名を発話し QQ のテキストチャット欄にも入力した（下線①）。YZ はさらに、趣味が武術であること、中国語スピーチコンテストで北京へ行く予定があることを紹介した（下線②）。XX は、先ほど武術の写真を見た（QQ 経由で画像を送信）が、とても格好よかったと称賛し、HM は YZ が称賛されたことを喜び、YZ は「谢谢（ありがとう）」と応答した（下線③）。続けて

XX は YZ に、中国で武術がうまい俳優を知っているかどうか質問した。YZ は即時に聞き取ることができず、「请再说一遍（もう一度言ってください）」と依頼した。XX は、武術がうまい俳優を知っているかどうか再度質問し、教師が「会武术的演员（武術がうまい俳優）」の部分をやっくり発音し、キーワードを日本語訳して理解支援をし、さらに XX がもう一度同じ質問を繰り返したことで、YZ は聞き取り理解した（下線④）。XX は YZ に、ジャッキー・チェンを知っているかどうか質問し、YZ は「我知道，我喜欢成龙和李小龙（知ってます、僕はジャッキー・チェンとブルース・リーが好きです）」と回答した。

スクリプト 5-9-6 お互いの自己紹介と内容に関連した質疑応答（2）

HM：你好！

XX：你好！

HM：①我叫 HM，我今年 18 岁，我喜欢，弹，咖喱？

L：「钢琴」，「咖喱」は「カレーライス」

HM・YZ：あはははは【爆笑】

HM：我喜欢，我喜欢…だめだ【爆笑】ツボに入って【爆笑】

YZ：あはははは【爆笑】

HM：弹钢琴！あはははは【爆笑】

L：カレーを弾くってどういうことですかって【笑い】

HM：②弹钢琴，每星期学一次弹钢琴

XX：我没有听到你刚才说的话

HM：我喜欢弹钢琴，每星期一次，去学弹钢琴

XX：③那是什么东西？

HM：弹钢琴，乐器

XX：啊啊，わかりました

L：カレーライスと言ったから混乱を招いたね【笑い】

YZ・HM：あはは【笑い】

HM：④我的爱好是看电影，こんな感じだな

L：趣味を聞いてみますか

YZ：⑤你的爱好，什么？是什么？

XX：我喜欢看些历史书

L：历史书，歴史の本，历史

HM：へえー！すごいねえ

L：すごい，の時は

HM：真棒！ふふふ【笑い】

XX：⑥但是我学的都是中文的，日本的看不太懂

HM：真棒！

L：日本的，不太懂【教師がゆっくり再度発音して理解支援し、2 人ともうなずき】

YZ：⑦我们不喜欢历史，学历史

HM：特に，日本（Ribēn）

XX：是吗？很难？

HM：很难！很难！

XX：哦哦哦
HM：特别是日本的历史
XX：很难？
HM：很难！

HM は自己紹介として、氏名、年齢、趣味がピアノであることを紹介しようとした。しかし、「ピアノ」というべきところで、出だしの音が同じであったために、なぜか好きな食べ物である「カレーライス」という語を発話して笑いのツボに入ってしまう、爆笑し話が続けられない状態に陥った（下線①）。ひとしきり笑った後、趣味がピアノであること、週に1回ピアノのレッスンをすることを紹介した。途中でXX が聞き取れない部分があったと応答したため、HM は再度同じ文を発話した（下線②）。HM が冒頭でカレーライスと言ったために、「ピアノ」という語とイメージが結びつかず、XX も混乱して「那是什么东西（それはどういうものですか）」と質問した。HM は、「弹钢琴，乐器（ピアノを弾く、楽器です）」と説明し、XX もようやく理解した（下線③）。HM はまた、映画鑑賞が趣味であることを説明した（下線④）。続けて、YZ がXX の趣味を質問し、XX は歴史の本を読むのが好きだと回答した（下線⑤）。新出単語が含まれていたため、教師が「历史书（歴史の本）」を日本語訳して理解支援し、YZ と HM は「真棒（本当にすごいね）」と驚きと称賛を表した。これに対してXX は、中国語の歴史の本を読んでおり、日本のものは読めないと説明した。教師がキーワードをゆっくり再度発音して理解支援し、YZ と HM は聞き取り理解した（下線⑥）。YZ は科目の好き嫌いについて、「我们不喜欢历史，学历史（僕達は歴史（の勉強）が嫌いです）」と説明し、HM は、「特に、日本」と補足した。XX は「是吗？ 很难？（そうですか、難しいですか）」と質問し、HM は「很难！ 很难！（とても難しい）」、「特别是日本的历史（特に日本の歴史）」と、日本史が難しく好きではないことを強調した（下線⑦）。



スクリプト 5-9-7 グルメについて

HM：日本の…①你喜欢什么日本菜？
 XX：日本菜？我只吃过日本的咖喱饭
 YZ・HM：あははは【爆笑】
 L：カレーライス！あはは【笑い】
 HM：我们也喜欢！あはは【笑い】
 L：カレーライス大人気！日本の代表格は寿司からカレーライスに【笑い】
 YZ：那个…我喜欢，んーと，②我喜欢吃北京烤鸭
 【接続不良のため再接続】
 XX：北京烤鸭
 HM：今度何言おうかな…悩みますね
 YZ：特に何が一番好きかは？
 HM：あー，んー，③我喜欢吃，烧卖，烧卖
 XX：④烧卖，那是中国的一种早餐
 L：早饭，早餐
 【新出語句のため教師が既習語句で言い換え理解支援】
 HM：早饭？
 L：軽食で朝に食べるの
 HM：あー！お，朝ごはん！いいなー

グルメや好きな食べ物について、HM は「你喜欢什么日本菜（どんな日本料理が好きですか）」と質問した。XX は、日本料理はカレーライスを食べたことがあると回答し（下線①）、先ほどの趣味の紹介でピアノとカレーライスを言い間違えたことを想起して再度爆笑が起こった。HM は、笑いながらも「我们也喜欢（私たちも好きです）」と応答した。YZ は好きな中華料理について、「我喜欢吃北京烤鸭（僕はペキンダックが好きです）」と紹介し、XX も即時に聞き取り理解した（下線②）。HM は一番好きな食べ物について、「我喜欢吃烧卖（私はシューマイが好きです）」と紹介した。XX が、シューマイは中国では朝食のひとつであると説明したが、新出語句を含むため教師が既習語句で言い換え日本語訳して理解支援した。HM は聞き取り理解してうらやましがり、「いいなー」と感想を述べた（下線④）。

スクリプト 5-9-8 アルバイトについて

HM：バイトしますか
 YZ：あ，そうだバイトね，①那个…你打工…吗？
 XX：哦哦，我虽然在上大学，但是学习很忙，日语很难，所以没有时间去打工
アルバイトの時間がありません
 YZ・HM：あー，很忙
 L：私たちもバイトできません，言ってみますか？
 HM：我们，我们也，不能打工
 XX：打工吗？

HM：没有，没有
 XX：③啊啊，为什么？
 YZ：因为我们是高中生【教師が「校規（校則）」という語の簡体字とピンインを紙に書いて示す】
 HM：校規
 XX：啊啊，校規让你们不能打工

アルバイトについて、YZ が「你打工吗（あなたはアルバイトをしていますか）」と質問した。XX は、大学生だが勉強が忙しく、日本語は難しいのでアルバイトをする時間がないと説明した。時間がないという説明は日本語であったため、YZ と HM は聞き取り理解して、「很忙（忙しいんですね）」と応答した（下線①）。HM が「我们也不能打工（私たちもアルバイトできません）」と紹介したところ、XX は「打工吗（アルバイトをしますか）」と確認の質問を返し、HM は「没有（していません）」と回答した（下線②）。XX は、なぜアルバイトできないのか理由を質問し、YZ は「因为我们是高中生（なぜなら僕たちは高校生だからです）」と回答した。また、教師が「校規（校則）」という語の簡体字とピンインを紙に書いて見せ、HM がそれを音読して XX に伝えた。XX は、日本の高校の校則でアルバイトができないという実情を理解した（下線③）。

スクリプト 5-9-9 卒業後の進路について

YZ：那个…①毕业以后我打算学
 L：运动医疗
 YZ：运动医疗
 YMD：もう一度お願いします
 YZ：毕业以后我打算学运动医疗
 XX：②运动医疗是什么？
 L：「体育运动」と言ってみて
 【スポーツ医療という語が伝わらないのでスポーツだけを言い換えるよう教師が指示して支援】
 YZ：体育运动，医学
 YMD：③啊啊，体育运动，好啊，来中国当体育老师吗？想来中国吗？
 YZ：对，我想去中国
 YMD：快点来吧！
 L：快点！
 YZ：あはは【笑い】
 HM：④毕业以后，我打算找工作
 XX：在日本工作吗？
 HM：对，在日本
 YMD：⑤你们不来中国吗？
 HM：我想去中国！あはは【笑い】
 YZ：你们来中国吧

L：来日本

YZ：あ、ははは【笑い】来日本

卒業後の進路について、YZ は、「毕业以后我打算学运动医疗（卒業後、僕はスポーツ医療を学ぶつもりです）」と進学の予定であることを紹介した。XX はスポーツ医療という語を聞き取れず、再度発話するよう日本語で依頼したため、YZ は同じ文を言い直した（下線①）。XX は「运动医疗是什么（スポーツ医療とは何ですか）」と質問し、教師が別の表現で「体育运动（スポーツ）」と説明するよう指示し、YZ は「体育运动，医学（スポーツ、医学）」と説明した（下線②）。XX は「スポーツ」という語句は聞き取ったが、スポーツに関連する職業として体育教師を連想し、中国で体育教師をやりたいのかと質問した。YZ は職業としての体育教師については聞き取れず、中国に行きたいかどうかの質問のみを聞き取り、「对，我想去中国（そうです、僕は中国に行きたいです）」と回答したために、XX は「快点来吧（早くおいでよ）」と歓迎の心情を表した（下線③）。HM は、「毕业以后，我打算找工作（卒業後、私は仕事を探すつもりです）」と就職の予定であることを紹介した。XX は、日本で仕事をするのか質問し、HM は、「对，在日本（そうです、日本で）」と回答した（下線④）。これに対し XX が、中国には来ないのかと質問し、HM は「我想去中国（私は中国に行きたいです）」と回答した。YZ は、XX に日本へ来るよう誘おうとしたが、「你们来中国吧（あなたたちも中国へ来てください）」と、「日本」と「中国」を誤って発話した。しかし、教師の訂正を受けてすぐに間違いに気付き、正しい語を発話した（下線⑤）。

この後、XX もまた、日本の制服がきれいだと称賛し、YZ と HM は立ち上がってカメラに全身を映して見せ、中国側は「哇啊！かわいいです！好漂亮！」と喜び、興奮した様子であった。

【セッション 3】

17：10～17：35 に YMD との遠隔交流を実施した。セッション 2 で交流した相手のうち 1 名が継続してセッション 3 の交流相手となった。趣味、グルメ、アルバイト、卒業後の進路、恋愛等に関する内容を中心に中国語で交流を進め、日本側が聞き取れない場合に日本語で補足し理解支援を得た。交流の様子を以下の交流記録スクリプトに示す。



スクリプト 5-9-10 YZ の自己紹介と中国武術の動画鑑賞 (1)

YZ : 你们好 !

YMD : 你们好 !

YZ : ①我叫 YZ, 我的爱好是中国武术

YMD : 中国武术? 那你会吗?

YZ : 我 7 岁的时候, 我开始练习武术

YMD : すごいですね!

YZ : 谢谢

YMD : ②现场来一段, 表演一段武术吧

YZ : 请再说一遍

YMD : 能给我们表演一段武术吗?

L : 能给我表演一下吗? と言っています

【新出語句を含むため既習語句で教師が言い換え理解支援】

YZ : 现在我不会! あはは【笑い】

HM・L : ええー!

YMD : ③那什么时候你会?

L : 什么时候你会? いつなら? おとなしくちょっとやった方が身のためかも【笑い】

YZ : ええー!? 嫌ですよ! 嫌, あはは【笑い】

【その場で武術を披露する流れを嫌がり YZ が Web カメラに向かって手を振り拒否の態度を示す】

YMD : ④見学したい, いいですか?

YZ : よくないです!

HM : あはは【笑い】

XX・YMD : 哈哈哈哈【爆笑】

HM : 笑ってる【笑い】

YZ : 今までで一番おもしろい【笑い】

HM : おもしろいね【笑い】

YMD : ⑤私はとてもとても悲しいです.

YZ : ごめんなさい

YMD : 嗯?

XX : 他说「ごめんなさい」

YMD : 我不接受!

L : 不接受! ダメ! 受け入れません!

YZ・HM : あははは【爆笑】

YZ : じゃあ, 今から動画を見せます

【YZ が武術の動画データを持っていたので教師がそれを見せる旨を中国側に説明】

YMD : 好的! 哈哈哈

L : めっちゃ喜んでよ【笑い】 好期待啊

セッション 2 で自己紹介をした際に YMD はまだ来ていなかったため、改めて相互に簡単な自己紹介を行った。YZ は氏名と趣味の武術について紹介した。YMD が中国武術ができるのかと驚いて質問し、YZ は「我 7 岁的时候, (我) 开始练习武术 (僕は 7 歳の時に武術の練習を始めました)」と回答した。YMD はさらに驚きと称賛で応答し、YZ は「谢谢 (ありがとう)」と感謝を表した (下線①)。続けて YMD が、この場で武術をちょっと披露してほしいと依頼した。YZ は即時に聞き取れず「请再说一遍 (もう一度言ってください)」と応答した。YMD は武術を披露してもらえないかと再度依頼し、教師が既習語句で言い換え理解支援したことで、YZ は理解し、「现在我不会 (今はできません)」と断った (下線②)。

しかし YMD は引き下らず、「那什么时候你会 (じゃあいつならできるの)」と質問し、教師が日本語訳による支援をしながら少し披露してはどうかと促したものの、YZ はやはり嫌がり拒否の態度を示した (下線③)。YMD は「見学したい、いいですか」と日本語でさらに要求し、YZ は「よくないです」と拒否して、双方に大きな笑いが生まれた。YZ と HM はこのやりとりが今までの交流の中で一番盛り上がり、楽しく感じると感想を述べ合った (下線④)。

YMD は、「私はとてもとても悲しいです」と残念な心情を述べたが、YZ は頑なに「ごめんなさい」と拒否した。YMD も、「我不接受 (私は受け入れません)」と YZ の拒否をさらに拒否して、再び双方に大きな笑いが生まれた (下線⑤)。ここで、YZ がタブレット PC に武術の動画が保存されていることを思い出し、中国側に見せることとなった。YMD はこれを聞いて大いに興奮し、喜びを表した。

スクリプト 5-9-11 YZ の自己紹介と中国武術の動画鑑賞 (2)

HM : ①<u>你们会武术吗?</u> YMD : <u>你们会什么?</u> HM : <u>武术, 你们会武术吗?</u> YMD : <u>ああ, はい, できます</u> HM : ②<u>ええー! すごい, できますってよ</u> YZ : あはは【笑い】 <u>じゃあやって見せて</u>【笑い】 HM : <u>你给我们看看, 怎么样?</u> YMD : <u>哈哈</u>【爆笑】 HM : めっちゃ笑ってる YMD : <u>我们不会! 哈哈</u>【爆笑】 【YZ がタブレット PC で武術の動画を見せる準備完了】 【中国側が QQ で「我们是淑女, 不会武术 (私たちはレディーなので武術はできません)」とメッセージを送信】 YZ : はい, 準備できましたよ

L: 找到了? 有了, 他的视频有了
 【タブレット PC を Web カメラに映して中国側に動画を見せる】
 【中国側は動画を見ながら拍手をして驚きの感想を述べ合っている様子】
 YMD: ③可多好啊
 YZ: 不好? 「不好」って言われてる?
 HM: あはは【笑い】
 L: いや, 「多好」
 HM: ④怎么样? あはは【笑い】
 L: 動画いいね, それ毎回持ってきたらいいね
 YZ: あはは【笑い】【中国側大きな拍手で称賛】
 L: わー, すごい拍手! ふふふ【笑い】
 YZ: 谢谢!
 YMD: どういたしまして! すごい!

YZ がタブレット PC の動画を準備している待機中に、HM が「你们会武术吗（あなたたちは武術ができますか）」と質問した。YMD は一部の語句が聞き取れず「你们会什么?（あなたたちは何ができますって）」と問い返した。HM が再度質問し、YMD は武術ができると回答した（下線①）。HM はその回答に驚き、YZ と共に「你给我们看看, 怎么样（私たちにちょっと見せてください、どうですか）」と依頼した。YMD は爆笑しながら「我们不会（私たちはできません）」と回答した。さらに、QQ のテキストチャット欄に「我们是淑女, 不会武术（私たちはレディーなので武術はできません）」と冗談のメッセージを入力した（下線②）。その後、タブレット PC の画面を Web カメラに映して YZ の武術の動画を 1 分ほど中国側に見せた。YMD が動画を見ながら「可多好啊（なんてすごいんだ）」と感想を述べたところ、YZ は「不好（よくない、下手）」と聞き間違えて評価が低いのかと気にする様子を見せたが、教師が「多好（なんてすごいんだろう）」であると説明し、安堵の表情を見せた（下線③）。動画を観終わった後、HM が「怎么样（どうですか）」と質問し、中国側は大きな拍手で「すごい」と称賛の意を表し、YZ は「谢谢（ありがとう）」と応答した（下線④）。



スクリプト 5-9-12 アルバイトについて

YZ : ①你打工吗?
YMD : 打工? 我不打工, 你们呢?
YZ : 我们不能, 不能打工
YMD : ②为什么?
YZ : 因为校规, 校规
YMD : 校规, 哦哦…③你们那边打工工资高吗?
YZ : 请再说一遍
YMD : 你们那边打工, 那个, 工资高吗?
L : 工资高吗? 工资, 給料だね
YZ : 給料か
L : さて, さっきマクドナルドやったから, マックでバイトしたらどのくらいかな? 630 円くらいか
YZ・HM : ああー…
L : じゃ, マクドナルドでアルバイトすると 630 円ですって, 1 時間
YZ : ④如果? ですか? 如果我们在麦丹劳打工
L : うん, 1 時間
YZ : 一个小时
L : 630 円
YZ : 630 日元
L : だいたい 50 元くらいですね
YZ : 大概 50 块
YMD : ⑤哇! 好多啊!
L : 食費が 10 倍くらいだからね
【中国側は週に何時間でいくらになるという計算を話し合っている様子】
YMD : 我要去那边打工!
L : そっちでバイトするよって【笑い】
【盛り上がりのテンポを共有することを優先して教師が日本語訳し理解支援】
YZ・HM : あははは【爆笑】
YZ : 北海道に来てください
HM : 请来北海道! ふふふ【笑い】
YMD : 好的! 你们要请我吃好吃的
L : おいしいものおごってくださいって【笑い】
【盛り上がりのテンポを共有することを優先して教師が日本語訳し理解支援】
HM : あははは【笑い】_すごい!

アルバイトについて、YZ が「你打工吗（アルバイトをしていますか）」と質問した。YMD は、アルバイトはしていないと回答し、YZ と HM はどうかと質問を返した。YZ は、「我们不能打工（僕たちはアルバイトできません）」と回答した（下線①）。これに対して YMD はなぜかと理由を質問し、YZ は前のセッションで学習した語彙を活用して「因为校规（校則のせいです）」と回答した。YMD は校則のために YZ らがアルバイトをできないことを聞き取り納得した（下線②）。次に、YMD は日本のアルバイトの賃金が高いかどうか質問した。

YZ は聞き取れず「请再说一遍（もう一度言ってください）」と依頼し、YMD は再度同じ質問を繰り返した。教師がポイントを再度発話し、さらに新出単語を日本語訳して、YZ は質問の意味を理解した（下線③）。日本のファーストフード店の話題が交流前の授業で出たため、アルバイトした場合の賃金を概算で紹介することとした。YZ は仮定の文法表現を用いることを教師に確認しながら、「如果我们在麦丹劳打工（もし僕たちがマクドナルドでアルバイトしたら）」「一个小时 630 日元（1 時間で 630 円です）」と紹介した。教師が人民元に換算した金額を伝え、YZ は「大概 50 块（だいたい 50 元）」と訳して説明した（下線④）。これを聞いて YMD は、中国と比較した場合の日本の自給の高さに驚き、日本でアルバイトすると冗談を言った。YZ と HM は爆笑し、YZ は日本語、HM は中国語で、「请来北海道（北海道に来てください）」と誘う冗談で応答した。YMD はこの返しに乗り、おいしいものをおごってくれるよう要求し、全体に大きな笑いが起こった（下線⑤）。下線⑤の間は、話の流れとテンポを重視して、教師が即時に日本語訳して理解支援した。

スクリプト 5-9-13 北海道グルメについて

HM : ①你想什么? 你想吃什么? ふふふ【笑い】
YMD : 你们那儿有什么好吃的
L : 有什么好吃的? 有什么好吃的? 北海道【教師がゆっくり再度発話して理解支援】
HM : 汤咖喱
YZ : 拉面
YMD : ②我要吃肉
L : 肉が食いたいと言っていますよ【笑い】
YZ・HM : あははは【爆笑】
YZ : 私も肉が好き、でしょ【YZ が HM にマイクを渡して発話を促す】
HM : 我喜欢吃肉, 肉, 我喜欢吃肉
YMD : ③私もー! 私もー! 哈哈, 猪肉吗?
L : 北海道といえばジンギスカンかな
【教師が「烤羊肉（ジンギスカン）」という語の簡体字とピンインを紙に書いて示す】
YZ : 在北海道烤羊肉很有人气
YMD : 烤羊肉? 羊肉? 真的吗?
HM : 对, 真的
YZ : OK!
L : OK! とりあえず OK! じゃ、何肉が好きか
HM : ④你喜欢吃什么肉?
YMD : 都可以!
L : 何でもいい!【笑い】
YZ・HM : あははは【爆笑】
【盛り上がりのテンポを共有することを優先して教師が日本語訳し理解支援】
HM : 確かに
L : HM, ⑤你呢? 你喜欢吃什么肉?

HM：我也都可以
 L：「食べに来てください」は？
 YZ：⑥请来北海道，来尝尝烤羊肉。
 YMD：什么烤羊肉？
 L：前が聞こえなかったかな
 YZ：请来北海道尝尝烤羊肉
 YMD：那你来这边吃烤羊肉

グルメについて、HM が「你想吃什么（何が食べたいですか）」と質問した。YMD はあなたたちのところにはどんなおいしいものがあるのか質問を返したが、YZ と HM が即時に聞き取れなかったため、教師がゆっくり再度発話して理解支援した。HM は「汤咖喱（スープカレー）」、YZ は「拉面（ラーメン）」と回答した。これに対して YMD は肉が食べたいと応答し、HM も肉好きであることを YZ が指摘して、マイクを HM に渡した。HM は「我喜欢吃肉（私は肉が好きです）」と紹介した（下線②）。YMD は、自分も肉が好きだと笑い、豚肉が好きかどうか質問した。教師が北海道グルメの紹介として「烤羊肉（ジンギスカン）」の簡体字とピンインを紙に書いて示し、YZ は「在北海道烤羊肉很有人气（北海道ではジンギスカンが人気です）」と紹介した。YMD は、「烤羊肉？羊肉？真的吗？（ジンギスカン？ラム？本当にですか）」と質問し、HM は「对，真的（そうです、本当です）」と回答した（下線③）。続けて、HM が「你喜欢吃什么肉（何の肉が好きですか）」と質問し、YMD が何でも好きだと回答したので、大きな笑いが起こった（下線④）。HM は YMD の回答に納得しており、YMD が「你呢？你喜欢吃什么肉（あなたは？何の肉が好きですか）」と質問したのに対して、「我也都可以（私も何でもいいです）」と回答した（下線⑤）。さらに YZ は、「请来北海道，来尝尝烤羊肉（北海道に来て、ジンギスカンを食べに来てください）」と誘った。YMD は一部の語句が聞き取れず、「什么烤羊肉（何がジンギスカンですって）」と確認の質問を返した。YZ は再度「请来北海道尝尝烤羊肉（北海道にジンギスカンを食べに来てください）」と誘い、YMD はこれに対して「那你来这边吃烤羊肉（じゃあ、あなたがこっちにジンギスカンを食べにおいでよ）」と冗談を返した。

スクリプト 5-9-14 恋愛について

YMD：①你有恋人（こいびと）吗？
 HM：あははは【爆笑】
 L：またそれ！あはは【笑い】
 YZ：今はいません【笑い】现在我们没有
 YMD：②那你什么时候有？

L: いつできるの【笑い】
 HM: あははは【爆笑】
 L: じゃ、卒業後ですかね【笑い】
 HM: 卒業以后！あははは【笑い】
 YMD: ③高中毕业吗？
 L: 高中毕业
 YZ: 高校卒業
 HM: …对！【HM 大きくうなづく】
 HM: ④你有男朋友吗？
 YMD: 没有！你能不能介绍一个！
 L: 介绍一个，紹介して，私（YZ）どうですか【笑い】
 YZ: いやいやいや！あはは【笑い】
 HM: あはは【笑い】他怎么样？あはは【笑い】
 YMD: 哈哈哈哈！介绍给我吧
 L: 受け入れられた【笑い】
 YZ・HM: あははは【爆笑】
 YZ: 很高兴！很高兴！
 YMD: 我也很高兴！哈哈哈
 L: じゃ、6時半なのでそろそろ、さっきのあれをもう一度、「時間になりました」にしましょう
 HM: 时间到了
 YZ: 下次再交流吧
 YMD: ⑤你觉得我怎么样？哈哈哈
 L: 自分のことどう思う？って、まだ続いていた【笑い】
 HM: あははは【笑い】これおもしろいな！
 L: 次の交流で
 YZ: でも俺もう（漢語橋の中国大会に）行っちゃうからな
 L: あ、そっか、じゃあそれを言って
 YZ: 下星期三我打算去北京，两个星期，所以我不能交流
 L: 12月にできたら交流しよう
 YZ: so…じゃなくて、所以、12月交流吧
 YMD: 下个月？
 YZ: 12月
 YMD: 跟你吗？哈哈
 YZ: 对
 HM: あははは【笑い】⑥我下星期交流
 YMD: 嗯，好！到时候要带一个帅哥哦
 L: その時、別のイケメンを用意してください
 HM: あははは【爆笑】すごいね！TDC（2年次に中国語を履修した男子）しかいないね！
 L: 考慮考慮、考えときます
 HM: 考慮考慮
 YMD: 啊哈哈哈哈！好的！

恋愛について、YMD が YZ と HM に恋人がいるかどうか質問した。前のセッションでも同様の質問が出されたので、YZ は追及の手を緩めない中国側の積極的な態度に笑いながら

「现在我们没有（僕たちは今はいません）」と回答した（下線①）。YMD は更に、いつになったら恋人を作るのか質問した。HM は笑いながら「毕业以后（卒業後）」と回答した（下線②）。YMD は高校を卒業したらと言う意味かどうか質問し、HM がすぐには聞き取れなかったために教師が再度発話し、YM が日本語に訳して理解支援した。HM は支援を受けて聞き取り「对（そうです）」と大きくうなずき回答した（下線③）。HM が YMD に「你有男朋友吗（あなたは彼氏がいますか）」と質問し、YMD はいないので一人紹介してほしいと回答した。YZ と HM がすぐには聞き取れなかったために教師がポイントを再度発話し、日本語訳して理解支援した。教師が冗談で YZ に立候補してはどうかと尋ねると、YZ は笑いながら遠慮する態度を示したため、HM が冗談で「他怎么样（彼はどうですか）」と YMD に YZ を推薦した。YMD も冗談で紹介してくれるよう回答した。YZ も冗談で「很高兴，很高兴（うれしい，うれしいです）」と喜びを伝え、YMD も冗談で「我也很高兴（私もうれしいです）」と応答した（下線④）。下校時間になったため、教師がセッション終了の挨拶を YZ と HM に依頼し挨拶を発したタイミングで、YMD が再び自分のことをどう思うかと質問した。時間の都合で教師が次回の交流に持ち越すことを提案したが、YZ は漢語橋中国大会に参加するために次回は欠席することが決まっており、12 月に改めて交流する旨を中国語で説明した（下線⑤）。HM は、「我下星期交流（私は来週交流します）」と説明した。YMD は、その時に別のイケメンを連れてきてほしいと冗談で要求し、HM は 2 年次に中国語を履修していた男子学生を提案した。教師が即答せずに回答を保留し検討する場合の表現を HM に教え、HM は「考虑考虑（考えておきます、検討します）」と応答し、YMD もこれを聞き取り了解した（下線⑥）。

第 9 回の遠隔交流で学習者が実際に使用した中国語の語句と会話表現を表 5-9 に示す。

表 5-9 第 9 回遠隔交流で学習者が活用した語句と会話表現の一覧

話題分野	言語運用能力レベル	活用した中国語	日本語訳
自分と身近な人々	1-a. 名前（姓名）や属性（高校生、学年、年齢、誕生日など）を言ったり尋ねたりできる	我叫+姓名。	私は（フルネーム）と申します。
		我今年 18 岁。	私は今年で 18 歳です。
		你们（是）几年级的学生？	あなたたちは何年生ですか？
		二年级	2 年生 ※相手が大学 2 年生であることを確認する
		我们是高中三年级的学生。	私たちは高校 3 年生です。
	1-c. 簡単な自己紹介（姓名、学	现在我们没有（男朋友/女	私たちはいま（彼氏／彼女が）い

	校、学年、年齢、誕生日、干支、住んでいる所、好きなこと、趣味など）を口頭でまたは書いてすることができる	朋友）。	ません。
		毕业以后	高校卒業後 ※いつになったら恋人ができるかという質問に対して回答する
		你有男朋友吗？	彼氏はいますか？ ※自己紹介に関する内容を相手に質問する
	2-c. 卒業後の進路（進学する、就職する、留学するなど）および将来就きたい職業や働きたい場所について、話し合うことができる	我打算去专门学校。	私は専門学校に行くつもりです。
		毕业以后我打算学习运动医疗。	卒業後、僕はスポーツ医学を勉強するつもりです。
		体育运动, 医学	スポーツ、医学
		我想去中国。	僕は中国に行きたいです。
		毕业以后我打算找工作。	卒業後、私は就職するつもりです。
	3-a. 自分や身近な人の特徴（得意なことや不得意なこと、長所・短所、性格など）について、口頭でまたは書いて紹介しあうことができる	在日本（工作）。	日本で（仕事をします）。
		他很好。	彼はとても上手です。 ※友人の武術の腕前について紹介する
学校生活	1-d. 学校のこと（制服、給食、宿題、体育館・図書館ほかの設備の有無など）について、口頭でやりとりできる 1-g. 自分が学習している科目名や学校の施設名を、書いて伝えることができる	现在我们在学校。	今、私たちは学校にいます。
		现在我们在老师的办公室。	今、私たちは先生のオフィスにいます。
		给我们看一下。	私たちにちょっと見せてください。 ※相手の制服を見せてもらえるよう依頼する
	2-d. 学校のスケジュール（1日、週間、年間）について、口頭でまたは書いてやりとりできる	我下星期交流。	私は来週交流します。 ※遠隔交流のスケジュールについて出欠を説明する
		下星期三我打算去北京，两个星期，所以我不能交流。	来週の水曜に僕は北京へ行く予定です。2週間。なので、交流ができません。
	3-a. 学校生活で感じていること（楽しいことや大変なことなど）について、語りあったり、書いて伝えあったりできる。	我们不喜欢学历史。	私たちは歴史の勉強が嫌いです。
		特别是日本历史（很难）。	特に日本史が（難しいです）。
		很难。	とても難しいです。 ※歴史が嫌いな理由を説明する
	日常生活	1-a. 1日の基本的なあいさつができる	你好。 你们好。 再见。 拜拜。
			（単数の相手に対して）こんにちは。 （複数の相手に対して）こんにちは。
			さようなら。
			バイバイ。
		3-b. アルバイトの経験（頻度、期間、はじめたきっかけ、続け	你打工吗？ あなたはアルバイトをしていますか？

	た理由、学んだこと、感じたことなど)について、口頭で説明できる		※アルバイトをしたことがないことも一種の経験であると判断
		我们也不能打工。	私たちもアルバイトはできません。 ※アルバイトをしたことがないことも一種の経験であると判断
		因为我们是高中生。	なぜなら、私たちは高校生だからです。 ※高校生がアルバイトをできない理由を説明する
		因为校规。	なぜなら校則だからです。 ※高校生がアルバイトをできない理由を説明する
食	1-f. 料理の味や状態についての簡単な感想（おいしい、甘い、辛い、薄い、熱いなど）を述べたり、受け答えをしたりできる	好吃。	おいしいです。
	1-k. 自分の好きな食べ物、嫌いな食べ物、食べられないものなど、料理名や食品名を、口頭で伝えることができる 2-f. 料理の種類（洋食、和食、韓国料理、中華料理など）の好みについて、会話できる	你喜欢什么日本菜？	あなたはどんな和食が好きですか？
		你喜欢吃什么肉？	あなたは何の肉が好きですか？
		我们也喜欢。	私たちも好きです。
		我也都可以。	私も何でもいいです。
		我喜欢吃～。	私は～（を食べるの）が好きです。
		炒饭	チャーハン
		烧卖	シュウマイ
		北京烤鸭	北京ダック
		肉	肉
		他喜欢吃麻婆豆腐。	彼はマーボードウフが好きです。
	1-l. 朝食・昼食・夕食によく食べるものについて、言ったり尋ねたりできる	早餐	朝食 ※中国ではシュウマイは軽食であり朝食に食べると理解する
	3-c. 日本の代表的な料理や自分の住んでいる地域の料理（料理名、味付け、作り方など）について、口頭または文章で紹介できる	北海道的寿司很好吃。	北海道の寿司はおいしいです。
		三文鱼	サーモン
		汤咖喱	スープカレー
		拉面	ラーメン
趣味と遊び	1-c. どんなこと（スポーツ、映画、読書など）をするのが好きか、口頭で紹介しあうことができる 2-f. 好きなものや趣味が何か、口頭でまたは書いてやりとりできる	我的爱好是中国武术。	僕の趣味は中国武術です。
		你的爱好是什么？	あなたの趣味は何ですか？
		你们会武术吗？	あなたたちは武術ができますか？
		你给我们看看，怎么样？	私たちにを見せてください、どうですか？ ※武術ができるのであればやって見せてほしいと依頼する
		我喜欢钱？	私はお金が好きです、って？ ※相手の言ったことを正しく聞き取

			れたかどうか確認するためそのまま言い返す
		我喜欢～。	私は～が好きです。
		看电影	映画を観る
		弹钢琴	ピアノを弾く
		我的爱好是看电影。	私の趣味は映画鑑賞です。
		每星期学一次弹钢琴。	毎週1回ピアノのレッスンがあります。
		乐器	楽器
		我没看过。	私は観たことがありません。 ※中国の映画を観たことがあるかどうかという質問に対して回答する
		你看日本的电影吗？	日本の映画を観ますか？
		什么电影？	何の映画ですか？
		电影还是电视？	映画ですか、それともテレビですか？
		目前最受欢迎的中国电影是什么？	今、一番人気がある中国映画は何ですか？
	1-d. 好きな有名人の名前や職業を、口頭でまたは書いて紹介しあうことができる	我很喜欢成龙。	僕はジャッキー・チェンが好きです。
		我喜欢李小龙。	僕はブルース・リーが好きです。
		我知道，我喜欢成龙和李小龙。	知っています。僕はジャッキー・チェンとブルース・リーが好きです。 ※カンフー俳優を知っているかどうかという質問に対して回答する
交通と旅行	2-i. 旅行計画やいままでの旅行（いつ、どこへ、誰と、何日くらいなど）について、会話できる	我七岁的时候开始练习武术。	僕は7歳の時に武術の練習を始めました。
		我开始学弹钢琴,从5岁。	私はピアノを習い始めました、5歳から。 ※正しくは「我从5岁开始学弹钢琴」の語順
		我打算去北京。	僕は北京へ行く予定です。
		因为我参加中文比赛，演讲比赛。	なぜなら、僕は中国語のスピーチコンテストに参加するからです。 ※中国渡航の目的について説明
		你知道《汉语桥》吗？	あなたは「漢語橋」を知っていますか？
人とのつきあい	1-a. 人とのつきあいでよく使う基本的なあいさつ表現（初対面、感謝、励まし、謝罪、断りなど）	世界学生中文演讲比赛	世界学生中国語スピーチコンテスト
		题目是《我和中国武术》。	テーマは「私と中国武術」です。
		请多关照。	どうぞよろしくお願いします。
		谢谢。	ありがとう。
		让你久等了。	お待たせしました。

	を言ったり、聞いて理解したりできる	怎么样？	どうですか？
	1-f. 招いたり招かれたりするときに交わす基本的な表現を、言ったり、聞いて理解したりできる	你们来日本吧。 请来北海道，来尝尝烤羊肉。	みなさん日本に来てください。 北海道へ来て、ジンギスカンを食べてみてください。
	1-g. 相手のこと（性格、特技など）を、口頭でまたは書いてほめることができる	漂亮 你们很漂亮。 好看 还可以。 厉害 真棒！	きれい、美しい あなたたちはとてもきれいです。 きれい、美しい、カッコいい まあまあです。 すごい、素晴らしい 本当にすごい！
	2-g. 人とのつきあいを円滑にできるような表現（ねぎらい、励まし、期待など）を、言ったり、聞いて理解したりできる	一定。 加油。 很高兴。	きっと、必ず（そうします） 頑張れ。 うれしいです。
	3-b. 相手に受け入れてもらえるような表現を使って、口頭で忠告や断りができる	现在我们没有时间了。 时间到了。 下次再交流吧。 现在我不会。 下星期三我打算去北京，两个星期，所以我不能交流。 考虑考虑。	もう時間がなくなりました。 時間になりました。 次回また交流しましょう。 今はできません。 来週の水曜に僕は北京へ行く予定です。2週間。なので、交流ができません。 考えておきます。
地域社会と世界	1-e. 自分の住んでいる町や都市の、有名な場所や食べ物などを、言うことができる	北海道的寿司很好吃。 三文鱼 汤咖喱 拉面 在北海道烤羊肉很有人气。	北海道の寿司はおいしいです。 サーモン スープカレー ラーメン 北海道ではジンギスカンが人気です。
	2-e. 身近な社会制度（免許取得・飲酒・喫煙・結婚などができる年齢）について、会話できる 3-c. 日本や相手の国の人びとの、暮らしや生活習慣について、口頭または文章で紹介しあうことができる	如果我们在麦丹劳打工，一个小时 630 日元。 大概 50 块。	もし私たちがマクドナルドでアルバイトをしたら、1 時間 630 円くらいです。 ※アルバイトの時給について説明する だいたい 50 円です。
ことば	1-g. 相手の話すことがわからないときに、聞き返したり、ゆっくり言ってもらよう頼んだりできる	请再说一遍。	もう一度言ってください。
その他の汎用的な会話表現	肯定	对	正しい、合っている、そうです、その通り
	肯定	真的。	本当です。

以上、遠隔交流に向けた準備のための学習活動及び遠隔交流のプロセスと内容について、交流テーマごとにインタラクションの詳細を解説すると共に、各回の学習成果として学習者が活用した語句と会話表現のアウトプットを一覧表に記載した。次章では、本研究の分析のアプローチである混合研究法と、評価指標の理論的枠組みとして援用した学習意欲のデザイン（ARCS-V モデル）について要点を説明した上で、データ分析の詳細について述べる。量的データ分析と質的データ分析の方法と結果についてそれぞれ詳述し、質的データについては概念図による可視化も行う。

第6章 データ分析

本章では、第一節「混合研究法について」にデータ分析のアプローチである混合研究法についての定義を示し、第二節「学習意欲のデザイン（ARCS-V モデル）について」に評価指標の理論的枠組みとして援用した学習意欲のデザインの要点を示す。第三節「データ収集の方法」では収集したデータの種類と収集方法を説明し、第四節と第五節ではデータ分析の詳細について述べる。第四節「ブレンド型学習が学習者の情意に与える影響」では遠隔交流を活用した BL が学習者の情意に与える影響を明らかにするための量的データ分析の結果を示す。第五節「ブレンド型学習のプロセスで創られる学びの経験と学習成果の解釈」では BL のプロセスで創出された学習の経験、成果及び価値づけを探究することを目的とした質的データ分析の結果を示すと共に、概念図を作成して質的分析の結果を可視化する。

6.1 混合研究法について

本研究では、高校中国語のための ID 及び対面授業、e ラーニング及び日中間の遠隔交流の3つの学習形態を有機的に組み合わせた BL モデルを設計した。そしてその実践の成果を混合研究法のアプローチによって評価する。本研究では、混合研究法（Mixed methods research）の定義としてクレスウェルとプラノクラーク（2010：pp.5-6）の概念を採用する。すなわち、混合研究法とは、「哲学的仮定（philosophical assumption）と探究の研究手法をもった調査デザイン」であり、「データ収集と分析の方向性と調査研究プロセスにおける多くのフェーズで、質的と量的アプローチの混合を導く哲学的仮定を前提とする」研究方法論である。また、研究手法としては、「1つの研究、または順次的研究群での量的かつ質的データを集め、分析し、混合することに焦点をあてる」ものであり、そのねらいは、「量的・質的アプローチを用いる方が、どちらか一方だけを用いるよりもさらなる研究課題の理解を生むこと」にある。

混合研究法デザインの主な4つのタイプとして、トライアングレーションデザイン（Triangulation Design）、埋め込みデザイン（Embedded Design）、説明的デザイン（Explanatory Design）、探究的デザイン（Exploratory Design）（図6-1）がある。

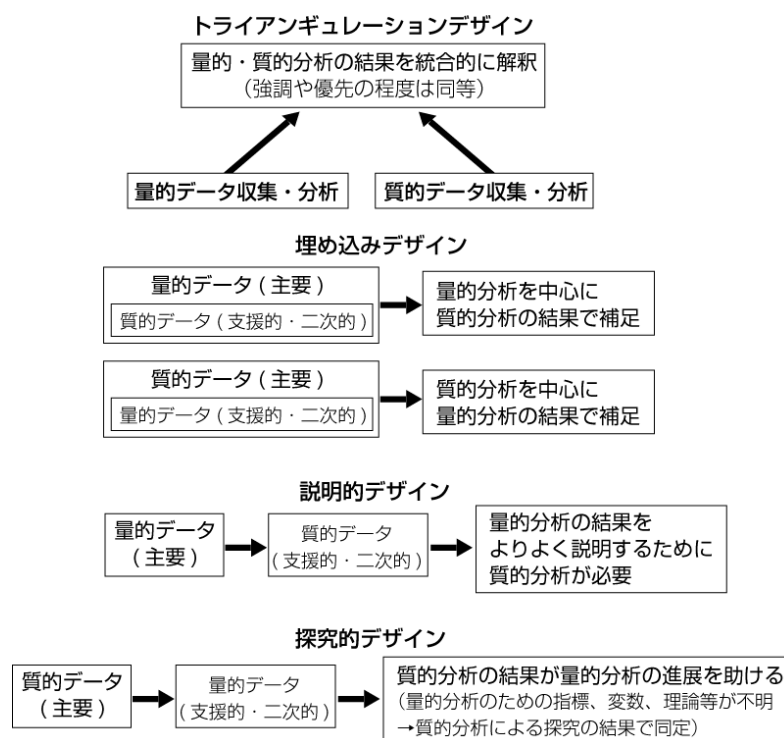


図 6-1 混合研究法デザインの 4 つのタイプ

本研究では、BL 実践を通じて得られる学習の経験、成果及びその価値を多角的に解釈することを目的としてトライアングレーションを採用する(図 6-2)。トライアングレーションの目的は、調査研究課題を最もよく理解するために、同じトピックに関する異なるが補足的なデータを複数得ることである。これは、量的分析の結果を質的分析の結果に直接対照させる、あるいは量的分析の結果を質的データにより妥当化あるいは拡大したい場合に採用する分析のアプローチである。これにより、量的手法と質的手法それぞれの強みをもって弱点を相互補完することができる。学習者にとっての学習の経験、成果及びその価値を解釈するためには、変化の程度や概念間の関係を数値化し客観的な変化を明らかにする量的データの量的分析のみならず、「学習と交流において、その時、その場で、何が起きていたのか」を詳細に記述し、学習者一人ひとりの心情や高校生ならではの視点に基づく具体的に詳細な語りという質的データも分析し、双方の結果を対照し、統合的に解釈することが有効である。

トライアングレーションは 4 つの変形型(収斂モデル、データ変換モデル、量的データ妥当化モデル、複数レベルモデル)に分けられる。本研究では、収斂モデルを中心に、データ変換モデルを部分的に採用する。収斂モデルでは、同じ現象についての量的データ

と質的データを別々に収集し、異なるデータ分析の結果を統合して解釈する。データ変換モデルでは、量的データと質的データの収集及び分析を別々に行うが、分析の過程で、片方のタイプのデータをもう一方のタイプのデータに変換する。

デンジン (Denzin, 1989) は、質的研究改善のための戦略として、次の 4 つのトライアンギュレーションのタイプを挙げている。

(1) 方法のトライアンギュレーション：1 つのデータ、対象について、複数の質的研究方法を組み合わせる、あるいは質的研究方法と量的研究方法を組み合わせる。

(2) データのトライアンギュレーション：異なる種類のデータを取り入れる。

(3) 理論のトライアンギュレーション：異なる理論的視覚を採用する。研究対象に質的研究の複数の研究の角度からアプローチする。

(4) 研究者のトライアンギュレーション：異なる理論的・方法論的背景に立つ複数の研究者で共同研究プロジェクトを遂行する。

本研究は、(1) 方法、(2) データ、(4) 研究者のトライアンギュレーションに該当する。本研究では、遠隔交流を活用した BL が学習意欲にどのような影響を与えるかという側面と、学習者が何をどのように学んでいったかという学習のプロセスで創出される学習の経験や成果の意味づけという側面も明らかにするという目的に対して、前者には学習者の意識や態度の変化を客観的に明らかにするための量的分析のアプローチが適しており、後者には学習者視点の具体的な語りを、恣意性を可能な限り排除する方略を講じながら概念整理する質的分析のアプローチが適している。そのため、量的データ分析のための量的データと、質的データ分析のための質的データをそれぞれ収集し、分析を行うことで、(1) 方法、(2) データのトライアンギュレーションを実施した。(4) 研究者のトライアンギュレーションに該当する部分としては、外国語教育に従事する複数教員の指導の下で本論文の執筆を進めたこと、及び予備論文等を執筆する過程で共著者や英語・中国語プルーフリーディング協力者の協力を得たことが挙げられる。これにより、筆者の思い込みや恣意的解釈を可能な限り排除し、複眼的な解釈を反復的に検討することで、信憑性の高い妥当な解釈の質が確保される。

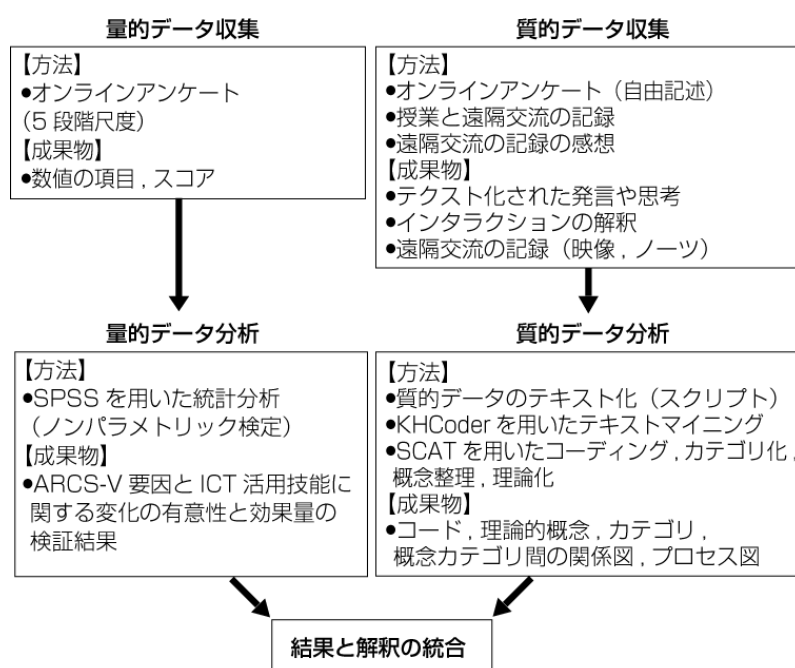


図 6-2 本研究におけるトライアングレーションデザイン

6.2 学習意欲のデザイン (ARCS-V モデル) について

学習者が学びを楽しむには、多様な学習者ニーズに応じたタスクを設計し遂行するだけでなく、学習や授業の魅力を構成する各要素が ID として適切にデザインされ、学習プロセスを通じて学習者によって実感され、評価される必要がある。鈴木 (2010) によれば、教育活動の魅力を直接的に扱った ID モデルとして最も広く用いられてきたのは、ケラーが提唱した ARCS モデルである。ARCS モデルは、学習意欲を高める要因を 4 要因に整理した実践者向けモデルとして、様々な研究分野や領域で応用されてきた。ケラーは学習意欲を、「注意 (Attention)」、「関連性 (Relevance)」、「自信 (Confidence)」、「満足感 (Satisfaction)」の 4 要因に整理した枠組みと、各要因に対応した動機付け方略、動機づけ設計の手順を提案した。さらにケラーは 2004 年、ARCS の 4 要因に第 5 の要因「意志 (Volition)」を追加した学習意欲デザインの第一原理「ARCS-V モデル」を発表した。鈴木 (2010) によれば、近年のケラーの研究関心が「一度動機付けられた後の実行場面での障壁を乗り越える力」へ向けられ、「意志 (Volition)」を加えた拡張版動機付けモデル「ARCS-V」へと改名された。「意志 (Volition)」は、「目標を達成するために努力し続けることに関連する行動と態度全般を示す概念」と定義される。

ARCS モデルの拡張版である ARCS-V モデルの 5 要因は付録 15 の表のようにまとめら

れる（鈴木, 2010; 中畠他, 2012, 2013）。ケラーと鈴木は、ARCS の 4 要因の下位分類（概念と作業質問）及び支援方略をまとめ、「意志（Volition）」については、中畠らが下位分類を提案している。

中畠（2013）によれば、ARCS-V モデルが目指すのは、「学習者は目標到達まで学び続けられるよう支援され、その結果・成果に満足感を得て『もっと学びたくなる』ようになる。そして、さらに次の学びへ動機付けられる、という好循環を生み出すこと」である。本研究の ID 及び BL モデルも、循環型の学習が繰り返され、学習者が実体験に基づき学習を深めていくことを想定している。したがって、遠隔交流を活用した BL が学習者にとって学習の効果・効率・魅力の高い授業として適切に設計され、運営されたかどうかを知るために、ARCS-V モデルの観点から評価することを意図して、授業評価アンケートの一部の質問項目の作成に援用した。質問項目の内容については、6.4 で述べる。

6.3 データ収集の方法

本研究では、公立高校の第二外国語科目で中国語を選択履修した学習歴 2 年の生徒を対象に、複数の手段を用いて量的データと質的データを収集した（表 6-1）。量的データについては、学期始めと学年末のタイミングでオンラインアンケート（5 件法）を実施し、BL 実践前後の比較項目及び授業評価のデータを収集した。オンラインアンケートサイトは Moodle で構築し、インターネット環境があれば学内に限らずどこからでもアクセスできるようにした。質的データについては、毎回の遠隔交流の動画を撮影すると共に、授業記録のフィールドノーツを記録した。遠隔交流の動画はテキストに書き起こしてスクリプトを作成し、分析に使用した。また、毎回の遠隔交流直後に感想アンケート（自由記述）を実施した。学年末に実施した授業評価のオンラインアンケートには自由記述回答も含まれるため、部分的に質的データとして分析した。なお、遠隔交流に関する感想については中国側からもデータを収集したが、本研究は日本人学習者の中国語学習に関する研究であること、中国側の参加者の人数が少なく回答の収集状況にもばらつきがあることから、中国側のデータは本研究の分析対象には含めない。

授業評価アンケートの実施にあたっては、個人情報保護及び教育倫理への配慮を十分に行った。筆者の所属機関が規定する「人間を実験調査等の直接対象とする研究審査申請書」を提出して審査を経た上で実施した。アンケート調査及びインタビュー調査の実施にあたっては、学習者に対してアンケート実施前に、個人を特定する情報は本研究のデー

タ分析以外の目的で使用することはないこと、自身の意思で回答を承諾しても拒否してもかまわないこと、回答の有無や内容によって成績評価の対象にはならないこと等を事前に口頭説明したほか、オンラインアンケートの説明ページにも明記し、内容を確認した後に署名を入力させることで、事前の同意を得た。

表 6-1 収集したデータの種類

データの種類	日本：2012 年度 (n=8)
量的データ	・ BL 実践前後アンケート (中国語学習における ICT 活用、ARCS-V 要因との適合度) ・ 授業評価のオンラインアンケート (授業設計／グループ学習／学習成果についての 5 件法回答及び理由の自由記述)
質的データ	・ 毎回の遠隔交流後の感想 (自由記述) ・ 授業評価のオンラインアンケート (自由記述) ・ 授業記録 (ノーツ、ビデオ、写真による記録)

6.4 遠隔交流を活用したブレンド型学習が学習者の情意に与える影響

6.4.1 分析対象データの概要

高校中国語のための ID 及び BL モデルに基づく学習が学習者の情意に与える影響を知ることが目的として、日本人学習者 8 名のデータを対象に量的分析を行った。量的データは、Moodle で構築したオンラインアンケートを用いて BL 実践の事前と事後に 1 回ずつ実施したアンケート及び学年末に 1 回実施したアンケートの回答である。アンケートは、5 件法による単項選択、複数選択及び選択理由の自由記述により構成した。事前と事後のアンケートは、「中国語学習における ICT 活用」と「ARCS-V の要因の適合度」という 2 つのカテゴリに関する質問項目で構成した。学年末アンケートは、「授業設計と交流準備」、「オンライン交流」、「学習成果」という 3 つのカテゴリに関する質問項目で構成した。

6.4.2 授業設計と交流準備

「授業設計と交流準備」カテゴリでは、37 項目の質問を作成した (付録 16)。学習活動に関する興味・関心や困難点、教師と学習者間のラポール形成、授業設計、運営及び学習支援の適切さ等について、学習者視点の評価を得た。5 件法と複数選択の回答を集計すると共に、より具体的な評価の内容を理解することを目的として、自由記述による回答の理由に基づきコーディングと概念カテゴリの抽出を行った。これは、データに根付いた概念の

解釈のための手続きであり、グラウンデッドセオリーの原則に基づく質的データ分析のプロセスである（シャーマズ, 2008）。

「問 1.『詳細な自己紹介』は、中国の学生との交流に適切なテーマだと思いますか？」では、6 名が「そう思う」、1 名が「まあまあそう思う」、1 名が「どちらとも言えない」と回答した。交流テーマ「詳細な自己紹介」については、初対面の相手との間で必ず発生するコミュニケーションの場面であり、ほぼ全員が適切なテーマであると評価したことがわかる。なお、これ以降、5 件法の質問項目に対する回答について、「そう思う」と「まあまあそう思う」は肯定的な評価、「どちらともいえない」は中立的な評価、「あまりそう思わない」と「そう思わない」は否定的な評価とみなす。

「2.『詳細な自己紹介』の準備は楽しかったですか？」では、5 名が「そう思う」、4 名が「まあまあそう思う」と回答した。その理由についての自由記述回答から、「独自の趣味を話題として自分を知ってもらえることに対する喜び」といった情意面の満足感を得たことがわかる。そのような話題をきっかけに、「自己紹介を通じてお互いを知る」という今後の交流の展開に対する希望も感じられていた。また、「自分を再認識する」という、個人学習のみでは気づきにくいアイデンティティ確認の機会にもなったことがわかる。さらに、「好きな物事や伝えたい事に関して実用的な中国語を学べた」という、詳しい自己紹介の実践に成功した達成感も得られた。

表 6-2 「詳細な自己紹介」の準備を楽しめたかどうかの理由

自由記述回答	コード	概念カテゴリ
みんな中国武術という話題で盛り上がってくれたから。	独自の趣味、話題の共有、盛り上がり	趣味を話題として自分を知ってもらえることに対する喜び、情意面の満足感
自分の趣味について言えるのは嬉しい。	独自の趣味、話す、喜び	
自己紹介は始めて会った中国人と話すとき必要不可欠なものだし、自分の好きなことなどついて詳しく話せるのはうれしいから	自己紹介、初対面の場面で必要不可欠、自分の好きなこと、詳しく話す、喜び	
自分の好きなことを紹介したり自分のことを知ってもらえるから。	自分の好きなこと、紹介、自分のことを知ってもらう	
自分の自己紹介を中国語でできるようになるのは嬉しいし、交流はお互いを知ることから話が広がっていくと思うからです。	中国語で自己紹介、喜び、交流、お互いを知る、話題の広がり	自己紹介を通じてお互いを知る、今後の交流の展開に対する希望
自分のことを再認識できたから！	自分のこと、再認識	アイデンティティの確認
自分の好きなことや伝えたいことを中国語で表せるようになったから。	自分の好きなこと、伝えたい事、中国語で表現	好きな物事や伝えたい事に関する実用的な中国語学習、詳しい自己紹介に成功した達成感
表現しやすい中国語を学ぶことができたから。	表現しやすい中国語、学習	

「3.『詳細な自己紹介』の準備は難しかったですか？」では、2名が「とても難しかった」、6名が「やや難しかった」と回答した。その理由についての自由記述回答から、語彙や文法知識の不足が理由で、自分のことや表現したいことを中国語で作文したり翻訳したりすることが困難であると感じていたことがわかる。特に、人名や作品名といった固有名詞等の特殊な内容を翻訳する際の手続きに不慣れであるために辞書やテキストにない語句の中国語訳に苦労したようである。この翻訳作業における課題は、日本語や英語の表記を調べてから中国の検索サイトで中国語の表現を探すという方略で、教師が学習者の求めに応じて共同作業しながら解決した。また、日本語の作文を考えてから中国語訳するという手順であったために、毎回の作業に相当の時間がかかったことも事実である。しかし、そのような困難を感じながらも、教師の支援で解決しながら学習できたという実感もうかがえる。

表 6-3 「詳細な自己紹介」の準備が難しいかどうかの理由

自由記述回答	コード	概念カテゴリ
わからない単語や表現が多かったから。	語彙や表現の知識不足	語彙や文法知識の不足、自分のことや表現したいことを中国語で作文したり翻訳したりすることの困難、固有名詞等の特殊な内容の翻訳手続きに不慣れ
文法やボキャブラリーがまだ少ないので	文法や語彙の知識不足	
わからない単語が多かったから。	語彙の知識不足	
正しい文法で、自分に合った文章や、具体的な名前(映画タイトルや俳優の名前)を中国語で書くのが難しかったです。	文法の知識不足、中国語を用いた適切な造句や作文が困難、固有名詞の知識不足、翻訳の手続きに不慣れ	
中国語に訳するのが難しかった。	中国語翻訳が困難	
中国語に訳すのに苦戦したからです。	中国語翻訳が困難	
母国語じゃないことばで自分について説明したから。	中国語を用いた詳しい自己紹介、困難	
文章を作る際に時間がかかった。	作文、時間がかかる	作業に時間がかかる
難しかったけど、先生が助けてくれたのでなんとかなりました！笑	難しかった、教師の支援、どうにか問題解決	教師の支援により課題を克服

「4.『詳細な自己紹介』を準備するために、教師のサポートは十分だったと思いますか？」では、8名全員が「そう思う」と回答した。学習のプロセスで発生した問題を解決するために、単に日本語を中国語訳する正解を示すだけではなく、テキストや辞書の該当部分をヒントとして提示する、辞書に掲載されていない固有名詞や新語等は中国の検索サイトで調べるという方略を共同作業を通じて指導する、学習者の進捗や理解度に合わせてペアワークを提案して相互学習を促す等の支援は、学習者にとって適切な形で提供されたといえる。

「5.『詳細な自己紹介』を準備するために、作業時間は十分でしたか？」では、4名が「そう思う」、4名が「まあまあそう思う」と回答した。交流の準備として行った、語彙・文法学習と発音練習及びeラーニングによるICT活用技能訓練は、いずれも適切な時間配分で実施されたといえる。

「6.『高校生活の紹介』は、中国の学生との交流に適切なテーマだと思いますか？」では、8名全員が「そう思う」と回答した。高校生としての独自の生活様式や行事等について紹介することは、交流トピックとして適切な選択といえる。

「7.『高校生活の紹介』の準備は楽しかったですか？」では、8名全員が「そう思う」と回答した。その理由についての自由記述回答（表6-4）から、中国語を用いて日本の高校生活や学校文化を中国の学生に伝える、中国の学校生活について知る、という相互理解のためのインタラクションが成立したことがわかる。学習者は、高校生活の思い出を振り返ることで、自分たちも交流相手も楽しめる交流が実現したことにも満足していた。彼らはまた、交流の過程で日本と中国の学校生活を比較して類似点や相違点を知ることができ、発見の楽しさと喜びを感じていた。学習者は、日本の高校生活を詳しく紹介することで自分たちについてよりよく知ってもらおうと同時に、中国側の状況も知ることができて相互理解が深まったという実感があり、このようなインタラクションの経験を蓄積することを異文化交流の醍醐味として感じたことがわかる。

表 6-4 「高校生活の紹介」の準備が楽しかったかどうかの理由

自由記述回答	コード	概念カテゴリ
日本の高校生のことについて教えることができたと思うから。	日本の高校生、学校文化、教える、伝える	中国語を用いて日本の高校生活や学校文化を中国の学生に伝える 中国の学校生活について知る
自分たちの生活を伝えられたり、そしてあつちのことも知ることができたから。	日本の高校生活、伝える、中国の学生生活、知る	
日本の高校生活を知ってもらうのに最適だと思うからです。	日本の高校生活、教える、伝える、最適	
高校生活を振り返ることができたと同時にそれを伝えることができて、中国の学生も楽しんでくれていたと思うので。	高校生活の振り返り、伝える、中国の学生を楽しませる	高校生活の思い出を振り返る、自分たちも交流相手も楽しめる
自分の思い出を外国語で説明できるようになりたかったから。	高校生活の思い出、中国語を用いて説明	

中国の学生の高校生活と日本の学生の高校生活の違いを見つけられたから。	中国と日本の学生生活、比較、相違点、発見	日本と中国の学校生活を比較して類似点や相違点を知る
お互いの国の高校生活の違いや似ている点について知れてとても楽しかったです。	日本と中国の学生生活、類似点、相違点、知る、発見、楽しい	発見の楽しさと喜び
異文化交流にもつながるから	異文化交流	異文化交流の基礎となる話題

「8.『高校生活の紹介』の準備は、どのような点が難しかった（大変だった）ですか？」については、自己紹介よりも複雑で情報量も豊富な文を考えて中国語に翻訳する作業が必要であるため、作業が困難であると当初から予想された。そのため、学習の過程で発生した作業項目を提示して、複数選択させる回答方式とした。その結果、「日本語から中国語に翻訳する作業」が 7 名、「紹介する内容を考える作業」が 5 名、「日本語の紹介文をまとめる作業」が 3 名、「Word 文書を作成する作業」が 2 名、「グループ内で協力して役割分担する作業」と「中国語をパソコンで入力する作業」は 0 名となった。このことから、中国語翻訳のための知識や技能のみならず、日本語のコンテンツを企画し、情報収集してまとめるという認知プロセスに関わる能力の訓練にもなっていたことがわかる。ICT 活用技能としての Word 文書の作成については、中国語以外の科目でも頻繁に作業した経験があることから、さほど苦労がなかったようである。また、ペンインを使用した中国語（簡体字）入力技能については、杉江（2011a）で実践した BL モデル（本研究の学習者の学習歴 1 年目）で、e ラーニングによる入力練習を通じて訓練してきたことから、学習歴 2 年目には困難を感じていないことがうかがえる。

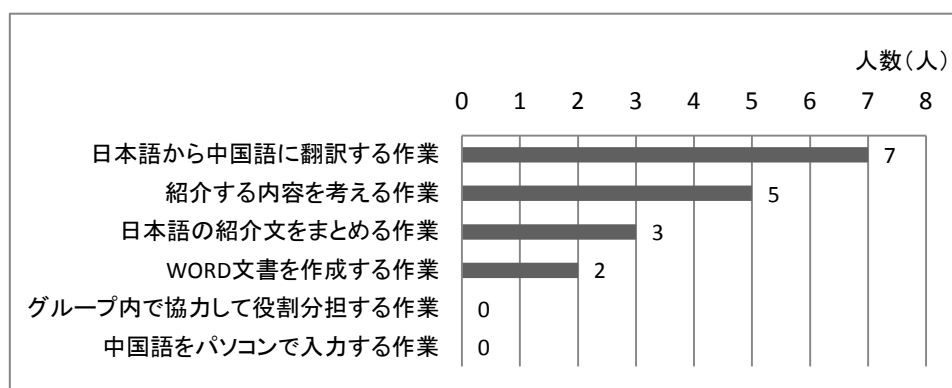


図 6-3 「高校生活の紹介」の困難点

「9.あなたたちのグループが準備した『高校生活の紹介』には、どのような内容を含めましたか？」では、事前アンケートで各自が希望した交流トピックについて、実際の交流経験を通じて記憶に残ったかどうかを確認した。「高校生の流行」、「若い人に人気のある食べ物について紹介」、「部活動について」、「学校祭の詳しい内容、自分が参加する劇の紹介、思い出について」、「餃子作りについて」、「うたごえボン（学校祭の合唱コンテスト）についての内容が挙げられた。日本の高校生活や行事を中心に、高校生という世代を生きる自分たちと直接関係する内容について交流したいと考えていたこと、実際の交流を通じて強く印象に残っていることが明らかとなった。

「10.『高校生活の紹介』は、グループ内で協力してうまく作業を進めることができましたか？」では、4名が「そう思う」、4名が「まあまあそう思う」と回答した。ペアワークによるコンテンツ企画や翻訳、Word文書作成等のタスクを遂行している際の授業中の雰囲気は教師の目から見ても非常によく、互いに協力し合って楽しみながら交流に向けた準備作業に取り組んでいた。

「11.『高校生活の紹介』を準備するために、教師のサポートは十分だったと思いますか？」では、7名が「そう思う」、1名が「まあまあそう思う」と回答した。「詳しい自己紹介」と同様、教師からの学習支援は、学習者にとって適切な形で提供されたといえる。

「12.『高校生活の紹介』を準備するために、作業時間は十分でしたか？」について、3名が「そう思う」、5名が「まあまあそう思う」と回答した。交流の準備として行った、語彙・文法学習と発音練習及びeラーニングによるICT活用技能訓練は、いずれも適切な時間配分で実施されたといえる。

「13.『中国側の質問に答える』形でテーマを設定するやり方は、中国の学生との交流に適切だと思いますか？」では、7名が「そう思う」、1名が「まあまあそう思う」と回答した。日本と中国の双方の学習者視点での交流トピックを決めるやり方は、学習者にとって好ましい方針であることがわかる。

「14.『中国側からの質問』のうち、どのテーマが最も興味深かったですか？」については、「ファッション・おしゃれ」が5名、「高校生の日常生活・学校での勉強」が5名、「流行のテレビ・ドラマ・映画・漫画・アニメ」が4名、「北海道旅行や独自のイベント」「グルメ（若者の好きな食べ物・飲み物）」「卒業後の進路・将来」「学校での楽しい出来事、日常生活」「大学受験・試験勉強・就職活動」が各2名、「日本の社会問題やニュース」「娯楽や余暇の過ごし方」が各1名、「留学生の状況や生活の様子」は0名となった。日本の高校

生として、学校生活やプライベートにおいて日常的に興味・関心のある「ファッションと流行」、「サブカルチャーとメディア」、「学校生活」に関するトピックが中国の大学生からも同様に希望されたことを知り、興味深さと共に、同年代の若者としての親近感を感じていたことがわかる。一方で、日本側からは希望されなかった、「日本の社会問題やニュース」、「留学生の状況や生活の様子」については、中国側がそのような交流トピックに関心が高いことを発見しながらも、高校生にとって身近な話題という実感が薄く、自分自身と関連付けにくいために、さほど興味深く感じられなかったようである。「娯楽や余暇の過ごし方」については、「詳しい自己紹介」に趣味や好きな物事を含めて交流したために、独立したトピックとしては関心が低いことがうかがえる。

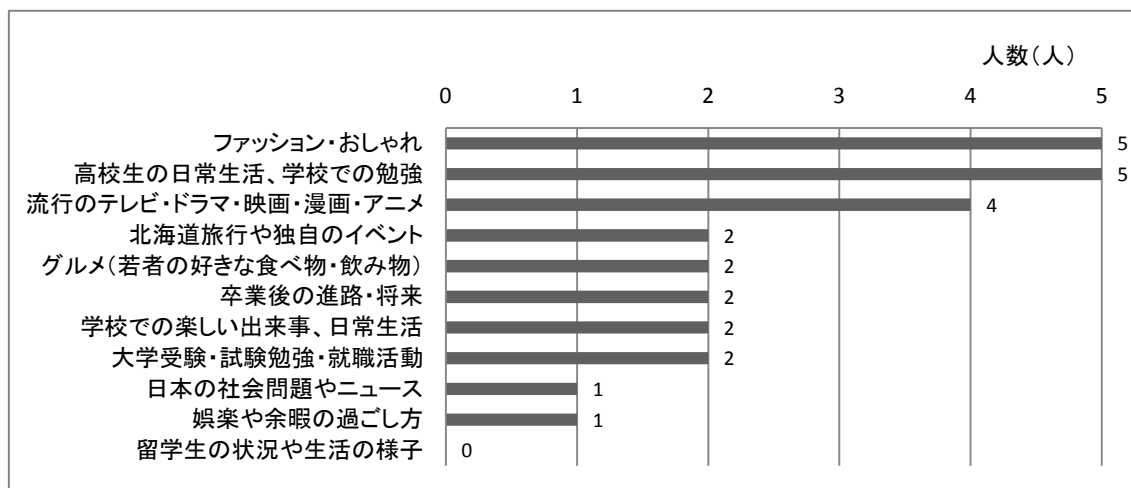


図 6-4 「中国側からの質問」で興味深いと感じたテーマ

「15.『中国側の質問に答える』のは楽しかったですか？」では、6 名が「そう思う」、2 名が「まあまあそう思う」と回答した。その理由についての自由記述回答から、対話を通じて交流相手の興味関心について理解できたことや、中国と日本を比較して類似点や相違点を知るとい、発見と新たな知識の獲得に対する喜びや楽しみを感じたことがわかる。交流相手とのインタラクションを通じて、質疑応答を通じた異文化体験を蓄積し、交流相手が日本に興味を持っていることに対する喜びを深めたこともわかった。学習者は、自己表現の成功を経て、苦労の中にも楽しみを見出しながら、交流のために学習した自分の将来に関する語句や表現を今後の中国語学習や交流に応用できる可能性も感じていた。

表 6-5 「中国側の質問に答える」の準備を楽しめたかどうかの理由

自由記述回答	コード	概念カテゴリ
中国の学生が聞きたいことが聞けたから。	中国の学生が聞きたいことを知る	交流相手が日本について興味・関心を持っているトピックを理解する
質問にどう答えるかを考えたりするのは楽しかったし、中国側の人がこういうことに興味があるんだなあに興味深かったからです。	質問にどう答えるか考える、楽しい、中国人の関心、興味深い	発見の楽しみ 自分で考えて質疑応答する楽しみ
相手の興味のある事がわかったし、似ている点や違う点がわかって興味深かったです。	相手の興味、類似点、相違点、興味深い	中国と日本を比較して類似点や相違点を知る
中国の学生からたくさんの質問をうけて、異文化を実感したから。	中国の学生、たくさんの質問、異文化を実感	交流相手とのインタラクティブ 質疑応答を通じた異文化体験
日本のことに興味をもっていてくれるのがうれしかったので。	日本に対する興味、嬉しい	交流相手が日本に興味を持っていることに対する喜び
難しかったけど、自分で表現できるのは楽しかったから。	難しい、自分で表現、楽しい	自己表現の成功、苦労の中にも楽しみを見出す
難しかったけどやりがいを感じることができた。	難しい、やりがいを感じる	
卒業後の進路の内容は色んなところで使えたから。	卒業後の進路、色んなところで使える	自分の将来、応用の可能性

「16.『中国側の質問に答える』のは難しかったですか？」では、5名が「そう思う」、3名が「まあまあそう思う」と回答した。その理由についての自由記述回答から、日本語でも質問の理解と回答が困難な内容があったという、外国語の問題ではなく内容理解に関する難しさを感じていたことがわかる。最も多く挙げられたのは、日本語から中国語への翻訳が困難という課題であった。その理由は、語彙不足による質問の聞き取りと理解の難しさであり、難しい表現から簡単な表現に変換することの難しさも感じていた。また、中国語運用技能の面で、中国語を用いた即時の応答が困難であり、中国語を聞き取って理解し、自分の言いたいことを概念としてまとめ、それを中国語で再構成するという一連の認知プロセスに基づく即時の反応の難しさが挙げられた。

表 6-6 「中国側の質問に答える」のが難しいかどうかの理由

自由記述回答	コード	概念カテゴリ
なんて回答したらよいかわからない質問も少しあったから。	どう回答すればよいかわからない	日本語でも質問の理解と回答が困難な内容があった
日本語でもどう答えるか悩むことが意外と多かったです。	日本語でもどう回答すればよいかわからない、悩むことが多い	
質問が少し難しいものもあったので。	質問の内容理解が困難	
知らない単語が多かった。	単語の知識不足	語彙不足が理由で中国語翻訳が困難
わからない単語がたくさんあった。	単語の知識不足	
質問を訳す上でボキャブラリーが少なかったので訳すのが大変でした。	質問の翻訳が困難、ボキャブラリー不足	
日本語を中国語に訳したり、難しい言い回しを簡単な物に変えたりすることが大変だったから。	日本語を中国語に訳すのが大変、難しい表現から簡単な表現への変換が大変	日本語から中国語への翻訳が困難 難しい表現から簡単な表現に変換することが困難 中国語を用いた即時の応答が困難
どう中国語に訳すのが難しかったからです。	中国語への翻訳が困難、	

「17.『中国側からの質問に答える』準備をするために、教師のサポートは十分だったと思いますか？」では、8名全員が「そう思う」と回答した。「詳しい自己紹介」や「高校生活の紹介」と同様、教師からの学習支援は学習者にとって適切な形で提供されたといえる。

「18.『中国側からの質問に答える』準備をするために、作業時間は十分でしたか？」では、5名が「そう思う」、2名が「まあまあそう思う」、1名が「どちらともいえない」と回答した。交流の準備として行った、語彙・文法学習と発音練習及びeラーニングによるICT活用技能訓練は、概ね適切な時間配分で実施されたといえるが、「詳しい自己紹介」や「高校生活の紹介」よりも具体的で複雑かつ豊富な情報を含む内容について情報収集し、日本語でのコンテンツを企画し、中国語に翻訳し、発音を練習するという準備作業は、時間的な負担が大きかったようである。ペアワークにより一人ひとりの負担を軽減する方略を講じてはいたが、準備のための授業時間を大目に配分した上で交流に臨む、交流トピックを分類した上で同じトピックについて遠隔交流を複数回行う等、トピックの選別、準備時間の確保、遠隔交流の時間配分等の面で改善が必要である。

「19.中国語の授業は、学習しやすいように計画・準備されていたと思いますか？」では、7名が「そう思う」、1名が「まあまあそう思う」と回答した。学習目標の設定、プロジェクト学習のテーマ、学習内容の企画といった授業計画・準備の面では、学習者の満足度が高い結果となった。

「20. 授業中に、何をどのように作業すべきか、教師の指示が適切に出され、それを理解することができましたか？」では、6 名が「そう思う」、2 名が「まあまあそう思う」と回答した。授業中の指示や理解支援については、学習者にとって適切と感じられるやり方で提供されたといえる。

「21. 教室での一斉授業、パソコン教室での CALL 授業、オンライン交流のバランスについて、学習環境と学習内容の組み合わせで最も望ましいと思うものを最大『3 つ』まで選んでください。」は、1 人 3 項目までの多肢選択とした。教室環境における言語コミュニケーションの 4 技能強化の学習及び応用練習、e ラーニングによる言語コミュニケーションの 4 技能強化の学習及び応用練習、中国との遠隔交流機会の増加、中国について知るためのグループ学習、日本について知るためのグループ学習、現状維持に対するニーズを調査した。その結果、中国との遠隔交流機会の増加が 4 名、e ラーニングによる「聴く」「話す」の学習強化、現状維持が各 3 名、中国について知るためのグループ学習が 2 名、日本について知るためのグループ学習、教室環境における「書く（作文・翻訳）」「話す（場面別の会話）」、「聴く」学習強化及び語彙・文法学習が各 1 名、教室環境における「読む（長文読解）」、e ラーニングによる「読む」「書く」学習強化は 0 名となった。学習者は、何より遠隔交流による対話の実践を経験したいと望んでおり、そのための交流準備として、e ラーニングにより自分の能力に合わせて効率的に「聴く」「話す」技能を訓練したいと考えていることがわかる。本研究の ID 及び BL モデルは、語彙・文法の知識及び運用技能と対面交流によるインタラクションの経験を有機的に連携させて学習を展開するねらいで設計したものであり、この点について学習者の満足度が高い結果となった。また、交流のためには中国語の運用技能だけでなく、話すべきトピックが必要であり、日本についての質問に答えたり、積極的に紹介したりするための知識と、中国について質問したり、相手からの答えを理解したりするための知識も必要であると感じていたことがわかる。交流準備の作業として、作文・翻訳に苦戦したことや、語彙不足による理解度の低さを反省したことから、基本的な語句・文法の学習と応用練習が必要であると感じる学習者もいた。しかし全体的には、そういった学習よりも、遠隔交流の環境で学習できる「BL ならでは」の授業を、クラスメートや教師の支援を得ながら作り上げたいと望んでいたことがわかる。

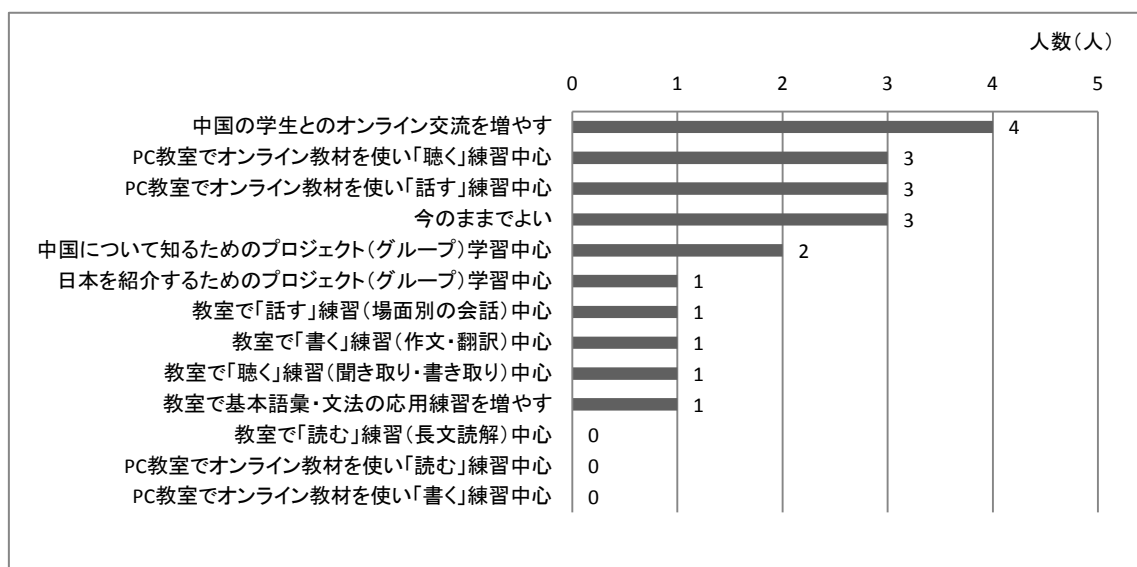


図 6-5 BL の学習環境と学習内容の組み合わせ

「22. 学習の成果をどのように評価すべきだと思いますか？最も重要だと思うものを最大『3つ』まで選んで下さい。」は、評価の方法に対するニーズを調査した。その結果、「プロジェクト学習でグループの成果物の完成度を評価する」が6名、「課題文朗読・暗唱やスピーチで個人の話す力を評価する」が5名、「授業中の言動で積極性や発想力を評価する」が4名、「リスニング試験で個人の聴く力を評価する」及び「筆記試験で個人の文法項目の定着度を評価する」が3名、「個人の真面目な学習態度を評価する（言動やノート・課題提出）」及び「作文やレポート提出で個人の書く力を評価する」が各1名、「プロジェクト学習の過程でリーダーシップを評価する」、「プロジェクト学習の過程でグループの協調性を評価する」及び「単語小テストで個人の記憶力を評価する」は0名となった。学習者は、グループ学習で作成したコンテンツを協調学習の成果として評価してほしいと望む一方で、個人成果としての文法能力や長文を話す・聴く技能に対する評価も望んでいることがわかる。また、積極的な学習態度や自分の発想に対しても注意を向けてほしいと感じている。これは、言語の知識や運用技能のみならず、「できなくても一生懸命学習しようとする頑張り」を質的に評価してほしいという気持ちの表れであろう。従来の評価の中心であった語彙・文法の記憶の定着や、書く力、真面目な学習態度の評価を望む声は少なく、また、リーダーシップや協調性といった中国語に直接関連しない学習態度や社会性にかかわるスキルについては意識されていないことがわかった。

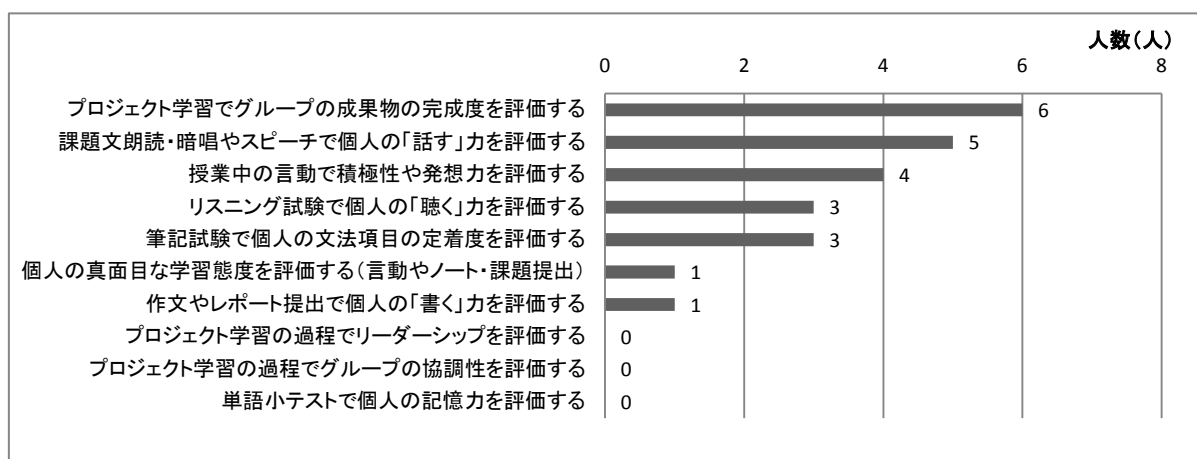


図 6-6 学習成果の評価方法

「23. 中国語の授業全体を通じて、『目標（何をしようとしているか）』と『成果（何がわかるように／できるようになるか）』がわかりましたか？」では、「目標も成果もわかった」が 5 名、「目標はわかったが、成果はわからなかった」が 2 名、「目標はわからなかったが、成果はわかった」が 1 名、「目標も成果もわからなかった」は 0 名となった。教師が口頭説明や配布資料で示した学習目標とそれに対する学習成果は概ね学習者に理解されたといえるが、いずれか一方のみしか伝わらなかった学習者もいた。学習者の形成的評価の段階で、学習者に対する目標と成果に対する理解を確認し、全員の共通理解が得られるよう配慮する必要がある。

「24. 対面式授業、CALL 授業、オンライン交流のどれが最も楽しいと感じますか？」では、「オンライン交流（実際のコミュニケーション場面での中国語運用）」が 7 名、「対面式授業（語彙・文法学習）」が 1 名となった。遠隔交流を核とする BL において、学習者はリアルなインタラクションの経験とその喜びを享受したことがわかる。また、対面授業の語彙・文法学習では、交流の準備として様々なグループ（ペア）学習を行い、クラスメートや教師と共に授業や成果物を作り上げていく学習経験に満足した学習者もいたことがわかる。e ラーニングに対する楽しみを挙げた学習者はいなかったことから、学習者の好みや得意・不得意といった学習スタイルを教師が見極め、学習者が楽しめる学習形態やコンテンツを追加・修正しながら、3 つの学習形態の最適な連携を実現するための工夫が必要である。

「25. 対面式授業、CALL 授業、オンライン交流のどれが最も役に立つと感じますか？」では、「オンライン交流（実際のコミュニケーション場面での中国語運用）」が 6 名、「対面式授業（語彙・文法学習）」が 1 名、「CALL 授業（ピンイン入力練習・文書作成・情報検

索)」が1名となった。前項の「楽しみ」とは別の観点で、eラーニングがスキルアップに役立つと考える学習者がいたことがわかる。

「26. 対面式授業、CALL 授業、オンライン交流のどれを最も重視しますか？」では、「オンライン交流（実際のコミュニケーション場面での中国語運用）」が6名、「対面式授業（語彙・文法学習）」が2名、「CALL 授業（ピンイン入力練習・文書作成・情報検索）」が0名となった。学習者の多くは、中国語 NS を相手とする交流の機会を増やすことの重要性を認識しており、同時に、交流で活用するための語彙・文法といった資源を事前に習得することの必要性も認識していた。eラーニングについては、他の授業形態と比較して重要性が低いと位置づけられた。

「27. 対面式授業（文法学習）や CALL 授業（入力練習や文書作成）で準備したことは、中国の学生とのオンライン交流とうまく結びついていましたか？」では、BL のモデルのねらいが学習者にどう評価されたかを調査した。その結果、「そう思う」が6名、「まあまあそう思う」及び「どちらともいえない」が各1名となった。ID と BL モデルのねらいは、授業を通じて達成されたといえよう。

「28. 対面式授業、CALL 授業、オンライン交流をより効果的に結びつけるために、自分自身の学習にどのような工夫や努力が必要だと思いますか？」では、BL の効果を高めるための学習者の自己評価と反省に基づく課題意識を自由記述の形式で確認した（表 6-7）。その結果、「中国人との交流の機会を増やす」という、日常的に中国語 NS との接触や交流の機会を増やす必要性を挙げた学習者は1名で、その他は全員が教室環境における学習方略や態度に関する課題を認識していた。「聴く力を高める」、「語彙を増やす」、「発音練習を強化する」、「わからないことを調べて知識を増やす」等の知識や言語コミュニケーションの4技能に関する課題が最も多く、「入念に交流の準備をする」、「学習習慣を形成する」等の学習態度、「授業での学習内容に基づき会話で活用できる語句や文を定着させ、交流で即時に活用する」という実践的な応用能力、「論理的な話の構造を意識する」というメタ認知能力に関わる課題にも気づきを得たことが明らかとなった。

表 6-7 BL の学習効果を高めるために必要な工夫や努力

自由記述回答	コード	概念カテゴリ
もっと中国の人と交流する。	中国人との交流	中国人との交流機会を増やす
聴く力を身につける必要がある。	聴く力、身につける、必要	聴く力の習得、向上
授業でやったことを忘れずにメモなどしておき、実際の交流のときに使えるようにすること。	授業での学習、忘れずにメモ、実際の交流で使えるようにする	授業での学習内容に基づき会話で活用できる語句や文を定着させ、交流で即時に活用する わからないことを調べて知識を増やす 入念に交流の準備をする 発音練習を強化する
その日に習ったことなどをふまえてその次の授業に備えて少し考えをまとめたり準備したりすることです。	習ったこと、ふまえる、授業に備える、考えをまとめる、準備する	
自分が話すときに、使えそうな具体的な単語や文を覚えておく	自分が話す、具体的な単語や文、覚える	
単語や文法を定着させてから交流に臨む。何度も読む・話す練習をして参加する。	単語や文法を定着させる、交流に臨む、何度も読む・話す練習をする、参加する	
日々勉強して少しでもボキャブラリーを増やすこと。	日々勉強する、ボキャブラリーを増やす	学習習慣を形成する 語彙を増やす 論理的な話の構造を意識する
ボキャブラリーをもっと増やす！普段日本語で話しているときから、話の組み立てやわかりやすさを意識する。	ボキャブラリーを増やす、日本語で話す、話の組み立て、わかりやすさ、意識する	

「29. 自分自身がオンライン交流に参加しない時でも、授業で学習した内容は自分にとって意味のあるものでしたか？」では、8名全員が「そう思う」と回答した。本研究の実践においては、1名の学習者が部活動のために放課後の遠隔交流に参加できず、また別の1名の学習者は初回の「挨拶・自己紹介」をトピックとする遠隔交流のみに参加した。残りの6名も、参加できる回とできない回があり、9回すべての交流に参加した学習者はいなかった。しかし、共同で交流の準備作業を行い、交流の様子について参加したクラスメートから話を聞き、交流で活用された語句や会話表現を教師から授業中にフィードバックされることによって、参加できなかった不公平感や不満を高めることなく、学習内容を自分自身に関連付けて一定の満足を得られたようである。

「30. 授業時間での不足を補うために、中国語の授業外（家庭や放課後）学習をしましたか？」では、「たくさんした」が1名、「まあまあした」が1名、「あまりしなかった」が4名、「ほとんどしなかった」及び「まったくしなかった」は各0名となった。交流準備のための情報収集、素材集め、作文、翻訳等は、可能な限り授業時間内に完了するよう配慮したが、グループによっては授業中に終わらず宿題として持ち帰り、学習者どうし協力して

課外時間や自宅学習で作業し、次の授業までに完成を目指すという方針を採った。「たくさんした」と回答した学習者 YZ は個人での中国語学習歴が長いことから、これは元来の学習意欲の高さの表れであろう。全体傾向としては、課外や自宅では主要科目を学習し中国語のための準備作業には手が回っていない学習者と、同じ状況にあっても交流のために意識的に努力した学習者に分かれてしまった。

問い 31 から 33 は、学習者と教師間のラポール形成について、授業運営や学習のプロセスで教師が学習者に対して適切に働きかけていたかどうかを調査した。「31. 教師は学習者どうしがよい人間関係を作れるようサポートしていましたか?」、「32. 教師は学習者に関心に向け、積極的に学習をサポートしていましたか?」及び「33. 教師は個々の学習者に配慮し、必要なサポートを適切に提供していましたか?」では、いずれも 7 名が「そう思う」、1 名が「まあまあそう思う」と回答した。学習者にとって、教師は学習者間の関係についてチームワークや一体感を実現するためのファシリテーターとして機能しており、学習者一人ひとりに関心に向けて学習を支援し、個別のニーズの把握と問題解決のために積極的に働きかけていたと認識され、これがラポール形成の一助になったといえるだろう。

問い 34 から 37 は、学習者と教師間のラポール形成について、学習者自身が授業運営や学習のプロセスで適切に機能したかどうかを自己評価するものである。「34. あなたは学習者として、教師の考え、気持ち、行動を理解し、授業がスムーズに進むように協力しようとしたか?」では、7 名が「そう思う」、1 名が「まあまあそう思う」と回答した。「35. あなたは学習者として、必要な時に教師に対してサポートを求めましたか?」では、8 名全員が「そう思う」と回答した。「36. あなたは学習者として、教師を信頼してサポートを受け入れることができましたか?」では、7 名が「そう思う」、1 名が「まあまあそう思う」と回答した。「37. あなたは学習者として、教師の期待を感じ、それに応えようとする努力する気持ちになりましたか?」では、6 名が「そう思う」、2 名が「まあまあそう思う」と回答した。学習者は、教師の授業設計や学習のねらいの意図を汲み取って協力的に行動し、学習の過程で困難に直面した際には自主的に支援を求め、教師を信頼して支援を受け入れると共に、教師の期待を感じ取りそれに応えようとして学習活動に取り組んだといえる。

6.4.3 オンライン交流

「オンライン交流」カテゴリでは、10 項目の質問を作成した（付録 17）。遠隔交流の形態・環境、遠隔交流のニーズ、遠隔交流により得られる心情・態度、遠隔交流の難しさ、コミュニケーションの経験、遠隔交流の意味、中国語学習形態として遠隔交流の活用、遠隔交流による学習成果、遠隔交流による知識の獲得、報道と遠隔交流経験に基づく対中感情等について、学習者視点の評価を得た。前述の「授業設計と交流準備」カテゴリと同様に、5 件法と複数選択の回答人数を集計すると共に、回答の理由について、より具体的な評価の内容を理解することを目的として、自由記述回答の原文に基づくコーディングと概念カテゴリの抽出を行った。なお、質問 10 の報道と遠隔交流経験に基づく対中感情については、質的データであるため、6.5.2 の質的データ分析で扱う。

「1. 中国の学生とオンライン交流を行う環境として、今年度の交流形態をどう思いますか？」では、6 名が「よい（問題ない）」、1 名が「まあまあよい（それほど問題ない）」、1 名が「交流していない」と回答した。遠隔交流は、放課後の時間帯に講師控室で教師のパソコン端末、設備及び無線ネットワークを利用して行ったが、各回の参加人数が 2～4 名と少なかったことから、ノートパソコンの画面サイズや内臓スピーカからの音声で交流することは特に支障なく、学習者にも受け入れられる環境であった。ただし、ネットワーク接続状況と映像の画質については、校舎の構造や立地、無線ネットワークのカバー状況が理想的ではなく、頻繁な中断や伝送の遅延が発生してスムーズな交流ができず、強いストレスを感じる状況であった。

「2. 授業以外にも中国の学生とオンライン交流をしたいですか？」では、4 名が「そう思う」、4 名が「まあまあそう思う」と回答した。交流を希望する場合に対応可能な遠隔交流の環境については、「家庭の PC＋無線 LAN・wi-fi 回線」が 4 名、「スマートフォン＋無線 LAN・wi-fi 回線」が 3 名、「家庭の PC＋有線ブロードバンド回線」、「スマートフォン＋3G 回線」、「iPad などのタブレット PC＋無線 LAN・wi-fi 回線」が各 1 名、「iPad などのタブレット PC＋3G 回線」は 0 名であった。学習者は全員が授業時間以外にも中国の学生との交流の機会を持つことを期待しており、遠隔交流の環境としては、自宅のパソコン端末、タブレット PC やスマートフォン等のモバイル端末で、無線ネットワークあるいは有線ブロードバンドネットワークを利用した接続が可能であることがわかった。

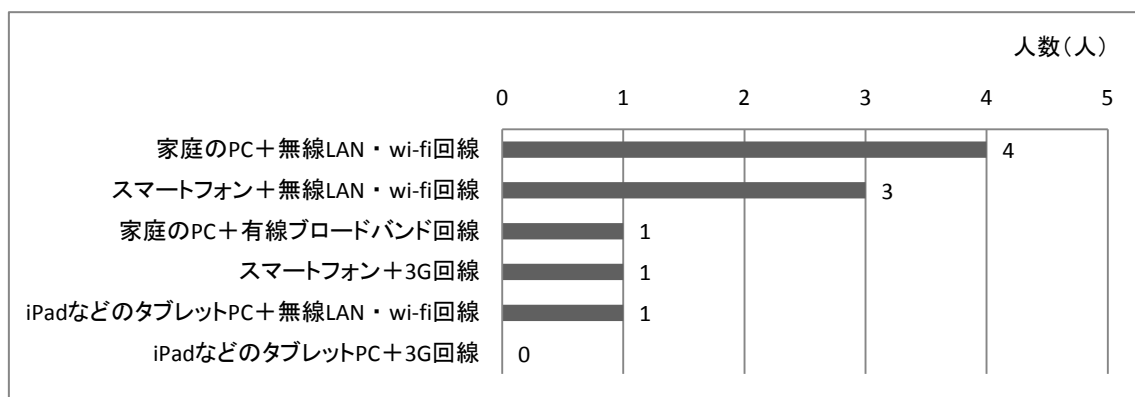


図 6-7 課外時間で対応可能なオンライン交流の環境

「3. 中国の学生とのオンライン交流で、どのような気持ちになりましたか？（複数回答可）」では、学習成果のひとつとして、遠隔交流が学習者の心情や態度に与える影響を確認した。その結果、「楽しい」、「できないことが分かりもっと勉強しようと思う」、「もっと中国語ができるようになりたい」が各 7 名、「もっと中国語を勉強したい」、「ほどよい緊張感がある」、「自信が付く」が各 6 名、「もっと日本や自分たちのことを知ってほしい」、「やる気が出る」が各 5 名、「できないことが分かりショックでへこむ」が 2 名、「プレッシャーを感じる」、「交流していないのでわからない」が各 1 名となった。

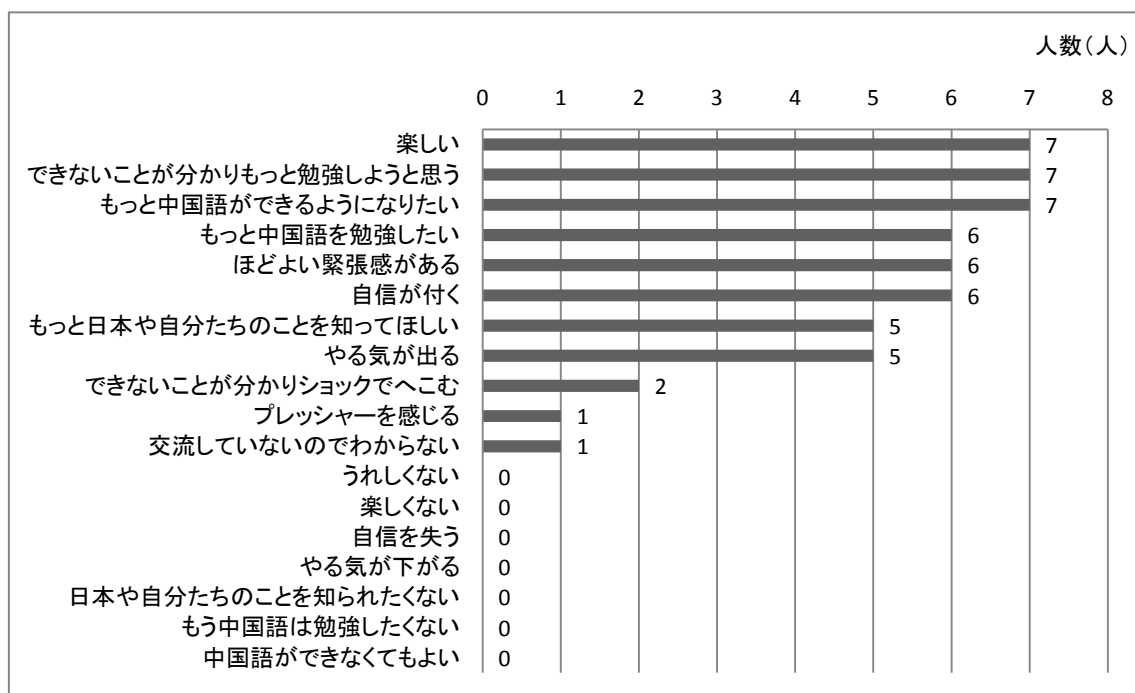


図 6-8 遠隔交流が学習者の心情・態度に与える影響

その理由として、学習者は遠隔交流の機会を喜び、対話を楽しみ、遠隔交流の経験を蓄積する中で新しい知識や語句を獲得し、実践的な会話表現を活用して自信を獲得することで、中国語学習のモチベーションが向上していったことがわかる。同時に、「知識や技能不足によるコミュニケーションの困難」を実感し、時に「ショックを感じてへこむ」ことがあり、うまくコミュニケーションできるかどうかわからない状況に緊張や不安を感じながらも、相手に自分たちのことをもっとうまく伝えたいという気持ちから知識や技能の習得に対する向上心を高め、真正なコミュニケーション場面における適度な緊張感を持って交流を重ねることで、「課題克服の喜び」や「少ない資源を最大限活用し、コミュニケーションが成立する喜び」を感じていたこともわかる。コミュニケーションの困難を感じ、失敗にショックを受けてもそこで立ち止まらず、次への課題意識や学習モチベーション向上へうまく転化させていたことが見て取れる。

表 6-8 遠隔交流が学習者の心情・態度に与える影響とその理由

自由記述回答	コード	概念カテゴリ
交流することで学習に対するモチベーションがあがる。	交流、学習のモチベーション向上	新しい知識や語句の獲得 実践的な会話表現の活用 交流の喜びや楽しみ 自信の獲得 中国語学習のモチベーション向上
色々な意見も聞けるし、知らない単語とか表現が毎回聞けるので自分の為になってるとおもったので。	色々な意見を聞ける、知らない単語・表現が聞ける、ためになる	
もっといろいろなことを中国語で話せるようになりたいと思うし、伝わったときに自信が持ててやる気が出るのでよかったです。	いろいろなことを中国語で話したい、伝わる、自身が持てる。 中国語学習のモチベーション向上	
交流はとても楽しかったし、中国語をもっと勉強したいという意欲がさらにわいたからです。	交流、楽しい、中国語、もっと勉強したい、中国語学習のモチベーション向上	
言っていることが全然理解できなくて、そして話すこともできなくてへこむけど、笑顔だけで楽しいです。	相手の話が理解できない、話すことができない、笑顔、楽しい	コミュニケーションの困難 知識と技能の不足を認識、反省 コミュニケーション失敗のショック 課題克服の喜び 少ない資源を最大限活用してコミュニケーションが成立する喜び
難しかったけど自分の中国語が少しでも通じて嬉しかったから。	難しい、自分の中国語、少しでも通じる、嬉しい	
自分の勉強不足を痛感する場面もあるけど交流することは楽しいしやりがいを感じるから	勉強不足を痛感する、交流、楽しい、やりがいを感じる	
交流してないです（涙）	交流していない	

「4. 中国の学生とのオンライン交流は難しかったですか？」では、「そう思う」が6名、「まあまあそう思う」が1名、「交流していない」は1名となった。その理由として、「聴く力」や「語彙」といった言語コミュニケーション技能の不足が原因で、「ネイティブの話す速度」では聞き取れなかったこと、正確な発音ができないことが原因で、「自分の中国語が相手に通じない」ために、「実際に中国語を用いてスムーズに会話することは難しい」と感じていたことがわかる。しかし、中には、遠隔交流の難しさを感じながらも、顔の見える遠隔交流ならではのやりがいがあり楽しいという声もあった。

表 6-9 遠隔交流が難しかった理由

自由記述回答	コード	概念カテゴリ
聴き取る力がまだ足りないから。	聞き取る力が不足	聴く力が不足
中国の学生が言っていることが、自分の中国語のリスニング力が低いことであまり聞き取れなかったりして、スムーズに会話をするのが難しかったからです。	相手の言うことが聴き取れない、リスニング力が低い、スムーズな会話、難しい	スムーズな会話が難しい ネイティブの話す速度が速い 実際の中国語コミュニケーションは難しい
実際の中国語は難しいです。	実際の中国語、難しい	
言葉が通じないとき	言葉、通じない	自分の中国語が相手に通じない
自分の中国語か通じないときがあったから。	中国語、通じない	
まだわからない中国語がたくさんあるから。	わからない、中国語、たくさん	語彙が不足
スカイプなどで顔が見える交流ができると、やりがいがある楽しいです。	スカイプ、顔の見える交流、やりがいがある、楽しい	顔の見える遠隔交流はやりがいがあり楽しい
交流してないです（涙）	交流していない	交流していない

「5. 中国の学生とのオンライン交流は、スムーズにコミュニケーションを取ることができましたか？」では、「そう思う」が1名、「まあまあそう思う」が3名、「どちらともいえない」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」、「交流していない」が各1名であった。「あまりそう思わない」あるいは「そう思わない」理由としては、「自分のスキル不足」が原因で、「相手の話を聞き取って理解できない」「質問したいことや答えたいことを中国語ですぐに表現できない」ことを課題として認識していた。

「6. 中国の学生とのオンライン交流は自分にとって意味がありましたか？」では、遠隔交流に参加した7名全員が「あった」、1名が「交流していない」と回答した。その理由は、日常的に対面交流の機会がないため、異文化理解の貴重な経験をしたという経験そのものに価値を見出し、ネイティブの中国語に直接触れる経験を通じて、中国に行きたい、中国

語がうまくなりたい、と中国語の学習意欲が向上したこと、また、実際のインタラクションを通じて中国語運用技能の不足を実感し、課題として認識すると同時に、交流相手の友好的な態度に励まされてコミュニケーションが成立し、中国に対する親近感や興味・関心が向上したことや、交流の過程で教科書の定型文だけではなく実践的な会話表現を学び、活用できたことで、使うために学ぶという言語学習の意義を実感し、中国語の学習意欲の向上につながったことがわかる。

表 6-10 遠隔交流の意義と理由

自由記述回答	コード	概念カテゴリ
学習意欲の向上。	学習意欲の向上	中国語の学習意欲の向上
面と向かって会話ができたから。	対面、会話	日常的に対面交流の機会がない 異文化理解の貴重な経験
なかなか普段交流できる機会がないので貴重な経験になった	交流の機会がない、貴重な経験	
ネイティブの発音を聞くことができたから	ネイティブの発音、聞く	ネイティブの中国語に直接触れる経験 中国に行きたい、中国語がうまくなりたい、という意欲の向上
実際に中国の学生と交流することでネイティブな中国語を体感することができし、中国に行ってみたいという気持ちが強くなったからです。また、もっと中国語がうまくなりたいと思ったからです。	実際に中国人と交流、ネイティブの発音を体感、中国に行きたい、気持ちが強くなる、中国語がうまくなりたい	
自分の中国語がまだまだだと感じる事ができたし、また中国人の人たちが親切でやさしくて、いっそう中国に対する関心が深まったから。	中国語がまだまだであることを実感、交流相手、親切、優しい、中国に対する関心が深まる	中国語運用技能の不足を実感し、課題として認識 交流相手の友好的な態度から、中国に対する親近感や興味・関心が向上
学んだことを使えと、中国語についていろいろな事をより積極的に知りたいと思えるようになるし、使ってこそ言語の意味があると思うからです。	学習内容の活用、中国語について知りたい、積極性、言語は活用してこそ意味がある	学習内容を実際に活用することで中国語の学習意欲が高まる 使うために学ぶという言語学習の意義を実感
交流してないです（涙）	交流していない	交流していない

「7. 中国の学生とのオンライン交流は、中国語の学習として役立ちましたか？」では、6名が「そう思う」、1名が「まあまあそう思う」、1名が「交流していない」と回答した。その理由として、遠隔交流は中国語 NS と直接インタラクションすることのできる実践的な中国語の学習の機会であり、自分と関連性の高い内容や授業で学習した内容を実践で活用して定着させることができ、コミュニケーションに必要な言語知識や聞く・話す・質疑応答等の技能が強化されるという実感をもって、コミュニケーション成立の経験による自信が

得られる点にあることがわかった。また、学習者は遠隔交流を通じて学習した内容に対して、将来的な活用の可能性も感じていた。

表 6-11 遠隔交流が中国語学習として役に立つ理由

自由記述回答	コード	概念カテゴリ
質疑応答の力がつく。	質疑応答、力がつく	実践的な中国語の学習 コミュニケーションに必要な言語知識や聞く・話す・質疑応答等の技能の強化
話す、聴く学習の場面	話す・聞く学習	
交流のために自己紹介や学校生活のことなどを事前に文章で考えるのは実践的な中国語の勉強になったし、交流しているときに新たな単語やフレーズを知れたりして役に立ったからです。	交流の準備、自己紹介、学校生活、文章で考える、実践的な学習、新たな単語・フレーズを知る、役に立つ	
自分の中国語を直接中国の学生に聞いてもらった。	中国語を直接中国人に聞いてもらう	中国語 NS と直接インタラクションする経験
習ったことを実際に使うことにより、定着させる。	習ったこと、実際に使う、定着させる	授業で学習した内容を実践で活用して定着させる コミュニケーション成立の経験により自信がつく
授業でやったことが相手に通じること、自信につながった	授業で学習したこと、相手に通じる、自信につながる	
交流では自分に当てはまることについて中国語で伝えようと思うので、今後も使えそうなことを学べて良かったです。	自分のことを中国語で伝える、今後も使える、学習、よかった	自分と関連性の高い内容について中国語で話す 将来的な活用の可能性
交流してないです (涙)	交流していない	交流していない

「8. 中国の学生とオンライン交流によって、対面授業の文法学習や CALL 授業だけでは得られない学びがあったと思いますか？」では、遠隔交流に参加した 7 名全員が「そう思う」、1 名が「交流していない」と回答した。その理由から、実際に中国語 NS と対面交流することで、NS の中国語を聞きながらコミュニケーションできる実践的な学習形態であると共に、交流相手の人柄や友好的な態度や交流相手の興味・関心や話題を知ることのできる貴重な機会であること、また、授業で単語・文法や定型文を個人学習するのではなく、実際の交流で学習した中国語を活用することで、知識と経験が効果的に連携した結果、コミュニケーション成立の喜びを実感できる機会であったことがうかがえる。

表 6-12 遠隔交流ならではの学習成果

自由記述回答	コード	概念カテゴリ
実際の生の中国語が聞けて非常に勉強になる。	生の中国語が聞ける、勉強になる	実際に中国語 NS と対面交流し、コミュニケーションをとる中国語 NS の中国語を聞く
面と向かって交流ができたから。	対面交流	
実際にコミュニケーションできること	実際のコミュニケーション	
中国人のやさしさ、まじめさ。	中国人、やさしい、まじめ	交流相手の人柄や友好的な態度を知る 交流相手の興味・関心や話題を知る
向こうの学生が興味を持っていることや、どんな話を話すのかちょっとわかってよかったです。また面白い人もたくさんいてとても楽しかったです。	交流相手の興味や話題、理解する、面白い人、楽しい	
文法や単語だけをひとりで勉強するのではなくて、実際に中国語を使って交流して自分の習った中国語をどんどん使ってみることで相手とコミュニケーションをとるといことがすごくうれしいということです。	単語や文法の個人学習、実際に交流して学習した中国語を活用する、コミュニケーションをとる、うれしい	授業で単語・文法や定型文を個人学習するのではなく、実際の交流で学習した中国語を活用する コミュニケーション成立の喜び
交流してないです（涙）	交流していない	交流していない

「9. 中国の学生とのオンライン交流を通じて、今まで知らなかった中国の人々や文化について知ることができましたか？」では、4 名が「そう思う」、1 名が「まあまあそう思う」、2 名が「どちらともいえない」、1 名が「交流していない」と回答した。その理由から、中国の大学の学食、学校祭、制服等、学校文化に関する交流トピックについて、実物を見て日本と中国の共通点や相違点を理解する体験から、交流相手について深く理解できたこと、また、交流相手の積極的なコミュニケーション態度やキャラクターが強く印象づけられたことがわかった。

表 6-13 遠隔交流を通じて中国の人や文化について得た知識

自由記述回答	コード	概念カテゴリ
中国の学生のことをよく知ることが出来た。	中国の学生、よく知る	交流相手について深く理解する 中国の大学生活について知る 日本と中国の制服の違いについて実物を見て理解する
学校祭の写真を見せてもらったこと。	学校祭の写真	
制服の話になったとき、私たちの制服をかわいいて言ってくれて中国の学生は自分たちの制服を「おばあちゃんの服みたいなの」って言っていたのがとても印象的でした。	日本の制服、かわいい、中国の制服、おばあちゃんの服みたい、印象的	
結構積極的な人が多かった。	交流相手、積極的	交流相手の積極的なコミュニケーション態度を知る
とても面白い女の子がいたのを覚えています。話してとても楽しかったです。	面白い女の子、覚えている、話して楽しい	交流相手の性格や個性に関する深い印象

6.4.4 学習成果

「学習成果」カテゴリでは、30 項目の質問を作成した（付録 18）。中国語学習による関心・態度・意識の変化に対する自己認識、協調学習の成果と自己評価、中国の学生に対する態度、交流によって獲得した知識と技能、ICT 活用技能、BL の効果、BL の将来的な活用可能性、BL 継続の意志、BL の困難点、BL の満足度等について、学習者視点の評価を得た。前述のカテゴリと同様に、5 件法と複数選択の回答人数を集計すると共に、回答の理由について、より具体的な評価の内容を理解することを目的として、自由記述回答の原文に基づくコーディングと概念カテゴリの抽出を行った。なお、質問 23～27 は ARCS-V モデルの概念を援用した質問項目であるため、6.4.5 のノンパラメトリック検定による分析で扱う。また、質問 22 の「中国語の授業全体を通じて最も良かった点と悪かった点」、質問 29 の「第二外国語としての中国語の授業の存在・位置付け」、及び質問 30 の「1 年半（高校 2 年～3 年）の中国語学習の感想」は質的データであるため、6.5.2 で扱う。

「1. 中国に関連する物事についてどのような関心・態度・意識が芽生えましたか？（複数選択）」では、BL による情意面の変化について学習者の自覚を確認した。その結果、「中国語を積極的に使おうとする」が 7 名、「ニュースや新聞で中国の話題について気付く」、「中国人と交流しようとする」、「わからない中国語を調べようとする」が各 6 名、「身の回りにある中国関連の物事に目を向ける」が 5 名、「中国の話題について積極的に調べようとする」が 4 名、「インターネットで中国の情報にアクセスする」と「中国の話題について周りの日本人と話し合う」が各 3 名、「日本人や日本文化について中国語で表現しようとする」及び「何の関心・態度・意識も芽生えていない」は 0 名となった。学習者は、中国語を積極的に使用して中国人と交流しようとする態度が芽生え、新聞、テレビ、インターネット等のメディアから提供される中国に関する情報や日常生活で接触する中国に関する様々な物事に注意を向けるようになるという意識の変化を認識していた。また、そのために必要な中国語や中国に関する情報を自主的に調べる態度を示し、ICT ツールを活用するようにもなった。中国について周囲の日本人どうしで語り合う機会も増えたことを意識していた。しかし、具体的な交流活動として、日本の文化的側面を含む内容を積極的に中国語で表現する態度までは形成されなかった。

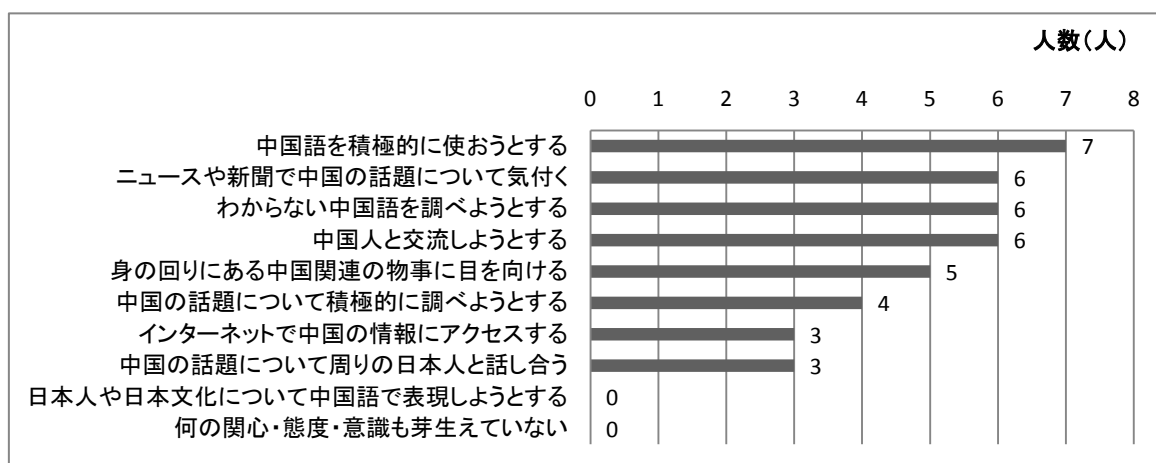


図 6-9 BL による情意面の変化

問 2 と問 3 では、学習者間の協調学習に関する態度の自己評価を確認した。「2. グループ学習を通じて、お互い積極的に意見交換し、話し合おうとしましたか？」では、5 名が「そう思う」、3 名が「まあまあそう思う」と回答した。「3. グループ学習を通じて、メンバーどうし平等に作業を分担する工夫をしようとしたか？」では、5 名が「そう思う」、3 名が「まあまあそう思う」と回答した。「4. グループ学習を通じて、問題が発生したら進んで助け合い、協力し合おうとしましたか？」では、7 名が「そう思う」、1 名が「まあまあそう思う」と回答した。これらの結果から、日本人学習者間の協調学習において、積極的な意見交換と話し合い、平等な作業分担の工夫、問題解決とチームワークに関する協力的な態度に基づき、効果的に学習が進められたことがわかる。

問 5 と問 6 では、中国の学生を相手としたコミュニケーション態度の自己評価を確認した。「5. 中国の学生とオンライン交流を通じて、中国の学生に対して積極的に話しかけようとしたか？」では、4 名が「そう思う」、3 名が「まあまあそう思う」、1 名が「交流していない」と回答した。「6. 中国の学生とのオンライン交流を通じて、相手からの問いかけに対して積極的に答え、反応しようとしたか？」では、4 名が「そう思う」、2 名が「まあまあそう思う」、1 名が「どちらともいえない」、1 名が「交流していない」と回答した。遠隔交流における交流相手とのコミュニケーション態度については、積極的な話題提供や話しかけと質疑応答を心がけていたものの、交流の実情に鑑みると、積極的にコミュニケーションを取ろうとする気持ちと、答えるために必要な情報や語彙等の知識と中国語運用技能や会話能力が不足しており答えられないという気持ちが共存していた可能性が高い。

問 7 から問 11 では、中国語授業全体を通じて獲得した知識のジャンルを交流テーマの特

性に分けて確認した。「7. 中国語の授業全体を通して、『日本の文化・風習』に対する理解が深まったと思いますか？」では、2 名が「そう思う」、6 名が「まあまあそう思う」と回答した。「8. 中国語の授業全体を通して、『自分達の学校や日常生活』に対する理解が深まったと思いますか？」では、5 名が「そう思う」、3 名が「まあまあそう思う」と回答した。「9. 中国語の授業全体を通じて、『日本の高校生や若者の特性』に対する理解が深まったと思いますか？」では、4 名が「そう思う」、4 名が「まあまあそう思う」と回答した。「10. 中国語の授業全体を通じて、『中国の文化・風習』に対する理解が深まったと思いますか？」では、5 名が「そう思う」、3 名が「まあまあそう思う」と回答した。「11. 中国語の授業全体を通じて、『中国の学生や若者の特性』に対する理解が深まったと思いますか？」では、6 名が「そう思う」、2 名が「まあまあそう思う」と回答した。いずれも理解が深まったという肯定的評価の傾向にあるが、「中国の学生や若者の特性」、「中国語の文化・風習」、「自分達の学校や日常生活」に関する理解の深まりを強く認識しており、「日本の高校生や若者の特性」や「日本の文化・風習」のような一般化された知識獲得までは成果として実感していないことがわかった。

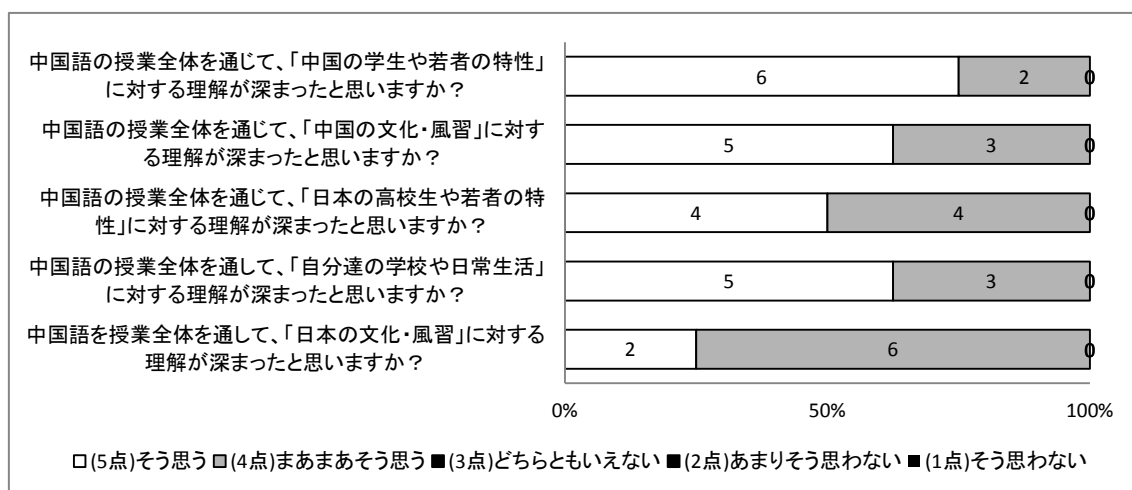


図 6-10 中国語授業全体を通じて獲得した知識のジャンル

「12. 対面授業で学んだ中国語の語彙・文法を、中国の学生とのオンライン交流（準備・本番）の中で活かすことができましたか？」では、4 名が「そう思う」、2 名が「まあまあそう思う」、1 名が「どちらともいえない」、1 名が「交流していない」と回答した。実際にどのように活用できたかについては、「教師の支援があれば、学習した語彙や文法を思い出

して話せた」が 7 名、「教師の支援があれば、学習した語彙や文法を思い出して聞き取れた」が 6 名、「何も見ずに、学習した語彙や文法を思い出して聞き取ろうと努力した」が 5 名、「教科書やプリントを見直せば、学習した語彙や文法項目を話せた」が 4 名、「何も見ずに、学習した語彙や文法を思い出して話そうと努力した」が 3 名、「何も見ずに、学習した語彙や文法を思い出して聞き取れた」及び「何も見ずに、学習した語彙や文法を思い出して話せた」が各 2 名となった。学習者は、教師の支援があれば学習した語句や表現を用いて中国語でコミュニケーションできると確信しており、教科書や辞書を常に参照することをせずに自分の記憶と技能を活用して相手の話を聞き取り理解したり、知識を活用して話したりする努力をし、実際にコミュニケーションが成立していたことがわかる。また、資料を参照しながらであれば相手の話を聞き取り理解し、自力で既存の知識を駆使して発話できるという成果を認識した学習者もいた。

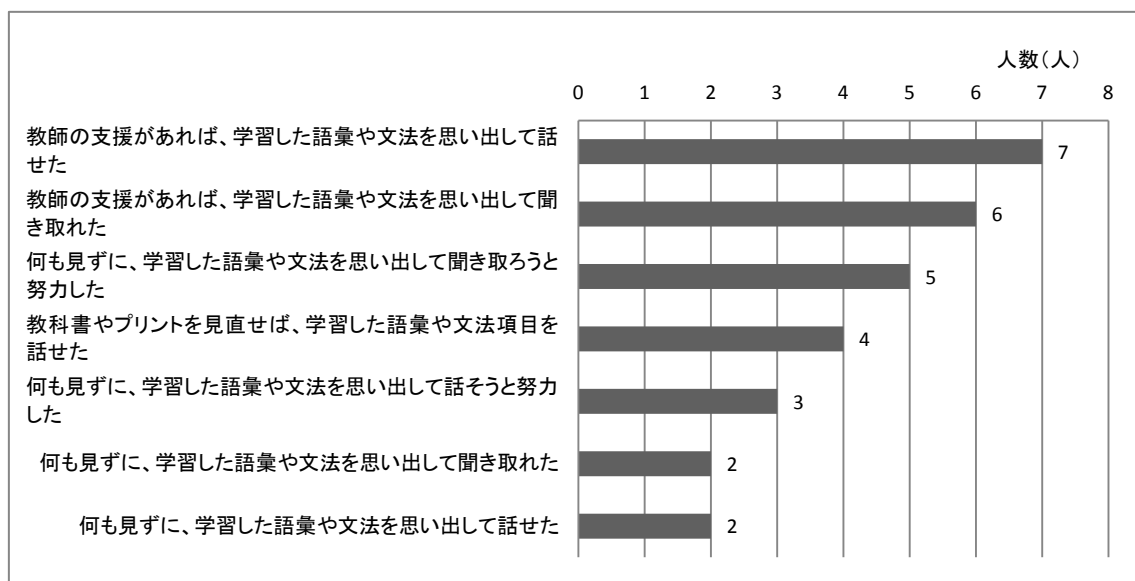


図 6-11 遠隔交流で活用できた中国語の知識・技能の実感

「13. グループ学習やオンライン交流の中で、わからない語彙・文法を、自分の周りにある資源を活用して調べ、わかろうとしましたか？」では、5 名が「そう思う」、3 名が「まあまあそう思う」と回答した。「14. グループ学習で企画・作成した日本語を中国語に翻訳する際に、どのような資源を活用しましたか？（複数選択）」では、「先生に質問する」、「教科書を見直す」、「紙の辞書を調べる」が各 7 名、「クラスメートと相談する」、「電子辞書を調べる」、「辞書サイトを活用する」が各 4 名、「自動翻訳サイトを活用する」が 2 名、「イ

ンターネットで情報を調べる」が 1 名となった。学習者は、教師や学習者どうしの相談や情報交換に基づく協調学習を中心に、個人学習では教科書や辞書の項目を調べ、時には辞書サイトや翻訳サイト等の ICT リソースを活用しながら、中国語学習上の問題を解決しようと努力していたことがわかった。

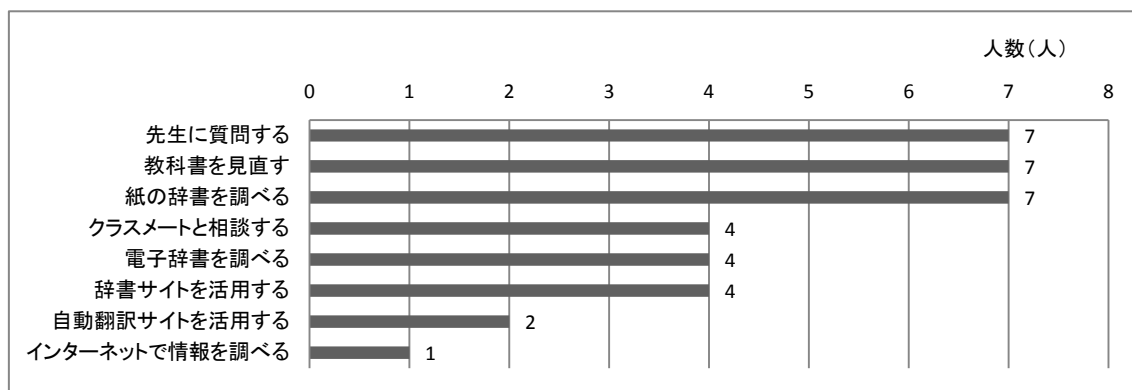


図 6-12 遠隔交流で活用した資源

問 15 から問 17 では、中国語の BL 実践を通じて習得した ICT 活用技能に関する自己評価を確認した。「15. CALL 中国語の授業を通じて、どのような技能が身に付いたと思いますか？（複数選択）」では、「パソコンでピンイン変換して中国語を入力する」、「中国語を入力できるようにパソコンを設定する」が各 7 名、「中国語の文書を作る」が 6 名、「中国語学習支援サイトを活用して語彙や文法の意味を調べる」が 4 名、「ネットで情報を検索し、広く情報収集する」、「ネットを活用して中国語→日本語に翻訳する」、「ネットを活用して日本語→中国語に翻訳する」、「ネットを活用して中国人と時間をかけて交流する（メール、BBS、SNS）」が各 3 名、「ネットで中国関連の情報にアクセスする」、「ネットで中国のサイト（簡体字）にアクセスする」が各 2 名、「ネットを活用して中国人と即交流する（文字・音声・ビデオチャット）」が 1 名となった。学習者は、パソコンで中国語を使える状態に設定した上で、中国語を入力して文書を作成する技能を習得した。また、自主的に中国語学習支援サイト（辞書、翻訳、文法解説等）を活用してわからない語句や文法を調べる、日中あるいは中日翻訳する、日本語や中国語のサイトにアクセスして中国に関する情報を収集する、メール・BBS・SNS 等を活用して中国語と非同期の交流を行うことができるようになったことがわかる。ただし、独力で文字・音声・ビデオチャットを活用して同期的に交流することはまだ難しいと感じていることがわかる。

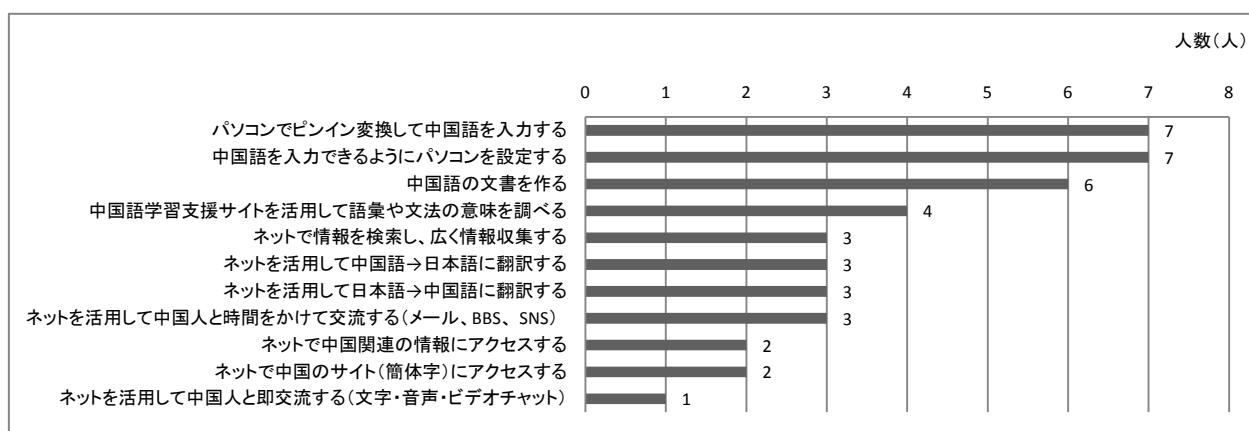


図 6-13 中国語 BL を通じて習得した ICT 活用技能

「16. CALL 中国語の授業を通じて身に付いた技能は、将来の勉強や仕事で役に立つと思いますか？」では、6 名が「そう思う」、2 名が「まあまあそう思う」と回答した。「17. インターネット上で中国の学生と交流するために、自分一人で活用できると思うものをすべて選択してください。」では、「e メール、BBS、ブログ、SNS (非同期型の文字による交流)」が 8 名、「テキストチャット (同期型の文字による交流)」が 3 名、「ビデオチャット (同期型の映像による交流)」が 2 名、「音声チャット (同期型の音声による交流)」が 1 名、「どれもできない」は 0 名となった。学習者は、非同期型の交流であれば、中国語を用いてコミュニケーションを成立させられる自信をつけたことがわかる。同期型の交流は、文字や映像を介して交流することができると感じている学習者もいたが、音声のみの交流は困難であると感じており、相手の中国語を聞き取って理解する、あるいは自分が正確な発音で中国語を発話することに対する自信のなさがうかがえる。

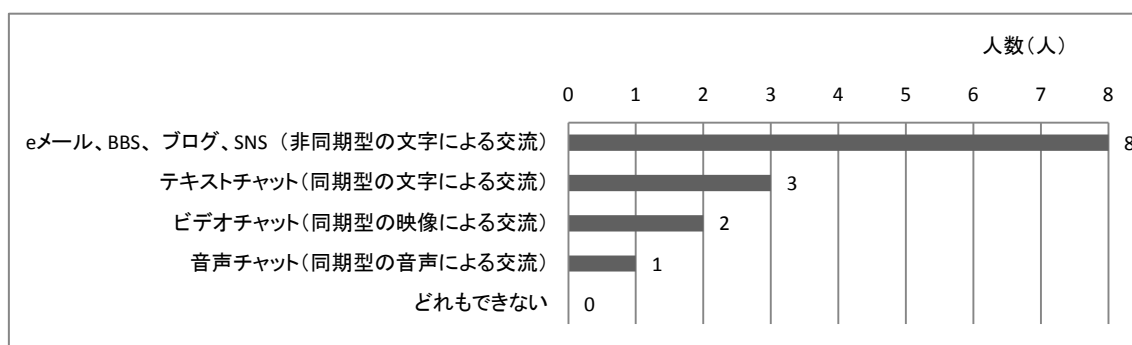


図 6-14 学習者が独力で活用できる遠隔交流手段

問 17 に対して、「18. インターネット上で中国の学生と交流するために、教師の支援があれば活用できると思うものをすべて選択してください。」では、「ビデオチャット（同期型の映像による交流）」と「e メール、BBS、ブログ、SNS（非同期型の文字による交流）」が各 7 名、「テキストチャット（同期型の文字による交流）」と「音声チャット（同期型の音声による交流）」が各 6 名、「どれもできない」は 0 名となった。この結果から、学習者は周囲の支援があれば、同期型のビデオチャットを用いた遠隔交流ができる自信をつけたことがわかる。また、同期型の文字・音声による交流ができると回答した人数も問 16 と比べて 2 倍に増えていることから、教師の支援の下で授業中に遠隔交流を行うのであれば、どの形態やツールを採用しても実施できることがわかる。問 16、17 共に、「どれもできない」と回答した学習者はいなかったことから、学習者が BL 実践を通じて、全員が共通していずれかの形態で遠隔交流を行うことができると確信していることがわかる。

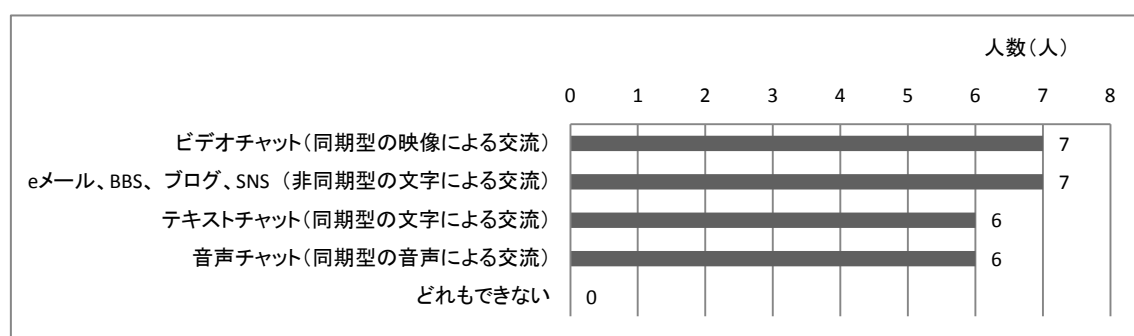


図 6-15 学習者が教師の支援を受けて活用できる遠隔交流手段

「19. 教室での一斉授業、CALL 授業、オンライン交流を組み合わせた『ブレンディッド・ラーニング』は、高校の中国語学習者にとって効果があったと思いますか？」では、7 名が「そう思う」、1 名が「まあまあそう思う」と回答した。その理由は、対面授業で学習した基礎的な言語知識や ICT を遠隔交流で実際に活用することで効率的に中国語が習得でき、実際の交流で即時のフィードバックを得られることによる学習意欲が維持・向上するという知識・技能活用の達成感や充実感にあることがわかる。また、ICT や交流を活用した多様な学習活動を通じて中国語を学習するという多様な授業形態があり、新鮮で飽きることなく楽しめることに加えて、効率的に中国語が習得できる、将来的に役立つという期待感もあったことがうかがえる。個人の能力差によらず、全員が平等に同じ学習活動を通じて

共通体験を得られることも効果として述べられており、授業から遠隔交流までのプロセス全体を通じたクラスメートとの一体感を認識したようである。

表 6-14 遠隔交流ならではの学習成果

自由記述回答	コード	概念カテゴリ
直接中国人と交流ができた。	直接交流、中国人	対面授業で学習した基礎的な言語知識や ICT を遠隔交流で実際に活用する
教室での授業で基礎を固め、パソコンを使い入力し、そして実際の交流で生かすことができたから。	教室での授業、基礎を固める、パソコンを使う、入力する、実際の交流で生かす	
教室で学んだ文法や単語などを使ってコンピュータで文章を作って交流で実践的にコミュニケーションをとる、というのがすごく効率的だと思ったし、自分の中国語がどれくらい発達したかということがわかって学習に対する意欲が続いて楽しかったからです。	教室で学んだ文法や単語、使う、コンピュータで文章を作る、交流、実践的にコミュニケーション、効率的、自分の中国語、発達、わかる、学習意欲、続く、楽しい	効率的に中国語が習得できる 実際の交流で即時のフィードバックを得られることによる学習意欲の維持・向上
他の高校や授業ではなかなかできないことだし高校生のうちから貴重な体験学習ができるのは良いことだから。	他の高校や授業ではできない、高校生、貴重、体験学習、よい	ICT や交流を活用した多様な学習活動を通じて中国語を学習する 多様な授業形態があり新鮮で飽きることなく楽しい 効率的に中国語が習得できる 将来的に役立つ
ひとつひとつの授業が新鮮で飽きることなく授業を楽しむことができたから。	ひとつひとつの授業、新鮮、飽きない、楽しむ	
さまざまな場面 (BBS やスカイプ、直接の交流など) での中国語の使い方を学べてよかったです。将来役に立つと思います。	さまざまな場面、BBS、スカイプ、直接交流、中国語の使い方、学ぶ、よい、将来役に立つ	
いろいろな授業形態があつておもしろいから。	いろいろな授業形態、おもしろい	
全員が平等に同じ内容の授業を受けられる。	全員平等、同じ内容、授業	

「28. 中国語のブレンディッド・ラーニングで学習することで、自分がやりたいことをできるようになったと感じましたか？」では、5 名が「そう思う」、3 名が「まあまあそう思う」と回答した。問 19 の回答にもあるように、学習者は中国語のための遠隔交流を活用した BL 実践の経験とその学習の成果に対して大きな効果を感じ、達成感や満足感を得たことがわかる。

6.4.5 ARCS-V モデルに基づく学習意欲のデザイン

本研究の BL モデルが学習者にとって学習意欲を有効に喚起し、維持することのできるデザインであったかどうかを評価するために、学年末アンケートの「学習成果」カテゴリに、ARCS-V モデルによる動機付け方略を参考としながら、BL の実施形態に即した質問項目を

設定した。これに該当する質問 23～27 の回答の集計結果を以下に示す。

「23. 中国語のブレンディッド・ラーニングは新鮮・おもしろそうと感じるものでしたか？」は、ARCS-V モデルの「注意 (Attention)」の要因を参考とした。学習者は、7 名が「そう思う」、1 名が「まあまあそう思う」と回答した。

「24. 中国語のブレンディッド・ラーニングでの学習経験を、どこか・何かで実際に活かそうですか？」は、ARCS-V モデルの「関連性 (Relevance)」の要因を参考とした。学習者は、7 名が「そう思う」、1 名が「まあまあそう思う」と回答した。

「25. 中国語のブレンディッド・ラーニングは、難しい・大変だと思いましたか？」は、ARCS-V モデルの「自信 (Confidence)」の要因を参考とした。さらに、どのような点が難しい・大変だと思うかという理由の自由記述回答を得た。学習者は、3 名が「そう思う」、1 名が「まあまあそう思う」、4 名が「どちらともいえない」と回答した。難しいという回答の理由は、「私はまだまだ中国語で知らないことが多いから」という語彙や文法の知識不足、「その場に応じた取り組みの姿勢とかが難しい」といった多様な学習活動への対応や交流の現場における臨機応変な発話と質疑応答の難しさにあることがわかる。そのような中でも、「難しかったです！けど、教室で学んだことを交流につなげることができたのでよかったと思います」や「言語を学ぶことは簡単なことではないけど、とてもやりがいがあって楽しかったです！」といった、課題の気づきと困難を克服しようとした努力の価値や達成感、充実感を表すものもあった。

「26. 中国語のブレンディッド・ラーニングで中国語を学習してよかったと思いますか？」は、ARCS-V モデルの「満足感 (Satisfaction)」の要因を参考とした。さらに、回答の理由の自由記述回答を得た。学習者は、7 名が「そう思う」、1 名が「まあまあそう思う」と回答した。その理由は、基本・応用・実践とバランスよく学習しながら多様な言語コミュニケーション技能を習得できる学習形態にあったことがうかがえる。また、楽しく学習できる授業に満足しており、具体的には、将来的に ICT を活用して中国人と交流することへの期待といった、高校の授業の枠内に留まらない知識・技能活用の可能性や、多様なツールを活用して中国語を学習することで毎回の授業が楽しく新鮮で飽きることなく、座学に終始せず多様な学習活動に取り組む学習形態により学習意欲が向上する等、楽しみながら学習することによる動機付けの面での効果に満足したことがわかる。

表 6-15 中国語 BL に満足したかどうかの理由

自由記述回答	コード	概念カテゴリ
基本的なことから、応用的なこと、そして実用的なことが全部バランスよく学べたから。	基本的、応用的、実用的、バランスよく学べる	基本、応用、実践とバランスよく学習できる
読み、聞き取り、話す、などのいろんなことができるようになったから。	読む、聞く、話す、いろんなこと、できるようになる	多様な言語コミュニケーション技能を習得する
楽しく学べたから。	楽しく学べる	楽しく学習する
楽しみながら学べるから。	楽しく学べる	
今後にも活かせると思ったから。	今後、活かせる	将来的に役立つ
中国との友達との交流に役立った。	中国の友達、交流、役立つ	中国人との交流に役立つ
自分の身の回りにはそこまでたくさんの中国の友達はいませんが、授業でネット上やスカイプで中国人と交流を学んだおかげで、これから中国語を使い続けることができるような気がします。	身の回り、中国人の友達、いない、授業、ネット、スカイプ、中国人と交流、学ぶ、中国語を使う、続ける	将来的に ICT を活用して中国人と交流することへの期待
授業に飽きず一回一回の授業が楽しかったし、机の上だけで学ぶのではなくいろいろなツールを使って中国語を学習できたのは新鮮だったからです。	授業、飽きない、毎回、楽しい、机の上で学ぶ、色々なツール、中国語を学ぶ、新鮮	多様なツールを活用して中国語を学習する 毎回の授業が楽しく新鮮で飽きない 座学に終始せず多様な学習活動に取り組む学習形態により学習意欲が向上する

「27. 中国語のブレンディッド・ラーニングは、学習の内容・方法の自由度が高いと感じましたか？」は、ARCS-V モデルの「意志 (Volition)」の要因を参考とした。学習者は、6 名が「そう思う」、2 名が「まあまあそう思う」と回答した。

上記の結果を集計し、下の図 6-16 に示す。学習成果として、ARCS-V の要因を参考とした質問項目の満足度は総じて高かったことがわかり、本研究の BL モデルは学習者にとって学習意欲を有効に喚起し、維持することのできる学習環境のデザインであったといえるだろう。

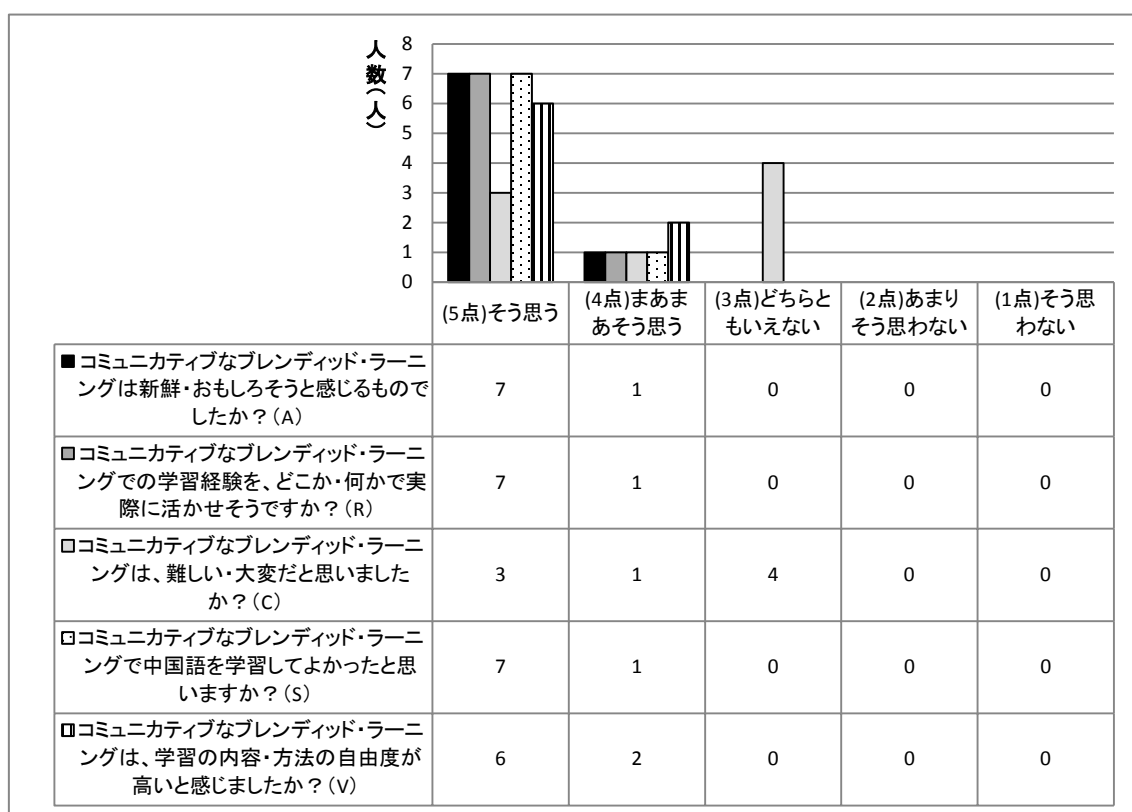


図 6-16 ARCS-V の要因を参考とした学習者の満足度

さらに、本研究の BL モデルが学習者にとって学習意欲を有効に喚起・維持することのできるデザインであったかどうかをより客観的な視点から検証するために、ARCS-V モデルを評価指標として援用し、BL 実践の事前と事後で有意な変化が見られるかどうか SPSS を用いた統計分析を行った。少人数の母集団を対象として事前と事後の変化をみる統計分析では正規分布の前提が満たされないことから、ノンパラメトリック検定による分析を行った。ノンパラメトリック検定には、独立した標本の平均値の差に関する検定である Mann-Whitney 検定、対応のある標本の平均値の差に関する検定である Wilcoxon の符号付順位検定、2 つの変数間の関係の強さを見る統計量である Spearman の順位相関係数がある。本研究では、同一の学習者に対して事前と事後のアンケートを実施しており、対応のある 2 群の検定に該当することから、Wilcoxon の符号付順位検定を採用した。

分析の対象は、遠隔交流を活用した BL の事前と事後に実施したアンケートに対する学習者 8 名 (n=8) の回答である。質問項目 (5 件法) に対する回答を 1 点から 5 点に得点化して処理した。質問項目は、「中国語学習における ICT 活用」について 7 項目、「ARCS-V の要因の適合度」について 15 項目を作成した (表 6-17, 6-18)。一部の質問項目では ARCS-V

モデルの学習意欲の要因及び方略を参考としたが、全項目が完全に一致するものではなく、表 6-18 の (3) の 2、(4) の 2、(5) の 1、2、3 に該当する内容については授業実践の実情に合うよう改編した。表 6-16 に事前と事後のアンケートの平均得点、標準偏差 (SD) 及びクロンバックの信頼性係数 (α) を示す。

表 6-16 アンケート平均点, 標準偏差, α 係数

	事前アンケート		事後アンケート	
	平均 (標準偏差)	α	平均 (標準偏差)	α
ICT 活用	4.14 (3.21)	.75	4.21 (3.02)	.78
ARCS-V	4.51 (6.00)	.91	4.56 (4.98)	.89

ICT 活用に関するアンケートでは、全体平均点が 0.07 点上昇した。これが有意な上昇であるかどうかを確認するために、事前と事後でノンパラメトリック検定の Wilcoxon の符号付順位和検定を行った。また、効果量を $r = Z/\sqrt{N}$ の式を用いて計算した。その結果、5%水準で統計的に有意な差は見られず、効果量も小であった ($z = -.877$, $p = .38$, $r = .22$)。一方、ARCS-V モデルに関するアンケートでは、全体平均点が 0.05 点上昇した。こちらも Wilcoxon の符号付順位和検定による検定を行ったが、5%水準で統計的に有意な差は見られず、効果量も小であった ($z = -.639$, $p = .52$, $r = .16$)。

次に、ICT 活用と ARCS-V モデルの各項目における変化を知るために、平均値、標準偏差、効果量の算出及び Wilcoxon の符号付順位和検定を行った。

表 6-17 ICT 活用に関する問いの平均と標準偏差

	質問	平均と標準偏差		効果量
		事前	事後	
1	インターネットで、中国や中国に関する情報を、中国語を使って検索できるように (できる人は、より上手くできるように) なりたいですか？	4.50(0.53)	4.63(0.52)	-.25
2	パソコンで中国語を入力する方法 (パソコンの設定、入力操作方法) を知っていますか？	4.25(0.46)	4.75(0.46)	-.50
3	実際に、パソコンで中国語を入力できますか？	4.13(0.35)	4.00(0.00)	-.25
4	インターネットで中国語を使って情報を集めることができますか？	2.88(1.25)	3.13(1.13)	-.35
5	インターネットで中国語を使って情報を集められるスキルは重要だと思いますか？	4.63(0.52)	4.63(0.52)	.00
6	パソコンやインターネットを使って、実際に交流できますか？	3.75(1.04)	3.63(0.92)	-.10
7	パソコンやインターネットを使って、実際に交流できるようになるスキルは重要だと思いますか？	4.88(0.35)	4.75(0.46)	-.25

() は標準偏差

ICT 活用に関する各項目では、中国語を使用した情報収集に関する項目 2 について平均値の上昇が見られ (+0.5 点)、5%水準で平均値の差が有意な結果となり、効果量も大であった ($z=-2.00$, $p=.046$, $p<.05$, $r=-.50$) (付録 19)。このことから、学習者は BL 実践を通じて、パソコンで中国語を入力する方法 (パソコンの設定, 入力操作方法) についての理解が有意に深まったといえる。その他の項目については、いずれも 5%水準で有意な差は見られなかった (項目 1 の $p=.31$, 項目 3 の $p=.31$, 項目 4 の $p=.16$, 項目 5 の $p=.71$, 項目 6 の $p=.31$)。効果量を計算したところ、項目 4 については $r=-.35$ であり、効果量是小であった。その他の項目については、項目 1、3 及び 7 の $r=-.25$ で効果量是小、項目 5 の $r=.00$ で効果量なし、項目 6 の $r=-.10$ で効果量小であった。効果量は、「測定単位にたよらない指標となっている。そのため、効果量を用いれば、単位の異なる変数を用いた研究の間でも、実験条件の効果の大きさを互いに比較することができる」(芝・南風原, 1990) と定義されるように、母集団のサイズによって変わる P 値とは異なり、実質的效果について示す値である。統計的検定において、「実際には有意差があるのに有意差なし」としてしまいう第 2 種の誤り (Type II error) を犯す確率 (β) の可能性 (水本・竹内, 2008) を考慮すると、項目 4 については、母集団のサイズが小さいために有意な差は見られなかったが、実質的な効果はあった可能性がある。項目 4 の事前アンケートにおける平均点を見ると、2.67 点で他の項目よりも特に低かったことから、学習者は、事前アンケートの時点では独力で中国語を用いて情報収集できるという自信がなく、強い不安を感じていたが、BL 実践が ICT 活用技能向上の面で効果的に働き、ポジティブな態度へと変化した可能性は捨てきれない。なお、その他の項目について、平均値が上昇したものは項目 1 (+0.13 点)、下降したものは項目 3 (-0.13 点)、項目 6 (-0.13 点)、項目 7 (-0.13 点) であったが、いずれも統計的に有意な差が見られず、効果量も中以下であることから、BL 実践の影響で上昇あるいは下降したとは判断できない。

表 6-18 ARCS-V に関する問いの平均と標準偏差

	質問	平均と標準偏差		効果量
		事前	事後	
(1) 好奇心・新規性	1. 中国語の授業で、ビデオ/文字チャットや BBS などのオンラインコミュニケーションツールを使って、中国語圏の相手と交流したいと思いますか？	4.88(0.35)	4.88(0.35)	.00
	2. パソコン(PC)やインターネットを使って、実際に交流しながら中国語を勉強するやり方に興味がありますか？	4.75(0.46)	4.75(0.46)	.00
	3. PC やインターネットを使って、実際に交流しながら中国語を勉強するやり方は、新鮮だと思いますか？	4.75(0.46)	4.88(0.35)	-.25
(2) 関連性・実用	1. PC やインターネットを使って、実際に交流しながら中国語を勉強するやり方は、親しみやすいと思いますか？	4.88(0.35)	4.88(0.35)	.00
	2. PC やインターネットを使って、実際に交流しながら中国語を勉強するやり方は、やりがいを感じますか？	4.63(0.74)	4.88(0.35)	-.35
	3. PC やインターネットを使って、実際に交流しながら中国語を勉強するやり方は、自分に必要なことを学べると思いますか？	4.88(0.35)	4.75(0.46)	-.25
(3) 自信・成功体	1. PC やインターネットを使って、実際に交流しながら中国語を勉強するやり方は、自分にもできそうだと思いますか？	4.00(0.53)	4.13(0.64)	-.11
	2. PC やインターネットを使って、実際に交流しながら中国語を勉強するやり方は、失敗から学ぶことがあると思いますか？	4.38(0.74)	4.75(0.46)	-.43
	3. PC やインターネットを使って、実際に交流しながら中国語を勉強するやり方は、努力の成果が感じられると思いますか？	4.50(0.76)	4.88(0.35)	-.34
(4) 満足感・充実感	1. PC やインターネットを使って、実際に交流しながら中国語を勉強するやり方は、今の自分の知識やスキルを活用しながら学べると思いますか？	4.50(0.53)	4.88(0.35)	-.43
	2. PC やインターネットを使って、実際に交流しながら中国語を勉強するやり方は、自分に必要なコミュニケーション能力が身に付くと思いますか？	4.75(0.46)	4.75(0.71)	.00
	3. PC やインターネットを使って、実際に交流しながら中国語を勉強するやり方は、誰でも同じように（公平に）学べると思いますか？	4.00(0.53)	4.13(0.83)	-.11
(5) 意図的選択・学習	1. PC やインターネットを使って、実際に交流しながら中国語を勉強するやり方は、自分の好きなだけ（時間や内容の多さ・少なさを自分で決めて）学ぶことができますと思いますか？	4.25(0.71)	3.75(0.71)	-.41
	2. PC やインターネットを使って、実際に交流しながら中国語を勉強するやり方は、自分の好きな時に学べると思いますか？	4.13(0.99)	3.88(0.64)	-.20
	3. PC やインターネットを使って、実際に交流しながら中国語を勉強するやり方は、自分の好きな内容を学べると思いますか？	4.38(0.74)	4.25(0.71)	-.25

() は標準偏差

ARCS-V に関する各項目では、平均値の差が統計的に有意な上昇あるいは下降となった項目はなかった（付録 20）。項目（3）の 2 と（4）の 1 については、有意傾向であり、効果量は中であつた（共に $z=-1.73$, $p=.083$, $0.05<p<0.10$, $r=-.43$ ）。このことから、学習者

にとって BL 実践は、「失敗から学ぶことがある」及び「今の自分の知識やスキルを活用しながら学べる」という面で有効な学習形態であった可能性が示唆される。なお、項目 (2) の 2 では $r = -.35$ 、項目 (3) の 3 では $r = -.34$ 、項目 (5) の 1 では $r = -.41$ で効果量は中であつた。その他の項目について、平均値が上昇したものは項目 (1) の 3 (+0.13 点)、項目 (3) の 1 (+0.13 点)、項目 (4) の 3 (+0.13 点) であり、下降したものは項目 (2) の 3 (-0.13 点)、項目 (5) の 2 (-0.25 点)、項目 (5) の 3 (-0.13 点) であつたが、いずれも統計的に有意な差が見られず、効果量も小以下であることから、BL 実践の影響で上昇あるいは下降したとは判断できない。

「中国語学習における ICT 活用」及び「ARCS-V の要因の適合度」に関するアンケート結果全体を通して、事前アンケートの時点で既に 4 点台後半の高い評定となる回答が多くあつたため、天井効果の分析を行った。天井効果の分析では、個別の項目において平均値と標準偏差の合計が評定値の最高点である 5 点を上回るかどうかを判断基準とした。その結果、ICT 活用の事前アンケートでは、7 項目のうち 3 項目 (1, 5, 7) に天井効果が見られた。ARCS-V の事前アンケートでは、15 項目のうち 12 項目 ((3) の 1、(4) の 3、(5) の 1 を除く全て) に天井効果が見られた。アンケート項目については、信頼性を検討するために行ったクロンバックの α 係数の数値が事前アンケートでいずれも $\alpha = .70$ 以上で信頼性が高いと判断できるため、天井効果の結果についても信頼できると考えられる。この結果から、学習者は事前アンケートの時点で既に中国語学習に対して肯定的な認識を持っており、当初から ICT 活用の知識及びスキルや ARCS-V 要因を範疇とした学習意欲が比較的高い学習者であつたと推測される。これは、遠隔交流を活用した BL 実践を通じて、学習者が既に有していた高い ICT 活用の知識・スキルや学習意欲が維持されたことを示すと判断できる。

評価の分析方法に量的データ分析を採用することについて、本研究のように少人数のクラス編成かつ事前の評価で一定の知識・スキルを有し、学習意欲が高い学習者を対象とする場合は、統計的に検定を行った場合に事前・事後の変化が有意に出にくい。すなわち、量的分析のみに基づいて学習者の評価や教育効果を正確に把握することは困難である。このことから、量的データ分析と共に質的データ分析を行った上で分析の結果を統合する混合研究法のアプローチを採用し、学習者の評価や学習成果を探究する必要がある。次節では、質的データ分析により、学習者視点の学習経験、学習成果及びその価値について詳細に分析し、概念図による可視化を行う。

6.5 遠隔交流によって創出される学習の経験、成果及び価値の質的解釈

6.5.1 分析対象データの概要

高校中国語のための ID 及び遠隔交流を活用した BL モデルに基づく学習、特に遠隔交流を核として展開する循環型の学習プロセスを通じて、学習者はどのように学習を経験したのか、どのような成果を得たのか、それらをいかに価値づけたのかを探究することを目的として、質的データ分析を行った。分析対象は量的データ分析と同じ学習者 8 名である。学年末に実施した授業評価アンケートのうち自由記述を求める質問項目に対する回答と、遠隔交流直後に学習者が感想を自由記述した全 9 回分のデータを分析の対象とした。

6.5.2 学習者視点の学びの経験と成果の意味づけ

全 9 回の遠隔交流の毎回の感想を対象として、SCAT (Steps for Coding and Theorization) を援用して分析と解釈を行った。SCAT は大谷 (2008b, 2011) が提唱する質的データ分析のためのステップ・コーディングと理論化の手法である。グラウンデッド・セオリーを中心とする質的研究の理論に基づき開発された分析手法である。分析のプロセスでは、初めに自由記述やインタビュー等のテキストから、「<1>テキスト中の注目すべき語句」を抜き出す。次に、「<2>テキスト中の語句の言い換え」を行い、「<3>左を説明するようなテキスト外の概念」でデータからはわからない背景や状況を補足する。さらに、データ全体を説明し得るような「<4>テーマ・構成概念」を創出し、新たに浮上した「<5>疑問・課題」を記述する。<1>から<4>を再文脈化して「ストーリーライン」を作り、更に抽象化させた「理論記述」を構築する。通常、質的データ分析は分析者の経験や主観に基づき行われるため、手続きの不透明さや解釈の恣意性が指摘される。これに対し SCAT は、質的データ分析のコーディング、カテゴリ化、理論化のプロセスにおいて、手続きや解釈の過程が明確であること、小規模データにも適用できることが特徴であり、本研究の分析手法として適切であると考えた。なお、本研究では、個人の具体的な語りから経験と価値を深く掘り下げて解釈し、概念整理を試みるという構成主義的なグラウンデッド・セオリーの理念に適合すると判断し、学習者全員のストーリーラインに基づき、各自が得た学習の経験、成果及びその価値を解釈した。

本研究の ID 及び BL モデルでは、毎回の遠隔交流に向けて語彙・文法学習と e ラーニングで準備を行うという学習サイクルが繰り返される。そのため、遠隔交流の経験、成果及びその価値が、BL モデルを系統的に評価するための基盤にもなる。学習者一人ひとり

が、1 回から数回参加した遠隔交流の経験に基づき、約 1 年間の学習期間を通じてどのような学習の経験、成果及びその価値を認識していったのか。その過程でどのような認識や態度の変化、意識の形成等が見られるのか。すなわち、学習を経験したことによって学習者はどのように成長するのか。学習者独自の個性や具体性を保持させながら、概念整理と一定の理論化を試みた。

SCAT を援用した分析結果のうち、ストーリーラインに基づく解釈を以下にまとめる（分析プロセス全体の表は付録 21 から 25 を参照）。学習者は、男子学生 1 名（YZ）、女子学生 6 名（YG、KBY、HM、FY、KB、KBA）である。なお、女子学生 1 名（MT）は放課後の部活動が忙しく遠隔交流には参加しなかったため、遠隔交流に関する分析には含めない。

第 1 回、第 2 回交流トピック「あいさつ、自己紹介」について、学習者は次のような学習の経験、成果及びその価値を認識していた。

YZ：挨拶・自己紹介の遠隔交流に対して、中国人学生とのビデオチャット交流を通じて、中国語コミュニケーションの成功体験を獲得したことに満足した。また、自分の中国語コミュニケーション技能不足を痛感し、その向上を課題として認識した。そして、中国人とのビデオチャットは新鮮な体験として印象づけられた。YZ にとっての交流は、中国語コミュニケーションの成功体験と自身の技能不足に対する気づきをもたらす貴重な機会及び体験として意味づけられた。

YG：遠隔交流活動時に、自分の発言に対する交流相手の反応を深く観察し、それにより交流相手との意思の疎通を実感することで、コミュニケーションの成功体験を得た。同時に、今後の交流継続に対する期待を高めた。交流時の緊張感によるネガティブな影響が原因で、即時の発話が困難となり、十分に能力が発揮されなかったことから、事前準備の強化や中国語コミュニケーション技能の向上の必要性を強く感じ、目標意識を高めた。また、相手の日本語能力の高さをポジティブに評価した。

KBY：遠隔交流前から強い緊張・不安を認識していたが、交流相手の反応により意思伝達の不安が緩和され、コミュニケーション成立の喜びを感じた。交流を通じて、楽しい会話の成立のためには正確な発音の習得が不可欠であると認識し、適切な質疑応答能力と併せて習得したいと実感した。

HM：遠隔交流の体験を大いに楽しみ、肯定的に評価した。また、交流相手の外国語（日本語）運用技能の高さを認識し、尊敬の念を抱き理想の自分へ投影すると同時に、それが中国語の学習モチベーションの向上にも反映された。一定程度のコミュニケー

ション成立を経験した上で、よりスムーズな交流を成立させ、会話を楽しむためには、事前準備の強化による中国語コミュニケーション技能の向上が必要であると認識した。

FY: 中国語コミュニケーション能力不足を痛感して深く反省し、事前準備の強化の必要性を認識した。一方で、自己紹介の成功に対する喜びも感じた。ビデオチャットならではの視覚情報から交流相手に対する好意的な印象を抱いた。

KB: 遠隔交流前の不安を認識していたが、相手の反応からコミュニケーション成立を実感し不安が緩和された。また、課題の達成感と交流の成功体験を得た。そして、教師の支援なしで交流することの困難を認識し、中国語コミュニケーション技能（特に語彙）不足を自覚したことから、明確な目標を設定し、その実現を目指して高い動機付けを得た。

KBA: 初めての遠隔交流に対して、対面交流体験の機会に対する価値を肯定的に評価した。また、交流相手の態度によるコミュニケーションの達成感や実践的な語句活用の達成感を得た。そして、事前準備と中国語コミュニケーション能力の不足を自覚したことで、学習動機付けが向上した。

さらに、学習者一人ひとりの学習の経験、成果及びそれに基づく判断と価値づけの関係を捉えやすくするために、SCAT（付録 21 から 25 を参照）の「<1>テキスト」、「<3>左を説明するようなテキスト外の概念」、「<4>テーマ・構成概念」及び「ストーリーライン」に基づき概念を整理し、図 6-17 に示す。以降の交流トピックについても同様に概念図を示す。

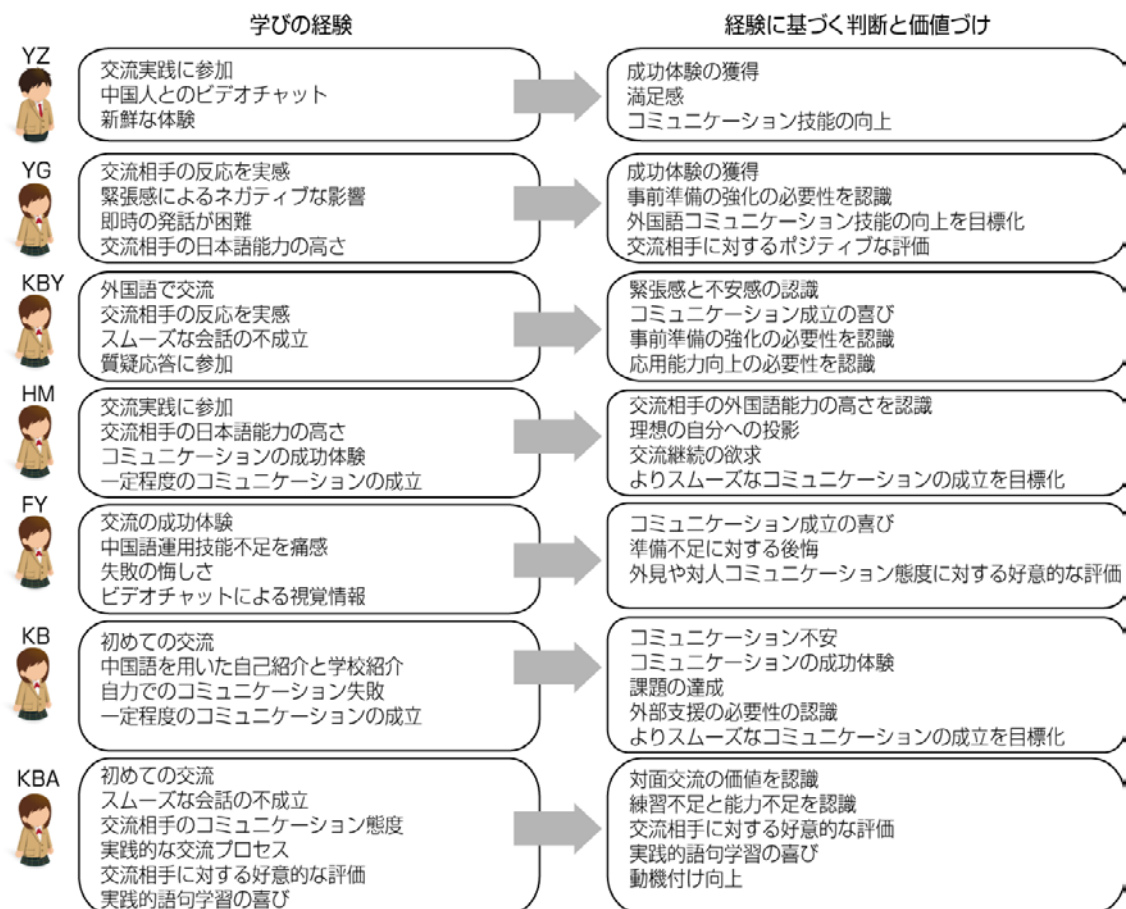


図 6-17 遠隔交流トピック「挨拶・自己紹介」による学びの経験と価値

第 3 回、第 4 回交流トピック「日本の高校生活」について、学習者は次のような学習の経験、成果及びその価値を認識していた。

YZ: 交流を通じて学校行事に関する新出単語の学習に成功したことに対して満足感を得た。

自己流の中国語学習経験が原因で、正確な発音習得に対する干渉があることを認識しており、音読練習強化によって流暢な発話を目指したいという目標意識を得た。

また、交流実践の中で語彙が増えるという学習観があり、今後も学習を継続して語彙を増強したいという意欲が生まれた。

YG: 1 回目の交流について、言語コミュニケーションにおいて日本語を適宜使用する等の交流相手の配慮を実感し、ポジティブな印象を得ると同時に、それが情意面にも有効に作用した。即興の自己紹介に失敗したことにより、即興の対応力の重要性を認識した。試験期間に忘れた言語知識の再習得と交流継続への意欲を示した。2 週連続で交流を体験し、依然として緊張感を強く感じたものの、若干の慣れも感じてきた。

YG : 2 回目の交流について、臨場感をもって日本の学校文化紹介が実現したことに満足した。学校祭に関する具体的なトピックについて、より能動的な言語活動が実現し、その中で発音面の課題克服を実感した。また、新語彙使用の達成感も覚えた。継続的交流に向けて、語彙習得と発音練習への意欲を示した。同一の交流相手と長時間交流したことにより、慣れが生じ、緊張が緩和した。

HM : 1 回目の交流について、楽しい学びを経験し、価値ある学びの持続を実感した。話題提供能力の向上を目標として認識し、継続的な交流意欲を示した。教師に対するお礼について、積極的に中国語を使用した。

HM : 2 回目の交流について、北海道の食文化というローカル感あふれる豊富な情報提供に成功したことに満足した。また、学校紹介という想定外の活動にも即興で対応して楽しめた喜びを感じ、継続して学びの価値と実感を得た。次回に向けて、交流内容の充実化（質問の準備）への意欲を示した。教師に対するお礼や交流後の差し入れおやつの感想について、中国語での感情表現や新語の即時使用等、積極的に中国語を使用した。交流からおやつを食べながらの感想記入までを通じて、教師とのラポールが強化された。

KBA : 遠隔交流に 2 週連続して参加した。実況形式の交流は想定外であったが、高校ならではの学校情報の提供やローカル感あふれる情報提供に成功したことに満足した。交流相手の友好的態度に対する喜びも感じた。交流を通じて、言語コミュニケーション能力不足を再認識し、次回に向けた課題改善への意欲と会話充実への意欲を示した。教師が交流後に差し入れたおやつに対する謝意を示し、教師とのラポール強化につながった。

学習の経験、成果及びそれに基づく判断と価値づけの関係を整理し、図 6-18 に示す。



図 6-18 遠隔交流トピック「日本の高校生活」による学びの経験と価値

第 5 回交流トピック「学校祭」について、学習者は次のような学習の経験、成果及びその価値を認識していた。

YZ：交流を通じて、準備不足と発話の失敗を実感しつつも、新たな言語知識の増強に満足感を得た。一方で、リスニング能力不足に対する気づきと能力向上への意欲を示した。なお、この意欲は、遠隔交流のコミュニケーション経験から中国大会に向けた課題を認識したものであり、中国大会に向けたモチベーションの維持・向上にも結び付いている。

KBY：交流を通じて、復習不足にもかかわらず交流できたことに満足し、少ない言語知識でのコミュニケーション成立に対する喜びを感じた。また、説明で用いた写真について得られた相手の感想や意外な反応を楽しんだ。交流時に周囲の支援に頼りすぎたことに対する反省から、次回交流での課題克服への意欲を示した。

KB：交流を通じて、準備時間不足による心理的負担を感じたものの、交流に対する満足感も得た。様々な写真を用いた説明を行い、それに対する相手のポジティブな評価を期待した。緊張による発音の失敗から練習強化の必要性を認識し、交流相手との質疑応答を独力で成功させることを目標化した。次回交流への継続的意欲を示し、教師とのラポールも効果的に作用したことで、授業の感想記述において積極的に中国語を使用した。

KBA：面白い写真を提示しながらの学校行事の紹介活動を楽しみ満足感を獲得した。授業や交流の断絶が、言語知識の忘却と発話スキルの低下を引き起こし、それによりコミュニケーションが困難となった。このことから、次回に向けた主体的かつ積極的な問いかけへの意欲を示し、定期的かつ継続的な交流の重要性を実感した。発音上の課題を再認識し、発音練習強化の必要性を痛感したため、円滑なコミュニケーションを目標とした正確な発音習得への意欲を示した。教師とのラポールも効果的に作用したことで、授業の感想記述において積極的に中国語を使用した。

学習の経験、成果とそれに基づく判断と価値づけの関係を整理し、図 6-19 に示す。

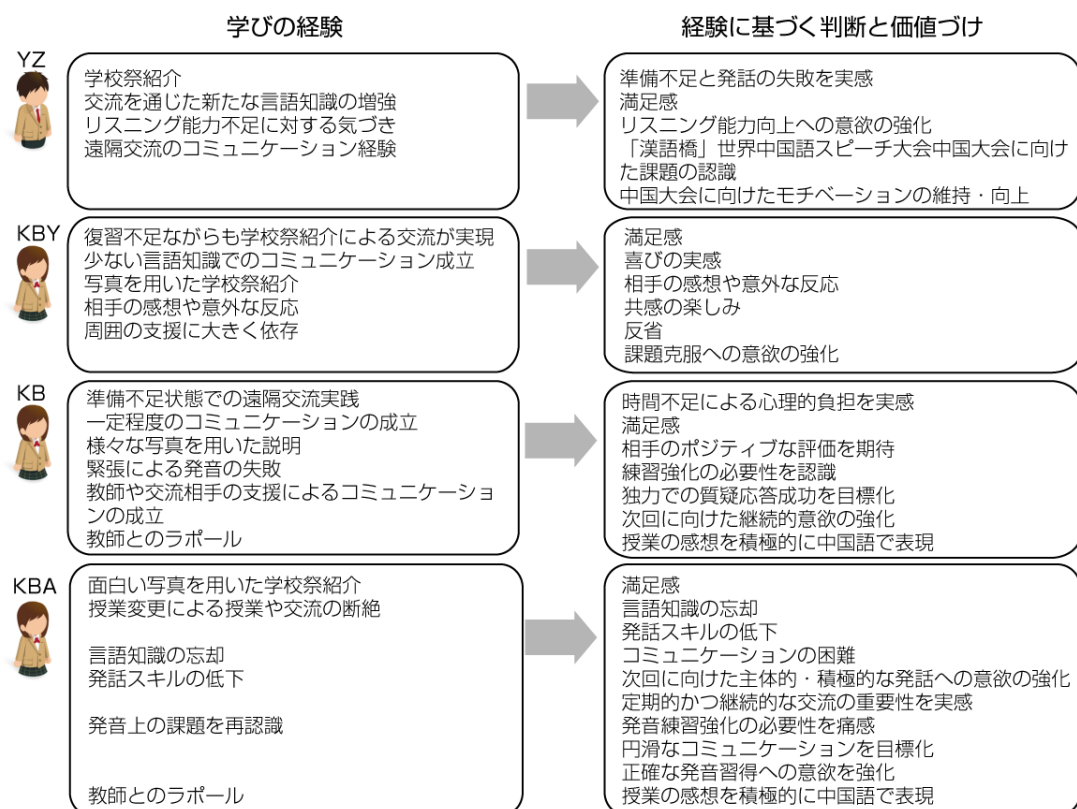


図 6-19 遠隔交流トピック「学校祭」による学びの経験と価値

第6回、第7回交流トピック「夏休みの思い出」について、学習者は次のような学習の経験、成果及びその価値を認識していた。

YG：交流を通じて、授業や交流の断絶がある状態で、慣れによる緊張の緩和を感じながらも、円滑なコミュニケーションを楽しんだ。写真を用いた夏休み紹介活動を通じて相手の日本語技能の高さを実感しつつ、インタラクションを通して相手の反応に対する喜びを感じ、時間を忘れて交流に没頭するほど高い満足度を得た。事前準備しているからこそ発音練習して円滑なコミュニケーションを実現すべきであるという反省から、母語に依存しない活動の機会を増やすことへの意欲を示した。日中間の国の問題が報道された時期であったが、それに影響されないミクロなレベルで相互理解することへの意欲も示した。

KBY：交流を通じて、授業や交流の断絶がある状態で、持ち得る少ない言語資源で対話できたことに対する喜びを感じた。コミュニケーションの成功体験が不足していたために、練習強化による課題克服を目標化し、交流の充実化への意欲を示した。

HM：交流において、日中関係報道から交流相手の反日感情への影響を不安視していたが、日中問題に影響されない個人間の交流が成立したことに対する喜びを感じ、交流継続への意欲の高まりを示した。授業や交流の断絶がある状態で、言語知識の忘却と発話スキルの低下によりコミュニケーションが困難となったことから、円滑なコミュニケーションを目標とした練習強化の必要性を認識した。交流相手の高い言語運用技能を認識し、理想的な言語使用者としての自分を目指して学習のモチベーションが向上した。

KB：交流において、日中関係報道から交流相手の反日感情への影響を不安視していたが、日中問題に影響されない個人間の交流が成立したことに対する喜びを感じ、交流継続への意欲の高まりを示した。言語知識不足や正確な発音習得不足によるコミュニケーションの困難を実感し課題として認識し、そのような課題克服による交流の充実化への意欲を示した。交流相手の高い言語運用技能を認識し、理想的な言語使用者としての自分を目指して学習のモチベーションが向上した。

KBA：交流を通じて、語彙不足や準備原稿通りに進行しない状況から、交流相手への申し訳なさを感じたものの、相互に満足感のある交流を実現し、様々な素材を使用した学校行事の紹介にも成功した。交流を振り返り、検定試験前日に交流してくれた相

手への感謝と応援という形で友情と思いやりを示した。

学習の経験、成果及びそれに基づく判断と価値づけの関係を整理し、図 6-20 に示す。

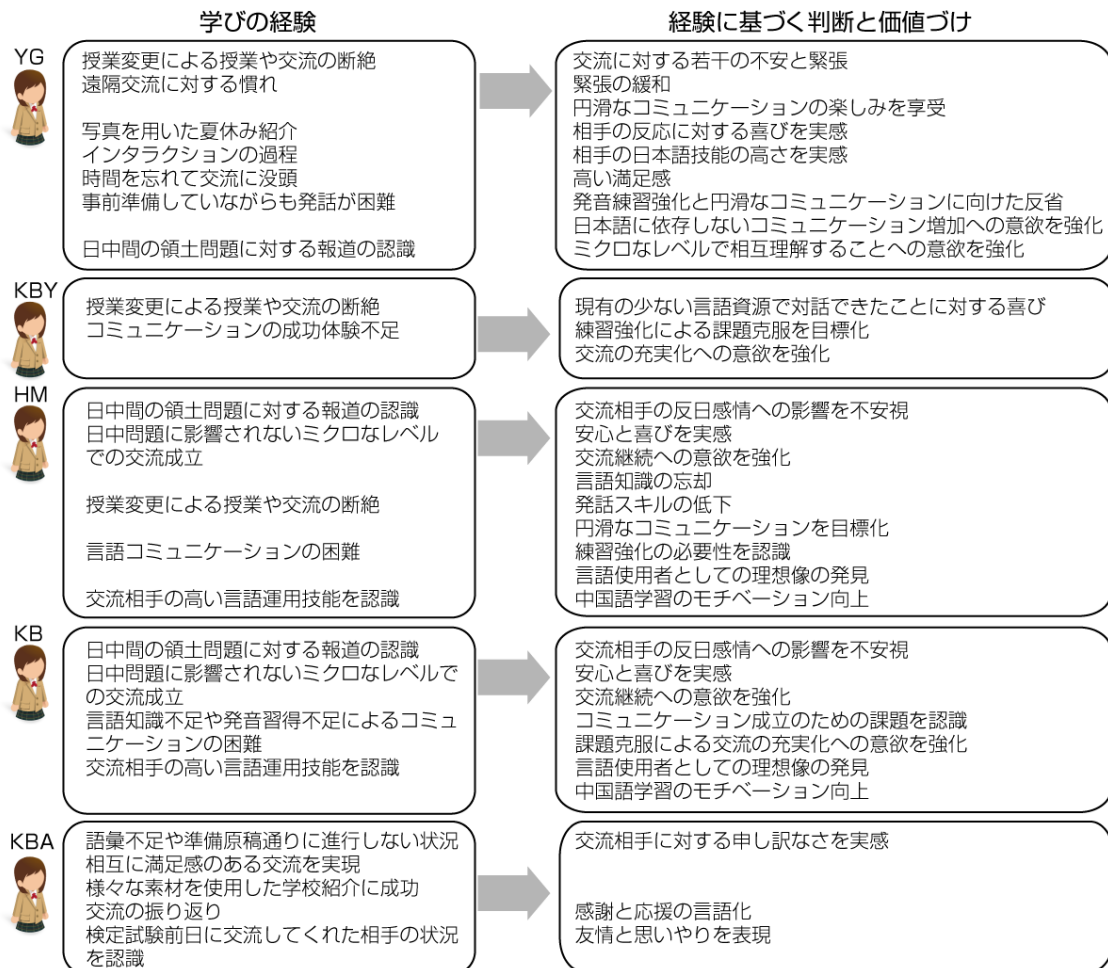


図 6-20 遠隔交流トピック「夏休みの思い出」による学びの経験と価値

第 8 回、第 9 回交流トピック「中国からの質問」について、学習者は次のような学習の経験、成果及びその価値を認識していた。

YZ : 1 回目の交流を通じて、中断していた交流の再開を楽しみ、中国渡航直前のオーセンティックなコミュニケーション経験に満足した。中国語 NS とのコミュニケーションには語彙と聞き取り能力が最重要という認識の上で、それを自身の課題として再認識し、課題克服を目標化し、意欲を表明した。

YZ : 2 回目の交流を通じて、最終回に最も理想的なコミュニケーションが実現したことに対して満足した。中国渡航に向けて成功体験の蓄積により自信を形成し、中国での

コミュニケーション可能性を確認できた。継続的な遠隔交流の体験がスキルアップにつながった実感に基づき、今後は課外でも個人的に交流継続しようとする意欲を表明した。

YG：交流を通じて、インタラクションの過程に積極的に参与せずとも周囲の支援によりコミュニケーション欲求を満足させることができた。授業や交流の断絶により、言語知識の忘却と発話の失敗による焦燥感を感じた。会話の盛り上がりには貢献できなかったことに対する反省から、発話の機会増加のための課題を認識した。

HM：交流を通じて、過去の交流と比較して最も活発な交流の実現に高い満足感を得た。継続的な中国語 NS とのインタラクション経験が学びへのポジティブな心理的影響を与えていることを認識した。質疑応答の充実化を目指し、より活発な交流を実現するために必要な要素を意識化した。教師とのラポールも効果的に作用したことで、授業の感想記述において積極的に中国語を使用した。

学習の経験、成果及びそれに基づく判断と価値づけの関係を整理し、図 6-21 に示す。

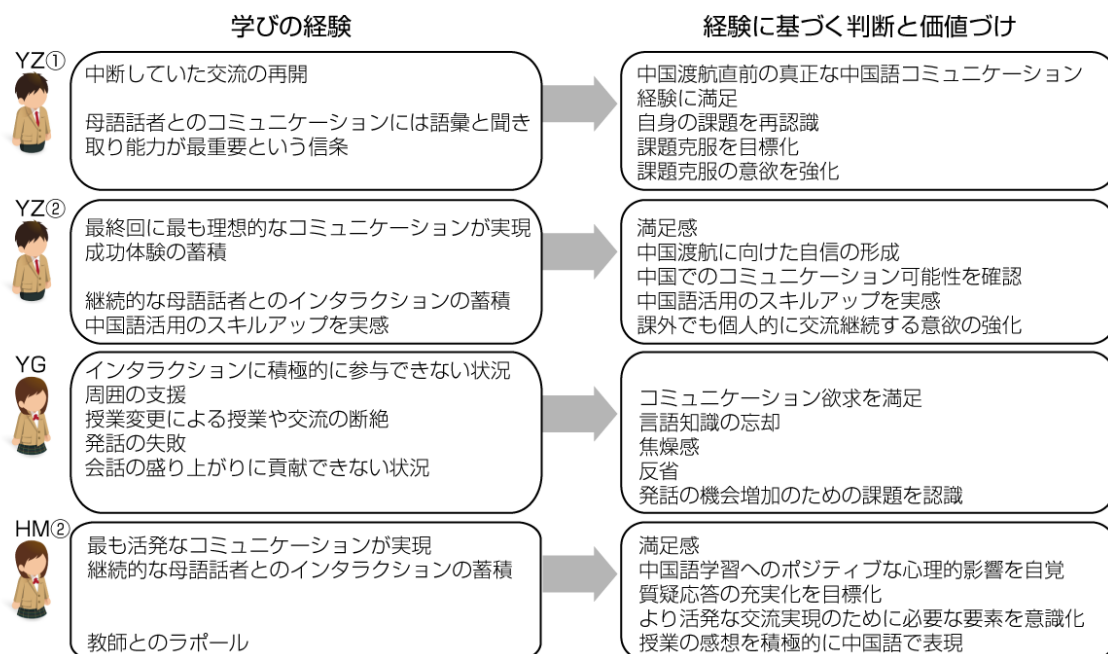


図 6-21 遠隔交流トピック「中国からの質問」による学びの経験と価値

上記のような学習の経験、成果及びそれに基づく価値の認識からは、遠隔交流のトピックごとに学習者がそれぞれどのような経験をし、その経験を通じてどのような学習の成果

を認識して、それらを価値づけたのかがわかる。しかし、全 9 回にわたる継続的な遠隔交流を経験することで学習者がどのような点で成長していったのかは明らかではない。定期的かつ継続的な遠隔交流に伴う学習者の経験と成果の蓄積、そこに含まれる態度の変化、認識の変容や深化、意識の形成等は、学習者の成長とみなすことができる。上記で分析したストーリーラインの変遷にしたがい、学習者一人ひとりの成長のプロセスについて概念図を作成し、図 6-22 から 6-28 に示す。図中の黒矢印は、学習者によって認識された価値が維持あるいは継続したことを表し、白矢印は、学習者によって認識された価値が変容あるいは転化したことを表す。なお、FY については、第 1 回「挨拶・自己紹介」の遠隔交流にしか参加していないため、ストーリーラインを構成する概念のみを示す。

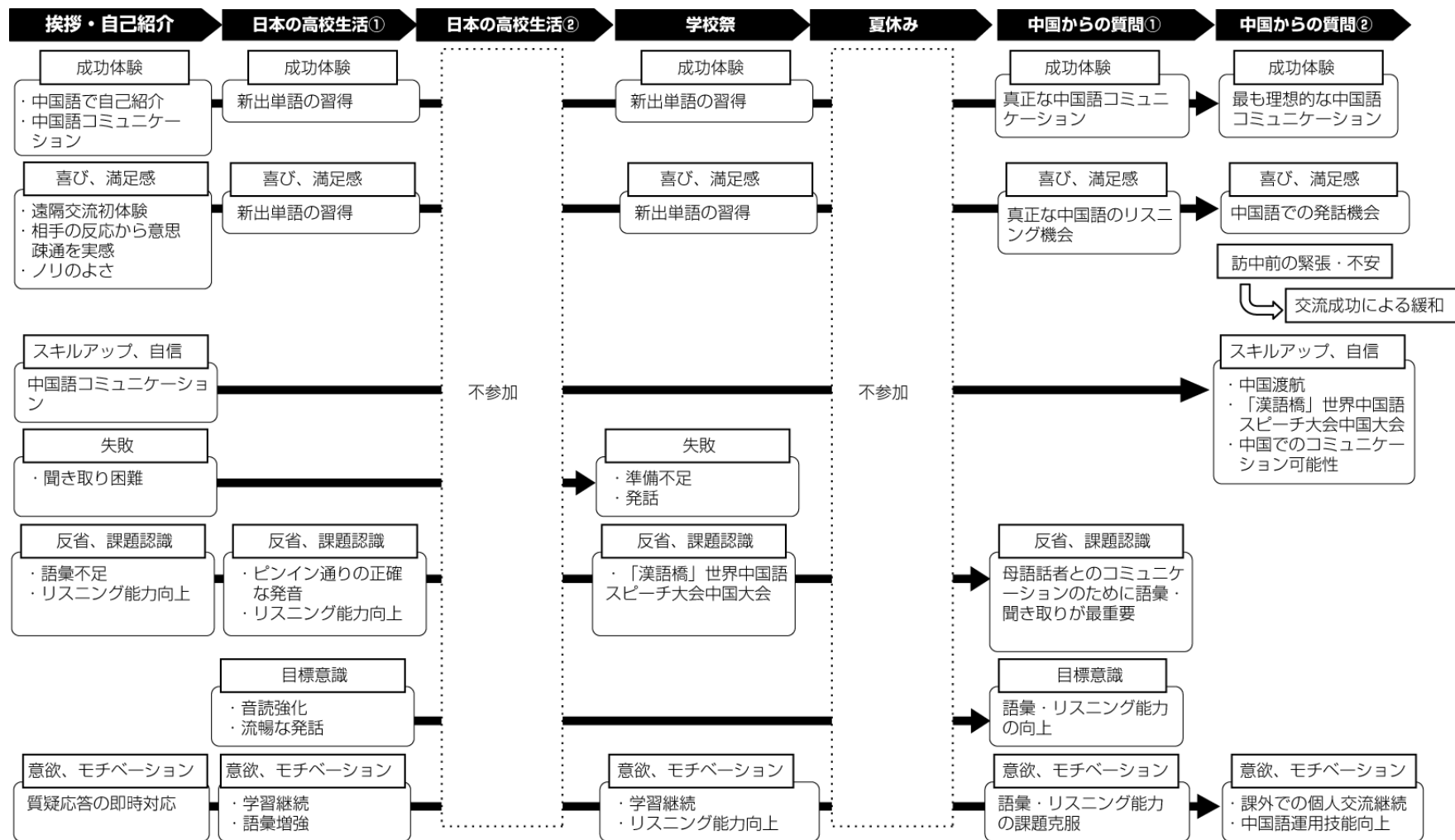


図 6-22 YZ のストーリーラインの遷移からみた成長

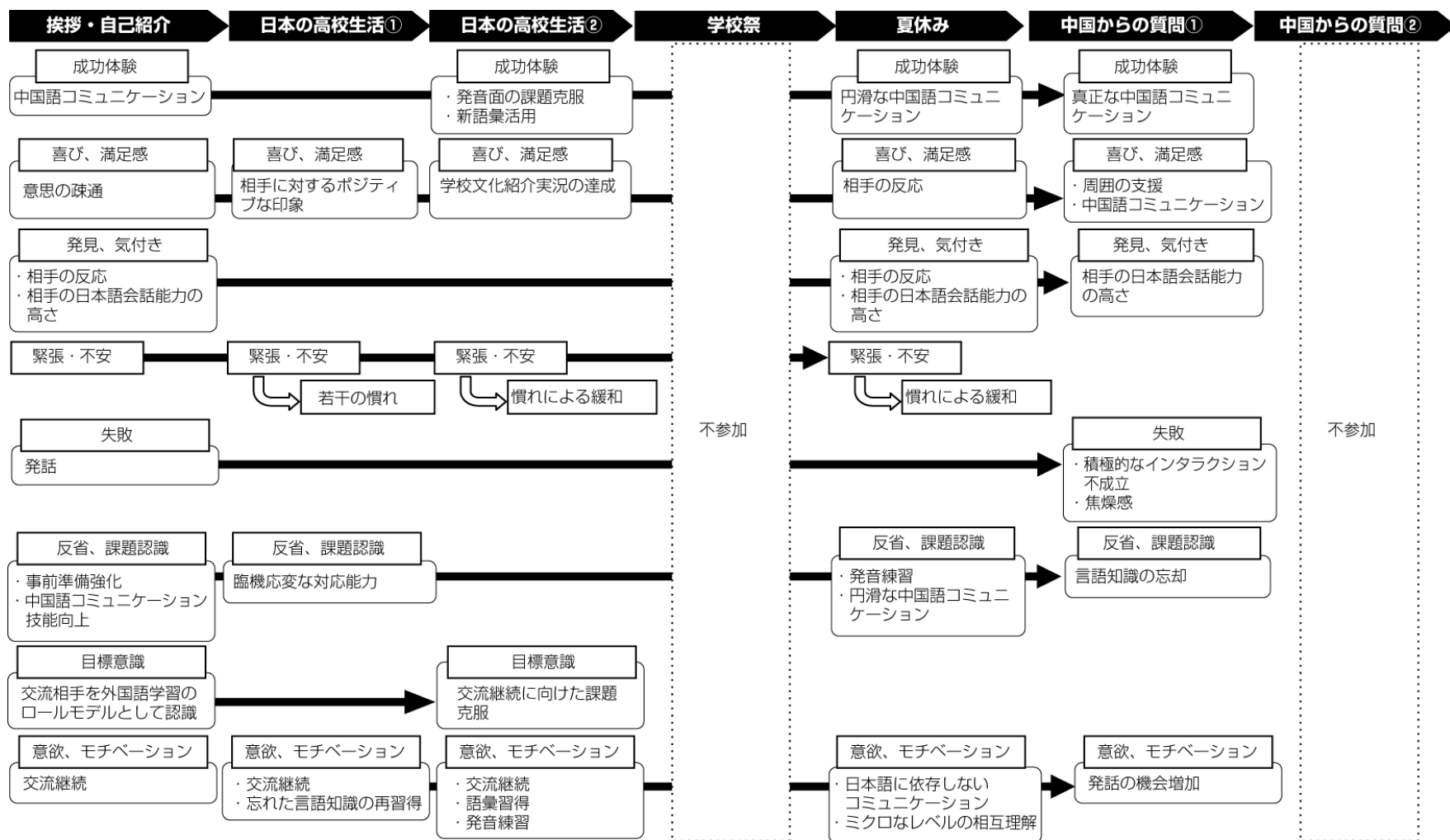


図 6-23 YG のストーリーラインの遷移からみた成長

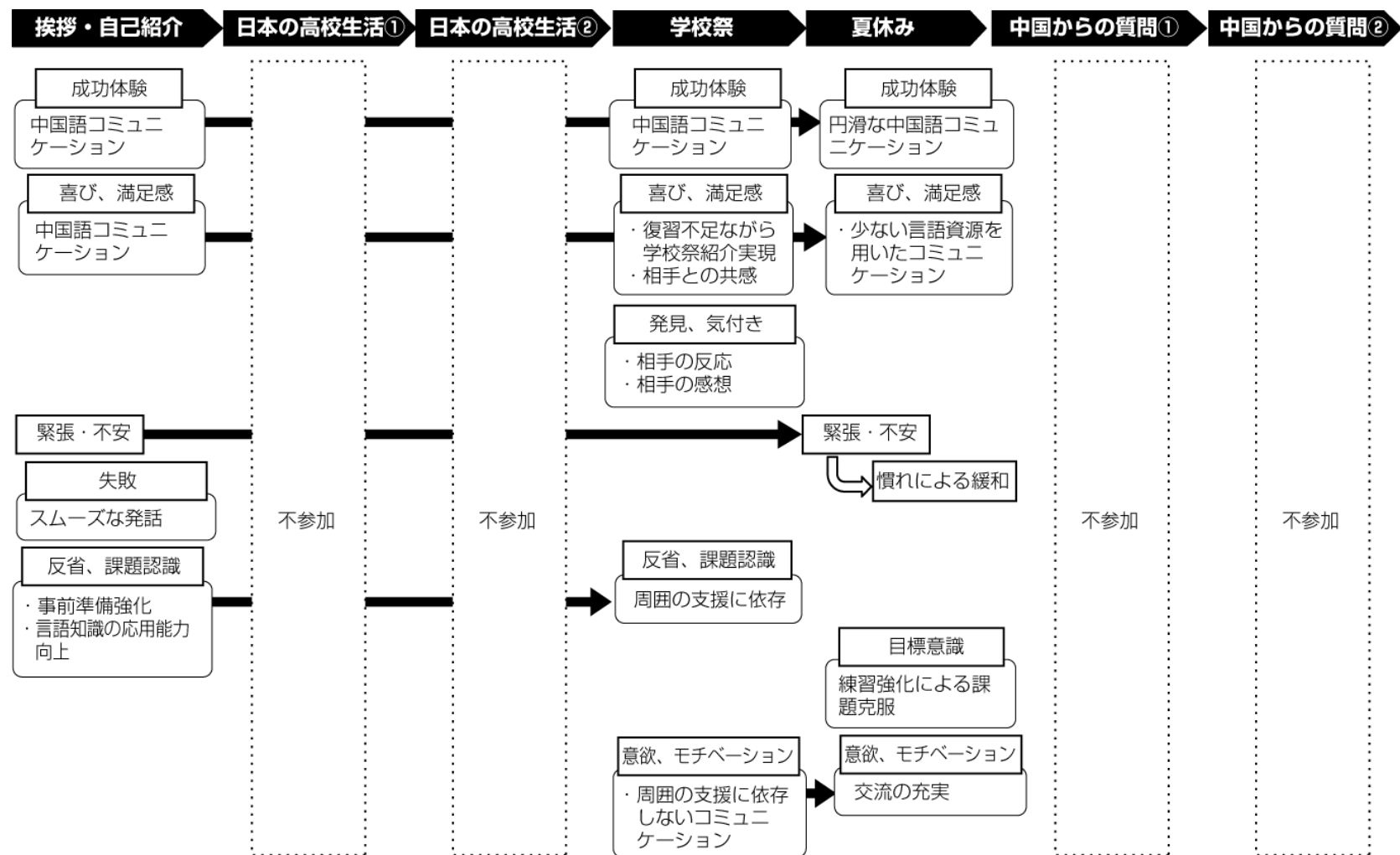


図 6-24 KBY のストーリーラインの遷移からみた成長

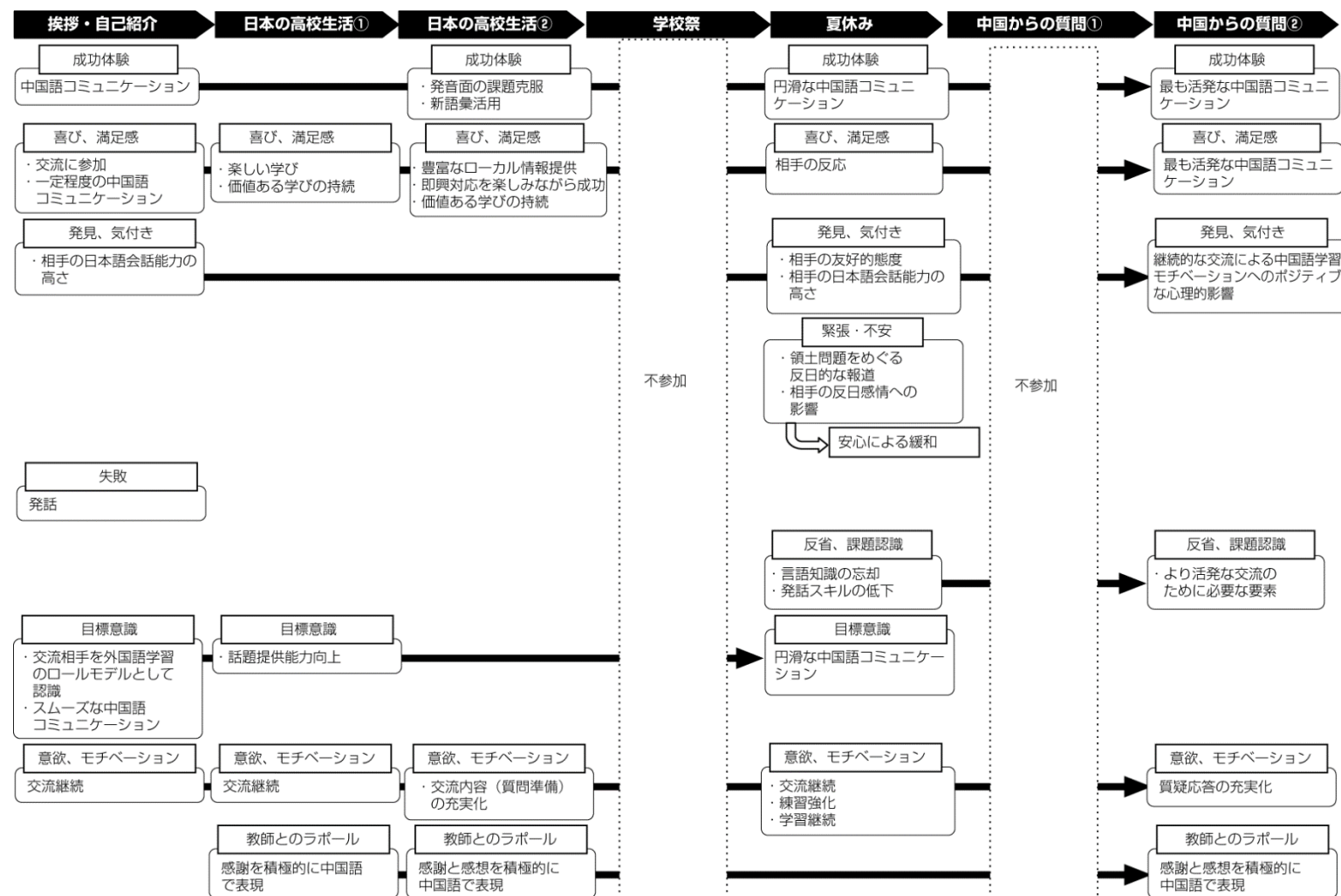


図 6-25 HM のストーリーラインの遷移からみた成長



図 6-26 FY のストーリーラインを構成する概念

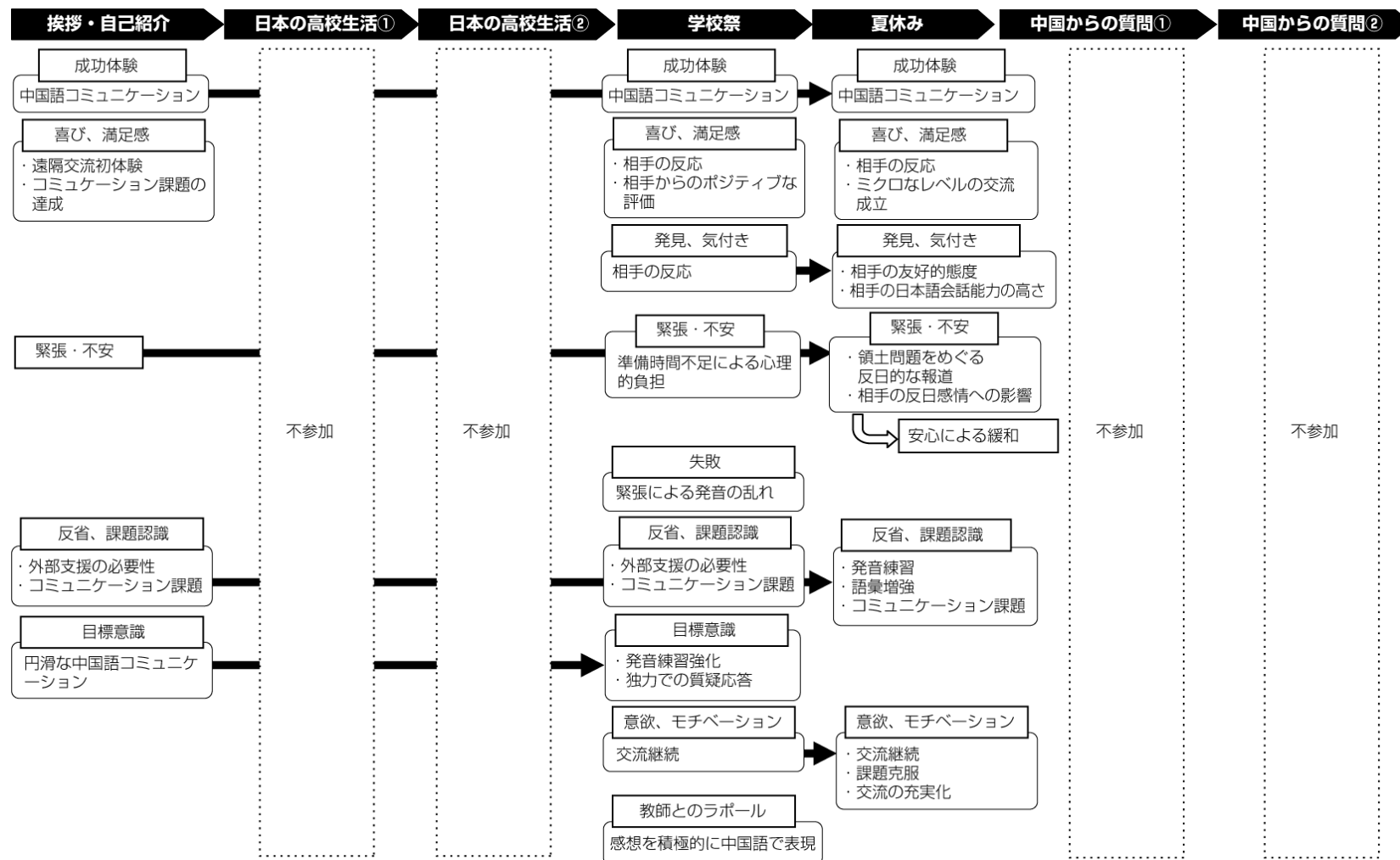


図 6-27 KB のストーリーラインの遷移からみた成長

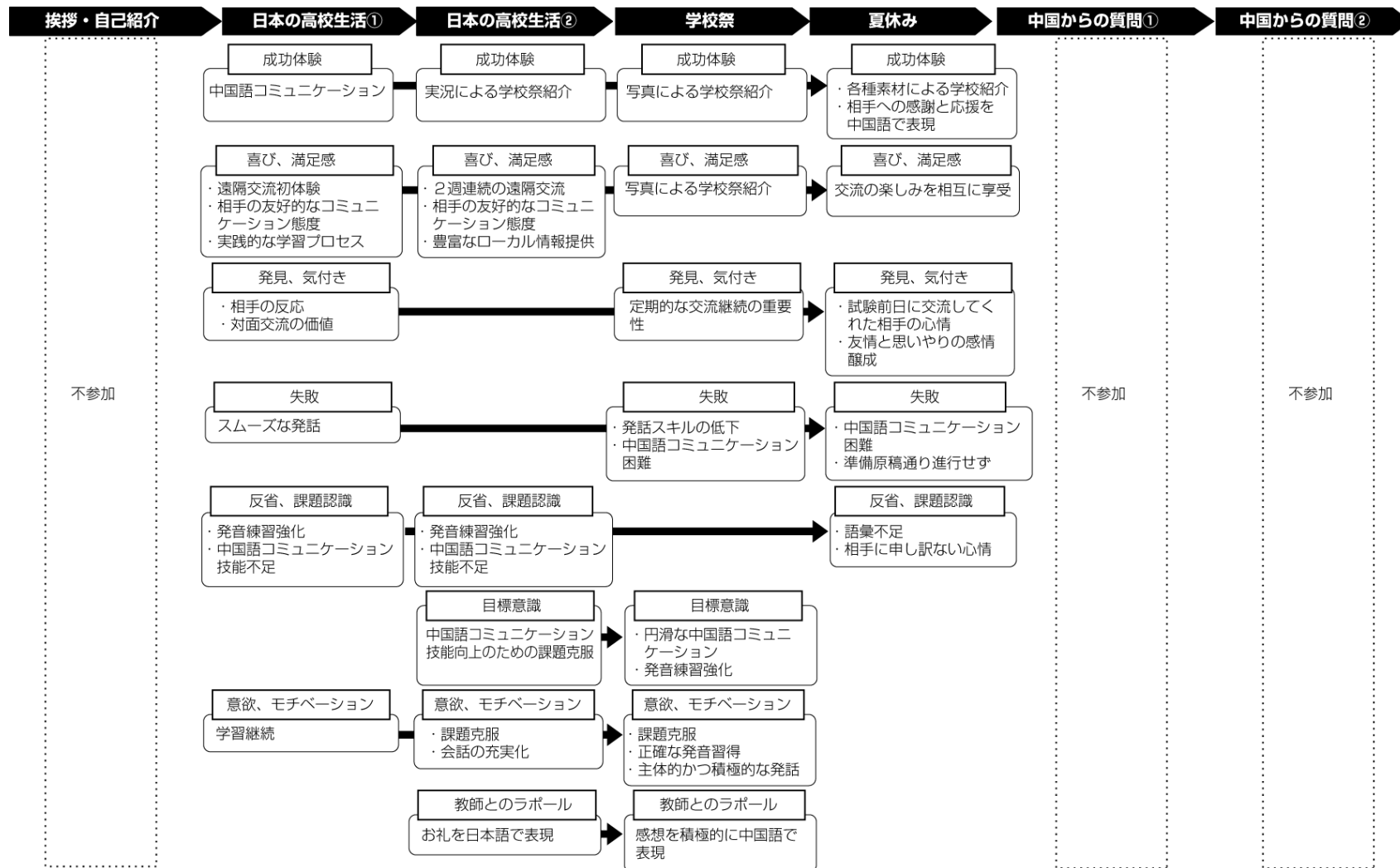


図 6-28 KBA のストーリーラインの遷移からみた成長

6.5.3 学習者視点のブレンド型学習の全体評価

前節では、遠隔交流の感想に基づく学習者視点の学習の経験、成果及び価値づけを質的に解釈した。ここからは、BL に対する学習者視点の総合評価に基づき、BL を通じて学習者が得られた経験、成果及び価値を探究する。学年末アンケートの自由記述回答を対象に、前節と同じく SCAT を援用した質的分析を行う。自由記述回答に該当する項目は、「オンライン交流」カテゴリの「尖閣諸島（釣魚島）をめぐる報道と遠隔交流経験に基づく対中感情」に関する質問項目、「学習成果」カテゴリの「中国語の授業全体を通じて最も良かった点と悪かった点」、「第二外国語としての中国語の授業の存在・位置付け」及び「1 年半（高校 2 年～3 年）の中国語学習の感想」である。これらの分析結果から、ストーリーラインに基づく解釈を以下にまとめる（SCAT の分析プロセス全体の表は付録 26 から 29 を参照）。

「オンライン交流」カテゴリでは、「10. 2012 年 9 月～10 月、中国と日本は尖閣諸島（釣魚島）の領有権をめぐり、民衆のデモや暴動等の社会事件に発展し、両国の友好関係にひびが入るという大きな影響が出ました。この時期に中国の学生とのオンライン交流を経験したことで、何か気づいたこと、感じたこと、思ったこと等があれば教えてください。」という質問項目を設定した。これに対して、学習者はそれぞれ次のように認識していたことがわかる。

YZ：武術を通じた長年の中国人との交流経験と、遠隔交流に基づくインタラクションの蓄積から、日中間の好意的な感情と、国際問題は個人レベルの友好交流には影響しないという信念を保持していた。

YG：反日感情をめぐる報道内容と遠隔交流の経験に基づく友好的感情とのギャップを感じたが、個人レベルの交流というミクロな視点に基づく対中・対日感情を重視し、報道が大衆に与えるネガティブな影響に対して遺憾の意を表した。

KBY：遠隔交流の経験に基づき国家間の関係というマクロな視点と個人間の交流というミクロな視点を区別し、自身の交流においては影響を感じなかった。

HM：反日感情をめぐる報道を理解しつつも若干の不安を感じていたが、遠隔交流の経験に基づき不安が解消され、親日的な中国人の存在に対する気づきを得た。また、そのような存在が日本人に周知されることを希望し、ミクロな視点に基づく友好と平和を重視する心情が強化された。

FY：反日感情をめぐる報道内容と遠隔交流の経験に基づく友好的感情とのギャップを感じ

たが、ミクロな視点に基づく交流相手の友好的な態度を実感し、自身の交流においては影響を感じなかった。

KB：反日感情をめぐる報道を理解しつつも若干の不安を感じていたが、遠隔交流の経験に基づき親日的な中国人の存在に対する気づきを得て、安堵した。

KBA：遠隔交流の経験に基づく親日的な中国人の存在や対話の喜びに対する気づきから、反日報道の影響による反中感情に対する抵抗を感じ、日本人の中国に対するネガティブなイメージを変容させたいと強く希望した。

MT：遠隔交流に参加した経験がないという前提で、報道の論調に遺憾の意を表し、一般論として、ミクロな視点に基づく人間関係構築の重要性に言及した。

「学習成果」カテゴリでは、「22. 中国語の授業全体を通じて、最も良かった点と悪かった点を1つずつ教えてください。」という質問項目を設定した。分析の結果、学習者はそれぞれ次のように認識していたことがわかった。

YZ：遠隔交流を活用した BL に対して、実践的な対話・交流に対する期待が高く、その期待を満足したことにより肯定的に評価した。一方で、適切な文法を活用して複雑な表現をしたいという高い目標があり、文法知識や応用能力の不足による表現上の困難を認識した。

YG：遠隔交流を活用した BL に対して、ニーズを満足する外国語学習リソース（環境、教師、学習者間の関係）が提供されたこと、中国語学習のモチベーション向上意識をクラスメートと共有できたこと、交流を通じた中国語の活用と対話が実現したことによる学習効果を実感した。なお、授業設計や運営上の改善点や要望については言及しなかった。

KBY：遠隔交流を活用した BL に対して、実践的な語句や表現の知識獲得に対する満足感を得た。なお、授業設計や運営上の改善点や要望については言及しなかった。

HM：遠隔交流を活用した BL 及び遠隔交流以外にも大学の留学生と対面交流したことで、交流トピックに応じた語句や表現の学習と交流における活用の機会に満足し、中国語学習のモチベーションが向上した。

FY：遠隔交流を活用した BL に対して、リアルな対面交流が実現したことに対する喜びを実感する一方で、インターネット接続上のトラブルにより交流が中断されたことに対する不満を表した。

KB：遠隔交流を活用した BL に対して、スケジュール調整が困難な学習者も複数回の交流を実現できる授業設計に対して満足感を示した。なお、授業設計や運営上の改善点や要望については言及しなかった。

KBA：遠隔交流を活用した BL に対して、言語コミュニケーションの 4 技能のうち機会の少ないスピーキングを交流で実践できたことに対する満足感を示した。なお、授業設計や運営上の改善点や要望については言及しなかった。

MT：遠隔交流を活用した BL に対して、教師から学習者への即時適切な学習支援に対する満足感と共に、関心の高いトピックに基づく学習活動への親和性を示した。一方で、授業時間内に実施可能な遠隔交流のスケジュール設定に対する期待を表した。

さらに、「29. 第二外国語としての中国語の授業は、主要外国語の英語と比べて、どのような存在・位置付けでしたか？」という質問項目を設定し、高校のカリキュラム上、学習者が優先的に学習しなければならない英語科目と比較して、第二外国語としての中国語がどのような位置付けでとらえられているかを自由記述により確認した。分析の結果、学習者は次のように認識していたことが明らかとなった。

YZ：英語と中国語について同等の重要性を認識していた。

YG：遠隔交流で中国語コミュニケーションが成立する喜びを享受し、コミュニケーションのために自分の意志で自分のために考えて中国語を使える自由度の高さを実感した。学習者中心の学習プロセスを通じて、英語学習歴が長くなるにつれて失われた外国語学習の楽しさを再認識し、毎回新しい学びがあることに満足した。

KBY：英語と中国語を同様に楽しく学習できる科目として認識し、共に学習継続の意欲を示した。

HM：新たな外国語習得に対する満足感を得た。同時に、学習歴の影響による理想のコミュニケーションとのかい離を実感しつつも、各種の活動を通じて徐々に成長を実感し、中国語学習のモチベーション向上を自覚した。

FY：学習すべき英語に比べて第二外国語である中国語に対して学習意欲を高めた。

KB：中国語のあらゆる学習が新たな知識の獲得につながる実感を伴って、新鮮な発見に満ちた学習経験に対して満足感を得た。

KBA：毎回新鮮な発見に満ちた学習経験に対する満足感を得て、外国語学習ならではの喜びや醍醐味を実感した。

MT：英語と中国語を同様に楽しく学習できる科目として認識した。

全体の総括として、「30. 最後に、2年生の時から1年半、中国語を勉強してきた感想をお願いします！」という質問項目を設定し、中国語学習全体の印象や感想に関する回答を得た。その結果、学習者は次のように認識していたことが明らかとなった。

YZ：授業を通じて中国人との対面交流の機会に大きな価値を認識した。長年の武術を通じた交流経験から中国語を活用する具体的なイメージを抱いており、中国語学習に対する高いモチベーションの継続と積極的な中国語使用に対する意欲を示した。

YG：ICT活用のBLや遠隔交流の多様な実践と新鮮さに満足した。遠隔交流を通じた中国の若者に対する異文化間理解を深化させ、対中イメージの変容や中国語に対する親近感の形成から、中国に対する興味・関心が向上し、中国語学習モチベーションが向上した。また、交流相手の興味・関心に対する気付きを得ると同時に、日本人としてのアイデンティティの再認識を成果として認識した。さらに、実用性の高い学習形態による充実した学習時間、2年間の継続的な学習経験に対する高い満足度を示した。

KBY：中国語の難しさを認識する一方で、多様な学習活動に満足し、中国語学習継続への意欲を示した。

HM：中国語担当教員とのラポール形成と実用性の高い授業形態や学習活動に対する高い満足を感じ、感謝を表した。外国語学習ならではの楽しみを享受し、実用度の高い中国語習得に満足した。また、中国の言語文化に対する親近感が形成され、2年間の継続的な学習経験に対する高い満足度を示した。

FY：言語学習の難しさを認識する一方で、教師やクラスメートといった満足度の高い環境要因により中国語学習活動を楽しんだ。また、教師とのラポール形成により、初修外国語としての中国語に対して英語よりも高いモチベーションを抱き、中国語学習継続への意欲を示した。

KB：中国語を最も有用な外国語として認識し、ツールやスキルとしての価値を重視していた。また、教師やクラスメートといった満足度の高い環境要因や自由度の高い学習形態を好ましく思い、教師とのラポールも形成された。そして、中国そのものに対する興味関心が向上し、中国語の難しさを認識しながらも、進学後の中国語学習継続と中国渡航への意欲を示した。

KBA：受験科目よりも選択科目の中国語を優先するほど高い学習モチベーションを抱き、モチベーション向上による学習継続への意欲を示した。教師とのラポールが形成され、教師の影響により興味関心が向上すると同時に、教師の学習者に対する配慮や親和性の高い学習内容を評価し、高い満足度を示した。

MT：教師の学習者に対する配慮に感謝を示した。

6.5.4 概念整理と可視化

これまでの質的分析の結果から、学習者一人ひとりの成長と、学習者自身が最終的に認識した学習上の課題、社会事件の報道というマクロな視点と個人の交流経験というミクロな視点の対比、授業の総括的評価（良い点と悪い点、中国語の位置付け、学習期間全体の感想）を統合した概念が明らかとなった。本節では、学習者ごとのストーリーラインに基づき、テキストマイニングのツールである KHCoder を用いて、各回の遠隔交流に参加した学習者全員に共通の学習経験、学習成果及びその価値を概念図として描画し、可視化する。

KHCoder (<http://khc.sourceforge.net/>) は、立命館大学産業社会学部の樋口耕一氏が開発した、テキストデータを統計的に分析するためのフリーソフトウェアである。この分析手法は、「計量テキスト分析」あるいは「テキストマイニング」と呼ばれ、アンケートの自由記述・インタビュー記録・新聞記事等、さまざまなテキスト（文章）型のデータを分析できる。分析手順は主に 2 段階に分けられる。段階 1 では、データ中から語を自動的に取り出して、その結果を集計・解析する。これにより、分析者の主観的な判断を可能な限り排除してデータの特徴を探り、データを要約する。段階 2 では、分析者が具体的なテキスト上の表現等に基づき、概念の出現を判断しながらコーディングルールの作成を積極的かつ明示的に行い、データに基づく概念を創出する。さらに、その結果を集計・解析することで分析を深める。本研究では、前節の SCAT を援用した質的データ分析により、明確な手続きを用いて、内容の恣意性をある程度排除した信憑性の高いコーディングを実現しているものと判断できる。したがって、段階 2 の分析を行い概念を可視化する。なお、本研究では KHCoder 安定板（Ver. 2.00b, 2015 10/03, RSS）を使用した。

学習者一人ひとりのストーリーラインに含まれる類似した概念や異なる概念のまとまりを捉え、一見して理解しやすい形で可視化するために、多次元尺度構成法を用いて概念図を描画した。多次元尺度構成法は、量的分析における主成分分析のように、分類する対象（コード）の関係を二次元空間における点の分布で表すものである。出現パターンの似通っ

た語の組み合わせにはどんなものがあつたかを探索するのに適している（樋口，2014）。分析では、学習者全員のストーリーラインを用いて交流トピックごとに概念図を作成した。コードの円が大きいほど言及頻度が高いことを表し、配置に近いものは類似の概念、配置が遠いものは異なる概念であることを示す。設定値は図 6-29 の通りである。

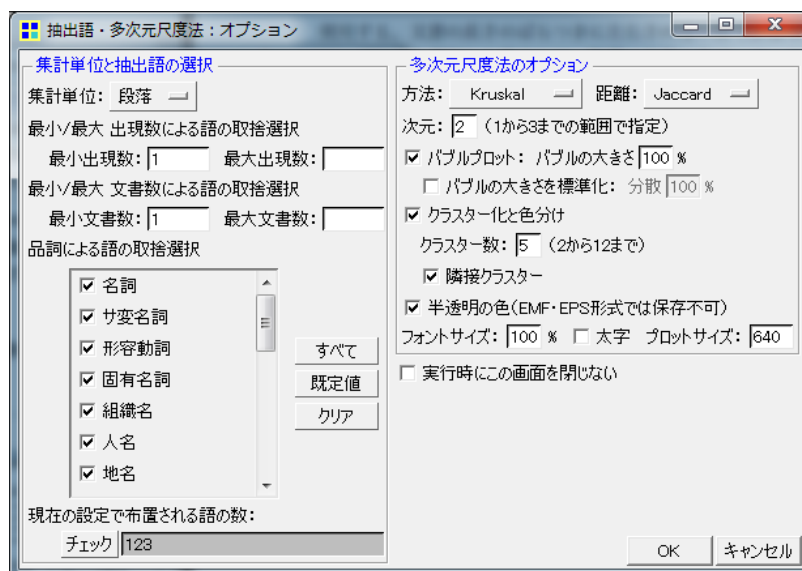


図 6-29 KHCoder を用いた多次元尺度構成法の設定値

分析に用いたテキストの分量が 1000 語程度とそれほど多くないこと、含まれる語はすでに SCAT を援用した分析の過程でコーディングされていることから、集計単位は「文」、最小出現数は「1」語とした。また、視認性を高めるために、語の頻度を円の大きさを示すようにバブルプロットを行う設定にチェックを入れた。さらに、概念のまとまりとクラスターごとに色分けして描画するために、「クラスター化と色分け」にチェックを入れ、まとまりを捉えやすい分岐点を決定した。「あいさつ、自己紹介」、「日本の高校生活」、「学校祭」、「夏休みの思い出」、「英語と比較した中国語の位置付け」、「中国語 BL の良い点と悪い点」については、クラスター数は「5」とした。「中国からの質問」、「尖閣問題と遠隔交流の経験に基づく対中感情」、「中国語学習全期間の感想」については、クラスター数は「6」とした。その他の設定値はデフォルトのまま使用した。

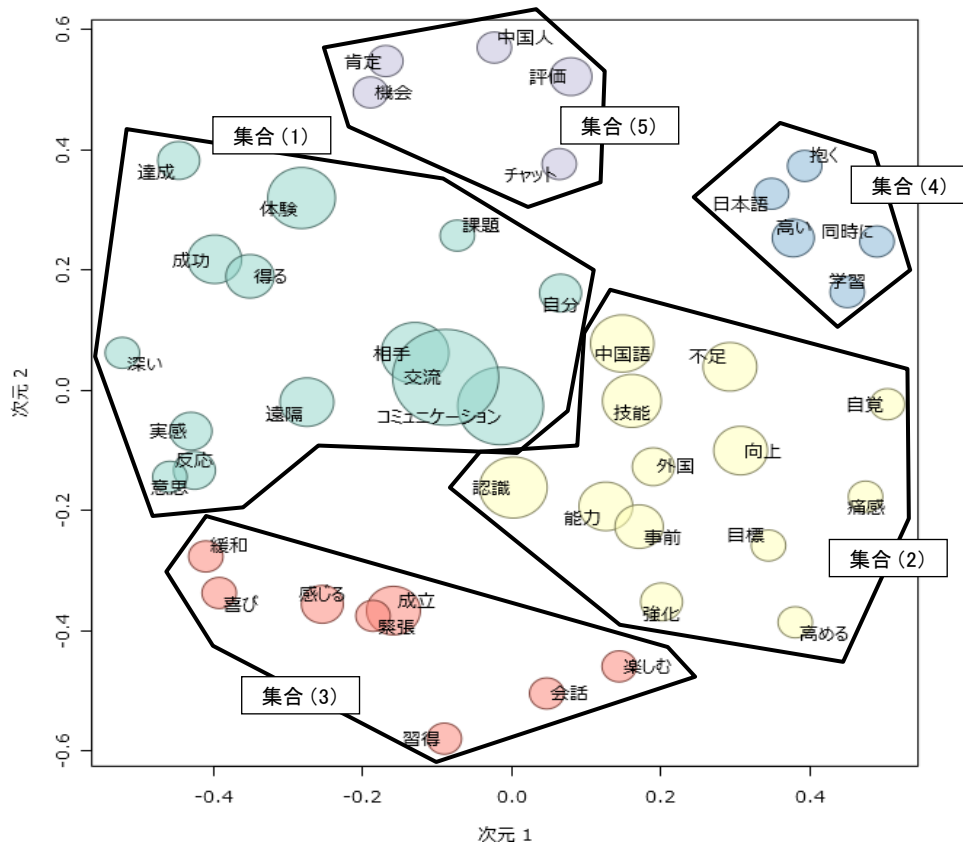


図 6-30 2012 年度交流トピック「あいさつ、自己紹介」の概念図

交流トピック「あいさつ、自己紹介」の概念図は、(1)「交流」「コミュニケーション」「相手」「遠隔」「体験」「成功」「得る」「達成」「自分」「課題」「反応」「実感」「意思」「深い」の集合、(2)「中国語」「認識」「技能」「不足」「向上」「外国」「能力」「事前」「強化」「自覚」「痛感」「目標」「高める」の集合、(3)「成立」「感じる」「緊張」「緩和」「喜び」「楽しむ」「会話」「習得」の集合、(4)「高い」「学習」「日本語」「同時に」「抱く」の集合、(5)「評価」「中国人」「チャット」「機会」「肯定」の集合により構成された。これらの概念の集合と、前節で行った分析の結果から、以下のように解釈することができる。集合 (1) からは、「学習者は、遠隔交流の経験に基づき、相手とのコミュニケーション達成の成功体験を得た。また、相手の反応から意思疎通を深く実感した。自分の課題に対する気づきも得た」ことがわかる。集合 (2) からは、「中国語の技能不足を痛感あるいは自覚したことで、事前準備強化の必要性を認識し、外国語能力の向上に向けた目標意識が高まった」ことがわかる。集合 (3) からは、「会話の成立を楽しむことで、中国語習得の喜びを感じ、感じていた緊張が緩和した」ことがわかる。集合 (4) からは、「交流相手の高い日本語会話能

力に学習者として尊敬の念を抱いた」ことがわかる。集合（5）からは、「中国人とのチャットの機会を肯定的に評価した」ことがわかる。

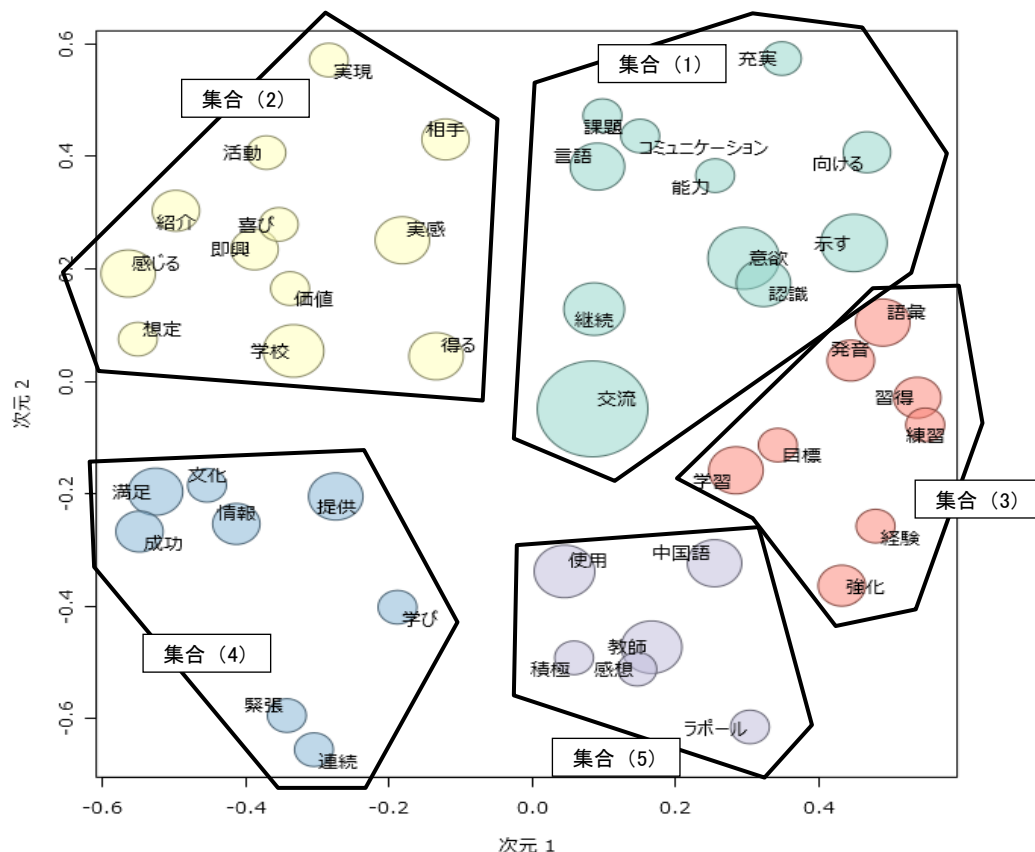


図 6-31 2012 年度交流トピック「日本の高校生活」の概念図

交流トピック「日本の高校生活」の概念図は、(1)「交流」「継続」「意欲」「示す」「認識」「向ける」「言語」「充実」「能力」「コミュニケーション」「課題」の集合、(2)「学校」「実感」「得る」「感じる」「即興」「相手」「紹介」「喜び」「価値」「活動」「実現」「想定」の集合、(3)「語彙」「学習」「発音」「習得」「練習」「強化」「経験」「目標」の集合、(4)「満足」「情報」「提供」「成功」「文化」「学び」「連続」「緊張」の集合、(5)「中国語」「使用」「教師」「感想」「積極」「ラポール」の集合により構成された。これらの概念の集合と前節で行った分析の結果から、以下のように解釈することができる。集合（1）からは、「言語コミュニケーション能力上の課題を認識し、交流の充実化に向けた交流継続に対する意欲を示した」ことがわかる。集合（2）からは、「想定外の学校紹介活動として即興の学校祭準備実況が実現したことで、相手に実感を伴って高校行事を紹介できた喜びを感じた」ことがわ

かる。集合 (3) からは、「学習の経験から、語彙や発音の習得における練習強化を学習目標として認識した」ことがわかる。集合 (4) からは、「学校祭という高校文化面の情報提供に成功したことに満足した。一部の学習者は 2 週連続で遠隔交流に参加したことで緊張が緩和した」ことがわかる。集合 (5) からは、「(おやつ差し入れ等、交流を励ますような) 教師とのラポール形成により、感想文に積極的に中国語を使用した」ことがわかる。

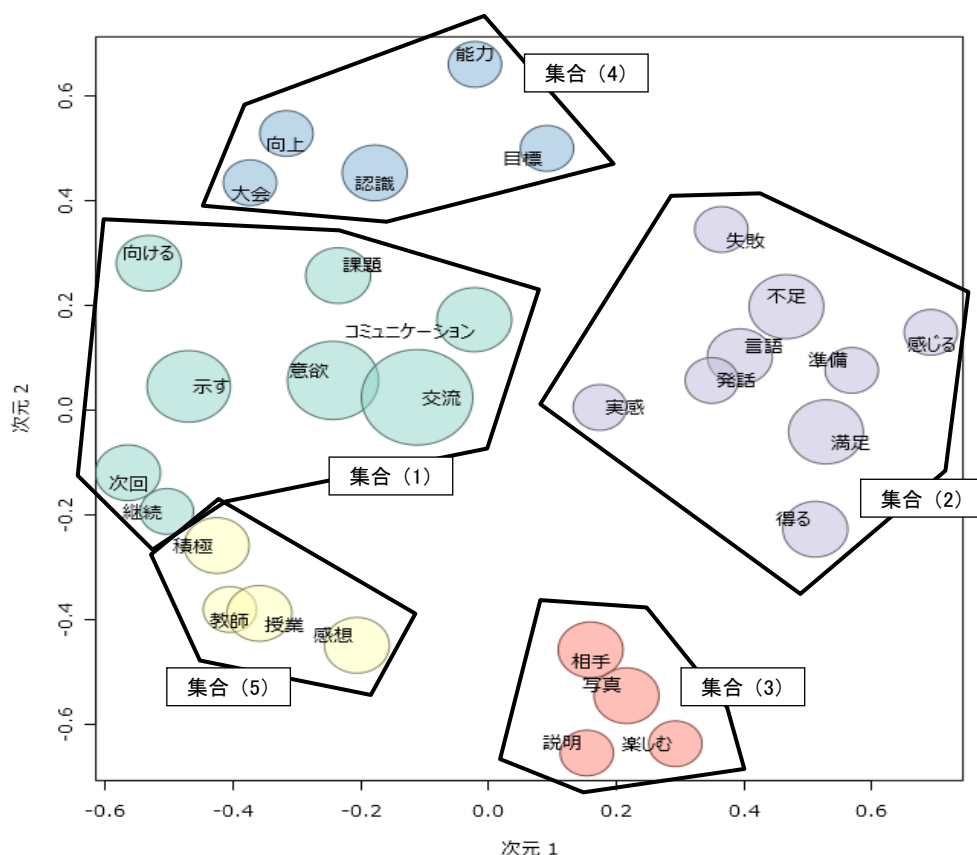


図 6-32 2012 年度交流トピック「学校祭」の概念図

交流トピック「学校祭」の概念図は、(1)「交流」「意欲」「示す」「コミュニケーション」「課題」「向ける」「次回」「継続」の集合、(2)「満足」「得る」「不足」「言語」「準備」「感じる」「発話」「失敗」「実感」の集合、(3)「写真」「相手」「説明」「楽しむ」の集合、(4)「認識」「目標」「大会」「能力」「向上」の集合、(5)「感想」「授業」「教師」「積極」の集合により構成された。これらの概念の集合と前節で行った分析の結果から、以下のように解釈することができる。集合 (1) からは、「コミュニケーションに向けた課題を認識し、次回も交流を継続する意欲を示した」ことがわかる。集合 (2) からは、「準備不足が原因で発話の失敗を実感した一方で、一定の言語コミュニケーション成立による満足も得た」

ことがわかる。集合（3）からは、「相手が写真を用いて説明してくれた内容を楽しんだ」ことがわかる。集合（4）からは、「(YZのみ漢語橋中国大会を特に意識して) コミュニケーション能力の向上を目標化とした」ことがわかる。集合（5）からは、「(おやつの差し入れといった交流を励ますような) 教師とのラポール形成により、授業の感想文に積極的に中国語を使用した」ことがわかる。

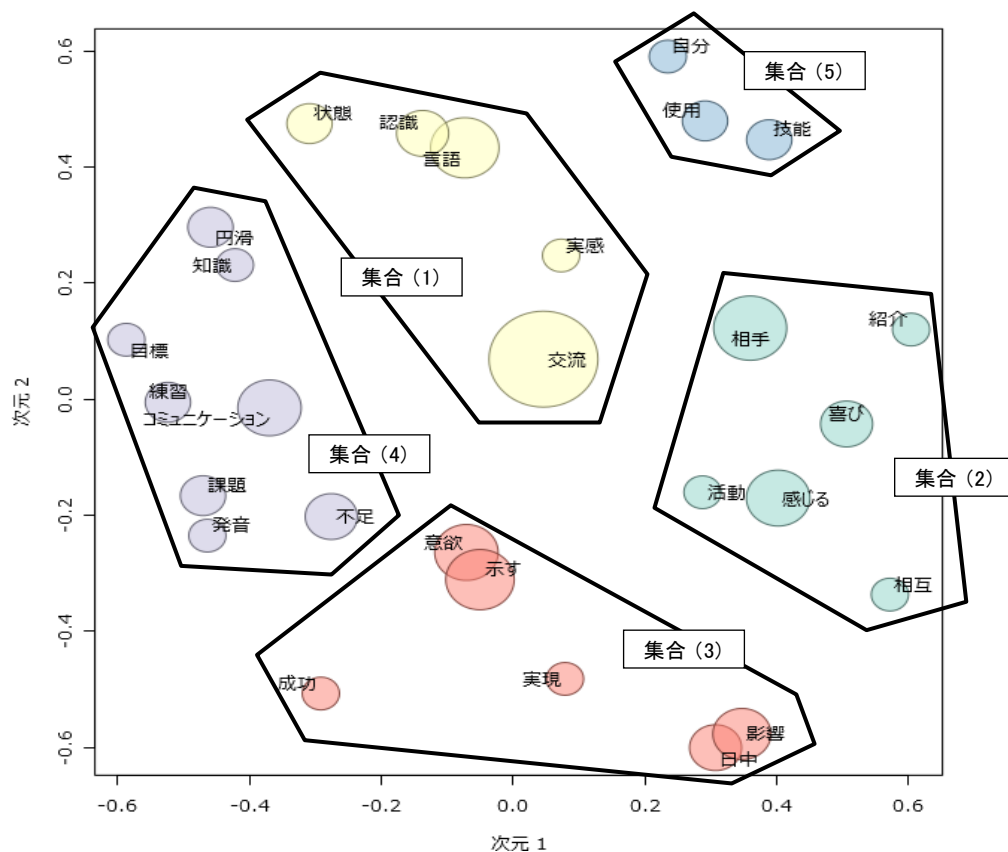


図 6-33 2012 年度交流トピック「夏休みの思い出」の概念図

交流トピック「夏休みの思い出」の概念図は、(1)「交流」「言語」「認識」「状態」「実感」の集合、(2)「相手」「感じる」「喜び」「紹介」「相互」「活動」の集合、(3)「示す」「意欲」「影響」「日中」「実現」「成功」の集合、(4)「コミュニケーション」「不足」「練習」「課題」「円滑」「知識」「発音」「目標」の集合、(5)「技能」「使用」「自分」の集合により構成された。これらの概念の集合と前節で行った分析の結果から、以下のように解釈することができる。集合（1）からは、「授業や交流の断絶がある状態で、言語知識の忘却を実感し、課題を認識」したことがわかる。集合（2）からは、「相手の高い日本語会話能力によって紹介活動が成功した喜びを感じ、相互理解の深まりや相互に満足感を得た」ことがわかる。

集合（3）からは、尖閣問題の報道等を見て、「日中関係の悪化が交流に与える影響を懸念しながらも、それに影響されず交流が実現し、コミュニケーションが成功したことから、交流継続への意欲を示した」ことがわかる。集合（4）からは、「言語知識の不足が原因で実現できなかった円滑なコミュニケーションのために、練習強化により発音上の課題を克服することを目録化」したことがわかる。集合（5）からは、「交流相手の高い日本語運用技能を認識し、理想的な言語使用者としての自分を目指して学習のモチベーションが向上」したことがわかる。

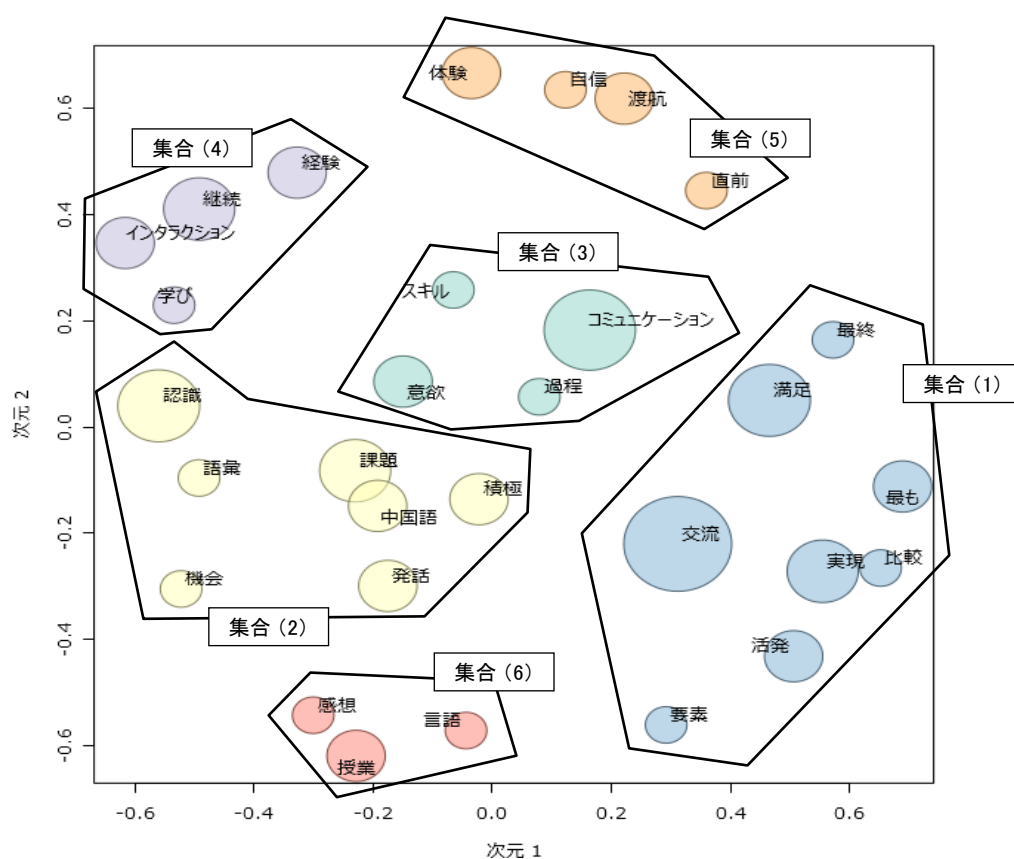


図 6-34 2012 年度交流トピック「中国からの質問」の概念図

交流トピック「中国からの質問」の概念図は、(1)「交流」「満足」「最も」「実現」「活発」「比較」「最終」「要素」の集合、(2)「認識」「課題」「中国語」「発話」「積極」「語彙」「機会」の集合、(3)「コミュニケーション」「意欲」「過程」「スキル」の集合、(4)「継続」「経験」「インタラクション」「学び」の集合、(5)「体験」「渡航」「直前」「自信」の集合、(6)「授業」「言語」「感想」により構成された。これらの概念の集合と前節で行った分析の結果から、以下のように解釈することができる。集合（1）からは、「過去と比較して最終回

に最も活発な交流が実現したことに満足し、活発な交流実現に必要な要素を認識」したことがわかる。集合(2)からは、「語彙や積極的な中国語の発話の機会増加といった課題を認識」したことがわかる。集合(3)からは、「コミュニケーションの過程でスキルアップを意欲化」したことがわかる。集合(4)からは、「継続的なインタラクションの経験が学習に影響」したことがわかる。集合(5)からは、YZ が「中国渡航直前の交流を体験して自信を得た」ことがわかる。集合(6)からは、「授業の感想で積極的に中国語を使用した学習者」がいたことがわかる。

学年末アンケートの「オンライン交流」及び「学習成果」カテゴリの自由記述回答の結果についても、同様にして概念図を作成した。

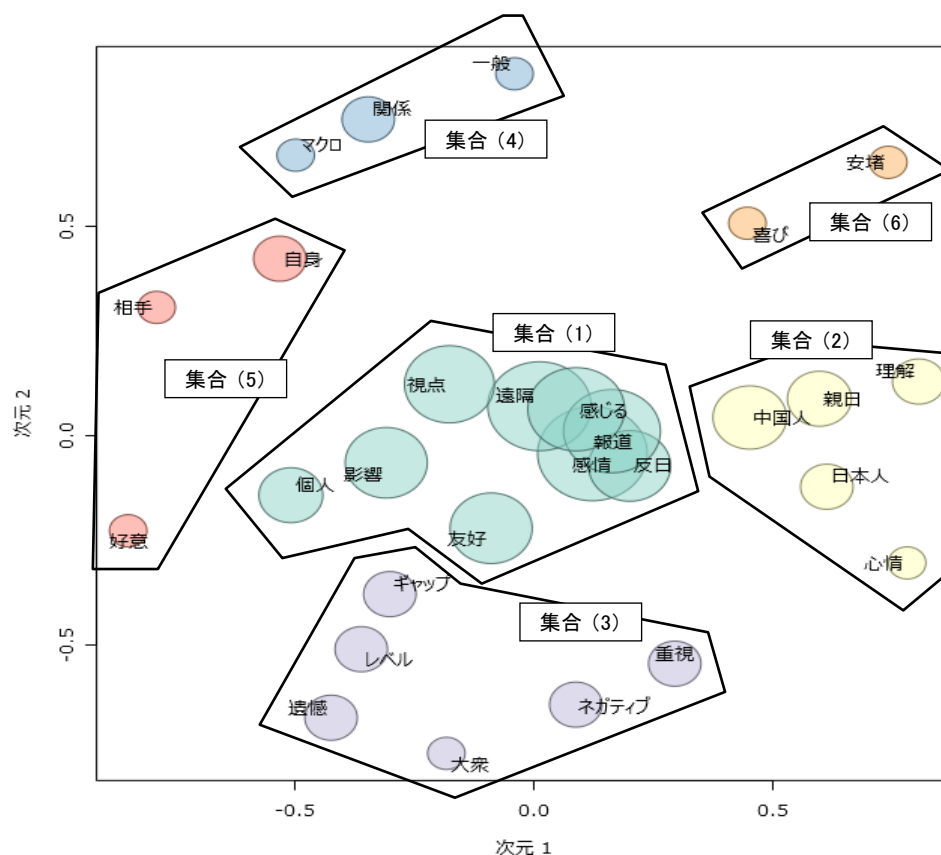


図 6-35 尖閣問題と遠隔交流の経験に基づく対中感情

「尖閣問題と遠隔交流の経験に基づく対中感情」の概念図は、(1)「反日」「感情」「報道」「遠隔」「感じる」「視点」「影響」「友好」「個人」の集合、(2)「中国人」「親日」「理解」「日本人」「心情」の集合、(3)「ギャップ」「レベル」「遺憾」「ネガティブ」「重視」「大衆」の集合、(4)「関係」「一般」「マクロ」の集合、(5)「自身」「相手」「好意」の集合、(6)「安

堵」「喜び」により構成された。これらの概念の集合と前節で行った分析の結果から、以下のように解釈することができる。集合（1）からは、「反日感情をめぐる報道と遠隔交流に基づく友好的感情との温度差を感じ、ミクロな視点に基づく個人間交流に対する影響は感じなかった」ことがわかる。集合（2）からは、「報道を理解しながらも遠隔交流を通じて親日的な中国人の存在を確信し、それが日本人に周知されて日本人の対中イメージを変容させたいという心情を抱いた」ことがわかる。集合（3）からは、「報道と遠隔交流の経験とのギャップを感じ、個人レベルの交流を重視すると共に、報道が大衆に与えるネガティブな影響に遺憾の意を表した」ことがわかる。集合（4）からは、「一般論として、国家間のマクロな関係を理解すると同時に、個人間のミクロな関係を重視する視点」を持ったことがわかる。集合（5）からは、「交流相手の好意的な感情を実感し、自身の交流に対するネガティブな影響は感じなかった」ことがわかる。集合（6）からは、「友好的な交流相手の態度から、安堵や対話実現の喜びを感じた」ことがわかる。

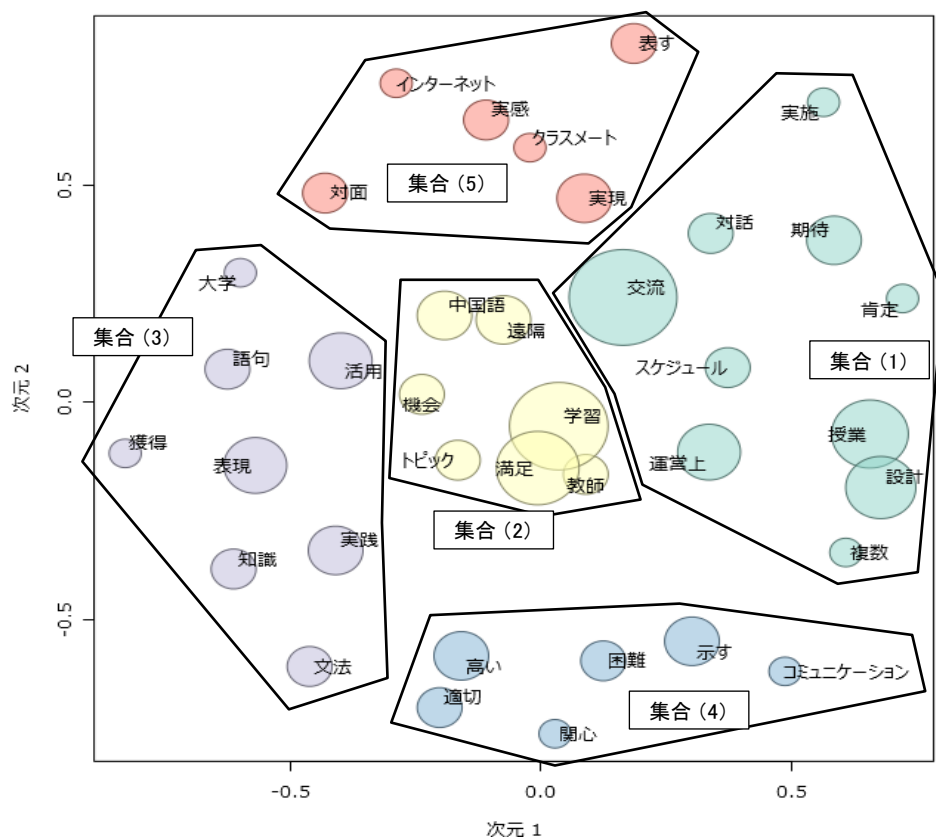


図 6-36 中国語 BL の良い点と悪い点

「中国語 BL の良い点と悪い点」の概念図は、(1)「交流」「授業」「設計」「運営上」「期待」「対話」「スケジュール」「複数」「肯定」の集合、(2)「学習」「満足」「中国語」「遠隔」「教師」「トピック」「機会」の集合、(3)「活用」「表現」「実践」「語句」「知識」「文法」「獲得」の集合、(4)「示す」「困難」「高い」「適切」「コミュニケーション」「関心」の集合、(5)「実現」「実感」「表す」「対面」「クラスメート」「インターネット」の集合により構成された。これらの概念の集合と前節で行った分析の結果から、以下のように解釈することができる。集合(1)からは、「複数回の交流を実現できる授業設計により対話が実現したことに満足し、肯定的に評価」したことがわかる。また、「大半の学習者は運営上の改善点や要望について言及しなかったものの、授業中に遠隔交流できるスケジュールを期待」した学習者もいたことがわかる。集合(2)からは、「教師による支援や親和性の高い交流トピックに基づく活動により、中国語学習のモチベーションが向上」したこと、「遠隔交流及びそれ以外の対面交流の機会が実現したことに満足」したことがわかる。集合(3)からは、「実践的な語句や表現の知識獲得と交流における実際の活用に満足した学習者」が複数名いた一方で、既習者 YZ は「適切な文法を活用した複雑な表現に困難を感じていた」ことがわかる。集合(4)からは、「スケジュール調整困難な学習者も複数回遠隔交流に参加できる授業設計、関心の高い交流トピック、適切な学習支援、言語コミュニケーション技能のうち機会の少ないスピーキングを交流で実践できたこと等に満足を示した学習者」がいたことがわかる。集合(5)からは、「中国語学習のモチベーション向上意識をクラスメートと共有できたことに満足し、直接の対面交流が実現したことによる学習効果や喜びを実感した学習者」がいた一方で、「インターネットのトラブルに不満を表す学習者」もいたことがわかる。

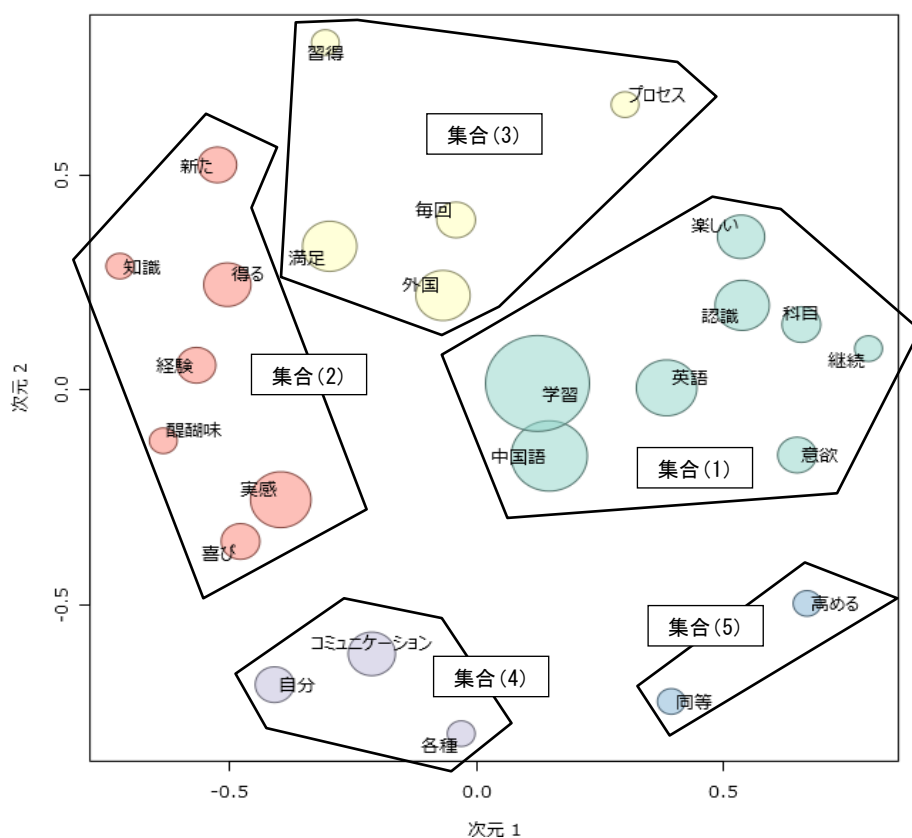


図 6-37 英語と比較した中国語の位置付け

「英語と比較した中国語の位置付け」の概念図は、(1)「学習」「中国語」「英語」「認識」「楽しい」「科目」「意欲」「継続」の集合、(2)「実感」「喜び」「得る」「経験」「新たな」「醍醐味」「知識」の集合、(3)「外国」「満足」「毎回」「プロセス」「習得」の集合、(4)「コミュニケーション」「自分」「各種」の集合、(5)「高める」「同等」の集合により構成された。これらの概念の集合と前節で行った分析の結果から、以下のように解釈することができる。集合(1)からは、大半の学習者は「中国語は英語と同じく重要で、楽しく学習できる科目と認識しており、学習継続の意欲」を示したことがわかる。集合(2)からは、「受験科目としての英語では忘れていた、外国語学習ならではの喜びや醍醐味を実感し、新たな知識の獲得につながる実感を伴って学習経験に満足し、喜びを得た」ことがわかる。集合(3)からは、「学習者中心の学習プロセスを通じて毎回新鮮な発見や学びがあることで、外国語学習ならではの楽しさを再認識し、新たな外国語習得に満足」したことがわかる。集合(4)からは、「遠隔交流や各種学習活動を通じて、コミュニケーションを目的として自分のために考えて使う中国語コミュニケーションの喜びを実感」したことがわかる。集合(5)から

は、「英語と同等の重要性を認識した学習者や、むしろ義務化している英語よりも中国語の学習意欲を高めた学習者」もいたことがわかる。

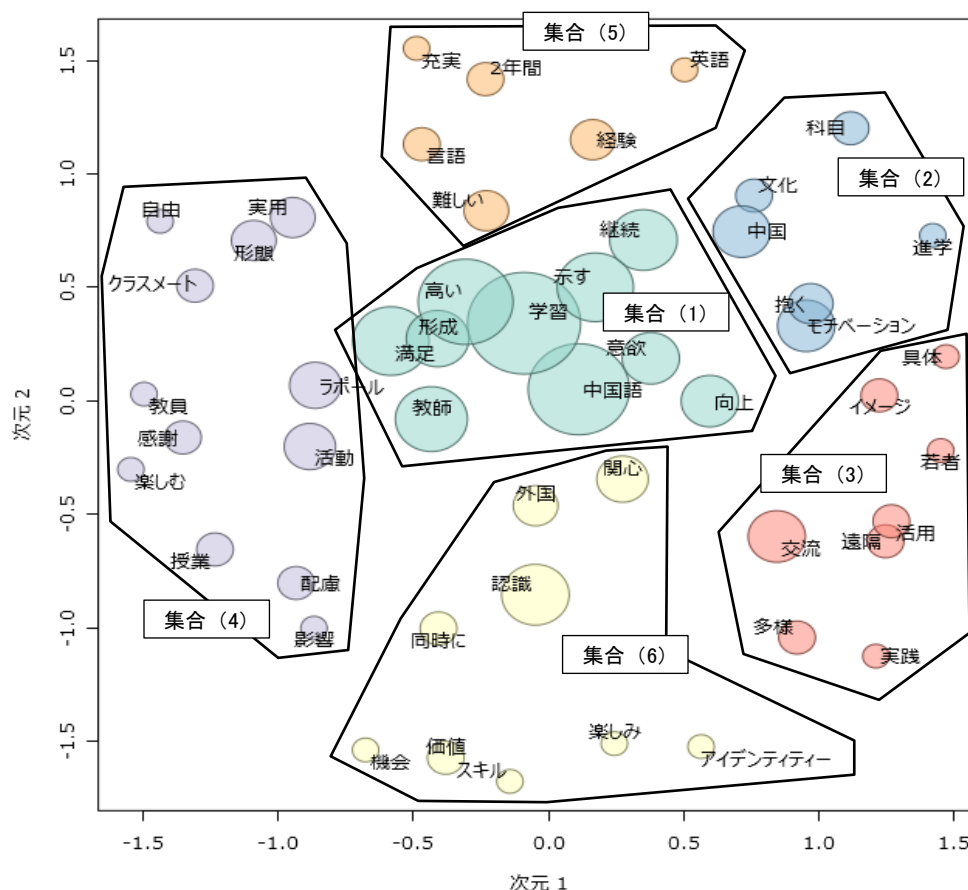


図 6-38 中国語学習全期間（高校 2 年次から 3 年次までの 1 年半）の感想

「中国語学習全期間の感想」の概念図は、(1)「学習」「中国語」「高い」「意欲」「示す」「継続」「満足」「教師」「向上」の集合、(2)「モチベーション」「抱く」「中国」「文化」「科目」「進学」の集合、(3)「交流」「遠隔」「活用」「多様」「実践」「イメージ」「具体」「若者」の集合、(4)「ラポール」「活動」「実用」「形態」「クラスメート」「自由」「配慮」「授業」「感謝」「楽しむ」「教員」「影響」の集合、(5)「経験」「難しい」「2 年間」「言語」「英語」「充実」の集合、(6)「認識」「関心」「外国」「価値」「楽しみ」「同時に」「アイデンティティー」「スキル」「機会」により構成された。これらの概念の集合と前節で行った分析の結果から、以下のように解釈することができる。集合 (1) からは、学習者が、「教師や授業に高い満足を感じたことにより、中国語学習の意欲が向上したことや、中国語学習継続の意欲を示

した」ことがわかる。集合（2）からは、「授業を通じて中国文化に対する興味・関心を抱き、進学後も学習継続しようという意欲を示した」ことがわかる。中には、「受験科目を上回るほど学習のモチベーションが向上」した学習者もいた。集合（3）からは、「遠隔交流を活用した授業や多様で実践的な学習形態により、中国の若者に対する異文化間理解が深まった」ことがわかる。既修者 YZ は、「具体的な中国語活用のイメージがあり、特に今後の中国語活用に強い意欲」を示した。集合（4）からは、「教員やクラスメート等の学習環境に満足したことの影響により、自由で実用的な授業形態や学習活動を楽しんだ」ことがわかる。「ラポール形成により、教員の学習者に対する配慮に感謝を表した学習者」もいた。集合（5）からは、「中国語という言語の難しさを感じながらも、2年間の充実した学習経験に対する高い満足度を示した」ことがわかる。中には、「英語よりも高い学習モチベーションを示した学習者」もいた。集合（6）からは、「中国語に有用なスキルとしての価値を見出し、外国語学習の楽しみを認識すると同時に、中国に対する関心の高まりやアイデンティティーを見直す機会」にもなったことがわかる。

以上、高校中国語のための ID 及び遠隔交流を活用した BL モデルに基づく学習、特に遠隔交流を主軸に展開する循環型の学習プロセスを通じて、学習者はどのように学習を経験したのか、どのような成果を得たのか、それらをいかに価値づけたのかという学習者視点の経験と成果の認識及びその価値づけについて質的データ分析を行い、詳細に解釈した上で、概念図による可視化を行った。次章では、第 5 章と本章の分析結果を統合し、遠隔交流を活用した BL から創出される価値について多角的に考察する。

第7章 遠隔交流を活用したブレンド型学習の評価

本章では、遠隔交流を核としたブレンド型学習の内容、プロセス、経験、及び成果（第5章）と、それに基づく学習者視点の評価（6.4 及び 6.5）を統合し、遠隔交流を活用したブレンド型学習によって創出された価値について3つの側面から考察する。第一節「学習者視点の価値」では、本研究の目的と方法を確認した上で、第6章の分析結果に基づく根拠を示しながら、学習者視点の学習経験と成果の認識に基づく価値の発見について述べる。第二節「インタラクションが創出する価値」では、第5章の遠隔交流のプロセスの分析から明らかとなった学習者にとってのインタラクションの経験、成果及びそのポジティブな価値の創出について述べる。第三節「教育的価値」では、第6章の分析結果に基づく学習者視点のネガティブな評価に基づき、学習のプロセスにおける学習者にとっての困難は何か、その対策にはどのようなものがあるかを検討し、学習支援のタイミング、方略及び教師の役割について具体例を挙げながら考察する。これら3つの価値に基づき、第四節「ID 及びブレンド型学習モデルの有効性」では、本研究の ID 及び BL モデルが学習環境のデザインとしてどのような点で有効であったかを考察する。最後に、第五節「本研究の成果と学術的意義」で本研究の成果とその学術的意義をまとめる。

7.1 学習者視点の価値

本研究の目的は、高校のフィールドに適した ICT 活用の中国語教育・学習のための ID を検討し、遠隔交流を通じた中国語 NS との対話を核とする BL を実践することによって、学習者の学習意欲にどう影響するかという態度や認識の変化を知ること、また、そのような学習のプロセスを通じて獲得される経験、成果及びその価値を明らかにすることであった。そのために、遠隔交流を活用したブレンド型学習のための ID 及び BL モデルを開発した。すなわち、遠隔交流を活用した BL を中心に、学習の過程で学習者ニーズを随時取り入れて授業を改善しながら教師と学習者が共同で教育・学習活動を充実させていく螺旋型の ID を設計した。そして、遠隔交流に向けた準備を語彙・文法学習と e ラーニングによって整え、中国人学生との遠隔交流でインタラクションを実際に体験するという学習サイクルを反復的に実施する BL モデルを開発し、実践した。その評価として、遠隔交流のプロセス及び学習者視点の評価を混合研究法のアプローチで分析した。

7.1.1 量的アプローチから見てきたもの

遠隔交流を活用した BL に対する学習者の評価を量的なアプローチで分析した結果、満足度と学習意欲の向上をもたらすことが明らかとなった。6.4 では、遠隔交流を活用した BL が学習者の情意に与える影響を知るために、学年末アンケートの回答を集計すると共に、授業実践の事前と事後アンケートの回答をノンパラメトリック検定によって分析した。その結果、学習者は BL 実践の当初から ICT 活用の知識及びスキルと ARCS-V の学習意欲の要因を範疇とした学習意欲が高かったこと、本研究の ID や BL モデルに含まれる学習活動を通じてその学習意欲が高いまま維持されたことが明らかとなった。特に ICT 活用技能の面では、本研究の BL がパソコンで中国語を入力する方法(パソコンの設定, 入力操作方法)についての理解を深める上で有効であることがわかった。また、独力で中国語を用いた情報収集をする自信のない学習者も、BL を通じて自信を身につけ、ポジティブな態度へと変化する可能性も示唆された。学習意欲の面でも、本研究の ID や BL モデルに含まれる学習活動が、失敗から学ぶことがあり、今の自分の知識やスキルを活用しながら学べるという 2 つの点で有効である可能性が示唆された。

同じく 6.4 で示した学年末アンケートの分析結果から、授業設計と交流準備、遠隔交流、学習成果の 3 つのカテゴリに対する学習者の高い評価が明らかとなった。授業設計と交流準備については、学習者ニーズに基づく交流テーマの選定、教師による説明や指示、教師の支援とラポールの形成、時間配分、評価方法、BL モデルを構成する 3 つの学習形態の連携についての評価が高いことから、本研究の ID 及び BL モデルが適切に設計され、運営されたといえる。遠隔交流については、遠隔交流の形態と環境、交流によるモチベーション、学習の意義と価値、知識面及び技能面での成果についての評価が高いことから、学習者の受け入れやすい形態で対面交流を実現することによって中国語学習のモチベーションが向上し、満足いく学習成果をもたらしたといえる。学習成果については、対人コミュニケーション態度、アイデンティティの再認識、中国に関する知識の増加や理解の向上、BL の 3 つの学習形態の連携、ICT を活用した学習資源の利用、独力で実施できる ICT 活用のコミュニケーション技能の習得についての評価が高いことから、本研究の BL は知識や技能のみならず、情意面（関心、態度、意識等）でも学習者に対してポジティブな影響を与え、学習者どうしの協調学習の効果を高めたと考えられる。

したがって、本研究の ID 及び BL モデルに含まれる学習活動が適切に設計、運営された場合に、特に遠隔交流を経験することで学習意欲が維持・向上し、学習者にとって満足の

く学習成果をもたらし、学習者の情意をポジティブな方向へ導くといえるだろう。

なお、学習者は遠隔交流の準備（交流トピックに関連した内容の企画と中国語翻訳）や遠隔交流における円滑なコミュニケーションにおける困難を強く感じており、語彙や文法の知識と言語運用技能の不足が原因であると認識していた。この課題と対策については本章第3節で述べる。

7.1.2 質的アプローチから見えてきたもの

それでは、学習者はどのような学習経験と成果を認識することで満足し、自身の学習を価値あるものとして高く評価したのだろうか。6.5では、遠隔交流を核とするBLを通じて得られる経験、成果及びその価値を探究することを目的とした遠隔交流の感想と学年末アンケートの回答を質的に分析し、概念を可視化して解釈した。その結果、学習者全体に共通の概念として、「発見、気付き」「成功体験」「喜び、満足感」「教師とのラポール」「緊張、不安（及びその軽減、緩和）」「失敗体験」「反省、課題の認識」「目標意識」「学習意欲、モチベーション」が浮上した。これら9つの概念は、学習者にとってポジティブな経験とネガティブな経験を含むものである。しかし、一見すると相反する性質を持つ経験に基づいて、学習意欲や交流のモチベーションの向上に結び付く価値が創出されたことがわかる。

7.1.2.1 発見と成功がもたらす喜びと満足

学習者は9回の遠隔交流を通じて、交流相手がどのような特性を持つ集団であるか、理解を深めていった。特に、外国語学習者としての日本語会話能力の高さと現代日本の文化的側面に対する理解度の高さに気付いた。また、交流相手の紹介活動の中で写真を用いた説明があったことで、言語による解説のみからは感じられないような具体的な理解や発見が得られた。このことから、視覚情報を豊富に提供できる素材を活用することで、言語知識や運用技能を十分には習得していない段階の学習者でも、驚きや感動をもって臨場感のある豊富な内容を享受できると考えられる。その結果、交流相手の写真や動画を見ながら学習者に「中国のリアル」を知る喜びや満足感をもたらすといえる。

また、遠隔交流の過程で、中国側は学習者に対して即時の応答、理解、同意、問い返しや復唱による確認、励まし等の反応を提供した。学習者はこのような交流相手の反応から、「自分の中国語が通じた」と実感し、コミュニケーションの成功体験を得たといえる。紹介活動の中には、即興で学校祭準備を実況中継するような想定外の展開もあったが、この

ことが却って、偶発的で特別な機会を利用し、臨場感を伴う高校行事を同期的に紹介できたという成功体験を獲得することにつながった。

同時に、学習者はビデオチャットを用いた中国語 NS との対面交流を肯定的に評価しており、交流の体験そのものを喜び、インタラクションのプロセスを楽しんでいたことがわかる。このようなポジティブな感情は、中国語習得に対する期待や意欲につながっている。また、学習者は各種の紹介活動の成功体験に基づく喜びを感じていたが、これは交流相手から日本語でも支援が提供されたことによって相互理解が深まり、満足感を得たためであると考えられる。

7.1.2.2 信頼と支援によるネガティブな心情の軽減

複数の学習者が遠隔交流の感想文に積極的に中国語を使用し、教師が交流時に提供した励ましの行動（おやつの差し入れ等を含む）に対する喜びや感謝を記載した。このことから、学習者と教師のラポールは、直接の学習活動における支援や指導の形態や内容のみならず、学習の場で教師から継続的に提供される物質的及び精神的な励ましの行動によっても形成され、両者の精神的な紐帯を強化すると考えられる。この相互信頼関係は、学習者にとって支援を求めやすく安心できる学習環境を構成する重要な要素のひとつである。

一方で学習者は、同年代の中国語 NS との初めての同期的な対面交流に際して、中国語でコミュニケーションできるかどうか自信がなく、強い不安や緊張を感じていた。しかし、結果的に遠隔交流の体験そのものを喜び、インタラクションの経験を楽しむことができ、遠隔交流を肯定的に評価していた。ラポールが形成された教師から提供される支援、学習者どうしの協調学習、中国側の日本語会話能力の高さによって実現する円滑なコミュニケーション等の経験を蓄積することで、学習者の不安や緊張が軽減、緩和されるという心理的な効果が生まれることがわかる。

7.1.2.3 失敗から得られる学び

学習者は、語彙や文法の知識と中国語運用技能が不足しているために円滑なコミュニケーションが成立しなかったと認識し、学習の困難点や苦勞した点の具体的な理由として挙げていた。しかし同時に、むしろこのようなコミュニケーションの失敗体験に基づき、中国語の知識と運用技能の不足を痛感し、その反省から自己の課題の認識や目標の設定という具体的なフィードバックを得たことがわかる。

特に、試験や学校行事により授業や遠隔交流が一定期間中断した場合には、過去の遠隔交流において独力でコミュニケーションを成立させられた内容であっても、教師や中国側からの支援を多く必要とした。学習や交流の中断が言語知識の忘却や運用技能の衰えを促進してしまい、その遅れを取り戻さなければならないという危機感を抱いて、反省や課題を認識していた。具体的には、交流の準備から遠隔交流までに共通する内容（言語知識の増加と定着、正確な発音の練習）と、遠隔交流時のコミュニケーション態度（積極的な発話や問いかけ、即時の応答）における反省や課題が強く認識されたことがわかる。この反省や課題に基づき、各自が具体的な目標意識を設定したことも見て取れる。

このように、学習者は失敗体験に基づく反省と課題の認識により、自身の課題の克服のために必要な知識、技能、態度とはどのようなものかを自覚し、自身の学習に対する明確な目標を設定するようになる。また、7.1.2.1 で述べた発見や気づきに基づき、交流相手を「成功した外国語学習者」や「理想的な言語使用者」とみなして尊敬の念を抱き、外国語学習の目標として位置付けたことがわかる。学習者は、自身の学習目標を明確に意識することで、より円滑なコミュニケーションの成立と、相互理解の一層の深まりを実現したいという期待を高めたことが見て取れる。

7.1.2.4 学習意欲と交流モチベーションの向上

学習者に共通する 9 つの概念のうち 8 つは相互に関連しながら中心的な概念の「学習意欲、モチベーション」と結び付いている。すなわち、遠隔交流を通じてインタラクションの経験を蓄積する中で、様々な「発見、気づき」があったことに「喜び、満足感」を感じ、コミュニケーションの「成功体験」を獲得したと考えられる。初対面の中国語 NS との交流には「緊張、不安」を感じていたが、教師、クラスメート、交流相手からの支援が随時得られる学習環境に安心し、「不安や緊張の軽減、緩和」という心理的な効果が得られたといえる。特に、交流相手から中国語のみならず日本語で随時支援が提供されたことで、学習者は自身の紹介活動の「成功体験」によって相互理解が深まったという「喜び、満足感」を感じ、「学習意欲、モチベーション」を向上させたことがわかる。教師や学習者（クラスメート）間の足場かけのみならず、交流相手の言語コミュニケーション能力に気付く機会があることで、学習者のモチベーションに与える影響は大きい。また、時には学習活動に直接関係しないような教師の励まし行為によって強化された「教師とのラポール」の効果から、学習者の中国語使用の「モチベーション」が高まったこともうかがうことができる。

一方で、学習者は円滑なコミュニケーション成立の「成功体験」に基づく「喜びや満足感」によって「学習意欲、モチベーション」を向上させただけではなかったことも見て取れる。学習者は、コミュニケーションが成立しない「失敗体験」も数多く経験したが、このネガティブな体験が却って自身の学習に対する「反省、課題の認識」へとつながり、具体的かつ明確な「目標意識」を持つことで、課題の解決や交流継続に対する「モチベーション」と、円滑なコミュニケーションを成立させるために中国語をもっと勉強しようという「学習意欲」が高まったことがわかる。

このように、遠隔交流を活用した BL を通じて、交流に向けた学習を継続し、失敗も成功も含めてインタラクションの経験を蓄積したことが学習者の学習意欲と交流に対するモチベーションの維持・向上に与えたポジティブな影響は大きい。対話型交流を取り入れた外国語学習においては、学習や訓練が言語の知識と運用技能の向上や NS のような流暢な会話能力の習得につながるという道具的動機付けのみならず、対話を重ねる過程でお互いが異文化インフォーマントとして機能していることを実感し、学習体験や交流のプロセスそのものを楽しむというコンサマトリー（自己充足的）な価値こそが重要なキーとなる。上記 8 つの概念が学習者の学習意欲と交流に対するモチベーションの維持・向上へとつながっていったことは、本研究の遠隔交流を活用した BL モデルにおいて、特に遠隔交流のステップから創出された質的な価値のひとつと言えるだろう。

7.1.2.5 日中関係を考える上での判断基準の形成

遠隔交流を活用した BL は、中国語の学習意欲と交流のモチベーションを高めただけでなく、日中関係を考える上での主体的な判断基準を形成する機会にもなった。本研究の授業実践の年に尖閣問題が発生したため、この社会事件が遠隔交流を実施する上で学習者の心情にどう影響したかを知るための問いを学年末アンケートに含めた。分析の結果（6.4 学年末アンケートの遠隔交流カテゴリの一部）、尖閣問題のようなマクロな問題と遠隔交流というミクロな経験との関係に対する学習者の認識が明らかとなった。

尖閣問題が発生した直後から、日本国内の各種メディアを通じて報道が行われた。その内容は、反日感情の高まりから不買運動や破壊行動といったデモを行う中国の群集の姿であり、その結果、日本人にネガティブな中国人イメージや対中感情の形成を促したことは否めない。しかし、同時期に学習者は、反日感情をめぐるメディアの報道を見て内容を理解する一方で、遠隔交流における交流相手の友好的な態度から安堵や対話実現の喜びを感

じ、親日的な中国人の存在を確信した。そして、国家間の政治的摩擦があるにせよ、個人レベルで行われる遠隔交流に対する影響を感じることなく、依然として相互に友好的な対話が実現したと感じていた。そのことが、相互理解を深め、交流継続への意欲を高めることにもつながった。学習者は、交流相手の友好的な態度から得た印象と、報道に映し出される大衆イメージや日中関係の悪化を趣旨とするメディアの認識との間に温度差を感じ、報道が中国人との交流経験を持たない日本人に与えるであろうネガティブな影響を懸念し、遺憾の意を表した。そこから、交流相手のような善良で親日的な中国人も多数存在するという事実が他の日本人にも周知されてほしい、対中イメージを変容させたい、という心情も醸成された。

このことから、学習者は、国家間のマクロな関係を理解すると同時に個人間のミクロな関係に依拠して判断する態度が重要であるという視点を持つようになったことがわかる。学習者は、遠隔交流を通じて「生の中国人」と直に接する機会を得て、中国人も自分たちと変わらない善良な人間であると確信した。このような共感が高まることで、日中関係というマクロな問題を考える上で、メディアや周囲の大人たちから提供される情報をそのまま受け入れ信頼するのではなく、自分自身の実体験をふまえて思考し、判断する態度が形成された。このことは、情報社会において外部から提供される情報を鵜呑みにせず、時には疑ってかかることすらも必要であるという、メディア・リテラシー（メディアを通して得られる情報を主体的に解釈し、必要な情報を識別し、真偽を見極める能力）育成の面でも意義のある経験であったと考えられる。これこそが対面交流の意義であり、教室環境における知識学習や技能訓練のみからは得られないリアリティのある体験と、そこから創出される価値のひとつであるといえよう。

7.1.2.6 学習歴による成果と価値の相違

6.5 の質的分析の結果から、遠隔交流に参加した学習者が既習者か初習者かによって経験と価値の認識が異なることもわかった。学習者のうち既習者 1 名と初習者 7 名の着眼点や注目点を比較すると、「対面交流における不安や緊張」、「交流相手の印象」、「学習効果の認識」、「反省、課題認識や目標意識」、「遠隔交流の意義」、「学習者集団における立場と役割」の 6 つの点において相違がみられる。

第一に、対面交流に対する不安や緊張について、初習者が交流開始前にほぼ毎回不安や緊張を感じていたのに対し、既習者はこのようなネガティブな感情は弱かった。これは、

既習者が初習者よりも学内外での中国語運用の機会を多く経験しており、中国語 NS を相手とするコミュニケーションにある程度慣れているためと考えられる。また、初習者は交流相手から提供される支援や友好的なコミュニケーション態度に繰り返し接することで、不安や緊張といったネガティブな感情が軽減、緩和されたことを学習効果として印象に残していた。これに対して既習者は、当初の不安や緊張の度合いが低いことから、その軽減や緩和を学習効果として意識していなかった。

第二に、交流相手の印象について、初習者は交流相手の友好的なコミュニケーション態度や日本語運用技能の高さに対する好印象を理由に、コミュニケーションのしやすさや成立の喜びにつながったという具体的な気づきを多く挙げている。また、交流相手を外国語学習のロールモデルとして認識し、成功した学習者の実例として目標化している。一方、既習者は、交流相手のキャラクター（ノリがよく盛り上がった、押しが強い等）に対する印象は強く残しているものの、相手のコミュニケーション態度が自身にとって望ましい成長（知識の増加や技能の向上）をもたらす要因になるとは認識していないことがわかる。

第三に、学習効果の認識について、初習者は交流相手の反応や周囲の支援を得てコミュニケーションが成立したというインタラクションそのものに対して喜びや満足を感じ、学習効果につながったと認識していた。一方で既習者は、日常的に中国人と接した経験があることから、交流を楽しむだけでなく、自身の課題を発見し、それを克服する機会として遠隔交流を積極的に利用しようとしていた。既習者は、毎回の遠隔交流から得られる反省、課題、目標という具体的なフィードバックを学習効果として強く意識する傾向にある。

第四に、反省、課題の認識と目標意識について、初習者は学習に関する反省に基づく課題の認識とその克服に向けた目標設定というフィードバック以外にも、積極的に話題を提供するコミュニケーション態度や周到的な準備（内容の企画、正確な発音練習を含む）によって円滑なコミュニケーションを実現し、交流の内容を充実させ、会話を楽しみたいという期待をもって目標を設定している。一方、既習者は、学外における中国語活用の機会を念頭に置き、知識や技能の不足を常に意識し、継続的にインタラクションを経験することで課題が克服されるという経験的なビリーフに基づきモチベーションを維持している。既習者は、スキルアップや自信の強化をほぼ確信的に期待していることが見て取れる。言い換えれば、交流相手やクラスメート等、他者の言動から受ける情意面での影響が少なく、自身のコミュニケーションの可否という結果と、それに基づく自身へのフィードバックを重視しているといえる。

第五に、遠隔交流の意義について、初習者はコミュニケーションの成功も失敗も含めて、遠隔交流の過程で経験する非言語コミュニケーションの要素を敏感に察知し、インタラクションの要素を常にダイナミックに享受している。一方、既習者は、言語コミュニケーションの成功体験は多いものの、インタラクションの要素についての具体的な発見や気付きは初習者に比べて少ない。既習者は、コミュニケーションが成立した場合には、言語知識や運用技能が十分なレベルに到達していることが確認され、成立しなかった場合にはその理由を検討しフィードバックするという認知のプロセスが初習者よりも強化されている。初習者にとっての遠隔交流の意義が、交流相手とのインタラクションそのものをダイナミックに体験することにあったとすれば、既習者にとっての意義は、自身の知識や技能の習得の程度を試す機会としてインタラクションを利用する点にあったといえるだろう。

最後に、学習者集団における立場と役割について、初習者はノービス（経験の浅い学習者、新参者）として、教師からも中国側からも既習者からも常に「与えられる」ことを前提とした立場にある。これに対して既習者は、言語知識や運用技能の面で初習者よりも優勢であるという前提から、常に学習者集団におけるメンター（知識、スキル、経験等が豊富で、信頼・尊敬でき安心して相談できる助言者、支援者）としての立場にある。初習者は、教師よりも心理的距離の近いクラスメートである既習者にしばしば支援を求めている。既習者から支援を得る場合には、知識や技能の指導というよりは仲間内での情報や方略の共有といった心情で課題を解決し、そのことに喜びを感じていたように思われる。一方、既習者は、語彙・文法学習、e ラーニング、遠隔交流の 3 つの学習形態のいずれにおいても、「頼りになる友達」という立場にあり、初習者や、時に教師からも頼られることに喜びを感じ、これはある意味で優越感にも共通する自己効力感（self-efficacy）につながったと考えられる。このような自己効力感の高まりが既習者の学習意欲や交流のモチベーション向上に寄与した面もあるだろう。既習者と初習者の学習者集団における立場と役割は異なるが、相互に質の異なる満足を得て、学習意欲や交流のモチベーションを高めたといえる。

以上のように、既習者と初習者は、「対面交流における不安や緊張」、「交流相手の印象」、「学習効果の認識」、「反省、課題認識や目標意識」、「遠隔交流の意義」、「学習者集団における立場と役割」の 6 つの点で認識が異なっていたが、これらは遠隔交流に含まれるどのような経験に基づくものなのだろうか。次節ではインタラクションのプロセスに基づく価値を探究する。

7.2 インタラクションが創出する価値

前節から、学習者が認識した経験、成果及びその価値は、主に BL モデルの 3 つの学習形態のうち核となる遠隔交流を依拠としていることがわかる。それでは、遠隔交流に含まれる経験と成果によってどのような価値が創出されたのだろうか。本研究の BL モデルでは、語彙・文法学習と e ラーニングによって交流用素材となる中国語原稿を作成し、発表や質疑応答の練習をした上で、遠隔交流に臨むという循環型のモデルを設計した。学習者は、自身の興味や関心にに基づき設定された交流トピックに関して周到な準備を行った上で遠隔交流に臨んだ。遠隔交流の現場では、準備した内容に基づき交流相手に意味を伝えようと発話し、自身の発話に対する交流相手の反応や応答を得て、相手に理解されたかどうかを確認し、即座に次の発話を考え発話するというインタラクションを繰り返し経験した。この遠隔交流のインタラクションを分析した第 5 章の結果から、次の 5 つの価値が創出されたことがわかる。

7.2.1 言語コミュニケーションの視点から

遠隔交流の過程で交流相手とのインタラクションを反復的に経験することで、コミュニケーションの成功体験と失敗体験が蓄積される。初習者の学習者は、2～3 回目のセッションまでは原稿なしに名前、学年、年齢以外の項目を発話することが困難であり、中国側の自己紹介も教師の支援なしには聞き取れなかった。しかし、回を重ねるごとに、自身の記憶を頼りに複数の詳しい自己紹介項目を発話し、中国側に理解される機会が増えていった。こうして学習者は、どのように発話すると相手に伝わるか、あるいは伝わらないのかを経験的に理解していった。このことから、準備段階で学習した知識や訓練した技能が遠隔交流のプロセスで実際に使用されることで、単なる反復練習とは異なり、自分と直接関連した「生きたことば」として習得され、学習が強化されるといえる。これは、学習者が遠隔交流を経験したことによる中国語コミュニケーション能力の向上として価値づけられる。

7.2.2 非言語コミュニケーションの視点から

学習者は、周到な準備をしていたにもかかわらず、発話に幾度も失敗し、即時のコミュニケーションが成立しない場面も多くあった。これは、初対面の中国語 NS との対話に不安や緊張を感じていたことが原因と思われる。しかし、ビデオチャットによる視覚情報が得られたことで、言語コミュニケーションのみならず非言語コミュニケーションも成立した。

学習者は、自身の発話に対する即時の反応の中で、中国側の表情や身振り手振り等から友好的な態度を感じ取り、徐々に不安や緊張を緩和させていったと考えられる。これは、テキストや音声のみからは得られない、ビデオチャットという映像を伴った同期的な遠隔交流だからこそ得られた価値であろう。

また、学習者が学校行事の紹介で用いた学校祭や体育大会の写真及び動画、中国側が学校行事や夏休み紹介で用いた写真は、相互に驚きや感動を与える媒体となった。写真や動画を用いた紹介活動は、教科書には掲載されていないローカルな情報や学生視点の世界を相互に伝える機会である。このような交流素材は、言語による解説のみからは理解しきれない具体的で臨場感のあるイメージを伝える効果をもたらし、相互理解や異文化間理解を促進するといえる。

7.2.3 失敗から成功への転換

遠隔交流のインタラクションにおいては、コミュニケーションの失敗時にどのようにフォローできるかが重要な能力である。この点について、教師による支援（中国語復唱、既習語句への言い換え、日本語訳、語順や構文のヒント提示、新出単語の発音指導等）のみならず、中国側の交流相手と日本側のクラスメートによる支援が提供されることで、コミュニケーションの失敗がフォローされ成功へと展開する場面が多く見られた。

中国側による理解支援は日本語と中国語の両方で提供され、中国語の復唱、発話速度の調整、より簡易な語句への言い換え及び日本語訳があった。また、学習者が中国語で発話した場合に、中国側から理解、同意、励まし、称賛を示す応答（言語及び非言語コミュニケーションの要素を含む）が随時示された。このように、交流相手が日本語専攻であり、高い日本語運用技能を習得している場合には、中国語でのコミュニケーションが成立しない場面でも日本語を用いた円滑なコミュニケーションが促進される。また、学習者は中国語での発話に対して交流相手から理解、同意、励まし、称賛等の反応を得られることによって、学習した知識や訓練した技能を実際のインタラクションで活用できるという自信を深めると考えられる。

失敗時のフォローはクラスメート間でも行われた。発話の当事者が聞き取れない、あるいは即座に思い出して発話できない語句について、他の学習者が解決の手がかりやヒントを出したり、同意したり、推測し合ったりすることで、その場にいる全員が協力し合いながら理解やコミュニケーションの成立を支援する。このような協調学習は、学習者単独の

交流形態では成立し得ないものであり、BLモデルに含まれる学習活動の一環として遠隔交流を設定し、グループで交流したことによって創出された価値といえよう。

7.2.4 インタラクティブな学習を生み出す共同体験

学習者は、自分が発話や質疑応答の当事者ではない場合や、発話回数が少ない場合にも、他のクラスメートと中国側とのインタラクションをその場で共有していた。この時、笑う、うなずく、疑問を感じた表情をする等の反応を全員で示すことにより、発話の当事者と同等の立場で直接インタラクションに参加しているという共同体験が得られる。他者の発話を共に聞き、交流相手の反応を目撃し、インタラクションを共同体験することで、個人の能力差にかかわらず、全員が交流の構成員となる。各自が現時点で持ち得る資源を駆使しながら、共同体験に基づくインタラクティブな学習を実現するのである。

また、共同体験のひとつとして、学習者が中国側からの理解、同意、励まし、称賛等の反応を受けてコミュニケーションの成功を実感した瞬間に、その場にいる全員が共に喜びを享受し、達成感が増幅される場面が多く見られた。このことから、協調学習の成立と同様に、グループ交流という形態によって共同体験が蓄積され、交流のプロセスをチーム一丸となって楽しもうとする仲間意識が形成されることがわかる。

7.2.5 失敗に対する抵抗感の軽減

学習者が準備した交流トピック以外の話題に会話が展開した場合に、未習語句が理解できない、長い中国語が聞き取れないといったコミュニケーションの困難に陥る場面も頻繁に発生した。しかし、このような展開によって、教師と学習者が想定しなかった中国側の発想や興味関心のありかを知り、日本と中国の共通点や相違点を発見する貴重な機会が得られるともいえる。また、発話や応答の失敗そのものが笑いや盛り上がりを形成するきっかけとなる場面もあった。これは、外国語学習者としての共通の立場から日中双方に共感が生まれるものと考えられ、コミュニケーションの失敗が学習者のネガティブな感情に直結するとは限らないことがわかる。

学習者は、中国語 NS を相手とするインタラクションを繰り返すうちに、教師、交流相手、クラスメートから支援が随時得られることによって、コミュニケーションの失敗を成功へと転換できることを経験的に理解する。この経験に基づき、BLモデルの学習環境に対する安心感が生まれたといえるだろう。そして、不安や緊張が軽減し、「自分は中国語で中国人

とコミュニケーションできる」という自信が強化され、流暢な発話に成功する機会が増え、円滑なコミュニケーションが成立するという好循環が生まれる。こうして、失敗に対する恐怖感や抵抗感が軽減し、むしろ「自身の知識や技能を活用しながら、失敗から学ぶものがある」という認識につながるといえる。

以上、学習者視点の評価及び遠隔交流におけるインタラクションのプロセスからは、各種のポジティブな価値が創出されたことがわかる。しかし一方で、学習者は学習のプロセスにおいて様々な困難を経験するというネガティブな側面もある。次節では、学習者にとっての困難とそれに対する学習支援及び教師の役割を中心に、教育的観点から BL モデルの評価を行う。

7.3 教育的価値

第 5 章で示した遠隔交流のプロセス及び 6.4 で示した学年末アンケートの分析結果から、学習者が遠隔交流の準備段階の学習活動と遠隔交流の過程でそれぞれ別の困難を感じていることがわかった。これに基づき、ID 及び BL モデルに含まれる学習のプロセスにおいて、学習者が学習活動と遠隔交流の 2 つの場面で感じる困難とは何かを整理し、その対策として教師が提供すべき学習支援とはどのようなものを検討する。

7.3.1 学習者にとっての困難

第一に、遠隔交流の準備段階の学習活動で学習者が感じる困難について述べよう。学習者は、交流トピックに関する内容の企画、中国側の質問に対する回答、中国語翻訳の難しさを強く感じていた。ここでいう内容の企画とは、遠隔交流で何をどのように紹介するか、日本語で情報を収集してわかりやすくまとめて書く作業である。中国側の質問に対する回答とは、中国側が中国語あるいは日本語で発話した質問に対して内容を理解した上で中国語の回答を考えて書く作業である。中国語翻訳とは、学習者が自身で企画した内容や質問に対する回答をわかりやすい中国語で書く作業である。

自分の表現したい内容を中国語で作文したり、翻訳したりすることの難しさは、主として語彙や文法といった言語の知識不足と「書く」技能上の経験不足が原因である。特に、学習者は辞書やテキストにない語句を中国語に翻訳することができず、これは人名や作品名といった固有名詞を翻訳する手続きに不慣れなためであろう。また、学習者にとっては、たとえ日本語であっても、質問を考えたり、中国側からの質問に対する答えを考えたりす

ることは難しいといえる。これは認知プロセスの問題であり、思考上の課題といえる。

語彙や文法の知識と中国語運用技能の不足に対する対策として、通常は反復学習による知識と技能の定着を図ることが考えられる。従来の中国語教育・学習はこのような知識蓄積型、技能訓練型の学習効果を高めることを重視してきた。しかし、短期間に知識や技能を強化しようとするれば、「学習のための学習」に陥りがちで、「丸暗記」や単調な反復練習によって学習者を飽きさせ、モチベーションの低下を引き起こす恐れがある。1年に満たない学習期間で、インタラクションで発生するあらゆる語句を事前に定着させ、円滑にコミュニケーション可能な運用技能レベルまで到達させることは無理難題と言わざるを得ない。

したがって、語彙や文法の知識と運用技能の不足に対する支援としては、学習者が現実のインタラクションを経験して「使いながら学ぶ」授業設計に基づき、遠隔交流で頻繁に活用される一定の語彙や文法の知識を整理し、それらを用いた運用技能の向上を図りつつ、常に教師からの支援を提供することを心がけ、学習者の知識や技能の不足を効率的に補完する方略を検討することが望ましい。また、固有名詞や特殊な語句の翻訳については、ICTを活用してインターネットで検索する手続きを指導し、学習者が手続きに習熟するよう支援することが有効である。

第二に、遠隔交流のプロセスにおいて学習者が感じていた困難について述べる。これも学習活動における困難と同様に、言語コミュニケーションにおける語彙の知識と中国語運用技能の不足が原因である。正確な発音で適切な語句を発話できない、自分の発話した中国語が相手に通じない、交流相手の話すネイティブな中国語の速度では聞き取れない等、中国語を用いて即時のコミュニケーションを成立させる上での「話す」、「聞く」技能上の困難が見て取れる。円滑な中国語コミュニケーションとは、知識と技能に基づき、交流相手の中国語を聞き取って理解した後、自分の言いたいことを概念としてまとめ、それをわかりやすい中国語で再構成し、発話するという一連の高度な認知プロセスを即時に行い、反復することで成り立つ。したがって、遠隔交流のインタラクションにおける困難を解決するためには、教師が適切なタイミングで、適切な理解支援を即時提供することを繰り返し継続しなければならない。

以上のことから、学習者にとっての困難が発生するタイミングは遠隔交流の準備段階と遠隔交流の本番の2つに分かれており、教師が提供すべき学習支援のタイミングが重要であることがわかる。遠隔交流が核となるBLモデルでは、学習支援は遠隔交流の前、遠隔交流の最中、遠隔交流の後という3つのタイミングで提供されることが望ましいだろう。

7.3.2 学習支援のタイミングと方略

学習活動や遠隔交流の過程で教師が学習支援を提供するタイミングを考えた場合に、(1) コミュニケーションを成立させるための準備を行う「遠隔交流前の支援」、(2) インタラクションの過程で随時発生する「遠隔交流中の支援」、(3) コミュニケーションの失敗をフォローしフィードバックする「遠隔交流後の支援」の3つが考えられる。それぞれについて、以下に具体例を挙げながら方略を詳細に検討する。

7.3.2.1 遠隔交流前の支援

遠隔交流前の支援には2種類ある。1つは交流前の授業で学習者の困難が予想される語句や内容について集中的に指導する等、BLモデルの3つの学習形態のうち交流準備作業を行う語彙・文法学習とeラーニングの授業における支援である。もう1つは遠隔交流の直前に語句の発音や発表内容を確認してリハーサルを行う等の最終準備における支援である。いずれも、教師の経験に基づきコミュニケーション成功方略を想定し、学習者がそれにならって独力あるいは学習者どうしの相互支援によってコミュニケーションを成立させられるよう備えることがねらいである。

交流準備作業における支援について具体例を挙げて述べよう。本研究では、中国語の作文や翻訳の作業時間には教師が常に教室を巡回し、学習者の進捗と困難点を一人ひとり確認しながら、語彙や文法の知識を指導した。教科書や辞書に掲載されている情報であれば、学習者自身で答えを探せるよう手引きをし、未習語句であれば実用的な語彙や文法を直接指導した。学年末アンケートの分析結果からわかるように、この方略は学習者の高い評価を得たことから、学習者に応じた個別指導の時間を確保し、密にコミュニケーションを取ることの重要性がうかがえる。同時に、一人の学習者に長時間対応することで他の学習者に対する指導が希薄になり不公平感を感じさせることのないよう、学習活動の形式や内容に応じて、機会が公平に確保され、かつ学習者個人の課題を効率的に克服できるような支援を臨機応変に提供する工夫が必要である。

また、実用的な翻訳の手続きを指導することも有効である。本研究では、固有名詞の翻訳が必要な場合に、日本語や英語の表記を調べてから中国語の検索エンジン「百度(www.baidu.com)」で検索して中国語の語句や表現を探すという方略を採用した。この時、教師は支援を必要とする学習者に寄り添い、個別指導の形で共に考え、調べ、作業した。上記と同様に、教師が学習者ニーズを理解しようとする積極的な態度(声かけによる進捗

や困難点の確認等)を示し、個別指導を継続することで、学習者が不慣れな手続きに習熟するまで手引きすることが重要である。手続きには得意不得意があり、得意な学習者が独力で手続きを遂行できるようになれば、不得意な学習者に対して支援を提供する足場かけの機会も生まれ、学習者間の相互支援によって課題が解決されることも期待できる。

遠隔交流の直前に行う最終チェックとしての支援では、学習者が各自で準備した原稿や発表内容にしたがい簡単なリハーサルを行う。発音チェックによりスムーズな発話に備えるだけでなく、学習者が準備した交流素材の保管場所と内容も確認する必要がある。学習者は授業中にノートやプリントに単語をメモし、文を書き、写真を印刷するかメディアに保存して持参する等の準備をして遠隔交流に臨む。しかし、遠隔交流が始まると、単語や文がわからなくなった時にそれらの分散した情報のうちどれを活用すべきか混乱し、焦りを感じて発話に失敗したり、探しているうちに対話が途切れて時間が過ぎてしまったりする。教師が学習者の準備した内容や素材のありかを把握しておき、どれを中心に今回の遠隔交流で活用するかを確認して、円滑なコミュニケーションのための発音指導を行うと共に、遠隔交流中にも随時思い出させる等の支援を提供する必要がある。

7.3.2.2 遠隔交流中の支援

遠隔交流中の支援は、インタラクションの過程で教師から学習者に対して随時提供する各種の支援である。学習者が現時点で有する資源を十分に活用した上で、その不足を教師が補うことによって、学習者が独力あるいは学習者どうしの相互支援によってコミュニケーションを成立させるよう導くことがねらいである。

遠隔交流進行中の支援の具体例には次のようなものがある。第 5 章の遠隔交流のプロセスの分析から、教師が学習者に直接提供する支援には、交流相手の発話した中国語を復唱する(語で区切りながら明確かつゆっくり発音する速度調整を含む)、複雑で長い文を要点のみの短い文に再構成して発話する、未習語句から既習語句へ言い換える、中国語を日本語に訳す(短文の直訳、長文の要約、背景の解説を含む)、学習者が思い出せない語や発音が不正確な語がある場合に適切な語を正確な発音で補う、学習者が独力で解決できそうな小さな誤りがある場合に正しい語順や適切な構文のヒントを提示する、新出単語の簡体字とピンインを紙に書いて学習者に示す、新出単語の発音を指導する等の方略が有効であることがわかる。なお、これらの支援方略は、しばしば組み合わせて提供される。

これらの支援は、発話の当事者のみならず、その場にいる全員に向けて提供される支援

である。例えば、教師がヒントを提示したり、他にも該当者がいたのではないかと指摘し発話を促したりした場合に、発話の当事者以外の学習者が応答することで、足場かけや協調学習が成立する。

この他に、教師が中国側に働きかけて中国側の支援を促す間接的な支援がある。具体的には、学習者が交流相手の発話を聞き取れない場合に、再度ゆっくり発話するよう教師が中国語で依頼する、テキストチャットに文字入力するよう依頼する、中国側の発話内容に対するこちらの理解や解釈を中国語で確認する等である。

中国側の発話を教師が日本語訳したり解説したりすることは、一見、学習者の学習の機会を減らしてしまうかのように感じられるかもしれない。本研究においても、学習者の集中力が高い回には学習者が主体的かつ積極的に交流相手に対する支援の要求や問いの発話を行ったが、補習等の学校活動や時間割の科目による疲労が強く集中力の低い回には教師がほぼ同時通訳のような役割を果たして過剰に支援を提供してしまうこともあった。実際のインタラクションにおいては、話の盛り上がりやテンポを共有することを優先した方がよい場合もあり、会話の展開を見ながら臨機応変に対応しなければならない。同時に、学習者の身体的、精神的状態を教師が確認、察知することで、提供すべき支援の最適なタイミングと量を調整しなければならず、これは教師が学習支援の経験を蓄積することによって調整のテクニックを習得していく必要があるだろう。

7.3.2.3 遠隔交流後の支援

遠隔交流後の支援は、交流後の授業で教師から学習者に提供される、より適切なコミュニケーション方略のフィードバックである。コミュニケーションの失敗の状況とその場合の適切な応答とはどのようなものかを確認し、コミュニケーションの成功方略を指導する。これは、今後の遠隔交流の機会に同様のコミュニケーションの失敗に陥った場合に、学習者が過去の自身の経験にならって独力あるいは学習者どうしの相互支援によってコミュニケーションを成立させるよう導くことがねらいである。

遠隔交流後の授業におけるフィードバックの具体例には次のようなものがある。例えば、交流の準備で学習したワークシートを活用し、遠隔交流で実際に活用した語句を追加してまとめる、質問に対する中国側の回答を学習者に思い出させ確認した上で教師が適切な語句と表現を用いて模範解答文を作成し全員で共有する等である。ただし、実際には過去の遠隔交流の振り返りとフィードバックよりも次の遠隔交流の準備作業が優先され、十分な

事後の支援が提供できないこともある。遠隔交流のスケジュールにしたがい、学習者にとっての優先度を教師と学習者とで相談しながら調整しなければならない。

以上、学習者視点の価値、インタラクションが創出する価値、教育的価値という3つの視点から、遠隔交流を活用したBLの評価を行ってきた。次節では、これらの価値に基づき、本研究のID及びBLモデルの有効性について考察する。

7.4 インストラクショナル・デザインとしての有効性

本研究では、日本の高校における第二外国語としての中国語の前提（学習期間の短さ、人材の不足、履修者数の変動の大きさと不確定要素、シラバスや授業設計の自由度の高さ、授業変更の多さ、自宅学習の短さ等）を踏まえて、実行可能性の高い独自のID及び遠隔交流を活用したBLモデルを設計した。すなわち、線形のプロセスで総括的評価を重視するのではなく、短期のイテレーションを繰り返す中で、学習者による形成的評価に基づき授業を改善し続けるという、教師と学習者が共同で授業を成熟させていく相互依存的なプロセスを表現した螺旋型IDを設計した。また、このようなIDの理念に基づき、遠隔交流に向けた準備を語彙・文法学習とeラーニングで整え、遠隔交流の本番で中国語NSとのインタラクションを通じて学習した知識や技能を実際に運用するという、3つの学習形態が有機的に連携するような螺旋型のBLモデルを設計した。このIDとBLモデルは学習者視点でどう評価されたのか。学習者の中国語学習にとって有効な設計であったといえるのだろうか。第5章と第6章の分析結果及び本章の考察をふまえて、遠隔交流を活用したBLモデルをインストラクショナル・デザイナーの視点から評価し、その有効性を考察する。インストラクショナル・デザイナーとは、IDプロセスを1つのプロジェクトとして捉えて管理する専門家であり、教育における行為を、学問的な裏付けを備えた工学の対象としての行為として捉え直し、質の高い効果的な学習活動を実施できるように、学習実施環境や教育コースを設計し、教材開発等の教育製品の開発を担当する。本研究のID及びブレンド型学習モデルをインストラクショナル・デザイナーの立場から評価した場合、次のことがいえる。

学習者は、本研究の授業計画や遠隔交流準備の方針（学習者ニーズに基づく遠隔交流トピックと学習目標の設定、教材開発、学習内容の企画等）について、学習しやすいと高く評価した。学習者ニーズとして中国側の意見や要望も積極的に取り入れて交流トピックを選定したことも、学習者の満足度を高めた理由のひとつであった。このことは、教師が学習者に関心を向け、学習者の主体性を尊重し、学習者ニーズ（日中双方）を授業に反映さ

せようとする ID の理念が学習者にとって好意的に受け入れられたことを表すものである。また、教師と学習者が共同で遠隔交流トピックを選定し、それに関連した学習項目や内容を企画し、それに基づき教材（ワークシート）を使用しながらグループ（ペア）学習で調査や翻訳を進めるという学習のプロセスが、学習者にとって受け入れやすく、学習しやすい環境設計であったといえる。学年末試験等の総括的評価に基づく成績判定のみを重視するのではなく、漸次的な形成的評価とそれに基づく授業改善を繰り返した上で、最終的な総括的評価に結びつけるという ID の有効性が確認されたといえよう。

また、BL モデルにおいて、語彙・文法学習と e ラーニングで行った学習活動は遠隔交流のための準備として有効であったという高い評価が得られた。このことから、授業が BL モデル設計のねらい通りに運営され、所期の目的を果たしたことがわかる。BL について、学習者は 3 つの学習形態のうち特に遠隔交流を重視しており、中国語学習にとって役立つと評価した。これは、学習者が学習の過程で中国語 NS と対面交流する機会を増やすことの重要性和有効性を認識していることを示すものである。同時に、学習者は交流を成功させるための資源として言語の知識や運用技能を高めることが重要であり、そのための語彙・文法学習の必要性を認識していた。また、パソコンを使って習った中国語を入力し、交流の素材となる文書を作成するスキルを習得したという成果も認識していた。このことから、遠隔交流に向けた準備段階として語彙・文法学習と e ラーニングを設定した BL モデルが学習環境のデザインとして有効であることがわかる。

さらに、学習者は、教師の学習者に対する個別の学習支援のほか、授業以外の内容も含む学習者の特性に対する関心や配慮、学習者どうしの良好な人間関係を構築・維持できるようにするための支援等を高く評価した。これは、学習者ニーズを積極的に取り入れて授業を計画し、形成的評価によって授業を改善するという ID の理念があったからこそ構築された学習環境である。また、BL モデルに含まれる 3 つの授業形態のいずれも教師中心の講義ではなく、学習者が自身の興味関心に基づく課題を担当して遠隔交流に向けた準備を整えるという学習者中心のグループ（ペア）学習が中心であった。このことから、本研究の ID 及び BL モデルによって、教師が学習者に対して提供する各種支援の効果が強く感じられる学習環境が実現したといえる。このような環境では、教師と学習者のラポールが鍵となる。自由度の高い授業形態においては、教師から学習者に対する働きかけという一方通行ではなく、学習者の側にも自律的かつ真剣に学習活動に取り組み、教師と積極的に関わろうとする態度がなければ授業が成立しない。本研究の ID 及び BL モデルは、学習者が教

師の授業設計や教育目標の意図を汲み取り協力的に行動し、学習の過程で困難に直面した際には自主的に支援を求め、教師を信頼して支援を受け入れると共に、教師の期待を感じ取りそれに応えようとして学習活動に取り組むという好循環が生まれやすい環境であったといえるだろう。

本研究の BL モデルの効果として、言語コミュニケーションにおける認知プロセスを訓練する機会が得られたことも特筆すべき点である。7.2.1 で述べた通り、学習者が自分の表現したい内容を中国語で作文、翻訳することの難しさの理由は、中国語の知識や技能の不足だけにあるわけではなかった。たとえ学習者の母語である日本語であっても、相手の話を理解し、解釈し、情報をまとめ、質問を考え、答えに該当する内容をわかりやすく伝えるという一連の認知プロセスは困難であったことがわかる。このように、学習者が BL モデル、特に遠隔交流を通じて、一連の認知プロセスを含む学習活動を反復的に経験し、一定の訓練の機会を得て、言語コミュニケーションに必要な能力を多少なりとも身に付けられたことは、BL モデルによる効果といえるだろう。

また、学習成果を生み出しやすい環境としても、BL モデルが有効であったことがわかる。学習者にとって、紹介する内容や質問そのものを考えることが難しく、交流相手からの答えにあたる内容を考えることも難しい。しかし、本研究の BL モデルは、授業や遠隔交流の場で教師が学習者に文字通り寄り添い、すぐ隣で調査学習や思考整理のための支援を提供できる環境であった。また、教師が積極的に学習者間の相互支援を促すことで、自由な情報交換や意見交換を推奨する雰囲気が醸成された。学習者が困難を感じた場合に周囲に対する支援が求めやすく、即時の支援が得られる学習環境が構築されたことで、学習者は遠隔交流の準備作業をスムーズに進めることができ、その準備作業を通じて学習した知識や技能を遠隔交流におけるパフォーマンスの中で発揮することができ、学習したことを実践で活用できるという成果につながったのである。

以上のことから、本研究の螺旋型 ID 及び遠隔交流を活用した BL モデルは、学習者のインタラクティブな学習を実現する環境であり、インストラクショナル・デザイナーの視点からも、中国語学習にとって有効な学習環境のデザインであったと評価できる。

しかしながら、本研究の ID 及び BL モデルが必ずしも有効に機能しなかった部分もある。学習者にとって自由な雰囲気で臨機応変に展開される学習環境の有効性が認められた一方で、義務感や拘束力が弱いがゆえに課外学習や自宅学習の成果が上がりにくいという課題が残された。交流準備における情報や素材の収集、作文、翻訳等は可能な限り授業時間内

に完了するよう教師が配慮したが、時には必要な作業が完了しないこともあった。この場合、各自が宿題として持ち帰り、学習者どうし協力して課外や自宅で作業し、次の授業までに完成させる対策を採った。しかし、課外や自宅では主要科目の学習が優先で中国語は二の次になってしまう学習者と、同じ状況にあっても遠隔交流のために意識的に努力する学習者との二極化してしまった。この点については、今後の検討課題としたい。

7.5 本研究の成果と学術的意義

本研究では、先行研究では扱われてこなかった視座に基づく課題意識によって、これまで探究が不十分であった部分や残されていた課題についての新たな知見が得られた。本研究の成果は次の通りまとめられる。

第一に、高校中国語をフィールドとした、遠隔交流を活用したブレンド型学習のための ID 及び BL モデルを開発した。中国語教育・学習における遠隔交流の活用と BL の実践を扱った代表的な先行研究には、砂岡らが 2001 年から 14 年にわたり実施してきた CCDL があり、量的研究の方法論（統計分析）を用いることで、音声面からのコミュニケーション方略やコミュニケーション活性化に有効なテキストチャットの形態と投稿の量及び質の相関が解明されていた。また、ICT 活用の各種取り組みを通じて、高等教育機関における BL の環境整備と応用、ICT ツールの有効な活用方法も検証されてきた。しかし、遠隔交流を組み込んだ BL モデルをどのように設計するのかという準備から実践までの作業フローは明らかにされていなかった。また、遠隔交流を通じて学習者がどのようなテーマに興味関心を持つのか、どのような交流トピックを採用することが学習者の中国語学習にとって有効かを検討する研究は行われてこなかった。特に、高等教育とは環境や前提が大きく異なる高校中国語をフィールドとした場合の研究プロセスや研究デザインについて、具体的な授業設計、実践方略、評価手法等は未知の領域であったといえる。

第二に、遠隔交流を活用した BL の学習プロセス、特に遠隔交流におけるインタラクションの詳細を明らかにした。高等教育機関における中国語教育・学習を扱った先行研究において、遠隔交流のプロセスはどのようなものであるか、すなわち、どのようなインタラクションが発生し、学習者は学習した知識や技能をどのように活用するかを詳細に分析することで、遠隔交流の経験が学習者にどのように認識され、どのような学習成果が得られるかという質的な側面はほとんど探究されてこなかった。したがって、これらの課題を明らかにするための質的研究の具体的な方法論も検討されてこなかった。高校中国語の先行研

究としては、城間（2013）による日本と台湾の高校生の協働学習の実践があり、教育目標、授業設計、実践内容についての詳細な報告に基づく質的な授業評価が試みられた。これは、高校中国語に特化した BL の授業設計や学習活動の事例研究として位置付けられる。しかし、授業設計や学習活動の内容は具体的である一方で、遠隔協調学習に参加した学習者が何のように学習し経験するかというプロセスの詳細や、経験に基づく成果の記述方法については不明であった。

第三に、学習者視点の評価に注目し、混合研究法と学習意欲のデザインの理論的枠組みを用いて、量と質の双方から多面的な授業評価を探究した。中国語の BL に関連する代表的な先行研究の中で、砂岡らは量的アプローチから、城間は質的アプローチから教育効果や学習成果を分析している。しかし、混合研究法のデザインのひとつであるトライアングレーションにより、量と質の双方に同等の重きを置き、信頼性の高い理論的枠組みと方法論を用いて、学習の経験、成果及びその価値を探究するという視座は、これまでの先行研究にはなかったものである。そのため、質的データの分析と解釈において、信頼性や再現性を担保した具体的な方法論は明らかにされていなかった。質的研究の研究デザイン、理論的枠組み、能力測定指標の検証、評価の手法と具体的な手続き、依拠するデータの量と質、成果の示し方、解釈の恣意性、結論の妥当性等について検討する余地が残されていた。

本研究では、これまで先行研究で残されてきた課題に対して、社会的ニーズと学習者ニーズをふまえた研究課題の設定、課題を解決するための理論的枠組みと方法論の採用、学習者ニーズに即した新規性の高い ID と遠隔交流を活用した BL モデルの設計及び実践、学習プロセスの詳細な記述と分析、学習者視点の評価に対する混合研究法によるアプローチ、再現性と恣意性の問題に配慮した分析プロセス、分析手法と結果に対する信頼性の担保を実現したことで、独創性、新規性、信頼性の高い成果を生み出したといえる。特に、遠隔交流を活用した中国語 BL において学習者視点の質的評価を重視した研究として、本研究は中国語のみならず、他の外国語教育・学習、教育工学、応用言語学、異文化間コミュニケーション等の隣接領域にとっても有意義な知見が得られたといえるだろう。

第8章 結論と今後の課題

本章では、本研究を通じて明らかとなった結論を総括し、本研究で解決できなかった残された課題をまとめ、それらの課題の解決に向けた今後の方向性について簡潔に述べる。

本研究は、高校中国語のための遠隔交流を核としたブレンド型学習の ID と BL モデルを設計し、学習者の情意、特に学習意欲に対する影響を明らかにすること、また、学習のプロセスを明らかにした上で、学習の経験、成果及びその価値を探究することを目的とした。そのための研究方法として、遠隔交流を中心的な学習活動とした ID 及び BL モデルを開発し、授業実践を行い、学習者視点の評価を混合研究法のアプローチで分析、解釈した。本研究の結果、次の3つの観点からの価値が明らかとなった。

第一に、学習者から見た BL の評価から、学習経験と成果の認識に基づく価値が明らかとなった。量的アプローチからは、学習者の満足度と学習意欲の向上が明らかとなった。質的アプローチからは、発見や気づき、成功体験の獲得に基づく喜びと満足感、教師とのラポールと支援環境による緊張と不安の軽減と緩和、失敗経験に基づく反省、課題の認識、目標の設定における効果が学習者に認識されたことで、学習意欲やモチベーションを向上させることがわかった。特に、学習者が教師、中国語 NS、学習者間とのインタラクションを通じて対話を重ねる過程で、学習体験や交流のプロセスそのものを楽しむというコンサマトリー（自己充足的）な価値が創出されたといえる。質的分析の結果、日中関係を考える上での判断基準の形成といった、メディア・リテラシー育成にも通じる学習成果が得られることもわかった。すなわち、学習者が遠隔交流という「生の中国人」に接するミクロな視点に基づく経験を蓄積することで、日中関係というマクロな視点での問題を考える上で、情報社会において権威づけされた外部からの情報を鵜呑みにせず、自分自身の実体験に基づき思考し、情報を選択し、判断するというメディア・リテラシー能力を身につける機会となることがわかった。また、学習歴の有無によって学習成果と価値の認識が異なり、それぞれが異なる立場で異なる質の学習成果を認識し、価値づけていることがわかった。具体的には、対面交流に対する不安や緊張、交流相手の印象、学習効果の認識、反省や課題の認識と目標意識、遠隔交流の意義、学習者集団における立場と役割において、学習成果の認識や価値付けの視点でどのように異なるかが明らかとなった。

第二に、遠隔交流におけるインタラクションの経験に基づく価値については、学習者に共通の概念として、生きたことばの習得と学習の強化、視覚情報によるコミュニケーション成立、フォローや励ましによる自信の強化と協調学習の成立、共同体験によるインタラ

クティブな学習の成立と仲間意識の形成、失敗に対する抵抗感の軽減といった質的な価値が創出されることがわかった。

第三に、教育的観点からの BL の評価から、学習の過程で必要な学習者支援の内容と教師の役割が明らかとなった。すなわち、遠隔交流の準備段階での学習活動と遠隔交流の本番において学習者が感じる困難の内容、困難を解決するための学習支援を提供すべき 3 つのタイミング、それぞれのタイミングにおける学習支援方略と教師が果たす役割について、実践と分析の結果に基づく具体的な知見が得られた。

以上の 3 つの観点からの評価に基づき、本研究の ID 及び BL モデルは次の点で有効であるといえる。すなわち、学習者ニーズを重視した学習計画、実践及び評価の方針、学習した言語の知識と技能を遠隔交流で実際に活用する経験を蓄積できる BL モデルという螺旋型 ID、学習者にとって必要な支援が得られやすい学習環境が、中国語学習にとって有効であることがわかった。特に、学習者にとって価値の高い対面交流を核として、そのための準備を語彙・文法学習と e ラーニングで行うという BL モデルが、有効な学習環境のデザインであることが明らかとなった。同時に、このような ID や BL モデルにおいては、学習活動における学習者の自律性と教師のコントロールのバランス、遠隔交流における円滑な進行と教師の介入頻度のバランスにより、学習経験と成果の質に強く影響するという課題も明らかになった。

したがって、本研究の成果と学術的意義は次のようにまとめられる。本研究では、先行研究で探究されなかった未知の領域や残されてきた課題であった、高校中国語の遠隔交流を活用した BL の実践と学習者視点の質的評価について、新規性の高い研究方法と独創性のある分析アプローチによって、信頼性の高い成果を生み出した。すなわち、研究課題の設定、課題解決のための方略（混合研究法と学習意欲のデザインの理論的枠組みと方法論）、学習者ニーズに即した ID と遠隔交流を活用した BL モデルの設計及び実践、学習プロセスと成果の詳細な記述、再現性と恣意性の問題に配慮した質的分析プロセスによって、高校中国語の遠隔交流を活用した BL から創出される価値と、その ID 及び BL モデルの有効性を検証したことで、学界に寄与する有意義な知見が得られた。

しかし、本研究では明らかにできなかった点や更なる探究が必要な点もある。具体的には、次のような課題が残されている。

第一に、本研究の ID 及び遠隔交流を活用した BL モデルの実践上の課題として、中国語学習のために有効に機能しなかった部分があり、その解決方略をさらに検討する必要がある。

る。本研究では、遠隔交流の準備作業（情報・素材収集、作文、翻訳等）が授業中に完了しない場合に、学習者どうし協力して主体的に課外学習や自宅学習を行う必要があり、この部分で学習者間の差が開いてしまうことが挙げられる。自由な雰囲気や臨機応変に調整しながら展開される学習環境は、裏を返せば義務感や拘束力が弱い学習環境でもあり、課外学習や自宅学習の成果が上がりにくいという課題が残された。

第二に、遠隔交流を活用した BL が学習者の学習意欲に与える影響を検証することを目的とした評価指標の検討について、不十分な点があった。学習意欲のデザインの理論的枠組みとして、本研究では ARCS-V モデルを援用した。アンケート項目のうち、ARCS-V モデルの「Volition」に該当する下位項目は、高校生の学習スタイルや学習状況の実情を考慮して本研究で独自に設計した。そのため、ARCS-V モデルの「Volition」が本来検証しようとする内容と齟齬が生じた。しかし、本研究の実践後に、中嶋（2013）が提唱する国内の学習者向けの「ARCS+AT モデル」が新たに開発、公開され、より正確な指標を用いた評価が可能となった。今後は、本研究から明らかとなった課題を改善するための学習活動の改変を行うと共に、より新しく正確な評価指標をフォローし、教育効果と学習者視点の最適な評価を追究したい。

第三に、学習者の言語の知識と運用技能を評価する指標として用いた「学習のめやす 2012」のコミュニケーション能力指標と、本研究によって明らかとなった学習者の能力の実情との乖離が大きいことについて、指標の構成や内容の見直しを検討する必要がある。

第四に、研究成果の一般化や応用可能性の面では、慎重に検討しなければならない。本研究では、高校中国語をフィールドとして、8 名という少人数編成のクラスで遠隔交流を活用した BL モデルに基づき授業実践を行った。第 6 章の分析結果からも明らかになったように、高校の第二外国語科目を選択する履修者は、当初から学習意欲が高く、中国語学習にポジティブな態度を有しているという前提が想定される。これは、高等教育機関における初修外国語の学習者像や前提とは大きく異なる。学習者の属性や前提が変わった場合に、本研究の ID と BL モデルがどのような学習の経験、成果及び価値を生み出すのか、学習者の情意や学習意欲にどのような影響を与えるか、学習者の中国語学習にとって果たして有効であるかどうかについて、本研究から得られた知見を一般化することは難しい。

今後は、残された課題の解決に向けて、次のような方向性で研究の発展を目指したい。

第一に、学習活動及び遠隔交流の運営上の問題を解決することを目的として、交流トピックや学習活動の内容を改善し、ID 及び BL モデルの改良を検討したい。交流を目的とした

学習活動に適した交流トピック、学習項目、学習活動の内容等を整理し、体系化することで、交流に特化した中国語学習のための教材開発も視野に入れる。また、本研究の授業実践後に大きく進歩したタブレット PC やスマートフォン等の ICT ツールを活用した学習環境を検討し、その場合に実現可能な学習活動の可能性も検討する必要がある。授業時間内に完了しない準備作業を課外学習や自宅学習でいかに解消するかという課題については、授業時間内に完了する学習の量と質を検討する他、自宅学習の強化や充実化に関する別の研究として、解決方略を検討する必要がある。

第二に、研究プロセスのうち、評価指標や分析手法をさらに正確に応用することで、研究の質を高めることを目指したい。本研究から明らかとなった課題を改善するための学習活動の改変を行うと共に、より新しく正確な評価指標をフォローし、教育効果と学習者視点の最適な評価を追究することが必要である。学習意欲のデザインとして ARCS-V モデルを検討するのであれば、国内の学習者向けの「ARCS+AT モデル」の採用も有効であろう。学習者の言語の知識と運用技能を測定する指標として、今回採用した「中国語学習のめやす 2012」と、本研究を通じて明らかとなった実際の活用語句や表現とを比較、整理することで、より現実に即した能力評価のための指標を提案することも考えられる。

第三に、本研究の成果の一般化や応用可能性を検討し、今回の研究課題、ID 及び BL モデル、研究方法、分析方略等が、異なるコンテキストにおいても同等の効果をもたらす有効なものかどうか、フィールドを変えて継続的に実践することで、さらに探究し、検証を繰り返す必要がある。

本研究は、先行研究で残されてきた課題に対して、社会的ニーズをふまえた研究課題の設定、課題を解決するための理論的枠組みと方法論の採用、学習者ニーズに即した新規性の高い ID と BL モデルの設計及び実践、学習プロセスの詳細な記述と分析、学習者視点の評価に対する研究アプローチ（混合研究法）、分析手法と結果に対する信頼性の担保（再現性と恣意性の問題に配慮した分析プロセス）を行うことで、独創性、新規性、信頼性の高い研究成果をもたらしたといえる。学習者ニーズに基づく遠隔交流を活用した BL モデルの設計、遠隔交流の実践、学習プロセスの記録と分析、学習者視点での評価の混合研究法による分析、特に質的側面に重点を置いた研究として、本研究は中国語教育・学習のみならず、教育工学や異文化間コミュニケーション等の隣接領域にとっても有意義な知見が得られたといえるだろう。

一方で、本研究には、教育効果測定のためには学習者の母集団が小さいという研究上の

課題があった。しかし、外国語学習のための ID として遠隔交流を活用した BL モデルを体系化するという、隣接領域への一般化や応用を視野に入れた課題意識、量と質の双方から学習の成果や効果の検証を試みるアプローチ、具体的な研究の方法論や分析の手続きにおいて、中国語のみならず外国語全体に応用できる実践上の示唆が得られた。母集団が小さいとはいえ、遠隔交流を活用した BL の実施にあたり、中国語教育・学習システムとしての環境設定と運用方法、学習活動に必要な素材と内容、BL モデルのシステムの機能、遠隔交流のインタラクションに含まれる学習経験、成果及びその価値、学習者と教師の役割等については、一般化可能な知見も多く得られたと考える。外国語教育・学習において海外との遠隔交流を組み込んだ BL を実施するには、運営者や参加者の個性に最適化させるための改善や調整を随時行いながら交流を継続することが重要である。一般化可能な ID のプロセスや構成要素と、運営者や学習者の個性に依存する一般化困難な部分を一步步地道に解明する必要がある。本研究は、このような教育実践の PDCA を体系化する基盤となる萌芽的研究といえる。今後は、中国との遠隔交流や中国語学習に特有の課題をさらに整理し具体的な改善策を検討してノウハウをまとめることで、遠隔交流を活用した BL に関心のある教育現場へ還元できるよう、取り組みを継続したい。

謝辞

本研究の遂行と博士論文の執筆にあたり、多くの方々のご支援とご指導をいただきました。指導教員の田邊鉄准教授には、社会人学生としての私的な事情にご理解と格別のご配慮を賜り、辛抱強くご指導いただきましたこと、心より感謝申し上げます。急なお願いや無理な要求にも臨機応変にご対応いただき、本当に有難うございました。副指導教員の河合靖教授、長野督教授、外国語教育や学術理論の視座から、時に厳しくご指導くださり、時に温かく励ましてくださいましたこと、心より御礼申し上げます。指導教員の先生方のご指導の下、自分自身の未熟さを痛感しながら、現状の課題に気付くことができ、それをよりよい研究と博士学位論文完成に向けた方略へと転換できたことは、研究活動と論文執筆という実践に根ざした貴重な経験であり、今後の研究活動の基礎となるものと確信しております。また、御多忙中にもかかわらず、本論文提出直前の指導を快諾くださり、学術論文の理念について丁寧にご助言くださった清水賢一郎教授に、心より御礼申し上げます。

本研究の授業実践にあたっては、札幌国際情報高校の教員及び中国語クラスの生徒の皆様のご多大なるご支援とご協力を賜りました。遠隔交流にあたっては、中国吉林省長春市華橋外国語学院及び湖北省三峡大学の教員及び日本語専攻の学生の皆様が、対話型交流の主旨に共感し、快く協力と支援を提供してくださいました。本論文と予備論文執筆の過程では、本学院の質的研究ゼミの先生と院生の皆様から多岐にわたるご指導やご意見を賜りましたこと、深甚なる感謝の意を表します。特に、博士後期課程の同期であり社会人研究者として共同研究に従事し、分析と執筆における複眼的な解釈にご助力くださった北海道文教大学の三ツ木真実先生に、心より御礼申し上げます。

また、学部時代から社会人を経て大学院に再入学し、博士後期課程へ進学する十余年の過程で、常に心に寄り添い、温かく見守り、励ましてくださった、人生の大恩師である西堀ゆり先生、感謝で胸がいっぱいです。先生のような実践者であり教育者でありたいという思いで目標として参りました。女性研究者としてのスタート地点に立てた誇りを持って本論文の完成をご報告申し上げると共に、心より深謝申し上げます。

最後に、博士後期課程進学から本論文完成までの 5 年間にわたり、家庭における妻や母としての役割を半ば放棄するような状況でも、いつも優しいまなざしで温かく応援し、惜しみなく支援をしてくれた愛する家族、主人と娘には、感謝の言葉ありません。

これまでご指導、ご支援、ご協力くださったすべての皆様への言葉に尽くせぬ感謝の気持ちをこめて、ここに謝辞と致します。

参考文献

- Akbulut, Y. (2007). Implications of two well-known models for instructional designers in distance education: Dick-Carey versus Morrison-Ross-Kemp. *Turkish Online Journal of Distance Education*, 8(2). 1-7. Retrieved April 25, 2015, from <http://files.eric.ed.gov/fulltext/ED496543.pdf>
- Banathy, B. H. (1968). *Instructional systems*. Belmont, CA: Fearon Publishers.
- Barson, J. (1967). *Instructional systems development. A demonstration and evaluation project: Final report*. East Lansing: Michigan State University. (ERIC Document Reproduction Service No. ED 020 673).
- Bergmann, J., & Sams, A. (2012). *Flip your classroom*. London: International Society for Technology in Education. (バーグマン, J., & サムズ, A. 山内祐平, 大浦弘樹 (監修) 上原裕美子 (訳) (2014) . 『反転授業』 東京: オデッセイコミュニケーションズ.)
- Bersin, J. (2004). *The blended learning book*. New Jersey: Wiley. (バーシン, J. 赤堀侃司, 原潔, 山田政寛, 松田岳士, 望月俊男, 新目真紀 (訳) (2006) . 『ブレンディッドラーニングの戦略—e ラーニングを活用した人材育成』 東京: 東京電機大学出版局.)
- Bloor, M., & Wood, F. (2006). *Keywords in qualitative methods*. New York: Sage Publications. (ブルア, B., & ウッド, F. 上淵寿監 (訳) (2009) . 『質的研究法キーワード』 東京: 金子書房.)
- 坊農真弓, 高梨克也 (編) 人工知能学会 (編) (2009) . 『多人数インタラクションの分析手法』 東京: オーム社.
- Brown, P. & Levinson, S. C. (1978). *Politeness— Some universals in language usage*. Cambridge: CUP.
- バイラム, M. (著) 齊藤美野 (訳) (2011) . 「外国語教育から異文化市民の教育へ」, 鳥飼玖美子, 平賀正子, 野田研一, 小山亘 (編) 『異文化コミュニケーション学への招待』 (pp. 121-149) . 東京: みすず書房.
- Charmaz, K. (2006). *Constructing grounded theory*. New York: Sage Publications. (シャーマズ, K. 抱井尚子, 末田清子 (訳) (2008) . 『グラウンデッド・セオリーの構築 社会構成主義からの挑戦』 京都: ナカニシヤ出版.)
- Creswell, J. W., & Plano clark, V. L. (2006). *Designing and conducting mixed methods research*. New York: Sage Publications. (クレスウェル, J. W., & プラノ クラーク, V. L. 大谷順子 (訳) (2010) . 『人間科学のための混合研究法—質的・量的アプローチをつなぐ研究デザイン』 京都: 北大路書房.)
- 大学英語教育学会授業学研究委員会 (2007) . 『高等教育における英語授業の研究—授業実践事例を中心に』 東京: 松柏社.
- 大工原勇人 (2010) . 『日本語教育におけるフィラーの指導のための基礎的研究—フィラーの定義と個々の形式の使い分けについて』 神戸大学大学院国際文化科学研究科博士論文,

- Retrieved in June 2, 2016 from
<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/repository/thesis/d1/D1004831.pdf>
- Denzin, N. (1989). *The research act: A theoretical introduction to sociological research methods* (3rd ed.), Upper Saddle River, New Jersey: Pearson Prentice Hall.
- Dewey, J. (1902). *The child and the curriculum*. Chicago: University of Chicago.; Dewey, J. (1943). *The school and society*. Chicago: University of Chicago. (デューイ, J. 市村尚久 (訳) (2009) .『学校と社会・子どもとカリキュラム』 東京：講談社.)
- Dewey, J. (1938). *Experience and education*. New York: Macmillan. (デューイ, J. 市村尚久 (訳) (2004) .『経験と教育』 東京：講談社.)
- Dick, W., & Carey, L. (1978). *The systematic design of instruction (1st ed.)*. Glenview, IL: Scott, Foresman and Company.
- Dick, W., Carey, L., & Carey, J. O. (2009). *The systematic design of instruction (5th ed.)*. Upper Saddle River, New Jersey: Merrill. (ディック, W., ケアリー, L., & ケアリー, J. O. 角行之 (監訳) (2004) .『はじめてのインストラクショナルデザインー米国流標準指導法 Dick & Carey モデル』 東京：ピアソン・エデュケーション.)
- Dörnyei, Z. (2003). *Questionnaires in second language research (1st ed.)*. London: Routledge. (ドルニェイ, Z. 八島智子, 竹内理 (訳) (2006) .『外国語教育学のための質問紙調査入門ー作成・実施・データ処理』 東京：松柏社.)
- Ellis, R. (1997). *Second language acquisition*. Oxford: Oxford University Press. (エリス, R. 牧野高吉 (訳) (2003) .『第2言語習得のメカニズム』 東京：筑摩書房.)
- Emerson, R., Fretz, R., & Shaw, L. (1995). *Writing ethnographic fieldnotes (2nd ed.)*. Chicago: University of Chicago Press. (エマーソン, R., フレッツ, R., & ショウ, L. 佐藤郁哉, 山田富秋, 好井裕明 (訳) (2000) .『方法としてのフィールドノートー現地取材から物語作成まで』 東京：新曜社.)
- Fink, D (2003). *Creating significant learning experiences*. New York: Jossey-Bass. (フィンク, L.D. 土持ゲーリー法一 (訳) (2011) .『学習経験をつくる大学授業法』 東京：玉川大学出版部.)
- Flick, U. (2007). *Qualitative sozialforschung*. Humburg: Rowohlt Taschenbuch Verla. (フリック, U. 小田博志, 山本則子, 春日常, 宮地尚子 (訳) (2011) .『質的研究入門ー“人間の科学”のための方法論』 東京：春秋社.)
- 藤代昇丈, 宮地功 (2009) .「ブレンド型授業による英語の音読力と自由発話力に及ぼす効果」『日本教育工学会論文誌』 32 (4) , 395-404.
- Gagné, R. M. (1962). Introduction. In R. M. Gagné (Ed.), *Psychological principles in system development*. New York: Holt, Rinehart and Winston.
- Gagné, R. M. (1985). *The conditions of learning (4th ed.)*. New York: Holt, Rinehart, and Winston.

- Gagné, R. M., & Briggs, L. J. (1974). *Principles of instructional design (1st ed.)*. New York: Holt, Rinehart, and Winston.
- Gagné, R. M., Wager, W. W., Golas, K. C., & Keller, J. M. (2005). *Principles of instructional design (5th ed.)*. CA: Wadsworth. (ガニエ, R. M., ウエイジャー, W. W., ゴラス, K. C., & ケラー, J. M. 鈴木克明, 岩崎信 (訳) (2010) .『インストラクショナルデザインの原理』京都：北大路書房.)
- Garrett, J. J. (2002). *The elements of user experience*. San Francisco: New Riders. (Garrett, J.J. ソシオメディア (訳) (2005) .『ウェブ戦略としての「ユーザーエクスペリエンス」—5つの段階で考えるユーザー中心デザイン』東京：毎日コミュニケーションズ.)
- Giles, M. (2013). The Kemp ID Model. [slideshare]. Retrieved April 25, 2015, from <http://www.slideshare.net/lindamgiles/kemp-id-modelpresmgiles-16411696>
- Glaser, R. (1962). Psychology and instructional technology. In R. Glaser (Ed.), *Training research and education*. Pittsburgh: University of Pittsburgh Press.
- Glaser, R. (1963). Instructional technology and the measurement of learning outcomes: Some questions. *American Psychologist*, 18, 519–521.
- Glaser, R. (1965). Toward a behavioral science base for instructional design. In R. Glaser (Ed.), *Teaching machines and programmed learning, II: Data and directions*. Washington, DC: National Education Association.
- Glaser, B., & Strauss, A. (1967). *The discovery of grounded theory*. Chicago: Aldine. (グレイザー, B.G., & ストラウス, A. L. 後藤隆, 水野節夫, 大出春江 (訳) (1996) .『データ対話型理論の発見—調査からいかに理論をうみだすか』東京：新曜社.)
- Grice, H. P. (1975). Logic and conversation. In Cole, P. & Morgan, J. L. (Eds.) *Syntax and semantics 3— Speechacts* (pp. 41-58). New York: Academic Press.
- Grice, H. P. (1989). *Studies in the way of words*. Cambridge MA: Harvard University Press.
- Hamerus, D. (1968). *The systems approach to instructional development: The contribution of behavioral science to instructional technology*. Monmouth, OR: Oregon State System of Higher Education, Teaching Research Division.
- 長谷川敦士 (2009) .『IA100 ユーザーエクスペリエンスデザインのための情報アーキテクチャ設計』東京：ビー・エヌ・エヌ新社.
- 橋本重治 (著) 応用教育研究所 (編) (2003) .『教育評価法概説 (改訂版)』東京：図書文化社.
- Heinich, R. (1970). *Technology and the management of instruction* (Association for Educational Communications and Technology Monograph No. 4). Washington, DC: Association for Educational Communications and Technology.
- 樋口耕一 (2004) .「テキスト型データの計量的分析—2つのアプローチの峻別と統合」『理

- 論と方法(数理社会学会)』19(1), 101-115.
- 樋口耕一 (2014) .『社会調査のための計量テキスト分析—内容分析の継承と発展を目指して』 京都：ナカニシヤ出版.
- 氷野善寛 (2014) .「蓄積と共有—学習教育コンテンツのデータベース化とオープンエデュケーション」『中国語教育』12, 14-21.
- 胡玉華 (2009) .『中国語教育とコミュニケーション能力の育成』 東京：東方書店.
- 伊田勝憲 (2003) .「教員養成課程学生における自律的な学習動機づけ像の検討—自我同一性,達成動機,職業レディネスと課題価値評定との関連から」『教育心理学研究』51(4), 367-377.
- 五十嵐素子 (2004) .「学習の測定作業の分析に向けて—学習への状況論的アプローチを手がかりに」『現代社会理論研究』第14号, 342-353.
- 稲垣忠 (2003) .「学校間交流学习における協同性の研究」2003年関西大学総合情報学研究科博士論文. Retrieved April 25, 2015, from <http://www.ina-lab.net/special/copo/index.php/2011-03-02-16-44-08/47-dron>
- Instructional Design Models. (n.d.). Retrieved April 25, 2015, from http://www.instructionaldesigncentral.com/htm/IDC_instructionaldesignmodels.htm#kemp
- 石田三樹, 越智泰樹, 奥田麻衣 (2008) .「WebCT を活用した遠隔授業の成果」『教育システム情報学会誌』25(4), 403-413.
- 石村貞夫, 石村友二郎, 劉晨 (2011) .『SPSS でやさしく学ぶアンケート処理』 東京：東京図書.
- 石下景教, 木口一久, 渡辺忠温, 楊傑川 (2012) .「対話型授業実践による日中集団間異文化理解の試み」『中国語教育学会10周年・高等学校中国語教育研究会30周年記念合同大会予稿集』39-42.
- 鄭仁星, 鈴木克明, 久保田賢一 (2008) .『最適モデルによるインストラクショナルデザイン—ブレンド型eラーニングの効果的な手法』 東京：東京電機大学出版局.
- 河合靖 (編) (2005) .『インターアクションのあるCALL授業』国際広報メディア研究科・言語文化部研究報告叢書59, 札幌：国際広報メディア研究科北海道大学言語文化部.
- Keller, J. M. (1983). Motivational design of instruction. In C.M. Reigeluth (Eds.), *Instructional design theories and models—An overview of their current status* (pp. 383-433). New York: Lawrence Erlbaum Associates.
- Keller, J. M. (2008). First principles of motivation to learn and e3-learning. *Distance Education*, 29 (2), 175-185.
- Keller, J. M. (2010a). *Motivational design for learning and performance: The ARCS model approach*. New York: Springer. (ケラー, J. M. 鈴木克明 (訳) (2010) .『学習意欲をデザインする—ARCS モデルによるインストラクショナルデザイン』 京都：北

大路書房.)

- Keller, J. M. (2010b). Challenges in learner motivation: A holistic, integrative model for research and design on learner motivation. *The 11th International Conference on Education Research, New Educational Paradigm for Learning and Instruction*, 1-18.
- Keller, J. M., & Keller, B. H. (1991). Motivating learners with multimedia instruction. *Proceedings of International Conference on Multi-media in Education and Training '91*, 313-316.
- Kemp, J. E. (1971). *Instructional design: A plan for unit and course development*. Belmont, CA: Fearon Publishers.
- Kemp's Model. (n.d.). Retrieved April 25, 2015, from <http://www.personal.psu.edu/wxh139/Kemp.htm>
- Kern, R. & Warschauer, M. (2000). Introduction: Theory and practice of network-based language teaching. In M. Warschauer & R. Kern (Eds.) *Network-based language teaching—Concepts and practice* (pp. 1-19). Cambridge: CUP.
- Khan, B. H. (2005). *Managing e-learning strategies*. Hershey, PA: Information Science Publishing.
- 菊池章夫 (1988) .『思いやりを科学する』大阪：川島書房.
- 菊池章夫 (2007) .『社会的スキルを測る—KiSS-18 ハンドブック』大阪：川島書房.
- 岸磨貴子, 三宅貴久子, 久保田賢一, 黒上晴夫 (2009) .「ICT を媒介とした国際間協同物語制作学習による異文化理」『日本教育工学会論文誌』 33, 161-164.
- 北澤毅, 古賀正義 (2008) .『質的調査法を学ぶ人のために』京都：世界思想社.
- 清原文代 (2014) .「デジタルで授業を豊かに！—繰り返し練習：TTS と中国語音声入力、音が出てゲームもできる単語カード Quizlet」『中国語教育』 12, 30-37.
- Kramer, E. (2013). Instructional design models and their effectiveness for a synchronous online curriculum development. In R. McBride & M. Searson (Eds.), *Proceedings of Society for Information Technology & Teacher Education International Conference 2013* (pp. 645-652). Chesapeake, VA: Association for the Advancement of Computing in Education. Retrieved April 25, 2015, from <https://www.learntechlib.org/p/48182>
- 久保田賢一 (2012) .「「ためこむ学び」から「つながる学び」へ」『国際文化フォーラム通信』 93, 2-3.
- Lakoff, R. (1977). What you can do with words — Politeness, pragmatics and performatives. In Rogers, R. W. & Murphy, J. (Eds.) *Proceedings of the Texas conference on performatives, presuppositions and implicatures* (pp. 79-106). Arlington: Center for Applied Linguistics.
- Lee, W. W., & Owens, D. L. (2000) *Multimedia-based instructional design*. New York:

- Jossey-Bass. (リー, W. W., & オーエンズ, D. L. 清水康敬 (監訳) (2003). 『インストラクショナルデザイン入門 マルチメディアにおける教育設計』 東京: 東京電機大学出版局.)
- 林俊成 (2008). 「日中遠隔協働授業における語学教育の実施とその評価」『東京外国語大学論集』 76, 191-212.
- 劉松, 浦野義頼, 比企静雄 (2010). 「中国語四声弁別を自習するための CAI システム」『日本教育工学会論文誌』 34 (3), 223-233.
- 前田泰樹, 水川喜文, 岡田光弘 (編) (2007). 『ワードマップ エスノメソドロジー—人々の実践に学ぶ』, 東京: 新曜社.
- Mager, R. F. (1962). *Preparing objectives for programmed instruction*. Belmont, CA: Fearon Publishers.
- Marzano, R. J., & Kendall, J. S. (2007). *The new taxonomy of educational objectives (2nd ed.)*. New York: Sage publications. (マルザーノ, R., & ケンドール, J. S. 黒上晴夫, 泰山裕 (訳) (2013). 『教育目標をデザインする—授業設計のための新しい分類体系』 京都: 北大路書房.)
- 松尾太加志, 中村知靖 (2002). 『誰も教えてくれなかった因子分析—数式が絶対に出てこない因子分析入門』 京都: 北大路書房.
- メイナード, 泉子, K. (1993). 『会話分析 (日英語対照研究シリーズ)』 東京: くろしお出版.
- 見上晃, 西堀ゆり, 中野美智子 (2011). 『英語教育におけるメディア利用 CALL から NBLT まで』 大学英語教育学会 (監修) 『英語教育学大全』 12, 東京: 大修館書店.
- 箕浦康子 (2009). 『フィールドワークの技法と実際Ⅱ 分析・解釈編』 東京: ミネルヴァ書房.
- 宮地功 (2009). 『e ラーニングからブレンディッドラーニングへ』 東京: 共立出版.
- 深山晶子 (編) 野口ジュディー (総監修) 寺内一, 笹島茂, 神前陽子 (監修) (2000). 『ESP の理論と実践—これで日本の英語教育が変わる』 東京: 三修社.
- 宮本節子 (2001). 『マルチメディア語学学習教材の開発と評価—理論と実証と』 広島: 溪水社.
- 水本篤, 竹内理 (2008). 「研究論文における効果量の報告のために—基礎的概念と注意点」『英語教育研究』 31, 57-66.
- 文部科学省 (2010). 「教育の情報化に関する手引」. Retrieved June 1, 2015, from http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/1259413.htm
- 文部科学省 (2011a). 「ICT 活用教育の推進に関する調査研究 (平成 21・22 年度) 委託業務成果報告書 (平成 23 年)」. Retrieved December 1, 2014, from http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2011/06/16/1307266_1.pdf
- 文部科学省 (2011b). 「教育の情報化ビジョン (平成 23 年公表)」. Retrieved April 25, 2015, from http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/23/04/1305484.htm

- 文部科学省 (2012) . 「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて—生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ(答申):用語集」. Retrieved December 1, 2015, from http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1325047.htm
- 文部科学省 (2013) . 「第 2 期教育振興基本計画 (平成 25 年 6 月閣議決定)」. Retrieved July 9, 2015, from http://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/detail/_icsFiles/afieldfile/2013/06/14/1336379_02_1.pdf
- 文部科学省 (2014) . 「ICT を活用した教育の推進に関する懇談会 (中間まとめ) 報告書 (平成 26 年度)」. Retrieved May 1, 2015, from http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/26/08/_icsFiles/afieldfile/2014/09/01/1351684_01_1.pdf
- 文部科学省 (2015) . 「平成 26 年度文部科学白書」. Retrieved January 13, 2016, from http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpab201501/1361011.htm
- 森田裕介, 藤木卓, 全炳徳, 李相秀, 渡辺健次, 下川俊彦, 柳生大輔, 中村千秋, 上藺恒太郎 (2004) . 「高精細動画伝送システムを用いた日韓遠隔交流・授業の実践」『日本教育工学会大会講演論文集』, 20, 827-828.
- Morrison, G. R., Ross, S. M., Kemp, J. E. & Kalman, H. (2012). *Designing Effective Instruction (7th ed.)*. Hoboken, New Jersey: Wiley.
- 村野井仁 (2006) . 『第二言語習得研究から見た効果的な英語学習法・指導法』東京:大修館書店.
- 村野井仁, 千葉元信, 畑中孝実 (2003) . 『実践的英語科教育法—総合的コミュニケーション能力を育てる指導』東京:成美堂.
- 永岡慶三 (編) (2004) . 『国際ブロードバンド回線による遠隔授業の単位互換実効性の検証実験』平成 14 年～平成 16 年度科学研究費補助金 基盤研究(B)(2) (課題番号: 14380092) 研究成果報告書, 東京: 早稲田大学人間科学学術院.
- 永岡慶三 (編) (2008) . 『国際間の 3 大学以上を結ぶ多数地点間での同時双方向遠隔授業の実証』平成 17 年～平成 19 年度 科学研究経費補助金 基盤研究(B) (課題番号: 17300275) 研究成果報告書, 東京: 早稲田大学人間科学学術院.
- 長瀬荘一 (2003) . 『絶対評価への挑戦 2 関心・意欲・態度 (情意的領域) の絶対評価』, 東京: 明治図書出版.
- 中嶋康二 (2013) . 「学習意欲を高める ARCS モデルの拡張と実践利用に関する研究」熊本大学大学院社会文化科学研究科博士論文, Retrieved August 14, 2015, from <http://reposit.lib.kumamoto-u.ac.jp/handle/2298/30836>
- 中嶋康二, 中野裕司, 渡邊あや, 鈴木克明 (2012) . 「MVP モデルの拡張に基づく ARCS-V モデルの V 要素下位分類の提案」『日本教育工学会第 28 回全国大会予稿集』, 261-262.
- 中嶋康二, 中野裕司, 渡邊あや, 鈴木克明 (2013) . 「拡張版 ARCS 動機づけモデルの実践

- 有効性検証ツールの設計と評価」『日本教育工学会研究報告集』13(2), 147-154.
- 中西千香 (2014) . 「レアリアーWeb やアプリから見る中国語」『中国語教育』12, 22-29.
- 成瀬喜則, 長山昌子 (2010) . 「国際共同学習の効果を上げるための複数の学習活動に関する研究」『教育システム情報学会誌』27 (1) , 55-61.
- 日本イーラーニングコンソシアム (2008) . 『e ラーニング白書 〈2008/2009 年版〉』東京 : 東京電機大学出版局.
- 日本教育工学会 (2000) . 『教育工学事典』東京 : 実教出版.
- 西堀ゆり (2005a) . 「国際ブロードバンド回線が実現する遠隔協調学習—アラスカ大学＝北海道大学間の異文化コミュニケーション授業」永岡慶三 (編) 『国際ブロードバンド回線による遠隔授業の単位互換実効性の検証実験』(平成 14～平成 16 年度 科学研究費補助金 基盤研究(B)(2)研究成果報告書) (pp. 63-79) .
- 西堀ゆり (2005b) . 「グローバル・インターラクションと CALL 授業—協調学習の概念をめぐって」河合靖 (編) 『インターラクションのある CALL 授業』, 北海道大学国際広報メディア研究科・言語文化部研究報告叢書 59 (pp. 1-35) .
- 西堀ゆり (2005c) . 「インターネットと国際高速回線で結ぶ遠隔協調学習の教授法研究—「国境のない教室」の歩み」『北海道大学国際広報メディア研究科・言語文化部研究報告叢書』57.
- 西堀ゆり (2007) . 「情報技能と指導」高梨庸雄・高橋正夫 (著) 『新・英語教育学概論』(pp. 91-104) . 東京 : 金星堂.
- 西堀ゆり, 赤倉貴子, 永岡慶三, 西永望, 山本裕一, 佐藤晴彦, 東本崇仁 (2008) . 「国際間の多地点同時接続授業に対する学生の反応」『平成 20 年度情報教育研究集会講演論文集』, 243-246.
- 西堀ゆり, 永岡慶三, 西永望, 田中健二, 山本裕一, 佐藤晴彦, 原田雅博, Ruimin Shen, Jinjin Feng, Myunghee Ju Kang (2006) . 「異文化コミュニケーション授業の新展開—日韓中 3 大学接続による同時双方向遠隔授業」『電子情報通信学会技術研究報告』, 25-30.
- 西堀ゆり, 永岡慶三, 山本裕一, 赤倉貴子, 佐藤晴彦 (2007) . 「国際間の多地点同時接続による遠隔教育の課題」『平成 19 年度情報教育研究集会講演論文集』, 145-148.
- 西堀ゆり, 山本裕一, 佐藤晴彦 (2006) . 「国際間の複数大学を結ぶ多地点同時双方向遠隔授業における協調場の構築」『平成 18 年度情報教育研究集会講演論文集』, 809-812.
- 西阪仰 (1997) . 『相互行為分析という視点: 文化と心の社会学的記述』東京 : 金子書房.
- 大平未央子 (2001) . 「ネイティブスピーカー再考」野呂香代子, 山下仁 (編) 『「正しさ」への問い—批判的社会言語学の試み』 (pp. 85-110) . 東京 : 三元社.
- 小塩真司 (2011) . 『SPSS と Amos による心理・調査データ解析—因子分析・共分散構造分析まで (第 2 版) 』東京 : 東京図書.
- 大谷尚 (2008a) . 「質的研究とは何か—教育テクノロジー研究のいっそうの拡張をめざして」『教育システム情報学会誌』24(3), 340-354.

- 大谷尚 (2008b) . 「4 ステップコーディングによる質的データ分析手法 SCAT の提案—着手しやすく小規模データにも適用可能な理論化の手続」 『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要 (教育科学) 』 54(2), 27-44.
- 大谷尚 (2011) . 「SCAT: Steps for Coding and Theorization—明示的手続きで着手しやすく小規模データに適用可能な質的データ分析手法」 『感性工学』 10(3),155-160.
- 大辻秀樹 (2006) . 「Type M: 「学ぶことに夢中になる経験の構造」 に関する会話分析からのアプローチ」 『教育社会学研究』 78, 147-168.
- 大山牧子, 村上正行, 田口真奈, 松下佳代 (2010) . 「e-Learning 語学教材を用いた学習行為の分析—学習スタイルに着目して」 『日本教育工学会論文誌』 34 (2) , 105-114.
- Reed, E.S. (1996a). *Encountering the world*. New York: Oxford University Press. (リード, E, S. 菅野盾樹 (訳) (2010) .『経験のための戦い—情報の生態学から社会哲学へ』 東京: 新曜社.)
- Reed, E. S. (1996b). *The necessity of experience*. New Haven: Yale University Press. (リード, E, S. 佐々木正人 (監修) , 細田直哉 (訳) (2000) .『アフォーダンスの心理学—生態心理学への道』 東京: 新曜社.)
- Reiser, R. A. (2001a). A History of Instructional Design and Technology: Part I: A history of instructional media. *Educational Technology Research & Development*, 49(1)(pp. 49-53). Netherlands, Kluwer Academic Publisher.
- Reiser, R. A. (2001b). A history of instructional design and technology: Part II: A history of instructional design. *Educational Technology Research & Development*, 49(2)(pp. 57-67). Netherlands, Kluwer Academic Publisher.
- Reiser, R. A., & Dempsey, J. V. (2007). *Trends and issues in instructional design and technology (3rd ed.)*, New Jersey: Pearson Prentice Hall. (リーサー, R. A., & デンプシー, J.V. 鈴木克明, 合田美子監 (訳) (2013) .『インストラクショナルデザインとテクノロジー—教える技術の動向と課題』 京都: 北大路書房.)
- Richards, L. (2005). *Handling qualitative data*. London: Sage publications. (リチャーズ, L. 大谷順子, 大杉卓三 (訳) (2009) .『質的データの取り扱い』 京都: 北大路書房.)
- Richards, L., & Morse, J. M. (2002). *Readme first for a user's guide to qualitative methods*. New York: Sage publications. (Richards, L., & Morse, J. M. 小林奈美監 (訳) (2008) 『はじめて学ぶ質的研究』 東京: 医歯薬出版.)
- Richardson, L.(1994). Writing: A method of inquiry. In Denzin, N & Lincoln, Y. S. (Ed.), *Handbook of Qualitative Research* (pp.516-529). New York: Sage publications..
- Romiszowski A. J. (1984). *Designing instructional systems: Decision making in course planning and curriculum design*, New York: Routledge Falmer.
- 西条剛央 (2007) .『ライブ講義 質的研究とは何か SCQRM ベーシック編』 東京: 新曜社.

- 坂本利子 (2013) . 「異文化交流授業から国内学生は何を学んでいるか—多文化共生力育成をめざして」『立命館言語文化研究』 24 (3) , 143-157.
- 坂本利子, 吉田信介, 宇根谷孝子, 本田明子, 片山智子, 和田綾子 (2006) . 「立命館大学と立命館アジア太平洋大学間の日英語クラス遠隔交流授業」『立命館高等教育研究』 (6) , 1-16.
- 佐藤郁哉 (2002) . 『フィールドワークの技法』 東京：新曜社.
- 佐藤郁哉 (2008) . 『QDA ソフトを活用する実践質的データ分析入門』 東京：新曜社.
- 佐藤郁哉 (2010) . 『質的データ分析法 原理・方法・実践』 東京：新曜社.
- Schmitt, B. H. (2003). *Customer experience management*. New Jersey : Wiley. (シュミット, B. H. 嶋村 和恵, 広瀬盛一 (訳) (2008) . 『経験価値マネジメント マーケティングは、製品からエクスペリエンスへ』 東京：ダイヤモンド社.)
- Schwandt, T. A. (2007). *The SAGE dictionary of qualitative inquiry (3rd ed.)*. New York: Sage publications. (シュワント, T. A. 伊藤勇, 徳川直人, 内田健 (訳) (2009) . 『質的研究用語事典』 京都：北大路書房.)
- 関田一彦, 安永悟 (2005) . 「協同学習の定義と関連用語の整理」『協同と教育』 1, 10-17.
- 芝祐順, 南風原朝和 (1990) . 『行動科学における統計解析法』 東京：東京大学出版.
- 城間真理子 (2013) . 「コミュニケーション力と協働力の育成をめざして—高校中国語教育での実践報告」『中国語教育』 11, 33-45.
- Silvern, L. C. (1964). *Designing instructional systems*. Los Angeles: Education and Training Consultants.
- Skinner, B. F. (1954). The science of learning and the art of teaching. *Harvard Educational Review*, 24, 86-97.
- Skinner, B. F. (1958). Teaching machines. *Science*, 128, 969-977.
- 杉江聡子 (2011a) 「NBLT (ネットワーク活用の言語教育) のための中国語学習支援サイトの構築—日本と中国の高校生間の交流型学習者コミュニティー形成」北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院修士課程平成 22 年度修士論文. Retrieved July 7, 2014 from <http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/handle/2115/47301>
- 杉江聡子(2011b)「利用 NBLT 的日本高中中文教学实践与评估」『海外华文教学丛书 华语作为二语与外语的教学—探索与实践』 南京：南京大学出版社, 66-87.
- Sugie, S. (2012), Instructional design of the communicative blended learning for Chinese as a foreign language, *Proceedings of COLLA 2012 (The Second International Conference on Advanced Collaborative Networks, Systems and Applications, IARIA International Joint Conference on InfoWare 2012)*, 18-22.
- Sugie, S. & Mitsugi, M. (2014). Cross-cultural distance learning with blended learning model in a foreign language class— Using mix methods to analyze learning outcomes and learners' experiences, *Proceedings of 19th Conference of Pan-Pacific*

Association of Applied Linguistics. 15-16.

- 杉江聡子, 三ツ木真実 (2015a). 「遠隔交流を活用した中国語ブレンディッド・ラーニングの実践と混合研究法による評価」『教育システム情報学会学会誌』32 (2), 160-170.
- 杉江聡子, 三ツ木真実 (2015b). 「遠隔交流が創出する学びの経験とその価値—中国語学習における異文化体験の質的分析」『e-Learning 教育研究第』10, 1-13.
- 杉江聡子, 三木真実 (2015c). 「利用远程交流的混合式学习实践与其成果的质性分析—以日本高中中文课为例」『中文教学现代化学报』8, 107-117. Retrieved April 25, 2016, from <http://xuebao.eblcu.com/xuebao/essay/eighttterm/11.pdf>
- Sugie, S. & Mitsugi, M. (2016). Learning experiences and their values created by distance learning— A qualitative analysis of Chinese language learning through cross cultural exchange, *Proceedings of 9th International Conference and Workshops on Technology and Chinese Language Teaching*. 265-270.
- 砂岡和子 (2009a). 『ミス・コミュニケーション学習支援プログラムの開発』平成 19 年～平成 21 年度科学研究費補助金 基盤研究 (B) (課題番号: 19320087) 研究成果報告書, 東京: 早稲田大学政治経済学術院, doi: <http://www.f.waseda.jp/ksunaoka/misscommunication/>
- 砂岡和子 (2009b). 「グローバル化時代の外国語教育—ICT 活用の早稲田大学語学教育実践」『大学時報』5, 82-87.
- 砂岡和子 (2011). 「チャット投稿の質量と語学習得効果—テキストチャットを利用した中国語教室授業」『2010 年度 ICT 授業実践報告書』, 139-146.
- 砂岡和子, 保坂敏子, Yu Jingsong, 河内彩香, 山口真紀, 藤田真一 (2007). 「フィラーに対する中国語と日本語の印象評価比較—クロスカルチャー・ミス・コミュニケーションコーパスの開発」『電子情報通信学会技術研究報告 (思考と言語) 』107 (323), 20-24.
- 砂岡和子, 李利津, 馬燕, 俞敬松 (2009). 「多人数インタラクションにおける協調的コミュニケーション方略の定量化分析試探」, 人工知能学会第 3 回関東支部拡大例会. Retrieved April 25, 2015, from <http://www.f.waseda.jp/ksunaoka/gakkai/daigakujiho0904.pdf>
- 砂岡和子, 徐顕芬 (2011). 「言語資源から見る日本の教育・研究現場—東アジア複言語コミュニケーションの実態調査(1)」『教養諸学研究』131, 21-46.
- 砂岡和子, 鄭偉, 植屋高史, 谷川栄子 (2011). 「チャット交流における学習者のテーマ選好と言語知識の獲得」『電子情報通信学会教育工学研究会技術研究報告(教育工学) ET2010-79』, 110 (405), 13-16.
- 鈴木克明 (1995). 「『魅力ある教材』設計・開発の枠組みについて—ARCS 動機づけモデルを中心に」『教育メディア研究』1 (1), 50-61.
- 鈴木克明 (2005). 「e-Learning 実践のためのインストラクショナル・デザイン」『日本教育工学会論文誌』29(3), 197-205.
- 鈴木克明 (2009). 「『学びたさ』の設計を支える研究の動向」『第 16 回日本教育メディア学会年次大会発表論文集』, 119-120.

- 鈴木克明 (2010) . 「ARCS モデルから ARCS-V モデルへの拡張」『第 17 回日本教育メディア学会年次大会発表論文集』, 115-116.
- 鈴木高志, 櫻井茂男 (2011) . 「内発的および外発的な利用価値が学習動機づけに与える影響の検討」『教育心理学研究』 59(1), 51-63. Retrieved April 25, 2015, from <http://ci.nii.ac.jp/naid/130000999519>
- 多田孝志 (1997) . 『学校における国際理解教育—グローバルマインドを育てる』 東京：東洋館出版社.
- 高谷幸 (2012) . 「自己充足的／道具的」大澤真幸, 吉見俊哉, 鷺田清一, 見田宗介編『現代社会学事典』 (p.519) , 東京：弘文堂.
- 竹内理 (2008) . 『CALL 授業の展開 その可能性を広げるために』 東京：松柏社.
- 玉木欽也 (監修) 齋藤裕, 松田岳士, 橋本諭, 権藤俊彦, 堀内淑子, 高橋徹 (著) (2006) 『eラーニング専門家のためのインストラクショナルデザイン』 東京：東京電機大学出版局.
- 田邊鉄 (2014) . 「デジタルの導入で授業は変わるか」『中国語教育』 12, 12-13.
- 田邊鉄, 清原文代 (2009) . 「「学び合い」を促す e-Learning 教材」『CIEC 会機関紙 コンピュータ&エデュケーション』 27, 24-27.
- 田中博晃 (2007) . 「学習意欲を質的に捉える—学習意欲を高める研究での継承例」西條剛央, 京極真, 池田清彦編著『構造構成主義研究 I 現代思想のレボリューション』 (pp. 80-103) . 京都：北大路書房.
- 樽本徹也 (2012) . 『アジャイル・ユーザビリティ—ユーザエクスペリエンスのための DIY テスティング』 東京：オーム社.
- 寺西光輝 (2013) . 「中国人留学生と日本人学生による協働学習—中国語文献のピア・リーディングを通して」『中国語教育』 11, 67-87.
- 當作靖彦, 中野佳代子 (監修) (2012) . 『外国語学習のめやす 2012 高等学校の中国語と韓国語教育からの提言』 東京：公益財団法人国際文化フォーラム.
- 津村修志 (2010) . 「英語嫌いに対する学習意欲喪失要因の影響」『大阪商業大学商経学会論集』 6(2), 35-48. Retrieved April 25, 2015, from <http://ouc.daishodai.ac.jp/data/d0296ab2cc19451f0e4a1008fe53f798/File/15803%E6%B4%A5%E6%9D%91.PDF>
- 内田治 (2006) . 『すぐわかる SPSS によるアンケートの相関分析』 東京：東京図書.
- 内田治 (2010) . 『すぐわかる SPSS によるアンケートの調査・集計・解析(第 4 版)』 東京：東京図書.
- 藁谷郁美, 太田達也, マルコ・ラインデル, 倉林修一 (2012) . 「インフォーマル・ラーニングを支援する体験連動型外国語学習環境の構築を支援する体験連動型外国語学習環境の構築」『日本教育工学会論文誌』 36(2), 91-101.

- Whyte, W. F. (1943). *Street corner society*. Chicago: University of Chicago Press. (ホワイ
ト, W. F. 奥田道大, 有里典三 (訳) (2000) . 『ストリート・コーナースサエティ』 東
京 : 有斐閣.)
- 呉剣明, 加藤恒夫, 楊達 (2012) . 「スマートフォン・タブレットによるスマート中国語学
習教室の構築」『日本教育工学会論文誌』 36(3), 239-250.
- 山田一成 (2010) . 『聞き方の技術—リサーチのための調査票作成ガイド』 東京 : 日本経済
新聞出版社.
- 山内豊 (2001) . 『IT 時代のマルチメディア英語授業入門—CD-ROM からインターネットま
で』 東京 : 研究社.
- 山崎和彦, 上田義弘, 高橋克実, 早川誠二, 郷健太郎, 柳田宏治 (2012) . 『エクスペリエ
ンス・ビジョン—ユーザーを見つめてうれしい体験を企画するビジョン提案型デザイン
手法』 東京 : 丸善出版.
- 谷田貝雅典, 坂井滋和 (2006) . 「視線一致型及び従来型テレビ会議システムを利用した遠隔授
業と対面授業の教育効果測定」『日本教育工学会論文誌』 30(2), 69-78.
- 吉田晴世, 上村隆一, 野澤和典, 松田憲 (著) CIEC 外国語教育研究部会 (編) (2008) . 『ICT
を活用した外国語教育』 東京 : 東京電機大学出版局.
- 趙秀敏, 今野文子, 朱嘉琪, 稲垣忠, 大河雄一, 三石大 (2012) . 「第二外国語としての中国
語学習のためのブレンディッドラーニングの開発と実践」『教育システム情報学会誌』
29(1), 49-62.
- 趙秀敏, 富田昇, 今野文子, 朱嘉琪, 稲垣忠, 大河雄一, 三石大 (2013) . 「非語学系学科を
対象とした第二外国語としての中国語学習における 3 段階ブレンディッドラーニング
の実践」『教育システム情報学会誌』 30(4), 237-242.
- 趙秀敏, 富田昇, 今野文子, 朱嘉琪, 稲垣忠, 大河雄一, 三石大 (2014) . 「第二外国語とし
ての中国語学習のためのブレンディッドラーニングにおける e ラーニング教材設計指
針の作成と実践」『教育システム情報学会誌』 31(1), 132-146.
- 鄭偉, 植屋高史, 谷川栄子, 砂岡和子 (2010) . 「コミュニケーション創出に寄与する教室内 Chat
と発話支援者および教材の役割」『日本中国語学会第 60 回全国大会予稿集』, 200-204.

【参考サイト、URL】

ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典 (コトバンク)

<https://kotobank.jp/dictionary/britannica/>

中国ソーシャルメディア雑記 <http://blog.livedoor.jp/osschina/search?q=QQ>

中国語教育学会 <http://jacle.org/>

デジタル大辞泉 (コトバンク) <https://kotobank.jp/dictionary/daijisen/>

e ラーニング教育学会 (WELL) <http://www.mle.cmc.osaka-u.ac.jp/WELL/>

北海道経済部観光局 http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/kankoutoukei_updated.htm

放送大学 ICT 活用・遠隔教育センター <http://www.code.ouj.ac.jp/>

IT 用語辞典バイナリ <http://www.sophia-it.com/>

IT 用語辞典 e-Words <http://e-words.jp/>

関西大学「教えと学びのショーケース」 <http://www.sc.kansai-u.ac.jp/>

清原文代「ネットで get! ピンイン聞き分けトレーニング」
<http://pinyin-training.cocolog-nifty.com/>

国土交通省 観光庁 <http://www.mlit.go.jp/kankocho/>

教育システム情報学会 (JSiSE) <http://www.jsise.org/>

高等教育質保証用語集
http://www.niad.ac.jp/n_kokusai/publish/no17_glossary_4th_edition.pdf

モチベーションアップの法則 <http://www.motivation-up.com/>

文部科学省 <http://www.mext.go.jp/>

Moodle <https://moodle.org/>

ナビゲート ビジネス基本用語集 <http://www.navigate-inc.co.jp/term/>

日本教育工学会 (JSET) <https://www.jset.gr.jp/>

日本ナレッジ・マネジメント学会 <http://www.kmsj.org/>

三枝裕美「Online Chinese パンダと学ぶ中国語」(長崎外国語大学 外国語学部 国際コミュニケーション学科) <http://saigusa.com/>

首相官邸 高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/>

砂岡和子「現代汉语述补结构用法数据库 (An Online Database on Verb-Resultative Construction in Contemporary Chinese)」 <http://ccl.pku.edu.cn/vc/>

田邊鉄「パンダの中国語学習ノート」 <http://mulan.cims.hokudai.ac.jp/panda/>

テンセント QQ (Tencent QQ) <http://im.qq.com/pcqq/>

WordPress <https://ja.wordpress.com/>

新浪微博 (シナウェイボー, Sina Weibo) <http://www.weibo.com/>

新浪微博オフィシャルパートナー Find Japan <http://www.find-japan.co.jp/>

付録 1 4.2 年間学習計画表

4 月		対面授業 月3	eラーニング 木2	オンライン交流 放課後
12	木	1年の学習計画について説明 2年次の総復習(教科書第16課と全体の文法・語彙チェック)		
16	月	2年次の総復習(第16課)		
19	木	2年次の総復習(第16課)		
23	月	2年次の総復習(第16課)		
26	木		Skype 接続試験 (iPhone,Android スマホと教師ノートPC) 授業用連絡先メールアドレス作成(QQの紹介)	
30	月	GW		
5 月		対面授業 月3	eラーニング 木2	オンライン交流 放課後
3	木	GW		
7	月	●プロジェクト学習準備 学習目標を OGSM シートに落とし込み計画表作成(シート完成、詳しい自己紹介の日本語下書きと中国語訳の単語調べ宿題)		●遠隔接続テスト 昼休み(12:15~13:00)に中国側学生と接続テスト(Skype,QQ)
10	木		※毎回、「今日の作業」を板書して時間配分と流れを指示 OGSM シート回収 中国側のビデオ鑑賞(交流相手紹介) 詳しい自己紹介の下書き確認、翻訳のための単語確認	
14	月	クラス写真撮影 ●プロジェクト学習①詳しい自己紹介カード作り (顔写真、氏名、年齢、誕生日、趣味、好きな食べ物、好きな食べ物、好きな科目、好きな科目、部活や習い事、好きな芸能人・歌手等) 日本語と中国語の対訳を板書・校正		●三峽大学遠隔講義システム接続テスト 5/15(火)17:00~三峽大学と接続テスト
17	木		★事前オンラインアンケート ★OGSM シート内容アンケートに入力 ●プロジェクト学習①続き 日本語と中国語の対訳を校正・個別指導	★オンライン交流 1回目候補① 放課後 16:45~(中国 15:45~)参加 3名 ※中国へ個別に QQ で事前アンケート依頼
21	月	●プロジェクト学習①続き 交流未参加の人は翻訳の続き+発表練習 交流参加済みの人は自己紹介ビデオ撮影(学生同士で撮りあう)		

		日本語と中国語の対訳を校正・個別指導		
24	木		●プロジェクト学習①続き 交流用の自己紹介 Word 文書作成・共有フォルダに保存、ビデオ録画	★オンライン交流 1 回目候補② 放課後 15:30～(中国 14:30～)参加:2 名 ※中国へ個別に QQ で事前アンケート依頼
28	月	試験範囲の復習(16 課) + 自己紹介		
31	木	前期中間試験(16 課)ヒアリング、単語書き取り+ピンイン入力		
6 月		対面授業 月3	eラーニング 木2	オンライン交流 放課後
4	月	中間試験		
7	木	中間試験		
11	月	試験返却 ●プロジェクト学習②中国の学生に質問しよう 事前アンケートで交流したいトピックとして挙げられたものについて、日本の状況を紹介し、中国ではどうかを質問する(ペア学習)		★オンライン交流 2 回目調整 放課後 16:40～(中国 15:40～) →時間調整困難のため中止
14	木		●プロジェクト学習②続き 日本語文書の作成と中国語翻訳(ペア学習)	★オンライン交流 2 回目候補① 放課後 16:45～(中国 15:45～)
18	月	●プロジェクト学習②続き 中国語翻訳完成と読み練習、ビデオ撮影(ペア学習)。		
21	木		●プロジェクト学習②続き 中国語翻訳完成と読み練習、ビデオ撮影(ペア学習) オンラインコンテンツの素材として電子データ提出	★Skype オンライン交流 2 回目候補② 放課後 16:45～(中国 15:45～)
25	月	休講(映画鑑賞)		
28	木	休講(映画鑑賞)		
7 月		対面授業 月3	eラーニング 木2	オンライン交流 放課後
2	月	休講(映画鑑賞)		
5	木	学校祭・前夜祭		
9	月	学校祭片づけ		
12	木	開校記念日		
16	月	海の日		
19	木		●プロジェクト学習③日本の高校生活紹介 学校説明に必要な単語学習(図解辞典と情報高校の校内地図等) ペア分け(4GRP) 学校の何を紹介するか企画、写真や動画を使用するか決定	★オンライン交流 3 回目 放課後 16:45～(中国 15:45～)

			* 昨年はお弁当と高校生の1日について紹介 次回 7/19 までに日本語文作成、翻訳	
23	月	プロジェクト学習③続き 返却分の修正、完成版チェック		
26	木	夏休み		
8 月		対面授業 月3	eラーニング 木2	オンライン交流 放課後
23	月	プロジェクト学習③続き 返却分を修正 中国の学校についての質問を考え、中国語に訳す		
25	木		プロジェクト学習③続き 中国の学校について質問を考え、中国語に訳す	★オンライン交流 4 回目 放課後 16:45～(中国 15:45～)
30	月	期末試験		
9 月		対面授業 月3	eラーニング 木2	オンライン交流 放課後
3	月	期末試験		
6	木	期末試験		
10	月	プロジェクト学習④中国について話してみよう 中国について知っている・見たことがある・食べたことがある物事、行ってみたい場所等、中国ガイドブックを見て考える 日本語下書き作成		
13	木		プロジェクト学習④続き インターネットで情報収集, Word の下書き作成・翻訳	★オンライン交流 5 回目候補① 放課後 16:45～(中国 15:45～)
17	月	敬老の日		
20	木		プロジェクト学習④続き ンターネットで情報収集, Word の下書き作成・翻訳	★オンライン交流 5 回目候補② 放課後 16:45～(中国 15:45～)
24	月	留学生を高校に呼んで交流会		
27	木	学期末休業		
10 月		対面授業 月3	eラーニング 木2	オンライン交流 放課後
1	月	オープンキャンパス代休		
4	木		プロジェクト学習⑥高校生の放課後・休日 課外での時間の過ごし方を紹介 (部活、習い事、塾、友達と遊ぶ場所、恋愛等)	
8	月	体育の日		
11	木	学習成果発表会練習	プロジェクト学習⑤続き	★オンライン交流 6 回目候補① 放課後 16:45～(中国 15:45～)

15	月	学習成果発表会練習		
18	木	学習成果発表会練習		
22	月	学習成果発表会		
25	木			★オンライン交流 6回目候補② 放課後 16:45～(中国 15:45～)
29	月	プロジェクト学習⑤続き		
11	月	対面授業 月3	eラーニング 木2	オンライン交流 放課後
1	木		プロジェクト学習⑤続き	
5	月	プロジェクト学習⑤続き		
8	木			★オンライン交流 7回目候補① 放課後 16:45～(中国 15:45～)
12	月	10月にやった日本文化紹介の内容を学年末試験に出題するため、内容を再度読解		
15	木		10月にやった日本文化紹介の内容を学年末試験に出題するため、内容を再度読解	
19	月	10月にやった日本文化紹介の内容を学年末試験に出題するため、内容を再度読解		
22	木		10月にやった日本文化紹介の内容を学年末試験に出題するため、内容を再度読解	★オンライン交流 7回目候補② 放課後 16:45～(中国 15:45～)
26	月	試験前の復習(中国についての表現と高校生の放課後・休日、札幌の紹介)		
29	木		後期中間(学年末)試験	
12	月	対面授業 月3	eラーニング 木2	オンライン交流 放課後
3	月	学年末試験		
6	木	試験返却 アンケートとインタビューの日程調整 (放課後、コンピュータ実習室か総合実践室) 1年間の総復習		
10	月	なし(特別授業)	オンラインアンケートとインタビュー	
13	木	なし(特別授業)	オンラインアンケートとインタビュー	
17	月	なし(特別授業)	オンラインアンケートとインタビュー	
20	木	なし(特別授業)	オンラインアンケートとインタビュー	
24	月	冬休み		

付録2 5.1.1 「あいさつ・自己紹介」紹介文

みなさんこんにちは。はじめまして私の名前はYZです。どうぞよろしくお願いします。私は北海道の札幌市に住んでいます。私の誕生日は5月12日です。今年で18歳です。私は国際情報高校の三年生です。私は主にこの学校で外国語を勉強しています。学校で約一年半、中国語を勉強しています。私の趣味は音楽を聴くことです。そして私は"美麗的神話"という曲が好きです。皆さん知っていますか？私は水ギョーザがとても好きです。私達は学校で作りました。形は悪かったですがとても美味しかったです。皆さんは何の日本料理が好きですか？私は俳優のジャッキーチェンやジェット・リーが好きです。私は彼らの映画が大好きです。なぜなら私は中国武術を習っているからです。私は7歳の時にカンフーをはじめました。今は太極拳の選手です。私は北京のシーチャーハイの学校で武術を練習したことがあります。三年前に私はマカオの国際大会に出場しました。みなさんは武術を練習したことがありますか？それでは日本に遊びにきてください！！さようなら。

大家好！初次见面,我叫YZ。请多关照。我住在北海道的札幌市。我的生日五月十二号。我今年十八岁。我是国际情报高中三年级的学生。我主要在学校学习外语。我学习了约一年半汉语。我的爱好是听音乐。我喜欢"美丽的神话"这首歌曲。你们知道吗？我很喜欢吃水饺子。我们在学校包过水饺。很不好看，可是味道很好。你们喜欢什么日本菜？我喜欢的演员的成龙和李连杰。我很喜欢他们的电影。因为我学习中国武术。我七岁的时候开始练功夫了。现在我是太极拳的运动员。我去过北京什刹海的学校练习过太极拳。三年前，我参加澳门的国际比赛了。你们练习过中国武术吗？最后,请大家到日本来玩!! 那么再见。

こんにちは。私は YG です。私は国際情報高校の三年生です。私の誕生日は11月19日です。私は茶道部に所属しています。私は音楽が好きです。私は日本のロックバンドのポルノグラフィティが好きです。私は中国語の音楽を聴いてみたいです。私は小学校2年生からバイオリンを習っています。私はクラシックとポップスを弾くのが好きです。私は外国に行ったことがありません。将来中国語がうまくなったら、中国に観光に行ってみたいです。私は餃子を食べることがとても好きです。私は中国の本場の餃子を食べてみたいです。皆さんと交流できることをとても嬉しく思います。

你好！我叫YG。我是国际情报高中三年级的学生。我的生日十一月十九号。我参加茶道部。我喜欢听音乐。我喜欢日本的摇滚乐团的色情涂鸦。我想听中国的音乐。我从小学二年级开始练习小提琴。我喜欢弹古典音乐和流行音乐。我没有去过外国。将来我学会汉语以后，想去游览中国。我非常喜欢吃饺子。我想吃中国地道的饺子。我很高兴和大家交流。

こんにちは!私の名前は **KBY** です。国際情報高校の三年生です。茶道部に所属していて、部長を務めています。今中国語を勉強しています。私の誕生日は5月16日です。私は4人家族です。家族構成はお父さん、お母さん、おばあちゃん、私の4人です。私の趣味は野球を見ることと音楽を聴くことです。好きな野球チームは日本ハムファイターズです。好きな音楽グループは **FTISLAND** です。日本の「花より男子」が好きです。寝ることと食べることが好きです。特技は書道です。皆さんに会いたいです。さようなら。

你好！我叫 KBY。我是国际情报高中三年级的学生。我参加茶道部。我担任部长。我现在学汉语。我的生日五月十六号。我家有四口人，爸爸，妈妈，奶奶和我。我的爱好是看棒球和听音乐。我的最喜欢的棒球队是日本火腿队。我最喜欢的音乐小组是 FTISLAND。我喜欢日本的《流星花园》。我喜欢吃和睡。我擅长书法。我想见大家。

こんにちは。はじめまして！私の名前は **HM** です。今年18歳になります。今中国語を勉強しています。中国語は難しいけど、楽しいです。私はピアノを弾くことが好きです。5歳からピアノを習っています。私の趣味は映画を観ることです。中国で今人気のある映画は何ですか。私は中国に観光しに行きたいです。よろしく。またね！

大家好。初次见面！我叫 HM。我今年十八岁。我现在学汉语。汉语很难，不过汉语很开心。我喜欢弹钢琴。我从五岁开始练弹钢琴。我的爱好是看电影。目前最受欢迎的中国电影是什么？我想去游览中国。请多关照。再见！

こんにちは。私の名前は **KB** です。今年で18歳になります。私は2人の兄と姉がいて、私は末っ子です。私はバスケットボールをすることが好きです。なので、中学生の頃はバスケットボール部に所属していました。また、高校二年まで生徒会に所属していました。私は野球観戦も好きです。私はよく札幌ドームへ日本ハムを応援しに行きます。とても楽しいです！あなたが日本に来たときには、一緒にお寿司を食べに行きましょう。私は将来ホテルで働きたいです。なので、今中国語を学んでいます。もし機会があればいつか中国へ行ってみたいです。私は皆さんと仲良くなりたいです(^O^)/

你好。我叫 **KB**。今年十八岁。我有两个兄弟姐妹,我是老子。我喜欢打篮球。所以,初中生的时候,我参加篮球部了。到高二我也参加学生会了。我喜欢看棒球比赛。我经常去札幌巨蛋支持日本火腿队。太高兴了。你来日本的时候,我们一起吃寿司吧。我想将来在宾馆工作。所以现在我学汉语。有机会的话我想去一趟中国。我想和大家交好朋友(^0^)/

こんにちは！私の名前は **KBA** です。私の誕生日は二月七日です。今年で 17 歳になります。私は国際情報高校の三年生です。茶道部に所属しています。茶道を通じて日本の伝統文化を知ることができるので、茶道はとてもよいです。皆さんは日本の文化に興味がありますか？私はとてもジャニーズが好きです。その中でも特に関ジャニ∞が好きで、嵐もいいと思います。私は英語と中国語が好きなのでがんばって勉強しています。わたしは万里の長城に行ってみたいです。万里の長城は雄大ですか？私の好きな野菜はピーマンなので中国に行ったら本場のチンジャオロースを食べたいです。皆さんとたくさん交流したいです。

你好！我叫 **KBA**。我的生日二月七号。我今年十七岁。我是国际情报高中三年级的学生。我参加茶道部。通过茶道可以了解日本的传统文化，所以茶道很好。你们对日本文化有兴趣吗？我很喜欢杰尼斯。我特别爱“关 8”。岚也很不错。我喜欢学英语和汉语，我要坚持下去。我想去游览长城。长城雄伟吗？我喜欢吃青椒，所以我想去中国吃地道的青椒肉丝。我非常想和大家交流。谢谢。

こんにちは！私は **MT** です。私は歌を歌うことが好きなので、合唱部に入っています。私の趣味は音楽を聴くことで、ビートルズなどのロックンロールが好きです。あなたの趣味は何ですか？私の好きな日本料理は納豆です。中華料理は麻婆豆腐とチンジャオロースが好きなので、中国で本場の中華料理を食べたいです。日本は楽しいし、おいしい食べ物もたくさんあるので、ぜひ来てください！さようなら。

你好！我叫 **MT**。我是国际情报高中三年级的学生。因为我喜欢唱歌，所以参加合唱部。我的爱好是听音乐，我喜欢披头士等的摇滚。你的爱好是什么？我喜欢的日本菜是纳豆。因为我喜欢的中国菜是麻婆豆腐和青椒肉丝，所以想在中国吃地道的中国菜。日本有很多快乐，好吃的食物，请一定要来！再见。

付録3 5.1.1.1 「あいさつ・自己紹介」第1回遠隔交流記録スクリプト

凡例：教師＝L／中国人学生・女＝SG／中国人学生・男＝ZHD, PWH／日本人学習者＝KBY, YG, YZ

灰色アミカケは第5章スクリプト抜粋箇所

(セッション1)

L：好了，现在跟两个同学见面打个招呼，好不好？こんにちは!どうぞ

SG：你好

KBY+YG：你好!你好!

SG：こんにちは

KBY：こんにちは

L：じゃあ，名前だけ一回言いますか？先说说他们的名字好吗？

SG：老师，我听不清

L：聞こえないのでちょっと大きめに，ゆっくりめに言いましょう

KBY：我叫 KBY

L：听见了吗？

SG：啊，听见了

L：听见了

YG：我叫 YG

SG：啊，你好

YG：你好

L：你说说你的姓名，用日语说一下

SG：轮到我了么

L：轮到你了，用日语和汉语说一下

SG：喂，老师

L：喂，喂，喂，能听见吗？

SG：有点卡，听不清

L：那现在把这个 Skype 关掉，通过 QQ 的语音交流，现在用 QQ 语音来通话好不好？

SG：断断续续的，听不清说什么

L：稍等一下

ぎりぎり聞こえないですね，今これを切ってさっき言った QQ に変えます

L：喂？

SG：喂？

L：喂 能听见了吗

SG：老师我听见了

L：好的好的

SG：听见了，听见了

L：那现在把麦克风传给我同学 请听一下他们作介绍

SG：好

L：じゃあ，自己紹介だよ

KBY：你好

SG：你好

KBY：我叫 KBY，我是情报高中三年级的学生 我参加茶道部

SG：喂？

L：ちょっと聞こえてないかな？喂，喂，听见吗？喂喂

SG：老师刚才听不清啊

L：よく聞こえないって言ったよね 我的声音能听见吗？现在我的声音听见吗

SG：现在能听见

L：あ，そう！じゃあ近づけて，ゆっくり言ったほうがいい

KBY：我是情报高中三年级的学生，我参加茶道部，我担任部长，我在学习汉语，我的生日是五月十六号，我家有四口人，爸爸，妈妈，奶奶和我，我的爱好是看棒球和听音乐，我最喜

欢的日本球队是日本火腿队，我最喜欢的音乐是 FTISLAND，我喜欢日本的流星花园，我喜欢吃和睡，我擅长书法，我想见大家

L：听见了吗？听清楚吗？

SG：听得不太清楚

L：あんまりはつきり聞こえてないね 是声音小还是卡住？

SG：老师？

L：哎！你说你说

SG：就是断断续续的一句话挺不完整

L：最初はいいんだけど，途中は切れちゃうんだ

是声音太小？还是我的声音也会断续？喂？喂？

SG：听不太清楚然后听得不完整

L：あんまりはつきり聞こえてないと言ってるんだよね

现在把麦克风传给另一个同学

再听一下，如果听得不太清楚的话，先关了之后再重新打

喂？听见吗？喂？能听见？喂？

ちょっとやってみる 出た

YG：喂？

SG：喂

YG：喂

SG：啊

L：聞こえてますね，じゃやっていきましょう

SG：呵呵呵

YG：ふふふ 你好

SG：你好

YG：我叫 YG

SG：好

YG：我是国际情报高中三年级的学生，我的生日是一月十九号，我参加茶道部，我喜欢听音乐，我喜欢日本人的摇滚乐团的色情…色情…？

L：sè qíng

YG：色情

L：tú yā

YG：涂鸦？涂鸦

SG：呵呵呵

YG：ふふふ

我想听中国的音乐，我从小学二年级开始练习小提…小提琴，我喜欢弹古典音乐和流行音乐，我没有去过外国，将来我学会汉语以后，想去游览中国，我非常喜欢吃饺子，我想吃中国地道的饺子，我很高兴和大家交流，谢谢！

L：能听清楚吗？现在清楚吗？喂？听见了吗？

SG：刚开始前半段挺清楚，前半段听清了，后半段没听清

L：是这样 途中から聞こえづらくなるっていうんだね

听到什么地方？她从小开始练习小提琴？听到了？

SG：听到了，然后她喜欢中国音乐，古典音乐，流行音乐，然后中间就断了，然后后来有听见饺子什么的

L：じゃあ，えーっとね，「外国に行ったことない」っていうところから，またそこから

她再说一遍，后半，你再听一下

YG：我没有去过外国，将来我学会汉语以后，想去游览中国

SG：好

YG：我非常喜欢吃饺子，我想吃中国地道的饺子，我很高兴和大家交流，谢谢！

SG：好 呵呵呵

L：听见了？

SG: 听见了
L: 那现在你说说简单的自我介绍好吗?
SG: 就是用汉语吧
L: 先用汉语说, 然后把同一内容用日语说可以吗?
SG: 现在说行了吗?
L: 可以了
SG: 我的家乡是黑龙江齐齐哈尔市, 外城县, 三道镇, 啊, 然后我现在在吉林省长春市, 在吉林华侨外国语学院, 喂?
L: 喂, 听见了, 刚才说的能听见, 现在华侨外语学院学习, 然后呢
SG: 然后我们家有三口人, 我爸爸, 我妈妈还有我, 然后我平时, 也有听一些小说什么的
L: 刚刚我平时的后半卡住了没听见
SG: 就是, 我平时除了学习以外, 就是在寝室, 同电脑听听歌, 看看电影, 用手机看看小说, 就是这些, 然后很高兴和札幌国际高中同学交流, 希望以后互帮互助相互学习吧
L: 好的
SG: 谢谢
L: 那你也联系一下日语的会话吧, 刚才的内容用日语再说一遍, 同一个内容
SG: 私のふるさは黒竜江省, 齐齐哈尔不会说
L: 直接说齐齐哈尔就对
SG: チチハル, 吉林華僑外国語学院の日本語学部の二年生です, (笑い声) あー…えー…私の趣味は音楽を聴くとか, 小説を読むことです, (笑い声) 今日はほんとに嬉しいです, 皆さんに知り合って…知り合って, とてもうれしいです, これからはお互いに勉強していきましょう, 一緒に頑張りましょう, ありがとうございますー
L: 很好, 说得很好! 现在还有一个同学, 他下课就跑来了, 重新打开 Skype, 通过视频看看他长什么样子好吗?
SG: 好
L: 好
SG: 哎?
L: 你说
SG: QQ 要不要断啊
L: 好的, 先断掉
(中断)
SG: こんにちは
YZ: 初次见面 こんにちは 初次见面, 我叫 YZ, 请多关照
SG: 请多关照
L: 请开始自我介绍
YZ: 我一直在北海道, 我的生日五月十二号, 那个, 我是国际情报高中三年级的学生
L: 聞こえてるかな? 大丈夫そうですよ, どうぞどうぞ
YZ: 我在学校学习外语
L: そうそうそういう流れですよ
(中断)
SG: 你好
YZ: 你好 どこまでですか?
L: 誕生日ぐらいまでです
YZ: 我在学校学习外语, 我喜欢学习汉语, 学习的一定也棒, 汉语, 我的爱好是听音乐, 那个, 我喜欢美丽的神话, 喂喂喂, 我喜欢美丽的神话这首个, 喂喂 你知道吗?
L: 你听见了吗? YZ 的声音, 能听得清楚吗?
SG: 哎, 老师, 他刚才说到汉语之后就全卡住了
L: 「中国語が好きです」から先がとだえてしまいました
那我们继续语音通话, 让他继续说好吗?
SG: 他刚才说到汉语那就卡住了

L: 让他继续说

YZ: 我的爱好是听音乐, 我喜欢美丽的神话, 你知道吗? 我很喜欢吃水饺子, 我们在学校包过水饺

SG: 饺子

YZ: 对, 饺子 很多好看, 味道很好

SG: 啊

L: 啊 そうだ

YZ: 你喜欢什么日本菜?

SG: 他说什么我没有听清

L: もう一度

YZ: 你喜欢什么日本菜?

SG: 日本菜啊?

YZ: 啊 对

SG: 我现在还不知道什么日本菜

L: 日本料理はまだわからないですって
みんな方法を教えてあげよう 何がいいかな

SG: 没有吃过也就是没有喜欢的吧

L: 食べたことがないよね どうぞ

YZ: 我喜欢的演员成龙和李连杰, 我很喜欢看他们的电影

SG: 你都看过他们的什么电影啊?

YZ: 啊 那个 じゃ なんだろうな

L: 次回だね 给他留作业, 他不知道中文叫什么

YZ: 我学习中国武术

SG: 你学习什么? 中国武术啊

YZ: 太极拳

SG: 你学的好吗?

全体: 好! 很好

YZ: 我其次喜欢看功夫了 我是运动员 现在我是太极拳的运动员

SG: 你是什么的运动员?

YZ: 我是太极拳的运动员

SG: 我不明白什么意思

L: 他是太极拳的运动员, 正式的运动员, 是这个意思

YZ: 是从小时后练习 我学习太极拳

SG: 你练习多长时间了?

YZ: 三年前我参加国际比赛了

SG: 成绩怎么样?

L: 成績はどうですか

YZ: 我是冠军

SG: 厉害!

YZ: 你练习过中国武术吗?

SG: 我没有练过, 但是, 我, 念大一的时候, 我们有晨练, 我们晨练是练太极拳, 但没有你那么厉害

L: 差不多 那现在时间到了, 下面的同学在等你 所以我们今天就做到这吧, 那下周我们再联系, 如果你有空的话, 再参加交流

SG: 谢谢老师

L: 那最后就说拜拜啦

全体: 拜拜!

(セッション 2)

KBY：你好

ZHD：你好，你好

KBY：我叫 KBY，我是情报高中三年级的学生，我参加茶道部，我担任部长

(接続中断、再接続時に中国側の人数が突然増えていて驚き、爆笑、切断と再接続を何度か繰り返し替える)

L：「从茶道部」から，もう一回どうぞ

KBY：我参加茶道部，我担任部长，我现在学汉语

ZHD：嗯

KBY：我的生日五月十六号

ZHD：五月十六号，十六号吗？誕生日は5月16日ですか？

全員：おおーすごいー

L：うん，聞き取れましたね

KBY：我家有四口人，爸爸，妈妈，奶奶和我

L：Wǒ

KBY：我

ZHD：呵呵

KBY：ふふふ

L：わかったようです

KBY：我的爱好是看棒球和听音乐

ZHD：野球と音楽ですね

YG：すごーい

KBY：我最喜欢的棒球队是日本火腿队

L：huǒtuǐ, huǒtuǐduì

KBY：火腿队

KBY：我最喜欢的…

ZHD：聞こえますか？

L：听见听见 聞こえますよ

(接続中断、接続状況確認、中国側から映像が見えなくなったため音声チャット継続)

L：音楽からどうぞ

KBY：我最喜欢的音乐小组是 FTILAND

ZHD：はい

KBY：我喜欢日本的《流星花园》，我喜欢吃和睡，我擅长书法

L：shūfǎ

KBY：书法，我想见大家，谢谢，へへへ…

L：わかったかな？

ZHD：(拍手の音) 鼓掌! 上手ですね

全員：おおー！！ははは

L：じゃあ YG どうぞ

YG：你好!

ZHD：上手，上手，上手

KBY：わあーやっただあー

L：よかったね，ははは

YG：我叫 YG

ZHD：你好! はじめまして，よろしくお願ひします

YG：よろしくお願ひします

我的生日十一月十九号，我参加茶道部，我喜欢听音乐，我喜欢日本人的摇滚乐团的色情涂鸦，我想听中国的音乐

ZHD：哦!

YG: ふふふ

我从小二年级开始练习小提琴，我喜欢弹古典音乐和流行音乐，我没有去过外国，将来我学会汉语以后，想去游览中国，我非常喜欢吃饺子，我想吃中国地道的饺子，我很高兴和大家交流，谢谢

L: いいねえ，じゃ，YZ

YZ: 你好

ZHD: 你好

YZ: 我叫 YZ，请多多关照。我一直在北海道，我的生日五月十二号，我主要在学校学习外语，我喜欢学习汉语，学习了两年半汉语，我的爱好是听音乐，我喜欢美丽的神话，你知道吗？

ZHD: 听音乐

YZ: 我喜欢美丽的神话，你知道吗？

ZHD: 我知道，但没看过

L: うたってみて！给他个作业，让他练习

YZ: 我很喜欢吃饺子

ZHD: 吃饺子

YZ: 我们在学校包过水饺

ZHD: 包过水饺

YZ: 那你们喜欢什么日本菜？

YZ: 那你们喜欢吃什么日本菜？

ZHD: お好み焼き

YZ: 我喜欢的演员成龙和李连杰

ZHD: 成龙和李连杰

YZ: 我很喜欢他们的电影

ZHD: ちょっと なんか

YZ: 我学习中国武术，我几岁的时候开始练功夫了？

ZHD: 几岁就开始练习功夫了？噢噢！！

YZ: 我是运动员，现在我是太极拳的运动员

ZHD: 鼓掌

ZHD: 彼女いませんか？魅力的な

YZ: 谢谢 三年前我参加国际比赛了，你见过练过中国武术吗？

ZHD: 体重？

YZ: 体重？

L: 個人情報です

YZ: 68 公斤

L: 健壮！你和 你的同学，同屋同学也用日语做个日语介绍好不好？

ZHD: 能看见我吗？

L: 看到了

ZHD: 我看不到你们啊

L: 关了之后重新打开好吗？我们看的很清楚

(中断)

PWH: 皆さんこんにちは PWH と言います

吉林華僑外國語學院で、日本語を勉強しています、音楽をやって、四年間たっています、ギターを弾くのが好きです

L: 用汉语问几个问题吧 看看他们能不能听懂？

じゃ一人一つずつ答えましょう 好的，PWH，请说

PWH: 大家每天都很忙吗？

KBY・YG: ええー

L: はい，今のは何と言ったか聞き取れましたか？

KBY: ひええーわかんない…

L: わかんない，请您慢点说，他们没听懂

PWH：大家每天都很忙吗？
 全員：ええー？ははは（笑）
 L：大家，每天，都，很，忙，吗？
 PWH：大家，大家，每天，都，很，忙，吗？
 L：大家，大家，みなさんですね，每天，每天，わかりますか？每天
 L：毎日ね
 YG：あ，毎日
 L：都，很，忙，吗？你忙吗？
 L：你忙吗？还可以，一番最初の頃にやりましたね
 YG：あ，まあまあです，みたいなやつでしょ
 YZ：そうそうそう
 YG：これだー！
 YZ：そう，それ，そう
 L：はい，教えてください
 KBY：ふふふ（笑）まあまあでいいかな，还可以
 PWH：はい
 YG：ははは（笑）还可以！
 全員：はははは（笑）
 YZ：我很忙
 全員：ははは（笑）
 L：なるほど，なるほど，じゃあ，みなさん忙しいかどうか聞いてみて
 YG：他们
 L：あ，你们 だね
 全員：ははは（笑）
 YG：あ，你们！你们！あはは（笑）你们！你们忙吗？
 PWH：我们？もう一度お願いします
 YG：你们，你们？
 KBY：你们，你们
 YG：你们忙吗？
 PWH：啊，我们忙，忙死了！
 YZ：ははは（笑）
 L：忙死了！死にそうに忙しいそうですよ
 YG：へえー！
 L：辛苦辛苦，お疲れさまって言ってあげて，辛苦了
 KBY：辛苦了！
 PWH・ZHD：哈哈哈（笑）
 全員：ははは（笑）
 YZ：你有女朋友吗？
 PWH：有
 L：（小声で支援：写真見せてください）
 YZ：请给我们看看照片
 YG：太好了
 全体：（画面越しに写真を見て）ええー！？
 全体：太好了！羡慕！！
 L：那今天他们事先做好准备的，差不多就是这个样子吧，今天是第一次，我们就互相认识认识，下周以后他们在课堂上做好准备，交流时就用那些资料交流可以吗？
 PWH：わかりました
 L：谢谢，那今天就到这吧
 L 全体：拜拜！

付録4 5.1.1.2 「あいさつ・自己紹介」第2回遠隔交流記録スクリプト

凡例：教師＝L／中国人学生・男＝ZHD, PWH／中国人学生・女＝LYT, SG／日本人学習者＝HM, FY

灰色アミカケは第5章スクリプト抜粋箇所

HM・FY：你好
PWH：こんにちは
HM・FY：こんにちは
HM：你好，初次见面，我叫 HM，我今年 18 岁，我正在学汉语，汉语很难，我学汉语很开心，我喜欢弹钢琴，我从 5 岁开始练弹钢琴，我的爱好是看电影，如今最受欢迎的中国电影是什么？我想去游览中国，请多指教，再见
全員：あははは（笑）
L：ちょっと焦っているからね 早くなっちゃったよね
能听见吗？分かっていますね 大丈夫かな？
ちょっとゆっくりめに言った方がいいですね じゃあ FY どうぞ
FY：はい，じゃ，いきまーす
你好！你好！我叫 FY
HM：あはは（笑）
PWH：你好
FY：我叫 FY，我是国际情报高中三年级的学生，今年 18 岁，我家有六口人，爸爸，妈妈，哥哥，姐姐，弟弟和我，我正在学汉语，我觉得汉语很难，我没有特别的爱好，我想找找我的爱好，我喜欢日本的偶像，特别喜欢杰尼斯的嵐，我喜欢嵐的大野，我想去中国，想游览名胜古迹，有什么好吃的中国菜吗？请教我吧
FY：分かりましたか？
（接続不良により一時中断）
L：聞こえましたか
PWH：聞こえます すごいですねえー
HM・FY：あ，ははは（笑）谢谢！
PWH：上手ですね，中国語 你们的汉语真不错
HM・FY：わあーい！イエーイ！
FY：ありがとうございます！
L：よかった！っていう時，何と言うんでしたか？
HM：あ，太好了
FY：そうだー！
L：そうですね！よかったね 太好了！じゃあ，PWH の自己紹介もお願いしてもいいですか？
PWH：はい 聞こえますか？
HM・FY：聞こえますよ
PWH：私は PWH といいます，私は大学 2 年生です，時々韓国に旅行に行きます，私は大学 3 年生で，そろそろ卒業して，社会人になります，趣味は，水泳をしたり，サッカーをすることです，また，私は朝鮮族なので韓国語もできます
HM・FY：おおー！すごい
PWH：時々，韓国料理も作ります
HM・FY：おおー！へえー
PWH：もし機会がありましたら，手作りをしてあげます
HM・FY：ええー！あはは（笑）イエーイ！！
L：えー，食べたいねえ！ははは（笑）
PWH：以上です
HM・FY：すごい，すごい
L：じゃあ，何か聞きたいことがありますか？
PWH：あ，何か質問ありますか？
L：今，こちらから質問を

HM・FY：何がいいだろう…うーん，うーん…
L：あ，じゃあ，少し待ってもらってもいいですか？
質問したいことを考えて，中国語でそれを言う練習をして，それをそちらへお話をしますね
ちょっと待ってくださいね
PWH：はい
HM：趣味は何ですか？我的爱好是什么？
L：あ，「あなた」，「あなた」ね
HM：あ，你的，你的爱好！私の趣味になっちゃうよね
FY：あははは（笑）聞いてたんだ
全員：あはは（笑）
L：你的爱好是什么 いいですね
じゃあ，何にしますか？一人1個ずつ考えよう
FY：これにしようかな…有什么好吃的…中国菜
HM：ああ，いいじゃん，いいじゃん
L：いいですよ，一人ひとつずつね，じゃあ，一人ひとつずつ質問をしますね
PWH：はい，分かりました
HM：你的爱好是什么？
PWH：私の趣味は水泳とサッカーをすることですね
FY：おおー
L：PWH 同学请用汉语说一下，让她们听
PWH：我的爱好是游泳，还有踢足球
L：游泳 覚えていますか？
HM：游泳…スイミング
L：うん，そうそうそう
FY：ああー
L：サッカー覚えていますか
FY：zú, zú, piú?
L：piú！？piú という発音はないんだよね
HM・FY：qiú 足球
L：そうそう，それ！覚えてましたねーいいですねー，踢足球，じゃあ，次の質問をどうぞ
FY：有什么好吃的中国菜吗？
PWH：你喜欢吃什么样的中国菜？
L：你，喜欢，吃，什么样的，中国菜？什么，中国菜
HM：ああー！
FY：青椒，青椒肉丝
PWH：青椒肉丝，是吗？喜欢辣的是吗？
L：あとは，喜欢，辣的嗎？辣 は「辛い」ですね 好きか嫌い
HM：ああー！
FY：苦手！
L：じゃあ，「辛いのは好きじゃない」言ってみましょう
FY：我不喜欢辣的
PWH：你喜欢吃甜的吗
（接続不良のため中断）
L：甘い味が好きですか？
FY：喜欢，喜欢
L：长春有什么好吃的吗？
PWH：长春？长春有很多好吃的
FY：很多？
L：很多 たくさんありますね
HM・FY：ああー！うん

L: あれ,「チャンスがあったら」っていう文作ったの FY じゃなかったっけ? あ, KB か, そうね
「チャンスがあったら行きたいです」と言ってみたいんですが 有机会的话

HM・FY: 有机会的话

L: 机会 は「チャンス」という意味です

HM: へえー

FY: 我有机会的话…

L: 长春 長春です, 彼らは

FY: 长春…

HM・FY: 我想去长春

L: よし! 忘れないうちに言おう

FY: あはは (笑) 忘れちゃう

FY: 有机会的话, 我想去长春

PWH: 欢迎你们的到来

HM・FY: うん!

L: 欢迎 ですね 欢迎欢迎 待ってます
じゃあ, PWH さん彼女たちに質問がありますか?

PWH: そろそろ, 高校が終わったら, 大学に進学する時ですね 卒業したらどうしたいですか

HM: 歯医者さん dentist

L: 歯医者さん?
そしたら, 彼女たちが将来何をしたいか, またちょっと中国語で答えますので, 少し待って
くださいね

PWH: はい

L: 歯医者さんになるね とりあえずそれを言おう

FY: まだわかんないですねー

L: まだわからない じゃあそれを言おう

L: じゃあちょっと書いてみよう
「〇〇になりたい」は, 「〇〇したい」と最初同じです

HM: 我想

L: そう 中国で歯医者「牙 (きば)」「科 (か)」と言う

HM: 牙科 (きばか)! あはは (笑)

L: 我想当牙科 (紙に書いて見せる)
まだ分かりません 「分かりません」覚えてる? 「知らない」「分からない」

FY: 我是…我喜欢…

L: 「知っている, わかる」は「知道」 「知らない」は

FY: 不知道

L: そうそう 「まだ〇〇しない」「まだ決めていません」

FY: 还没…还没决定

L: いいですねー じゃあ, それを言いましょう

HM: これ, 一声, 二声, 一声, 一声ですか?

L: そう, 後ろ全部一声, うん

HM: 牙科医生

L: そうそうそう 彼女たち準備しましたので, これから言います HM どうぞ

HM: 我想当牙科医生

PWH: え? もう一回お願いします

HM: 我想当牙科医生

PWH: 啊, 牙科医生? お医者さんですね

L: 对对对 じゃあ, 次 FY

FY: 我还没决定

PWH: 喔喔, まだ考えている

FY: はい, まだ考え中です

PWH：もうひとつ質問してもいいですか？
 HM・FY：どうぞ
 PWH：では、いままで最もありがたく感じている人はどなただと思いますか？
 L：おおー、誰に感謝しているか
 じゃあ、家族の言い方で、あるいは先生とか、知っている言い方
 HM：妈妈 かな
 L：うん、じゃあ、その前に「感謝」を入れましょう
 HM・FY：感谢，感谢
 HM：我感谢？
 L：そう，「感谢」，人
 HM：我感谢妈妈
 PWH：喔喔
 HM：ふふふ（笑）
 FY：我感谢爸爸妈妈…です！
 HM：你呢？
 PWH：私ですか？私も両親です
 L：同じかー 同じですね 同じはどう言いますか？一 样yíyàng）
 HM・FY：一样，一样
 L：还有什么问题吗？
 PWH：今，学校でどのような科目が好きですか？
 HM：体育
 L：体育は，tìyù
 HM：体育，体育和中国
 L：あ，汉语
 HM：あ，汉语汉语
 PWH：喔喔
 全員：あはは（笑）
 FY：え，でも勉強が嫌いなんだけど
 HM：あはははは（笑）
 L：あ，じゃあ，それ！それ言って！好きではない
 FY：不喜欢？我不喜欢，学习
 PWH：喔？呵呵呵（笑）
 FY：サイテーだな！あはは（笑）
 HM・FY：你呢？
 PWH：私は体育が好きです
 L：じゃあ「あなたはスポーツが好きですか」と聞いてみて
 HM：えーっと…你喜欢不喜欢体育？
 PWH：我喜欢
 HM・FY：ふふふ（笑）
 L：会話練習ですね
 PWH：ZHD が来ました
 L：ああ！もう一人の人ね！张同学你好！这次他去你的房间，这次你来他的房间
 HM・FY：你好！
 L：张同学来了，所以重新做一下自我介绍好吗
 もう一度，彼のために自己紹介を言ってみて 何度も練習してください
 HM：你好，初次见面，我叫 HM，我今年 18 岁，我现在学汉语，汉语很难，我的汉语很开心，我喜欢弹钢琴，我从 5 岁开始练弹钢琴，我的爱好是看电影，目前最受欢迎的中国电影是什么？
 我想去游玩中国，请多指教
 L：关照
 HM：关照，再见，ふふふ（笑）

ZHD：はい、よろしくお願いしまーす

L：では、FY も

FY：你好,我叫 FY, 我是国际情报高中三年级的学生, 今年 18 岁, 我家有六口人, 爸爸, 妈妈, 哥哥, 姐姐, 弟弟和我, 我正在学汉语, 我觉得汉语很难, 我没有特别的爱好, 我想找找我的爱好, 我喜欢日本的偶像, 特别喜欢杰尼斯的岚, 我喜欢岚的大野, 我想去中国, 想游览名胜古迹, 有什么好吃的中国菜吗, 请教我吧

ZHD：啊~~呵呵~~青椒肉丝~~

(接続不良のため一時中断)

L：今日は、彼らは文化祭があったそうですよ

HM：太好了！

HM・FY：あははは (笑)

L：ZHD たちは文化祭で何かやりましたか？

ZHD：1, 2 年生の時は頑張ってやりました 今はもう 3 年生ですから、人を教えたり

L：ああ、後輩を指導する係になりましたか

ZHD：あまりやっていないですね

全員：あはは (笑)

L：何をしたか聞いてみようか

HM：你做什么？

L：その前に「文化祭」を付けようか 文化节 (wénhuà jié)

HM：文化节你们做什么？すいません、もう一回 文化节你们做什么？

HM・FY：文化节你们做什么？文化节你们做什么？

ZHD：一年生の時は剣道をやったことがあります

HM・FY：へえー！剣道

HM：おおー太好了！あはは (笑)

L：PWH もやりましたか？

PWH：日本語の歌を歌いました

L：なるほど一歌を歌ったんだ じゃあ、「何の歌を歌いましたか」と聞いてみましょうか

HM：你唱了？你唱什么？

PWH：あ〜♪♪♪

L：あ、何か歌ってる でも えっ？声音卡住了、没听清楚

PWH：もしもあな〜たに〜あえずにい〜たら〜♪ (歌)

L：おおー！テレサテンだ！

HM・FY：ああー！！あはは (笑) 知ってる、シブい！シブい！

PWH：你们会唱吗？

L：你们会唱吗？ちょっと無理かな

HM・FY：えー…テレサテンはちょっと無理、知らない

PWH：ちょっとしぶすぎる

全員：あはは (笑)

L：でもいい曲ですよ 名曲ですね

日本でも文化祭の時みんなも歌を歌いますよね 何の歌を歌いましたか？

PWH：是非歌ってください どうぞ

L：她们文化节也一个合唱的, 集体唱歌的一个比赛

勇氣 100%? WINNDING ROAD? じゃあ一節それぞれ (笑) ちょっと歌いますよ

HM：がっかりして♪めそめそして♪どうしたんだい♪太陽みたいに笑う♪きみはどこだい♪ (歌)

PWH：おおーすごい (拍手)

L：あーその歌かあ なるほど 他们班唱的这首歌 もう一つあるのね

FY：私は「一曲がりくねった♪道の先に♪待っている幾つもの♪小さな光♪ (歌)」っていう歌です！ふふふ (笑)

HM：難しい

PWH：歌詞がわからないですけど、とってもよかったです 哈哈（笑）
 HM・FY：あはは（笑）
 L：難しいですね 聞いたことがありましたか？听说过吗？她们唱的这首歌
 PWH：いいえ 呵呵（笑） まだ知らない
 L：あはは（笑）知らない 最近の曲ですね 最近流行の曲ですね
 HM・FY：（頷き）
 PWH：なんか、グリーン？あした♪きょうよりも♪
 HM・FY：GReeeeN！キセキ、キセキだ
 PWH：とても流行っていた曲です
 FY：去年だったっけ？歌ったの
 HM：うん、去年か
 L：她们去年唱过了
 啊，不好意思，另一个同学打电话过来说要参加交流，所以时间到了，我们这次到此结束吧
 然后下次 6 月 14 号我们重新做一下练习，交流
 PWH：はい 楽しみにしてます
 L：はい ありがとう じゃ、最後あいさつ
 HM・FY：谢谢，再见！拜拜！

（セッション 2）

L：能听到但是有点卡
 LYT：我们要聊点什么？那我说了 你们可以自我介绍，或者说点什么
 L：那首先在左边的同学，由她来做介绍
 HM：你好，初次见面，我叫 HM，我今年 18 岁，我现在学汉语
 L：声音有点卡，刚刚问她什么？声音有点卡住了
 （接続不良のためテキストチャットで状況確認、再接続を繰り返す）
 HM・FY：你好
 LYT：声音能听得到吗
 L：能听到
 HM：我现在学汉语，汉语很难，我的汉语很开心，我喜欢弹钢琴，我从 5 岁开始练弹钢琴，我的爱好是看电影，如今最受欢迎的中国电影是什么，我想去游玩中国，请多关照，再见
 L：听见了吗？她的介绍听见了吗？
 LYT：听见
 FY：你好
 LYT：听见了，她说她喜欢弹钢琴
 FY：你好！我叫 FY，我是国际情报高中三年级的学生，今年 18 岁
 LYT：你好！
 HM・FY：ふふふ（笑）
 FY：我家有六口人，爸爸，妈妈，哥哥，姐姐，弟弟和我，我正在学汉语，我觉得汉语很难，我没有特别的爱好，我想找到我的爱好，我喜欢日本的偶像，特别喜欢杰尼斯的嵐，我喜欢嵐的大野，我想去中国，想游览名胜古迹，有什么好吃的中国菜吗？请教我吧
 FY：ちょっと時差あったよね
 HM：ふふふ（笑）あったね、この辺に
 L：她说完了
 LYT：听见了
 我觉得比较好吃的有青椒肉丝…还有饺子，红烧肉，北京烤鸭，还有
 FY：烤鸭？
 L：北京，烤鸭，北京
 FY：北京（ペキン）…ダック！
 HM・FY：ふふふ（笑）
 LYT：反正中国料理很好吃

FY：うんうん

L：じゃ、好きな日本料理聞いてみますか？さっきの文のここを「好き」に変えればいいですね

FY：有什么好吃, 喜欢? 喜欢的日本菜吗?

LYT：啊~~

HM：考えてる, ふふふ (笑)

LYT：我比较喜欢吃日本的, 哪个, 日本的寿司

L：寿司 すしですね

HM：ああー好吃!

HM・FY：ふふふ (笑)

L：那你用日语说一下 何か好きな日本料理がありますか?

LYT：生鱼片, 咖喱饭也喜欢吃

L：咖喱饭 カレーですね あと 生鱼片

HM・FY：おおー!

LYT：做起来也比较容易 そして, あー…とうふ, えび

L：えびの寿司かな

HM・FY：ああーおいしいね

LYT：ビールを飲みます

HM・FY：あはは (笑)

L：ビール? ははは (笑) ビールも飲みますね もう大学生だから

LYT：聞こえますか

HM：聞こえます

L：聞こえますよー えびのお寿司ですね

LYT：北海道の美味しいもの

L：じゃあ北海道の美味しいもの みなさん何でしょう

HM：カニ?

L：北海道はカニが美味しいですね カニはね, 螃蟹

FY：いも

HM：いもだよね!

L：いも? いもはね, 土豆 (紙に書いて見せる)

LYT：螃蟹! 哦!

FY：土豆, 土豆

L：有画面的话声音会卡 现在能不能通过语音交流来说一下

LYT：啊, 好的, 说什么呢

L：今天就介绍一下文化节的情况吧 你可以用日语介绍一下你们文化节做些什么活动
(接続不良のため一時中断、再接続)

LYT：今日とても賑やかです, うちの学校はいろいろな学部があります, たとえば, ドイツ語学部, 韓国語学部, 日本語学部, 中国語学部, 学部によって, いろいろな活動があります, たとえば, 私は日本語学部の学生です, だから私たちの学部はお寿司を売ります, 飲み物も

HM・FY：ええー! いいなー! こっちより楽しそう

LYT：韓国語学部は, 何? お餅のような食べ物, 踊り, 韓国の踊りです

HM・FY：へえー

LYT：そして, ロシア学部はダンスと焼肉, 私はたくさん食べました

HM・FY：へえーあはは (笑)

HM：太好啦!!

LYT：先生, 先生, あとは私今日の撮った写真を QQ で先生に見せます

HM・FY：おおー!

L：谢谢! 可以可以

LYT：QQ で 以上です

HM・FY：ええーすごい! ほんとに一!?

LYT：コスプレもありますよ

L: すごいなあ 何のコスプレなんだ 有什么コスプレ?

LYT: 女仆 中国語で

L: ああ, はいはい メイドさんだ

HM・FY: ああー! メイド服だ! あはは (笑) すごいねー!

LYT: 忍者

L: 忍者とか アニメキャラかな

LYT: いろいろ分からない名前の 呵呵 (笑)

L: じゃあ, 「写真を見せてください」を言ってみましょうか

HM・FY: 请给我?

L: うん, 見る

HM・FY: 看?

L: うん, 写真

FY: なんだっけ…肝心な…

L: そう, 照片

HM: 照片 続けて言うと…

FY: 请给我…看…照片

HM・FY: 请给我看照片! あはは (笑)

LYT: 呵呵 (笑) 今は…友達のカメラに…

L: ありますか

LYT: はい, あります

L: じゃあ今度また見せてもらおう

LYT: 今夜はたぶん QQ 空間 先生知ってますか

L: わかりますよ

LYT: QQ 空間で先生に見せます

L: ありがとうございます

この QQ のソフトにクラウドグループみたいのがあってね, それで見せてくれるって

LYT: 先生, 私の QQ 空間で去年の学校の文化祭があります, 去年, 今, 去年の文化祭の写真が持ってます

(QQ 空間への接続作業)

L: 看到了看到了 你的照片

HM・FY: ええー! 可愛い!

L: 可愛いね! すごく

进入可以, 成功了成功了 然后看到你穿浴衣的照片

HM・FY: えーすごい 可愛いー

LYT: 对对对 这个相册里是去年文化节的照片 去年の

L: 新しいのは後で見せてもらいますね, すごいね, たくさんあるね, すごい, これはたくさんだ

HM・FY: すごい!

L: すごいね, 本格的 好好看啊

HM: 漂亮!

LYT: 谢谢!

全員: あはは (笑)

L: あ, ダンスだこれ 社交舞的比赛

HM: すごい!

LYT: 这可能是系里的コスプレ

HM・FY: すごいねー! へえー, おー可愛い! 楽しい! わあー! すごいクオリティ高い

L: すごい賑やかですね 好热闹, 气氛很好

LYT: 来週は日本文化祭もあります

HM・FY: へえー 日本文化祭って何

HM: 你们做什么?

LYT: 我们班是跳舞

L: 跳舞 ダンスですね
 HM・FY: あー
 L: 是最近的流行舞吗, 还是传统的日本舞蹈
 LYT: 一年生は歌です, 二年生はダンス, 三年生は演劇です, 私は今二年生です, だから来週ダンスします
 HM・FY: あはは (笑)
 L: 是非ダンスの写真を今度送ってください
 LYT: はい (笑)
 HM・FY: これ制服?
 L: 现在看到你穿制服的照片了
 LYT: これは日本文化祭のコンテストの 負けました
 L: でもいいんですよ, 参加することに意味がありますからね
 HM・FY: えーすごーい
 L: 池のほとりに美女が立ってる ふふふ (笑)
 HM・FY: ふふふ (笑)
 L: 美女は「美女 měinǚ」と言います (紙に書いて見せる)
 HM・FY: 美女? 你是美女!
 LYT: ハハハ (笑) 谢谢! 你们也很可爱!
 全員: あはは (笑)
 L: みなさんもかわいいですって
 HM・FY: いえいえいえいえ あはは (笑)
 L: 李同学那现在时间差不多了 我们下次 6 月 14 号再交流吧
 LYT: 好的
 HM・FY: 谢谢, 再见!
 LYT: 再见!
 HM・FY: なんかすごいね, めっちゃ楽しそう
 L: すごいよね 大規模にやってますよね
 HM・FY: いいなー! いいなー! めっちゃ楽しそう! うらまやしい!
 FY: 学校きれい! ちょっとネットで調べておく
 HM: あはは (笑)

(セッション 3)

HM・FY: 你好! 你好!
 SG: 你好, 哈啰!
 L: 看到了, 我们先通过视频交流一下, 如果途中不太方便的话切换成语音交流, 好吗?
 SG: 嗯, 你好!
 HM: 你好, 初次见面, 我叫 HM, 我今年 18 岁, 我现在学汉语, 汉语很难, 我的汉语很开心, 我喜欢弹钢琴, 我从 5 岁开始练弹钢琴, 我的爱好是看电影, 如今最受欢迎的中国电影是什么, 我想去游玩中国, 请多关照, 再见
 L: 全都听见了吗? 现在就换成语音交流吧 然后下面还有一个同学准备了自我介绍
 (接続不良のためビデオチャットから音声チャットに切り替え)
 SG: 好的
 FY: 你好
 SG: 你好
 FY: 我叫 FY, 我是国际情报高中三年级的学生
 SG: 三年级呀?
 FY: 三年级? 三年级, 今年 18 岁
 SG: 嗯, 哦
 FY: 我家有六口人, 爸爸, 妈妈, 哥哥, 姐姐, 弟弟和我
 SG: 很幸福

HM：ふふふ（笑）
FY：我正在学汉语，我觉得汉语很难
SG：你学了几年了呀？
L：学了几年了？学了，几年？几年？
FY：几年？一…一年
SG：一年 呵呵（笑）
FY：我没有特别的爱好
SG：咱们两个差不多 呵呵（笑）
L：似たようなものだと言ってますよ
FY：ふふふ（笑）
我想找到我的爱好，我喜欢日本的偶像，特别喜欢杰尼斯的嵐，我喜欢嵐的大野，我想去中国，想游览名胜古迹，有什么好吃的中国菜吗，请教我吧
SG：我是东北的嘛，然后我，东北菜有锅包肉，还有猪肉炖粉条
L：你能不能在文字的栏目上输入一下，她们不知道是什么汉字
SG：用汉字是吗？
L：对对对，锅包肉啊，现在输入一下吧
SG：看见了吗？
L：看见了 饺子はわかるよね
HM・FY：うん，わかる，饺子
L：鱼香肉丝，ひき肉の辛い料理なんですよ，锅包肉，わりとメジャーな，豚肉の揚げたやつでちょっと甘辛な，猪肉炖粉条
FY：お腹減ったー！あはは（笑）
L：お腹がすいた言ってみましょうか
HM：あの，死にそうなやつ 饿死了！
SG：（画面上で頷き）看懂了吗？
L：看懂了 好吃的中国菜 メモしてください 现在她们作笔记
SG：啊，作笔记呀
チャンスがあれば，中国に来て，あー…食べてみてください
L：食べたいですね 写完了吗？
L：那你也用日语做一下自我介绍吧
SG：我做个简单点的吧，说多了也不太会
L：嗯，简单的就可以
SG：私は SG です，吉林華僑外国語学院の日本語学部の二年生です，私の故郷は黒竜江省です，趣味は，今はない，呵呵（笑）
HM・FY：あはは（笑）同じ
SG：家族は三人がいます，父，母と私です，呵呵（笑）就这些吧，呵呵（笑）
L：このぐらいで，では何か質問してみましよう
さっきの映画のところ聞かなかったね，もっかいそのところ聞いてみましょう
HM：目前最受欢迎的电影是什么？
SG：现在最出名的中国电影啊
L：对，有什么比较有人气的吗？
SG：我前几天看一个就是还算比较新的一个 就是《爱 Love》是一个香港的电影
L：香港の映画で何日か前に見たんですね
HM・FY：ああー
SG：面白いです
L：中文题目叫什么，也是 I love 吗？
SG：中文就是前面是汉字的爱，后面是英文的那个 Love
L：漢字の「愛」に英語の「Love」で「愛 Love」という映画 分かりやすいですね
HM・FY：へえー覚えやすい
FY：love love だ lovelove ははは（笑）

L: ラブラブだね ははは (笑)

SG: 主人公はハンサムです

L: それ重要! とても重要です

HM・FY: あはは (笑) 太好了!

SG: ハハハ (笑) 现在日本有什么好看的电影吗?

L: 在日本有什么好看的电影吗? この質問が返ってきました

HM・FY: なんだろう…日本? 洋画?

FY: 「ダークシャドウ」とか

HM: 日本では、今「ダークシャドウ」が人気です

SG: もう一度お願いします

HM: 「ダークシャドウ」という映画が日本では人気です

HM・FY: ジョニー・デップ ジョニー・デップの

SG: 老师我没听懂 呵呵 (笑)

L: 约翰尼德普的一个怪物电影, 是恐怖片, 也不算恐怖片, 约翰尼德普的电影很受欢迎

SG: 哦, 哦, 我喜欢看爱情电影

L: ラブストーリー 爱情 电影 「愛情」「映画」ですね

HM・FY: ああー へえー ラブストーリーが好きなんだ

FY: 最近のラブストーリーかあ

L: 何かあるかな, 最近の話題の映画 「メン・イン・ブラック」ぐらいしか思い浮かばない

HM・FY: あはは (笑) うん

L: 好みが分かれるからなあ 知ってる人は知ってるかもしれないけど

HM: 映画で?

L: 映画とかドラマとか

FY: 愛といたらもう「世界の中心で愛を叫ぶ」しか思い浮かばない

L: セカチュー! (笑)

FY: もう, これは泣く

L: 目前没有特别受欢迎的爱情电影

SG: 老师爱情电影日本怎么说呀?

L: ラブストーリー 爱情就是「ラブ」, 故事是「ストーリー」

SG: ラブストーリー

L: 电影也好, 电视剧也好 爱情故事都叫ラブストーリー

SG: 那要是说男女之间的爱情用哪个意思啊

L: 男女の愛情を描いた作品ジャンルをなんて言いますか?

HM・FY: ラブストーリー

L: だよな (笑) 也叫爱情故事ラブストーリー

SG: はい, 分かりました! 呵呵 (笑) 勉強になりました

HM・FY: ふふふ (笑)

L: 你今天参加文化节了吗?

SG: 参加了

L: じゃあ, さっきと一緒に 聞いてみましょう 何をした?

FY: 你做什么了?

SG: 当观众了

L: 見ていました

SG: ハハハ (笑) そのまま座って, ずっと見ていました

HM・FY: あはは (笑)

SG: 呵呵 (笑) たくさん人が踊りました 私は見ています

HM: 你唱了吗? 你唱歌了吗?

SG: 没有唱歌, 歌を歌いませんでした 呵呵 (笑)

L: 没有 歌っていない

HM・FY: あはは (笑) 見ていただけ

SG：老师我可不可以问问题呀
L：可以啊可以
SG：她们两个的学校有什么活动吗？就是，在夏天的时候
L：何か学校イベントありますか？結構ありますよね 日本の学校は
FY：学校祭？
HM：体育大会
L：いいね，じゃあひとつずつ言おう「文化节」
FY：有文化节
HM：体育？体育大会
SG：体育大会 たいいく…たいかい
L：对，体育节 体育祭があります
FY：そのままなんだ，体育大会
SG：参加了吗？
L：何に参加した？体育祭
HM：えーっと，バスケットボール？
HM：あー…漢字は思い出せる…籠みたいな
L：そうそうそう，籠は「籃 lán」
FY：籃，籃球，打籃球
（接続不良のため再接続）
FY：打籃球
SG：我刚才问她，她参加的那个体育大会了吗
L：みなさん参加したんですよね じゃあ「参加した」で答えてみましょう
HM・FY：参加了
SG：参加什么了？バスケットボール？呵呵（笑）
HM：バレーボールも バレーは？排球（はいきゅう）？
L：うん，排球 páiqiú
HM：排球，排球 バレーボール
SG：排球 volleyball
SG：はい，分かりました 哈哈哈（笑）
L：じゃあ，その2つが好きか聞いてみましょう
FY：你喜欢？你喜欢打籃球？吗？
SG：嗯？什么？
FY：你喜欢打籃球吗？
SG：有点儿卡了
FY：你喜欢打籃球吗？
（接続不良のため再接続）
SG：聞こえますか
FY：聞こえまーす
SG：籃球？
FY：你喜欢打籃球吗？
SG：んー，いいえ！呵呵（笑）私は背が低いので 籃球が…呵呵（笑）不喜欢
L：好きじゃないと
HM：你喜欢打排球吗？ふふふ（笑）
SG：排球啊
L：对
SG：现在，今は 体育课的时候
L：体育の時
SG：在练习排球
L：体育でバレーボールをやっていると同じですね
HM・FY：何だっけ，一样

SG：一样啊
L：何のスポーツが好きか聞いてみよう
HM：你喜欢什么体育？体育？
SG：バドミントンが好きです 先学期はバドミントンが練習していました
L：バドミントン覚えていますか？
HM：羽球（はねきゅう）
L：そう！漢字は書けるよね じゃあ，教えてもらおう
请您教她们「バドミントン」用汉语怎么说
SG：好！羽毛球
HM・FY：羽毛球 羽毛球
SG：对
HM：你喜欢羽毛球吗？
SG：好きです 喜欢 你喜欢打羽毛球吗？
FY：我不喜欢打羽毛球 不喜欢 ふふふ（笑）
HM：喜欢 ふふふ（笑）
SG：どうしてですか
L：ふふふ（笑）なぜ嫌いか 難しいね
FY：難しいな 很难
SG：很难啊！呵呵（笑）難しいですね！
L：他に中国で人気のスポーツ聞いてみますか
HM：ああ！えーと，これを「スポーツ」にすればいいですか？目前最受欢迎的体育是什么？
L：体育运动
HM：体育运动是什么
SG：再说一遍
L：中国人は何が好きかにしてもいいですよ
HM：中国人喜欢什么体育？
FY：中国人喜欢什么体育？
SG：体育啊
L：她问的问题听懂了吗
SG：就是中国人都喜欢什么体育是吧
L：是，是的
SG：人によって違います ある人はバドミントンが好きです
有的人还喜欢篮球，有的人喜欢跑步
L：ある人はバスケットボール ある人は走るのが好き ジョギングとかですね
HM：你喜欢乒乓球吗？
SG：乒乓…呵呵（笑）うーん，まあまあ 你喜欢吗？
HM・FY：まあまあ あはは（笑）
SG：哈哈哈（笑）同じです
L：差不多时间到了，今天她们没时间了，今天她们时间到了，所以我们下次再交流吧，6 月份，
SG：行
L：今天的交流到此结束，好吗
SG：好 今日は嬉しいです！呵呵（笑）
HM・FY：谢谢！再见！
SG：拜拜！
HM・FY：拜拜！ふふふ（笑）

付録5 5.1.2 「日本の高校生活」紹介文

交流トピック：飲食・グルメ

北海道で人気のある食べ物と飲み物を紹介します。「ガラナ」は人気のある飲み物です。それはコーラのような飲み物です。それはいくらですか？1本百円です。「スープカレー」最近流行っています。ご飯をスープカレーに浸して食べます。これはみんなが好きです。ドーナツ屋さんの名前は「ミスタードーナツ」です。私は抹茶味とチョコレート味ののが好きです。私はクリーム味ののが好きです。すべておいしいです。ぜひ食べてみてください。

我们介绍北海道最有人气的食品和饮料。「ガラナ」有人气的饮料。这是可乐似的饮料。这个多少钱？一百日元一瓶。「スープカレー（汤咖喱）」最近很流行。米饭蘸汤咖喱吃。这是大家都喜欢。甜甜圈店的名字叫“甜甜圈先生”。我喜欢吃抹茶和巧克力味道的。我喜欢吃奶油味道的。都很好吃。有机会尝尝吧。

交流トピック：学校生活

先週テストが終わりました。6月には高体連があります。9月には体育大会があります。私たちはバスケットボールとバレーボールとソフトボールをやります。私たちは第二外国語の授業があって、4つの外国語の中から中国を選択できます。7月に学校祭があります。なので、現在準備中です。私たちのクラスは劇をやります。タイトルはアリス・イン・ワンダーランドです。あなたたちの学校には学校祭がありますか？どんなことをしますか？

上周我们的考试结束。六月，有全北海道高中体育比赛。九月，有体育大会。我们打篮球和打排球和打垒球。我们有第二外语课。四个外语中可以选择汉语。七月，有学校节。所以，现在做准备。我们班做戏剧。题目是爱丽丝梦游仙境。你们学校有学校节吗？做什么活动？

交流トピック：学生・若者の流行

皆さんは彼を知っていますか？彼はスギちゃんという芸人で、今日本でとても人気があります。彼の着ているこのベストは女子高生の間で流行っています。

次に最近学生の間でラーメンが流行っています。日本ではコッテリしたしょうゆ、味噌味のラーメンが人気です。皆さんは何味が好きですか？中国ではどんな種類のラーメンがありますか？

また、ツイッターなどの投稿サイトも流行っていて学校でもよく話題になっています。ツイッターが一番流行っていて、その他にも mixi、Skype や Facebook などがとても人気です。皆さんは使っていますか？

大家知道他吗？ 他叫小杉，他是搞笑艺人。现在在日本，他很有人气。他在穿背心，受日本的高中女生的欢迎。

最近，汤面受高中生的欢迎。在日本，味道浓厚的酱油和黄酱汤面很有人气。大家喜欢什么味道？在中国，汤面有什么种类？

又，推特等社交网也受高中生的欢迎。在学校，经常成大家的话题。推特最受日本人的欢迎，还有 mixi、Skype 和脸本也很有人气。大家用推特吗？

交流トピック：芸能・メディア（音楽、テレビ、ドラマ、映画等）

今日本では、K-POP や AKB48、ジャニーズが流行っています。ジャニーズでは嵐や SMAP が人気です。中国でもこれらは流行っていますか？中国ではどの歌手が人気ありますか？

俳優では向井理や吉高由里子が最近人気です。たくさんのドラマや映画に出演しています。中国の女優のリンチーリンが日本の CM やドラマに出演しています。

私は「会天使替我爱你」というドラマを少し見ました。このドラマを知っていますか？

现在日本流行韩国音乐，AKB48 和杰尼斯。其中最流行 岚 和 SMAP。中国也流行吗？中国 最受欢迎的 音乐 是什么？

最近演员的 向井理 和 女演员的 吉高 由里子 很有人气。他们参加 电视剧 和 电影 演出。中国 女演员的 林志玲 参加 日本电视剧 和 电视广告 演出。

我看了 中国 电视剧。题目是《会天使替我爱你》。你知道 这部 电视剧 吗？

付録6 5.1.2.1 「日本の高校生活」第3回遠隔交流記録スクリプト

凡例：教師＝L／中国人学生・男＝LZR／中国人学生・女＝LYT, LSH／日本人学習者＝KBA, KB, HM, YG

灰色アミカケは第5章スクリプト抜粋箇所

(セッション1)

LZR：初次见面，请多关照

全員：请多关照？

L：初次见面，はじめまして！

全員：あ！はじめまして！（笑）

L：好，那么，じゃ，先に中位置が，ふたりの真ん中から

KBA：はい

L：今天中间的两个同学做一下自我介绍

LZR：啊，好的，好的

KBA：啊，谢谢（笑）

L：どうぞ，请

KBA：你好

LZR：你好

KBA：我叫 KBA，我的生日二月七号，我今年 17 岁

LZR：啊，17 岁，若いですね

KBA：啊哈哈哈哈

KBA：谢谢（笑）

KBA：我是国际情报高中三年级的学生

LZR：啊，三年级啊

KBA：我参加茶道部

LZR：啊，茶道部，哈

KBA：通过茶道可以了解日本的传统文化

LZR：啊…传统文化

KBA：所以，所以茶道很好

LZR：啊…哈…是吗

KBA：（笑）我喜…嗯？我喜欢杰尼斯（笑）

L：止まっている…

KBA：杰尼斯

LZR：嗯？？？不好意思，再说一遍？

L：もう一度请再说一遍

KBA：啊，我喜欢杰尼斯杰尼斯

LZR：啊～？啊！えっと…中国のスターではないんですよね，不是中国的

KBA：啊，日本的

LZR：啊！是吧

KBA：啊！！（笑）

L：わかる？

LZR：私の勉強不足で

KBA：いえいえ，とんでもないです！（笑）

KBA：我喜欢学英语和汉语

LZR：啊，英语和汉语啊，好

KBA：我要坚持下去

LZR：啊…好的，加油！

L：加油，加油！

KBA：我想去游览长城

LZR：啊，长城，万里长城，万里の長城ですね，万里长城

全員：（笑）

LZR：好
 KBA：长城雄伟吗？
 LZR：啊！很好，好，很雄伟的！で，こちらからひとつ質問いいですか
 KBA：はい，はい，はい（笑）
 LZR：啊，KBA 你好
 KBA：你好！
 LZR：啊，我呢，呃，叫 LZR，啊，姓 Li
 L：他姓 Li，Li
 KBA：他姓 L i？
 LZR：啊，啊，对，我姓 Li，嗯，但你们不能叫我小 Li
 KBA：对，对？え？（困った顔で先生を見る）
 L：不能叫他小 Li
 KBA：不能…他…
 L：嗯，不能，不能
 KBA：不能
 L：嗯，叫
 KBA：叫
 L：嗯，他
 KBA：他
 L：他，叫他，小 Li
 KBA：小 Li？
 L：嗯（笑）
 L：呃，为什么？LZR 老师为什么？接着说
 LZR：えー，年…，年纪大的人比年纪小的人可以说…あ，ちょっとこれ難しいかもしれない
 L：あ，難しいですね（笑）
 KBA：啊，很难，很难，很难，哈哈哈
 L：慢点儿说，慢点
 全員：（笑）
 L：很难，很难
 LZR：就是说，中国的姓是一个字，
 KBA：一？ 嗯？
 L：嗯，中国的姓，姓，
 KBA：中国的姓？
 L：嗯，姓，姓
 KBA：啊
 L：他姓 Li，姓
 KBA：姓
 L：嗯，名字
 LZR：名字有几个字，一个字
 L：嗯，一个，一个字「字（じ）」，「字」ですね
 KBA，一个字？（笑）
 L：「字」，「字」字，文字の字，一文字ですね
 KBA：彼の名前ですか？
 L：嗯，中国人の中国人的姓
 KBA：中国人的姓
 L：嗯，一个字
 KBA：うーん…（笑）
 L：はい，了解了，接着说然后呢？
 LZR：はい，这个时候，后面加，老师
 L：老师

KBA：老师？老师
 LZR：对，这样的话就是，Li老师
 KBA：Li，Li老师，Li老师！
 LZR：嗯嗯！（笑）
 L：明白了！明白了！
 L：我可以叫他小 Li
 KBA：小 Li？
 L：嗯，我比他年纪大，年纪你们 18 岁，嗯，他 20 几岁
 KBA：啊！
 L：然后我 30 几岁，我比他大
 KBA：年上？ああ，ああ！（うなずき）
 L：所以说我可以叫他小 Li，但是你们不能叫他小 Li
 KBA：啊！哈哈哈
 LZR：我姓 Li，我姓 Li，请多关照
 L：请多关照は「どうぞよろしく」っていう最初に初めて出会った人に（使う）挨拶です
 请，多，关，照
 KBA：请，多，关，照
 L：うん，あ，皆さんちょっと言ってみますか！大家一起跟你说啊，はい，せーの！
 全員：请多关照！（笑）
 LZR：请多关照，请多关照
 L：好，好！嗯，那下面 KB 同学，她来做自我介绍
 KB：え，緊張する！你好！
 LZR：你好！
 KB：我叫 KB
 LZR：啊
 KB：今年 18 岁
 LZR：18 岁，嗯
 KB：对
 L：对对（笑）
 KB：我有两个兄弟姐妹
 LZR：啊啊…二人兄弟ですね
 KB：はい，我是老子我是老子？
 L：最小的，最小的小，一番小さい
 KB：最小的？！最小的
 LZR：啊！你是最小的？末子ですか
 KB：おお！はい！すごい！
 全員：おお！哈哈哈
 KB：我，我喜欢打篮球，篮球
 LZR：哇！很好，很好，很厉害
 KB：所以，所以初中的时候，我参加篮球队了
 LZR：啊，是吗？现在的「部活（ぶかつ）」，现在的「部活」也是篮球吗？
 KB：（首を振り否定）
 L：不是
 KB：不是
 全員：（笑）
 LZR：啊，不是
 全員：（笑）
 KB：不是，我，我喜欢看棒球比赛，
 LZR：啊啊…
 KB：我，我经常去…

L: 嗯, 经常, 经常, 嗯
KB: 经常去札幌巨蛋, 支持日本火腿队
LZR: 啊啊…
KB: 日本火腿队, 太开心了!哈哈
えー, 你, 你来日本的时候, 我们一起吃寿司吧, 寿司?!
LZR: 啊, すしですか?
KB: おお! はい!
LZR: 啊, 我很喜欢吃寿司
L: 他喜欢吃寿司
LZR: 我很喜欢吃寿司
KB: 太, 太好了 (笑)
KB: 我想将来在宾, 宾馆工作, 作, 宾馆工作
L: 嗯, 宾馆
KB: 宾馆工作, 所以我学汉语
LZR: 啊ーホテルですかね? ああ, 宾馆で就職したいということですね
KB: はい, そうです!
LZR: おお, すごい! 非常好, 非常好很好很好
LZR: 啊, 想去一趟中国嗯, 中国的什么地方呢?
KB: 中国的…
L: 什么地方? 哪儿? 想去哪儿? 对
LZR: 哦, 想去哪儿?
全員: どこだろう…长城…また… (大笑)
KB: 我, 我想, 我想游览长城
全員: (笑)
L: 很好 (笑)
LZR: 本当ですか?
L: 嗯, 北京
LZR: 上海とかは? 上海呢?
KBA: 太好了!
L: 想去
KB・KBA: 我想去, 想去
LZR: 啊, 好的, 好的, 欢迎你到中国
L: 嗯, 「欢迎」, 「欢迎」は「かんげい」ですね, 欢迎你来中国
KB: 啊, 谢谢 (笑)
LZR: 欢迎, 啊
L: 好的
KB: あ, 終わりです
L: 啊, 好, 好的, 好的, 她说完了
LZR: 啊, 好的, 好的, 我那个, 我, 我提一个问题
L: 嗯, 質問ですね, 提问题
LZR: 可以吗?
KB: はい, はい
LZR: 刚才说喜欢打篮球
L: 嗯, 喜欢打篮球, KB ですね, 喜欢打篮球
KB: (点头)
L: 嗯, 嗯对
KB: 对
LZR: 篮球, で, 中国有一个「スター」
KB: スター?
LZR: 叫「姚明」

KB：叫姚明？
L：嗯，姚明
KB：姚明？嗯…
LZR：姚明，在美国 NBA
KB：おおー！NBA なんですか？
L：そうそう，中国的篮球运动员
KB：へえー！うんうん，わかりました
LZR：在中国很有人气，姚明
L：有人气，さっき調べてたやつだね有人气
KBA：あ，有人气
L：そうそうそう，人気があります
HM：啊，有人气
KBA：あ，太好了！
KB：へえー！
全員：太好啦！（笑）
L：嗯，还有问题吗？
LZR：下次，あ，今度中国に戻られたら，多分，姚明さんと会えるかも
全員：おおおお！！（拍手）
L：本当かな，アメリカにいたと言ったのに？（笑）
LZR：姚明さんは「长城」にも行きます（笑）
全員：（笑）
KB：一起去！
L：一起去吧
全員：一起去吧
L：一起去吧，好的，那
LZR：欢迎你们到中国
L：嗯，嗯，欢迎，欢迎，欢迎你们到中国欢迎，歓迎ですね
全員：啊！谢谢！
L：HM 跟他见过面，会ったことありますよね
YG, LZR 老师と会ったことありませんでしたか？
うん，じゃ，ちょっと，ちょっとだけ言ってみますか？自我介绍
LZR：啊，初次见面！
YG：你好！
LZR：你好！
YG：你好，我叫 YG
LZR：啊ーYG 你好！
YG：你好
L：覚えてますか？前回やったこと
YG：覚えてない，全然覚えてない（笑）
LZR：没见过吧？
L：没见过没见过，第一次，うん，会ったことない
LZR：初めてですよ，第一次见
YG：对，（笑）
L：对，第一次见面
YG：我喜欢音乐
LZR：啊！音楽が好きですか，啊啊
L：嗯
YG：嗯
（笑声）
KBA：ヴァイオリン（不明）

L：そうだ、ヴァイオリン、我会
 YG：我会
 L：嗯拉
 YG：拉，「听」，違う
 L：啊，ちょっと違う「拉」が弾くですね「拉」
 YG：拉，全然覚えてないヴァイオリン
 L：小提琴
 YG：小提琴
 LZR：啊，小提琴，ヴァイオリン！？
 全員：お！すごーい！
 LZR：哦，很好很好哈，很厉害
 全員：很好，很好
 LZR：很厉害！
 L：厉害は「すごーいね」っていう時の褒め言葉 很厉害
 全員：厉害厉害
 L：很厉害太好了のほかにも 厉害ね
 LZR：音楽が好きですね，那，将来，しょうらいですね，将来，音楽の歌手になること？歌手？
 L：想当歌手吗？他问你说，想，歌手になりたいですかという質問です
 YG：我不想
 L：不想
 全員：笑
 L：趣味，趣味，爱好，爱好，是她的爱好
 LZR：爱好
 啊，忘问了你今年几岁？
 YG：あ，何歳えっと，六…
 L：六歳？
 YG：六じゃないです，十…十？あ，そうだ
 あ，今何歳かな？！今年 18 岁
 LZR：啊，18 岁啊
 L：18 岁
 LZR：若いですねえ
 L：みんな，お若いですねえ
 KBA：私は一番若いですかね
 L：そうだね，KBA は一番若いね KBA 最年轻最年轻
 「年轻」は年は若いということですね「年」が「軽」いを書いて，「年轻」
 好，那 L 老师，今天她们准备了一下资料，
 LZR：啊！
 L：是介绍一下日本的一些，某个文化情况
 LZR：啊！是吗—お楽しみに
 L：楽しみにしてますよ！じゃ，えっと，今日やったやつで文書けた人達のにしたいね
 KBA 和 HM
 KBA, HM：やろうやろう！
 YG：(KB に) あれ，今日持ってきたんですね
 L：KBA 和 HM 他们两个人一起，一起做的
 LZR：啊，是吗
 L：看见了吗？
 LZR：看到了，啊
 LZR：どうも！お久しぶりです！
 KBA・HM：お久しぶりです！
 L：HM は去年见过他

HM：そうなんです
 LZR：你好！
 KBA・HM：你好！
 L：好的
 LZR：请
 L：どうぞ，どうぞ
 HM：あ，えー，二人で？！我们介绍北海道
 L：道 dào
 HM：道，道，有人气的食品和饮料
 LZR：啊，食品と飲料ですね
 HM：ガラナ，ガラナ，有人气的饮料
 LZR：啊，很好
 HM：这是可乐似的饮料
 LZR：健康食品，ですね
 L：健康食品那个系ではないんだな…
 HM：可乐可乐，嗯，可乐似的饮料
 LZR：啊，可乐か，コーラ式の？
 KBA 和 HM：そうですね
 LZR：嗯，是嘛，はいはい
 KBA：汤咖喱
 LZR：嗯，スープカレー？
 KBA：おお！え，なぜわかるの？
 L：啊，LZR 老师吃过
 KBA：説明したほうがいいですよ
 L：うん，そうね，一応ね
 KBA：最近很流行，米饭蘸上汤咖喱吃
 LZR：啊啊，是吗
 L：やって見せて！
 KBA：很好吃
 LZR：啊啊，是吗
 HM：很好吃
 LZR：啊，好吃，美味しいですね，そうか，はい
 KBA：有机会尝尝吧
 LZR：啊，谢谢，谢谢！よく知ってますね
 KBA・HM：あははは（笑）
 KBA：ありがとうございます
 全員：汤咖喱！
 LZR：一定，一定
 KBA：一定？
 L：一定，きっと，必ず，一定
 HM・KBA：ああー！谢谢！
 LZR：谢谢，谢谢
 KBA：谢谢
 L：好的，那下面是 KB 和 YG 下面是她们两个人
 LZR：啊，好的，好的
 KBA・HM：緊張する
 L：ほっとした？（笑）
 KBA・HM：（笑）
 YG：上周，上周？
 L：上周，上周

YG：我们的考试结束
 LZR：テストが終わったんですね、ああ
 LZR：辛苦了
 L：辛苦了，辛苦了
 YG：谢谢…九月有高中体育比赛
 LZR：哇，很厉害
 YG：九？九月有体育，体育大会
 LZR：啊，一月份？一月？
 YG：啊，九，九月
 LZR：啊，九月，九月？九月，知道了，わかりました，知道了
 YG：我们打篮球和打…バレーボール…？
 HM・KBA・KB：排球
 YG：排球
 LZR：啊！排球バレーボールですね
 YG：嗯，和打垒球
 LZR：哦！
 KBA：垒球？
 L：嗯，垒球
 KBA：啊，そうか
 YG：七，七月，有学，学校，学校节
 LZR：啊，学校节，写真ですね，嗯，看到了，看到了
 L：見えたと言ってますね
 KB：所以现在做…准备，准备
 LZR：啊，准备啊—现在开始，これから準備していくっていうことですね
 ああ，よくわかりました
 KBA：现在开始，现在开始，いつも最初に言ってるやつでしょ？
 HM：ああ，そうだ
 KB：我们班做戏剧
 LZR：啊，わかります，演劇ですね
 KB：題目は？
 L：題目
 KB：題目是，
 LZR：題目是什么？
 KB：爱，丽，丝，梦，游，仙，境
 L：仙境
 KB：仙境
 LZR：爱丽丝？
 KB：爱，丽，丝，梦，游，仙，境
 LZR：あー，題目，それがテーマですね
 L：LZR 老师看过吗？看过，看过电影吗？小说，电影，爱丽丝梦游仙境
 LZR：嗯…？
 L：是欧洲的小说
 LZR：欧洲的？哈，欧洲的
 L：儿童小说
 LZR：哦，儿童？それは…没看过
 L：没看过，見たことはありません，ですね，没看过
 LZR：それ，見に行きます
 全員：（大笑）
 KB：欢迎！
 全員：（笑）

LZR：啊，欢迎

KB：你学校有学校节吗？

LZR：啊，我呢，学校有，有学校节，但是和日本不一样

L：嗯，不一样，けっこう前にやったけど覚えてないかな，一緒，同じではない違うっていう意味ね，「一样」同じ，「不一样」同じではない

KB：做什么活动？做什么活动？

LZR：人気のある先生，老师，呃，进行演讲，报告

L：啊，演讲，えっと，セミナーとか講演みたいなね，演讲

KB：へえー，谢谢

全員：（大笑）

L：唱不唱歌？唱歌吗老师？有唱歌比赛吗？歌唱比赛吗？

LZR：啊，唱歌は…啊，有，有，有合唱

L：有，うんうん，合唱ですね，合唱，合唱，有合唱

LZR：有合唱

KB：厉害！

全員：（大笑）太好了！厉害！厉害！

LZR：也有那个小，手提琴，那个小提琴

L：嗯，小提琴

LZR：小提琴

L：さっき YG が，YG が言ったやつですね…バイオリンの演奏，演奏会とか

KB：えー！太好啦

LZR：小提琴の演奏もあります

KB：へえー，すごい！厉害！（笑）

L：嗯嗯，厉害！太好了！の他に，厉害！も覚えました

LZR：で，こちらから一つ質問，可以吗？

KBA：好！对！

LZR：这个，KBA

L：KBA こっちね

KBA：到

LZR：你学汉语多长时间啦？

L：哦，说得有点快

LZR：学汉语，多长时间啦？多长时间？

L：学汉语，多长时间

KBA：ああ！うーん…1年とちょっと？

L：嗯，一年

KBA：一年

L：多

KBA：多

L：「多」は少し多い，ですね

KBA：一年多

L：嗯

LZR：一年多，哦哦

KBA：嗯，我学汉语

LZR：哦，嗯，那个，哪里，什么地方比较，感觉比较难？

L：嗯，什么地方

KBA：地方？

L：嗯，什么地方，どんなところ，「地方」は「所」ですね，什么地方比较难？

KBA：あ！難しいですか？ああ！

L：嗯，嗯

KBA：発音？

L: 发音
KBA: 发音, 发音
LZR: 啊, 发音…嗯, 发音很好, 你的发音很好!
KBA: 啊, 谢谢, 谢谢, 谢谢!
LZR: 发音很好
L: 对, 没错, 没错
KB: 没错(笑)
LZR: 速度慢, 速度慢, 没关系
L: 「速度」は速度, 速さという意味ですね, 「慢」はゆっくり
LZR: 没关系
L: 嗯, 没关系
LZR: スピードは大丈夫です, 发音, 发音很好听, 很, 很好
KBA: 谢谢
LZR: 所以继续, 继续加油!
L: 嗯, 继续加油!
LZR: 加油
KBA: 加油?
L: 継続して, 加油! 頑張ってください, ですね
KBA: 对
L: 加油
KBA: 谢谢!
LZR: 頑張ってください!
L: 嗯, きっと, きっと, さっきの「きっと」っていうのを何って言ってましたか? LZR 老师
KBA: あ, 一定
L: 嗯, 一定
KBA: 一定(握拳)
LZR: 好好, 頑張って! 加油
KBA: 谢谢
LZR: お隣の, 隣は KB?
L: KB こっち
KB: (招手)
LZR: 你好, 你好
KB: 你好
LZR: 你喜欢吃寿司?
L: 喜欢, 吃, 寿司
LZR: 喜欢吃寿司
KB: 喜欢? 我
L: 嗯, 吃寿司
KB: 啊! 喜欢, 寿司, 很好吃!
LZR: 喜欢, 啊, 一周吃几次?
L: 嗯, 一个星期, 一周, さっき, 「上周」っていいましたね, 「上周」
 嗯, 「上周考试结束了」って言った, 「上周」「一周」
 一周, 两周, あ, これか…一周, 两周一周吃几次
KB: 吃几次?
L: 嗯, 吃, 食べるですね, 「几」「几」は数, 回数
KB: ああ, 一週間に何回食べる?
L: うんうん, 何回, 何回, 「几次」何回, 何度ですね
KB: そんな食べないですって何て言いますか
LZR: 不经常吃, 不经常吃
KB: 不经常, 不经常吃

L: 经常はしばしば
KB: 经常?
LZR: 经常吃?
KB: 经常吃
L: 经常吃はしばしば食べる
全員: (大笑)
L: を否定して, 「不」をつける
KB: 不经常吃
L: うんうん, そうそう
LZR: あ, なるほど, 不是, 常, 常にはなくて, たまにっていうことですね
KB: はい
LZR: あ, 知道啦, 知道啦
KBA: 先生, そろそろ時間…
L: 啊, わかりました KBA 她有事情, 她要去参加社团活动, 要, 现在要走了
LZR: 啊, 部活? 好的好的再见
KBA: 再见谢谢
LZR: 啊, 谢谢

(セッション 2)

LSH・LYT: 老师你好!
L: 你好, 你好!
全員: 你好!
L: LSH, LYT, 听见吗? 能听见吗?
LSH・LYT: 哦, 能听见, 先生
L: 難しい左右だね
LSH・LYT: 能听见
L: 那, 那首先我们来打个招呼, 然后就切换成语音交流可以吗? 喂? 卡住了
(接続不良, 再接続)
L: 喂, 你好! LSH, LYT, 好久不见! 能听见吗?
LSH・LYT: 你们好!
L: 你好! 喂? 喂喂?
(接続不良, 再接続)
L: 喂? 能听见吗?
LSH・LYT: 老师我们这边能够听到
L: 嗯, OK, OK! 啊, 现在就, 有一个, 啊, 就, 反正
LSH 是第一次跟他们见面, 所以首先做一下自我介绍, 由他们来开始, 好吗?
LSH・LYT: 说中文版的还是日文版的?
L: 中文版吧, 中文的, 先由高中生来做一下自我介绍, 他们用中文说, 好吗?
LSH・LYT: 嗯, 好的
L: オッケーです, じゃ, 中国語で自己紹介を
HM: え? 自己紹介ですか?
L: うん, 一人, あの, 初めて来たのは, 二人いたの, 一人は初めて
HM: 你好!
LSH・LYT: 你好!
HM: 我叫 HM, うんと, 我今年
LSH・LYT: 很高兴认识你!
L: 会えて嬉しいです, 高兴, 认识你
HM: 高兴, 认识你! うんと, 我今年 1, なんだっけ? 18 岁, うんと, 我是三年级的学生
L: 好きな食べ物とか?
HM: 我喜欢弹钢琴

L：嗯，嗯，ピアノが好きですね
 LSH・LYT：哦！
 HM：弹钢琴，うーん，えー...
 LSH・LYT：いい趣味ですね
 L：いい趣味ですね
 HM：うんと，我喜欢吃，えっと，中国菜，麻婆豆腐
 L：哈哈，麻婆豆腐，麻婆豆腐
 LYT：喜欢吃什么东西？
 L：いま何が好きですかと質問聞いています
 HM：麻婆豆腐，嗯，饺子，嗯
 L：なるほど
 LSH：あー，餃子ですか
 HM：うん，うん
 L：对，いいですか
 HM：あ，はい
 L：那，还有一个同学，嗯，请你们听一下，もう一人
 YG：你好！（笑）我叫 YG，我今年 18 岁，我…喂？
 LSH：声音很大
 YG：我的生日是 1 月 19 号
 L：うんうん，いいですね
 YG：えー…我喜欢听音乐
 LSH・LYT：うん，私も
 YG：太好啦！
 笑声...
 YG：我…我会弹小提琴
 L：「拉」ですね
 YG：拉小提琴
 LSH・LYT：よかったね
 L：よかったねって，太好了ですね，太好了！ うん，好きな食べ物は何ですか？
 YG：我喜欢吃青椒肉丝
 L：很好，好吃的，很好吃
 LSH・LYT：哇ー
 YG：我喜欢，啊，「我喜欢」じゃない，我想去中国
 LSH・LYT：ぜひ遊びに来てくださいね
 YG：谢谢！
 L：好了吗？じゃ，次に KT 先生，KT 老师，请
 KT：你好！
 LSH・LYT：你好！老师好
 L：先生こんにちはと言っています
 KT：えっと，我姓 KT
 LSH・LYT：KT 先生ですか
 YG：おー！すごいですね
 KT：我，我今年 22 岁
 LSH：おー，若いです！
 L：年轻，新老师，そうだね，そうだね
 KT：我的爱好，我的爱好是足球
 LSH・LYT：サッカーですか
 KT：对，我想当，想当社会科老师
 L：社会课，社会科
 KT：社会科

(思考中, 沉默…笑…)

L: 続きは? 続けて

KT: えーと, 好きな食べ物…桃って?

L: 桃 tāo

KT: 桃 tāo?

L: 嗯, 我喜欢,

KT: 我喜欢, 吃,

L: 桃

KT: 桃

L: ももが好きですか

(停顿)

L: 聞こえましたか? 聞こえましたか? 喜欢吃桃, 聞こえていますか?

(停顿)

L: 喂?

HM: 先生呼ばれてました!

KT: 俺??

L: 放送かかったた

HM: さっき聞きました

KT: すみません, じゃ先に! ありがとうございます!

全員: 再见!

(接続不良, 再接続)

HM: 中華料理食べたい

L: あはは (笑) 中華料理

YG: え, 食べたい! 食べに行きましょう先生

L: 一起去吃饭吧, 吃中国菜

HM: 餃子とチャーハン, 薄野

L: 喂? 喂喂??

LSH・LYT: 聞こえますか?

L: 听见了, 听见了, 那下面, LSH, 请您做一下自我介绍, 用中文然后用日文, 可以吗?

じゃ, 向こうの自己紹介を聞いて

HM・YG: はい

LSH: 老师同学们你们好, 我的名字叫 LSH, 来自吉林华侨外国语学院日语系, 现在是二年级的学生, 我的爱好是玩电脑和唱日语歌

L: 玩儿电脑

HM・YG: 电脑?

LSH: 然后, 很高兴见到认识大家

L: 然后唱日语歌, 唱歌

HM・YG: 唱歌?

LSH: みなさん, こんにちは, えっと, 私は LSH です, 私の趣味は, 日本語の歌を歌うこととパソコンを遊ぶことです

HM: お! すごい!

YG: 太好了!

LSH: 皆さんもし時間があったら, ぜひ中国に遊びに来てくださいね

YG・HM: はい! 行きます

LSH: はい, よろしく願います

L: さっきの質問ちょっと中国語で言ってみましょう

HM: 你...

L: 何が好きです?

HM: 喜欢, 你喜欢唱什么? 你喜欢唱什么?

L: 歌

HM：啊！歌！
 HM：你喜欢歌，唱什么歌？
 LSH：えっと、西野カナさんの歌と、えー、AKB48 の歌
 HM：おおー！太好了！
 YG：誰が好きなんだろうね
 L：そうだね、聞いてみて
 YG：你，喜欢，谁？
 L：うんうん、AKB のね
 YG：AKB48
 L：48
 YG：48
 LSH：高橋みなみです
 HM・YG：おおー！！すごい！太好了！
 LSH：高橋みなみのことが大好きです
 L：她唱得很好，とっても歌が上手です
 YG：えー！
 L：私が行って公演準備している間に、時間つなぎで歌ってくれたんです（笑）
 時間がちょっとかかっちゃって…（笑）
 いいですね、然后，うんと、そしたら、いや、ちょっと、那今天这边的两个跟同学，他们准备了一下介绍了日本比较时尚的食品还有学校的活动，现在由他们来发表，你们听一下
 LSH・LYT：好
 L：わかりましたって言っているの、どうぞ
 HM：あ、紹介ですか？これでいいですか
 L：うん、準備したやつを言ってみましょう
 HM：えーと、我想介绍北海道有人气的食品和饮料、「ガラナ」有人气的饮料，就是可乐系的饮料，汤咖喱，汤咖喱，うんと、最近很流行，米饭加汤咖喱吃，都很好吃，有机会尝尝吧
 LSH・LYT：是スープカレー吗？（不明）
 L：对对对，スープカレーだねと二人言っていますね
 じゃ、日本語でも同じのを言っておきましょう、彼女たちの練習を
 HM：えっと、北海道で人気のある食べ物と飲み物を紹介します、ガラナは人気のある飲み物です
 LSH・LYT：なるほど
 HM：それはコーラのような飲み物です、スープカレーは最近はやっています、ご飯をスープカレーに浸して食べます、美味しいです、ぜひ食べてみてください！
 LSH・LYT：はい！
 L：はい、わかりました、はい、じゃ、下面 YG，请，どうぞ
 YG：上周，我们的考试结束，六月有北海道高中体育比赛，九月有体育大会，我们的打棒球和打排球和打垒球，我们有第二外语的课，四个外语中，可以选择汉语，七月有学校节，所以现在做准备，我们班做戏剧，题目是爱丽丝梦游仙境，你们学校有学校节吗？做学校，違った，做什么活动？
 LSH・LYT：活动？
 L：おお！聞こえているんですね
 LSH：活動があります？
 L：うんうん、いまのを、じゃ、日本語で言っていこうか
 YG：私たちは先週テストが終わりました
 LSH・LYT：はい
 YG：六月には高体連があります、九月には体育大会があります、私たちはバスケットボールとバレーボールとソフトボールをやります、私たちは第二外国語の授業があります、四つの外語の中から中国語を選択できます、七月に学校祭があります、なので、現在準備中です、私たちのクラスは劇をやります、タイトルはアリス・イン・ワンダーランドです

LSH・LYT：はい
YG：あなたたちの学校に学校祭がありますか？どんなことをしますか？
LSH・LYT：私の大学は学校祭があります，色々な学部の色々な活動があります
L：この前，写真をちょっと見たんですね，あの，送ってくれたんですね，今度またみましよう，時間大丈夫かな？
HM：私は一応大丈夫です
L：あ？大丈夫ですか？じゃ，えっと，どうしうなか，えっと，你们有什么问题吗，可以提问，用中文，然后，她们，让她们练习用中文回答
LSH・LYT：好的
L：何が質問ありますか
LSH・LYT：问一下两位同学有自己喜欢的明星吗？
L：哦！明星，明星，スターですね，アイドルとか，偶像，好きなアイドル
HM・YG：あはは（笑）…アイドル
LSH・LYT：スター
HM：AKB，それしか知らないな
L：AKB ですね
HM：AKB
LSH：女優とか，俳優とか？
HM・YG：あー，日本人だと
L：あ！でも，誰でも，ハリウットのスターでも
HM：その好きは，「喜欢」じゃなくて？
L：それも「喜欢」，誰がすきか，彼がお気に入りの俳優だとか
HM：我喜欢ジョニー・デップ
LSH・LYT：はっきり聞き取れない（笑）
L：他是好莱坞的一个明星，不是日本的明星，是好莱坞的，约翰尼德普
LSH・LYT：あ！なるほど
L：なるほど（笑）YG はいいますか？だれか芸能人とかアイドル
YG：AKB の中だったら
L：そうだね
YG：我喜欢…北原リエ？AKB48
L：AKB 的
YG：AKB 的北原りえ
HM：総選挙何位？
YG：13 位かな
LSH・LYT：AKB48 のメンバー
L：わかるのかな？すごいな，わかるのね，すごいねえ
じゃ，最近流りの中国スターを聞いてみましょう，最近流行の映画を聞いたからね
她们现在想问你们一个问题，请稍等一下
HM：嗯，目前最受欢迎的中国的
L：嗯，明星
HM：明星是什么？
L：是谁
HM：是谁？
LSH・LYT：周杰伦
L：周杰伦，ジェイ・チョウっていう，さっきちょっと話出たね
HM：周杰伦
L：今度授業で紹介しましょう，MTV をね
下个星期我们上汉语课的时候给他们看看周杰伦的这个音乐片
今回の女の子二人，一人は前やったけど，一人は新しく来てくれた人だからね
YG：好きな日本語は何ですか？

L: 好きな日本語? いいね, じゃ, 聞いてみて
 YG: 你喜欢
 L: 的, 日本語
 YG: 日语
 L: うん, はなんですか
 YG: 是什么? もう一回言ったほうがいいかな
 L: うん
 LSH・LYT: 日剧
 L: あ, 日剧か, 日本語のドラマに聞こえたかな
 LSH・LYT: 喜欢的电影是好莱坞的暮光之城
 L: 映画だと思ってるかな? 暮光之城?
 LSH・LYT: 我很喜欢我的机器人女友
 L: 中国語がタイトルわかんないな? ちょっと待ってね, 今タイトルを調べているので
 あー! なんだっけ, なんかバンパイアのイケメンだったやつ
 HM: Twilight?
 L: そうそうそう! それだそれだ
 YG: ああー! 太好了!
 L: あ! 切れちゃった
 (接続不良, 再接続)
 全員: 暮光之城?!
 HM: 啊, 喂?
 LSH・LYT: 啊! 老师好~ 可以找你们北海道那边学生们平时活动的照片给我们看一下吗? 谢谢!
 L: 嗯嗯! 好的好的, えっと, 皆さんの学校祭とかの写真をみたいって
 HM・YG: あー!
 L: 那个, 现在可不可以切换成视频交流的模式, 他们准备了一些介绍学校的一个小册子, 里面有很多照片
 (接続不良, 再接続)
 L: 写真かな? 学校の紹介かな? パンフレット
 YG: 你好!
 L: どこにあった気がする (机の引き出しにパンフレットがないか探す)
 YG: 学校祭, 学校节
 HM: あ, なんかさ, こういう風にしたら (パンフレットの写真部分を Web カメラに映す)
 (私語中)
 (教師が昨年の学校紹介パンフレットを探して持ってくる)
 HM・YG: 谢谢!! あはは (笑)
 L: ちょっとしかないな, 劇の, いつのかわからないけど
 HM・YG: お! すごい!
 L: ちょっとだけ
 YG: えっと, 劇, 劇は? 戏剧?
 L: 嗯, 演戏, 演戏, 「演」は演じるの「演」, 演戏剧
 YG: 演戏剧
 L: 後ないかな... 因为他们只准备了文字上的资料, 所以, 今天准备的图片资料比较少, 下周就准备一下, 多准备一下, 就图片介绍给你们
 LSH・LYT: 好的好的
 L: じゃ, 来週をちょっと写真とかこういうのがあったら持ってきてください
 HM・YG: ああー (うなずき)
 L: 那个, 这边的学生他们马上就要回家啦, 所以下个星期如果有时间的话, 你们也再次来参加, 两个人一起, 然后下周可能还有三个同学,
 LSH・LYT: 好的好的
 L: 人数较多, 所以可以交流, 好吗? 你们考试是什么时候开始? 考试, 期中考试, 期末考试?

LSH・LYT：我们是，期末考试是下下周
L：下下周？那下个星期还有时间？
LSH・LYT：对
L：えっと，じゃ，再来週からテスト期間なので
HM・YG：あ！
L：来週やったらその後ちょっとできないから，来週ちょっと長めに交流しましょう
YG・HM：はい！

付録 7 5.1.2.2 「日本の高校生活」第 4 回遠隔交流記録スクリプト

凡例：教師＝L／中国人学生・女＝LYT, LSH／日本人学習者＝KBA, HM, YG

灰色アミカケは第 5 章スクリプト抜粋箇所

LYT, LSH：你好!こんにちはー！
全員：你好!（KBA 手を振る）
（中略）
L：今天有四个同学，还有一个老师
LYT, LSH：哦哦，いいですねえ(笑)
全員：あはは(笑)（全員画面に向かって手を振る）
L：いいですね，ではみんな真ん中によって
（全員が Web カメラに映るよう座席の配置を調整）
（学生画面をのぞき込みながら顔を寄せる）
全員：你好!
YG：あ，入った！先生も(笑)
（KT 先生も学生寄りに近づいて座り手を振る）
全員：你好!
L：有的同学见过，有的同学没见过
KBA：…かな？この前の？
L：YZ 没见过，YZ 和 LSH 没见过
YZ：うん，うん
L：LSH，男同学没见过吧，听见吗
（KBA 画面に向かって手を振る）（全員画面を注視して見守る）
L：YZ 同学没见过吧
（YZ 画面に向かって手を振る）
LSH：啊，没有没有，第一次
L：第一次，初めてでしたね
YZ：ふふふ(笑)
L：では簡単に自己紹介を，YZ から
YZ：自己紹介，自己紹介…（準備した資料を探す）
L：初めて会う人だからね
YZ：うーん，なんかあるかな
（他の 3 人も自分の番が回ってくることを想定して資料を探す）
L：自分の簡単な
YZ：簡単な自己紹介文が何かあるはずなんですけど…これ，そっちがわでしゃべってて
（他の 3 人に間をつなぐよう依頼しながら資料を探す）
YZ：あった
L：有了？找到了
YZ：はい（マイクを手に持つ）初次见面！
（他の 3 人笑顔で画面を見守る）
全員：あははは（大笑）

(全員手を叩いて爆笑、画面の向こうで中国側が何か示した様子)

LYT・LSH：緊張しないで！

YZ：あはは(笑) 我叫 YZ, 请多关照! 我住在北海道的札幌市, 我的生日五月十二号, 啊, 那个, 我今年十八岁

LYT・LSH：嗯, 嗯

YZ：我学习了约一年半汉语, 啊, 那个, 我的爱好是听音乐

LYT・LSH：嗯

YZ：我喜欢"美丽的神话", 你们知道吗?

LYT・LSH：呵呵(笑) 嗯, 嗯, 知っていますよ!

YZ：谢谢! ははは(笑)

全員：あはは(笑)

L：谢谢(笑) 一説歌ってください(笑)

全員：あはは(笑)

YZ：いや, いいですよ, いいです!

L：ちょっと無茶ぶりをしてみた(笑)

全員：あはは(笑)

YZ：啊, 那个, 我很喜欢吃水饺子, 我们在学校包过水饺

LYT・LSH：哦哦

YZ：很不好看, 可是味道很好, 你们喜欢什么日本菜?

LSH：嗯...ラーメンが好きです

全員：おおー! (全員で賛同と驚きの声を上げる, KBA 拍手)

LYT：私はてんぷらが好き

全員：おおー! (全員で賛同と驚きの声を上げる, KBA 拍手)

HM・KBA：太好了! 太好了!

全員：あははは(笑) 太好了!

L：いいですねえ

YZ：我喜欢的演员的成龙和李连杰

LYT・LSH：哦哦! 嗯

YZ：现在我是太极拳的运动员

LYT・LSH：啊啊

YZ：我去过北京什刹海的学校练习过太极拳

LYT・LSH：すごいですね

YZ：谢谢!(笑) 三年前, 我参加澳门的国际比赛了

LYT・LSH：哦哦!

(マイク雑音, PC 設定調整, 中断, 再接続, KBA と YG 座席交代)

L：看到了吗? 見えましたか? という意味

KBA：看到了吗?

LYT・LSH：看不到啊!

YZ：ははは(笑)

LYT・LSH：画面卡住了现在

(映像が止まってしまうため QQ から Skype に切り替え再接続)

L：好一点了?

LYT・LSH：啊, 好一点了, 見えました, 啊啊

HM：じゃあ, ガラナから?

(ガラナの缶を YG が Web カメラに映しながら HM の説明開始)

HM：えーっと, ガラナ, 有人气的饮料

全員：あはは(笑)

(HM の声がハウリングして画面から遅れて聞こえてくるので笑い)

HM：これは恥ずかしい(笑)

YZ：ははは(笑)

HM：这是可乐似的饮料
KBA：这个多少钱？
HM：一百日元一瓶
KBA：太好了！（笑）
YZ：ははは（笑）
KBA：スープカレーでいい？
L：スープカレー，はい
KBA：汤咖喱最近很流行，米饭蘸汤咖喱吃，汤咖喱
LYT・LSH：啊，嗯，嗯，カレー好きです
KBA：好きです，はい（笑）
（KBA 画面に向かって小さくガッツポーズして見せる）
HM：（KBA ミスタードーナツの箱を Web カメラに映しながら HM 説明開始）
这是甜甜圈，这是大家都喜欢，甜甜圈店的名字叫甜甜圈先生
LYT・LSH：甜甜圈，啊！甜甜圈
HM：我喜欢吃奶油味道的
LYT・LSH：哦，嗯
KBA：我喜欢吃抹茶和巧克力味道的
LYT・LSH：嗯，抹茶和巧克力
HM：ふふふ（笑）
LYT・LSH：おいしそうー！
KBA：おいしいです！（笑）都很好吃，有机会尝尝吧！谢谢！
LYT・LSH：はい！
KBA：ありがとうございました
KBA：できました！（KBA 小さくガッツポーズ）
L：あ，できました？
KBA：谢谢！
LYT・LSH：谢谢！
L：好！じゃあ，YG が学校祭，HM が T シャツを着ているから一緒に映るとちょうどいいかな？
あ，でもこれを動かせばいいか
（YG 試験の話は省略して学校祭の説明のみにすればよいか教師に確認）
YG：你好！
LYT・LSH：你好！
YG：七月有学校节，全班都制作 T 恤衫
（YG が HM の着ているクラス T シャツを指す）
（HM 立ち上がり Web カメラに向かって T シャツの前面と背面が映るよう一回転する）
L：创意 T 恤
LYT・LSH：哦哦！
YG：我们班的 T 恤衫是黑的，黑的
（YG と HM，YG を指す）
LYT・LSH：哦
YG：明天就来，太期待了
LYT・LSH：期待，期待啊
全員：あははは（笑）
LYT・LSH：创意 T 恤，黑色的
L：对，他们是黑色的，他们是不同班的同学
LYT・LSH：哦哦
L：あとは，YZ？見えてるかな？YZ 見えるかな？
YZ：好吗？你好！
（YZ 画面に向かって手を振る）
（他の 3 人はミスタードーナツの説明が終わったのでドーナツを食べる）

YZ: 老师, 老师, 小杉
L: 哦, 对不起, 要做准备
YZ: 请等一下
(教師がタブレット PC で杉ちゃんの動画を Web カメラに映して見せる)
L: 这是一个电视节目, 搞笑节目, 请你们记住这个男人
YZ: 大家知道他吗? 他叫小杉
L: 小杉
LYT・LSH: 哦, 小山 (こやま) ?
L: あ, 小山さんだと思っているようですね
全員: あはは (笑)
L: 杉ちゃんと言ってみて
YZ: 杉ちゃんです
LYT・LSH: 哦, 哈哈
YZ: 他是搞笑艺人
LYT・LSH: 搞笑艺人, 哦哦
YZ: 现在在日本, 他很有人气
LYT・LSH: 啊啊
YZ: 他穿背心, 背心, 受高中女生的欢迎
LYT・LSH: 啊, 很受欢迎, 高中女生, 哈哈
全員: あはは (笑)
YZ: 下面介绍一下汤面
L: 汤面
(YZ の声調が誤っているので訂正して発音)
YZ: 汤面
LYT・LSH: 汤面
YZ: 汤面, 最近汤面受高中生的欢迎, 在日本, 味道浓厚, 浓厚的酱油
L: 酱油
(YZ の発音が誤っているので訂正して発音)
YZ: 酱油? 酱油
LYT・LSH: しょうゆ
YZ: うん, しょうゆ (笑)
全員: あはは (笑)
YZ: 和黄酱, 黄, 酱, 酱
L: 黄酱
(YZ の発音が誤っているので訂正して発音)
YZ: 黄酱汤面, 很有人气
LYT: 啊, 酱油汤面
LSH: 他说面很有人气
YZ: 大家喜欢什么味道? 汤面
LSH: 味はどんな味ですか
LYT: 味? 辛い味が好きです
LSH: 辛い味
YZ: へえー
(全員うなずき)
L: 喜欢辣的
YZ: 喜欢辣的
(YZ うなずき)
YZ: 在中国, 汤面有什么种类?
LSH: 我们这边的面有很多种, 比如说, 麻辣烫之类的, 就是说, 面与蔬菜加起来, 然后, 有点类似于, 杂, 杂? お雑煮? 哈哈

LYT：はい，お雑煮みたいな
 HM：へえー！！
 YZ：ああー
 （全員うなずき）
 LSH：ラーメンと野菜両方ともありますよ
 KBA・YZ：へえー
 （KBA・YZ うなずき）
 LYT：还有鸡蛋，自己喜欢拌都可以搅起来，还有海鲜的，然后什么，各种各样，很多种类
 LSH：可以搅自己喜欢的
 L：「海鲜」，「海鲜」ね，自分の好きな物を面に作って食べるんですね
 全員：おおー
 （全員うなずき納得）
 KBA：太好了！
 全員：あはは（笑）
 L：太好了！あはは（笑）食べたい，とか言ってみて
 KBA：我想吃！
 YZ：ははは（笑）
 LSH：哈哈（笑）以上です
 全員：あはは（笑）
 LSH：チャンスがあったらぜひ食べてみてください
 全員：はい
 KBA：谢谢！
 YZ：还有，“推特”等社交网
 L：社交网（声調を訂正）
 YZ：社交网，也受高中生的欢迎
 LSH：嗯，推特
 YZ：对，嗯，在学校，经常成大家的话题，话题，推特最受日本人的欢迎
 （学生寮の部屋に他の学生が入ってきて何か話している様子）
 L：誰か来たんだね
 YZ：还有 mixi, Skype 和脸书也很有人气
 LSH・LYT：ごめんなさい，聞き取れなかった
 L：何か後ろでやっていたからね，聞き取れなかった
 LSH・LYT：はい，もう一回お願いします
 YZ：还有 mixi, Skype
 LSH・LYT：啊啊，Skype
 YZ：脸书
 LSH・LYT：啊，Facebook
 YZ：也很有人气，大家用推特吗？
 LSH：哈哈，就是，在中国上推特比较麻烦
 YZ：へえー（全員うなずき）
 LSH：我们也有新浪微博，微博がありますよ
 YZ：ふーん（全員うなずき）
 LSH：「推特」みたいなものです，「人人网」もあります
 LYT：在中国新浪微博比较红
 LSH：流行っていますよ
 全員：おおー（全員うなずき）
 L：「新」しい「浪」の微生物の「微」に博士の「博」って書いて，「微博」がミニブログと言う意味ね
 中国はツイッターとかフェイスブック見れないので，中国版のツイッターやフェイスブックみたいなのに登録して使ってるのね，後は QQ も使ってるね

YZ: OK 了, 谢谢!
 (YZ が全員にマイクを向ける)
 KBA: 谢谢!
 HM: 谢谢!
 YG: 谢谢!
 L: じゃあ, 何か聞きたいことあるかな? 聞いてみたいことがありますか?
 他们的介绍完了, 下面就开始自由交流, 聊聊天儿
 LSH: 雑談でいいですか (笑)
 全員: あはは (笑)
 L: 雑談でもいいよ, 也可以提问, 对刚才的他们发表的内容提问, 或者是自由话题
 LSH: 那就自由交流吧
 L: じゃ, 自由交流で!
 KBA: ええー! (笑)
 HM: 自由交流!
 L: 自由交流と言っているの
 HM: えー, 何...
 YZ: これ持って言ってみたら
 (おやつのだーナツがまだ残っていたので YZ が HM にグルメ紹介をしてはどうかと促す)
 HM: 这是甜甜圈
 (HM と YG がミスタードーナツを Web カメラに映す)
 KBA: 甜甜圈
 LSH・LYT: 哦, 甜甜圈
 全員: ... (沈黙) ...あはは (笑)
 LSH・LYT: たくさん揃っていますね (笑) お腹すきました
 YZ: 今何食べたいか聞いたら
 KBA: あー
 L: じゃあ, KBA
 KBA: 何て言えばいいの? 现在
 L: あなたは
 KBA: 你
 L: 何が食べたいですか
 KBA: 现在你想吃, 什么?
 L: ちょっと聞こえてないかな?
 LSH・LYT: 老师, 期末考试考完了他们为什么还在学校? 我们期末考试考完都不在学校
 L: ああ...なるほどね, みなさん試験が終わったのになぜまだ学校に残ってるんですか, 私たちは試験が終わったらすぐ帰りますとか遊びに行きますと
 HM: 学祭の準備あるから
 L: 他们回答啊
 LSH・LYT: 嗯
 YG: 现在作准备, 学校节的准备
 LSH: 学校の文化祭ですか?
 全員: 对! 对! (笑)
 LSH・LYT: ははは (笑)
 L: じゃあ, 「たくさんの学生がまだ学校にいます」っていうの言ってみますか? たくさんの, 多くの
 YG: 很多?
 HM: 学生
 LSH: クラブ活動もやっていますか
 KBA: うん (うなずき)
 L: 部活動もやっていますか? うんうん

KBA：到！あ、对！我参加茶道部

LYT：茶道？いいですね、私は 1 年生の時も茶道の活動に参加しました、でも茶道は下手です（笑）

全員：あはは（笑）

KBA：私も下手です（笑）

全員：あはは（笑）

L：真的吗？（笑）じゃ、「学校祭でやります」はどうですか？学校祭の時、ですね

KBA：学校节？

L：うん、「の時」，「的时候」

KBA：学校节的时候

L：うん、あります

KBA：有

L：茶道の活動

KBA：茶道的活动

LSH：ああ、今準備していますか

KBA：...对！（笑）

全員：あはは（笑）

LSH：がんばってください！

全員：谢谢！

（KBA カメラに向かって笑顔でガッツポーズ）

KBA：现在作准备！

（教師が紙に「今準備中」を中国語で書いて見せる）

L：そうそう、そうですね、じゃ、試験が終わった後何をするか聞いてみますか？あったよね

YG：ああ、はい、このまま言えばいいですか？考试结束后，你们做什么？

LSH：期末テストもしています、今とても大変です！色々な科目があってとても難しいです

LYT：来週と再来週は...

LSH：来週は口頭試験，たくさん

全員：加油！加油！

L：あとは、「お疲れさま」も言えるかな「辛苦了」

全員：辛苦了！

（接続不良のため中断，再接続）

L：あれ、もっかい言ってみよう、きっと「加油」と「辛苦了」聞こえてなかった

（再接続作業，学校祭準備の様子を実況するために教室棟へ移動）

付録8 5.1.3 「学校祭」第5回遠隔交流記録スクリプト

凡例：教師＝L／中国人学生・男＝ZHD／中国人学生・女＝LYT／KBA 本人学習者＝KBA, KB, KBY, YG

灰色アミカケは第5章スクリプト抜粋箇所

(セッション1) (中国側の環境の問題で雑音が大きく相手の言うことがよく聞こえない)

KBY：自己紹介？

L：そうだね，KB ですよって

KBA：二人同じだからKB って言っちゃうとできないよね

全員：あはは (笑)

L：KBY ですよ

KBY：我叫 KBY

L：そう，我叫 KBY ですね

KBY：你好

ZHD：你好

L：はは，ピースだ
(画面の向こうでピースしている様子)

全員：あはは (笑)

KBY：我叫 KBY

KB：私も？

L：あ，うん，一応全員名前を

KB：もういいですか

L：うん，いいよ

KB：你好！我叫 KB

KBA：你好！我叫 KBA

L：うん，聞こえてる，听得到
じゃ，KBY，你开始吧，请，开始

KBY：そのまま言っているんですか

KB：何言ってるかわかんないからちょっと不安だよ

L：そうですね，ちょっと不安だけど，まあ… あつ，なんか，カメラが…怎么了？

ZHD：(雑音)

L：うん，大丈夫ですね，音がうまく接続できてないのかも
走了，怎么了？消えちゃった(笑)

KBY：我们，介绍一下，学校节

L：そうそう，我们介绍一下学校节

KB：何回も同じこと言ってるね(笑)

KBA：そうだね(笑)

L：そうだね(笑)

ZHD：哦！聞こえますか？

L：おお，聞こえます

全員：聞こえます

L：听得很清楚，よかった，赶上了，很好

KB：Good, Good

全員：あはは (笑)

L：那小林，你开始吧

KBY：我们，来介，介绍一下，学校节
我们，我们，从，七月，七月，五号到，七月，七号，举办了，学校节

ZHD：哦，举办了学校节

KBY：我们，「班 (はん)」ってなんでしたっけ？

L：班，班 (bān)

KBY：我们班的，同学的，同学的

L: 戏, 戏剧
 KBY: 戏剧, 大, 大江, 大江户, 灰, 灰姑娘, 很, 很精彩
 L: 精彩, 精彩
 KBY: 精彩, 我们, 获, 获得了, 冠, 冠军
 ZHD: おめでとう
 L: おめでとうと言ってるよ(笑)
 KBY: 谢谢! 我, 参, 参加了, 茶道部, 我们开了, 茶道会, 我, 我很开心, 开心
 ZHD: ああ, おめでとう
 L: 那, 给他看一下照片, ここ, ここかね
 KBA: 見えない
 L: そう, そうね, 難しいね調整が
 KBA: ここ自分自身が写ってる
 ZHD: 茶道部ですか
 KBY: おお
 L: 对
 KBY: 对, 对对对对
 L: 茶道部
 KB: 对对
 ZHD: 千, 千利休を知っています
 L: 千利休を知っている! 千利休
 KBA: 切れた
 L: あ, 切れた? ちょっと待ってよ, 一瞬消えてしまいましたね, かかってくるかな?
 KBY: 介, 介绍一下, 介绍一下
 KB: 繋がってないですね
 L: うん, 動かさない方がいいか(コール音) 啊, 好好好
 全員: 喂?
 L: 喂?
 全員: 喂? 杨慧(教科書に出てきた登場人物名と本文を思い出して言う)
 L: 有美, 杨慧(笑)
 ZHD: 哦
 全員: おお
 ZHD: すみません, すみません
 KBA: 没关系, 没关系(笑)
 KB: 没关系, 没关系(笑)
 KB: これ言っていていいですか
 L: うん, KB
 KB: 学校祭がありました, から言っていていいですか
 L: うん, いいよ
 KB: 我来, 我, 我来介绍, 介绍一下, 学校节, 我, 我演戏了, 题, 题目是, 《爱丽丝, 梦游仙境》
 (スマートフォンの写真を Web カメラに写して見せる)
 L: お, うまいうまい, 写ってますね
 ZHD: 哦, 哦, 素晴らしい
 全員: あはは(笑)
 KB: 谢谢
 L: いいね
 KB: 我们, 我们的班, 获得亚, 军, 获得亚军
 L: 亚军, 亚军
 (KBの声調が誤っているため教師が発音を訂正)
 KB: 亚军, 太高兴了!
 ZHD: おめでとうございます

KB：第二天，我，我，跳—舞了

ZHD：跳舞

KB：跳舞了，そうです，非，非常兴，兴奋…写真

L：有照片吗？给你看看照片

ZHD：哦

KBA：めっちゃあるね

KB：そう，めっちゃ写真撮ってる

（デジタルカメラの液晶を Web カメラに映して写真を見せる）

ZHD：谢谢，谢谢

全員：あはは（笑）

KBA：はい，你好

ZHD：你好

KBA：我来介绍一下学校节

ZHD：OK

KBA：我们，我们班制作了，立体广告板，我们获得了冠军，太高兴了（笑）

ZHD：哦哦，一位？

L：有照片吗？

KB：有照片吗？

KBA：対対

（デジタルカメラの液晶を Web カメラに映して写真を見せる）

KB：えーと，どっちだ，こっちか

L：逆だ，逆だ，そっちだ

ZHD：ああー，すごい

KB：見えてるかな

L：見えてる，すごいですね

KBA：谢谢！

KB：写真係

L：はは，写真係，そうだね

KBA：我们参加合唱比赛，合唱比赛．非常兴奋

ZHD：兴奋，非常兴奋

KBA：我太开心啦，学校节留下了美好的回忆

ZHD：おお！素晴らしい

KBA：谢谢！

L：さっきあったよね，これに歌ってるやつ，歌の，练习情景，有动画，有录像，给你看看

ZHD：好

L：できる，マイクこれだから，これに

（KB がスマートフォンの画面を Web カメラに映して見せる）

KB：横にした方がいいですね

L：あ，そうね，そうそう，すごい真剣に見てる，认真地，仔细地看

（スマートフォンから合唱が聞こえているのを全員でしばらく聞く）

KBA：めっちゃ恥ずかしい

KB：ざわざわしてる（笑）谢谢

L：拍手している，いいですね

（画面の向こうで ZHD が拍手している様子）

KBA：谢谢

L：じゃ，どうですかって聞いてみましょう

KB：怎么样？

ZHD：很好，很好

L：很好，很好

全員：あははは（笑）谢谢！

L: 很好, 太好了
 ZHD: 我很高兴
 L: 很高兴
 ZHD: みんな上手ですね
 KB: あ, ありがとうございます
 L: 太好了, 受到了他的表扬
 じゃ, ちょっと, あれですね, じゃ, 「写真を見せてあげます」と言ってみましょうか
 KBA: 我给你, 看?
 (既習語句を思い出しながら教師を見て確認しつつ中国語の文を考えて発話)
 L: うん, 「写真」
 KBA: 照片, 照片
 L: じゃ, どれか, 「これはまるまるです」でね, ちょっといくつか紹介しましょう
 とりあえず, KBA がやっているから, KBA の写真を送ろうか
 (QQ で写真データを ZHD に送信して見てもらう)
 (全員, 笑顔で画面をのぞき込み, 写真を見た相手の反応に期待している様子)
 KBA: これが私ですって
 L: そうだね
 KBA: よりによってこの写真なんて
 KB: これ普通に出せるね
 KBA: そうだね
 L: そうだね
 L: 现在送去了, 收到了吗?
 L: あ, なんか, 受信したかな? じゃ, もう一つ, 今のは KBA ですね
 KB: 名前何ですか, 彼
 L: ZHD, 私は彼にとって年上ですけど, 皆さんよりは年上なので, Z 哥
 皆: Z 哥
 L: お兄ちゃん, 哥哥
 KB: Z 哥
 KBA: Z 哥
 KB: 喂, Z 哥
 全員: あはは (笑)
 L: いいね (笑) 喂, Z 哥
 KBA: 喂, Z 哥
 KB: 喂, Z 哥
 年上の人には, 「哥」を付けるんですか
 L: そうね, 親しい年上の男性には
 KB: あはは (笑) 親しい年上
 L: そう, 結構, なんとというか, 親密な, 仲の良い友達
 全員: 親密! (笑)
 KB: 初めてなのに, 親密! 慣れなれしく呼ばないでくださいとか言われたらどうしよう
 KBA: 对不起 (笑)
 L: あはは (笑) 对不起, 对不起, 太失礼了, 失礼しました
 KB: 没关系 (笑)
 L: 对, 应该没关系 (笑) 2 つ送りました
 (再接続)
 KB: 決め顔で
 L: 決め顔で, 決め顔ですね
 收到了吗?
 ZHD: 見ました
 L: 見ました? じゃ, 「どうですか」って聞いてみて

KBY：怎么样？
 ZHD：哦，很漂亮
 L：このやつを見てる
 全員：あはは（笑）
 ZHD：かわいかった
 L：太漂亮了（笑）
 KBA：谢谢！私です！（笑）我
 ZHD：初めての女の子、誰ですか？
 L：初めの女の子誰ですか？
 KBA：私です
 （KBはKBAを指し示す，KBA挙手）
 ZHD：啊，很漂亮
 L：美人ですね，べっぴんさんですよ，对，他感到很漂亮，还有，後は…
 ZHD：大家，下午几点钟放学？
 L：什么？请再说一遍，听的不太清楚，大家？请再说一遍
 ZHD：大家，下午，几点钟，会放学
 L：ああ，えーと，大家，下午，几点，放学？几点，放学？放課後は何時から？
 全員：（授業の終わった時間を互いに確認）3時，三，三点，三点
 L：三点
 全員：十分，十分
 KBA：三点十分
 L：下课
 ZHD：三点十分，啊
 L：今日は補習あったんですよ
 KB：あ，うん
 L：じゃ，補習は，补习班
 KB：补习
 L：补习班
 皆：今天，有
 L：有了
 皆：有了，补习
 L：班
 皆：补习班
 L：对
 ZHD：あ，塾？
 L：下课，有的同学，有的同学，留在学校，参加补习班，所以她们，四点半才下课
 ZHD：ほほおー
 L：後は，さっきの
 ZHD：每天学习
 L：每天，学习，每天，学习，你们每天学习吗
 KBA：每天
 L：每天
 KBA：学习
 L：学习，对对，してますね
 KBA：对，对
 ZHD：但是，成绩不好
 L：成绩不好
 あ，自分たちのことか，毎日勉強しているけどなかなか成果が出ないということか
 全員：あはは（笑）同じ
 L：あはは（笑）「同じです」と言って

一样，一样
 KB：一样
 ZHD：啊，一样啊
 L：みんな一緒です
 全員：あはは（笑）
 KBA・KB：太高兴了
 L：开心
 KBA・KB：开心，太开心
 L：太开心
 KB：でも，大学の方が楽しそうだね
 L：そうだね，じゃ，「大学は自由ですね」って言ってみましょう，「大学」はわかりますか
 KB：大学
 L：大学
 KB：大学
 L：とても
 KB：非常
 L：自由，自由
 KB：自由
 ZHD：自由
 ZHD：很好
 L：很好
 KB：很好
 全員：あはは（笑）
 L：很好！いいですねえ
 後，さっき何だっけ，ボードをもう一回ちょっと見せたいので，もう一回中国で言うようにして
 KBA：我们，我们班制作了立体广告板
 L：えーと，「写真送ります」，あ，「見せてあげます」
 KBA：我，给，我给你看，照片
 ZHD：现在吗？
 L：嗯，现在发过去了，两张，有两张
 L：えーと，逆だね，これとこれですね，送ったね，ちょっと，受信してもらおう
 KB：受信すると切れちゃう
 L：そうね，ファイル受信しようとする，一回切って，こっちも受信に切り替え
 （写真データ送信中，相手の受信を待機）
 （YZ が補習を終えて途中合流）
 KBA：来た！你好！
 全員：你好！
 L：你好！
 LYT：你好！
 L：辛苦了！
 LYT：あはは（笑）解放了！
 L：完了吗？学习完了吗？辛苦了
 KBA：辛苦了
 LYT：辛苦了，お疲れ様です，はあー，太累了
 L：太累了，休息吧，先休息休息
 （ZHD の受信完了を待機中，補習の話題で雑談）
 L：時間がないので，次の人にちょっと切り替えますね，YZ は次の人に説明するということで
 （ZHD と再接続）看到了么？看到了？
 ZHD：はい，見ました
 L：じゃ，「どうですか」を

KBA：怎么样？ふふふ（笑）
ZHD：很漂亮，很好看，我很喜欢
全員：あはは（笑）
KB：谢谢
KBA：谢谢
L：谢谢，谢谢，那，时间差不多了，下一个同学正在等我们，所以今天的交流到此结束吧
じゃあ皆さん，手を振って，最后说再见
全員：再见！再见！谢谢！
ZHD：好的
L：YZ 同学来了，来了就要走了
全員：あはは（笑）
LYT：遅かった（笑）

（セッション 2）
L：二人目行きましょう
（2 人目の LYT は中国で帰省中のためインターネット環境が悪く，映像なしの音声チャットのみで交流することを教師が学習者に説明）
L：よし，じゃ，行きましょう，皆さん挨拶を，ちょっと画面が繋がらないので，声だけ
全員：你好！你好！你好！
L：今天有四个同学
KBY：あっちからの声が聞こえるね
L：そう，ブツブツ途切れちゃってちょっと聞きにくい
こっち言うことは聞こえるけど，向こうのはちょっと（接続状況を調整）
L：喂？喂？听到了吗？那，好吧，现在请这边的同学介绍一下学校节
じゃ，こっちらいきますか
（座っている位置の順で発話を開始するよう教師が促す）
KB：自己紹介は？
L：あ，そうだね，じゃ，一人ずつ
KBA：你好，我叫 KBA
KB：你好，我叫 KB
KBY：你好，我叫 KBY
LYT：你好，我叫 YZ
LYT：你们好！
KB：お，聞こえた，KBA からどうぞ
KBA：我来介绍一下，学校节
L：好的
KBA：我们班制作了，立体广告板，我们，获得，获得了，冠军，太高兴了
L：写真ちょっと送ってみましょう
KBA：我给你，看，照片
LYT：好的
（QQ で写真データを LYT に送信）
L：もう受け取ってる，受信されました
KBA：怎么样？
全員：ふふふ（笑）
LYT：好漂亮！
L：漂亮
KBA：谢谢一
LYT：三维立体
KBA：对对
L：3D だったね，对对，三维立体，立体广告板，很巧啊，他们都很巧，続けて
KBA：いいですか

L: うん, いいよ
KBA: 我们参加, 合唱比赛, 合唱, 合唱比赛非常兴奋, 兴奋, 我太开心了
L: その他にあるかな, 有照片吗?
LYT: 你有参加吗?
L: 你参加了吗?
KBA: 对 (笑) 参加了
L: 有照片吗? これは違うかな, これは合唱部?
KB: それは合唱部ですね
L: これ? これバンド? バンドか…じゃあ, ちょっと写真はないね
KB: こっちにもないかな
(スマートフォンの写真を探す)
L: うん, 合唱は写真がありません
KBA: 我, 没有, 我没有, 合唱比赛的, 照片
LYT: 哦哦…
KBA: 对不起…
全員: ふふふ (笑)
LYT: 没事儿 (笑)
(LYT に送信する写真を学習者と相談中)
KB: 我演戏了
L: 演戏
(KB の声調が誤っているため教師が正しい発音に訂正)
KB: 演戏, 演戏了, 演戏了
LYT: 演戏了
KB: 题目是, 《爱丽丝, 爱丽丝, 梦游仙境》
LYT: 啊, 爱丽丝
(LYT に送信する写真を学習者同士で相談中)
KBA: 写真あるじゃん
KB: チャンピオン
KB: あ, 写真あるよ
YZ: あ, あるね
L: あった, あった
KBA: あるじゃん
L: でも, 何をしてるのかわかんないね
YZ: たぶん…ちょうど着替え中なのですね (笑)
全員: あはは (手を叩き爆笑)
YZ: ちょうど着替え中で, 撮ろうって言ったから
L: これはどうだろう, セクシーYZ が…
全員: あはは (手を叩き爆笑)
L: ちょっと他のも探そう (笑)
KB: これ, 変な人と思われない? (笑)
YZ: あはは (笑)
L: そうだね (笑) あ, 集合写真いっぱいあるね, いいね, 集合写真ちょうどあるね
KB: これ, めっちゃいいじゃん, 集合写真でもいいと思う
L: そうだね, 集合写真も送っておこう
YZ: 変な写真でも送って行ったら, ちょっとあれじゃない
KBA: これ, めっちゃいいじゃん
L: いいね, みんな着物着て
KB: どっちが好き?
L: そっちの方がなんか, 和気藹々としてるね
KBA: ちょうどいいじゃん
L: 後は…もう少し 誤解のない YZ は…
全員: あはは (笑)

KB：誤解のない（笑）YZ（笑）これステファン
 （LYT に送信する写真を学習者同士で相談中）
 KB：これだけ？写真写ってるの、あ、なんか、これ脱いでるけどさ（笑）
 YZ：脱いでるやつしかないのかよ（笑）
 KB：これ違う？これステファンか
 L：どのみち裸（笑）
 YZ：3組脱ぐやつしかないからだめかもしれない
 KB：脱ぐタイプ（笑）
 （LYT に送信する写真を学習者同士で相談中）
 L：打ち上げですか？これも
 YZ：うん、打ち上げ
 L：ちょっと残念、じゃ、それで仕方ない
 全員：あはは（笑）
 YZ：切られたらどうする
 全員：あはは（笑）
 L：セクシーYZ が一番最初にダウンロードされた（笑）
 全員：あはは（手を叩き爆笑）
 L：じゃ、「右が私です」
 YZ：右边就是我
 L：なぜ裸なのか（笑）
 （テキストチャットで LYT からの質問が送られてきた）
 YZ：言わない、そこは、あえて聞かない
 全員：あはは（笑）
 （LYT 写真を受信中）
 LYT：好多人啊
 L：あ、集合写真を見てる、好多人、好多人
 全員：あはは（笑）
 じゃ、これはクラス全員ですよね、じゃ、「3 クラス全員です」って言ってみましょう
 LYT：这是一个班的同学还是两个班的同学呢
 L：1 クラスのものの、2 クラスのものの
 YZ：えー…一个
 L：一个班
 YZ：一个班的同学
 LYT：哦，一个班的同学
 L：ここ 2 人が優勝したクラスだもんね
 YZ：うん、そうです、そうです
 L：じゃ、「私たちは優勝しました」と、声を合わせてどうぞ、一、二、三
 KBY・YZ：我们， 获得了，冠军
 L：对
 LYT：哦？
 全員：お？あはは（笑）
 L：ちょっと、うまく伝わらなかった、もう一度、你再说一遍
 全員：我们，获得了，冠军
 LYT：哦哦，你们获得了冠军
 KBY：对对
 全員：あはは（笑）
 KB：裸見たかな
 KBA：怎么样，身体怎么样（笑）
 L：あ、いいね、聞いてみて、じゃ、本人が聞くのは、あれだから（笑）他の、隣のクラスの人たち
 KBA・KB：YZ の写真？YZ，YZ 怎么样
 L：YZ の体はどうですか
 全員：あはは（手を叩き爆笑）

L：身体怎么样
 LYT：身体
 KB：身体
 L：うん
 KB：身体，怎么样？（笑）
 全員：あはは（笑）
 L：聞かれてもね（笑）
 LYT：是谁呀
 L：「谁呀」，「谁呀」と言いました，「誰ですか」
 KB：YZ，YZ，裸の写真じゃない
 YZ：違う，ない
 全員：あはは（笑）
 L：あのう，「脱衣服的」
 KB：脱衣服的
 L：うん
 YZ：なるほど（笑）
 KB：服を脱いでいる？
 全員：あはは（笑）
 KB：脱衣服的，是，YZ
 LYT：啊，哦，哈哈（笑）
 （上半身裸の写真が交流中のYZであることに気づいてLYT吹き出す）
 全員：あはは（手を叩き爆笑）
 LYT：他没有穿衣服，哈哈（爆笑）
 L：着ていないって気付かなかった（笑）
 全員：あはは（手を叩き爆笑）
 L：たぶん，こっちの写真を言ってたと思ってるかも
 KB・KBA：YZ，身体，怎么样
 L：食い下がるね（笑）
 LYT：还是觉得旁边的女生比较漂亮
 L：あはは（笑）隣の女の子の方が可愛くていいと思うって（笑）
 全員：あはは（手を叩き爆笑）
 KBA・KB：对对！对对！
 L：对对（笑）还是穿衣服，应该穿衣服，服着るべきだって言っとう
 全員：あはは（手を叩き爆笑）
 L：後はね，「留学生もいます」と紹介しましょう，还有，まだいる，还有
 KB：还有
 L：うん，还有
 L：留学生
 KB：留，留学，生
 L：对
 KB：留学生
 LYT：留学生？哦，看到了
 L：うん，見えました見えました
 KB：很酷！很酷！
 L：他很酷
 KB：他很酷
 L：うん
 LYT：很酷，啊啊，哈哈（笑）
 全員：あはは（笑）
 KB：鼻で笑った！（笑）
 L：彼はモデルですかね，じゃ，「彼はモデルです」って，「模特」
 YZ：他是，模特

L：うん、留学生
 LYT：模特，哦
 YZ：留学生
 LYT：他身高很高吗？
 L：背が高いですか？
 LYT：啊，对，他是
 LYT：啊
 L：他很高
 LYT：很高
 （LYT に送信する写真を学習者同士で相談中）
 L：さっき打ち上げの中にあったよね，あ，これステファンか
 KBY：たぶんお茶会に来たと思う
 L：あ，茶会にね，それはいいかも，じゃ，お茶会の，説明できるじゃない，それにしましょう
 （LYT に送信する写真を学習者同士で相談中）
 L：じゃ，留学生の写真を見せます，と言って
 KBY：我给你
 KB：看
 KBY：我给你看
 L：うん
 KBY：留
 L：留学生
 KBY：留学生，的，照，照片，照片
 KBA：照片
 KBY：照片
 L：照片
 LYT：照片
 KBY：照片
 LYT：看清楚了，他没有穿衣服
 L：全身で，あの，はっきりと裸であることが分かったって
 全員：あはは（手を叩き爆笑）
 LYT：这是在茶道俱乐部吗？我看到在喝茶
 L：嗯，茶道，茶道部吗？是茶道部的照片吗？茶道部
 KBY：茶道部
 L：的照片吗？
 KBY：茶道部的，照，照片吗
 全員：あはは（笑）
 L：あれ，自問自答になってる（笑）茶道部的照片，吗？と聞かれましたよ
 KBY：对
 L：茶道部的，对，对，对，そうですね，对
 LYT：我们学校的留学生，就是，没有参加俱乐部的，他们是自己组在一起的
 L：お，えーと，彼，彼女たちの学校では留学生は部活とかサークルをやっていないので，自分たちでやっている人がいます
 中国人学生と一緒にサークルはやらないということだね，参加する機会はない
 L：「お茶会出たことありますか」ってちょっと，聞いてみますか
 「参加したことありますか」
 KBY：你
 L：じゃ，KBA，「参加したことありますか」は「你参加过」，「过」を使って
 KBA：你，你参加过，茶
 L：茶道の会
 KBA：茶道会
 L：吗
 KBA：吗

LYT：啊，我参加过，我参加了一个学期
L：嗯，参加过，参加了一个学期
KBA：おお！
L：そうですか，是吗
KBA：是吗
LYT：很辛苦
L：很辛苦，很辛苦，大変だったといってます，很辛苦，她辛苦
「お疲れ様でした」と言ってあげて
KBA：辛苦啦！
全員：あはは（笑）
L：辛苦啦！大体いいかな？ 裸の写真見てすっかり満足しちゃったかな（笑）
全員：あはは（手を叩き爆笑）
L：がんばった，さて，那，现在，差不多，我们这边六点了，所以他们要回家
LYT：哦，好的
L：嗯，那下次吧，我们九月，八月底到九月初之间再次进行交流，视频交流，如果你有时间的话，我重新跟你联系，所以如果有空的话，你再次来参加吧
LYT：哦，好的。就是我们，八月末的时候是那个
L：嗯
LYT：刚开学，所以说学校那个时候可能没有网，所以说，如果是八月，末的话就，就有点，可能会没有网
L：嗯，好的好的，那，还是九月份吧，九月，到了九月之后
LYT：啊，九月的话就
L：好的，那九月份，我，重新给你们通知一下，在什么时候，大概几点开始
LYT：嗯，好的
L：好，那最后，我们就，就再见啦，じゃ
LYT：再见
全員：再见，再见，再见，再见
LYT：再见
L：がんばりました！
全員：あはは（笑）
L：時間，時間が，準備時間が少なかったけども
KB：YZ 身体怎么样（笑）
全員：あはは（笑）
YZ：今日来なきゃよかったー
YZ：いいじゃないです，そういう日もありますよ！YZ 身体怎么样
全員：あはは（笑）

付録9 5.1.4 「夏休みの思い出」紹介文とフィードバック

蒸暑い: mēn rè
湿度が高い: 潮湿

【夏休み課題】夏休みの思い出

夏休みをどう過ごしたかを紹介する作文を書きましょう。いつ、どこへ行った、何をした、何がどのように楽しかった等、中国語で表現できるようになりましょう！

■提出日：8月20日（月）、23日（木）の授業で発表。その後、修正してから完成版を使って、中国とのオンライン交流で使用。

■課題：夏休みの思い出について、日本語文と中国語訳を1つの文書に記載すること。

氏名： YZ	姓名： YZ
タイトル： 平凡な夏休み	題目： 平凡の暑假
今年の夏休みは特にどこにも行かずに済みました。 夏休み前半は、武術の強化訓練と夏季講習でした。 夏季講習は10日間あり、講習の後は、毎日、学校近くの飲食店で、6時間勉強していました。たかがお金がありません。 勉強後は、私は武術の練習に行きました。夏休み中は毎日練習しました。夏休みの後半はぐっすり休ました。受験科目以外に中国語を勉強しました。とことん韓国語も勉強しました。でも、韓国人、英語は、右足の手術をしました。去骨折をした時、右足背にホルトをいれたので、右足を振る手術をしました。 これが私の夏休みです。	今年(的)暑假、我特别哪儿也没去。 暑假的前半，有武术的强化训练和在学校夏季讲座。 夏季讲座有十天，讲座后我每天在学校附近的饭馆学五六个小时。所以，我没有钱。 学习后，我去练习武术，我这个暑假里天天练习了。 暑假的后半，我每天无所事事了。报考科目以外学习汉语了。 我有时朝鲜语还学了。可是，我不会说。 上星期做右脚脖子的手术了。因为去年骨折的时候，把右胳膊子嵌入螺钉了，所以我今年才拆螺钉了。 这是我的(平凡)暑假。 去除，拔出 qu chū , bā chū

タイトル： 平凡な夏休み

今年の夏休みは特にどこにも行かずに済みました。
夏休み前半は、武術の強化訓練と夏季講習でした。
夏季講習は10日間あり、講習の後は、毎日、学校近くの飲食店で、6時間勉強していました。たかがお金がありません。
勉強後は、私は武術の練習に行きました。夏休み中は毎日練習しました。夏休みの後半はぐっすり休ました。受験科目以外に中国語を勉強しました。とことん韓国語も勉強しました。でも、韓国人、英語は、右足の手術をしました。去骨折をした時、右足背にホルトをいれたので、右足を振る手術をしました。
これが私の夏休みです。

- *1 疑問詞+都/也+否定文
- | | |
|-----------|---|
| 何もしなかった（ | ） |
| 何も食べなかった（ | ） |
| 何も買わなかった（ | ） |
| 何も見なかった（ | ） |
| 誰も行かなかった（ | ） |

一般般 哪儿都没去 *1 前一半/后一半 夏季(补习)讲座 每天 附近 餐厅 …个小时 练习 几乎每天都… 过了散漫的生活	yì bān bān nǎr dōu méi qù qián yí bàn/hòu yí bàn xià jì (bǔ xí) jiǎng zuò měi tiān fù jìn cān tīng … ge xiǎo shí liàn xí jī hū měi tiān dōu … guò le sǎn mǎn de shēng huó
高考科目 韩国语 但是，不过 上星期 右脚 做手术 去年 脚脖子 骨折 做 螺钉固定术 把…取出来	gāo kǎo kē mù Hán guó yǔ dàn shì , bú guò shàng xīng qī yòu jiǎo zuò shǒu xù qù nián jiǎo bó zi gǔ zhé zuò luó dīng gù dìng shù bǎ … qǔ chū lái

【夏休み課題】夏休みの思い出

夏休みをどう過ごしたかを紹介する作文を書きましょう。いつ、どこへ行った、何をした、何がどのように楽しかった等、中国語で表現できるようになりましょう！

■提出日：8月20日（月）、23日（木）の授業で発表。その後、修正してから完成版を使って、中国とのオンライン交流で使用。

■課題：夏休みの思い出について、日本語文と中国語訳を1つの文書に記載すること。

氏名： YG	姓名： YG
タイトル： 私の夏休み	題目： 我的暑假
まず、夏休み前半は学校の講習でした。いつもの授業より早く始まるのでつらかったです。 私は友達と「海猿」という映画を見に行きました。とても感動的で面白かったので、後日違う友達ともう一度見に行きました。それくらい良い映画です。 夏休み後半には友達のバレエの発表会を見に行きました。バレエを見るのは初めてでしたが、とてもすばらしくて面白かったです。 また、違う日には札幌西高校のオーケストラ部の定期演奏会もききに行きました。迫力があって楽しそうに弾いている姿がすごかったです。いつか私もオーケストラに入りたいなあと思いました。一つに疲れたのは、もっと勉強すべきだったな、ということです。	暑假的前半，我参加了学校的講習。 我去看了一部电影叫做“海猿”与朋友。因为很有趣，我再次去看了那个电影与另一个朋友。因此，是一部好电影。 暑假的后半，我去看了朋友的芭蕾舞发表会。我第一次看到芭蕾舞。芭蕾舞太精彩了。 次日，我去听了札幌西高中乐团定期音乐会。他们的演奏有气势，高兴地奏乐了。我想参加管弦乐团。 暑假非常开心了。我懊悔没有好好学习。

タイトル： 私の夏休み まず、夏休み前半は学校の講習でした。いつもの授業より早く始まるのでつらかったです。 私は友達と「海猿」という映画を見に行きました。とても感動的で面白かったので、後日違う友達ともう一度見に行きました。それくらい良い映画です。 夏休み後半には友達のバレエの発表会を見に行きました。バレエを見るのは初めてでしたが、とてもすばらしくて面白かったです。 また、違う日には札幌西高校のオーケストラ部の定期演奏会もききに行きました。迫力があって楽しそうに弾いている姿がすごかったです。いつか私もオーケストラに入りたいなあと思いました。一つに疲れたのは、もっと勉強すべきだったな、ということです。	首先 *2 开始时间 比...早 觉得很辛苦 题目 《海猿》 令人感动的情节 后来 别的 又去看了 值得一看 初次 有趣 另外 有一天 札幌西高中 交响乐队 定期演奏会 (演奏)扣人心弦 而且 乐队看起来很快 快 厉害 希望/想 参加 有一个遗憾 应该 更加努力学习	shǒu xiān kāi shǐ shí jiān bǐ ... zǎo jué de hěn xīn kǔ tí mù 《hǎi yuán》 lìng rén gǎn dòng de qíng jié hòu lái bié de yòu qù kàn le zhí dé yī kàn chū cì yǒu qù lìng wài yǒu yì tiān zhá huǎng xī gāo zhōng jiāo xiǎng yuè duì dìng qī yǎn zòu huì (yǎn zòu) kòu rén xīn xián ér qiě yuè duì kàn qǐ lái hěn yú kuài lì hai xī wàng /xiǎng cān jiā yǒu yí gè yí hàn yīng gāi gèng jiā nǔ lì xué xí

*2

「首先」(まず初めに)を使うときは、後に続く文の中で、「次に」「それから」「最後に」というように、時間軸に沿った展開が必要です。これは日本語や英語でパラグラフを書くときも同じです。中国語では、一般的に次のように展開します。

首先, … (まず, 初めに)

其次, … (それから, 次に)

再次, … (さらに)

最后, … (最後に)

【夏休み課題】夏休みの思い出

夏休みをどう過ごしたかを紹介する作文を書きましょう。いつ、どこへ行った、何をした、何がどのように楽しかった等、中国語で表現できるようになりましょう！

■提出日：8月20日（月）、23日（木）の授業で発表。その後、修正してから完成版を使って、中国とのオンライン交流で使用。

■課題：夏休みの思い出について、日本語文と中国語訳を1つの文書に記載すること。

氏名： KBY	姓名： KBY
タイトル： 夏らしいこと...	題目： 夏天好像事... xiàtiān hǎoxiàng shì ^{wánr} 玩儿
今年^{jīnnián}は受験^{shìkǎo}生^{shēng}なので、夏らしいことはしませんでした。花火^{huāhuǒ}とかや^{ya}りた^{le}かった^{de}ぞう。 7月26日から8月5日まで講習^{jiǎnxí}がありました。朝早くからあったの^{de}でとても疲^{pí}れました。 8月4日、志望校^{zhìwàngxiào}のオープンキャンパス^{ōupēnyānpàsī}に行^{xíng}きました。その大学^{dàxué}に受^{shòu}かるために、勉強^{miánquǎn}を頑^{guān}張^{zhāng}ろうと思^{sī}いました。 8月8日、友達^{yǒutóu}のバレエ^{balái}の発表会^{fābiǎohuì}を見^{jiàn}に行^{xíng}きました。そのバレエはと^{de}てもす^{sù}ご^{gōu}かったし、とても感^{gǎn}動^{dòng}しました。	今年^{jīnnián}、我^{wǒ}是^{shì}应^{yīngkǎo}考^{kǎo}生^{shēng}，我^{wǒ}没^{méi}做^{zuò}特^{tè}别^{bié}夏^{xià}天^{tiān}风^{fēng}格^{gé}的^{de}我^{wǒ}想^{xiǎng}玩儿^{wánr}。 我^{wǒ}们^{wǒmen}从^{cóng}七^{qī}月^{yuè}二^{èr}十^{shí}六^{liù}号^{hào}到^{dào}八^{bā}月^{yuè}五^{wǔ}号^{hào}参^{cān}加^{jiā}讲^{jiǎng}座^{zuò}了^{le}。因^{yīn}为^{wèi}我^{wǒ}们^{wǒmen}从^{cóng}清^{qīng}早^{zǎo}参^{cān}加^{jiā}讲^{jiǎng}座^{zuò}，很^{hěn}累^{lèi}。 八^{bā}月^{yuè}四^{sì}号^{hào}，我^{wǒ}参^{cān}观^{guān}了^{le}志^{zhì}愿^{yuàn}上^{shàng}的^{de}大^{dà}学^{xué}，我^{wǒ}想^{xiǎng}坚^{jiān}持^{chí}学^{xué}习^{xí}为^{wèi}了^{le}考^{kǎo}上^{shàng}大^{dà}学^{xué}。 八^{bā}月^{yuè}八^{bā}号^{hào}，我^{wǒ}们^{wǒmen}去^{qù}看^{kàn}了^{le}朋^{péng}友^{yǒu}的^{de}芭^{bā}蕾^{lěi}舞^{wǔ}的^{de}发^{fā}表^{biǎo}会^{huì}。那^{nà}个^{ge}芭^{bā}蕾^{lěi}舞^{wǔ}很^{hěn}精^{jīng}彩^{cǎi}，我^{wǒ}很^{hěn}感^{gǎn}动^{dòng}。 我^{wǒ}没^{méi}做^{zuò}特^{tè}别^{bié}有^{yǒu}夏^{xià}天^{tiān}风^{fēng}格^{gé}的^{de}事^{shì}情^{qíng}。

タイトル： 夏らしいこと... 今年^{jīnnián}は受験^{shìkǎo}生^{shēng}なので、夏らしいことはしませんでした。花火^{huāhuǒ}とかや^{ya}りた^{le}かった^{de}ぞう。 7月26日から8月5日まで講習^{jiǎnxí}がありました。朝早くからあったの^{de}でとても疲^{pí}れました。 8月4日、志望校^{zhìwàngxiào}のオープンキャンパス^{ōupēnyānpàsī}に行^{xíng}きました。その大学^{dàxué}に受^{shòu}かるために、勉強^{miánquǎn}を頑^{guān}張^{zhāng}ろうと思^{sī}いました。 8月8日、友達^{yǒutóu}のバレエ^{balái}の発表会^{fābiǎohuì}を見^{jiàn}に行^{xíng}きました。そのバレエはと^{de}てもす^{sù}ご^{gōu}かったし、とても感^{gǎn}動^{dòng}しました。	高中生 有夏天氛围的事情 想是想...但是没... 玩儿 烟火 从早晨就开始 累 希望报考的学校 为了... 考上大学 坚持学习 精彩 感动	gāo kǎo shēng yǒu xià tiān fēn wéi de shì qíng xiǎng shì xiǎng ... dàn shì méi ... wán ér yān huǒ cóng zǎo chén jiù kāi shǐ lèi xī wàng bào kǎo de xué xiào wèi le ... kǎo shàng dà xué jiān chí xué xí jīng cǎi gǎn dòng

su shu
宿舎

zhu zhu
住宿費
宿舎費

dai mai gong kai hui dong
大学对外开放活动

【夏休み課題】夏休みの思い出

夏休みをどう過ごしたかを紹介する作文を書きましょう。いつ、どこへ行った、何をした、何がどのように楽しかった等、中国語で表現できるようになりましょう！

■提出日：8月20日（月）、23日（木）の授業で発表。その後、修正してから完成版を使って、中国とのオンライン交流で使用。

■課題：夏休みの思い出について、日本語文と中国語訳を1つの文書に記載すること。

氏名: KB	姓名: KB
タイトル: 充実した夏休み	題目: 充实暑假
私は 24日から31日まで 東京へ行きました。 3日間、日本ホテルスワールのオープンキャンパスに参加しました。そこでは、授業に参加したり、ホテルで仕事を体験したりしました。とても楽しかったです。 29日は誕生日だったので、横浜デパートをしました。 山下公園で大道芸人さんを見ました。すごかったです。 夜景もきれいでした。 30日は友達と東京ディズニーシーへ行きました。 夏休みだったので人が多くてにぎやかでした。 また、北海道に帰ってきてからは海へ行ったりしました！ とてもよい思い出になりました。	我从七月二十四号到三十一号去东京。 我参加了三天，日本宾馆学校对外公开活动。那儿我上课了，然后体验宾馆的工作。二十九号是我的生日，所以我去约会了。我看了街道艺人。太好了！夜景美丽！ 三十号，我和朋友一起去“迪斯尼乐园”了。 太热闹了！ 我回北海道以后，我去了海边。 太留下了美好的回忆。

还有 (zai nali)
还有 (在那里)

men re
闷 热
闷热

タイトル: 充実した夏休み 私は 24日から31日まで 東京へ行きました。 3日間、日本ホテルスワールのオープンキャンパスに参加しました。そこでは、授業に参加したり、ホテルで仕事を体験したりしました。とても楽しかったです。 29日は誕生日だったので、横浜デパートをしました。 山下公園で大道芸人さんを見ました。すごかったです。 夜景もきれいでした。 30日は友達と東京ディズニーシーへ行きました。 夏休みだったので人が多くてにぎやかでした。 また、北海道に帰ってきてからは海へ行ったりしました！ とてもよい思い出になりました。	充实 从…到… 宾馆，酒店 参加 校园开放活动 …天 体验 工作 横滨 约会 山下公园 街道艺人 厉害 夜景 美丽 东京迪斯尼海 因为…所以… 热闹 还有 回来 以后 留下 美好的回忆	chōng shí cóng … dào … bīn guǎn , jiǔ diàn cān jiā xiào yuán kāi fàng huó dòng … tiān tǐ yàn gōng zuò Héng bīn yuē huì Shān xià gōng yuán jiē dào yì rén lì hai yè jǐng měi lì Dōng jīng Dī sī ní hǎi yīn wèi … suǒ yǐ … rè nao hái yǒu huí lái yǐ hòu liú xià měi hǎo de huí yì

xuéxí xuéxí yòu xuéxí
学習、学習、又学習

(去) 参观大学
dàxué duì wài gōng kāi huó dòng
大学对外公开活动

へのために
wèi le kǎo shì nǚ lì
为了考试、我努力学习汉语。
じょうにこししちんごうじんこうりゅう
丈原にこししちんごうじんこうりゅう

【夏休み課題】夏休みの思い出

夏休みをどう過ごしたかを紹介する作文を書きましょう。いつ、どこへ行った、何をした、何がどのように楽しかった等、中国語で表現できるようになりましょう！

■提出日：8月20日（月）、23日（木）の授業で発表。その後、修正してから完成版を使って、中国とのオンライン交流で使用。

■課題：夏休みの思い出について、日本語文と中国語訳を1つの文書に記載すること。

氏名： KBA	姓名： KBA
タイトル： わたしの なつやすみ	題目： 我的暑假
① 7月28日は友達と関江二00の映画を観に行きました。 ② 月曜日は「エイトレンジャー」どとともおもしろかったです。 ③ みんながこよかったです。 ④ 8月6日は大学のオープンキャンパスに行きました。 ⑤ 大学についてたくさん知ることができてよかったです。 ⑥ 8月8日は友達のウラシワバリエの発表会を見に行きました。 ⑦ 私は初めてバリエを見ました。とてもキレイでした♡ ⑧ その他にも、バーベキューをしたりテニスをしたり 特別なことはしてないけど楽しい思い出になりました。 ⑨ 夏休みはあつというまで、予定通りに勉強 することができたので これから真面目にがんばろうと思います。	① 七月二十八号、我去看⑦电影和朋友。在一起 ② 题目是「关八战士」、非常有意思。 ③ 他们都很帅。 ④ 八月六号 我去了大学对外开放活动。 ⑤ 我了解 了大学的各种各样的情况。 ⑥ 八月八号、我去看了朋友的芭蕾舞。 ⑦ 我初次看了芭蕾舞。太漂亮了♡ ⑧ 还有、我做 BBQ 和打网球了。 ⑨ 暑假留下了美好的回忆。

mēn rè
闷热 むあつ

cháo shī
潮湿 しどがたかい

yù huì
约会 (デート、ミーティング)

日本风格 和风
夏风格 夏风格
夏风格 夏风格

タイトル： わたしの なつやすみ	和…一起 有意思，有趣 大家都… 帅 了解 各种各样的 情况 芭蕾舞 发表会 漂亮 打 网球 没做特别的事情 过得很愉快 很快就… 结束 没能完成学习计划 今后要好好儿努力	hé … yì qǐ yǒu yìsi , yǒu qù dà jiā dōu … shuài liǎo jiě gè zhǒng gè yàng de qíng kuàng bā lěi wǔ fā biǎo huì piào liang dǎ wǎng qiú méi zuò tè bié de shì qíng guò de hěn yú kuài hěn kuài jiù … jié shù méi néng wán chéng xué xí jì huà jīn hòu yāo hǎo hǎo ér nǚ lì

かいく!!

一个星期

去约会デートする
yù huì 约会としてあつ

【夏休み課題】夏休みの思い出

夏休みをどう過ごしたかを紹介する作文を書きましょう。いつ、どこへ行った、何をした、何がどのように楽しかった等、中国語で表現できるようになりましょう！

■提出日：8月20日（月）、23日（木）の授業で発表。その後、修正してから完成版を使って、中国とのオンライン交流で使用。

■課題：夏休みの思い出について、日本語文と中国語訳を1つの文書に記載すること。

氏名： MT	姓名： MT
タイトル：	題目：
夏休みはほとんど部活をやっていました。（合唱） 8月7日のコンクールにむけて、暑期中みんなど 歌を猛練習していました。 結果は銅賞でした。金賞をめざしていたのでくやしうたけど 本番では全力を出したので、とても良い思い出になりました。 部活が終わって、あとは、友達と、^{お風呂に}、川に行きました。 結局私は何も買わなかったけど、大戸屋のごはんを たべたり、アイスを食べたりしました。とても楽しかったです。 あと、^{お肉}焼肉を食べに行きました。 ^{お母と祖母と} 16日には合唱部とうちあげに行きました。 ^{みんなどカラオケ}	我参加合唱部。yàile 八月七号的 我们练习了歌。为了合唱比赛 我们得铜奖。我们很令人懊悔，但是， 留下美好的回忆。 我和朋友一起去^{洗澡}车站 结果，我不买了，但是我很开心 我们吃了大戸屋的饭和^{洗澡}。 我去吃烤肉了。

还有：まだあつた
それから 特別：特に 为了：～のために（文頭）
weilie

タイトル：	一直都...	yì zhí dōu ...
夏休みはほとんど部活をやっていました。（合唱）	合唱部	hé chàng bù
8月7日のコンクールにむけて、暑期中みんなど	练习得很厉害	liànxí de hěn lì hai
歌を猛練習していました。	以...为目标	yǐ ... wéi mù biāo
結果は銅賞でした。金賞をめざしていたのでくやしうたけど	比赛，大会	bǐ sài , dà huì
本番では全力を出したので、とても良い思い出になりました。	在炎热的天气下	zài yán rè de tiān qì xià
部活が終わって、あとは、友達と、 ^{お風呂に} 、川に行きました。	努力练习	nǚ lì liàn xí
結局私は何も買わなかったけど、大戸屋のごはんを	得了铜奖	dé le tóng jiǎng
たべたり、アイスを食べたりしました。とても楽しかったです。	希望得金奖	xī wàng dé jīn jiǎng
あと、 ^{お肉} 焼肉を食べに行きました。	遗憾	yí hàn
^{お母と祖母と}	正式表演	zhèng shì biǎo yǎn
16日には合唱部とうちあげに行きました。	竭尽全力	jié jìn quán lì
^{みんなどカラオケ}	去...买东西	qù ... mǎi dōng xī
	结果	jié guǒ
	“大戸屋” 餐厅	“dà hù wū ” cān tīng
	慰劳会	wèi láo huì
	唱 卡拉 OK	chàng kǎ lā OK

【夏休み課題】夏休みの思い出

夏休みをどう過ごしたかを紹介する作文を書きましょう。いつ、どこへ行った、何をした、何がどのように楽しかった等、中国語で表現できるようになりましょう！

■提出日：8月20日（月）、23日（木）の授業で発表。その後、修正してから完成版を使って、中国とのオンライン交流で使用。

■課題：夏休みの思い出について、日本語文と中国語訳を1つの文書に記載すること。

氏名： FY	姓名： FY
タイトル：	題目：
私はテレビでオリンピックを見ました。 私はスポーツ観戦が好きです。 私は深い感動を受けました。 私は特に体操が好きです。 日本の男子体操選手はイケんです。 中国は体操がとても強いです。	Tōngguò ^{guānchān} ^{diànshì} ^{guānchān} ^{Àoyùnhuì} 通过电视观看奥运会。 Wǒ xǐhuān ^{yùndòng} 我喜欢观看运动。 Wǒ shēnshòu gǎndòng。 我深受感动。 Wǒ tèbié xǐhuān ^{jìngjì} ^{tǐcāo} 我特别喜欢竞技体操。 Rìběn ^{nánzǐ} ^{tǐcāo} ^{xiǎnshòu} ^{hěn} ^{shuài} 日本男子的体操的选手很帅。 Zhōngguó ^{de} ^{tǐcāo} ^{de} ^{xiǎnshòu} ^{hěn} ^{qiáng}。 中国的体操的选手很强。

タイトル：	在电视上看了...	zài diàn shì shàng kàn le ...
私はテレビでオリンピックを見ました。	奥运会	Ào yùn huì
私はスポーツ観戦が好きです。	喜欢	xǐ huan
私は深い感動を受けました。	体育比赛	tǐ yù bǐ sài
私は特に体操が好きです。	深受感动	shēn shòu gǎn dòng
日本の男子体操選手はイケんです。	特别	tè bié
中国は体操がとても強いです。	体操	tǐ cāo
	男子体操队	nán zi tǐ cāo duì
	长得很帅	zhǎng de hěn shuài
	强	qiáng

付録 10 5.1.4.1 「夏休みの思い出」第 6 回遠隔交流記録スクリプト

凡例：教師＝L／中国人学生・男＝ZHD,PWH／日本人学習者＝KB, HM, YG

灰色アミカケは第 5 章スクリプト抜粋箇所

L：あ、きたきた、来ました
全員：おおー！
L：来了
KB：你好！
YG, HM：你好！
ZHD：你好，我叫 ZHD
L：现在，才开始有人！じゃ，HM から行きますか
HM：えー，これですか？
L：うん
ZHD：真っ黒で見えないですけど
L：真っ黒？
ZHD：あー，行了，見えました
L：見えました？就这样，好的
ZHD：好的
KB：すごい日本語ね
L：すらすら，4 年生だね
KB：さすが 4 年生
L：じゃ，今天她们准备了一些介绍暑假の内容
ZHD：はい，どうぞ
L：嗯，先听一下，はい，じゃ
HM：私からですか
L：HM から
HM：你好
ZHD：你好，你好
HM：我叫 HM，えー，我去大海了
L：嗯
HM：えー，在
ZHD：大海，うみ
HM：海（HM うなずき），海，えー，在海边，我举办
L：举办
（HM の声調が誤っているため訂正し正しい発音を指導）
HM：举办，举办，うんと，烧烤大会了
ZHD：BBQ？
HM：BBQ！えー，我用沙子，堆了城堡，城堡？
（教師の方を見て発音が正しいかどうか確認）
L：嗯，城堡
（教師が正しい発音を指導）
HM：城堡
ZHD：スイカは？
L：スイカ割りはしましたかという質問が来ました（笑）しましたか？
HM：なに？
L：スイカ割りはしましたか？
HM：えーと，（HM 首を横に振る），没…
L：没有
HM：没有
ZHD：スイカはちょっと高いけど

全員：あはは（笑）
 KB：すごいね，日本語ぺらぺら（笑）
 L：そうだね
 HM：えーと，ん？城堡很大，えー，是大约两米，
 L：两米
 （HM の発音が誤っているため訂正し正しい発音を指導）
 HM：两米五左
 L：左右
 HM：左右
 L：两米五，两米五
 ZHD：啊啊
 HM：えー，成，ん？成就感很大
 L：很大
 HM：很大
 ZHD：もう一回
 HM：えー，成就感很大
 L：また音が聞こえなくなっちゃった…笑ってる，なぜ笑ってる，笑什么，何？谁呀
 全員：あはは（笑）
 （3人で画面に向かって手を振る）
 ZHD：あー，それは幽霊
 全員：あはは（笑）
 （全員手を叩き爆笑）
 KB：幽霊（笑）
 L：幽霊？幽霊とか言って，他睡了呀，他睡了，午睡，辛苦了，夏天太累
 HM：あー，えーと，我吃了很多，肉？
 L：肉
 HM：肉，很多肉
 ZHD：あ，肉（にく）？
 HM：肉！肉！終わります
 L：嗯，完了
 （HM うなずき）
 L：YG，YG，请
 YG：你好
 ZHD：你好
 YG：ふふふ（笑）我叫 YG，首先，暑假的前，前半，我参加了学校的讲习，开始时间比平，比平时早
 L：聞こえているかな？
 ZHD：あ，もう一度お願いします
 L：うん，どうぞどうぞ，うん
 YG：最初からの方がいいですかね？
 L：うん，そうだね，もう一回言ってみるか
 YG：首先，暑假的前半，我
 ZHD：ああ，はい
 YG：我参加了学校的讲习
 ZHD：学校的，学校の何？
 YG：えーと，講，講習
 KB：すごい日本語が通じる（笑）
 L：そうだね（笑）
 YG：开始时间比平时早，觉得很辛苦
 L：嗯，很辛苦

(YGの発音が誤っているため訂正し正しい発音を指導)

YG: 很辛苦, 其次, 我和朋友一起看了电影

ZHD: 电影?

YG: 嗯, 题目

ZHD: ああ, 映画ですか?

YG: 映画です

ZHD: へえ, 名前は? 映画の名前

YG: 題, 题目是《海猿》, 《海猿》

L: 日本語で言ったらわかるかな?

YG: 海猿 (うみざる)

ZHD: 海猿, 海猿, 私も見たい

L: うんうん, 見た, 看过, そうそう

ZHD: ごめんごめん (笑)

YG: 因为里面感, 里面感动的情节, 后来我又, えーと, 和, 别的朋友一起去看了那个电影

L: うん

ZHD: 哪个电影? あー, さっきの?

YG: うん, 二回見ました, ふふふ (笑)

(画面の向こう側で ZHD が何かした様子)

全員: あはは (笑)

(全員手を叩き爆笑)

L: 二回二回って (笑)

全員: あはは (笑)

(全員手を叩き爆笑)

YG: 因此值得一看电影

ZHD: あ, ああ, 感動した? ああ, 我也

YG: 再次, 暑假的后半, 我, 我去看了朋友的芭蕾舞发表会

ZHD: 嗯

YG: バレー (笑)

ZHD: へへへ (笑)

L: 笑ってる, 笑ってる (笑)

YG: 我, 我初次看芭蕾舞

ZHD: 嗯, 看芭蕾舞

YG: 芭蕾舞太有趣了

ZHD: はい

YG: 另, 另外, 有一天我去听了札幌西高中交响乐队定期演奏会, 他们的演奏扣人心弦

ZHD: 不错

YG: 而且, 而且乐队看起来很, 很愉快, 太厉害了! 我希望参加交响乐队

ZHD: 啊, 哦, 啊, すごいですね, 将来ですか?

YG: ふふふ (笑) (YG 笑顔でうなずき)

暑假非常开心, 我有一个遗憾, 遗憾

ZHD: 啊, 遗憾

YG: 我应该

ZHD: 遺憾 (いかん) ですか

YG: 嗯, 我应该更加努力学习

ZHD: ああ (笑) 今でも間に合う!

L: 間に合う, 間に合う

ZHD: 頑張って!

YG: OK! (笑)

L: 好的呢

L: 嗯, まだ大丈夫と四年生の先輩が言ってます (笑)

KB: 你好
ZHD: 啊, どうぞ
KB: 我叫 KB, ふふふ (笑) 我, 我从七月二十四号到三十一号去东京
ZHD: ああ, 東京に行った?
YG: すごい
HM: うん, すごいね
KB: 我参加了三天日本宾馆学校, 对, 对外公开活动
ZHD: 对, 对外 (たいがい) ですか? 学校活動?
(KB うなずき)
KB: 那儿我上课了, 然后
ZHD: さっきの?
(KB うなずき)
KB: 然后, 体验宾馆的工作
ZHD・PWH: ああ, 仕事した?
KB: 二十, 二十九号是我的生日
ZHD: あ哈哈哈哈 (笑) えー?
KB: 二, 二十九号是我的生日
ZHD: 生日啊, 誕生日? 今月が誕生日?
KB: そうです, ふふふ (笑) 所以, 我去约会了
ZHD: おおー, 约会? デート?
KB: そうです, ふふふ (笑) 我看了街道艺人
ZHD: 誰?
KB: 很厉害
ZHD: 啊, か, か, 彼氏は?
全員: あはは (爆笑)
(ZHD が興奮したように「彼氏」を囁んだので全員手を叩き爆笑)
KB: 我看了街道艺人, 街道艺人?
L: 違う, 違う, 街道艺人ではない, 彼氏は街道艺人ではないからね (笑)
全員: あはは (笑)
ZHD: 大丈夫, 大丈夫
KB: 夜景美丽, 啊, 很美丽
ZHD: 夜が景色がきれい, 哦哦
KB: 三十号我和朋友一起去东京迪斯尼海了
ZHD: あああ, デートでねえー
KB: 朋友, 朋友 (笑)
ZHD: ああ, 朋友, やっぱり, デートだな, やっぱり
全員: あはは (爆笑)
(ZHD がうらやましそうな口調で話し, 全員手を叩き爆笑)
ZHD: ディズニーランドは友達と行くんじゃないです
KB: 因, 因为暑假, 所以人很多
ZHD: 啊, 哦
KB: 还有,
(画面の向こうで ZHD のルームメイトが話しかけてきてカメラに知らない中国人学生が写った様子)
(全員で Web カメラに向かって笑顔で手を振る)
L: 手を振っていい!
ZHD: お化けがあー
L: お化けが (笑) 笑っている (笑)
KB: 我回, 回来北海道以后, 我去了海边
L: 彼が来たことで音が聞こえなくなってしまった (笑)

ルームメイト：あ、はじめまして、こんにちはー
 YG, HM：你好，こんにちは
 KB：你好
 ルームメイト：よろしくお願いします
 KB：よろしくお願いします
 KB：留下了特别美，美好的回忆
 ZHD・PWH：水泳，水泳はどうですか
 KB：まあまあです？
 （教師の顔を見て中国語で何と言うか支援を求める）
 L：还可以
 ZHD：水泳？
 KB：还可以
 全員：あはは（笑）
 （画面の向こう側で何かが行われている様子）
 L：聞いてみて，あなたは？
 KB：你呢？
 ZHD：我？
 ルームメイト：まあ，普通です（笑）
 KB：まあまあ
 ZHD：我…
 L：よく聞こえない，なんかちょっと聞こえないんだよね，あれ押さえてるからじゃない？ここ，自分で何か音声をふさいでいるからでは
 （中国側の音声がよく聞こえないが，ZHD がマイクを手で押さえているせいではないかと教師が指摘）
 KB：聞こえませんよ（笑）
 ZHD：フリースタイル型
 KB：フリースタイル
 L：フリースタイルね
 ZHD：自由型？自由型か
 L：自由型，うん
 KB：自由型
 ZHD：あー，自由型
 YG：すごい
 L：うん，OKですね，はい，じゃ，我完了
 KB：あ，ありがとうございます，谢谢
 L：うん，じゃ，彼らの夏休みを紹介してもらおうか，えーと，「紹介する」は「介绍」
 HM：介绍
 KB：介绍
 YG：介绍
 HM：请？
 L：そうそう，请，请
 HM：请介绍，你，
 L：うん
 HM：你的，
 L：夏休み
 HM：暑假
 L：そうそうそうそう
 HM：えーと
 L：はい，じゃ，一齐に
 HM, YG, KB：请介绍你的暑假

(3人で声を合わせて発話)

ZHD: えー, 我, 我, 暑假的时候我去了石川县, 「石川県」

HM, YG, KB: おおー!!

(全員うなずき)

ZHD: 金沢市

HM, YG, KB: へえー!!

(全員うなずき)

ZHD: 兼六園

L: 兼六園, 兼六園, 行ったことありますか? 兼六園

KB: 兼六園? いや, ないです

HM: 没有

L: うん, 没去, 没去过

KB: 没去

L: 嗯, 没去

HM: 没去

ZHD: ああ, 彼は韓国に行きました

HM, YG, KB: えー!!

L: 彼ね, こっちの人, PWHさん

ZHD: 名前は…わからないです (笑)

L: じゃ, 名前を聞いてください, お名前はなんですか?

HM: 你姓什么?

ZHD: 嗯, 嗯, 然后我在

L: あれ?

(PWHの名前を尋ねたがZHDがそのまま夏休みの思い出を話し続けているので続行)

ZHD: 大学里待了三个多星期

L: 嗯, 在大学

KB: 在大学

L: 嗯, 在大学待了三个星期, 三个星期

HM, YG, KB: 三个星期!

ZHD: あ, 金沢市の大学で三週間を過ごし, を過ごしました

HM, YG, KB: へえー! すごい! すごい!

L: 「すごい」はさっき誰か言ってた, 厉害

(学習者の準備した原稿に「厉害」があったことを教師が指摘)

KB: あ, 厉害! 很厉害!

ZHD: お, どうもどうも (笑)

全員: あはは (笑)

ZHD: 午前中は, えーと, 授業をします

HM, YG, KB: へえー

L: うん, 上課

ZHD: うん, 日本語の授業, 歴史, 政治とかいろいろやってますけど

KB: へえー!

ZHD: 今は何も覚えていません

全員: あはは (笑)

L: 頑張れとひとこと言って! 頑張れ!

HM, YG, KB: 加油, 加油, 加油!

ZHD: はい

L: そうか

ZHD: 金沢市の市内観光, 兼六園とか, なんか, 忍者村とか行きました, 夜は港を見に行きました

全員: へえー

(画面の向こう側でまだ誰かが写り込んだ様子)

L: はは(笑) 後ろ! 笑ってる, 誰出てくるかわからないね
(音が途切れて不明瞭)

PWH: 私は PWH といいます, はじめまして, よろしく

あ, 私は, 夏休みは, 今年は夏休みは韓国へ行きました

KB: 太好了!

HM: 太好了!

PWH: 韓国で, あの, 午前中はその, 英語の授業をやって, 午後は友達と一緒に水泳したり, あの, 外で遊びました

HM, YG, KB: へえー

PWH: そして, 夏休みのほとんどは韓国で過ごしました

HM, YG, KB: へえー!

PWH: 海水, 海水浴も行って, 海で水泳もしたことがありました

HM, YG, KB: へえー! すごい

(画面の向こう側で拍手をしている音が聞こえる)

(全員で拍手)

L: 以上, 以上です! じゃ, 何か写真を見せてもらえらるだろうか, 聞いてみましょう

KB: 请?

L: 「写真」, 「照片」

HM, YG, KB: 请给我?

L: うん, うん, 请

HM, YG, KB: 请

L: うん, 给我

HM, YG, KB: 请给我看

L: うん, 照片

HM, YG, KB: 照片! 你好!

(全員で Web カメラに向かって笑顔で手を振る)

L: まだ誰か来た? 新しい人! 今日はお客さんが多いね

もう一回言ってみて, 聞こえていないかも, 日本語が 4 年生はみんな上手だなあ

KB: もう一回?

L: うん, もう一回言ってみよう

HM, YG, KB: 请给我看照片

ZHD・PWH: : あ, 写真?

L: うん, そうそう, 伝わっていた

(接続不良のため中断)

ZHD・PWH: 等会儿

L: 等会儿, ちょっと待ってね

HM: OK!

ZHD: 等会儿

PWH: 韓国の写真を?

HM, YG, KB: 对

ZHD・PWH: はい, ちょっと待って!

L: 嗯

KB: OK

ZHD・PWH: (画面の向こうでルームメイトと何か会話中) ちょっと待って!

L: 好啊

KB: 寮?

L: そうそう, 学生寮

(接続中断)

L: 届いたかな? これか

(教師が PC 上で受信した写真を確認)

PWH : みた ?

KB : まだです, 「まだ見てないんです」 って何ていうんですか ?

(教師に中国語で何と言うか支援を求める)

L : 还没看

KB : 还没看 ?

HM : 还没看

L : 还没看到

KB : 「ちょっと待ってください」 って何ていうんでしたっけ ?

L : 等一下

KB : 等一下

L : うん

KB : 还没看, 等一下

HM, YG, KB : おおー !! おおー !! (笑) 見えた ! 海辺

L : うん, そうですね

ZHD・PWH : 怖いね

L : すごいと言って !

KB : 厉害 ! 筋肉 (きんにく) 厉害 !

L : 厉害, 很厉害 ! 肌肉, 肌肉

KB : 肌肉, 肌肉厉害

L : 肌肉很厉害 (笑) いいですね…还有什么呢 ? 韓国のどれだっけ

(教師が PC 上で受信した写真を確認)

KB : 韓国の ?

L : 韓国のどれか聞いてみますか ?

KB : 韓国, 韩国 ?

HM : 韩国 ?

L : うん

PWH : 韓国の釜山です

HM, YG, KB : おおー !

L : おお, プサン, プサン

HM, YG, KB : プサン

PWH : 海運台という所です

L : おお ! 海運台

(写真データ受信中)

L : 「今ダウンロードしてる」 って言ってみますか

KB : 現在

L : うん, 下载

KB : 下载

L : うん, もう一回

KB : 现在下载

L : うん, 「正在」 でも

KB : 现在下载

HM : お !

(教師が PC 上で受信した写真を確認)

YG : え, 新しいの ?

L : うん

HM, YG, KB : わあー ! 人 ! すごいね !

L : 人, これこそまさに ! あれ ?

KB : 很, 很, 很, 人, 人很多 ?

L : そうです !

HM：人很多
KB：人，人很多
PWH：嗯，人，So many people
全員：あはは（笑）
L：本当だね，すごいね，こりゃ，多すぎる！
KB：すごい！しかもきれい！
L：わあー，すごいね！
KB：すごい！！
PWH：そうですね
KB：すごいですね
L：うん，「きれい」，さっきやったのありましたね
（KBの準備した原稿にあり先ほど発話したことを教師が指摘）
KB：あ，これ，很，很美丽
PWH：哦，很给力？哦哦哦，すごいな
（KBが「美丽」と言ったのをPWHが「给力」と聞き違えて，最近の流行語を知っているものと勘違いして感心）
（教師が中国側の送信した写真枚数を確認するやりとり）
L：一共有多少，多少张？现在还在下载，好像，名字和第一个一样的
PWH：2枚
L：2枚？あ，じゃ，これはキャンセルね，はい
KB：そういえば，Skypeで一人，中国の人コンタクト取ってる
L：あ，本当？この学校の？LYTちゃん
KB：この学校の人，だと思う
L：本当？
KB：誰だろう？
L：LYTかな，違うかな，LSHかもしれない
HM：中国のツイッターやっただけど使い方まいちわかんない（笑）
L：そうかあ（笑）
ZHD：すごいいくぶり！（笑）
L：お久しぶり，好久不见（笑）じゃ，ZHDからもう一回写真を
KB：ZHD？
L：うん，ZHD，こちらがZHD
（画面上に写っているどちらがZHDか教師が示す）
YG：見せてください？
L：うんうん
（学校のチャイムが鳴り中断）
YG：（HMとKBの方を見て）何だっけ？请给我看
L：ZHD
YG：ZHD
L：ZHDの，うん，照片
YG：照片
KB：ZHD
YG：ZHDの（笑）ZHDの写真を見せてください（笑）日本語になっちゃった（笑）
L：なんか音聞こえなくなったね，また
ZHD：先生，髪切った？
全員：あはは（笑）
L：なんだ，聞こえた，聞こえた！（笑）剪了，剪发了，是，因为，太热了，今年札幌也太热了
ZHD：啊啊
L：あ，じゃ，もう一回，もう一回聞こう，ごめんね
YG：请给我看，何だっけ？

L : ZHD, ZHD
 YG : ZHD 的
 L : 照片
 YG : 照片
 ZHD : あ, はい, わかりました
 YG : 谢谢
 ZHD : 等会儿啊, 啊, ちょっと待って, あ, 送りました
 (教師が PC 上で受信した写真を確認)
 L : 来ましたね
 YG : 谢谢
 KB : 现在, 现在下载 (笑) 现在下载
 L : ね, そうそうそう
 (教師が PC 上で受信した写真を確認)
 ZHD : あ, どうですか?
 L : 今ね, 还没完成下载, えーとですね, あ, まだですね, 还有 20 秒钟, お, これは楽しそうだね
 HM : えー, すごい!
 KB : いいね, 楽しそう
 ZHD : 私の寮の友達です
 全員 : へえー!!
 ZHD : これは私が作った中華料理
 全員 : あはは (笑)
 KB : 太好了!
 L : 不太好, 失败了 (笑) 何人 (なにじん) か聞いてみますか
 KB : 他
 L : 嗯, 他们
 KB : 他们, 是
 L : うん, どの国の人? どれ, どれ
 KB : 什么?
 L : あ, 哪, 哪
 KB : 哪
 L : 哪国
 KB : 哪国, 他们是, 哪国?
 L : 人
 KB : 人
 L : うん
 ZHD : 美国人
 全員 : おおー, そうなんだ, 美国人
 ZHD : 台湾人
 L : 台湾人, 彼きっと台湾からですね
 全員 : へえー
 L : 彼が, 彼と彼が美国人ですね
 ZHD : 中国人
 L : 中国人だね, 中国人, 还有一个中国人 (笑)
 ZHD : ロシア
 全員 : へえー! ロシア
 L : 彼, ロシア人かな?
 HM : ここも
 L : ここにもいるのか
 KB : めっちゃ…これも, ロシア
 L : ロシアね, ロシアと中国か, なるほど, うん, 一緒に住みましたか?

ZHD：ギターも上手
 全員：へえー！
 KB：いいですね
 L：イケメンだね, 2人
 ZHD：あの, 日本に行って, あの,
 HM：あ, これだ
 (イケメンという表現を授業で習ったことを思い出し資料の中から探す)
 全員：长, 得, 很, 帅! あはは (笑)
 L：うん, うん, うん, うん
 KB：长得很帅!
 L：いいね, 聞こえてないかも (笑) もう一回ちょっと言ってみて, 聞こえてないかな
 全員：长得很帅! あはは (爆笑)
 L：没错, 没错…还有一张
 全員：おおー!!
 L：おお, これはきれいだね, 集体照
 KB：きれい! 美丽!
 L：嗯, 很美丽, 对, 很美丽, 有很多啊, 32 個あるよ
 ZHD：啊, それは兼六園, 兼六園
 全員：おおー!!
 KB：いいですね!
 L：え, ZHD はどこ?
 KB：どこ, どこだろうと思って, え, どこにいるの?
 L：え, ZHD 在哪儿? 後ろ? え, どこにいるんだろう? わからないよ, 撮ってる人?
 ZHD：いえ, 右側の, 一番前の
 L：これ? あ, 白い靴の? これかこれか, わかったわかった, 不像啊
 全員：ああー! あはは (笑)
 L：ちょっとわからない, ああ, わかりませんでした, 找不着
 へえ, たくさんありますね, 有很多, いいですね
 KB：いいですね! 体育会の写真を
 L：うん, 送りたいね, でもこのパソコンは, あの, 学校のネットワークには繋げられないみたいだね
 KB：携帯電話の中に入ってるから
 L：あ, 本当?
 KB：こうやってやったら
 (KB が Web カメラに直接スマートフォンの画面を映して見せることを提案)
 L：うん, そうだね, そうしましょう, じゃ
 KB：それでいいですか?
 L：うん, じゃ, 「あなたに体育大会の写真を見せてあげます」と言ってみましょう
 YG：我
 L：うん
 YG：我们
 L：うん
 YG：给
 L：うん, 你
 YG：你
 L：うん
 YG：看
 L：うん, 体育
 YG：なんだっけ?
 HM：あ, 体育

YG：体育，体育，比赛
L：うん
YG：何だっけ？
L：照片
YG：照片
KB：これでいける？あれ，見えない，ピントが合わない（笑）
（KBがWebカメラに直接スマートフォンの画面を映して見せる）
L：暗いのかな？
HM・YG：ピントが
L：こないだ動画を見せた時はうまくいったけどね
「集合写真」を「集体照」といいます
ZHD：あ，見えました
YG：集体照
L：嗯，集体照，嗯，还有吗？
KB：あ，3組のあった，あ，一昨日の写真
L：あ，いいねいいねいいね，うん，好啊好啊
YG・KB：ソフトボール
ZHD：野球ですか？
KB：そうです
YG：ソフトボール
L：嗯，垒球，垒球
YG・KB：垒球
ZHD・PWH：啊，野球？
（KBがWebカメラに直接スマートフォンの画面を映して見せる）
ZHD・PWH：バスケットボール？
KB：そうです
L：うん
全員：篮球，篮球
L：あ，あったあったあった，ありましたよ，これKBAじゃない？
全員：あはは（笑）
KB：かわいい！かわいい！
L：うん，可爱啊
KB：可爱！
L：她是KBA！
ZHD・PWH：美人ですね
L：可爱，じゃ，来週来るって教えてあげましょう
KB：来週来ます？
L：下周
KB：下周
L：下周，下个星期，下个星期
ZHD・PWH：来週？
L：嗯，她会来
KB：她会来（笑）
ZHD・PWH：啊啊（笑）
（KBがWebカメラに直接スマートフォンの画面を映して見せる）
KB：バレーボールって何だっけ？
HM：排，排球
YG：すごいすごい，覚えてる
L：很好，很好，记得，打排球
ZHD：啊，打排球，みんな元気だあ

L: そうだね (笑) 很有劲
PWH: 先生, すみませんが, あの, 聞こえますか?
L: うん, 聞こえるよ
ZHD: すみません, あの, あと 10 分で水泳のクラブが
L: 啊, 好的
ZHD: 水泳のクラブが 5 時にありますので
L: 啊, 好的, 好的
ZHD: あの, 本当にすみません
全員: あはは (笑)
L: いやいや, 大丈夫
ZHD: はい, じゃ, 来週また
L: 对对, 下次具体时间再跟你们联系, 你们有空请参加
ZHD: はい, もう一枚
(ZHD が携帯電話で Web カメラ越しに 3 人の写真を撮影している様子, 3 人でポーズを決める)
全員: あはは (笑) 再见!
ZHD: 頑張ってください
学生三人: ありがとうございます! 谢谢! 再见!
(全員で Web カメラに向かって笑顔で手を振る)
L: 谢谢, 再见, 拜拜

付録 11 5.1.4.2 「夏休みの思い出」第7回遠隔交流記録スクリプト

凡例：教師＝L／中国人学生・女＝SG／日本人学習者＝KBY, KBA

灰色アミカケは第5章スクリプト抜粋箇所

SG：你好！
KBA：你好！
KBA：自己紹介から？
L：うん
KBA：名前ぐらいですか？
L：そうだね，名前ぐらい，これ（マイク）持って
KBA：「はじめまして」ってなんでしたっけ
L：初次见面
KBA：あ，初次见面
L：聞こえるかな？聞こえてないかな？あ，声があまり聞こえないと…もう一回言ってみましょ
う
（SG からテキストチャットで声が聞こえない旨の連絡）
KBA：初
L：初次
KBA：初，初次，初次见面！
（接続不良，中断）
SG：初次什么？
L：もう一回，最後の後半聞こえてないみたい
KBA：初次见面！ふふふ（笑）
L：ふふふ（笑）ちょっと声が切れてるみたい，待ってよ 声が聞こえてない
（SG からテキストチャットで声が聞こえない旨の連絡，教師とテキストチャットで状況確認）
KBA：初，初次？
L：見，嗯，见面
KBA：初次见面！
L：うん，「初」は初めて，「次」は次の
KBA・KBY：初次，初次见面！
L：そうそうそうそう！初次见面！
KBA・KBY：初次，初次见面，初次见面！
L：それか，「お久しぶり」
KBA：好久不见！
L：うんうん，好久不见，好久不见
KBY：見たことある気がします
L：うん，一回か二回ぐらいやってるけど
KBY：Skype 入れるって，中国人の誰かから友達になってください，みたいの来たけど
L：あ，本当？LYT かな？
KBY：いや何か誰かわからなくて，LYT か誰かわかんない，誰だろうみたいな
L：たぶん LYT だったら，あの，交流してた人かな？後期，選択授業の都合で参加できなくなっ
たけど
（再接続）
L：大丈夫かな？
KBA：喂？へへへ（笑）
（接続不良，待機）
SG：你好！
KBA：你好！
KBY：你好！
KBA：初次见面

L: うん, そうそうそう
 (接続不良, 待機)
 SG: 听到了吗? 好像这一边…
 L: ちょっと聞こえないかな…何かちょっと言って, 名前ぐらい言ってみようか
 KBA: 我叫 KBA
 (接続不良, 再接続を繰り返す)
 L: 画面もきれいだしね, 音も
 KBA: そうですね
 (接続不良, 再接続を繰り返す)
 KBY: 喂?
 SG: 老师能听见吧?
 L: 能听见, 能听见, 能听见
 SG: 喂喂喂!
 L: 很清楚, 能听见啊
 SG: 啊
 L: 時間差があるからちょっとずれるけど, たぶんいけると思いますね, ちょっとしゃべってみよう
 SG: 能听见, 但是也是断断续续的那个声音
 L: うん, ちょっとブツブツ切れるけど一応聞こえると言ってますね, ちょっと手を振って挨拶したら, 画面を切って音だけでやってみましょう
 KBA: あ, わかりました
 L: あ, いい? ちょっと持ってよう…
 (FY が書道で中国語を書いた紙を教師が KBA から預かる)
 KBA: 先生, 「你好」でいいですか?
 L: うん, うん
 KBA: 你好!
 (KBA 笑顔で画面に向かって手を振る)
 SG: 嗯
 KBA: 聞こえてない?
 L: ううん, 聞こえてる, 数秒後にたぶん聞こえてると思う
 KBA: 我叫 KBA
 SG: 你好! 呵呵 (笑)
 KBA: ふふふ (笑)
 (接続不良, 待機中)
 L: 怎么了?
 KBA: うん, 反応が返ってこないんです
 L: あ, 本当?
 KBA: 「你好」のあと
 L: 名前を KBA で言っておこうか…
 (SG からテキストチャットで声が聞こえない旨の連絡)
 还是听不清楚, あまりよく聞こえませんかということ
 KBY: もう一回やる?
 L: うん, うん, ちょっともう一回言ってみよう
 KBA: 我叫 KBA
 (接続不良, 待機中)
 L: えーとね, 喂, 画面看得见吗? 画面
 SG: 喂!
 L: 喂, 画面看得见吗? 两个女生
 SG: 画面也有点儿卡
 L: うん, 画面もちょっと固まってしまってるかな

这边能看得很清楚，但是还是交流不太方便，所以现在通过语音交流，可以吗？

SG：啊？
（接続不良，待機中）

L：还是不行
（接続不良，待機中）

L：喂！

SG：喂！啊，这回清楚了一点儿

L：嗯，对，这回听得很清楚，那我们首先通过语音，语音聊天来交流可以吗？

SG：嗯
（QQ のビデオチャットを音声チャットに切り替え）

L：じゃ，これで，もう一回名前言っておこうか（笑）

SG：啊，行啊

KBY：你好！

SG：啊哈哈哈哈（笑）

KBA：ふふふ（笑）

KBY：我叫 KBY

SG：你好！

KBA：時間差ありますね，ちょっとずれてますね

L：うん，ちょっとずれてる，3 秒ぐらいたぶんずれてる，「はじめまして」言ってみる？

KBY：今言ったやつもう一回？初次，初次见面

KBA：初次见面
（接続不良，待機中）

SG：初次见面，请多关照

L：うん，向こうも言ってますね，よろしくお願いしますって，うん，じゃ，KBA

KBA：你好！

SG：啊哈哈哈哈（笑）

KBA：我叫 KBA

SG：你好！

KBA：ふふふ（笑）あと何だろう

L：あ，「お久しぶり」はどうですか？

SG：KBA，是吧？

KBA：对，へへへ（笑），好久不见！
（接続不良，待機中）

SG：啊哈哈哈哈（笑），听清楚了！

L：うん，よく聞こえましたって

KBA：おおー

SG：嗯？

KBA：谢谢！

L：いいですね，「私たちは 2 人とも KB です」って言ってみようか

KBA：ああ

L：私たち，

KBA：我们

L：「都」ですね

KBA：我们都

L：KB は？

KBA：是，姓，KB？

L：うん，对

SG：你们两个都姓小林呐！

L：うん，二人とも KB さんですね！

KBA：对！ははは（笑）

L：对！（笑）KBY も「对」言っというて！
 KBY：对！
 全員：あはは（笑）
 SG：哈哈哈
 L：それじゃ、覚えてないかもしれないから、一応名前を聞いてみますか？
 KBA：你叫什么，名字？
 SG：你有什么爱好吗？
 （KBA の質問とほぼ同時に SG も質問を發話）
 L：うん、向こうが先に質問してきてしまった、向こうが聞いたのは、「你有什么爱好吗？」，爱好
 KBA：爱好
 L：嗯，是什么？
 SG：嗯
 L：爱好
 KBA：趣味？
 L：うん，趣味，何ですか？
 KBA：えー，その質問怖いー！
 （KBA は特に思いつく趣味が特になく答えられず焦る）
 L：えー，怖い？（笑）
 KBA：あはは（笑）わたわた（焦）
 L：嗯，小林呢？
 KBY：喜欢
 L：嗯
 KBY：我喜欢看棒球
 L：嗯
 （接続不良，待機中）
 SG：嗯
 L：聞こえたかな？
 SG：你喜欢什么？
 L：何が好きですか？後半が聞けなかったみたい
 KBY：我喜，喜欢看棒球
 （接続不良，待機中）
 SG：嗯？
 L：後ろの，野球を見るとこだけ言ってみて
 KBY：看棒球
 （接続不良，待機中）
 SG：棒球啊？野球？
 SG：KBY：嗯，对！ふふふ（笑）
 L：对，KBA は？
 KBA：えー，どうしよう？
 SG：啊哈哈哈哈（笑）
 KBA：なんかあれですよ，最近何もしてないなあ，そこで困るっていう（笑）我喜欢…なんだろう？
 SG：啊哈哈哈哈（笑）
 KBA：ふふふ（笑）
 L：あるいは，質問を向こうに
 KBA：あー，どうしよう？
 L：「思いつかない」っていうの言ってみようか，じゃ
 KBA：思いつかない？
 SG：どうしよう？呵呵（笑）

L: 想不到, 想不到
KBA: 想, 想不到
L: うん, 思って, 到らない, ですね
KBA: 想不到, ふふふ(笑) 我的爱好
SG: 想不到? 啊啊, 没关系, 我也没有什么太有, 太感兴趣的东西
(SG の中国語が長くて速いため聞き取れず教師の方を見て支援を求める)
L: 嗯, 她也没有太感兴趣的东西, 没有爱好
(教師が語を区切ってゆっくり再度発音, 最も簡単な表現に言い換えて理解支援)
SG: 哈哈(笑)
KBA: ああ!
L: うん, 同じですね
KBA: あはは(笑)
L: 今日やったやつ使って言えますか? 「大体同じです」
SG: 呃, 然后, 呃…
KBA: 差, 差, 不多
L: 嗯
SG: 我, 我, 我告诉一下, 我的名字吧!
L: あ, 名前を言いますと, さっきの
KBA: ああ
L: 質問の答えですね
KBA: お願いします! ふふふ(笑)
SG: 嗯! 啊, 啊, 中国語では, 呃, SG
KBA: SG?
L: SG, 对, SG
KBA: SG
SG: 呵呵(笑)
SG: 嗯, SG
KBA: SG
L: 日本語で何ていうか聞いてみて!
KBA: あ, 何ていうんだろう?
SG: 嗯, 日本語では, へへ, 「しこう」です
KBA・KBY: しこう?
SG: はい, はい
L: ここの付いているやつ
(教師がチャット画面上の名前を指し示す)
KBA: ああ, わかりました! へへ(笑)
SG: 嗯
L: 「明白了」ですね, 「明白了」
KBA・KBY: 明白了
L: 明白了, 嗯
SG: 嗯?
KBA・KBY: へへへ(笑) 明白了
SG: 啊, 我把我的名字, 我把我的名字打出来你看一下
L: うん, 今ここに入力するので, 漢字を見てくださいね
(SG がテキストチャット欄に自分の名前を簡体字で入力)
KBA: ああ!
L: 見えましたか?
KBA: 好了好了, 何ていうんだろう?
L: 見えました
KBA: ああ!

L：看到了
 KBA：看到了！
 SG：わかりましたか？
 KBA：对！へへへ（笑）看到了！
 SG：我的名字很简单，比你们名字简单多了，两个字
 L：彼女ね，簡単な名前ですねって
 KBA：ああ…そうですね！（笑）
 L：そうですね（笑）そしたら，那下面…
 SG：あ，そうですね（笑）
 L：下面她们给你介绍她们的暑假，你听一下
 SG：她们…什么？假期生活吗？还是
 L：对
 SG：介绍什么？
 L：她们，她们介绍她的暑假生活，你听一下
 SG：啊，好的好的
 L：うん，聞かえているので，KBYいこうか，夏休みについてね
 SG：好好好，嗯
 KBY：「紹介します」って何でしたっけ？
 L：うん，我介绍一下
 KBY：我
 L：我，介绍，「介绍」は「紹介」ですね
 KBY：我，我介绍
 L：一下
 KBY：一下
 L：「一下」は「ちょっと」ですね
 SG：はい？
 KBY：今年我是应考，应考生
 SG：嗯
 KBY：我没，做，我没做特…
 KBA：特别？
 KBY：特别夏，夏天…フウ？
 L：氛围！氛围！
 KBY：氛围的，どこに書いたっけ？
 L：「事情」かな？「こと」「こと」ですね
 KBY：事，事情
 L：嗯
 KBY：我喜欢，玩，玩？
 L：どこ？啊，玩儿，玩儿！
 KBY：玩儿，烟…
 L：烟火
 KBY：烟火，火的活动，活动
 L：烟火的活动
 KBY：烟火活动，我们从，七月…
 SG：什么活，什么活动？
 L：何をやったんですか？彼女は「花火」が聞き取れてないですね，「烟火」
 KBY：烟火
 SG：烟火？
 KBY：对，我们从…
 L：从，从
 （KBYの発音が誤っているので教師が正しい発音に訂正）

SG：哦

KBY：我们从七月二十六号到，到？到？

L：嗯，到，嗯

KBY：到，到八，八月五，五号

SG：嗯

KBY：参加讲，讲习了

L：「讲座」ですね，「讲习」か「讲座」，「讲座」

KBY：讲，讲座了

L：嗯

SG：啊，参加了什么讲座啊？

L：何の講座？什么讲座？何の講座ですか？科目の意味で聞いていると思う

KBY：英語

L：英語？うん，じゃ，とりあえず英語の，英語の講座って言ってみましょう，「英語」は「英语」

SG：英語？

KBA：あはは（笑）聞こえてる

L：「英语」ですね

KBY：「英语」

L：英语讲座

KBY：英，英语讲座

L：嗯

SG：英语？

KBY：对

SG：英语讲座？

KBY：对，因为…

SG：啊，はいはい，わかりました

KBY：ふふふ（笑）因为我们，我们从，清早，清早参加，讲座

SG：嗯

KBY：很，很累，很累？

L：很累

KBY：很累

SG：嗯

L：続けてどうぞ，继续

KBY：八月七号，我，我参，参观了，志愿，志愿上的大学，我想，坚持

SG：是大学吗？

L：学校に行ったんですか？

KBY：参，参观

L：参观，参观

KBY：参观

L：大学

KBY：大学

L：嗯

SG：参观了大学呀！

L：嗯嗯嗯

KBY：对！为了，我想，我想，坚，坚持学习

SG：哦

KBY：考上大学，大学，大学

L：嗯，「为了考上大学坚持学习」ですね，逆になった

SG：哦

L：うん，大学に入るために勉強を頑張るのですね

KBY：为了考，考上大学，我…想，坚，坚持学习

L：うんうんうん，很好！
 SG：はい
 KBY：为了，あ，ここもっかい言った（笑）
 SG：嗯，嗯
 KBY：八月八号，我们去看了朋友的芭蕾舞发表，发表会
 SG：嗯
 KBY：那个，芭蕾，芭蕾舞
 SG：发表会，是吗？
 L：発表会ですか？
 KBY：对！那个芭蕾舞很精彩，我
 SG：嗯
 KBY：我很，感动
 SG：嗯
 L：嗯
 KBY：谢谢！
 L：あ，終わった？もうちょっとなかったっけ？（笑）
 KBY：なかったです（笑）
 L：あ，なかった？ははは（笑）很感动！って終わりか！嗯，很感动
 SG：啊哈哈哈哈
 L：嗯，OKOK，じゃ，KBA
 SG：说得挺好的！
 L：うん，とても上手ですね
 KBA：あの，我，我介绍一下，へへへ（笑）我的暑假
 L：同じやつしかないかな，うん
 SG：好
 KBA：七月二十八号
 L：嗯
 KBA：我去看了，我去看了
 SG：嗯
 KBA：和朋友？和，和朋友一起
 L：去看了
 KBA：去看了，「映画」って何でしたっけ
 L：电影
 KBA：电影
 SG：你去，你去看了什么？
 L：最後，映画っていうのが聞き取れてない
 KBA：ああ，电影
 （接続不良，待機）
 SG：え，映画？
 KBA：あ，映画です，ふふふ（笑）そうです（笑）えーと，题目は…关，关八
 SG：啊哈哈哈哈
 KBA：题目是关八，《关八战士》！ふふふ（笑）
 L：日本語でも言った方がいいかもしれない
 KBA：あ，「エイトレンジャー」です，ふふふ（笑）
 L：エイトレンジャーの写真を見せよう，そのまま読んでて
 （教師がエイトレンジャーの写真をインターネットで検索し SG に送信）
 KBA：他们都很帅！
 （接続不良，待機）
 KBA：八月一号
 L：嗯

KBA：我，
 SG：啊
 KBA：啊，我
 KBY：参，参观
 L：参观，参观
 KBA：参观了大学，嗯？参观大学，了
 L：嗯，嗯，对
 KBA：我，我了解，
 SG：うん，大学の名前はなんですか？
 KBA：あ，小樽商科大学です
 （大学名は未習なので教師が中国語で発音し KBA が後について発音）
 L：小樽
 KBA：小樽
 L：うん，商科大学，そのままちょっと行ってごらん
 KBA：小樽商科大学，です
 SG：哦
 KBA：はい，我了解，各种各样的，大学的情，况
 SG：嗯
 L：嗯
 SG：嗯，你想去那个大学吗？
 L：你想去那个大学吗？
 （SG の中国語を教師が語を区切ってゆっくり再度発音し理解支援）
 KBA：对，ふふふ（笑）
 SG：对，呵呵（笑）
 KBY：（不明）
 L：画面で見せるというのがいいかなと思って
 KBA：っていうか，「私も行きます」という時に，その「も」って最後なんですか？
 L：えーとね，「去」，「行く」の前ですね，私「も」行きました
 KBA：我，也，去
 L：そうそうそう
 KBA：八月八号？八号，我也，嗯？我也去，去了芭蕾舞发表会
 SG：不太清楚
 L：ちょっと待って，もう一回…
 （接続不良，再接続）
 KBA：喂！
 SG：はい！（笑）
 KBA：喂！（笑）
 SG：你说吧
 L：「どうぞ」と言ってます
 KBA：啊，谢谢！芭蕾舞
 SG：没有
 KBA：太漂亮了！
 L：嗯
 SG：嗯
 KBA：我没做特别的事情
 （接続不良，待機）
 これ続きって何ですか？
 L：えーと，「しかし」って入れて，そのまま
 KBA：あ，不过，过得很愉快
 SG：你继续

L: 続けてどうぞっていう意味, 你继续
KBA: あ, 我, 我打, 打网球了
SG: 什么?
KBA: 打网球了, テニス
L: 嗯嗯
KBA: テニスです, ふふふ (笑)
SG: 哈哈, 没明白, 呵呵
L: 聞こえてない, たぶん, 途切れて聞こえてない
KBA: 我打网球了
(接続不良, 待機中)
SG: 嗯
L: あ, 聞こえてた
SG: 嗯, 说吧, 现在音质挺好的
L: うん, いまよく聞こえていますって
KBA: あ, はい, こくら辺ですね, 続き
L: うんうん, 「あつという間だった」, そうですね, これとこれ続けて, 後ろは夏休み…
KBA: 很快就结束暑假
L: うんうん
SG: 嗯
KBA: 我没能完成学习计划! あはは (笑)
SG: 这可不好! 呵呵呵 (笑)
KBA: 我没能完成学习计划
SG: 哦, 那你怎么不完成啊?
L: どうしてですかって聞いてます
KBA: I don't know! (笑)
L: 不知道
KBA: 不知道! あはは (笑)
SG: 哈哈 (笑) I don't know!
KBA: そうですね, 最後これこのままでいいですか?
L: うん, それは最後, 「これから頑張ります」
KBA: 今后要, 今后要, 好, 好好努力
SG: 嗯
KBA: 谢谢!
SG: 嗯, 你自己制定的计划一定要完成的!
L: うん (笑) 自己, 定计划, 自分で計画を決めたので, 一定要完成, 頑張って完成させないとい
けません, と言っています (笑)
KBA: はーい (笑) 頑張ります!
SG: 頑張って! はいはいはい!
KBA: 頑張って!
SG: 嗯, 说得挺好的! はい, 頑張りましょう! 呵呵
KBA: ははは (笑) 頑張りましょう (笑) かわいいですね
L: うん, じゃ, えーと, 「夏休み紹介してください」 とちょっと言ってみますか
L: 请
KBA: 请给
L: うん, 我们
KBA: 我们? 请给我们, 你的
L: 介绍, 介绍
KBA: あ, 介绍, 你的
SG: 嗯
KBA: 暑假

SG：我的介绍？

KBA：对

SG：好！呃，呃，我暑假，本来打算回家，回家打工，アルバイトしたいですけど

KBA：したい，けど？

SG：呃，呃，たくさん店をいって，呃，でも，店長さんは，呃，短い，呃，時間が短いですから，
 呃，私がしませんでした，結局

KBA：ああ，時間が短期でしかできなかったってことですかね

L：うん，一日の時間が短いんですね

SG：呃，夏休みは，呃，呃，两个月

L：二ヶ月ね

KBA：おおー，長い，長い

KBY：長いですね！

L：うん，「很长」

SG：え，長いですか？

KBA・KBY：長い！

KBA：我的，我们的暑假，我们的暑假很

L：うん，うん，「短」

KBA：短！あはは（笑）

SG：嗯，短？

L：短いですか？

SG：呃，那你们暑假多长时间？

L：どのぐらいですか？

KBA：一ヶ月なかったよね？

KBY：なかったかも

L：三週間？

KBA：あ，三个星期

SG：一ヶ月ぐらい？

KBY：三个星期

L：对，大きな声で言って

KBY：三个星期

SG：哦！

KBY：哦！（笑）

L：很短

KBA・KBY：很短，很短

SG：嗯嗯

SG：然后，之后就，呃，就，呃，ずっと家にいて，何もしませんでした

KBA：あはは（笑）太好了！

L：ははは（笑）「休息」ですね

KBA：休息

L：休息

SG：でも，つまら，つまらないですよ，哈哈

KBA：あははは（笑）そんなことないです

KBY：そんなこと，そんなことないです

KBA：「休息」大事です

L：そうね，うん

KBA：いいな，のんびりしてたんですね

L：そうですね，のんびりしたのは「休闲」

KBA・KBY：休闲？

L：休闲，うん，リラックスして，レジャーみたいな感じ，「休闲」

KBA：そう，そうなんですね

SG：少し、でも、少し勉強をしていました
KBA：おお、えらい
KBY：太好了！
KBA：何をするのでも（笑）
L：「聪明」だね
KBA：聪明
SG：太好了！哈哈哈（笑）
SG：啊，でも，啊，我的计划也没有完成！呵呵（笑）
L：ふふふ（笑）さっきのそれと同じことを言ってるんですね，KBA の後ろに書いてあるやつ
我的计划也没能完成，计划，没能完成
（KBA 準備原稿の記載箇所を探す）
KBA：ああ！
L：计划没能完成
（KBY が準備原稿の記載箇所を見つけて指す）
KBA：計画のやつですね？
L：嗯，没能完成
SG：計画？計画ですね
KBA：計画です，计划，計画？
SG：はい，はい
L：没能完成
KBA：ああ
SG：计划
KBA：没能完成
SG：嗯
L：她也一样
KBA：同じじゃん！あはは（笑）
L：そう
KBA：同じですね
KBA：一样，一样
SG：一样，同じです，呵呵
KBA：同じです（笑）うける，一緒だ
SG：呵呵（笑）呃，呃，今学期は，私はコンピューターの試験がある
KBA：おお！
SG：あるけど，あるですけど
KBA・KBY：うんうんうん
SG：何も，呃，何も復習をしませんでした
KBA・KBY：あははは（笑）加油！
L：皆同じだ！あはは（笑）
KBA：加油！
KBY：加油！
L：加油！（笑）
KBA：加油！
SG：あ，谢谢！
KBA：まだ間に合う！へへへ（笑）
L：まだ間に合う，うん，そうだね，うん，「来得及」，「間に合う」は「来得及」
KBA：来得及
KBY：来得及
L：嗯嗯
SG：明日は，明日，呃，東北師範大学へ行って，呃，コンピューターの試験を受け，受けます
KBA・KBY・L：明日，明日！？明天？明天！？

KBA：やばい、それやばい、Skype どころじゃない（笑）
 SG：今、今緊張している、哈哈哈
 L：あははは（笑）太紧张了
 KBA：太紧张了
 L：太紧张
 KBA：太紧张
 L：うん、緊張する、あまりにも緊張する
 KBA：うける（笑）
 L：応援の言葉を、皆さん！
 KBA・KBY：加油！加油！加油！加油！
 SG：很紧张！因为什么都没看呢
 KBA：「応援してます」的な…
 L：うん、「我支持你」
 KBA：我，我支持你！へへへ（笑）いや、頑張っしてほしい！（笑）
 L：頑張れ！
 SG：谢谢！
 L：不客气
 KBA：yeah！
 （KBA が Web カメラに向かってガッツポーズ）
 うけるなー、Skype どころじゃないよね
 SG：就差不多这样吧
 L：嗯、大体こんな夏休みでしたってことですね
 SG：我的暑假挺，挺无聊的
 KBA：谢谢
 L：うん、あんまり楽しいことは特になかったと言ってます、そうか、でも、試験か、試験があるんだね
 じゃ、試験難しいか聞いてみましょう、「難しい」は「难」ですね
 KBA：很难？
 SG：然后，然后你要看我们，呃，给你发几张我们学校的图片吧
 L：あ、ちょっと写真送ってくれると言ったので、見てみましょう
 KBA：おお！はい
 SG：はい
 KBA：はい
 SG：あ、ちょっと待ってくださいよ
 L：と言ったら？
 （教師が学習者に中国語で応答するよう促す）
 KBY：好的！
 L：好的
 SG：好的，稍等一会儿
 L：稍等一会儿，ちょっと待ってください
 （QQ で写真データ受信）
 KBY：地球村？
 （受信した写真を見ながら SG の説明を聞く）
 L：うん、地球村っていう施設があるんですが
 SG：地球村、あの一、あの丸い建物は地球村です
 L：うん
 SG：見えますか？
 KBA：見えないです
 KBY：まだ見えないです
 L：まだ、あ、来ました来ました

KBA・KBY：おおー！！
KBA：きれい
SG：見えない？哦
KBY：見えました
SG：きれいでしょう？
KBY：漂亮，很漂亮
SG：すごい
KBA：すごい
L：「好看」ですね
KBA・KBY：好看！
SG：呃，呃，嗯，平时，平时我们在那里面都有活动
L：嗯，有活动，イベントやるんですね，ここで
KBA・KBY：おおー！
SG：呃，クラブ活動
KBA・KBY：うんうん
L：どんなことするか聞いてみますか？有什么活动？
KBA：ああ，有什么活动？
SG：ああ，えーと，我大二的时候参加了那个茶道俱乐部
L：哦，茶道
KBA：茶道
L：そう
SG：茶道クラブ
KBA：おお！に入ってるんですか？
L：二年生の時やってたんですね
KBA・KBY：ええー！我们
KBY：我们参加，我们参加茶道部，了
L：对
KBA：我们
L：嗯，都
KBA：都
L：嗯，参加
KBA：参加，茶道部
SG：茶道俱乐部
KBA：一緒ですね，ふふふ（笑）
L：うん，同じですね
KBA：一样一样
L：对，一样
SG：呵呵（笑）你们有什么，就是，课余活动吗？
L：何か部活動ありますか？と言っています
KBA：いろいろありますね
L：いろいろあるよね，二人は茶道部だもんね
SG：クラブ活動がありますか
KBA：对
KBY：对
L：有
KBA・KBY：有，有
L：たくさんあります，とても多いです
KBA：很多
L：嗯，很多
KBY：很多

L: 嗯, 很多
SG: 也有啊?
L: ありますね?
KBY: 对
L: 有
KBY: 有
KBA: 根据自己兴趣, ダダダダ..., 茶道部!
L: 嗯, 茶道部, 茶道部也有, えーとですね, 二人の写真見せますか?
じゃ, えーと, 「体育大会の写真を紹介します」と言ってみましょう
KBA: 我介绍
L: 嗯, 介绍, 嗯, 体育
KBY: 体育
SG: 何か, 何か写真がありますか?
L: ありますね
KBA・KBY: 有, 有
KBA: 我们, 介绍, 体
L: 体育
KBA: 体育
SG: 見せてください!
L: 比赛
KBA: 比赛
L: うん, 「の写真」
KBA: 的电影?
L: 照片
KBA: 照片, 見せまーす!
SG: はい! はい! はい! 呵呵 (笑) 楽しみでーす!
(QQ で送信する写真データを選択中)
(写真データの送信に失敗, 再送, インターネット回線速度が遅いために 1 枚ずつ送信)
L: 部活だと思っているから, これは体育大会とちょっと説明しましょう
KBA: ああ
SG: 喂
L: 喂, 嗯
KBA: 喂
L: これは体育大会です
SG: 写真が, 見ました
L: うん, どうですか?
KBA: 怎么样?
L: うん
SG: 啊, 啊, 你们参加了哪个俱乐部了吗?
L: どれに, どの競技に参加しましたか?
KBA: あ, ドッジボールです
L: 啊, 斗球
KBA: 我参加斗球
SG: 嗯
L: KBY も?
KBY: うん, そうです
SG: 嗯?
L: 斗球
KBA: 斗球
L: うん, そうね, ないか, 中国語に…ドッジボールって言ってわかるかな?

KBA：ドッチボールです
 SG：听，呃，不明白
 L：ドッチボールわからないか！そうか，うん
 SG：ドッチボール？
 KBA：あ，そうですそうです
 SG：啊，呃，能帮我打出来吗？
 L：ドッチボールの写真はないんだよね
 KBA・KBY：あ，うん
 SG：用汉语的，就是，用 QQ 发给我
 L：嗯，好好好
 （教師が QQ のテキストチャット欄にドッジボールと入力）
 SG：我都没听过
 L：没听过，聞いたことありません，そうですか
 KBA：おお…そうですか，ふふふ（笑）
 L：斗球就是分成小组…
 SG：是集体项目吗？
 L：对，集体项目，对啊，对
 SG：哦
 （別の集合写真を見ながら説明）
 L：「私はどこです」って言うことにしようかな，二人ともいますよね，どっかにね
 KBA・KBY：います
 L：この辺かな，えっと，KBA はこれ持ってるのですね
 KBA：そうです
 L：どこかな？
 KBY：これです，青の端っこ
 L：青の端っこか…中国語で言ってみます？「私は青い服を着ています」ということで
 KBY：我
 L：我是
 KBY：我是
 L：うん，「着る」は「穿」
 KBY：我是，我是穿
 L：青い色の
 KBY：青い？
 L：うん，蓝，蓝色
 KBY：蓝色，T，T，
 L：T 恤衫
 KBY：T，恤衫，T 恤衫
 （接続不良のため待機中）
 SG：啊？
 L：もう一回言ってみる，聞こえてません
 KBY：「着る」は？
 L：穿
 KBY：我是穿
 L：蓝色
 KBY：蓝色 T 恤，T 恤衫
 L：T 恤衫
 KBY：T 恤衫
 （接続不良のため待機中）
 SG：啊，听不见呐
 L：うん，音がちょっと悪いみたいだね，じゃ，KBA はここか

KBA：「うちわ」って何ですか？
L：扇子
KBA：扇子
L：うん
KBA：我有，我有扇子，へへへ（笑）
（接続不良のため待機中）
SG：哦，你在打字吗？
L：嗯，对
SG：嗯
（音声で SG にあまりよく聞こえていないため，テキストチャット欄に 2 人がどれか教師が説明を入力）
KBA：絶対わかるよねこれ（笑）
L：わかる？こっちか，こっち，一人だね
KBA：一人です
L：一人だね
SG：喂，呃，就是，篮球俱乐部和，那个拿棒球的那个，我看见了
（受信した写真が見えなくなってしまったと SG から連絡）
L：嗯，集体照呢？没看到？
SG：后来发的那个图片都没看见
L：哦，现在重新发，发给你
SG：哦，没收到
L：集体照
SG：哦
（SG に写真データを再送，受信に失敗）
L：哦，好像发不过去了
SG：哦，哎呀，没看见呐，呵呵
L：没看见吗？！重新发一次吧
（SG に写真データを再送，受信に失敗）
SG：呃，我看，呃，还是不显示啊
L：嗯
（SG に写真データを再送，受信に失敗）
SG：嗯，怎么办呢，どうしよう？
L：ははは（笑）どうしよう，見えないですね
KBA：かわいい！
L：スクリーンキャプチャすればよかったんだけど，あまり小っちゃくても無理なんだよね，点々だから
SG：呃，すごく見たいです！
KBA：すごく見せたいです！
L：そうだね，見せたいですね
（写真データのサイズが大きく SG が受信できないため対策を検討）
（音声チャットを切断してから写真データを再送し，すべて受信完了後に再接続するよう対処）
SG：啊，我看见，我看见拿扇子那个 KBA 了
L：見えたそうですよ
KBA：啊，谢谢，恥ずかしい！あはは（笑）
SG：で，KBY ちゃんは，どなたですか？
L：KBY はね，どれなんだろう，どこだっけ，後ろの方にいましたよね，これか，えーとね，KBY は她从后数第三行黄色 T 恤衫，戴眼镜的那个男生的左面
SG：哦哦哦！見えます！呵呵（笑）啊啊，人好多呀！
L：人がいっぱいだね（笑）それで，えーと，3, 4 組？だよな？
KBA・KBY：そうです

KBA：さっきのさ、KBY のさ、ボール、ボール
 KBY：ああ！KBY：ドッチボール？
 L：そうだね、うん、そうだね、じゃ、もう一つ送りますと
 KBY：えーと、
 L：もう一つ写真がありますね
 KBA：还有
 L：うん、还有、「まだある」んですね
 KBY：还有，还有
 L：照片
 KBA・KBY：照片
 L：あなたに見せてあげます
 KBA：给你
 KBY：给你去
 （KBY が動詞を「去：行く」と誤ったので「看：見る」に訂正）
 L：看，看，给你看
 KBY：看，给你看
 SG：还有照片呐
 L：これ？これ一番右側だもんね、これわかりやすいね、よいしょー
 SG：好
 （SG に写真データを送信中）
 L：うん、写真を保存しましたと言ってます
 KBA：うれしい！
 （写真のクラスと KBA・KBY が映っている位置を確認）
 L：一番右側です、KBY から、最右邊的，我是最右邊的
 KBY：我是，我是最…
 SG：嗯，我知道你是哪个
 L：あ、わかったって、どれか、うん
 KBA：「怎么样」って、ふふふ（笑）
 （KBA が KBY に感想を聞くよう促す）
 KBY：怎么样？
 L：怎么样？最右边的那个怎么样？
 SG：呃，呃，很好看，呵呵
 L：うん、いいね
 KBY：谢谢
 SG：かわいい！
 KBY：谢谢！
 KBA：照れてる，照れてる（笑）
 L：照れてる（笑）よかったですね
 SG：呵呵呵呵，不客气！
 SG：呃，你们这个俱乐部需要参加多长时间呐？
 L：「これはどのぐらい時間かかったんですか」と聞いてますね，需要多长时间？
 KBA・KBY：二日間
 L：二日間？じゃ，二日間，两
 KBY：两日
 L：两天
 KBA：啊，两天
 KBY：嗯？两
 L：两天
 KBY：两天
 L：体育大会ですね，体育

KBY：体育
SG：两天呐！
L：比赛，「大会」は「比赛」
KBY：比赛
SG：嗯，你们这个参加完之后要比赛吗？
L：これが「比赛」だね
这就是她们体育比赛啊，她们每年举办一次体育比赛，整两天进行，各种各样的体育大会，
体育比赛大会
（SG が部活動と勘違いしているため，体育大会という学内の行事であることを教師が中国語で説明）
SG：啊，是跟自己，是跟自己学校的比赛吗？
L：学校の中の試合ですか？
KBA：啊，对，何ていうんだろう？クラスごとに
L：うんうん，そうそうそう，每个班
KBA：每个班，
SG：啊，这和中国运动会差不多
L：運動会みたいなものですね
KBA：ああ，そうです，あはは（笑）そうです
SG：運動会（うんどうかい）？
KBA：運動会
SG：はいはいはいはい
L：何か取ってましたね，この賞状を，あれはなに？3組？
KBA：ああ，バレーボール
SG：这个月我们学校也有运动会
L：她们学校也有运动会
（SG の中国語が早口だったため，教師が語を区切ってゆっくり再度発音し理解支援）
KBA：她们学校？
L：她们，嗯，有
KBA：有
L：运动会
KBA：运动，運動会？
L：うん，運動会
KBA：あるんですね
L：うんうん
SG：呃，29日，29日
L：九月？九月份吗？来週？29日って
SG：はいはい
KBA：おお！
L：もうすぐだ
SG：9月29日
KBA：土曜日？
L：土曜日だよ，そうだね，土曜日かな？聞いてみて，土曜日ですか？
KBA：星期
KBY：星期六，吗？
KBA：星期六，吗？
L：嗯，是星期六吗？
KBA：是星期六吗？
SG：星期六
KBA：おお！
L：うん，何をやるか聞いてみましょう

SG：这星期的星期六，嗯
KBA：何て言うんだろう，你
L：你
KBA：你，做？
L：做，啊，打
KBA：啊，打
SG：今週の土曜日
KBA：你打什么
L：球
KBA：球？
（接続不良のため待機中）
SG：我呀，我，我体育课的时候选的羽毛球
L：羽毛球
KBA：ああ，バドミントン？ああ！加油！ふふふ（笑）
SG：はいはいはい！呵呵（笑）
KBA：バドミントン，バドミントンなかったっけ？
KBY：なかったです
L：ね
KBA：あ，你会打羽毛球？ 嗯？
L：嗯，羽毛球
KBA：羽毛球？
SG：但是，嗯，呃，我会打羽毛球，但是运动会的时候没有这个项目
L：ん？ どういう意味だろう？
SG：我们是平时的体育课的时候打羽毛球
L：あ，なるほど，体育の授業でバドミントンはやってるけど
KBA：いいですね！へへへ（笑）
L：うん，体育大会の時にはないんですね
SG：呃，呵呵呵呵，我运动会什么都没有参加
L：あれ？ ははは（笑）運動会参加しないそうです，不参加，不参加
KBA・KBY：あはは（笑）わかりました
L：応援団ですね，拉拉队
SG：運動なんか下手です，哈哈
KBA・KBY：あはは（笑）
KBA：ああ，私もです，私も同じです
L：同じですね
KBA：一样！ふふふ（笑）
L：一样吗？
KBY：一样，一样
L：我也一样，她也一样
SG：呵呵呵呵，同じです，一样
KBA：一样！あはは（笑）共通点！
L：まあ，茶道はできるからいいか！みたいな感じで（笑） そうだね
SG：呵呵（笑）都是，怎么，比较懒的人
L：うん，はは（笑）ちょっと動かすのも体が面倒くさいと言っています，怠け者といってます
ね，うん
SG：对
L：でも，まあ，文化活動だよね，茶道は
SG：用中国话说是没有运动细胞的人
L：あ，そうなんだ，中国語でね，「没有运动细胞的人」っていうんだって，その
KBA：没有，没有？

L：运动
 KBA：运动
 L：嗯，细胞的人
 KBA：细胞的人
 L：「運動細胞がない」って
 KBA：あはは（笑）
 SG：没有运动细胞的人
 KBY：そこまで？（笑）
 KBA：運動音痴ってやつ？ですね？
 L：そうだね！うん，日本語も教えてあげといて
 KBA：日本語では，運動音痴っていいです！ふふふ（笑）
 SG：用日语怎么说啊？
 L：うん，もう一回言って，日本語では？
 KBA：日本語では
 SG：うん
 KBA：運動音痴って言います
 SG：あ，運動音痴？
 KBA：はい（笑）
 SG：哈哈（笑）はい，わかりました！
 L：ははは（笑）わかりました！学んだ！ひとつ学んだね，没有运动细胞的人
 （FYは書道の授業で書いた中国語の文字をビデオチャットで見せるために切り替え準備）
 L：现在我们计划一下那个视频，然后就，说拜拜的时候，我们切换成视频，好吗？
 KBA：我喜欢学汉语！（笑）
 SG：啊，今天要结束了吗？
 L：嗯，最后我们有一个东西想给你看看
 SG：好好好好好
 L：見えるかな
 （SGの顔が画面に表示されたので2人とも笑顔でWebカメラに向かって手を振る）
 （「太好了:よかった」と書かれた半紙をWebカメラに映して見せる）
 SG：はい
 KBA：見えてる，太好了！あ，こっちこっち（笑）
 L：そうそうそうそう，左右翻，转反了
 SG：よかった！？哈哈
 L：她们班里的女同学她自己写的
 SG：字が，字がきれいですね
 KBA：谢谢！
 L：她今天没能来参加，所以写了个东西给你看，ここもちょっと，一行分の
 （「我们喜欢学汉语：私たちは中国語を学ぶのが好き」と書かれた部分をWebカメラに映して見せる）
 KBA：我们，我们喜欢学汉语！
 L：看到了吗？
 KBA：我喜欢学汉语
 SG：啊
 L：見えたかな
 KBA：怎么样？ふふふ（笑）
 L：怎么样，いいね
 SG：我喜欢学汉语，見えます，呵呵呵呵
 KBA：よかった
 L：ね
 KBY：さっきより画像きれい

L: 変えた瞬間はね, いいんだよね, で, だんだん固まってきちゃうんだよね

好, 那我们今天交流就, 到此结束吧

SG: 嗯

L: 嗯, じゃ, またねと

SG: 我喜欢学日语! 哈哈哈

L: 嗯, 她喜欢学日语, 学, 日语, 日语

(SG の中国語が早口だったため, 教師が語を区切ってゆっくり再度発音し理解支援)

KBA・KBY: ああ!

SG: はい! またね!

KBA・KBY: 再见! 谢谢! 再见! 谢谢!

付録 12 5.1.5 「中国からの質問」に答えるためのワークシート

【3年生中国語 課題】8-9月オンライン交流準備：中国から日本への質問

中国の学生たちから出された、「日本の学生に聞いてみたい質問」は下記の通りです。
交流の準備のために、自分たちの答えを中国語で話すための準備をしてください。
わからない語句は辞書で調べながら、みんなで協力して考えてください。

- ① 【 】内の分担指示に従い、質問の部分を日本語に訳しましょう。
- ② 自分たちの答えたい質問やトピックを選びましょう。
- ③ 自分たちの答えを考えて、日本語の文を書きましょう。
- ④ 日本語の文を中国語に訳しましょう。
- ⑤ 授業の最後に、完成した日中対訳の文を先生に提出してください。

時間配分のめやす

質問文の日本語訳：15分【9：50～10：05】 ペア決定、トピック選択：5分【10：05～10：10】
日本語文作成：10分【10：10～10：20】 中国語訳：20分【10：20～10：40】

【トピック 1】日本について

zuìjìn Rìběn shèhuì gè fāngmiàn de xīnwén yǒu shénme huàtí
最近 日本 社会 各 方面 的 新闻 有 什么 话题？

【担当：KB】訳：

Rìběn dāngqián rènmén de huàtí shì shénme
日本 当前 热门 的 话题 是 什么？

【担当：KB】訳：

【トピック 2】日中文化比較

Wǒ xiǎng liǎojiě liǎngguó guānniàn chāyì huò wénhuà chāyì ,
我 想 了解 两国 观念 差异 或 文化 差异,
bǐrú shuō , Rìběn yǔ Zhōngguó de nánǚ guānniàn chāyì
比如 说, 日本 与 中国 的 男女 观念 差异。

【担当：KB】訳：

Nǐmen xuéxiào yǒu liúxuéshēng ma Liúxuéshēng zài Rìběn de shēnghuó zěnmeyàng
你们 学校 有 留学生 吗？ 留学生 在 日本 的 生活 怎么样？

【担当：KB】訳：

Nǐmen xǐhuān xué Hànyǔ ma Xuéxí Hànyǔ nánbùnnán Shénme dìfang bǐjiào nán
你们 喜欢 学 汉语 吗？ 学习 汉语 难不难？ 什么 地方 比较 难？
Rúhé kèfú xuéxí shàng de kùnnán
如何 克服 学习 上 的 困难？

【担当：YG】訳：

Běihǎidào yǒu tèbié de wénhuà xísú ma Yǒu shénme yǒu dàibiǎoxìng de huódòng ma
北海道 有 特别 的 文化 习俗 吗？ 有 什么 有 代表性 的 活动 吗？

【担当：YG】訳：

【トピック 4】学校生活、スポーツ

Lǎoshīmen zài kètáng shàng de jiàoxué fāngfǎ zěnmeyang
老师们 在 课堂 上 的 教学 方法 怎么样？

【担当：YZ】訳：

Qǐng dàjiā jièshào yíxià Rìběn gāozhōngshēng de rìcháng huódòng hé shēnghuó fāngshì
请 大家 介绍 一下 日本 高中生 的 日常 活动 和 生活 方式。

【担当：YZ】訳：

Rìběn gāozhōng xuéxí xīnkǔ ma Yìtiān dàgài xuéxí duōcháng shíjiān
日本 高中 学习 辛苦 吗？ 一天 大概 学习 多长 时间？

【担当：MT】訳：

Huíjiā hòu fùxí gōngkè ma Zài jiā zìxué jǐ gè xiǎoshí
回家 后 复习 功课 吗？ 在 家 自学 几个 小时？

【担当：MT】訳：

Xuéxiàoli yǒu shénme yǒuqù de shìqíng ma
学校里 有 什么 有趣 的 事情 吗？

【担当：MT】訳：

【トピック 5】将来の進路について

Duìyú dàxué huò zìjǐ de wèilái yǒu shénme dǎsuàn jìhuà
对于 大学 或 自己 的 未来 有 什么 打算、计划？

【担当：KBA】訳：

Jiùyè huódòng qíngkuàng zěnmeyàng Zài Rìběn zhǎo gōngzuò nán bù nán
就业 活动 情况 怎么样？ 在 日本 找 工作 难 不难？

【担当：KBA】訳：

【トピック 6】ドラマ、映画

Xiànzài zài Rìběn liúxíng de diànyǐng shì shénme
现在 在 日本 流行 的 电影 是 什么？

【担当：FY】訳：

diànshìjù
现在 在 日本 流行 的 电视剧 是 什么？

【担当：FY】訳：

dòngmàn dònghuàpiān mànhuà
现在 在 日本 流行 的 动漫 是 什么？ *动漫 = 动画片，漫画

【担当：FY】訳：

Zuìjìn yǒu rénqì de Rìběn míngxīng shì shuí
最近 有 人气 的 日本 明星 是 谁？

【担当：FY】訳：

【トピック 7】趣味、日々の出来事

Rìcháng shēnghuó zhōng de bǐjiào gǎn xìngqù de huàtí chénmí de dōngxi děngděng
日常生活 中的 比较 感兴趣 的话题、沉迷 的东西 等等

【担当：KBY】訳：

Qǐng nǐ jièshào yíxià zuìjìn shēnghuó zhōng fāshēng de yǒu yìsi de shìqing
请 你 介绍 一下 最近 生活 中 发生 的 有意思 的事情

【担当：KBY】訳：

Nǐ xǐhuan shénme yúlè huódòng
你 喜欢 什么 娱乐 活动？

【担当：KBY】訳：

【トピック 8】旅行

Qù Běihǎidào lǚyóu, shénme dìfang zuì hǎo
去 北海道 旅游 什么 地方 最好？

【担当：KBA】訳：

Yìnián sìjì dōu yǒu shénme wénlè huódòng
一年 四季 都 有 什么 文乐 活动？

【担当：KBA】訳：

【トピック 9】グルメ

Rìběnrén xǐhuan chī shénme Zhōngguó cài ?
日本人 喜欢 吃 什么 中国 菜？

【担当：HM】訳：

Rìběnrén xǐhuan chī shénme Rìběn cài ?
日本人 喜欢 吃 什么 日本 菜？

【担当：HM】訳：

Rìběn niánqīng rén xǐhuan chī shénme ?
日本 年轻 人 喜欢 吃 什么？

【担当：HM】訳：

Rìběn niánqīng rén píngshí hē shénme yǐnliào ? Duōshǎo qián ?
日本 年轻 人 平时 喝 什么 饮料？ 多少 钱？

【担当：HM】訳：

付録 13 5.1.5.1 「中国からの質問」第 8 回遠隔交流記録スクリプト

凡例：教師＝L／中国人学生・女＝ZYT ほかに友人 2 名, YJ ほかに友人 1 名, LL, XJ, TT, MYL／日本人学習者＝YZ, YG

灰色アミカケは第 5 章スクリプト抜粋箇所

(セッション 1)

YZ：我的生日是 5 月 12 号，她的生日是…

YG：11 月 19 号

ZBY：11 月，啊，是 7 月还是 11 月？

YG：19

L：19 号

YG：19 月

YZ：えっ？あはは（笑）

YG：19 号！

YZ：あはは（笑）19 月はないよ！

（YG 間違いに気づき YZ の腕をつかんで笑い恥ずかしがる）

YG：19 号！だめだー（笑）

L：いいですね（笑）还有吗？爱好什么的

YZ：我的爱好是中国武术

ZYT：武术？呵呵

L：武术？

YZ：哪个，我 7 岁的时候开始练习武术

ZYT：7 岁？现在会武术吗？

YZ：请再说一遍

ZYT：你现在，你现在会武术吗？

YZ：啊，对，现在我练习武术

ZYT：你知道成龙吗？

YZ：啊啊，我知道成龙

ZYT：李小龙知道吗？

YZ：请再说一遍

ZYT：李小龙

YZ：李小龙，我知道

ZYT：还有别的中国的武术明星你知道吗？

YZ：啊…李连杰

ZYT：啊！李连杰

L：ジェット・リーですね，ああ！納得納得みたいな（笑）後は，ええと，今度中国に行くというのも紹介してあげましょう

YZ：ああ…11 月 14 号我打算去北京

ZYT：去哪里？

YZ：去北京

ZYT：ああ，1 人で？

L：あー，一人で，一人ではない

YZ：一人ではないですよ，何人ですかね？

L：うーん，中国語のスピーチ大会に参加しますと言って見て

YZ：汉语的…

L：演讲比赛

YZ：演讲比赛

ZYT：啊啊！演讲比赛！

L：納得納得，みんな納得

ZYT：我们开始自我介绍吧，好吗？

L: 他們的自我介绍, 好吗? 彼女たちの自己紹介
 (学習者が聞き取れていないので教師がゆっくり再度発音し理解支援)

YZ・YG: 好, 好! あはは (笑)
 (2人ともうなずき)

ZYT: こんにちは! ZYTです, いま3年生です, 出身地は蘇州です, 蘇州分かりますか? 苏州

L: 蘇州わかりますか? 南の方のすごく有名な観光地, 苏州

ZYT: 上海に近く, 近います, もしチャンスがあれば…ふるさとへ遊びに行きましょ!

YG: 我想去

YZ: うんうん
 (2人ともうなずき)

L: 我, 想, 去, 我 YZ になってるから (笑)
 (YG の声調が誤っており YZ の名前を言ったように聞こえるので教師が正しい発音を指導)

YZ・YG: あははは (笑)

友人 A: こんにちは! 私は友人 A です, 私達は同じクラス, 私達3年生です, 同じ寮住んでいます

L: 終わりかな? 何か質問してあげるか

友人 A: 私の故郷は遼寧省, ご存知ですか?

YZ: 我們不知道, ははは (笑)

友人 A: 瀋陽, 沈阳听说过吗? 大连?

L: 沈阳, 瀋陽わかりますか? 大連わかりますか? 大连

YZ: 啊啊, 知道知道

友人 A: 大連は遼寧省の…

L: 省都ですね, 省都, ここですね, 今地図を見ていると言って
 (教師が教科書を取り出し中国全土の地図を学習者に示して位置を確認)

YZ: 我們看了地图, 明白了

L: 苏州在哪儿? 苏州, 探して, 上海の近く
 (YZ と YG は地図上の蘇州を探す)

L: 大连, わかりますか? 在哪儿?
 (YZ と YG は地図上の大連を探す)

YZ: ここだ!

L: そうですね, 瀋陽はここ

YZ・YG: おおー

L: 瀋陽は札幌と姉妹都市ですからね, 覚えてあげてください

YZ・YG: へえー

L: わかりましたと伝えて

YZ: 明白了!

L: ははは (笑) あ, 見てる, 日本地図を見てますね, 彩色的好看
 (画面の向こうで中国側は日本地図を広げて見ている様子)

ZYT: 金曜日は外教 (がいきょう: 外国人講師) のテストがあります, 金曜日

L: 金曜日!? 今週ですね! もうすぐですね?

YZ・YG: あははは (笑)

YZ・YG: 加油! 加油!

友人 B: こんにちは! わたしは友人 B と申します, うーん, 私の出身地は友人 A と同じです, 遼寧省に生まれました, 小さいころ私はバイオ, バイオリンを勉強しました, だから私は音楽が好きです

L: お! YG?

YG: 一緒, 一緒だ

L: 私も一緒です, 我也一样

YG: 何?

YZ: 我也一样

YG: 我也? 我也一样

友人 B：ああ！縁がありますねえ！ふふふ（笑）
 L：縁がありますよ！ほんと、有缘份、有缘份、いいですねえ
 友人 B：6 年も勉強しました
 L：YG？YG 練習了什么乐器？
 YZ：何の楽器やってたかって
 YG：バイオリン
 友人 B：あなた達は何年生？高校何年生ですか？中国語を何年…学了多长时间？
 L：对，你们汉语学了多长时间？请回答，请用汉语回答
 YG：学了，两，あれ？（笑）
 L：焦る（笑）焦りますね、まず何年生ですか？你们是几年级的学生？
 YG：我们是三年级的学生
 L：对，高中三年级的学生
 YG：我们学汉语了 1 年半了
 友人 B：哦哦，上手，上手です
 YG：谢谢，谢谢
 L：じゃあ、あちらにも聞いてみますか？どのくらい日本語を勉強したか
 YZ：んー、你们学习日语多长时间了？
 友人 B：两年半了
 YZ：ああ、ああ
 （2 人ともうなずき）
 友人 B：そろそろ 3 年です、日本語はとても難しいと思います
 YZ・YG：あー
 L：你们呢？汉语难吗？あ、どうぞ、質問して、どうぞ
 （中国側が何か言いかけたので続けるよう促す）
 友人 B：私達は日本料理が好きです
 YZ・YG：おおー
 友人 B：チャンスがあれば日本へ行きたいです
 YZ・YG：おおー
 友人 B：山形市〇〇大学へ留学したいです、でも今は行くかどうかまだ決めてない、決めていません
 YZ・YG：へえー
 友人 B：你们也说一点吧
 L：何かちょっとしゃべってくださいって
 YG：请，请来北海道！
 友人 B：北海道，ほっかいどう？さっぽろ？
 YG：对！对！
 友人 B：以后想来中国留学吗？
 L：想来中国留学吗？想，来，中国，留学吗？
 （学習者が聞き取れていないので教師がゆっくり再度発音し理解支援）
 友人 B：留学したいですか？
 YZ：ああ、留学したいか
 YG：我想去
 友人 B：你想去中国哪里？
 YG：哪里
 L：「哪里」は「どこ」という意味です
 YG：ああ、どこに行きたいですか？
 YZ：うん
 YG：我想去…どこだろうなあ…「お薦めはどこですか」って何て言うの？
 （YG が YZ に支援を求める）
 YZ：あーそれはちょっとわかんない
 L：「どこがいいですか？」は？中国はどこがいいですか

YG：中国，什么？
L：あ、「什么地方」でもいいよ
YG：中国，什么地方
L：「よい」
YG：好？
友人B：中国什么？
YG：什么地方好？请告诉我
L：もう一回言ってみよう，たぶん音が聞こえていないかも
YG：中国，什么，地方，好呢？
（接続不良のため再接続）
L：じゃあ，お薦めを聞いてみようか，「蘇州には何かいいものがありますか」，「蘇州」は「苏州」
YG：苏州，有什么，好玩的？
友人B：苏州有很多很多好玩的
L：ははは（笑）たくさんか
友人B：苏州有园林，而且有很多好吃的
L：好吃的
YG：好吃的？
L：有很多好吃的
友人B：食べ物，いっぱいがあります
（2人ともうなずき）
YG：太好了！ふふふ（笑）
ZYT：你们有机会的话，一定要来苏州玩，因为它离上海，杭州都特别近
YZ：ふうん
（YZは中国側の言うことを概ね聞き取り理解，うなずき）
L：上海と「杭州」が有名な観光地なんですよ，比较近
友人B：蘇州は夏はとても熱くて，東京と大体同じです
L：うん，そうね，暑い，でも海沿いだから内陸よりはまし
（教師が地図を学習者に見せながら蘇州の位置を確認）
友人B：遼寧省の気候は，北海道と大体同じです，いつも雪が降っています
YZ・YG：ふうん，へえー
（2人とも真剣な表情で聞きながらうなずき）
L：雪降ったか聞いてみて
YZ：どこだっけ？
L：长春
YZ：长春下雨吗？下雪，下雪，了吗？
（YZは自分で「雨」と「雪」の言い間違いに気付きすぐに訂正）
ZYT：已经下过了
YZ：おおー
L：うん，已经下过了，こっちはどうですか
YZ：北海道还，还没，下雪
ZYT：我们这里已经很冷了
（2人ともうなずき）
L：很冷，寒いは寒いよねこっちも
YZ：うん，北海道也很冷
ZYT：呵呵呵呵
友人B：中国はある映画は北海道で，拍摄，《非诚勿扰》
L：《非诚勿扰》見ましたか？道東で撮ったの，2～3年前に
YZ：ああー，なんか聞いたことあるかも
友人B：《非诚勿扰》看过吗？中国の映画とか，ドラマとか，見たことがありますか

YZ: 我看过成龙的电影
友人 B: 看了什么?
YZ: 成龙的电影
友人 B: 成龙? 成龙的电影啊…北海道, 今寒いですか?
YG: 北海道很冷
友人 B: 私達の作文授業の先生, 先生のふるさと北海道です, 彼女のスキーが上手です, スキーが好きです
L: あはは (笑) ギャグだ (笑)
YZ・YG: あはは (笑)
L: 你们滑雪吗? 喜欢滑雪吗?
(教師が学習者に対して中国語でスキーをやるか質問)
友人 B: 時々, 体育の時間でスキーをします
YZ・YG: へえー
L: 中国も体育の授業でスキーをやるんだ, 知らなかった, 私達もやりますよね
(2人ともうなずき)
YG: 我们有滑雪课, 滑雪课
ZYT: 每周一次吗?
L: 每个星期一次吗? 每週?
(「週」の言い方は「周」ではなく「星期」で学習したため教師が言い換えて理解支援)
YG: 3 回くらいあるよね
YZ: うーん, 2 回, 3 回
L: 年明けにもあるよね
YG: うーん, たぶん年に 2 回, 我有 2 次, 在冬天 (冬天有两次)
YZ: 你们有…
L: いくつ
YZ: 几节? 滑雪课?
ZYT: 我们有…每学期, 一回だけ
L: 那, 一样啊
ZYT: 中国語に関する科目, 何の科目がありますか?
YZ・YG: 科目?
ZYT: 中国語に関する授業, 今勉強しているの科目, 私達は, 日本の風俗, 通訳, 作文…以上です
L: 有很多, 她们是日语专业, 私たちは中国語だけです
YZ: 我们学习只有汉语课
ZYT: あ, そうですか? 你们每天有几节课?
L: 先週やったかな, 先々週かな? 每天有几节课?
YG: ああ! 每天我有, 6?
YZ: うん, 6
YG: 6 节课
ZYT: 6 节课
L: あちらはどうかな
YG: 你呢?
ZYT: 我们每天大约有 6 节课, 但是明天只有两节课
L: 好啊, 明天, 两节课
(2人ともうなずき)
L: じゃあ, 1 時間何分か聞いてみましょう
YZ: 一节课有多少分钟?
ZYT: 45 分钟
YZ: 我们有 50 分钟
L: 日本の大学は 90 分ですね
YZ: 日本の大学有 90 分钟

ZYT：もう一度お願いします

YZ：日本の高中有 50 分钟，日本の大学有 90 分钟

ZYT：你们以后准备考什么样的大学啊？

L：おお，進路について

YZ：我打算学康复，康复师

L：最初にスポーツ医療と言った方がいいかな

YZ：我学习运动医疗

ZYT：运动医疗？

(YZ うなずき)

YG：えっと…毕业以后我打算上大学，我在北海道上大学，我打算学习艺术文化

L：艺术

(YG の声調が誤っているため教師が正しい発音を指導)

YG：艺术文化

ZYT：饮食文化？

YG：艺术文化

ZYT：芸術文化？

YG：对！ふふふ（笑）

L：みなさんの学校にもそういう学科があるかな？芸術文化系がありますか？

YG：你们的学校，有，艺术文化，系吗？

ZYT：ありません，私達の大学は外国語大学だから，ドイツ語，韓国語，フランス語，イタリア語，ロシア語など色々な外国語の学部があります

YZ・YG：ふーん

(2 人ともうなずき)

L：ここの学部はどのくらい学生がいるか聞いてみたら？彼女たちは日本語学部です，日语系

YG：ふふふ（笑）ごめんごめん

(YG が質問の文をうまく作れないので YZ にマイクを譲る)

L：中国行く前に特訓しといた方がいいか（笑）

(漢語橋スピーチコンテストの中国大会に向けて会話実践をがんばるよう教師が YZ を励ます)

YZ：日语系，有

L：どのくらいの学生，「いくらですか」と同じ，大きい数を聞く

YZ：几口人？多少？多少学生？

ZYT：多少学生？一共 8000 人左右，8000 くらい，整个学校有 8000 人

L：おお，それは全校ではないのか（笑）

YZ・YG：あはは（笑）

L：日本語科だけだったら

YZ：日语系有多少？

ZYT：日本語学科に何人がいますか？嗯，きっと 500 人ぐらい，女性は 400 人以上，は女の子です，私達のクラスは女の学生は 23 人，男の学生は 3 人だけ

L：こちらも同じであることを説明してください

友人 B：中国語を勉強している学生は男性の方が多いですか？そして，女性の方が多いですか？

YZ：女学生很多，但是男学生很少

ZYT：呵呵，跟我们一样

YG：我们班里，有 8 个学生

L：7 人が女子

YG：7 个学生是女学生，一个学生是（他）

(YG が YZ を指さす)

ZYT：ああ，わかりました

L：不好意思，下面还有一些同学在等我们，所以今天的交流到此结束吧，下个星期以后你们还有

時間的话我们再交流, 好吗?
ZYT: 好! ありがとうございます
YZ・YG: 再见! 拜拜! 谢谢!

(セッション 2)

YZ: 你们好!
LL・XJ・TT・MYL: 你们好! こんにちは—
L: じゃ, 食べながら, お腹すいたから
(教師がおやつのドーナツを学習者に提供)
LL・XJ・TT・MYL: 甜甜圈!? 私も食べたいです!
L: 日本はもう 6 時でお腹がすいていると
(画面の向こうで中国側も何か食べ物を出して食べている様子)
L: 什么东西?
LL・XJ・TT・MYL: 辣椒!
L: え, 唐辛子?
YZ・YG: え? あはは (笑)
YZ: 好吃吗?
LL・XJ・TT・MYL: ちょっと辛いですが, でも美味しい, 超おいしい!
YZ・YG: あはは (笑)
L: じゃ, 食べながらやりましょう
(2 人ともドーナツを食べようとする)
L: 二人で一緒に食べたらしやべるひとなくなっちゃう (笑) 交互に食べて
YZ: はい, 你好
L: まず自己紹介, 何年生で名前は何ってやつ
LL・XJ・TT・MYL: 你好! はじめまして
YZ: 你好, 初次见面, 我叫 YZ
(中国語が名前を聞き取れず何度か復唱)
YZ: 我们是高中 3 年级的学生
LL・XJ・TT・MYL: 私は大学 3 年生です, 高校 3 年生? いくつですか?
YZ: ああー, 我 18 岁
LL・XJ・TT・MYL: わあー, 若いですねえ
YG: 我 17 岁
LL・XJ・TT・MYL: 19? 17? 17 歳ですか?
YG: 对, 17 岁
L: うん, じゃ, 名前と自己紹介どうぞ
(教師が YZ と YG のフルネームを漢字でテキストチャット欄に入力)
YG: 你好, 我叫 YG
LL・XJ・TT・MYL: YG? 私は MYL と申します, 私は 19 歳です
私は XJ です
はい, 私は LL と申します
私は TT と申します
(中国側もテキストチャット欄にフルネームを漢字で入力)
LL・XJ・TT・MYL: 你们猜一下我们有多少岁了? 你们猜一下我们最大的是谁?
L: 何歳だと思いますか? 一番年上はどの人だと思いますか?
(中国側の発話が長いので教師が日本語に訳して理解支援)
YG: えへへ (笑)
L: 何歳ぐらいに見えますか?
YZ・YG: …20…何歳か? でも中学生に見える (笑)
YG: 你们, 你们 16 岁?
(YZ 大きくうなずき)

L: あはは (笑) 看来很年轻呢
 YG: 16 岁?
 LL・XJ・TT・MYL: 16 岁, 哈哈 (笑) もう大学 3 年生かな, そんな若くないよ (笑)
 YG: 今年多大? 岁?
 L: そうそう, 今年多大岁数?
 LL・XJ・TT・MYL: もう 20 歳です
 L: 大学 3 年生だからね, 20 歳と 21 歳かな
 LL・XJ・TT・MYL: 我觉得你们校服真好看
 L: お, 制服がかわいいねって言ってますよ, じゃあ, ちょっと立ってみてください, 给她们看看吧
 (男女の制服の全身像を Web カメラに映して見せる)
 LL・XJ・TT・MYL: 哇塞!
 L: こんな感じでーす, 好看吗? 今日は両方いて良かったね, 男女都有
 LL・XJ・TT・MYL: うらやましいですよ! 私たちの制服は, 怎么说, 什么, おばあさんの…
 YZ・YG: あはは (笑)
 L: あはは (笑) おばあさんの服って (笑) あはは (笑)
 LL・XJ・TT・MYL: でも日本人の学生の制服はきれいです, 私達の制服は…不好看! 不好看!
 L: 不好看 (笑) じゃあ, 次回見せてくださいって
 YZ: 下次, 给我们, 看, 看一看
 LL・XJ・TT・MYL: 校服啊? 私達の制服はみんないやですよ!
 (画面の向こうで制服を持ってきて着て見せている様子)
 L: あ, 持ってきた
 LL・XJ・TT・MYL: これ! これ!
 L: それは, 何? ジャージみたいな?
 LL・XJ・TT・MYL: 这是我们的标识
 L: マークね, シンボルマークみたいな
 LL・XJ・TT・MYL: 大嫌いです! 私達の制服はこれと同じですよ, だから, 女の子はそんな制服がいやだよ
 YZ・YG: あはは (笑)
 L: いやだね, おばあさんみたいなジャージはいやだね (笑) うん, そうか
 谢谢 XJ 同学, 因为还有一些同学要去上课, 对吗?
 LL・XJ・TT・MYL: 嗯嗯
 L: 长春的同学也有课, 再等我们, 下次我们有时间的时候再次交流吧!
 LL・XJ・TT・MYL: 好的, 拜拜!
 (YZ と YG 笑顔で Web カメラに向かって手を振る)

(セッション 3)
 L: 那你们开始吧
 YJ: 老师我们用中文还是用日文呢
 L: 日本語と中国語どっちがいいって言ってますが, どっちがいいですか, 両方やってもらいますか
 先用汉语说, 接着用日语说, 可以吗?
 YJ: 那还是我们用中文说比较好吧
 L: 好的
 (接続不良のため待機)
 (中国語側からテキストチャット欄に日本側から先に始めるようメッセージ)
 L: 你们先开始吧? そちらからどうぞということなので, どうぞ
 YZ: ははは (笑) 你们好
 (接続不良のため再接続)
 YJ: 你好! 你中文讲得很好
 YG: ふふふ (笑)
 YZ: 你好, 我叫 YZ, 我们, 三年级, 高中, ん? 我们是高中 3 年級的学生, 请多关照

YJ: 我叫 YJ, 现在读大二
 (中国側がテキストチャット欄にフルネームを漢字で入力)

L: Y さんですね, YJ さん
 (中国側がテキストチャット欄にフルネームを漢字で入力)

YZ: 明白了! 哪个, 我的爱好是中国武术

YJ: 中国武术?

YZ: 对

YJ: 那很好啊

YZ: ははは (笑) 谢谢

YJ: 我的兴趣爱好是看日剧, 然后因为现在学日语, 所以比较喜欢看动漫

L: 日本語の勉強のために日本のアニメとかドラマを見てるんですね
 (中国側の発話が長いので教師が日本語に訳して理解支援)

YZ: ああー

YG: ふふふ (笑)

YZ: 我 7 岁的时候, 我开始练习武术

YJ: 你知道中国的那个, 会武术的明星吗? 就是, 那种, カンフー, 武打明星

YZ: 成龙, 成龙, 和李小龙

YJ: 啊啊啊, 他们都非常出名, 就是非常有名
 (中国側がテキストチャット欄に「有名です」とメッセージ)

L: 有名です

YG: ふふふ (笑)
 (2 人ともうなずき)

L: その通りですね, 有名です

YG: 你好!

YJ: 你好!

YG: 我叫 YG, 我 17 岁, 何だろ後

L: バイオリンが好きなのは?

YG: 我喜欢弹小提琴

YJ: 我也喜欢弹啊

YG: 谢谢!

L: 一样啊, どっかに YZ が武術をやってる写真があったと思ったんだけど

YG: 学校のページ, 最初にすぐ出るよね

YZ: うん

L: 学校? じゃ, ちょっと進めてて, 相手に何か質問していったらいいかな

YG: 日本に来たことがありますか?
 (YG が YZ にマイクを渡して中国語で言うよう促す)

L: いや, それは YG が言えると思うな (笑)

YG: いや, ちょっと (笑)

YZ: 你们来过日本吗?

YJ: 没有去过, 但是大三的时候去留学

L: 三年级的时候, 去留学, 她们现在是二年级

YZ・YG: ああー
 (2 人ともうなずき)

L: 明年有机会
 (教師が YJ に YZ が武術をしている写真を送信)

YZ: 这是我的照片

YJ: 多好看呀, 啊啊! すごいです!

L: すごいって

YZ: 谢谢! ははは (笑)

YJ: 我们中国的, 但是我们从来都没有练过中国武术

YZ: 谢谢
L: 了不起, 很厉害
YG: 厉害
YJ: 加油! たくさんの外国人が, 「武术」が大好きです
L: ああ, 西洋人とかね
YJ: 加油加油! 你们课程多吗?
L: 课, 多吗? 学习, 忙吗?
(教師が既習語句で言い換えて理解支援)
YZ: 学习忙吗?
YJ: 课程
(2人とも質問の意味を考えてしばらく止まる)
L: 授業, 课程, 多吗?
YZ・YG: ああー
YG: 多いかな
YZ: うん
YG: 很多
L: 毎日6時間?
YG: 每天, 有?6节课?
(YGはYZの顔を見ながら正しいかどうか確認して発話, YZは一語ずつうなずき)
YG: 每天有6节课, 你呢? 有几节课?
YJ: 因为我现在大二了, 所以课程没有那么多, 但是大一的时候, 课程非常的多
L: 一年级的時候, 课程多
(教師が既習語句で言い換えて理解支援)
YZ: ああー
(2人ともうなずき)
L: 二年级, 不多
YZ: ふーん
(2人ともうなずき)
L: 勉強のプレッシャーがすごいです, ありましたね, どうですか?
(教師がYGの準備原稿に書いた表現を活用して勉強が大変であることを説明するよう促す)
YG: あー, どれだ, どれだ…こっちか? これだ! これ?
我们很紧张, 我们是3年级
(中国側がテキストチャット欄に「日本語はとても難しい」とメッセージ)
L: ああー, 日本語が難しい, 汉语呢? 什么地方难?
YZ: あー, 我们觉得(汉语)发音很难
YJ: 是中文的发音吗? 中文的发音?
L: 中文的发音吗? 汉语的发音吗? 汉语, 发音吗?
(教師が既習語句で言い換えて理解支援)
YZ: …啊, 对, 汉语, 汉语发音
YJ: 确实有一点, 因为中国比较大, 然后, 有很多省, 所以每个地方的都很有特色
官方的普通话跟…我们来讲两个方言
L: その地方によって方言があつたりなまっていたりするから実際の中国語は難しいですね
じゃ, 北海道方言を何かひとつ
YG・YZ: あはは(笑) 何だろう
YG: ばくりっこ
L: ああー! いいねえ!
YZ: おおー!
L: いいね, いいですねえ
YZ: 俺それ説明できないけど! ははは(笑)
L: でも, 「北海道方言を教えます」と言ってそれは何の意味かを言ったらいけるかな?

YG：我…我给？给你们介绍，北海道
YZ：的
YG：的…方言？方言
YJ：北海道方言？哦哦，好的
YG：へへへ（笑）「ばくりっこ」北海道方言
（中国側から QQ でメッセージが送られてくる）
YZ：何か来たんだけど，私のスピードが速いですか？って
L：快吗？你们觉得快吗？速いですか？
YZ：还可以
L：还可以？
YG：还可以
L：还可以，じゃ，いいですね
YJ：还可以，那就好
YG：いいの？
YZ：うん
YG：「ばくりっこ」是“交换”的意思，北海道方言，「ばくりっこ」
YJ・友人：啊啊！我们知道有大阪的方言
（教師が中国側に QQ で「ばくりっこ」とひらがなでメッセージを送信）
YJ・友人：我们现在有两个外教，外教，都是北海道人
YZ：ふーん
YJ・友人：ばくりっこ？ばくりっこ
（中国側がメッセージを読み上げている）
YG：ばくりっこ！ふふふ（笑）
YJ：はい，わかりました！呵呵
（中国側が QQ で自分たちの学校の外国人講師についてメッセージを送信）
L：なるほど，H 先生ともう一人ですね
これから彼女らは授業が入っているので，挨拶しますか
YZ・YG：いっせーの一で，上课加油！
YJ：哈哈，你们也是
（教師が中国語で次の交流予定と連絡方法について中国側に告知）
（中国側が QQ で「一緒にがんばりましょう」とメッセージを送信）
L：一緒にがんばりましょう！ははは（笑）じゃ，中国語で言ってみようか
YG：一起？
L：うん，で，最後に何々「吧」を付けて
YZ・YG：いっせーの一で，一起加油吧！
YJ：好的！
YZ・YG：あはは（笑）好的

付録 14 5.1.5.2 「中国からの質問」第 9 回遠隔交流記録スクリプト

凡例：教師＝L／中国人学生・女＝GLX, LJR, XX, YMD／日本人学習者＝HM, YZ

灰色アミカケは第 5 章スクリプト抜粋箇所

(セッション 1)
HM・YZ：你好
GLX・LJR：你好！こんにちは
HM・YZ：こんにちは
YZ：你们好
GLX・LJR：你好
HM：我叫 YZ
GLX・LJR：哦哦, YZ
YZ：ははは, 请多关照!
GLX・LJR：呵呵
L：ふふふ, 笑ってる, かわいいねみんな
YZ：嗯, 那个…
GLX・LJR：我们用汉语还是用日语啊
L：先用汉语交流一下吧, 有些部分他们听不懂, 就, 请你们用日语再说, 可以吗?
GLX・LJR：行!
YZ：我的爱好是中国武术
GLX・LJR：你的爱好是中国武术
GLX：我叫 GLX, 我的爱好是日本动漫
L：日本动漫, アニメです
(新出語句のため教師が訳して理解支援)
YZ：おおー
HM：アニメ?
GLX：然后, 我很喜欢学日语, 多多指教!
L：请多指教, 请多关照と似たような意味です
HM：ほおう!
L：ほおう! あはは (笑)
YZ：あはは (笑)
L：じゃ, 先にちょっと 2 人とも簡単に名前を言おうか
HM：你好!
GLX・LJR：你好!
HM：我叫 HM
GLX・LJR：H…M…
(教師が QQ のテキスト欄に HM の氏名を入力し送信)
GLX・LJR：H…M…
HM：ふふふ (笑) 我喜欢看电影…パス!
L：パス! ?
HM：だめ, フリートーク…
GLX・LJR：电影是中国的电影吗?
HM：中国の? ああ, 知らないな
L：あ, じゃあ, 違いますと言って (笑)
YZ：あはは (笑)
HM：えーと, 没看过, あはは (笑)
GLX・LJR：哈哈, はい, わかりました
LJR：你好! 我叫 LJR
HM：ああ, L さん
L：別な人が来ましたね

(中国語側が QQ のテキスト欄に氏名を入力し送信)

YZ : ああー

L : Gさんと, Lさんね

(画面上の右と左でどちらが誰かを指さし確認)

(YZとHM うなずき理解を示す)

L : 日本の映画, 聞いてみて

HM : 你看, 中国, 違う, あはは (笑) 日本的电影吗?

LJR : 看!

HM : すごい, 見ます! 什么电影?

(接続不良のため再接続)

HM : 熱い!

YZ : この間が何とも言えない (笑)

HM : そう! こんなに書いてるのに

(HM が授業で準備した原稿を見ながら交流素材が多くあるのにスムーズに対話が展開しないことを残念がる)

L : それ読んだらかなりいいんじゃない?

HM : 日本人ですっていう (笑)

YZ : あはは (笑)

L : そこは敢えての練習で

YZ : これいいよーこれ!

(YZ が HM の作った文の中からよさそうなものを示す)

HM : え? うん, そだね…弾钢琴

L : ちょっと長めの自己紹介をするので聞いて下さいと言ってみましょう, 哦, 来啦

GLX・LJR : はい!

(YZとHM が Web 画面に向かって手を振る)

L : いいですか? 読みますか?

LJR : 我看过世界…

L : 可以打字吗? 电影的名字叫什么? 可以打一下吗?

(中国側の音声途切れて聞き取れないためテキスト入力可能か教師が中国側に確認)

LJR : 可以! 世界, 奇妙, 物语

L : え? 世にも奇妙な…物語かなあ, タモリのやつかなあ

YZ : あはは (笑) えー, 何だ?

HM : 映画化した?

L : え? じゃあ, 映画ですかテレビですかって聞いてみて

HM : 电影?

L : 还是, 还是が「or」ですね

HM : 电视? 吗?

(中国側から QQ で「不是电影吗? (映画じゃないの)」と送信)

HM : たぶんそうだよねえ, タモリのね

YZ : うん

(中国側から QQ で「好吧, 我们一直当电影看的 (わかった, 私達はずっと映画だと思って観ていた)」と送信)

L : なるほど, 映画と思っていた…スペシャルとか見てるのかもしれないね

YZ : あー, なるほど

L : うん, じゃあ, 早速続きのそれを

HM : あー, 慌てる

L : 现在 HM 准备了自己的自我介绍, 现在听一下

HM : 我叫 HM, 我今年 18 岁, 我喜欢弹钢琴, 每星期学一次弹钢琴, 我开始学弹钢琴从 5 岁, 从 5 岁, 我的爱好是看电影, 目前最受欢迎的中国电影是什么? ふふふ (笑)

L : うん, いいねえ, 很好, 很好

GLX・LJR：你认识成龙吗？
 L：你认识成龙吗？
 （YZ と HM が聞き取れず考えているため教師が再度発話し理解支援）
 YZ：ああー，我很喜欢成龙
 GLX・LJR：哦哦，那样，像成龙一样武术很“上手（じょうず）”吗？
 L：今の「上手」は日本語です
 YZ：ああ，はは（笑）そういうことか
 L：彼の武術の腕はどうかと聞いている
 HM：えーと，他很好，很好！
 L：じゃあ，YZ は今回の話をしたらどうだろう，行って披露するやつを
 YZ：ああ，我打算去北京
 GLX・LJR：北京？那是个好地方
 YZ：好地方
 L：好地方，いいところですね
 （YZ が聞き取れなかった語を教師が再度発話し理解支援）
 YZ：ああ，スピーチって何でしたっけ
 L：演讲，演讲比赛
 YZ：演讲，因为我参加中文比赛，演讲比赛
 GLX・LJR：所以要到北京去吗？
 L：だから行くんですか？
 （教師が日本語に訳して理解支援）
 YZ：对！
 HM：YES！ふふふ（笑）
 GLX・LJR：すごいですねえ，很棒！
 YZ：谢谢！
 L：タイトルを言ったら知っているかも
 YZ：你知道《汉语桥》吗？
 GLX・LJR：知道，湖南卫视的节目
 L：あー…それじゃない…テレビ番組で同じ名前のあるんだ
 YZ・HM：へえー
 L：世界学生中国語スピーチコンテスト
 YZ：世界学生中文演讲比赛
 GLX・LJR：你一定要加油
 YZ：加油，谢谢！
 （中国側から QQ で「加油（がんばって）」と送信）
 GLX・LJR：我们希望在北北京看到你
 YZ：ははは（笑）
 L：希望在北京看到你
 YZ：一定！ふふふ（笑）
 L：一定！きっと！
 GLX・LJR：哈哈，你那个演讲的题目准备好了吗？
 L：题目，准备好了吗？「题目」は「テーマ」
 YZ：あー，题目是《我和中国武术》
 GLX・LJR：哦哦，你喜欢李小龙吗？
 YZ：对，我喜欢李小龙
 GLX・LJR：どうしやうー
 L：何か話題をふって
 YZ：何かないの
 HM：食べ物系，食べ物
 L：そうだ，今日授業でやったやつ

YZ: 好きな日本食は何ですか
 (YZ が HM の授業で準備したプリントを見ながら発話を促す)
 HM: 何から始めるの? 你? 你们? 你喜欢什么日本菜?
 GLX・LJR: 日本菜? 哦, 嗯…寿司, 然后咖喱饭
 HM: おおー! 好吃! 我喜欢吃…
 YZ: 何が好きなの
 HM: 中華料理で言ってみようかな, えーと…色々あるんだけど
 (HM が授業で準備したプリントを見ながらメニューの言い方を探す)
 L: 中華料理
 HM: 吃炒饭! マーボーも…彼はマーボーです
 (HM が YZ にマイクを押し付けて渡そうとする)
 YZ: いやいや自分で自分で (笑)
 HM: ふふ (笑) 他喜欢吃麻婆豆腐
 L: ほんと!?
 YZ: ほんと!? ははは (笑)
 GLX・LJR: 哦哦, 麻婆豆腐
 (中国側から QQ で「鸡蛋炒饭? (卵チャーハン?)」と送信)
 YZ: ああー, 卵…
 L: 鸡蛋炒饭? ですか?
 HM: 对! ふふふ (笑)
 (中国側から QQ で「我的家乡菜 (私の郷土料理)」と送信)
 HM: 家の…?
 L: 我的家乡菜, 「家乡菜」は「家庭料理」とか「郷土料理」, ということは四川の人ですね
 YZ・HM: おおー
 (2 人とも大きくうなづく)
 L: 聞いてみて四川の人か
 (中国側から QQ で「四川成都」と送信)
 YZ・HM: おおー! 早い! ははは (笑)
 L: 成都か
 GLX・LJR: おいしいです
 YZ: 北海道的寿司很好吃
 HM: 很好吃!
 L: 自信を持って! おいしいよ!
 GLX・LJR: 日本の寿司, 全部美味しい!
 YZ・HM: おおー! あはは (笑)
 L: 北海道と言えばサーモンかな? サーモンは「三文鱼」, 「三文の魚」と書いて
 (紙に「三文鱼」の簡体字とピンインを書いて示す)
 YZ・HM: 三, 文, 鱼
 GLX・LJR: 你们的校服很漂亮!
 L: ああ, みんな言うね, 校服, 制服ですね
 YZ・HM: ああー!
 L: じゃ, 今日披露しますか
 YZ: 今日も
 HM: ふふふふ (笑)
 (YZ と HM 立ち上がって Web カメラに全身を映して見せる)
 GLX・LJR: うらやましいですー!
 YZ: うらやましいです! ははは (笑)
 (画面の向こうで中国側が 2 人の制服姿を見ながら体をよじって悶える様子)
 L: 悶えている (笑)
 YZ: 怎么样?

L: 我々どうですか (笑)

YZ: ははは (笑)

GLX・LJR: 好看!

(中国側から QQ で「漂亮 (きれい, 美しい)」と送信)

YZ: 漂亮

HM: 漂亮?

YZ: きれい

HM: へえー

L: 他にありますか

HM: いっぱいありますけど, 食べ物が 5 割を占めている (笑)

L: この辺とか?

HM: 中国的学生常常…

GLX・LJR: 我们的校服都不好看的

HM: へえー

L: あ, そうか, HM 見てないもんね前回, ちょっと見せてくださいって言ってみよう

HM: え!

(HM が困り YZ を見て支援を求める)

YZ: ちょっと見せて

HM: 请给我? 看? あ, 一下?

GLX・LJR: ちょっと待ってくださーい

L: あ, 持ってきてくれる

HM: 「かわいい」は?

YZ: 「好看」って言っとけば (笑)

HM: あ, 好看

L: 「好看」は素敵だね, いいね, っていう時ね

HM: 見てないけど (笑)

L: 見てない, まだ (笑)

YZ: 準備 (笑)

L: 「まあまあです」っていう一言も

HM: 还可以

YZ: 还可以, ははは (笑)

GLX・LJR: 请等一下

YZ: うん, 待ってて

HM: おおー!

L: もうしまっちゃったのかな, 洗っちゃったとか (笑)

(中国側から QQ で学年を質問するメッセージ送信)

HM: 我们高中三年级的学生

GLX・LJR: 准备上哪个大学呢?

L: 進学先を聞いています

(教師が日本語訳して理解支援)

HM: あ, 先にどうぞ

(HM が YZ にマイクを渡す)

YZ: 那个…我打算去专门学校

GLX・LJR: はい, はい, 校服穿好了

HM: おお!

L: 制服着てきた?

YZ: かわいいじゃん

HM: かわいい

YZ: この前と変わらない?

HM: 好看! 好看!

L: この前と違うね？
 YZ: この前, おばさんみたいって… (笑)
 L: あ, そうか, この前のは三峡大学
 GLX・LJR: 怎么样？
 HM: 好看！
 GLX・LJR: 哈哈, 没有你们的好看！
 L: みなさんのほど素敵ではないと言っています, ふふふ (笑)
 さっきの学年をもう一度聞いてみてください
 HM: 你们几年？几年级？的学生？
 GLX・LJR: 我们现在大学二年级
 HM: おおー, 二年级
 L: うん, 姐姐ですね
 HM: ああ, あはは (笑)
 YZ: うん
 L: 好啊, 今日はあまり時間がないから仕方がない, では YZ 最後にひとことどうぞ
 YZ: ひとことですか (笑)
 HM: ふふふ (笑) 締めだよ
 YZ: 你们很漂亮
 L: ははは (笑) いいねいいね
 HM: おおー！
 GLX・LJR: 哈哈哈哈哈 (爆笑)
 YZ・HM・L: あはははは (爆笑)
 (中国側から QQ で「谢谢 (ありがとう)」と送信)
 YZ・HM: 谢谢! あはははは (爆笑)
 YZ: あー, あっつい (笑)
 (教師が次のセッションがあるため今日の交流はここで終了する旨を中国側に説明)
 YZ・HM: 再见！
 (2人とも画面に向かって笑顔で手を振る)
 GLX・LJR: 拜拜！

(セッション 2)
 HM: 你好
 XX: 你好
 YZ: 你好, 我叫 YZ, 我们高中三年级的学生
 XX: 高中三年级？我是 XX
 (中国側が QQ のテキスト欄に氏名を入力)
 HM: XX
 XX: XX, 用日文读是 KYO-KA
 YZ: 我的爱好是中国武术
 XX: 中国武术
 YZ: 那个…我打算去北京
 XX: 北京
 YZ: 因为我参加演讲比赛, 汉语
 XX: 汉语的比赛？我看了你刚才发给我的图片, 很酷
 L: さっきの写真が
 HM: おおー, よかったね！あはは (笑)
 YZ: 谢谢！ははは (笑)
 XX: 中国会武术的演员有哪些
 YZ: ん？请再说一遍
 XX: 你知道吗？会武术的演员

L：会武术的演员
 （教師がゆっくり再度発音して理解支援）
 XX：会武术的演员有哪些，你知道吗？
 L：俳優さんとか映画スターですね
 YZ：ああー，そういうことか
 XX：成龙知道吗？
 YZ：我知道，我喜欢成龙和李小龙
 XX：啊啊
 HM：你好！
 XX：你好！
 HM：我叫 HM，我今年 18 岁，我喜欢，弹，咖喱？
 L：钢琴，「咖喱」は「カレーライス」
 HM・YZ：あはははは（爆笑）
 HM：我喜欢，我喜欢…だめだ（爆笑）ツボに入って（爆笑）
 YZ：あはははは（爆笑）
 HM：弹钢琴！あはははは（爆笑）
 L：カレーを弾くってどういうことですかって（笑）
 HM：弹钢琴，每星期学一次弹钢琴
 XX：我没有听到你刚才说的话
 HM：我喜欢弹钢琴，每星期一次，去学弹钢琴
 XX：那是什么东西？
 HM：弹钢琴，乐器
 XX：啊啊，わかりました
 L：カレーライスと言ったから混乱を招いたね（笑）
 YZ・HM：あはは（笑）
 HM：我的爱好是看电影，こんな感じだな
 L：趣味を聞いてみますか
 YZ：你的爱好，什么？是什么？
 XX：我喜欢看些历史书
 L：历史书，歴史の本，历史
 HM：へえー！すごいねえ
 L：すごい，の時は
 HM：真棒！ふふふ（笑）
 XX：但是我学的都是中文的，日本的看不太懂
 HM：真棒！
 L：日本的，不太懂
 （教師がゆっくり再度発音して理解支援）
 （2 人ともうなずき理解）
 YZ：我们不喜欢历史，学历史
 HM：特に，日本（Rìběn）
 XX：是吗？很难？
 HM：很难！很难！
 XX：哦哦哦
 HM：特别是日本的历史
 XX：很难？
 HM：很难！
 L：さっきの質問たちのうちどれかを
 HM：日本の…你喜欢什么日本菜？
 XX：日本菜？我只吃过日本的咖喱饭
 YZ・HM：あははは（爆笑）

L: カレーライス! あはは (笑)

HM: 我们也喜欢! あはは (笑)

L: カレーライス大人気! 日本の代表格は寿司からカレーライスに (笑)

YZ: 那个…我喜欢, んーと, 我喜欢吃北京烤鸭
(接続不良のため再接続)

XX: 北京烤鸭

HM: 今度何言おうかな…悩めますね

YZ: 特に何が一番好きかは?

HM: あー, んー, 我喜欢吃, 烧卖, 烧卖

XX: 烧卖, 那是中国的一种早餐

L: 早饭, 早餐
(新出語句のため教師が既習語句で言い換え理解支援)

HM: 早饭?

L: 軽食で朝に食べるの

HM: ああー! お, 朝ごはん! いいなー

YZ: うーん, 何にしよう

HM: バイトしてますか

YZ: あ, そうだバイトね, 那个…你打工…吗?

XX: 哦哦, 我虽然在上大学, 但是学习很忙, 日语很难, 所以没有时间去打工, アルバイトの時間
がありません

YZ・HM: ああー, 很忙

L: 私たちもバイトできません, 言ってみますか?

HM: 我们, 我们也, 不能打工

XX: 打工吗?

HM: 没有, 没有

XX: 啊啊, 为什么?

YZ: 因为我们是高中生
(教師が「校規 (校則)」という語の簡体字とピンインを紙に書いて示す)

HM: 校規

XX: 啊啊, 校規让你们不能打工

HM: 你好!
(中国側の画面に XX とは別の学生が映ったため HM が挨拶)

XX: 另一个同学

L: 同学来了? もう 1 個くらい聞いてみましょうか

HM: 你们几年? 几年级?
(HM が YZ の方を見て正しいかどうか確認しながら発話)

YMD: 我们是大学二年级的学生

XX: 他们是高中生, 十八岁
(XX が YMD に YZ と HM が高校生であることや年齢などを説明)

YZ: 那个…毕业以后我打算学

L: 运动医疗

YZ: 运动医疗

YMD: もう一度お願いします

YZ: 毕业以后我打算学运动医疗

XX: 运动医疗是什么?

L: 「体育运动」と言ってみて
(スポーツリハビリという語が伝わらないのでスポーツだけを言い換えるよう教師が指示して支援)

YZ: 体育运动, 医学

YMD: 啊啊, 体育运动, 好啊, 来中国当体育老师吗? 想来中国吗?

YZ：对，我想去中国
YMD：快点来吧！
L：快点！
YZ：あはは（笑）
HM：毕业以后，我打算找工作
XX：在日本工作吗？
HM：对，在日本
YMD：你们不来中国吗？
HM：我想去中国！あはは（笑）
YZ：你们来中国吧
L：来日本
YZ：あ、ははは（笑）来日本
L：北海道，北海道に
XX：制服きれいです
YZ・HM：あははは（爆笑）
L：はい，じゃあ，もう一度！もう一度
（YZ と HM 立ち上がって Web カメラに全身を映して見せる）
XX・YMD：哇啊！かわいいです！好漂亮！
L：じゃ，これで終わりますの挨拶を言って，時間がなくなりました，今度交流しましょう
YZ：现在我们没有时间了
XX・YMD：我们没有听清楚
（教師がセッション終了の挨拶を紙に書いて見せ，YZ に発話させる）
YZ：现在没有时间了，下次再交流吧
XX：恋人がいますか？哈哈
YZ：時間がないって言ってるのに（笑）我没有
HM：あははは（爆笑）
L：一応，律儀に答えて（笑）
XX・YMD：好的，拜拜！
YZ・HM：拜拜！再见！（爆笑）

（セッション 3）
HM：让你久等了
YMD：哈哈
HM：あれ？さっきの人
L：あれ？さっきの子だ，そういうことか，遅いから見に来ただね，前の人ところに
YZ・HM：そういうことか！あはは（笑）
L：还有一个同学，って次の人でしたね（笑）笑死我了，好啊好啊，那我们继续交流吧
後 20 分ありますので
HM：让你久等了
（中国語側が QQ のテキスト欄に氏名を入力し送信）
HM：YMD さん
L：YMD, Y さんですね，はい，じゃあ名前から
YZ：你们好！
YMD：你们好！
YZ：我叫 YZ，我的爱好是中国武术
YMD：中国武术？那你会吗？
YZ：我 7 岁的时候，我开始练习武术
YMD：すごいですね！
YZ：谢谢
YMD：现场来一段，表演一段武术吧

YZ：请再说一遍

YMD：能给我们表演一段武术吗？

L：能给我表演一下吗？と言っています
（新出語句を含むため既習語句で教師が言い換え理解支援）

YZ：现在我不会！あはは（笑）

HM・L：ええー！

YMD：那什么时候你会？

L：什么时候你会？いつなら？おとなしくちょっとやった方が身のためかも（笑）

YZ：ええー！？嫌ですよ！いや、あはは（笑）
（その場で武術を披露する流れを嫌がり YZ が Web カメラに向かって手を振り拒否の態度を示す）

YMD：見学したい、いいですか？

YZ：よくないです！

HM：あはは（笑）

XX・YMD：哈哈哈哈(爆笑)

HM：笑ってる（笑）

YZ：今までで一番おもしろい（笑）

HM：おもしろいね（笑）

YMD：私はとてもとても悲しいです

YZ：ごめんなさい

YMD：嗯？

XX：他说「ごめんなさい」

YMD：我不接受！

L：不接受！ダメ！受け入れません！

YZ・HM：あははは（爆笑）

YZ：じゃあ、今から動画を見せます
（YZ が武術の動画データを持っていたので教師がそれを見せる旨を中国側に説明）

XX・YMD：好的！哈哈哈

L：めっちゃ喜んでるよ（笑）好期待啊
じゃ、待ってる間にみなさんは武術できますかって聞いてみましょう

HM：你们会武术吗？

YMD：你们会什么？

HM：武术，你们会武术吗？

YMD：ああ、はい、できます

HM：ええー！すごい、できますってよ

YZ：あはは（笑）じゃあやって見せて（笑）

HM：你给我们看看，怎么样？

XX・YMD：哈哈哈（爆笑）

HM：めっちゃ笑ってる

YMD：我们不会！哈哈哈（爆笑）
（YZ がタブレット PC で武術の動画を見せる準備完了）
（中国側が QQ で「我们是淑女，不会武术（私たちはレディーなので武術はできません）」とメッセージを送信）

YZ：はい、準備できましたよ

L：找到了？有了，他的视频有了
（タブレット PC を Web カメラに映して中国側に動画を見せる）
（中国側は動画を見ながら拍手をして驚きの感想を述べ合っている様子）

YMD：可多好啊

YZ：不好？「不好」って言われてる？

HM：あはは（笑）

L: いや、「多好」

HM: 怎么样? あはは (笑)

L: 動画いいね, それ毎回持ってきたらいいね

YZ: あはは (笑)

(中国側大きな拍手で称賛)

L: わー, すごい拍手! ふふふ (笑)

YZ: 谢谢!

YMD: どういたしまして! すごい!

HM: 後は食かな

L: うん, 言っているよ

(中国側が向こうで何か話し続けているが気にせずこちらから質問するよう教師が促す)

YMD: 你们在哪儿啊?

YZ: 现在我们在学校

YMD: 是宿舍吗?

L: 学校の寮, 宿舎ですか

(教師が日本語訳して理解支援)

YZ・HM: ああー

L: 先生の部屋です

YZ: 现在我们在老师的办公室

YMD: 办公室

L: 寮だったら男女一緒にいるっていうことはないはずだから

YZ・HM: ああ, そういうことか

YZ: 怪しまれてたらしいね (笑)

HM: あはは (笑)

YMD: 我喜欢很多很多很多很多好吃的

HM: 你喜欢什么日本菜?

YMD: 我喜欢钱! 我喜欢「お金」! 哈哈哈

HM: 我喜欢钱

L: バイト, バイトしてるか聞いてみて, お金は大事だ

YZ: 你打工吗?

YMD: 打工? 我不打工, 你们呢?

YZ: 我们不能, 不能打工

YMD: 为什么?

YZ: 因为校规, 校规

YMD: 校规, 哦哦…你们那边打工工资高吗?

YZ: 请再说一遍

YMD: 你们那边打工, 那个, 工资高吗?

L: 工资高吗? 工资, 給料だね

YZ: 給料か

L: さて, さっきマクドナルドやったから, マックでバイトしたらどのくらいかな? 630 円くらいか

YZ・HM: ああー…

L: じゃ, マクドナルドでアルバイトすると 630 円ですって, 1 時間

YZ: 如果? ですか? 如果我们在麦丹劳打工

L: うん, 1 時間

YZ: 一个小时

L: 630 円

YZ: 630 日元

L: だいたい 50 元くらいですね

YZ: 大概 50 块

YMD：哇！好多啊！

L：食費が 10 倍くらいだからね
（中国側は週に何時間でいくらかになるという計算を話し合っている様子）

YMD：我要去那边打工！

L：そっちでバイトするよって（笑）
（盛り上がりのテンポを共有することを優先して教師が日本語訳し理解支援）

YZ・HM：あははは（爆笑）

YZ：北海道に来てください

HM：请来北海道！ふふふ（笑）

YMD：好的！你们要请我吃好吃的

L：おいしいものおごってくださいって（笑）
（盛り上がりのテンポを共有することを優先して教師が日本語訳し理解支援）

HM：あははは（笑）すごい！

L：じゃ、何食べたいか聞いて

HM：你想什么？你想吃什么？ふふふ（笑）

YMD：你们那儿有什么好吃的

L：有什么好吃的？有什么好吃的？北海道
（教師がゆっくり再度発話して理解支援）

HM：汤咖喱

YZ：拉面

YMD：我要吃肉

L：肉が食いたいと言っていますよ（笑）

YZ・HM：あははは（爆笑）

YZ：私も肉が好きでしょ
（YZ が HM にマイクを渡して発話を促す）

HM：我喜欢吃肉，肉，我喜欢吃肉

YMD：私もー！私もー！哈哈哈，猪肉吗？

L：北海道といえばジンギスカンかな
（教師が「烤羊肉（ジンギスカン）」という語の簡体字とピンインを紙に書いて示す）

YZ：在北海道烤羊肉很有人气

YMD：烤羊肉？羊肉？真的吗？

HM：对，真的

YZ：OK！

L：OK！とりあえず OK！じゃ、何肉が好きか

HM：你喜欢吃什么肉？

YMD：都可以！

L：何でもいい！（笑）

YZ・HM：あははは（爆笑）
（盛り上がりのテンポを共有することを優先して教師が日本語訳し理解支援）

HM：確かに

L：HM，你呢？你喜欢吃什么肉？

HM：我也都可以

L：「食べに来てください」は？

YZ：请来北海道，来尝尝烤羊肉

YMD：什么烤羊肉？

L：前が聞こえなかったかな

YZ：请来北海道尝尝烤羊肉

YMD：那你来这边吃烤羊肉…你有恋人（こいびと）吗？

HM：あははは（爆笑）

L：またそれ！あはは（笑）

YZ：今はいません（笑）现在我们没有
YMD：那你什么时候有？
L：いつできるの（笑）
HM：あははは（爆笑）
L：じゃ、卒業後ですかね（笑）
HM：毕业以后！あははは（笑）
YMD：高中毕业吗？
L：高中毕业
YZ：高校卒業
HM：…对！
（HM 大きくうなづく）
HM：你有男朋友吗？
YMD：没有！你能不能介绍一个！
L：介绍一个，紹介して，私（YZ） どうですか（笑）
YZ：いやいやいや！あはは（笑）
HM：あはは（笑）他怎么样？あはは（笑）
YMD：哈哈哈哈！介绍给我吧
L：受け入れられた（笑）
YZ・HM：あははは（爆笑）
YZ：很高兴！很高兴！
YMD：我也很高兴！哈哈哈
L：じゃ，6時半なのでそろそろ，さっきのあれをもう一度，「時間になりました」にしましょう
HM：时间到了
YZ：下次再交流吧
YMD：你觉得我怎么样？哈哈哈
L：自分のことどう思う？って，まだ続いていた（笑）
HM：あははは（笑）これおもしろいな！
L：次の交流で
YZ：でも俺もう（漢語橋の中国大会に）行っちゃうからな
L：あ，そっか，じゃあそれを言って
YZ：下星期三我打算去北京，两个星期，所以我不能交流
L：12月にできたら交流しよう
YZ：so…じゃなくて，所以，12月交流吧
YMD：下个月？
YZ：12月
YMD：跟你吗？哈哈
YZ：对
HM：あははは（笑）我下星期交流
YMD：嗯，好！到时候要带一个帅哥哦
L：その時，別のイケメンを用意してください
HM：あははは（爆笑）すごいね！TDC（2年次に中国語を履修した男子学生）しかないね！
L：考虑考虑，考えときます
HM：考虑考虑
YMD：啊哈哈哈哈！好的！
HM・YZ：再见！
XX・YMD：拜拜！再见！

付録 15 6.2 学習意欲デザインの第一原理（ARCS-V モデルの要因と支援方略）

要因	内容	下位分類（概念と作業質問）	主な支援方略
注意 Attention	学習への意欲は、学習者の好奇心が現在の知識の中のギャップを知覚して刺激されたとき、増進される。	A1. 知覚的喚起（Perceptual Arousal） 彼らの興味をとらえるために何ができるか？	新しいアプローチや、個人的または感情的要素の注入により、好奇心と驚嘆を創出する。
		A2. 探究心の喚起（Inquiry Arousal） どのように探究心を刺激することができるか？	質問をし、矛盾を創造し、探究心を持たせ、課題を考えさせることで、好奇心を増す。
		A3. 変化性（Variability） どのように彼らの注意を維持することができるか？	発表スタイル、具体的に類推できるもの、興味を引く事例、予測しない事象により、興味の維持を図る。
関連性 Relevance	学習への意欲は、学ぶべき知識がその人のゴールに有意義に関連があると気づいたとき、増進される。	R1. 目的指向性（Goal Orientation） どのように、学習者のニーズに最もうまく答えることができるか？（学習者のニーズを知っているか？）	このインストラクションが役に立つという記述や事例を提供し、ゴールを提示するか、あるいは学習者にゴールを定義させる。
		R2. 動機との一致（Motive Matching） どのようにして、いつ、私のインストラクションと学習者の学習スタイルや個人的興味とを結びつけることができるか？	個人ごとの達成機会や、協力的活動、リーダーシップの責任、そして、積極的なロールモデルを提供することにより、教育を学習者の動機や価値に呼応するものにする。
		R3. 親しみやすさ（Familiarity） どのようにして、インストラクションと学習者の経験を結びつけることができるか？	学習者の仕事や背景と関連のある具体例や比喻を提供することにより、教材や概念をなじみのあるものにする。
自信 Confidence	学習への意欲は、学習者が学習課題をマスターすることに成功できるとき増進される。	C1. 学習要求（Learning Requirement） どのように成功に関する肯定的な期待を持てるように支援することができるか？	成功とみなすための要求事項と評価基準を説明することによって肯定的な期待感と信頼を得る。
		C2. 成功の機会（Success Opportunities） どのように学習経験が彼らの能力についての信念を支援または拡張することができるか？	多くの、多様な、挑戦的な経験を提供することによって、自分の能力への信頼を高める。
		C3. 個人的なコントロール（Personal Control） 学習者はどうしたら、彼らの成功が彼ら自身の努力と能力に明確に基づくものだと知るのだろうか？	個人的な制御を（可能であればいつでも）提供する技法を用い、成功を個人の努力に帰属するフィードバックを提供する。
満足感 Satisfaction	学習への意欲は、学習者が学習課題に満足な結果を予想し経験するとき、増進される。	S1. 内発的な強化（Intrinsic reinforcement） どうしたら学習体験に関する彼らの内発的な楽しみを奨励し、指示できるのだろうか？	個人的な努力と達成に対する肯定的な気持ちを強化するようなフィードバックと他の情報を提供する。
		S2. 外発的な報酬（Extrinsic rewards） 何か価値ある結果を学習者の成功に対して提供できるだろうか？	ほめ言葉、本当の、または、抽象的な報酬、および誘因を使用するか、または学習者自身に成功の報酬として彼らの努力の成果を提示（「見せて語る」）させる。
		S3. 公平感（Equity） 公正な処置だったことを学習者に認識させるために何ができるだろうか？	パフォーマンス要求をあらかじめ述べた期待と一致させて、すべての学習者のタスクと達成に一貫した測定標準を使用する。
意志 Volition	学習への意欲は、学習者が彼らの意図を保護するために意志（自己調整）の方略を使うとき、増進され、かつ、維持される。	V1. 実行計画の具体化（Implementation Intention） やる気を明示させる。どうやったら学習者に目標達成までの実際的な計画を立てさせられるだろうか？	やる気があるうちに、①やる気が生まれた理由、②目標を目指す理由を書きとめさせる。同時に、自分の学習目標、期限及び達成度の計画を立てさせる。それらを学期途中で見直す機会を持つことを知らせる。
		V2. 適切な制御（Appropriate Self-control） 許容範囲で進めさせる。どうやったら学習者に自己制御下で学習させられるだろうか？	自分の学習目標までの道のりにやる気をそぐ障壁があることを事前に知らせ、それらが学習計画に含まれていないか確認させる。学習目標に関係のない活動計画がないか確認させ、計画に含めないようにさせる。自分の学習目標といつまでにどうしようとしているかの計画を見直させ、当初のやる気を再確認させる。自分で対処できない外的要因が出てきた場合、学習目標達成のためなら避けたり、助けを求めたりしてもよいことを知らせる。学習計画や学習活動について、他者と相談したり計画を見せ合ったりさせる。
		V3. 自己モニタリング（Self-monitoring） 自分の状況を理解させる。どうやったら学習者に自分の学習進捗を把握させられるだろうか？	学習ポートフォリオを管理させ、学習履歴をまとめさせる。学習進捗を確認させ、学習目標までの残りの工程を明らかにさせる。学習をリフレクションさせ、学習進捗が学習計画通りでなければ修正させる。

鈴木（2009, 2010）、ケラー（2010）、中畠（2013）に基づき筆者改編

付録 16 6.4.2 「授業設計と交流準備」カテゴリの質問項目

質問
1. 「詳細な自己紹介」は、中国の学生との交流に適切なテーマだと思いますか？
2. 「詳細な自己紹介」の準備は楽しかったですか？
上でそのように答えた理由を教えてください。(自由記述)
3. 「詳細な自己紹介」の準備は難しかったですか？
上でそのように答えた理由を教えてください。(自由記述)
4. 「詳細な自己紹介」を準備するために、教師のサポートは十分だったと思いますか？
「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した人は、どのようなサポートが必要だったか教えてください。(自由記述)
5. 「詳細な自己紹介」を準備するために、作業時間は十分でしたか？
6. 「高校生活の紹介」は、中国の学生との交流に適切なテーマだと思いますか？
7. 「高校生活の紹介」の準備は楽しかったですか？
上でそのように答えた理由を教えてください。(自由記述)
8. 「高校生活の紹介」の準備は、どのような点が難しかった(大変だった)ですか？
「その他」を選んだ人は、具体的に教えて下さい。
9. あなたたちのグループが準備した「高校生活の紹介」には、どのような内容を含めましたか？(自由記述)
10. 「高校生活の紹介」は、グループ内で協力してうまく作業を進めることができましたか？
「あまりそう思わない」「そう思わない」と答えた人は、なぜうまく作業を進められなかったのか、具体的に教えて下さい。(自由記述)
11. 「高校生活の紹介」を準備するために、教師のサポートは十分だったと思いますか？
「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した人は、どのようなサポートが必要だったか教えてください。(自由記述)
12. 「高校生活の紹介」を準備するために、作業時間は十分でしたか？
13. 「中国側の質問に答える」形でテーマを設定するやり方は、中国の学生との交流に適切だと思いますか？
14. 「中国側からの質問」のうち、どのテーマが最も興味深かったですか？(複数選択可)
15. 「中国側の質問に答える」のは楽しかったですか？
上でそのように答えた理由を教えてください。(自由記述)
16. 「中国側の質問に答える」のは難しかったですか？
上でそのように答えた理由を教えてください。(自由記述)
17. 「中国側からの質問に答える」準備をするために、教師のサポートは十分だったと思いますか？
「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した人は、どのようなサポートが必要だったか教えてください。(自由記述)
18. 「中国側からの質問に答える」準備をするために、作業時間は十分でしたか？
19. 中国語の授業は、学習しやすいように計画・準備されていたと思いますか？
20. 授業中に、何をどのように作業すべきか、教師の指示が適切に出され、それを理解するこ

とができましたか？
21. 教室での一斉授業、パソコン教室での CALL 授業、オンライン交流のバランスについて、学習環境と学習内容の組み合わせで最も望ましいと思うものを最大「3つ」まで選んでください。(複数回答可)
22. 学習の成果をどのように評価すべきだと思いますか？最も重要だと思うものを最大「3つ」まで選んで下さい。(複数回答可)
「その他」を選んだ人は、どのように評価すべきだと思うか、具体的に教えて下さい。
23. 中国語の授業全体を通じて、「目標（何をしようとしているか）」と「成果（何がわかるように／できるようになるか）」がわかりましたか？
24. 対面式授業、CALL 授業、オンライン交流のどれが最も楽しいと感じますか？
25. 対面式授業、CALL 授業、オンライン交流のどれが最も役に立つと感じますか？
26. 対面式授業、CALL 授業、オンライン交流のどれを最も重視しますか？
27. 対面式授業、CALL 授業、オンライン交流のどれが最も必要だと感じますか？
28. 対面式授業（文法学習）や CALL 授業（入力練習や文書作成）で準備したことは、中国の学生とのオンライン交流とうまく結びついていましたか？
29. 対面式授業、CALL 授業、オンライン交流をより効果的に結びつけるために、自分自身の学習にどのような工夫や努力が必要だと思いますか？（自由記述）
30. 自分自身がオンライン交流に参加しない時でも、授業で学習した内容は自分にとって意味のあるものでしたか？
31. 授業時間での不足を補うために、中国語の授業外（家庭や放課後）学習をしましたか？
32. 教師は学習者どうしがよい人間関係を作れるようサポートしていましたか？
33. 教師は学習者に関心に向け、積極的に学習をサポートしていましたか？
34. 教師は個々の学習者に配慮し、必要なサポートを適切に提供していましたか？
「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した人は、どのようなサポートが必要だったか教えてください。(自由記述)
35. あなたは学習者として、教師の考え、気持ち、行動を理解し、授業がスムーズに進むように協力しようとしていましたか？
36. あなたは学習者として、必要な時に教師に対してサポートを求めましたか？
37. あなたは学習者として、教師を信頼してサポートを受け入れることができましたか？
38. あなたは学習者として、教師の期待を感じ、それに応えようと努力する気持ちになりましたか？

付録 17 6.4.3 「オンライン交流」カテゴリの質問項目

質問	
1.	中国の学生とオンライン交流を行う環境として、今年度の交流形態をどう思いますか？ 「あまりよくない」「よくない」と回答した人は、理由を教えてください。
2.	授業以外にも中国の学生とオンライン交流をしたいですか？ 「そう思う」「まあまあそう思う」と答えた人は、どのような環境で交流できるか教えてください。
3.	中国の学生とのオンライン交流で、どのような気持ちになりましたか？該当する項目をすべて選択してください。 上でそのように答えた理由を教えてください。交流していない人は、「交流していない」と入力してください。
4.	中国の学生とのオンライン交流は難しかったですか？ 上でそのように答えた理由を教えてください。交流していない人は、「交流していない」と入力してください。
5.	中国の学生とのオンライン交流は、スムーズにコミュニケーションを取ることができましたか？ 「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した人は、スムーズにコミュニケーションを取ることができなかった理由を教えてください。
6.	中国の学生とのオンライン交流は自分にとって意味がありましたか？ どのような点で意味があった／なかったと感じたのか具体的に教えてください。交流していない人は、「交流していない」と入力してください。
7.	中国の学生とのオンライン交流は、中国語の学習として役立ちましたか？ どのような点で役に立った／役に立たなかったと感じたのか具体的に教えてください。交流していない人は、「交流していない」と入力してください。
8.	中国の学生とオンライン交流によって、対面授業の文法学習や CALL 授業だけでは得られない学びがあったと思いますか？ 「そう思う」「まあまあそう思う」と答えた人は、それがどのような「学び」だったか教えてください。
9.	中国の学生とのオンライン交流を通じて、今まで知らなかった中国の人々や文化について知ることができましたか？ 「そう思う」「まあまあそう思う」と答えた人は、最も印象的なエピソードなどを具体的に教えてください。
10.	2012 年 9 月～10 月、中国と日本は尖閣諸島（釣魚島）の領有権をめぐり、民衆のデモや暴動などの社会事件に発展し、両国の友好関係にひびが入るという大きな影響が出ました。この時期に中国の学生とのオンライン交流を経験したことで、何か気づいたこと、感じたこと、思ったことなどがあれば教えてください。

付録 18 6.4.4 「学習成果」カテゴリの質問項目

質問
1. 中国に関連する物事についてどのような関心・態度・意識が芽生えましたか？当てはまるものを全て選んで下さい。
「その他」を選んだ人は、具体的に教えて下さい。
2. グループ学習を通じて、お互い積極的に意見交換し、話し合おうとしましたか？
3. グループ学習を通じて、メンバーどうし平等に作業を分担する工夫をしようとしたか？
4. グループ学習を通じて、問題が発生したら進んで助け合い、協力し合おうとしましたか？
5. 中国の学生とオンライン交流を通じて、中国の学生に対して積極的に話しかけようとしたか？
6. 中国の学生とのオンライン交流を通じて、相手からの問いかけに対して積極的に答え、反応しようとしたか？
7. 中国語の授業全体を通して、「日本の文化・風習」に対する理解が深まったと思いますか？
8. 中国語の授業全体を通して、「自分達の学校や日常生活」に対する理解が深まったと思いますか？
9. 中国語の授業全体を通じて、「日本の高校生や若者の特性」に対する理解が深まったと思いますか？
10. 中国語の授業全体を通じて、「中国の文化・風習」に対する理解が深まったと思いますか？
11. 中国語の授業全体を通じて、「中国の学生や若者の特性」に対する理解が深まったと思いますか？
12. 対面授業で学んだ中国語の語彙・文法を、中国の学生とのオンライン交流（準備・本番）の中で活かすことができましたか？
実際にどのように活かすことができたか、当てはまるものを全て選んで下さい。
13. グループ学習やオンライン交流の中で、わからない語彙・文法を、自分の周りにある資源を活用して調べ、わかろうとしましたか？
14. グループ学習で企画・作成した日本語を中国語に翻訳する際に、どのような資源を活用しましたか？当てはまるものを全て選んで下さい
15. CALL 中国語の授業を通じて、どのような技能が身に付いたと思いますか？当てはまるものを全て選んで下さい。
「その他」を選んだ人は具体的に教えて下さい。
16. CALL 中国語の授業を通じて身に付いた技能は、将来の勉強や仕事で役に立つと思いますか？
17. インターネット上で中国の学生と交流するために、自分一人で活用できると思うものをすべて選択してください。
18. インターネット上で中国の学生と交流するために、教師の支援があれば活用できると思うものをすべて選択してください
19. 教室での一斉授業、CALL 授業、オンライン交流を組み合わせた「ブレンディッド・ラーニング」は、高校の中国語学習者にとって効果があったと思いますか？
そのように答えた理由を具体的に教えて下さい。
20. 大学や社会の中で機会があれば、ブレンディッド・ラーニングによる中国語学習を続けたいと思いますか？
21. 中国語の授業は、全体として満足できるものでしたか？
22. 中国語の授業全体を通じて、最も良かった点と悪かった点を1つずつ教えてください。（教師に気を遣わなくてよいです！後輩たちのためにも）

23. 中国語のブレンディッド・ラーニングは新鮮・おもしろそうと感じるものでしたか？ (A)
24. 中国語のブレンディッド・ラーニングでの学習経験を、どこか・何かで実際に活かそう ですか？ (R)
25. 中国語のブレンディッド・ラーニングは、難しい・大変だと思いましたか？ (C) 「そう思う」「まあまあそう思う」と答えた人は、どのような点が難しい・大変だと思 うか、教えてください。
26. 中国語のブレンディッド・ラーニングで中国語を学習してよかったと思いますか？ (S) そのように答えた理由を教えてください。
27. 中国語のブレンディッド・ラーニングは、学習の内容・方法の自由度が高かったですか？ か？ (V)
28. 中国語のブレンディッド・ラーニングで学習することで、自分がやりたいことをできるよ うになったと感じましたか？
29. 第二外国語としての中国語の授業は、主要外国語の英語と比べて、どのような存在・位置 付けでしたか？
30. 最後に、2年生の時から1年半、中国語を勉強してきた感想をお願いします！

付録 19 6.4.5 ICT 活用に関する問いの検定統計量 (SPSS)

検定統計量^a

	Q3post - Q3pre	Q4post - Q4pre	Q5post - Q5pre	Q8post - Q8pre
Z	-1.000 ^b	-2.000 ^b	-1.000 ^c	-1.414 ^b
漸近有意確率 (両側)	.317	.046	.317	.157

検定統計量^a

	Q9post - Q9pre	Q17post - Q17pre	Q18post - Q18pre
Z	.000 ^b	-.378 ^b	-1.000 ^c
漸近有意確率 (両側)	1.000	.705	.317

- a. Wilcoxon の符号付き順位検定
b. 負の順位に基づく
c. 正の順位に基づく
d. 負の順位の合計は、正の順位の合計に等しくなります。

付録 20 6.4.5 ARCS-V に関する問いの検定統計量 (SPSS)

検定統計量^a

	A1post - A1pre	A2post - A2pre	A3post - A3pre	R1post - R1pre
Z	.000 ^b	.000 ^b	-1.000 ^c	.000 ^b
漸近有意確率 (両側)	1.000	1.000	.317	1.000

検定統計量^a

	R2post - R2pre	R3post - R3pre	C1post - C1pre	C2post - C2pre
Z	-1.414 ^b	-1.000 ^b	-.447 ^c	-1.732 ^b
漸近有意確率 (両側)	.157	.317	.655	.083

検定統計量^a

	C3post - C3pre	S1post - S1pre	S2post - S2pre	S3post - S3pre
Z	-1.342 ^b	-1.732 ^b	.000 ^c	-.447 ^b
漸近有意確率 (両側)	.180	.083	1.000	.655

検定統計量^a

	V1post - V1pre	V2post - V2pre	V3post - V3pre
Z	-1.633 ^b	-.816 ^b	-1.000 ^c
漸近有意確率 (両側)	.102	.414	.317

- a. Wilcoxon の符号付き順位検定
b. 負の順位の合計は、正の順位の合計に等しくなります。
c. 負の順位に基づく
d. 正の順位に基づく

付録 21 6.5.2 SCAT を援用した質的データ分析：交流トピック「挨拶・自己紹介」

番号	テキスト	〈1〉テキスト中の注目すべき語句	〈2〉テキスト中の語句の言い換え	〈3〉左を説明するようなテキスト外の概念	〈4〉テーマ・構成概念	〈5〉疑問・課題
学生 Y Z	【良かった点、以下同】なかなかこのような機会がないのでとても良い体験になりました。自己紹介もわりとうまくいき、相手にも伝わったと思うので、とても良かったです。向こうの生徒たちはとてもノリの良い人ばかりで自分としてもかなりリラックスして会話できました。	機会がない、自己紹介もうまくいった、相手に伝わった、向こうの生徒はノリの良い人ばかりだった、リラックスして会話できた	貴重な機会、自己紹介の成功、相手の人柄、会話の雰囲気、安心感	インタラクション（原因）、コミュニケーションの成功（結果）	交流実践の経験に満足、中国語コミュニケーション成功体験、相手のコミュニケーション態度を好意的に評価、交流時のリラックスした心情	自己紹介がうまく相手に伝わったと感じたのは相手のどのような反応によるものか？相手のどのような言動でノリが良いと判断したのか？他の学生はリラックスしていたか？
	【今後の課題、以下同】ですが、やはりまだまだボキャブラリーが少ないので、これは課題だと思います。また、リスニングの方でも聞き取ることが難しい単語もあったので、早く耳を慣らして質疑応答を素早くできるようにしたいです。	まだボキャブラリーが少ない、リスニングで聞き取ることが難しい単語もあった、耳を慣らす、質疑応答を素早くできるように	語彙不足、聞き取り能力不足、聞き取り能力の向上、スムーズな質疑応答	中国語コミュニケーション技能の不足（原因）	語彙不足とリスニング能力の向上を課題として認識、質疑応答の即時対応を目標化	聞き取れなかった単語は何か？質疑応答はどのように行われたのか？
	【その他、以下同】今回、中国人と初めて Skype をしました。	中国人と初めて Skype をした	Skype 初体験	体験の新規性（原因）	ビデオチャット、新鮮な体験	二回目以降も楽しいか？
学生 Y G	でも、中国側の人があなづいてくれたり、言っていることを理解してくれたりしてうれしかったし、会話が成り立ってる感じがして楽しかったです。次回がとても楽しみです。	中国側の人があなづいてくれた、言っていることを理解してくれた、会話が成り立ってる感じがした、次回が楽しみ	交流相手のあいづち、発言が理解される、会話の成立、次回への期待	インタラクション時の相手の反応（原因）、交流の成功体験（結果）、交流継続の欲求（結果）	交流相手の反応、成功体験	該当なし
	自己紹介をあらかじめスクリプト書いていたけど、交流が始まったらすごく緊張して発言とかぐちゃぐちゃになってた気がします。次の通りまでにもっと発音とか練習してスムーズに会話ができればいいなと思います。あいづちをもっと打てるようになってほしいなと感じました。	自己紹介をあらかじめスクリプト書いていた、交流が始まったらすごく緊張した、発言とかぐちゃぐちゃ、もっと発音とか練習、スムーズに会話ができればいい、あいづちをもっと打てるように	自己紹介の事前準備、交流時の緊張、言いたいことがうまく言えない、スムーズな会話、発音練習の必要性、あいづち練習の必要性	緊張感によるネガティブな影響、コミュニケーションの失敗（原因）、事前練習の強化の必要性（結果）、即時適切な応答表現の習得願望（結果）	緊張感によるネガティブな影響、即時の発話が困難、事前準備の強化、中国語コミュニケーション技能の向上、目標意識	なぜ緊張したのか？練習ではどの程度できていて、本番でどのように失敗したのか？なぜあいづちが重要だと思ったのか？
	中国側の人たちは日本語がとても上手ですごくいいなって思いました。	中国側の人たちは日本語がとても上手ですごくいい	交流相手の日本語能力の高さに対する尊敬	外国語能力の高さに対する憧憬（原因）と敬意（結果）	交流相手の日本語能力の高さ、交流相手に対するポジティブな評価	自分よりも上手だから「すごい」のか？
学生 K B Y	始まる前からすごいきんちょうして自分の言いたいことがちゃんと相手に伝わるかどうか不安だったけど、相手から反応があっとうれしかったです。	始まる前からすごいきんちょう、言いたいことがちゃんと相手に伝わるかどうか不安だった、相手から反応があった	異常な緊張感、意思伝達への不安、交流相手の反応に対する喜び	外国語で交流（原因）、緊張感と不安感（結果）、交流相手の反応（原因）、コミュニケーション成立（結果）	交流前の緊張・不安の認識、交流相手の反応、緊張・不安の緩和	なぜ開始前からそこまで緊張していたのか？どのように緩和されていったか？
	でも発音もピンイン（声調の意味）もめちゃくちゃだったので次回参加する時はもっと練習して相手とちゃんと会話したいです。そして、今日以上に会話を楽しみたいです。質疑応答もしっかりできたらいいなと思います。	発音もピンイン（声調の意味）もめちゃくちゃだった、もっと練習して相手とちゃんと会話したい、今日以上に会話を楽しみたい、質疑応答もしっかり	発音と声調が不適切、練習不足、会話成立の目標、会話を楽しむことへの期待、質疑応答成功への意欲	スムーズな会話の不成立（原因）、事前練習の強化の必要性（結果）、応用能力向上の必要性（結果）	正確な発音の習得、楽しい会話、コミュニケーション成立の喜び、質疑応答に参加、適切な質疑応答能力	めちゃくちゃとは何がどうなっていたのか？なぜそう感じたのか？

	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
学生 H M	太好了（とてもよかった）！すごく楽しかったです。みんな日本語が上手でとても励まされました。	よい、楽しい、交流相手の日本語が上手、励まされる	ポジティブな感情、交流相手の日本語能力の高さを知って自分も頑張ろうと思う	交流実践に参加、コミュニケーションの成功体験（原因）、交流相手の外国語能力の高さを認識（原因）、理想の自分への投影（結果）	交流体験に対する肯定的評価、理想の自分への投影、交流相手の言語運用技能に対する認識、学習モチベーションの向上	何がどう楽しかったのか？「励まされた」の具体的な意味は何か？
	もっと練習して、これからも会話を楽しみたいです。これからがんばります。もっと会話のキャッチボールができるように成長したいです。	もっと練習する、会話を楽しむ、これからがんばる、会話のキャッチボールができるように成長したい	練習不足、会話を楽しむことへの期待、努力の継続、インタラクション成立への目標	練習不足（原因）、練習強化の必要性を認識（結果）、交流の成功体験（原因）、交流継続の欲求（結果）、より高度な言語コミュニケーションへの欲求（結果）	事前準備の強化、一定程度のコミュニケーション成立、中国語コミュニケーション技能の向上、スムーズな交流の成立を目標化	何をどう練習して頑張る必要があると感じているのか？どの程度会話が成立したのか？
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
学生 F Y	でもまあ…自己紹介は通じたので、嬉しかったです！！	自己紹介は通じた、嬉しかった	自己紹介の成立、ポジティブな感情	交流の成功体験（原因）	自己紹介の成功、コミュニケーション成立の喜び	該当なし
	とりあえず、自分の中国語のできなさを痛感しました…言いたいことをうまく表現することができず、悔しかったです。次回はもっとしっかり準備をしてから交流したいです。	自分の中国語のできなさを痛感した、言いたいことをうまく表現することができなかった、悔しかった、次回はもっとしっかり準備をしてから交流したい	中国語運用技能不足の認識、表現の失敗、ネガティブな感情、事前準備の必要性を認識	中国語運用技能不足（原因）、失敗の悔しさ（結果）、準備不足に対する後悔（結果）	中国語コミュニケーション能力不足の自覚と反省、事前準備の強化	どのような場面で「言いたいことが表現できなかった」のか？
	中国の人たちは、やさしくて、かっこよくて、かわいかったです。	中国の人たちは、やさしくて、かっこよくて、かわいかった	交流相手に対する好意的な印象	視覚情報による外見や対人コミュニケーション態度に対する好意的な評価	ビデオチャットならではの視覚情報、キャラクターに対するポジティブな評価	「やさしい」と感じたのはどのようなやり取り・場面だったか？
学生 K B	初めて交流をして、最初は通じるか不安だったけど相手の方の理解力がなくてわかってくれたので良かったです！自己紹介の他にも、学校紹介もできました！	初めて交流、最初は通じるか不安だった、相手の方の理解力が高い、わかってくれた、自己紹介の他に学校紹介もできた	交流初体験、コミュニケーションの不安、交流相手のコミュニケーション能力、通じた、自己紹介の成功体験、学校紹介の成功体験	交流の新規性とコミュニケーション不安（原因）、交流体験（原因）、コミュニケーション成立（結果）、成功体験（結果）、課題の達成（結果）	交流前の不安の認識、交流相手の反応、不安の緩和、達成感、成功体験	どのような場面で相手の理解力の高さを感じたのか？
	質問されても、まだ先生が訳してくれなきゃ理解できないので、もっと単語を覚えて、自分で理解して答えられるようになりたいです（^o^）次出れるときはもっとスムーズなコミュニケーションがとれるように頑張ります！我坚持（がんばるぞ）＼（^）／	質問されても先生が訳してくれなきゃ理解できない、もっと単語を覚える、自分で理解して答えられるようになる、次はスムーズなコミュニケーションがとれるように頑張る	質疑応答の能力不足、教師の支援が必要、語彙力増強、支援なしで応答する能力の強化、スムーズな会話の成立、次回への期待	中国語運用技能不足（原因）、自力でのコミュニケーション失敗（原因）、外部支援の必要性（結果）、課題の認識（結果）、目標の設定（結果）	中国語コミュニケーション技能不足の自覚、語彙能力の強化、明確な目標の設定、高い動機付け	教師の支援はどの程度必要だったか？（語彙、表現等）
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

学生 K B A	初めて中国の方と直接交流して、とても良い経験になったと思います。(私の練習不足と能力不足のせいであまりスムーズに話せなかったけど、)リー先生はとても優しく接してくれてわかってくれたので嬉しかったです。教科書ではあまり学べない会話表現等も学べたので良かったです。(「一定!」「厉害!」のこと)	初めて直接交流、とても良い経験、リー先生はとても優しく接してくれてわかってくれた、嬉しかった、教科書では学べない会話表現等も学べた	交流初体験、価値のある経験、交流相手の優しさ、通じた、ポジティブな感情、実践的(教科書以外)会話表現	交流の新規性(原因)、対面交流の価値(原因)、経験の評価(結果)、交流相手のコミュニケーション態度(原因)、交流相手に対する好意的な評価(結果)、実践的語句学習の喜び(結果)	交流体験の機会に対する価値の肯定的評価、交流相手の態度によるコミュニケーション達成感、実践的語句学習の達成	相手のどのような発言や態度を「優しく接してくれた」と感じたのか?教科書で学べない会話表現は「一定!」「厉害!」以外に何だったか?
	私の練習不足と能力不足のせいであまりスムーズに話せなかったけど、(リー先生はとても優しく接してくれてわかってくれたので嬉しかったです。)これからももっと中国語の勉強を頑張ろうと思いました★	練習不足と能力不足、あまりスムーズに話せなかった、これからもっと中国語の勉強を頑張ろう	事前練習不足、中国語運用技能不足、中国語学習の動機づけ向上	事前練習不足(原因)、中国語運用技能不足(原因)、動機づけ向上(結果)	事前準備と中国語コミュニケーション能力の不足を自覚、動機付け向上	具体的にどのような内容について「スムーズに話せなかった」のか?
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ストーリー ライン (現時点で 言えること)	・学生 YZ は、あいさつ・自己紹介の遠隔交流活動に対して、中国人学生とのビデオチャットによる <u>交流実践</u> を行う機会を通じて、 <u>中国語を用いたコミュニケーションの成功体験</u> を獲得したことに満足した。また、 <u>相手のコミュニケーション態度を好意的に評価</u> し、 <u>交流時のリラックスした心情を維持した</u> (良かった点)。また、この体験を通じて、自分自身の <u>中国語コミュニケーション技能不足</u> を痛感し、 <u>その向上を課題として認識し、質疑応答の即時対応を目標化した</u> (今後の課題)。中国人とのビデオチャットは <u>新鮮な体験</u> として印象づけられた(その他)。					
	・学生 YG は、遠隔交流活動時に、自分の発言に対する交流相手の反応を深く観察し、それにより交流相手との意思の疎通を実感することで、コミュニケーションの成功体験を得た。同時に、今後の交流継続に対する期待を高めた(良かった点)。交流時の緊張感によるネガティブな影響が原因で、即時の発言が困難となり、十分に能力が発揮されなかったことから、事前準備の強化や中国語コミュニケーション技能の向上の必要性を強く感じ、目標意識を高めた(今後の課題)。今回の交流は、相手の日本語能力の高さをポジティブに評価した(その他)。					
	・学生 KBY は、遠隔交流前から強い緊張・不安を認識していたが、交流相手の反応により意思伝達の不安が緩和され、コミュニケーション成立の喜びを感じた(良かった点)。交流を通じて、楽しい会話の成立のためには正確な発音の習得が不可欠であると認識し、適切な質疑応答能力と併せて習得したいと実感した(今後の課題)。					
	・学生 HM は、遠隔交流の体験を大いに楽しみ、肯定的に評価した。また、交流相手の外国語(日本語)運用技能の高さを認識し、尊敬の念を抱き理想の自分へ投影すると同時に、それが中国語の学習モチベーションの向上にも反映された(良かった点)。一定程度のコミュニケーション成立を経験した上で、よりスムーズな交流を成立させ、会話を楽しむためには、事前準備の強化による中国語コミュニケーション技能の向上が必要であると認識した(今後の課題)。					
	・学生 FY は、中国語コミュニケーション能力不足を痛感して深く反省し、事前準備の強化の必要性を認識した(今後の課題)。一方で、自己紹介の成功に対する喜びも感じた(良かった点)。遠隔交流を通じて、ビデオチャットならではの視覚情報から交流相手のキャラクターに対する好意的な印象を抱き、ポジティブに評価した(その他)。					
	・学生 KB は、遠隔交流前の不安を認識していたが、相手の反応からコミュニケーション成立を実感し、不安が緩和された。また、課題の達成感と交流の成功体験を得た(良かった点)。交流を通じて、教師の支援なしで交流することの困難を認識し、中国語コミュニケーション能力(特に語彙)不足を自覚したことから、明確な目標を設定し、その実現を目指すという高い動機付けを得た(今後の課題)。					
	・学生 KBA は、初めての遠隔交流に対して、対面交流体験の機会に対する価値を肯定的に評価した。交流相手の態度によるコミュニケーション達成感や実践的語句学習の達成感を得た(良かった点)。事前準備と中国語コミュニケーション能力の不足を自覚したことで、学習動機付けが向上した(今後の課題)。					

理論記述	・学生 YZ にとって、自己紹介をテーマとした遠隔交流活動は、中国語コミュニケーションの成功体験と自身の技能不足に対する気づきをもたらす貴重な機会と体験として意味づけられた。
	・学生 YG にとって、自己紹介をテーマとした遠隔交流活動は、交流相手の反応からコミュニケーションの成功体験を得たと同時に、即時適切な応答表現まで含めた中国語コミュニケーション技能向上の必要性に気づく機会となり、継続する価値のある活動として意味づけられた。
	・学生 KBY にとって、自己紹介をテーマとした遠隔交流活動は、交流相手の反応によりコミュニケーション成立を実感し、交流前から感じた強い緊張や不安が緩和された。交流を通じて、会話成立の喜びと同時に、発音や質疑応答能力向上の必要性と、課題克服後のさらなる期待感を得る機会として意味づけられた。
	・学生 HM は、自己紹介をテーマとした遠隔交流活動を大いに楽しみ、交流相手が巧みに日本語を運用する場面に直面し、学習動機の向上を意識化した。円滑な交流を楽しむためには、練習強化による中国語運用技能向上が必要であることを認識する機会として意味づけられた。
	・学生 FY にとって、自己紹介をテーマとした遠隔交流活動は、全体を通じて事前準備と能力不足を自覚・反省することで、今後の練習強化による課題克服の必要性を認識する機会として意味づけられた。同時に、自己紹介成功の機会と、ビデオチャットならではの視覚情報から相手のキャラクターをより具体的に知る機会も得た。
	・学生 KB にとって、自己紹介をテーマとした遠隔交流活動は、教師の支援なしには交流が成立しないという体験から中国語コミュニケーション能力不足を自覚しながらも、交流相手の反応から成功体験を得ると共に、明確な課題を意識化して学習動機を高める機会として意味づけられた。
	・学生 KBA にとって、自己紹介をテーマとした遠隔交流活動は、初めての価値ある交流体験となり、準備不足や能力不足を自覚したものの交流相手の態度によりコミュニケーションが成立し、実践的語句学習の達成感も得て、学習動機付けが向上する機会として意味づけられた。
さらに追究すべき点・課題	自己紹介がうまく相手に伝わったと感じたのは相手のどのような反応によるものか？相手のどのような言動でノリが良いと判断したのか？他の学生はリラックスしていたか？聞き取れなかった単語は何か？質疑応答はどのように行われたのか？二回目以降も楽しいか？
	なぜ緊張したのか？練習ではどの程度できていて、本番でどのように失敗したのか？なぜあいづちが重要だと思ったのか？自分よりも上手だから「すごい」のか？
	なぜ開始前からそこまで緊張していたのか？どのように緩和されていったか？めちゃくちゃとは何がどうなっていたのか？なぜそう感じたのか？
	何がどう楽しかったのか？「励まされた」の具体的な意味は何か？何をどう練習して頑張る必要があると感じているのか？どの程度会話が成立したのか？
	どのような場面で「言いたいことが表現できなかった」のか？「やさしい」と感じたのはどのようなやり取り・場面だったか？
	どのような場面で相手の理解力の高さを感じたのか？教師の支援はどの程度必要だったか？（語彙、表現等）
	相手のどのような発言や態度を「優しく接してくれた」と感じたのか？教科書で学べない会話表現は「一定！」「厉害！」以外に何だったか？具体的にどのような内容について「スムーズに話せなかった」のか？

SCAT WEB site からのダウンロードフォーム [scatform1.xls](http://www.educa.nagoya-u.ac.jp/~otani/scat/scatform1.xls) <http://www.educa.nagoya-u.ac.jp/~otani/scat/scatform1.xls>

付録 22 6.5.2 SCAT を援用した質的データ分析：交流トピック「日本の高校生活」

※番号の①は2回の交流のうち1回目、②は2回目を表す

番号	テキスト	〈1〉テキスト中の注目すべき語句	〈2〉テキスト中の語句の言い換え	〈3〉左を説明するようなテキスト外の内容	〈4〉テーマ・構成概念	〈5〉疑問・課題
Y Z	また、今回の交流で学校祭関係の単語など色々な新出単語を学ぶことができてとてもよかったです。	学校祭関係の単語、色々な新出単語を学ぶことができた	学校行事関連語句、各種新出単語の学習	交流の話題や文脈に応じた適切な語句等の新出単語の学習が実現	学校行事に関する新出単語の学習	どのような新出単語を学習したのか？
	今日交流してみte思ったことは、まだ、ピンインを無視してしまうことがあるので、もっと読む練習を重ねてスラスラ話せるようにしていきたいです。このような交流を通じてもっとボキャブラリーを増やしていけるように頑張っていきたいです。	ピンインを無視してしまう、もっと読む練習を重ねる、スラスラ話せるようにしていきたい、交流を通じてもっとボキャブラリーを増やしたい、頑張っていきたい	正確な発音ができない 音読練習を強化 スムーズな発話を目指す 交流を通じて語彙の増強 努力の継続	武術練習を通じた自己流の学習経験（原因）、不正確な発音による発話（結果）、授業時間内外での練習不足の認識（原因）、流暢な発話と円滑な交流が目標（結果）語彙不足の認識（原因）、交流を利用した語彙増強のための努力の継続（結果）	自己流の中国語学習経験、正確な発音習得に対する干渉、音読練習強化、流暢な発話、交流実践の中で語彙が増えるという学習観	実践を通じて語彙が定着し増えるという学習観はどこから生まれたものか？それはどのような経験に基づくのか？
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
Y G ①	中国の人は日本語をすごくわかっていて交流していて優しさが伝わってきたし、すごく楽しかったです。	中国の人は日本語をすごくわかっていて、交流していて優しさが伝わってきた、すごく楽しかった	交流相手の日本語理解力の高さ、交流相手の優しさを 実感、ポジティブな感情	中国側の日本語使用など学生に対する交流中の配慮（原因）、交流相手に対するポジティブな印象（結果）、交流に対するポジティブな印象（結果）	交流相手の配慮を実感、ポジティブな印象、情意面に有効な作用	中国人学生が見せた「配慮・優しさ」とはどのように示されたのか？
	即興で自己紹介となると、焦って全然ちゃんと言えなかった、いつでも自己紹介できるように練習しておかなければと思いました。テストも終わったので、もう一度教科書を見直して次の交流にそなえたいです。	即興で自己紹介、焦って全然ちゃんと言えなかった、いつでも自己紹介できるように練習しておかなければならない、テストも終わった、もう一度教科書を見直す、次の交流にそなえる	事前準備なしで自己紹介実践、急な自己紹介に戸惑い失敗、自己紹介の語句・表現定着のための練習が必要、試験期間終了、既習事項の復習、次回交流の準備	急な自己紹介に対応できる中国語運用技能は未習得（原因）、練習の必要性を認識（結果）、試験期間中は中国語学習時間不足（原因）、交流のための復習の必要性を認識（結果）	即興の自己紹介に失敗、即興の対応力の重要性を認識、試験期間に忘れた言語知識の再習得、交流継続への意欲	即興の自己紹介でできたこととできなかったことは何か？
	今日は2回目だったけど、1回目と変わらずすごく緊張しました。でも1回目よりは余裕がありました。	今日は2回目、1回目と変わらずすごく緊張、1回目よりは余裕	二度目の交流、一度目と同様の緊張感、一度目よりは緊張していない	緊張感の持続と慣れの実感（心理状態の変化）	緊張、若干の慣れ	緊張・余裕の変化は言語使用にどのような影響を与えたか？
Y G ②	学校祭の準備の様子などを校内回って実際に見せることができたのはとても良かったと思います。今日は新しく前のスクリプトに加えて「シャツの話」ができて、いつもよりはスムーズに発音できたのでよかったです。また、スクリプトで使った準備とか学校祭とか覚えて使えました。楽しかったです！	学校祭の準備の様子を実際に見せることができた、新しく前のスクリプトに加えて「シャツの話」ができて、いつもよりはスムーズに発音できた、また、スクリプトで使った準備とか学校祭とか覚えて使えた、楽しかった	学校祭準備の実況中継の実施、学校行事に関する具体的な語句・表現の追加と交流中の運用、発音の流暢さの向上、ポジティブな感情	学校祭準備期間（偶然）、中国にはない日本独自の学校行事の紹介と実況（原因）、リアリティのある学校紹介活動の成立（結果）、より具体的な学校紹介関連語句・表現の使用と発音の成功（結果）、交流に対するポジティブな印象（結果）	日本の学校文化紹介の実現、臨場感、より能動的な言語活動の実現、発音面の課題克服、新語彙使用の達成感	どのような準備の様子を実況したのか？中国語でどのように実況したのか？
	次回も、もっと使える単語を覚えて、発音練習もしてのぞみたいです。	もっと使える単語を覚える、発音練習もしてのぞみたい	使用可能な語彙の増強、次回交流のための発音練習	実践的語彙と適切な発音による交流の成功（原因）、交流のための実践的語彙力と発音技能の向上を意識化（結果）	語彙習得と発音練習への意欲	「使えた」（通じた）単語は何か？どこまで中国語で表現できたか？
	今日はいつもよりも長い時間交流して、今までよりは全然緊張しなかったです。	いつもよりも長い時間交流、今までよりは緊張しなかった	長めの交流時間、三度目の交流は前の2回よりも緊張していない	同じ相手との長時間交流と慣れによる緊張の緩和（心理状態の変化）	同一の交流相手と長時間交流、緊張緩和、慣れ	同じ相手と長く交流した方が（他の回よりも）うまく交流できたのか？

H M ①	很(真)快乐&开心!! (とても愉快で楽しかった!!) 毎回すごく楽しくて勉強になっています。	とても愉快で楽しい, 毎回すごく楽しい, 勉強になる	面白い, いい気分、興奮、盛り上がり、嬉しい、満足、毎回、ためになる、学ぶことがある	交流の盛り上がり (原因)、楽しめたことに満足 (結果)、毎回の交流の楽しさ (原因)、その中で学びが起きる (結果)、交流する価値がある (結果)	楽しい学び、価値ある学びの持続	具体的にどのような話題や表現が愉快で楽しかったか?
	もっといろいろなことを話せるようにがんばります。3回目も楽しみたいです。	もっといろいろなことを話せるようにがんばる, 3回目も楽しみたい	たくさん話したい、話題を豊富にする、次回も楽しく交流する	話題の豊富化 (目標設定)、次回への期待 (結果)	話題提供能力の向上、継続的な交流意欲	今回話せたことは何か?
	谢谢 (ありがとうございました) (^)	ありがとうございました	感謝、お礼	(既習の中国語を活用して) 教師に対する感謝	積極的な中国語使用	該当なし
H M ②	北海道の食べ物の紹介を前回よりも多い内容で言えてよかったです。学校紹介も今日できると思っていなかったののでできて嬉しかったです。今回の交流もすごく楽しかったです。	北海道の食べ物の紹介, 前回よりも多い内容で言えた, 学校紹介も今日できると思っていなかった, できて嬉しかった, 今回の交流もすごく楽しかった	北海道グルメや食文化の紹介、豊富な内容、予想外の学校紹介実現に満足、毎回の交流が面白い	ローカルな食文化の紹介と豊富な説明 (原因)、説明の充実化に満足 (結果)、想定外の学校祭準備の実況中継 (原因)、即興イベントに満足 (結果)、交流に対するポジティブな感情の持続 (結果)	ローカル感、豊富な情報提供、想定外の活動も楽しめた喜び、即興、満足感、学びの価値と実感の継続	北海道グルメについてどの程度説明できたか? 学校祭準備の実況はどのような様子だったか? どのような語句を使ったか?
	次回は自分のしたい質問をもっとたくさんできるように準備したいです。	次回は自分のしたい質問をもっとたくさんできるように準備したい	自分から質問したい、いろいろ聞きたい、そのために準備する	定型の質問実践 (原因)、自発的な質問への意欲 (結果)、発話・質問増加のための準備 (目標設定)	交流内容の充実化 (質問の準備) への意欲	もっと質問できるようにしたいと思った理由は? (質問できなかったのか、答えるだけだったのか…)
	甜甜圈很好吃! 谢谢老师! (ドーナツおいしかった! 先生ありがとう!)	ドーナツおいしかった, 先生ありがとう	お菓子が美味、教師に感謝、お礼	(既習の中国語を活用して) (学生のために教師が差し入れた) お菓子の感想と教師に対する感謝	中国語での感情表現、新語の即時使用、積極的な中国語使用、教師とのラポール強化	該当なし
K B A	先週に続いて2回目の参加でしたが、学校祭の準備風景や、食べ物・飲み物の紹介ができてよかったです。中国の大学生の方は2人とも笑顔で聞いてくれたので嬉しかったです。	先週に続いて2回目の参加、学校祭の準備風景、食べ物・飲み物の紹介ができてよかった、中国の大学生、2人とも笑顔で聞いてくれた、嬉しかった	2週連続の交流、学校祭準備の実況中継の実施、食文化の紹介、交流相手の友好的態度に対する好印象	部活や習い事がなく2回連続参加できた (偶然)、学校祭準備期間 (偶然)、学校行事や食文化紹介 (原因)、実施に対する満足 (結果)、交流相手の態度 (原因)、交流相手に対するポジティブな感情 (結果)	連続参加、ローカル感、学校情報の提供、想定外の活動実施、満足感、友好的態度に対する喜び	学校祭準備の実況はどのような様子だったか? どのような語句を使ったか? 中国側の言語的反応 (聞こえるリアクション) はどうだったか?
	でもやっぱり単語不足や会話表現であまり会話が續かないので、次回はもっと会話が續くようにしたいです。	やっぱり単語不足や会話表現であまり会話が續かない、次回はもっと会話が續くようにしたい	語彙能力や表現能力の不足を再認識、会話継続に対する意欲	適切な語句使用に失敗 (原因)、つたない表現やコミュニケーション困難 (原因)、能力不足改善への意欲 (結果)、会話継続の希望 (結果)	言語コミュニケーション能力不足の再認識、課題改善への意欲、会話充実への意欲	どのような場面で言語コミュニケーションの困難を感じたのか?
	先生ありがとうございました(^-^)/ドーナツごちそうさまです	先生ありがとう、ドーナツごちそうさま	教師のお菓子提供に対する感謝、お礼	(学生のために教師が用意した) お菓子の感想と教師に対する感謝	教師とのラポール強化	該当なし

ストーリー ライン (現時点で 言えること)	学生 YZ は、交流を通じて学校行事に関する新出単語の学習に成功したことに対して満足感を得た（良かった点）。自己流の中国語学習経験が原因で、正確な発音習得に対する干渉があることを認識しており、音読練習強化によって流暢な発話を目指したいという目標意識を得た。また、交流実践の中で語彙が増えるという学習観があり、今後も学習を継続して語彙を増強したいという意欲が生まれた（今後の課題）。
	学生 YG は、1 回目の交流について、言語コミュニケーションにおいて日本語を適宜使用する等の交流相手の配慮を実感し、ポジティブな印象を得ると同時に、それが情意面にも有効に作用した（良かった点）。即興の自己紹介に失敗したことにより、即興の対応力の重要性を認識した。試験期間に忘れた言語知識の再習得と交流継続への意欲を示した（今後の課題）。2 度目の交流を体験し、依然として緊張感を強く感じたものの、若干の慣れも感じてきた（その他）。
	学生 YG は、2 回目の交流について、臨場感をもって日本の学校文化紹介が実現したことに満足した。学校祭に関する具体的なトピックについて、より能動的な言語活動が実現し、その中で発音面の課題克服を実感した。また、新語彙使用の達成感も覚えた（良かった点）。継続的交流に向けて、語彙習得と発音練習への意欲を示した（今後の課題）。同一の交流相手と長時間交流したことにより、慣れが生じ、緊張が緩和した（その他）。
	学生 HM は、1 回目の交流について、楽しい学びを経験し、価値ある学びの持続を実感した（良かった点）。話題提供能力の向上を目標として認識し、継続的な交流意欲を示した（今後の課題）。教師に対するお礼について、積極的に中国語を使用した（その他）。
	学生 HM は、2 回目の交流について、北海道の食文化というローカル感あふれる豊富な情報提供に成功したことに満足した。また、学校紹介という想定外の活動にも即興で対応して楽しめた喜びを感じ、継続して学びの価値と実感を得た（良かった点）。次回に向けて、交流内容の充実化（質問の準備）への意欲を示した（今後の課題）。教師に対するお礼や交流後の差し入れおやつへの感想について、中国語での感情表現や新語の即時使用等、積極的に中国語を使用した。交流からおやつを食べながらの感想記入までを通じて、教師とのラポールが強化された。
	学生 KBA は、遠隔交流に 2 週「連続して参加」した。「想定外」ではあったが高校ならではの「学校情報の提供」や「ローカル感」あふれる情報提供に成功したことに満足した。交流相手の「友好的態度に対する喜び」を感じた。（良かった点）交流を通じて、「言語コミュニケーション能力不足を再認識」し、次回に向けた「課題改善への意欲」と「会話充実への意欲」を示した。教師が交流後に差し入れたおやつに対する謝意を示し、「教師とのラポール強化」につながった。
理論記述	学生 YZ にとってテーマ別の遠隔交流は、学校関連の語彙習得に成功する機会であったと同時に、自己流の発音矯正や発話の流暢さ向上等の課題を再認識し、今後の目標が明確化したことで、学習継続への意欲が生まれる機会として意味づけられた。
	学生 YG にとってテーマ別の遠隔交流（1 回目）は、交流相手の友好的なコミュニケーション態度（ビデオチャットならではの視覚情報からわかること）と交流に対する慣れによって緊張感や不安が緩和したことで、交流しやすさや楽しさ、交流継続への意欲を感じた。発話の失敗を通じて即興の対応力や言語知識定着の必要性を実感する機会として意味づけられた。
	学生 YG にとってテーマ別の遠隔交流（2 回目）は、臨場感のある学校紹介を通じて能動的な言語活動が実現し、発音等の課題克服や新語彙の使用に成功したことにより、今後の交流におけるさらなる成功体験の蓄積を目標化する機会として意味づけられた。
	学生 HM にとってテーマ別の遠隔交流（1 回目）は、学びの楽しみや価値ある学びの持続を実感し、次回も同様に交流を楽しむために話題や発話機会の増加を目標化する機会として意味づけられた。（教師からの差し入れに対して積極的に中国語を使用して感想を記述した。）
	学生 HM にとってテーマ別の遠隔交流（2 回目）は、豊富なローカル情報の提供と即興の学校紹介の成功体験を得て、価値ある学びを持続的に実感した。同時に、次回交流に向けた紹介内容や準備の充実を目標化する機会として意味づけられた。（教師からの差し入れに対して積極的に中国語を使用し、より豊富な語彙を用いて感想を記述した。）
	学生 KBA にとってテーマ別の遠隔交流は、ローカル情報の提供と即興の学校紹介の成功体験を得ると同時に、交流相手の友好的なコミュニケーション態度に喜びを実感する機会となった。言語コミュニケーション能力不足を再認識したことで、語彙や会話表現の増強を目標化する機会として意味づけられた。
さらに追究 すべき点・ 課題	学生 YZ にとっての新出単語は何だったか？実践を通じて語彙が定着し増えるという学習観はどのような体験に基づき生まれたものか（小学生の頃から習っている中国武術とコーチとのコミュニケーション等）？
	学生 YG にとって（テーマ別交流 1 回目）、①中国人学生が見せた「配慮・優しさ」とはどのように示されたのか？②即興の自己紹介でできたこととできなかったことは何か？③緊張・余裕の変化は言語使用にどのような影響を与えたか？
	学生 YG にとって（テーマ別交流 2 回目）、①どのような準備の様子を中国語で実況したのか？（動画なし、中国側の感想にあれば少しわかる）②「使えた」（通じた）単語は何か？③同じ相手と長く交流した方が（他の回よりも）スムーズに交流できたのか？
	学生 HM にとってテーマ別の遠隔交流（1 回目）、具体的にどのような話題や表現を楽しくできたか？
	学生 HM にとってテーマ別の遠隔交流（2 回目）、①北海道グルメについてどの程度準備した内容について説明できたか？②どのような準備の様子を中国語で実況したのか？（動画なし、中国側の感想にあれば少しわかる）③どの程度、質疑応答できたか（質問できなかったのか、答えるだけだったのか…）
	学生 KBA にとってテーマ別の遠隔交流は、①どのような準備の様子を中国語で実況したのか？（動画なし、中国側の感想にあれば少しわかる）②中国側の言語的反応（聞こえるリアクション）はどうだったか？③どのような場面で言語コミュニケーションの困難を感じたのか？

付録 23 6.5.2 SCAT を援用した質的データ分析：交流トピック「学校祭」

番号	テキスト	〈1〉テキスト中の 注目すべき語句	〈2〉テキスト中の 語句の言い換え	〈3〉左を説明するような テキスト外の内容	〈4〉テーマ・構成概念	〈5〉疑問・課題
Y Z	【今日は準備が短くてあまり長い文章を作ることができませんでした。】いくつか新しい単語や熟語を学べたのでよかったです。	新しい単語や熟語、いくつか学べた、よかった	新出単語（熟語）の知識が増えた、満足	準備時間が少ないなりに言語知識の面で収穫があった	新たな言語知識の増強、満足感	新しい単語や熟語とは何か？
	今日は準備が短くてあまり長い文章を作ることができませんでした【が、いくつか新しい単語や熟語を学べたのでよかったです。】でも、やはり、リスニングのスキルをもっと伸ばしていきたいなと思います。（11月の漢語橋中高生部門の）本大会に向けて、もっと努力していきたいです。	準備が短い、長い文章を作ることができなかった、やはりリスニングのスキルをもっと伸ばしたい（本大会に向けてもっと努力したい）	準備時間が不足、（語や句のみではない）文の作成に失敗、リスニング能力の不足を実感かつ重要性を再認識（中国大会に向け努力の必要性を認識）	通常は授業後に2～3回の復習の回があるところ、今回は授業の日・週に遠隔交流を即実施（原因）、準備不足による発話の失敗（結果）、リスニング能力の不足を実感（原因）、リスニング能力の向上を目標化（結果）（遠隔交流が中国大会を想定したコミュニケーション練習の場として機能）	準備不足と発話の失敗、リスニング能力不足に対する気づきと能力向上への意欲（遠隔交流のコミュニケーション経験からの中国大会に向けた課題の認識）	どのようなやり取りからリスニング能力の不足を感じたのか？
	今後ともご指導のほど、よろしくお願いします。	（ご指導よろしくお願いします）	（学習支援の要請）	（中国大会に向けた特別練習に対する意欲）	中国大会に向けたモチベーションの向上	該当なし
K B Y	今日のは準備の時間がみじかかったけど、色々話せてよかったです。あと、自分の中国語は少しでも伝わってうれしかったです。写真（真面目な感じだったり、おもしろやつだったり 笑）をたくさん見せて、感想とかがすごいおもしろかったです。	準備の時間が短い、いろいろ話せた、よかった自分の中国語、少しでも伝わった、うれしかった、写真をたくさん見せた、真面目な感じ、おもしろいやつ、感想がすごいおもしろかった	準備時間が不足、豊富な会話の内容、満足感、少ない資源を用いたコミュニケーション成立の喜び、バラエティに富んだ写真による説明、相手の愉快な反応、感想の内容が興味深い	授業後の復習時間がなく交流に不安（前提）、それなりの満足感（結果）、言語知識・資源不足（前提）、コミュニケーション成立（原因）、満足感（結果）、説明補助ツールとしての写真活用（原因）、相手の反応や感想に対するポジティブな感情（結果）	復習不足にもかかわらず交流できて満足、少ない言語知識でのコミュニケーション成立に対する喜び、説明で用いた写真、相手の感想や意外な反応を楽しんだ	相手のおもしろい感想とはどのような内容か？
	今日はたくさん先生やみんなに聞いてしまったので、次は少しでも自分で言えるようになります。	たくさん先生やみんなに聞いてしまった、次は少しでも自分で言えるようになります	教師やクラスメイトに色々教わった、自力で発話しコミュニケーションを成立させたい	前2回の交流に不参加（原因）、教師やクラスメイトの支援が発生（結果）（原因）、次回交流でのコミュニケーションへの意欲（結果）	周囲の支援に頼りすぎたことに対する反省、次回交流での課題克服への意欲	どのような内容について周囲の支援を求めたのか？
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
K B	準備する時間が短くて大変だったけど、楽しかったです！写真もたくさん見てもらえたので楽しんでくれていたらいいなと思います！	準備する時間が短い、大変だった、楽しかった、写真もたくさん見てもらえた、楽しんでくれていたらいいな	準備時間が不足、負担が大きい、満足感、バラエティに富んだ写真による説明ができたことに満足、相手にも楽しんでほしい	授業後の復習時間がなく心理的負担を感じた（前提）、交流に満足感（結果）、説明補助ツールとしての写真活用（原因）、楽しい時間の提供（原因）、相手のポジティブな感情を期待（結果）	準備時間不足による心理的負担、交流に対する満足感、様々な写真を用いた説明に対する相手のポジティブな評価を期待	写真を用いた説明の場面はどのような様子だったか？
	緊張すると、ピンインの発音を間違えてしまうので、もっと練習しなきゃなと思いました。今後は、相手からの質問とかも自分で理解できるようになりたいです！	緊張する、ピンインの発音を間違える、もっと練習しなきゃ、相手からの質問、自分で理解できるようになりたい	緊張感からの発音失敗、練習強化が必要、自力で質疑応答できる能力の習得への意欲	緊張感（原因）、発音失敗（結果）（原因）、練習強化の必要性を認識（結果）、質問聞き取りに失敗（原因）、教師や交流相手の支援なしに内容理解することへの意欲（結果）	緊張による発音の失敗から練習強化の必要性を認識、交流相手との質疑応答を独力で成功させることを目標化	どのような内容についてどの程度周囲の支援が必要だったか？
	次の交流も頑張ります☆おみやげごちそうさまでした＼（´▽`）／ 很好吃！	次の交流、頑張る、おみやげごちそうさま、很好吃（とてもおいしかった）	次回交流への意欲、おやつに対するお礼、中国語を用いた味の感想の記述	今回の交流に対する満足（原因）、次回交流への意欲（結果）、教師の差し入れたおやつ（原因）、お礼や中国語での感想を表現（結果）	次回交流への継続的意欲、積極的な中国語使用、教師とのラポール強化	該当なし

K B A	でも、学校祭について楽しく紹介できたのでよかったです(^o^) シャンチーの裸…(笑)	学校祭、楽しく紹介できた、よかった、シャンチー(山崎)の裸	学校行事、愉快的気分、情報提供、満足感、クラスメートの半裸写真	写真を用いた紹介(原因)、交流相手は女子学生が多かった(原因)、男子生徒の写真を見て盛り上がった(結果)	学校行事の紹介活動を楽しみ満足感を獲得、面白い写真の提示	該当なし
	今日は久しぶりの授業からの久しぶりの交流だったので、結構忘れていたり思い出せない単語があって大変でした。これからはもっと自分から相手に質問できるようになりたいです。またがんばります！やっぱり中国語は発音が難しい(>-<) 日頃から正しいピンインで読めるように練習をして、相手にわかりやすく伝えられるようにしたいです。	久しぶりの授業、久しぶりの交流、結構忘れていた、思い出せない単語があった、大変だった、これからはもっと自分から相手に質問できるようになりたい、またがんばる、やっぱり中国語は発音が難しい、日頃から練習する、正しいピンインで読めるように、相手にわかりやすく伝えたい	前回の授業と交流から時間があいた、単語を忘れた、苦勞した、負担が大きい、主体的・積極的な問いかけへの意欲、理想的なコミュニケーションのありかた、努力の継続、中国語の発音の難しさを再認識、日常的・継続的な練習の必要性を認識、正確な発音による音読、理解してもらえる発音や表現で発話することを目標化	学校行事等で授業と交流をしない時間が長くあった(原因)、復習不足により以前に学習した語句や表現を忘れていた(結果)(原因)、発話やコミュニケーションの失敗(結果)(原因)、できないことを実感した(結果)(原因)、学習のモチベーションが向上した(結果)	授業や交流の断絶、言語知識の忘却と発話スキルの低下、コミュニケーションが困難、主体的・積極的な問いかけへの意欲、定期的かつ継続的な交流の重要性を実感、発音上の課題を再認識、発音練習強化の必要性を痛感、円滑なコミュニケーションを目標とした正確な発音習得への意欲	どの程度期間が空いていたか？ どのような語句・表現が不足してコミュニケーションが成立しなかったのか？
	お菓子ごちそうさまでした(*^~^*)！很好吃!!	お菓子ごちそうさま、很好吃(とてもおいしかった)	おやつに対するお礼、中国語を用いた味の感想の記述	教師の差し入れたおやつ(原因)、お礼や中国語での感想を表現(結果)	積極的な中国語使用、教師とのラポール強化	該当なし
ストーリー ライン (現時点で 言えること)	学生 YZ は、学校祭紹介の交流を通じて、準備不足と発話の失敗を実感しつつも、新たな言語知識の増強に満足感を得た(よかった点)。一方で、リスニング能力不足に対する気づきと能力向上への意欲を示した(今後の課題)。(この意欲は、遠隔交流のコミュニケーション経験から中国大会に向けた課題を認識したものであり、中国大会に向けたモチベーションの向上」にも結び付いている)(その他)。					
	学生 KBY は、学校紹介の交流を通じて、復習不足にもかかわらず交流できたことに満足し、少ない言語知識でのコミュニケーション成立に対する喜びを感じた。また、説明で用いた写真について得られた相手の感想や意外な反応を楽しんだ(よかった点)。交流時に周囲の支援に頼りすぎたことに対する反省から次回交流での課題克服への意欲を示した(今後の課題)。					
	学生 KB は、学校紹介の交流を通じて、準備時間不足による心理的負担を感じたものの、交流に対する満足感も得た。様々な写真を用いた説明を行い、それに対する相手のポジティブな評価を期待した(よかった点)。緊張による発音の失敗から練習強化の必要性を認識し、交流相手との質疑応答を独力で成功させることを目標化した(今後の課題)。次回交流への継続的意欲を示し、教師とのラポールも効果的に作用したことで、授業の感想記述において積極的に中国語を使用した(その他)。					
	学生 KBA は、面白い写真を提示しながらの学校行事の紹介活動を楽しみ満足感を獲得した(よかった点)。授業や交流の断絶が言語知識の忘却と発話スキルの低下を引き起こし、それによりコミュニケーションが困難となった。このことから、次回に向けた主体的・積極的な問いかけへの意欲を示し、定期的かつ継続的な交流の重要性を実感した。発音上の課題を再認識し、発音練習強化の必要性を痛感したため、円滑なコミュニケーションを目標とした正確な発音習得への意欲を示した(今後の課題)。教師とのラポールも効果的に作用したことで、授業の感想記述において積極的に中国語を使用した(その他)。					
理論記述	学生 YZ にとって学校行事紹介の遠隔交流は、新たな言語知識を獲得したと同時に、近い将来に中国へ渡航するという目的のために有していた知識面・技能面の既存の課題意識を高める機会として意味づけられた。					
	学生 KBY にとって学校行事紹介の遠隔交流は、少ない言語資源でも最低限のコミュニケーションが成立し、相手の反応も楽しめたことに対する満足感を獲得する機会となった。同時に、周囲の支援に頼らず自力で交流するという課題克服を目標化する機会として意味づけられた。					
	学生 KB にとって学校行事紹介の遠隔交流は、準備に苦勞しながらも、楽しみや満足感を得ると同時に、相手の感情にも配慮して交流活動を行う機会となり、交流に対する意欲も持続された。緊張による失敗の経験に基づき、課題意識や次回交流への目標を明確化する機会として意味づけられた。					
	学生 KBA にとって学校行事紹介の遠隔交流は、創意工夫による臨場感のある学校紹介を楽しみ満足感を得る機会となった。言語知識の忘却と発話スキルの低下によりコミュニケーションに失敗したが、反省に基づく積極的な交流態度、発音技能向上の意欲、及び継続的交流の重要性を認識する機会として意味づけられた。					
さらに追究 すべき点・ 課題	学生 YZ にとって、新しい単語や熟語とは何か？どのようなやり取りからリスニング能力の不足を感じたのか？					
	学生 KBY は、どのような内容を相手のおもしろい感想と感じたのか？どのような内容について周囲の支援が必要だったか？					
	学生 KB が行った写真を用いた説明の場面はどのような様子だったか？どのような内容について周囲の支援が必要だったか？					
	学生 KBA にとって、どの程度期間が空いていたか？どのような語句・表現が不足してコミュニケーションが成立しなかったのか？					

付録 24 6.5.2 SCAT を援用した質的データ分析：交流トピック「夏休みの思い出」

番号	テキスト	〈1〉テキスト中の注目すべき語句	〈2〉テキスト中の語句の言い換え	〈3〉左を説明するようなテキスト外の内容	〈4〉テーマ・構成概念	〈5〉疑問・課題
Y G	今日は久しぶりの交流で、いつもみたいな緊張はあまりなく、心から楽しめました！あちらがすごく日本語が上手であいづちとかいっぱいうってくれてすごく嬉しかったし、時間が過ぎるのがあっという間でした。お互いの夏休みを紹介し合えて、写真も見せてもらえて、終始楽しかったです。本当に楽しかったです (^0^)/	久しぶりの交流、緊張は少ない、楽しめた、日本語が上手、たくさんのあいづちが嬉しい、あっという間、夏休みを紹介し合った、写真を見た、終始楽しかった、本当に楽しかった	久々、交流、緊張緩和、楽しい、交流相手の日本語能力の高さ、リアクションの多さに対する喜び、交流時間の経過が早い、夏休み、相互に紹介、交流中ずっと楽しめた、心から満足	前回の交流から時間が空いた（状況）、慣れによる緊張の緩和（原因）、満足感（結果）、相手の日本語使用によるコミュニケーション支援（原因）、喜び（結果）、中国の大学生の夏休みを知る（原因）、写真による視覚情報提供（原因）、高い満足感（結果）	授業や交流の断絶、慣れによる緊張の緩和、円滑なコミュニケーション、相手の日本語技能の高さ、相手の反応に対する喜び、交流に没頭（フロー状態?）、写真を用いた夏休み紹介、高い満足度	どの程度期間が空いていたか？緊張が少なかった理由は？（どのような様子だったか）何がそこまで強調するほどに楽しかったのか？
	自分たちはあらかじめ原稿を用意してしゃべっているから、次回とかはもっといっぱい発音とか練習して伝わりやすいようにしたいです。ついつい日本語で伝えようとしちゃったので、なるべく中国語で質問できるようにしたいなと思いました。	原稿を用意して話す、発音練習を増やす、伝わりやすい表現、つい日本語を使用、中国語で質問したい	交流材料の事前準備、発音練習の強化、円滑なコミュニケーション、日本語を話さないようにする、中国語を用いた問いかけへの意欲	事前準備しても正確な発音は困難、発音練習不足、母語に依存しない	事前準備しているからこそ発音練習して円滑なコミュニケーションを実現すべき、母語に依存しない活動の機会を増やすことへの意欲	どのような内容についてどの程度日本語使用があったか？
	今色々あるけど、もっと交流を重ねて、お互いの国のこととか過ごし方とか分かり合っていきたいです。	（日中間の政治的摩擦等）今色々ある、交流を重ねる、お互いの国や過ごし方を分かり合いたい	日中間の摩擦、継続的交流、相互理解、異文化理解	尖閣問題の時期、一個人としての相互理解の必要性	日中間の国の問題に影響されないミクロなレベルで相互理解することへの意欲	交流を通じてどのように感じさせるきっかけがあったのか？
K B Y	久しぶりに交流して全然話せなかったけど、自分の言ったことが少しでも伝わってうれしかったです。	久しぶりに交流した、全然話せなかった、自分の言ったことが少しでも伝わった、うれしかった	前回の交流から時間があいた、発話の失敗、中国語を用いた自己表現の成功、コミュニケーションの成立、喜び	学校行事等で授業と交流をしない時間が長くあった（原因）、語彙・表現の忘却（原因）、発話の失敗感（結果）、少ない言語資源（前提）、コミュニケーションが取れた場面もあった（結果）	授業や交流の断絶、少ない言語資源で対話できたことに対する喜び	何が話せて何が話せなかったのか？
	今度やる時はもっと練習してたくさん交流できたらいいと思います。	今後やる時はもっと練習する、たくさん交流できたらいい	次回交流に向けた練習への意欲、対話の増加と活性化	相手に少ししか伝わらなかった（原因）、練習の必要性を認識（結果）、交流活動の充実化への意欲（結果）	練習強化による課題克服、交流の充実化への意欲	何を練習すべきか？
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

H M	すごく×2楽しかったです。今、ニュースを見るとちょっと悲しくなることが多いけど（中国との関係において）、今日実際に交流したら、全然そんな事関係なく楽しく話せて、すごくうれしかったです。これからもっと交流したくなりました。来週も楽しみです。	すごくすごく楽しかった、ニュースを見るとちょっと悲しくなることが多い、中国の関係、実際に交流した、全然そんな事関係なく楽しく話せた、すごくうれしかった、これからもっと交流したくなった、来週も楽しみ	高い満足感、日中関係に関する報道、ネガティブな感情、不安感、交流時にその影響を感じなかった、強い喜び、交流継続への意欲、次回交流への期待	尖閣問題の時期、報道内容から反日感情を意識、交流相手が自分たちに抱く感情に対する不安感、対個人の感情は友好的であったことに対する安堵、交流継続への意欲の高まり	日中関係報道から交流相手の反日感情への影響を不安視、日中問題に影響されない個人間の交流が成立したことに対する喜び、交流継続への意欲の高まり	実際に交流するまではどのような不安があったのか？
	ひさしぶりだったので中国語は難しかったです。言語は使わないとすぐ忘れてしまうので、もっと練習して、スムーズに言いたい事が言えるようになりたいです。	久しぶりだったので中国語は難しかった、言語は使わないとすぐ忘れてしまう、もっと練習してスムーズに言いたい事が言えるようになりたい	前回の交流から時間があいた、中国語の難しさを再認識、頻繁な言語使用の必要性を認識、練習強化、意思伝達の円滑化への意欲	学校行事等で授業と交流をしない時間が長くあった（原因）、既習の語句や表現を忘れていた（結果）（原因）、発話やコミュニケーションの失敗（結果）（原因）、学習のモチベーションが向上した（結果）	授業や交流の断絶、言語知識の忘却と発話スキルの低下、コミュニケーションが困難、円滑なコミュニケーションを目標とした練習強化の必要性を認識	どのような内容（場面）で困難（スムーズに言いたいことが言えない）を感じたのか？
	今日交流した方達も日本語がすごく上手で励まされました。谢谢老师（先生ありがとうございました）	今日交流した方達も日本語がすごく上手だった、励まされた、先生ありがとう	交流相手の日本語能力の高さを知って自分も頑張ろうと思う	インタラクションの経験（原因）、交流相手の外国語能力の高さを認識（原因）、理想の自分への投影（結果）	交流相手の言語運用技能に対する認識、学習のモチベーションの向上	「励まされた」の具体的な意味は何か？
K B	今日の Skype もとても楽しかったです！今、日中で色々問題があるので、どうなるかなーと少し不安でしたが、いつもどおり楽しかったです！（^ ^）／これから頑張ります★	とても楽しかった、日中で色々問題がある、どうなるかなー、少し不安、いつもどおり楽しかった、これから頑張る	満足感、日中関係の悪化、ネガティブな感情、不安感、交流時にその影響を感じなかった、交流継続への意欲	尖閣問題の時期（原因）、交流相手が自分たちに抱く感情に対する不安感（結果）（原因）、対個人の感情は友好的であったことに対する安堵（結果）、交流継続への意欲の高まり（結果）	日中関係報道から交流相手の反日感情への影響を不安視、日中問題に影響されない個人間の交流が成立したことに対する喜び、交流継続への意欲の高まり	実際に交流するまではどのような不安があったのか？
	ピンイン通りに発音するのが難しくて、うまく伝わらないこともあるし、まだまだわからない言葉だらけなので、1つずつ単語をしっかりと覚えてもっと色々な話をして交流したいです！	ピンイン通りに発音するのが難しい、うまく伝わらないこともある、まだまだわからない言葉だらけ、1つずつ単語をしっかりと覚える、もっと色々な話をして交流したい	正確な発音の難しさ、コミュニケーションの失敗、言語知識の不足、語彙の定着と増強、対話内容の豊富化、交流活動の充実化	コミュニケーション成立のためには正確な発音が不可欠（事実）、豊富な話題で対話を展開するには語彙が必要（事実）、地道に学習を継続してそれらの技能を習得することが必要（事実）	言語知識不足や正確な発音習得不足によるコミュニケーション困難、課題の認識、課題克服による交流の充実化への意欲	うまく伝わらなかったのはどのような語句・表現か？ うまく伝わらなかった時にどのようにコミュニケーションを成立させたか（教師の支援？日本語使用？）
	相手の2人が日本語ペラペラですごくだったので、私も中国語をもっと上手くしゃべれるようになりたいなと思いました（^o^）	相手の2人、日本語ペラペラですごくだった、中国語をもっと上手くしゃべれるようになりたい	交流相手の日本語能力の高さを知って自分も頑張ろうと思う、中国語運用技能向上への意欲	インタラクションの経験（原因）、交流相手の外国語能力の高さを認識（原因）、理想の自分への投影（結果）、学習のモチベーションの向上（結果）	交流相手の言語運用技能に対する認識、学習のモチベーションの向上	どのような内容についてどの程度日本語使用があったか？
K B A	久しぶりの交流とても楽しかったです（^ ^）スクリプト忘れたり単語忘れたり（思い出せなかったり）ぐだぐだで申し訳なかったけど、お互い楽しめたのでよかったです（*o*）「太好了」（FY 作の文字）や体育大会の写真も紹介できてよかった☆	久しぶりの交流、とても楽しかった、スクリプト忘れた、単語忘れた、思い出せなかった、ぐだぐだで申し訳なかった、お互い楽しめた、「太好了（よかった）」や体育大会の写真も紹介できた、よかった	前回の交流から時間があいた、満足感、語彙や準備した文の忘却、予定通りに交流活動が進行しなかった、相互にポジティブな感情を享受、喜び、作品や写真を生じた学校行事の紹介に成功	学校行事等で授業と交流をしない時間が長くあった（原因）、準備した原稿や既習の語句や表現を忘れていた（結果）（原因）、発話やコミュニケーションの失敗（結果）（原因）、予定通りに進行しなかった（原因）、相手に迷惑をかけたことに対する反省（結果）、相互に楽しい時間を共有（結果）、中国語で習字した標語の写真（素材）	語彙不足や準備原稿通りに進行しない状況、相互に満足感のある交流を実現、様々な素材を使用した学校行事の紹介に成功	「ぐだぐだ」とは具体的にどのような状況だったか？ どのような状況において「お互い」楽しめたと感じたのか？
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
	施 タ検定をがんばってもらいたいです ww	明日のコンピュータ検定をがんばってもらいたい	交流相手の課外活動（技能試験）に対する応援	明日試験があるのに交流に参加してくれた相手に対する感謝	試験前日に交流してくれた相手への感謝と応援	-

ストーリーライン (現時点で言えること)	学生 YG は、夏休みの思い出紹介の交流を通じて、 <u>授業や交流の断絶がある状態で、慣れによる緊張の緩和を感じながらも、円滑なコミュニケーションを楽しんだ。写真を用いた夏休み紹介活動を通じて相手の日本語技能の高さを実感しつつ、インタラクションを通して相手の反応に対する喜びを感じ、時間を忘れて交流に没頭するほど高い満足度を得た（よかった点）。事前準備しているからこそ発音練習して円滑なコミュニケーションを実現すべきであるという反省から、母語に依存しない活動の機会を増やすことへの意欲を示した（今後の課題）。日中間の国の問題が報道された時期であったが、それに影響されないミクロなレベルで相互理解することへの意欲も示した（その他）。</u>
	学生 KBY は、夏休みの思い出紹介の交流を通じて、 <u>授業や交流の断絶がある状態で、持ち得る少ない言語資源で対話できたことに対する喜びを感じた（よかった点）。コミュニケーションの成功体験が不足していたために、練習強化による課題克服を目標化し、交流の充実化への意欲を示した（今後の課題）。</u>
	学生 HM は、夏休みの思い出紹介の交流において、 <u>日中関係報道から交流相手の反日感情への影響を不安視していたが、日中問題に影響されない個人間の交流が成立したことに対する喜びを感じ、交流継続への意欲の高まりを示した（よかった点）。授業や交流の断絶がある状態で、言語知識の忘却と発話スキルの低下によりコミュニケーションが困難となったことから、円滑なコミュニケーションを目標とした練習強化の必要性を認識した（今後の課題）。交流相手の高い言語運用技能を認識し、理想的な言語使用者としての自分を目指して学習のモチベーションが向上した（その他）。</u>
	学生 KB は、夏休みの思い出紹介の交流において、 <u>日中関係報道から交流相手の反日感情への影響を不安視していたが、日中問題に影響されない個人間の交流が成立したことに対する喜びを感じ、交流継続への意欲の高まりを示した（よかった点）。言語知識不足や正確な発音習得不足によるコミュニケーションの困難を実感して課題として認識し、そのような課題克服による交流の充実化への意欲を示した（今後の課題）。交流相手の高い言語運用技能を認識し、理想的な言語使用者としての自分を目指して学習のモチベーションが向上した（その他）。</u>
	学生 KBA は、夏休みの思い出紹介の交流を通じて、 <u>語彙不足や準備原稿通りに進行しない状況から、交流相手への申し訳なさを感じたものの、相互に満足感のある交流が実現し、様々な素材を使用した学校行事の紹介にも成功した（よかった点）。交流を振り返り、検定試験前日に交流してくれた相手への感謝と応援という形で友情と思いやりを示した（その他）。</u>
理論記述	学生 YG にとって夏休みの思い出紹介は、慣れによる緊張の緩和や相手の日本語による支援を受けて、楽しく交流に没頭し満足する機会となった。着実な準備と周到な練習により中国語での円滑なコミュニケーションの成功を目標化した。日中間の問題に捉われずミクロな視点で相互理解することの可能性と重要性を認識する機会として意味づけられた。
	学生 KBY にとって、夏休みの思い出紹介は、少ない言語資源で対話できた喜びを感じると共に、コミュニケーションの失敗を通じて、練習強化による課題克服と交流の充実化への意欲を認識する機会として意味づけられた。
	学生 HM にとって、夏休みの思い出紹介は、日中問題に影響されない個人間の交流成立に喜びを感じ、交流継続への意欲向上を感じる機会となった。時間があいたことによる言語知識の忘却と発話スキルの低下がコミュニケーションの困難を引き起こしたために、練習強化の必要性を認識した。交流相手の高い言語運用技能に影響を受けて、理想に向けた学習のモチベーション向上を感じる機会として意味づけられた。
	学生 KB にとって、夏休みの思い出紹介は、日中問題に影響されない個人間の交流成立に喜びを感じ、交流継続への意欲向上を感じる機会となった。語彙や発音が原因でコミュニケーションの困難を引き起こしたために、それらの課題を克服して交流を充実化させる意欲を感じた。交流相手の高い言語運用技能に影響を受けて、理想に向けた学習のモチベーション向上を感じる機会として意味づけられた。
	学生 KBA にとって、夏休みの思い出紹介は、交流を想定通り進行できなかったことで相手に申し訳なく感じつつも、写真を活用するなど相互に満足感のある交流を実現する機会として意味づけられ、試験を控えて交流してくれた相手に対する友情も醸成された。
さらに追及すべき点・課題	学生 YG にとって、どの程度期間が空いていたか？緊張が少ないとどのような交流態度になっていたか？何がそこまで強調するほどに楽しかったのか？どのような内容についてどの程度日本語使用があったか？交流を通じてミクロなレベルでの相互理解の重要性を感じさせるきっかけがあったのか？
	学生 KBY は、何が話せて何が話せなかったのか？何を練習すべきか？
	学生 HM は、実際に交流するまではどのような不安があったのか？どのような内容がスムーズに言えなかったのか？「励まされた」の具体的な意味は何か？
	学生 KB にとって、実際に交流するまではどのような不安があったのか？どのような語句がうまく伝わらなかったのか？その時にどうコミュニケーションを成立させたか（教師の支援／日本語使用）？どのような内容についてどの程度日本語使用があったか？
	学生 KBA が、「ぐだぐだ」と感じたのは具体的にどのような状況だったか？どのような状況において「お互い」楽しめたと感じたのか？

付録 25 6.5.2 SCAT を援用した質的データ分析：交流トピック「中国からの質問」

※番号の①は2回の交流のうち1回目、②は2回目を表す

番号	テキスト	〈1〉テキスト中の 注目すべき語句	〈2〉テキスト中の 語句の言い換え	〈3〉左を説明するような テキスト外の概念	〈4〉テーマ・構成概念	〈5〉疑問・課題
YZ ①	久しぶりの交流はとても楽しかったです。大会前に多少耳をなれさせることができてよかったです。	久しぶりの交流、楽しかった (大会前に多少耳をなれさせることができてよかった)	久々、交流、満足(スピーチコンテスト参加、リスニングの実践的訓練)	遠隔交流の成功(原因)、中国大会を想定した聞き取り練習の場として効果的に機能(結果)	中断していた交流の再開、中国渡航直前のオーセンティックなコミュニケーション経験に満足	どの程度期間が空いていたか？ 聞き取りに対する強い不安があったのか？
	やはり課題としてはボキャブラリーを増やすこととリスニングのスキルを上げることだと思います。とにかくボキャブラリーが増えればリスニングの際にも少しは役立つと思うので、これからもボキャブラリーを増やしていけるように努力していきたいと思います。	課題、ボキャブラリーを増やすこと、リスニングのスキルを上げること、ボキャブラリーが増えればリスニングの際に役立つ、ボキャブラリーを増やせるよう努力したい	今後の目標、語彙増強、聞き取り能力の強化、語彙と聞き取り能力の関連性、語彙増強への意欲	未知語の聞き取りは困難(原因)、語彙能力と聞き取り能力の関連性を意識化(原因)、課題の認識と目標の設定(結果)	NSとのコミュニケーションには語彙と聞き取り能力が最重要、それを自身の課題として再認識、課題克服の目標化と意欲の表明	どのような語彙が不足して聞き取りやコミュニケーションに失敗したのか？
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
YZ ②	今日の交流は今までで一番楽しかったです(笑)中国に行く前にたくさん話せてよかったです。少し不安が解消されました。	今日の交流は今までで一番楽しかった(中国に行く前にたくさん話せてよかった、少し不安が解消された)	最高、最も、喜び、満足(中国渡航、発話の実践的訓練、心配の消失、緊張の緩和)	過去の交流よりも盛り上がる場面があった(前提)、中国渡航前に緊張感や不安感があった(原因)、遠隔交流が中国大会を想定した発話とコミュニケーション練習の場として機能(結果)(原因)、不安感の解消(結果)	最終回に最も理想的なコミュニケーションが実現、成功体験の蓄積により自信を形成、中国でのコミュニケーション可能性を確認できた	なぜ「今までで一番」楽しかったのか？ 「たくさん話した」は中国語を用いた対話だった？ 渡航前にどのような不安があったのか？
	これからも交流を続けて中国語のスキルアップを目指していきたいと思います。	これからも交流を続ける、中国語のスキルアップを目指す	交流の継続、中国語技能向上への意欲、目標化	継続的な遠隔交流の経験による成功体験の蓄積(原因)、成長を実感(結果)(原因)、学習のモチベーション向上(結果)	継続的な遠隔交流の体験がスキルアップにつながった実感、今後は課外でも個人的に交流継続しようとする意欲の表明	個人的な交流をどのようにするつもりか？
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
YG	でも、先生としゃんちーにたくさん助けてもらって交流できたので、楽しかったです。	先生、しゃんちー(山崎)、たくさん助けてもらった、交流できた、楽しかった	教師、クラスメート、支援、助け合い、交流の実現、喜び、満足	自力でコミュニケーションできない(原因)、教師やクラスメートによる支援(結果)(原因)、インタラクションの実現に満足(結果)	インタラクションの過程に積極的に参与せずとも周囲の支援によりコミュニケーション欲求を満足	周囲の支援はどの程度必要だったか？(語彙、表現等)
	今日は、ちょっと久しぶりの交流で、だいぶ色々忘れちゃっていて、全然話せなくて焦りました。今までの交流のときは、相手側からの質問を待ったり、相手が話しているのをきくというのが多かったけど、今日は、沈黙の時間をたくさん作ってしまって申し訳なかったなと思いました。次回は、もうちょっとおさらいをして、相手側にたくさん質問をしたり、あいづちを打ったりできたらいいなと思います。	久しぶりの交流、だいぶ色々忘れた、全然話せない、焦った、今までの交流、相手からの質問を待つ、相手の話を聞く、多い、沈黙の時間、たくさん、申し訳ない、次回、おさらいをする、相手にたくさん質問する、相槌を打つ	久々、交流、言語知識の忘却、発話の困難、焦燥感、過去の交流、受動的なコミュニケーション態度、頻繁、発話しない、心残り、責任を感じる、今後、復習する、質疑の機会を増やす、理解を示す言語表現	授業や交流の断絶(原因)、言語知識の忘却(結果)(原因)、消極的な交流態度(結果)(原因)、相手に迷惑をかけたことに対する反省(結果)(原因)、次回に向けた課題の認識と目標の設定(結果)	授業や交流の断絶、言語知識の忘却と発話の失敗による焦燥感、会話の盛り上がりには貢献できなかったことに対する反省、発話の機会増加のための課題認識	何を忘れたのか(語彙、表現等)？ 実際には双方どのような交流態度だったか？
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

K B Y	很开心!! (とても楽しかった) 很 疯狂すごく テンション上がって盛り上がった) いつもに増し て楽しかったです。 交流すると、もっと中国語をがんばろうという気 持ちになれるので毎回楽しみにしています。	とても楽しい、テンションが上 がった、盛り上がった、いつに もまして楽しかった、交流、中 国語をがんばろう、毎回楽しみ	強い喜び、興奮状態、に ぎやか、意気投合、高い 満足感、中国語学習への 意欲の高まり、交流に対 する期待	話題や話の内容に特に盛り上がる 要素があった(原因)、最も高い 満足感(結果)、毎回の交流活動 (原因)、学習モチベーションの 向上(結果)(原因)、繰り返され る満足への期待(結果)	最も活発な交流の実現、NS とのインタラクション経 験、それによる学びへのポ ジティブな心理的影響	これまでの交流とはどのよう に異なっていたのか(話題、 盛り上がり方)? 交流の過程に含まれるどのよ うな要素がモチベーションを 高めるのか?
	今度は、こっちも面白い質問を考えていきたいで す。	今度、面白い質問を考える	次回、今後、会話が盛り 上がる話題の提供	相手からの面白い質問(原因)、積 極的に面白い話題を提供すること への意欲(結果)	より活発な交流を実現する ために必要な要素の意識 化、質疑応答の充実化	相手からどのような面白い質 問があったのか?
	(いつもドーナツありがとうございます ('w `)) 谢谢老师!!(書き間違えてめりつぶした2文字 誤 字ごめんなさい!)	ドーナツありがとう	お菓子、教師に感謝、お礼	(学生のために教師が用意した) お菓子の感想と教師に対する感謝	教師とのラポール強化	-
ストーリー ライン(現 時点で言 えること)	学生 YZ は、テーマ別質疑応答(1 回目)を通じて、中断していた交流の再開を楽しみ、中国渡航直前のオーセンティックなコミュニケーション経験に満足した。(良かった点) NS とのコミュニケーションには語彙と聞き取り能力が最重要という認識の上で、それを自身の課題として再認識し、課題克服を目標化し、意欲を表明した。(今後の課題)					
	学生 YZ は、テーマ別質疑応答(2 回目)を通じて、最終回に最も理想的なコミュニケーションが実現したことに対して満足した。中国渡航に向けて成功体験の蓄積により自信を形成し、中国でのコミュニケーション可能性を確認できた。(良かった点) 継続的な遠隔交流の体験がスキルアップにつながった実感に基づき、今後は課外でも個人的に交流継続しようとする意欲を表明した。(今後の課題)					
	学生 YG は、テーマ別質疑応答を通じて、インタラクションの過程に積極的に参与せずとも周囲の支援によりコミュニケーション欲求を満足させることができた。(良かった点) 授業や交流の断絶により、言語知識の忘却と発話の失敗による焦燥感を感じた。会話の盛り上がり貢献できなかったことに対する反省から、発話の機会増加のための課題を認識した。					
	学生 HM は、テーマ別質疑応答を通じて、過去の交流と比較して最も活発な交流の実現に高い満足感を得た。継続的な NS とのインタラクション経験が学びへのポジティブな心理的影響を与えていることを認識した。(良かった点) 質疑応答の充実化を目指し、より活発な交流を実現するために必要な要素を意識化した。(今後の課題) 教師とのラポールも効果的に作用したことで、授業の感想記述において積極的に中国語を使用した(その他)。					
理論記述	学生 YZ にとって、テーマ別質疑応答(1 回目)は、対話を楽しみながら、NS の真正な中国語に接する貴重な機会であると同時に、語彙と聞き取り能力の重要性を再認識し、課題克服を目標化する機会として意味づけられた。					
	学生 YZ にとって、テーマ別質疑応答(2 回目)は最終回に最高の成功体験を得て、中国現地での NS とのインタラクションに向けて自信を獲得する機会となった。遠隔交流を継続する中でスキルアップした経験を踏まえて、交流を自力で継続するモチベーションを向上させる機会として意味づけられた。					
	学生 YG にとって、テーマ別質疑応答は、言語知識の忘却と発話の失敗による焦燥感を感じたが、周囲の支援による対話の成立に一定の満足感を得る機会となった。自身の消極的なコミュニケーション態度に対する反省から、発話増加に向けた課題を克服し、自力で積極的に対話することを目指す機会として意味づけられた。					
	学生 HM にとって、テーマ別質疑応答は、最終回に最も活発な交流が実現したことに対し高い満足感を得ると同時に、NS との真正な対話経験の蓄積が学びへのモチベーション向上をもたらすことを確信する機会として意味づけられた。より活発で愉快的な交流のための課題を意識化する機会でもあった。					
さらに追 究すべき 点・課題	学生 YZ にとって (1 回目)、どの程度期間が空いていたか? 聞き取りに対する強い不安があったのか? どのような語彙が不足して聞き取りやコミュニケーションに失敗したのか?					
	学生 YZ は (2 回目)、なぜ「今まで一番」楽しかったのか? 「たくさん話した」は中国語を用いた対話だったか? 渡航前にどのような不安があったのか? 個人的な交流をどのようにするつもりか?					
	学生 YG は、周囲の支援がどの程度必要だったか? (語彙、表現等) 何を忘れたのか (語彙、表現等)? 実際には双方どのような交流態度だったか?					
	学生 HM にとって、これまでの交流とはどのように異なっていたのか (話題、盛り上がり方)? 交流の過程に含まれるどのような要素がモチベーションを高めるのか? 相手からどのような面白い質問があったのか?					

SCAT WEB site からのダウンロードフォーム scatform1.xls <http://www.educa.nagoya-u.ac.jp/~otani/scat/scatform1.xls>

付録 26 6.5.2 SCAT を援用した質的データ分析：尖閣諸島（釣魚島）をめぐる報道と遠隔交流経験に基づく対中感情

番号	テキスト	〈1〉テキスト中の注目すべき語句	〈2〉テキスト中の語句の言い換え	〈3〉左を説明するようなテキスト外の内容	〈4〉テーマ・構成概念	〈5〉疑問・課題
Y Z	一部の人間が反日感情を持っているだけで 大半の人はそう思っていないということ。	一部の人間、反日感情、大半の人、そう思っていない	一部の中国人、日本に対する悪いイメージ、大多数、反日感情はない	武術を通じた十年來の中国人との交流経験、遠隔交流の経験（原因）、主観的事実に基づく判断（結果）	長年の経験と交流に基づく日中間の友好的感情と信念の保持	尖閣問題以前にはどのような対中感情を持っていたのか？ 武術を通じてどのような中国人と長年交流してきたのか？
Y G	報道では、中国の人は日本に対して攻撃的だったらしいイメージを持ってないということが報じられていたけど、実際に交流していて中国の学生は本当にいい人たちでやさしいし日本に対してもとても友好的なので、報道がすべてじゃないし、日本人の人も報道だけを信じて中国全体に対して悪いイメージや怖いイメージを持ったりしているのが悲しいなと思いました。	報道、中国の人、日本に対して攻撃的、いいイメージを持っていない、実際に交流、中国の学生、いい人たち、やさしい、友好的、報道がすべてじゃない、日本人の、報道だけを信じる、中国全体、悪いイメージ、怖いイメージ、悲しい	ニュース、中国人、反日感情、遠隔交流の体験、交流相手、ポジティブな感情、報道からの情報だけでは判断できない、日本人、報道の情報を事実として単純に信頼する、反中感情、残念、ネガティブな気持ち	報道内容の認識（前提）、遠隔交流の経験（原因）、直接交流の経験に基づく判断ができない中国人と日本人に対する気づき（結果）	反日感情をめぐる報道内容と遠隔交流の経験に基づく友好的感情とのギャップ、ミクロな視点に基づく対中・対日感情を重視、報道が大衆に与えるネガティブな影響、遺憾の意	尖閣問題以前にはどのような対中感情を持っていたのか？ 反中感情を持った日本人が周囲に存在するのか？
K B Y	騒いでいるのは国家間だけで、個人で交流する分には何も問題はない。	騒いでいるのは国家間だけ、個人で交流、問題はない	国家レベルの摩擦、個人レベルの交流には影響しない	遠隔交流の経験（原因）、国際問題に対するマクロな視点とミクロな視点の存在（結果）	遠隔交流の経験に基づきマクロな視点とミクロな視点を区別	尖閣問題以前にはどのような対中感情を持っていたのか？
H M	ニュースを見たときも中国人全員が反日感情を持っている訳ではないことは頭ではわかっていましたが、スカイプ交流で向こうの学生が普通にフレンドリーに接してくれてとても安心しました。中国人にも、反日感情を持っていない人や優しい人、楽しい人がたくさんいるっていうことをもっとたくさんの日本人に知ってほしいです。島が日本のものと認められるということよりも、中国と仲良くできることのほうがずっとうれしいです。	ニュースを見た、中国人全員、反日感情を持っているわけではない、頭ではわかる、スカイプ交流、向こうの学生、フレンドリー、安心、中国人、反日感情を持っていない人、優しい人、楽しい人、たくさんいる、もっとたくさんの日本人に知ってほしい、島、日本のもの、認められる、中国と仲良くできる、うれしい	報道からの情報、一部の中国人だけが反日感情を持っている、理解できる、遠隔交流、交流相手、友好的な交流態度、不安の解消、親日的な中国人が多くいる、ポジティブな感情の共有、領土所有権、国際的な認知、中国との友好関係、重視、喜び	国際問題に対するマクロな視点とミクロな視点の存在（前提）、遠隔交流の経験（原因）、ミクロな視点に基づく判断（結果）、実感に基づく信念の形成（結果）	反日感情をめぐる報道に対する理解、遠隔交流の経験に基づく不安の解消、親日的な中国人の存在に対する気づきと周知の希望、ミクロな視点に基づく友好と平和を重視する心情の強化	尖閣問題以前にはどのような対中感情を持っていたのか？
F Y	なにも感じなかった。その報道が嘘なんじゃないかってくらい、親切で変わらない態度で接してくれていました。	なにも感じない、報道が嘘なんじゃないか、親切、変わらない態度、接する	反日感情はない、報道とは異なる印象、友好的な交流態度、対話	中国と日本の摩擦に対する無関心（前提）、遠隔交流の経験（原因）、ミクロな視点に基づく実感（結果）	反日感情をめぐる報道に対する理解、遠隔交流の経験、ギャップの認識、ミクロな視点に基づく交流相手の友好的な態度を実感	尖閣問題以前にはどのような対中感情を持っていたのか？ 日中間の問題や摩擦に対する関心がもともとあったか？
K B	テレビや報道では反日の中国人の人たちのことばかり報道されていて交流できるのかなと不安でしたが、そういう人たちはばかりではなくて、変わらず日本のことを思ってくれている人もいます。なっていることに気が付いたのでよかったです。	テレビ、報道、反日の中国人、交流できるのか、不安、そういう人たちはばかりではない、変わらず日本のことを思ってくれている人もいます、気が付いた、よかった	ニュース、反日感情、中国人、頻繁に報道、交流に対する不安、報道とは異なる印象、普遍的、日本に対するポジティブな感情、友好的な中国人の存在、発見、喜び	報道内容の認識（前提）、交流の実行可能性に対する影響を不安視（前提）、遠隔交流の経験（原因）、ミクロな視点に基づく判断（結果）	反日感情をめぐる報道に対する理解、遠隔交流の経験に基づく不安の解消、ミクロな視点に基づく親日的な中国人の存在に対する気づき	尖閣問題以前にはどのような対中感情を持っていたのか？ どのような不安があったのか（交流相手の反日感情か、交流実現の環境か）

K B A	メディアとかで騒がれて悪い印象を持つ人が多いけど、実際に交流してみない人たちがばかりだし楽しかったからそんなことないんだよって日本人の人々の誤解や偏った考えを改善させたいと思った。	メディア、騒がれる、悪い印象を持つ人が多い、実際に交流、みんないい人たちがばかり、楽しかった、そんなことない、日本人の人々、誤解、偏った考え、改善させたい	頻繁に報道、反中感情を持つ日本人が多い、遠隔交流の体験、交流相手、友好的な交流態度、友好的な中国人の存在、ポジティブな感情、日本人の中国人に対するネガティブなイメージの変容を希望	報道内容の認識（前提）、遠隔交流の経験（原因）、ミクロな視点に基づく判断（結果）	反日報道の影響による反中感情に対する抵抗感、遠隔交流の経験に基づく親日的な中国人の存在に対する気づきと周知の希望、日本人のネガティブな対中イメージの変容を希望	尖閣問題以前にはどのような対中感情を持っていたのか？ 反中感情を持った日本人が周囲に存在するのか？
	交流を通しての意見ではないのですが、中国人も日本人もみんながみんな悪いわけじゃないから悲しいです... もし交流ができれば、お互いにいつもどおりに接してほしいです。	交流を通しての意見ではない、中国人、日本人、みんながみんな悪いわけじゃない、悲しい、交流ができればお互いにいつもどおりに接してほしい	遠隔交流の経験に基づく主ZHDではない、一般論、両国共に友好的な人々が存在する、残念、交流の機会を実現、双方が偏見を持たずに交流することを希望	遠隔交流の経験なし（前提）、人間関係に対する中立的な信念（前提）、ミクロな視点に基づく人間関係構築を重視（結果）	一般論としてのミクロな視点に基づく人間関係構築を重視	尖閣問題以前にはどのような対中感情を持っていたのか？ 「いつも通り」とは具体的にどのように接することを指すのか？
ストーリーライン (現時点で言えること)	YZ は、武術を通じた長年の中国人との交流経験と、遠隔交流に基づくインタラクションの蓄積から、日中間の好意的な感情と、国際問題は個人レベルの友好交流には影響しないという信念を保持していた。					
	YG は、反日感情をめぐる報道内容と遠隔交流の経験に基づく友好的感情とのギャップを感じたが、個人レベルの交流というミクロな視点に基づく対中・対日感情を重視し、報道が大衆に与えるネガティブな影響に対して遺憾の意を表した。					
	KBY は、遠隔交流の経験に基づき国家間の関係というマクロな視点と個人間の交流というミクロな視点を区別し、自身の交流においては影響を感じなかった。					
	HM は、反日感情をめぐる報道を理解しつつも若干の不安を感じていたが、遠隔交流の経験に基づき不安が解消され、親日的な中国人の存在に対する気づきを得た。また、そのような存在が日本人に周知されることを希望し、ミクロな視点に基づく友好と平和を重視する心情が強化された。					
	FY は、反日感情をめぐる報道内容と遠隔交流の経験に基づく友好的感情とのギャップを感じたが、ミクロな視点に基づく交流相手の友好的な態度を実感し、自身の交流においては影響を感じなかった。					
	KB は、反日感情をめぐる報道を理解しつつも若干の不安を感じていたが、遠隔交流の経験に基づき親日的な中国人の存在に対する気づきを得て、安堵した。					
	KBA は、遠隔交流の経験に基づく親日的な中国人の存在や対話の喜びに対する気づきから、反日報道の影響による反中感情に対する抵抗を感じ、日本人のネガティブな対中イメージを変容させたいと強く希望した。					
	MT は、遠隔交流に参加した経験がないという前提で、報道の論調に遺憾の意を表し、一般論として、ミクロな視点に基づく人間関係構築の重要性に言及した。					
理論記述	YZ は、武術と遠隔交流に基づく経験から、好意的な対中感情を保持し、日中交流の可能性に対して揺るがぬ信念を抱いていた。					
	YG は、反日報道と遠隔交流から知った中国人像のギャップを感じ、交流から得られた友好的な心情から、ネガティブな対中イメージに対する遺憾の意を表した。					
	KBY は、国家間のマクロな問題は個人間のミクロな関係に影響しないと感じた。					
	HM は、遠隔交流の経験に基づき、反日報道から受けた不安の解消と親日的な中国人に対する気づきを得た。ポジティブな対中イメージの周知と友好関係の重要性を強調した。					
	FY は、反日報道を疑問に思うほど友好的な態度を遠隔交流から実感し、国際問題の影響を感じなかった。					
	KB は、遠隔交流により親日的な中国人の存在を再認識し、反日報道から受けた不安が解消された。					
	KBA は、遠隔交流から得た友好的な対中感情に基づき、報道の影響によるネガティブな反中感情の変容を切望した。					
	MT は、遠隔交流の経験によらない一般論として、ミクロな視点に基づく人間関係構築を重視した。					
さらに追究すべき点・課題	YZ は、尖閣問題以前にはどのような対中感情を持っていたのか？武術を通じてどのような中国人と長年交流してきたのか？					
	YG は、尖閣問題以前にはどのような対中感情を持っていたのか？反中感情を持った日本人が周囲に存在するのか？					
	KBY は、尖閣問題以前にはどのような対中感情を持っていたのか？					
	HM は、尖閣問題以前にはどのような対中感情を持っていたのか？					
	FY は、尖閣問題以前にはどのような対中感情を持っていたのか？日中間の問題や摩擦に対する関心がもともとあったか？					
	KB は、尖閣問題以前にはどのような対中感情を持っていたのか？どのような不安があったのか（交流相手の反日感情か、交流実現の環境か）					
	KBA は、尖閣問題以前にはどのような対中感情を持っていたのか？反中感情を持った日本人が周囲に存在するのか？					
	MT は、尖閣問題以前にはどのような対中感情を持っていたのか？「いつも通り」とは具体的にどのように接することを指すのか？					

SCAT WEB site からのダウンロードフォーム scatform1.xls <http://www.educa.nagoya-u.ac.jp/~otani/scat/scatform1.xls>

付録 27 6.5.2 SCAT を援用した質的データ分析：中国語の授業全体を通じて最も良かった点と悪かった点

番号	テキスト	〈1〉テキスト中の 注目すべき語句	〈2〉テキスト中の 語句の言い換え	〈3〉左を説明するような テキスト外の内容	〈4〉テーマ・構成概念	〈5〉疑問・課題
Y Z	良かった点：中国人との交流が非常に良かった。	中国人、交流、良かった	遠隔交流がとてもよい	授業で学習した語句を実際に中国人を相手とする対話で活用できた、日常的に接する機会のない中国の若者との交流が実現	実践的な対話・交流に対する期待、期待を満足したことによる肯定的な評価	交流は具体的に何がどうよかったのか？
	悪かった点：構文が使えてないこと。	構文、使えてない	文法を会話に応用できない	会話表現を重視した遠隔交流の準備、複雑な文法構造を学習していない、知識として持っている文法構造を会話に活用することが困難、複雑な表現に限界がある	適切な文法を活用して複雑な表現をしたいという高い目標、文法知識や応用能力の不足による表現上の困難を認識	知っている文法を使えなかったのか？知らない文法も学習して使いたかったのか？
Y G	良かった点：もっとも良かった点は、先生が優しくて質問とかわからない単語などを聞きやすかったり、みんなの中国語を学びたいという気持ちが強くなったところ、オンライン交流で中国の学生と交流できたのが中国語を学ぶ上でとても良かったと思います。	先生、優しい、質問、わからない単語、聞きやすい、みんな、中国語を学びたい気持ち、強くなった、オンライン交流、中国の学生と交流できた、中国語を学ぶ上で良かった	教師、親切、質問、未知語、質問しやすい、全員、クラスメート、中国語学習のモチベーション向上、中国人学生との遠隔交流、中国語学習上の利点	学習しやすい雰囲気、教師と学習者のラポール形成、ペアワークとグループ学習、協調学習の成果、日常的に接する機会のない中国の若者との交流が実現	ニーズを満足する外国語学習リソース（環境、教師、学習者間の関係）、中国語学習のモチベーション向上意識をクラスメートと共有、交流を通じた中国語の活用と対話の実現による学習効果を実感	どのような学習活動や交流を通じて「みんなの」学習モチベーションの向上を感じたのか？交流は具体的に何がどうよかったのか？
	悪かった点：悪かった点は、ないです。	—	—	—	—	—
K B Y	良かった点：日常的に使える言葉を知れてよかった。	日常的、使える言葉、知れてよかった	日常会話での頻出語句、知識を獲得、満足	教科書だけでなく学習者ニーズと交流トピックに応じた語句や表現の学習	実践的な語句や表現の知識獲得に対する満足感	どのような語句や表現を学習できたのか？
	悪かった点：悪かったところはないです。	—	—	—	—	—
H M	良かった点：実際に中国人と交流したり、スカイプやweb上で交流したり、いろんな場面で中国語を“使う”事ができてとてもよかったです。交流などで実際に学んだ中国語を使えたので、やる気が出ました。	【良】実際、中国人、交流、スカイプやweb上で交流、いろんな場面、中国語を「使う」ことができた、交流、実際に学んだ中国語、使えた、やる気が出た	中国人との対面交流、ビデオチャット交流、様々なコミュニケーション場面、中国語の実践的活用、実現、満足感、授業で学習した知識を交流で活用、中国語学習のモチベーション向上	遠隔交流以外にも餃子作りで大学の留学生が高校を訪問し対面交流、交流トピックに応じた語句や表現の学習と交流における活用	留学生との対面交流や中国の学生との遠隔交流、授業と交流の適切な連携、授業で学習した知識を交流で実際に活用したことに対する満足感、中国語学習のモチベーション向上	「使う」を強調した理由は何か？
	悪かった点：とても楽しくて役立つ授業だったので、思いつきません；	—	—	—	—	—
F Y	良かった点：スカイプで実際の交流ができたこと！	スカイプ、実際、交流	遠隔交流、実践的なコミュニケーション	—	リアルな対面交流が実現したことに対する喜び	実際の交流はどのような様子だったか？
	悪かった点：スカイプでの準備不足があったこと	スカイプ、準備不足	遠隔交流、事前確認の不備	インターネット接続上のトラブルが頻発して対応に時間がかかりストレスを感じた	接続上のトラブルにより交流が中断されたことに対する不満	どのような接続上でのトラブルが発生し、どのように対応したのか？
K B	良かった点：Skypeでの交流の機会を頻繁にもうけてくれたので、忙しくても何回か参加することができて中国の学生と交流できたことがよかった。	Skype、交流の機会、頻繁にもうける、忙しい、何回か参加、中国の学生、交流	遠隔交流、対話の経験、複数回の実施、スケジュール調整の困難、複数回の交流経験、中国人、交流相手、コミュニケーションの機会	部活動や補習で予定通り遠隔交流に参加できない、再挑戦の機会を与える授業設計	スケジュール調整が困難な学習者も複数回の交流が実現する授業設計に対する満足感	—
	悪かった点：（記載なし）	—	—	—	—	—

K B A	良かった点：読む、聴く、書くだけでなく話す学習もできたのがよかった。毎回楽しかったです（^^）	読む、聴く、書く、話す、学習、毎回楽しい	言語コミュニケーションの4技能、スピーキングの機会の獲得、安定的な満足感	情報収集と作文の技能を活用した準備の上で遠隔交流を実施し、実際の対面交流で話す・聴く技能を活用する授業設計	言語コミュニケーションの4技能のうち機会の少ないスピーキングを交流で実践できたことに対する満足感	—
	悪かった点：（記載なし）	—	—	—	—	—
M T	よかった点：わからないことがあったらいつでも親切におしえてくれる！授業の内容も私たちが興味深いものばかりでおもしろいです！	わからないこと、いつでも、親切、教えてくれる、授業の内容、興味深い、おもしろい	疑問点や質問、即時の回答、親身、丁寧、指導、学習内容、関心が高い、楽しい	—	学習者に対する即時適切な学習支援に対する満足感、学習活動への親和性と関心の高さ	—
	悪かった点：なんだろう... 笑 授業内で交流などができたらもっと楽しいと思います♪	授業内、交流、もっと楽しい	授業時間を利用した対面交流の実現、学習時間の充実化	部活動が忙しく放課後の遠隔交流に一度も参加できなかった	遠隔交流のスケジュール調整に対する期待	—
ストーリーライン(現時点で言えること)	YZ は、遠隔交流を活用した BL に対して、実践的な対話・交流に対する期待が高く、その期待を満足したことにより肯定的に評価した。一方で、適切な文法を活用して複雑な表現をしたいという高い目標があり、文法知識や応用能力の不足による表現上の困難を認識した。					
	YG は、遠隔交流を活用した BL に対して、ニーズを満足する外国語学習リソース（環境、教師、学習者間の関係）が提供されたこと、中国語学習のモチベーション向上意識をクラスメートと共有できたこと、交流を通じた中国語の活用と対話の実現したことによる学習効果を実感した。なお、授業設計や運営上の改善点や要望については言及しなかった。					
	KBY は、遠隔交流を活用した BL に対して、実践的な語句や表現の知識獲得に対する満足感を得た。なお、授業設計や運営上の改善点や要望については言及しなかった。					
	HM は、遠隔交流を活用した BL 及び遠隔交流以外にも大学の留学生と対面交流したことで、交流トピックに応じた語句や表現の学習と交流における活用の機会に満足し、中国語学習のモチベーションが向上した。					
	FY は、遠隔交流を活用した BL に対して、リアルな対面交流が実現したことに対する喜びを実感する一方で、インターネット接続上のトラブルにより交流が中断されたことに対する不満を表した。					
	KB は、遠隔交流を活用した BL に対して、スケジュール調整が困難な学習者も複数回の交流を実現できる授業設計に対して満足感を示した。なお、授業設計や運営上の改善点や要望については言及しなかった。					
	KBA は、遠隔交流を活用した BL に対して、言語コミュニケーションの4技能のうち機会の少ないスピーキングを交流で実践できたことに対する満足感を示した。なお、授業設計や運営上の改善点や要望については言及しなかった。					
	MT は、遠隔交流を活用した BL に対して、教師から学習者への即時適切な学習支援に対する満足感と共に、関心の高いトピックに基づく学習活動への親和性を示した。一方で、授業時間内に実施可能な遠隔交流のスケジュール設定に対する期待を表した。					
理論記述	YZ は、期待していた実践的なコミュニケーション欲求を満足した一方で、文法活用や複雑な表現における困難を認識した。					
	YG は、外国語学習リソースの提供、モチベーション向上の共有、中国語コミュニケーションの実現による学習効果を実感した。					
	KBY は、実践的な語句や表現の知識獲得に満足した。					
	HM は、遠隔交流及び対面交流を通じた幅広い言語知識の学習と活用の機会に満足し、モチベーションが向上した。					
	FY は、対面交流実現の喜びを実感する一方で、回線トラブルによる交流中断に不満を感じた。					
	KB は、授業設計上の配慮と複数回の交流機会の提供に満足した。					
	KBA は、練習機会の少ないスピーキング活動の実践に満足した。					
	MT は、適切な学習支援及び親和性の高い交流トピックと学習活動に満足した一方で、授業中の遠隔交流実現を期待した。					
さらに追究すべき点・課題	YZ は、交流は具体的に何がどうよかったのか？知っている文法を使えなかったのか？知らない文法も学習して使いたかったのか？					
	YG は、どのような学習活動や交流を通じて「みんなの」学習モチベーションの向上を感じたのか？交流は具体的に何がどうよかったのか？					
	KBY は、どのような語句や表現を学習できたのか？					
	HM が「使う」を強調した理由は何か？					
	FY は、実際の交流はどのような様子だったか？どのような接続上でのトラブルが発生し、どのように対応したのか？					
	KB なし					
	KBA なし					
	MT なし					

付録 28 6.5.2 SCAT を援用した質的データ分析：第二外国語としての中国語の授業の存在・位置付け

番号	テキスト	〈1〉テキスト中の 注目すべき語句	〈2〉テキスト中の 語句の言いかえ	〈3〉左を説明するような テキスト外の内容	〈4〉テーマ・構成概念	〈5〉疑問・課題
Y Z	英語と同じくらい重要な語学。	英語、同じくらい、重要、語学	同等、大事、大切、外国語学習	高校においては英語が主要な外国語（前提）、進学・受験のための必須科目、最も重要（前提）	英語と中国語は同等の重要性をもつ	何が、どう「重要」だと考えているのか？
Y G	英語はもう何年間もやっていて、単語や文法を覚えたり、人とコミュニケーションをとることも義務的に楽しさというものを最近はまだ感じなくなってきたけど、中国語の授業は一回一回何か新しいことを知れるのがすごく楽しかったし、交流で実際に中国語を使って会話が成り立ったときはすごく嬉しくて、語学を学ぶ初心に戻れた気がしました。中国語の授業は、語学の楽しさを再確認できる時間でした。	英語、何年間もやっている、単語、文法、覚える、コミュニケーション、義務的、最近、楽しさをあまり感じない、中国語の授業、一回一回、新しいことを知れる、楽しい、交流、実際、中国語を使う、会話が成り立つ、嬉しい、語学、学ぶ、初心に戻る、語学の楽しさ、再確認、時間	長期間の学習歴、言語知識の定着、対話・交流、必修、要求された活動、近年、無感動、つまらない、中国語学習、新鮮、喜び、満足、遠隔交流、中国語活用実践、コミュニケーションの成立、外国語学習の喜び、ウキウキ感、	英語学習は受験のために「こなさなければならない」義務的な課題、コミュニケーションの楽しみや喜びを感じる学習活動は高校の英語授業では実践されていない（前提）、言語をコミュニケーション実践に活用したいという学習動機（心情）、外国語学習の楽しさは英語にもあったはずが学習歴が長くなるにつれて失われていった（心情、経緯）	英語学習歴が長くなるにつれて失われた外国語学習の楽しさを再認識、毎回新しい学びがあることに満足、遠隔交流で中国語コミュニケーションが成立する喜びを実感、コミュニケーションのために自分の意志で自分のために考えて使える自由度の高さ、学習者中心の学習プロセス	英語の「義務的」な学習活動やコミュニケーションとは具体的にどのようなものか？
K B Y	英語と同じようにもっと学びたいと思える言葉。	英語、同じ、もっと学びたい、言葉	同等、さらに学習を継続する、言語	高校においては英語が主要な外国語、進学・受験のための必須科目（前提）、最も重要、英語科目が好きで得意、英語学習のモチベーションも高い（心情）	英語と中国語は同様に好ましい、学習継続の意欲	英語は本当に好きで得意なのか？
H M	話せる言語が増えていくのはとても楽しいです。英語に比べて、学んでる年数が少ないので、なかなか思ったようにうまくできないことも多かったですが、授業や交流やスピーチコンテストなどを通してちょっとずつできることが増えていくのはすごくやりがいがありました。	話せる、言語、増える、楽しい、学んでる年数、少ない、思ったようにうまくできない、多い、授業、交流、スピーチコンテスト、ちょっとずつ、できることが増える、やりがいがある	活用できる、外国語、複言語話者としての成長、満足、喜び、短い学習歴、思い通りにいかない、たくさん、学内外の中国語活動、徐々に成長、意義を感じる、意欲がわく	複言語話者として成長したいという期待（心情）、学習歴に応じて経験を蓄積し知識やスキルが向上するという学習観（前提）	新たな外国語習得に対する満足感、学習歴の影響による理想のコミュニケーションとのかい離を実感、各種の活動を通じて徐々に成長を実感、モチベーションの向上	思ったようにうまくできないとは具体的にどのようなことか？（単語が聴き取れない、正確な発音が難しい等）
F Y	英語よりむしろ好きでした（笑）	英語、むしろ、好き	比べて、より好ましい	英語に対する苦手意識、英語学習の負担を感じる、英語は受験に必須の学習しなければならない重要な科目であり中国語より熱心に学習すべきという認識（前提）	学習すべき英語に比べて第二外国語である中国語の方が学習意欲がわいた	なぜ英語より「むしろ」好きだと思ったのか？
K B	中国語は英語と違って、自分にとって初めて学ぶことばかりで、常に新しい発見があったので楽しかったです。	中国語、英語と違う、自分にとって初めて、学ぶ、常に、新しい発見、楽しい	中国語学習と英語学習の比較、新しい学習内容、常時、頻繁、新鮮な気づき、喜び、満足	英語学習の蓄積がある（前提）、中国語は学習歴が短いために新鮮さを感じやすい（心情）	あらゆる学習が新たな知識の獲得につながる実感、新鮮な発見に満ちた学習経験に対する満足感	新しい発見とは具体的にどのようなことか？
K B A	英語よりも常に新鮮で語学を学ぶ楽しさを毎回実感できる授業でした。	英語、常に、新鮮、語学、学ぶ楽しさ、毎回、実感、授業	常時、頻繁、新規性、外国語学習の喜び、授業ごと、認識する、学習活動	長い学習歴により英語に対する新鮮さは失われていった（心情、経緯）	毎回新鮮な発見に満ちた学習経験に対する満足感、外国語学習ならではの喜びや醍醐味を実感、	語学を学ぶ楽しさとは具体的にどのようなことか？
M T	英語と同じくらいたのしかったです！	英語、同じ、楽しい	同等、好ましい、喜び、満足	英語科目が好きで得意、英語学習のモチベーションも高い（前提）	英語と中国語は同様に好ましい	何がどう楽しかったのか？

ストーリー ライン(現 時点で言 えること)	YZ は、英語と中国語について同等の重要性を認識していた。
	YG は、遠隔交流で中国語コミュニケーションが成立する喜びを享受し、コミュニケーションのために自分の意志で自分のために考えて中国語を使える自由度の高さを実感した。学習者中心の学習プロセスを通じて、英語学習歴が長くなるにつれて失われた外国語学習の楽しさを再認識し、毎回新しい学びがあることに満足した。
	KBY は、英語と中国語を同様に楽しく学習できる科目として認識し、共に学習継続の意欲を示した。
	HM は、新たな外国語習得に対する満足感を得た。同時に、学習歴の影響による理想のコミュニケーションとのかい離を実感しつつも、各種の活動を通じて徐々に成長を実感し、中国語学習のモチベーション向上を自覚した。
	FY は、学習すべき英語に比べて第二外国語である中国語に対して学習意欲を高めた。
	KB は、中国語のあらゆる学習が新たな知識の獲得につながる実感を伴って、新鮮な発見に満ちた学習経験に対して満足感を得た。
	KBA は、毎回新鮮な発見に満ちた学習経験に対する満足感を得て、外国語学習ならではの喜びや醍醐味を実感した。
	MT は、英語と中国語を同様に楽しく学習できる科目として認識した。
理論記述	YZ にとって、英語と中国語は同等の位置付けであった。
	YG は、自分のことについて自由に話せる状況でコミュニケーションが成立する学習プロセスを通じて、外国語学習の楽しさを再認識し、毎回の学びに満足した。
	KBY は、中国語について英語と同等の学習価値を認識し、学習意欲を示した。
	HM は、新しい外国語を学習することに満足し、短期間の学習を理由とする対話の失敗を経験しながら、成長とモチベーション向上を実感した。
	FY は、英語よりも中国語の学習を好んだ。
	KB は、中国語学習を通じた新たな知識の獲得や新鮮な発見に満足した。
	KBA は、中国語学習を通じた新鮮な発見に満足感し、外国語学習の醍醐味を享受した。
	MT は、中国語について英語と同様に楽しんで学習した。
さらに追 究すべき 点・課題	YZ は、何が、どう「重要」だと考えているのか？
	YG にとって、英語の「義務的」な学習活動やコミュニケーションとは具体的にどのようなものか？
	KBY は、英語が本当に好きで得意なのか？
	HM が、思ったようにうまくできないとは具体的にどのようなことか？（単語が聴き取れない、正確な発音が難しい等）
	FY は、なぜ英語より「むしろ」好きだと思ったのか？
	KB にとって、新しい発見とは具体的にどのようなことか？
	KBA にとって、語学を学ぶ楽しさとは具体的にどのようなことか？
	MT は、何がどう楽しかったのか？

SCAT WEB site からのダウンロードフォーム scatform1.xls <http://www.educa.nagoya-u.ac.jp/~otani/scat/scatform1.xls>

付録 29 6.5.2 SCAT を援用した質的データ分析：1 年半の中国語学習の感想

番号	テキスト	〈1〉テキスト中の 注目すべき語句	〈2〉テキスト中の 語句の言い換え	〈3〉左を説明するような テキスト外の内容	〈4〉テーマ・構成概念	〈5〉疑問・課題
Y Z	中国人とのビデオチャットが本当にいい経験になりました。 これからも中国人との関わりがあるのでこの授業で得たことをどんどん活かしていきたいと思います。	中国人、ビデオチャット、いい経験、これから、中国人との関わりがある、授業で得たこと、どんどん活かしていきたい	中国語 NS、遠隔交流、価値ある体験、今後、中国語 NS との交流、学習内容、さらなる活用	武術関係や専門学校進学後の中国人との交流（前提）、実際に活用する機会が確実にある（環境）	授業を通じて中国人との対面交流の機会に大きな価値を認識、中国語を活用する具体的なイメージがある、中国語学習に対する高いモチベーションの継続、積極的な中国語使用に対する意欲	中国人と今後どのような関わりがあるのか？
Y G	中国語の授業は教科書で単語や文法を学ぶだけではなく、コンピューターを使って中国語を打ちこんだり、中国語の学生と実際に交流したりと実践的な内容が多くとても新鮮で楽しかったです。Skype 交流は本当に貴重な経験になったし、交流することで同年代の中国の学生の生活などを知ることができて、どこか固定概念としてあった自分の中国へのイメージもすごく変わったと思います。また、交流の回を重ねるごとに中国への興味がわいたり、中国語の勉強をもっと頑張ろう！という意欲がわきました。中国の学生からの質問にみんなで答えを考えたときは、中国の学生はこういうことに興味があるんだなあと思ったり、自分たちの学校生活のことや日本の行事や流行のことなどについて振り返るいい機会になりました。授業中に先生が使えるフレーズを中国語に訳して教えてくれたりしたのも、中国語を身近に感じることができて嬉しかったです。中国語の授業は毎回楽しくていつも 50 分があつという間に感じました。中国語を選択して、応用も選択して、本当に良かったです！！	中国語の授業、単語や文法を学ぶだけではない、コンピューターを使う、中国語を打ち込む、中国の学生、実際に交流する、実践的な内容が多い、新鮮、楽しい、Skype 交流、貴重な経験、交流する、同年代の中国の学生、生活を知る、固定概念、中国へのイメージ、変わった、回を重ねるごと、中国への興味がわいた、中国語の勉強をもっと頑張ろう、意欲がわいた、質問、みんなで答えを考えた、こういうことに興味があるんだなあ、学校生活、日本の行事、流行、振り返る、いい機会、授業中、先生、使えるフレーズ、訳して教えてくれた、中国語を身近に感じる、嬉しかった、毎回楽しい、50 分があつという間に感じた、中国語を選択、応用も選択、本当に良かった	中国語クラス、語句学習に限らない、ICT 活用の学習形態、ピンイン入力、交流相手、対話実践、実用的な学習項目、新規性、喜び、遠隔交流、価値ある体験、中国の若者、異文化理解、思い込み、中国に対する印象、変化、毎回、中国に対する興味関心の向上、中国語学習モチベーションの向上、質疑応答の準備、交流相手の興味関心に対する気づき、高校生の日常、年間イベント、再認識、チャンス、教師の学習支援、実用的な会話表現の習得、中国語に対する親近感、ポジティブな評価、時間経過の速さ、第二外国語科目の履修、2 年間の学習継続、大きな満足	外国語の授業は教科書で単語や文法を学習する形式が一般的、同年代の中国人と交流する機会が少ない、中国語を選択したクラスメートとの良好な関係性（環境、前提）、中国語学習のモチベーションの高さ（心情）、中国に対する偏見や思い込み、中国人から見た日本や日本人について意識したことがなかった（心情、前提）	ICT 活用のブレンド型学習や遠隔交流の多様な実践と新鮮さに満足、遠隔交流を通じた中国の若者に対する異文化間理解の深化、対中イメージの変容、中国に対する興味・関心と中国語学習モチベーションの向上、交流相手の興味・関心に対する気づき、日本人としてのアイデンティティの再認識、実用性の高い学習形態、中国語に対する親近感、充実した学習時間、2 年間の継続的な学習経験に対する高い満足度	中国に対する「固定概念」とはどのようなイメージだったのか？
K B Y	中国語を学べてすごい難しかったけどいろいろなことを学べて楽しかったし嬉しかったです。これからは中国語を学んでいきたいです。今までありがとうございました！！	中国語、学ぶ、難しい、いろいろなことを学べた、楽しい、嬉しい、これからは中国語を学ぶ、ありがとうございました	中国語学習、困難、多様な学習内容、満足、喜び、中国語学習継続、感謝の言葉	他の教科の授業形態との相違点、ICT を活用したブレンド型学習の授業設計（環境）	中国語の難しさを認識、多様な学習活動に満足、中国語学習継続への意欲	何が難しかったのか？いろいろなこととは何か？
H M	先生の授業はすごく楽しかったです。座学だけでなく、実際に交流したり、インターネットを使ったり、餃子会を開いたりして楽しく中国語を使える機会をたくさんもってくれていたで毎回の授業がとても楽しみでした。より役立つ中国語を学べたので、応用中国語取ってよかったと思っています。中国語基礎をとっていた友達も「応用とればよかった！！」と嘆いていました（笑）中国語も中国のこと好きになりました。先生大好きです！ 2 年間ありがとうございました！	授業、楽しい、座学だけじゃない、実際に交流、インターネットを使う、餃子会を開く、楽しく中国語を使える機会、たくさん設ける、毎回の授業、楽しみ、役立つ中国語、学ぶ、応用中国語、取ってよかった、中国語基礎をとっていた友達、応用を取ればよかった、嘆く、中国語も中国のこと好きになれた、先生大好き、2 年間ありがとうございました	中国語クラス、満足、講義形式の授業ではない、実践的な交流、ICT 活用、中国文化イベント、中国語活用の喜びを実感する機会を頻りに設定、中国語の授業時間への高い期待、実用的な中国語の習得、応用クラス選択履修は適切な選択、基礎クラスの履修者、応用クラス選択履修できなかったことへの後悔、中国の言語文化に親近感を持った、教師、強い好意、感謝の言葉	学校の授業は座学が基本、学習した外国語を実際に活用する機会の少なさ、第二外国語の授業はセンター試験科目と同時時間帯に開講（環境、前提）	中国語担当教員の授業形態や学習活動に対する高い満足と感謝、教師とのラポール形成、実用性の高い学習形態、外国語学習ならではの楽しみを享受、実用度の高い中国語習得に対する満足、中国の言語文化に対する親近感の形成、2 年間の継続的な学習経験に対する高い満足度	「より役立つ中国語」とはどのような内容か？中国語学習以前の中国の言語文化に対する感情は？

F Y	楽しかったです！新しい言語を学ぶのはとても難しいことでしたが、英語だったら私は明らかに劣っているで（笑）、中国語はみんな同じスタートラインだったということもあり、やる気もできました！そしてなによりも、先生が優しく、メンバーもみんなよくて、楽しく学べたことが一番でした。ありがとうございました！大学に進学しても、第二外国語を学べる機会があれば、迷いなく中国語を選択したいと思います！	楽しい、新しい言語、学ぶ、難しい、英語、劣っている、中国語、みんな同じスタートライン、やる気も出た、先生が優しい、メンバーもみんなよい、楽しく学ぶ、一番、ありがとうございました、大学に進学、第二外国語、学べる機会、迷いなく中国語を選択したい	満足、未習の言語学習、困難、英語が苦手、中国語は全員が初修、モチベーション喚起、教師が親切、クラスメートとの良好な人間関係、学習の喜びを感じる、感謝の言葉、高等教育機関への進学、中国語学習の機会、必ず中国語を選択履修する	英語に対するモチベーションの低さ（心情、前提）、英語と比較したモチベーションの感じ方（心情）、学習環境要因による強い影響（環境、影響）	中国語授業に対する満足、言語学習の難しさを認識、初修外国語としての中国語に対して英語よりも高いモチベーション、満足度の高い環境要因（教師やクラスメート）、教師とのラポール形成、中国語学習継続への意欲	-
K B	最初は、1番将来の役にたちそうだから選択した中国語でしたが、今では昔よりも中国に興味関心をもって中国語を学ぶことができるようになりました！そういう気持ちになれたのも、中国語応用クラスの8人とし先生のおかげです。ありがとうございました(^)中国語は発音が難しくて、1年半経った今でもまだまだできないことだらけですが、専門学校でも中国語の授業があるので、そこで、高校での授業をいかしていただけたらいいと思います！そして、いつか必ず中国に行ってみたいです♪1年半、こんなに自由に楽しいことになる授業をしてくださって、本当にありがとうございました！	最初、1番将来の役に立ちそう、選択、中国語、昔よりも中国に興味関心を持つ、中国語を学ぶ、そういう気持ち、中国語応用クラスの8人、先生、ありがとうございました、発音が難しい、1年半たった今、まだできないことだらけ、専門学校、中国語の授業がある、高校での授業をいかす、いつか必ず中国語に行く、自由、楽しい、ためになる授業	当初、将来性が最も高い、選択履修、中国語、中国に対する興味関心の向上、中国語学習、上記の心情、クラスメート、教師、感謝の言葉、中国語音声の習得困難、学習開始後1年半経過、多くの未修得事項、進学先、中国語学習の機会、高校で習得した知識や技能を活用、将来の中国渡航の決意、教師に支配されない、喜び、役立つ、学習活動	高校2年次で中国語基礎クラスを選択履修、高校3年次で応用クラスを選択履修（環境、前提）、学習環境要因による強い影響（環境、影響）、ホテル管理方面の専門学校へ進学（今後の進路）	最も有用な外国語として中国語を認識、ツールやスキルとしての価値を重視、中国そのものに対する興味関心の向上、満足度の高い環境要因（教師やクラスメート）、中国語の難しさを認識、進学後の中国語学習継続への意欲、中国渡航への意欲、自由度の高い学習形態に満足、教師とのラポール形成	なぜ「1番将来の役に立ちそう」だと思ったのか？学習以前の中国に対する興味関心はどうだったのか？何ができて何ができていないと感じているのか？
K B A	二年生の最初は何となく選んだ中国語だったけど、学習していくうちに楽しくなってもっと中国語を学びたいと思い応用も履修することにしました。三年次の選択科目で私は最初、受験に必要な生物を履修するつもりでしたが、せっかく一年間学んで興味を持った中国語をやめることがどうしても嫌で中国語を選択しました。本当に中国語を勉強できてよかったし何より私がこんなに中国語に興味を持てるようになったのは先生のおかげです。先生の授業は毎回丁寧で、私たち生徒のことをよく見てくれて嬉しかったです。1年半ほんとにありがとうございました(^o^)	二年生の最初、なんとなく選んだ、中国語、学習していくうちに楽しくなった、もっと中国語を学びたい、応用も履修、三年次の選択科目、受験に必要な生物を履修するつもり、一年間学んだ、興味を持った中国語、やめることがどうしても嫌、中国語を選択、中国語を勉強できてよかった、中国語に興味を持てるようになった、先生のおかげ、授業、毎回丁寧、生徒のことをよく見てくれた、嬉しい、1年半ありがとうございました	2年次当初、選択に特別な理由はない、中国語を学ぶ中で楽しさを感じるようになった、中国語学習を継続したい、応用クラスを選択履修、3年次当初、受験科目の生物を選択履修する予定、1年間の学習経験、中国語に対する興味関心の向上、どうしても中国語学習を継続したい、中国語応用クラスを選択履修、中国語学習に対する満足、教師の指導による興味関心の喚起、綿密な指導、学習者を深く観察、喜び、満足、感謝の言葉	学習の喜び、やりがい、学習内容に対する興味関心を重視した学習観（心情、前提）、教師の学習者に対する配慮や親和性の高い学習内容を評価（環境、影響）	中国語学習のモチベーション向上による学習継続への意欲、受験科目よりも選択科目の中国語を優先するほど高い学習モチベーション、教師の影響による興味関心の向上、教師の学習者に対する配慮や親和性の高い学習内容を評価、高い満足、教師とのラポール形成	2年次にどのような学習プロセスを経て楽しくなったのか？
M T	いままでありがとうございました！せんせいはほんとにしんせつでした♪	いままでありがとうございました、せんせい、しんせつ	感謝の言葉、教師、優しい	遠隔交流には不参加	教師の学習者に対する配慮に感謝	どのような点で親切だと感じたのか？

ストーリー ライン(現 時点と言 えること)	YZ は、授業を通じて中国人との対面交流の機会に大きな価値を認識した。長年の武術を通じた交流経験から中国語を活用する具体的なイメージを抱いており、中国語学習に対する高いモチベーションの継続と積極的な中国語使用に対する意欲を示した。
	YG は、ICT 活用のブレンド型学習や遠隔交流の多様な実践と新鮮さに満足した。遠隔交流を通じた中国の若者に対する異文化間理解を深化させ、対中イメージの変容や中国語に対する親近感の形成から、中国に対する興味・関心が向上し、中国語学習モチベーションが向上した。また、交流相手の興味・関心に対する気付きを得ると同時に、日本人としてのアイデンティティの再認識を成果として認識した。さらに、実用性の高い学習形態による充実した学習時間、2年間の継続的な学習経験に対する高い満足度を示した。
	KBY は、中国語の難しさを認識する一方で、多様な学習活動に満足し、中国語学習継続への意欲を示した。
	HM は、中国語担当教員とのラポール形成と実用性の高い授業形態や学習活動に対する高い満足を感じ、感謝を表した。外国語学習ならではの楽しさを享受し、実用度の高い中国語習得に満足した。また、中国の言語文化に対する親近感が形成され、2年間の継続的な学習経験に対する高い満足度を示した。
	FY は、言語学習の難しさを認識する一方で、教師やクラスメートといった満足度の高い環境要因により中国語学習活動を楽しんだ。また、教師とのラポール形成により、初修外国語としての中国語に対して英語よりも高いモチベーションを抱き、中国語学習継続への意欲を示した。
	KB は、中国語を最も有用な外国語として認識し、ツールやスキルとしての価値を重視していた。また、教師やクラスメートといった満足度の高い環境要因や自由度の高い学習形態を好ましく思い、教師とのラポールも形成された。そして、中国そのものに対する興味関心が向上し、中国語の難しさを認識しながらも、進学後の中国語学習継続と中国渡航への意欲を示した。
	KBA は、受験科目よりも選択科目の中国語を優先するほど高い学習モチベーションを抱き、モチベーション向上による学習継続への意欲を示した。教師とのラポールが形成され、教師の影響により興味関心が向上すると同時に、教師の学習者に対する配慮や親和性の高い学習内容を評価し、高い満足度を示した。
理論記述	MT は、教師の学習者に対する配慮に感謝を示した。
	YZ は、中国人との対面交流の価値を認識した。今後も個人的な交流の可能性があるため、中国語学習のモチベーション継続と中国語使用の意欲を示した。
	YG は、実用性の高い ICT 活用の授業形態や継続的な学習経験に満足した。中国に対する異文化間理解の深化、イメージの変容、親近感の形成によって、興味・関心と学習のモチベーションが向上した。また、相手に対する気付きと共に、自身のアイデンティティを再認識した。
	KBY は、中国語の難しさを感じながらも多様な学習に満足し、学習継続の意欲を示した。
	HM は、実用的な学習を楽しみ、中国の言語文化に親近感を持ち、中国語の継続的な学習と習得に満足した。また、ラポールも形成され、教師への感謝を示した。
	FY は、中国語の難しさを感じながらも授業における満足度の高い環境要因やラポール形成により、英語よりも高いモチベーションを持ち、学習継続への意欲を示した。
	KB は、中国語の有用性と価値を理由に学習を開始したが、満足度の高い環境要因や自由度の高い学習形態、教師とのラポール形成から、中国への興味・関心が向上した。中国語の難しさを感じながらも、学習継続と渡航への意欲を示した。
さらに追 究すべき 点・課題	KBA は、ラポールの形成や教師の配慮により受験科目以上の高い学習モチベーションを持ち、中国語に対する興味・関心が向上した。親和性の高い学習内容に満足し、学習継続への意欲を示した。
	MT は、教師の配慮に感謝した。
	YZ は、中国人と今後どのような関わりがあるのか？
	YG にとって、中国に対する「固定概念」とはどのようなイメージだったのか？
	KBY は何が難しかったのか？いろいろなこととは何か？
	HM にとって、「より役立つ中国語」とはどのような内容か？中国語学習以前の中国の言語文化に対する感情は？
	FY は該当なし
	KB は、なぜ中国語が「1 番将来の役に立ちそう」だと思ったのか？学習以前の中国に対する興味関心はどうだったのか？何ができて何ができないと感じているのか？
	KBA は、2 年次にどのような学習プロセスを経て楽しくなってきたのか？
	MT は、どのような点で教師が「親切」だと感じたのか？

SCAT WEB site からのダウンロードフォーム scatform1.xls <http://www.educa.nagoya-u.ac.jp/~otani/scat/scatform1.xls>